



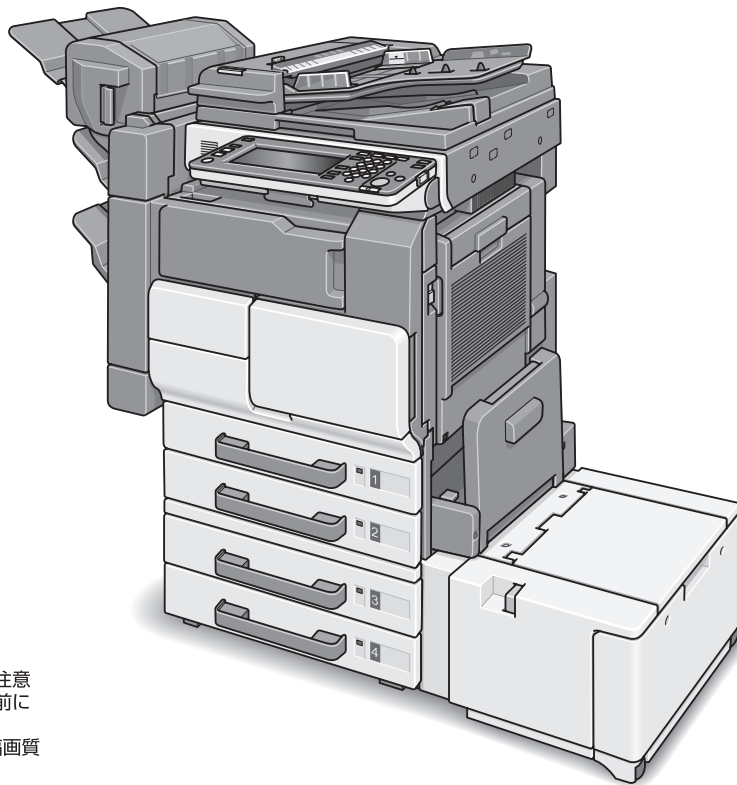
KONICA MINOLTA

The essentials of imaging

bizhub 500/420

ユーザーズガイド

コピー機能編



第1章 設置・取扱いの注意
第2章 ご使用いただく前に
第3章 基本設定
第4章 集約/原稿・原稿画質
第5章 応用設定
第6章 仕上り・紙折り
第7章 コピー補助機能
第8章 ジョブ確認
第9章 用紙・原稿について
第10章 補給・くず処理
第11章 トラブルの処理
第12章 日頃の管理・保守サービス
第13章 仕様
第14章 設定メニュー<ユーザ設定>
第15章 設定メニュー<管理者設定>
付録 文字を入力するには

はじめに

このたびは、bizhub 500/420(デジタル式電子写真複写機)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

このユーザースガイドは、bizhub 500/420の性能を十分に発揮させるため、また、安全な取り扱いをしていただくため、機械の操作方法および使用上の注意事項について記載しています。ぜひご一読ください。最適な状態できれいなコピーをおとりいただくために、このユーザースガイドを常時ご覧いただける場所に保管してください。

登録商標について

- KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTAロゴ、The essentials of imagingは、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標です。
- bizhub、bizhub PROは、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の商標です。

Copyright © 2007 コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社

免責

- 本書の一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- 製造会社および販売会社は、本書を運用した結果の影響につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- このユーザースガイドに記載されている情報は、予告なく変更される場合があります。

国際エネルギースタープログラム	i
機械・消耗品のリサイクル／リユース	ii
エコマーク	ii
■物質エミッションについて	ii
■再生紙について	ii
こんな機能があります	iii
マニュアル体系について	ix
本書レイアウト	x
■ページの見かた	x
■原稿および用紙の呼び方と表示	xi
コピー禁止事項	xiii

第1章 設置・取扱いの注意

安全にご使用いただくために	1-2
■絵表示の意味	1-2
■図記号の例	1-2
適合宣言文	1-8
■レーザーの安全性	1-8
■オゾン放出	1-8
■電波障害について	1-8
■JIS C 61000-3-2 適合品	1-8
注意ラベル	1-9
設置スペース	1-11
使用上のご注意	1-13
■設置電源	1-13
■使用環境	1-13
■トナーカートリッジの取扱いについて	1-13
■コピーの保存について	1-13

第2章 ご使用いただく前に

各部の名称とはたらき	2-2
■本体外部	2-2
■本体内部	2-6
■オプション構成	2-8
■給紙キャビネット PC-202 / PC-402	2-10
■大容量給紙ユニット LU-201	2-12
■フィニッシャ FS-510 / 排紙トレイ OT-601 / パンチユニット PU-501	2-14
■中綴じ機 SD-502 / メールピンキット MT-501	2-16
■フィニッシャ FS-511 / 中継ユニット RU-502	2-18

■ 操作パネル.....	2-20
■ 基本設定画面 (表示アイコン).....	2-22
操作パネルの角度を変える.....	2-26
■ 操作パネルの角度の換え方	2-27
電源を入れる／切る.....	2-28
■ 電源を入れる.....	2-28
■ 電源を切る.....	2-29
■ 自動的に初期設定にもどる (オートリセット)	2-31
■ 自動的に設定画面にもどる (システムオートリセット).....	2-31
パワーセーブランプが点灯する	2-32
■ 機械を使用するための操作	2-32
■ 自動的に節電状態になる (ローパワー)	2-33
■ 自動的に節電状態になる (スリープ)	2-34
■ 手動で節電状態にする	2-35
■ 使用時間を制限する (ウィークリタイマ)	2-35
■ 時間外使用する (ウィークリタイマ)	2-36
ユーザ認証／部門認証をもとめられたとき	2-38
■ ユーザ名とパスワードを入力する (ユーザ認証).....	2-38
■ 部門名／パスワードを入力する (部門管理).....	2-42
用紙を補給する	2-45
■ 第 1・2 / 第 3・4 給紙トレイに用紙をセットする.....	2-46
■ 第 3 給紙トレイに用紙をセットする	2-48
■ 大容量給紙ユニットに用紙をセットする.....	2-51
■ 手差しトレイに用紙をセットする	2-53
併用できないコピー操作.....	2-58
■ あとから設定したコピー操作を優先する.....	2-58
■ 先に設定したコピー操作を優先する.....	2-59
基本的なコピー操作の流れ.....	3-2
■ コピーのとり方.....	3-2
原稿をセットする	3-6
■ ADF に原稿をセットする.....	3-6
■ 原稿ガラスに原稿をセットする	3-8
コピー部数を設定する.....	3-10
■ コピー部数を入力する	3-10
■ 入力したコピー部数を変更する	3-11
濃度を選ぶ：濃度／下地調整.....	3-12
■ 濃度／下地調整を行う	3-12

トレイの用紙を選ぶ：用紙設定	3-14
■自動的に用紙を選択させる：自動用紙選択	3-14
■手動で用紙を指定する	3-16
手差しトレイの用紙を選ぶ：用紙設定	3-17
■用紙サイズを自動的に検出させる：自動検出	3-17
■不定形サイズを設定／呼出しする：不定形サイズ	3-19
■不定形サイズを登録する：不定形サイズ	3-21
■用紙種類を設定する	3-24
倍率を選ぶ：倍率設定	3-26
■等倍でコピーする	3-26
■少しだけ縮小させる：小さめ	3-27
■固定倍率を選択する	3-28
■ズーム倍率を設定する	3-29
■縦／横別々に倍率を設定する：独立ズーム	3-31
■登録倍率から選択する	3-34
■倍率を登録する	3-35
■自動的に倍率を選択させる：自動倍率選択	3-37
片面／両面コピーを選ぶ：片面／両面設定	3-39
■ADFを使って両面コピーをとる	3-39
■原稿ガラスを使って両面コピーをとる	3-42
■両面原稿から片面コピーをとる	3-46
原稿を分割して読み込み一度に出力する：連続読み設定	3-49
ウォームアップ中に読み込む	3-52
出力中に次の原稿を読み込む：コピー予約	3-54
動作中のジョブを停止／再開／削除する	3-56
■動作中のジョブを停止／再開する	3-56
■停止したジョブを削除する	3-57
基本設定と併用できないコピー条件	3-58

第 4 章 集約／原稿・原稿画質

複数枚原稿を 1 枚の用紙にコピーする：集約	4-2
原稿の種類を設定する：原稿	4-6
■サイズの異なる原稿をコピーする：混載原稿	4-6
■Z 折れ原稿をコピーする：Z 折れ原稿	4-9
■原稿セット方向を設定する：原稿セット方向	4-11
■原稿のと同じ方向を設定する：原稿と同じ代	4-14
原稿画質に合わせてコピーする	4-16
集約／原稿・原稿画質と併用できないコピー条件	4-18

第5章 応用設定

OHP フィルムにコピーする：ページ編集＞OHP 合紙	5-2
表紙をつける：ページ編集＞カバーシート	5-6
挿入紙をつける：ページ編集＞インターシート	5-11
別の原稿画像を指定したページに差し込む：ページ編集＞差し込みページ	5-17
指定したページを両面コピーのオモテ面にする：ページ編集＞章分け	5-22
原稿ごとに異なる設定で読み込みまとめてコピーする：ページ編集＞プログラムジョブ	5-27
本の見開き左右ページを別々にコピーする：連写／リピート＞ブック連写	5-31
1 枚の用紙に 1 つの画像を繰り返しコピーする：連写／リピート＞リピート	5-37
■ リピート回数を自動的に設定させる	5-38
■ リピート回数を指定する：定型リピート	5-43
ADF を使って見開き原稿の分割コピーをとる：連写／リピート＞ページ連写	5-48
中とじ本のページ立てにコピーする：小冊子	5-52
原稿画像の濃淡を反転させてコピーする：ネガポジ反転	5-56
コピー画像位置を調整する：とじ代	5-58
■ とじ代をつける／両面コピーのとじ方向を設定する	5-59
■ オモテ／ウラのコピー画像位置を調整する：編集とじ代	5-62
不要部分を消去してコピーする：消去	5-65
■ 本の周囲の黒い影を消す：消去＞枠消し	5-66
■ 本の折目の黒い影を消す：消去＞折目消し	5-69
■ 原稿の外側の部分を消す：消去＞原稿外消去	5-72
コピー画像位置を調整する：画像の収め方	5-74
■ 画像を用紙の中央に配置してコピーする：画像の収め方＞センタリング	5-75
■ 自動画像回転をオフにする：画像の収め方＞回転しない	5-77
付属情報や別画像をいっしょにコピーする：スタンプ／オーバーレイ	5-79
■ 日付や時刻を印字する：スタンプ＞日付／時刻	5-81
■ ページ数を印字する：スタンプ＞ページ	5-85
■ 管理用ナンバリングを印字する：スタンプ＞ナンバリング	5-89
■ 定型のスタンプを印字する：スタンプ＞定型スタンプ	5-92
■ 定型のウォータマークを中央に印字する：スタンプ＞ウォータマーク	5-96
■ 画像を重ねてコピーする：オーバーレイ	5-98
■ 重ねる画像を登録し、重ねてコピーする：登録オーバーレイ	5-100

応用設定と併用できないコピー条件	5-104
------------------------	-------

第6章 仕上り・紙折り

本体排紙トレイに出力する	6-2
フィニッシャにソート／グループ出力する	6-5
ステープルでとじて出力する：ステープル	6-9
用紙にパンチ穴をあける：パンチ	6-13
2つ折りの折目をつけ／中央をとじて出力する：中折り／中とじ	6-17
セパレータに出力する	6-20
仕上り・紙折りと併用できないコピー条件	6-24

第7章 コピー補助機能

1部出力して設定を確認する：確認コピー	7-2
出力する前に設定内容を確認／変更する：設定内容	7-5
割り込んでコピーする：割込み	7-7
設定を登録し、呼び出す：プログラム	7-9
■ 設定を登録する：プログラム登録	7-9
■ 登録を呼び出す：プログラム登録呼び出し	7-11
■ 登録名称を変更する	7-14
■ 登録を削除する	7-15
機能・操作説明の画面を表示させる：ヘルプ	7-17
■ ヘルプ画面を表示させる	7-18
操作パネル／タッチパネルの操作性を変更する：ユニバーサル設定	7-21
■ 拡大表示画面のキー機能時間を変更する：キーリピート開始／間隔時間	7-21
■ 拡大表示画面の解除確認の設定をする：拡大表示解除確認	7-24
■ 誤操作メッセージの表示時間を設定する：メッセージ表示時間	7-26
■ キー受付音の設定をする：音設定	7-28
■ タッチパネルセンサ位置を調整する：タッチパネル調整	7-31
■ 拡大表示機能時の設定解除確認表示の設定をする：拡大表示設定解除確認	7-33
■ 拡大表示機能との切換え時に、初期設定への変更確認表示の設定をする：拡大表示切換え確認	7-35

第8章 ジョブ確認

ジョブ確認画面の概要	8-2
ジョブ確認画面を操作する	8-6
■ 実行中リストや履歴リストのジョブの詳細を確認する	8-9
■ 実行中リストの動作中／蓄積ジョブの設定内容を確認する	8-12
■ 実行中リストの動作中／蓄積ジョブを削除する	8-14

■ 実行中リストの動作中ジョブの優先出力を設定する	8-16
■ 実行中リストの蓄積ジョブを 1 部プリントして確認する	8-18
■ 実行中リストの蓄積ジョブの設定変更／プリントをする	8-20

第9章 用紙・原稿について

用紙について	9-2
■ 用紙をセット／処理／出力する装置	9-2
■ 使用できる用紙の坪量	9-3
■ セット／出力可能な用紙枚数	9-4
■ フィニッシャ FS-510 の積載制限枚数	9-5
■ セット／処理／出力可能な用紙サイズ	9-7
■ 自動トレイ切換機能	9-8
■ 専用紙について	9-9
■ 使用できない用紙	9-10
■ 用紙の保管	9-10
原稿について	9-11
■ ADF にセットできない原稿	9-11
■ ADF にセットする原稿	9-11
■ 原稿ガラスにセットする原稿	9-13

第10章 補給・くず処理

「用紙を補給してください」と表示されたら	10-2
トナーを補給する	10-3
■ 拡大表示機能時のトナー補給表示	10-4
■ トナーカートリッジを交換する	10-5
ステープル針を補給する	10-9
■ 拡大表示機能時のステープル針補給表示	10-10
■ フィニッシャ FS-511 のステープル針を補給する	10-11
■ フィニッシャ FS-510 のステープル針を補給する	10-15
■ 中綴じ機 SD-502 のステープル針を補給する	10-19
パンチくずを処理する	10-23
■ フィニッシャ FS-511 のパンチくずを処理する	10-23
■ パンチユニット PU-501 のパンチくずを処理する	10-25

第11章 トラブルの処理

「トラブルです」と表示されたら：サービスコール	11-2
■ 拡大表示機能時のサービスコール画面	11-2
■ サービス実施店への連絡手順	11-3
「紙づまりです」と表示されたら	11-4
■ 紙づまり処理の手順	11-5

「メモリ残量不足のため、…」と表示されたら	11-7
■通常読み中のメモリ不足	11-7
■予約ジョブ中のメモリ不足	11-8
簡単なトラブルの処理	11-9
主なメッセージと処理のしかた	11-12

第 12 章 日頃の管理・保守サービス

清掃する	12-2
■原稿読み取りガラスの清掃	12-2
■原稿ガラスの清掃	12-2
■原稿押さえパッドの清掃	12-3
■給紙ローラの清掃	12-3
■書込みユニットガラス／電極ワイヤの清掃	12-4
■機械外装の清掃	12-5
■操作パネルの清掃	12-5
カウンタを確認する：セールスカウンタ	12-6
■設定メニュー／カウンタ画面の表示手順	12-6
「装置の定期点検です」と表示されたら	12-8
保守サービス	12-9

第 13 章 仕様

本体仕様	13-2
オプション仕様	13-4
ユーザ設定画面の概要	14-2
ユーザ設定の内容一覧	14-3
1 環境設定	14-5
■1 言語選択	14-5
■2 単位系設定	14-6
■3 給紙トレイ設定＞1 用紙種類設定	14-7
■3 給紙トレイ設定＞2 給紙トレイ自動選択	14-8
■3 給紙トレイ設定＞3 ATS 許可	14-9
■3 給紙トレイ設定＞4 指定給紙トレイ不一致	14-10
■3 給紙トレイ設定＞5 リストプリント出力設定	14-11
2 画面切替え設定	14-12
■1 表示サブエリア切替え	14-12
■2 コピー設定	14-13
■3 スキャナ設定	14-13

■ 4 ファクス設定	14-13
■ 5 コピー動作中画面	14-14
■ 6 ファクス動作中画面	14-14
■ 7 コピー初期画面切替え	14-15
■ 8 ジョブ確認初期表示	14-16
3 初期設定	14-17
4 コピー設定	14-18
■ 中とじ／中折り時小冊子	14-18
■ 集約／小冊子倍率	14-19
■ ソート／グループ自動切換え	14-20
■ 拡大ローテーション	14-21
管理者設定画面の概要	15-2
■ 管理者設定画面を表示させるためには	15-2
設定メニューで設定できる階層項目の一覧	15-4
管理者設定の内容一覧	15-17
1 環境設定	15-23
■ 1 パワーセーブ設定 (レベル 1)	15-23
■ 2 出力設定＞ 2 排紙トレイ設定 (レベル 2)	15-25
■ 2 出力設定＞ 4 ジョブ毎のシフト排出設定	15-26
■ 3 日時設定	15-27
■ 4 サマータイム設定	15-28
■ ウィークリタイマ設定の概要	15-29
■ 5 ウィークリタイマ設定＞ 1 ウィークリタイマ使用設定	15-30
■ 5 ウィークリタイマ設定＞ 2 タイマ予約時刻設定	15-31
■ 5 ウィークリタイマ設定＞ 3 動作日設定	15-33
■ 5 ウィークリタイマ設定＞ 4 昼休み OFF 機能設定	15-34
■ 5 ウィークリタイマ設定＞ 5 時間外パスワード設定	15-35
■ 6 ユーザ操作禁止設定＞ 1 コピープログラムロック設定	15-36
■ 6 ユーザ操作禁止設定＞ 2 コピープログラム削除	15-37
■ 6 ユーザ操作禁止設定＞ 3 変更禁止設定	15-38
■ 6 ユーザ操作禁止設定＞ 4 操作禁止設定	15-39
■ 7 エキスパート調整＞ 1 原稿画質の濃度シフト (レベル 2)	15-40
■ 7 エキスパート調整＞ 2 消去補正	15-41
■ 7 エキスパート調整＞ 3 フィニッシャ調整	15-43
■ 8 リスト／カウンタ＞ 1 マシン管理リストプリント	15-46
■ 8 リスト／カウンタ＞ 2 用紙サイズ／種類カウンタ	15-47
■ 9 リセット設定＞ 1 システムオートリセット	15-48

■ 9 リセット設定 > 2 オートリセット	15-49
■ 9 リセット設定 > 3 モードリセット	15-50
■ 9 リセット設定 > 4 確認コピー時リセット	15-52
2 管理者／本体登録	15-53
■ 1 管理者登録	15-53
■ 2 本体アドレス登録	15-54
4 ユーザ認証／部門管理	15-55
■ 1 認証方式	15-56
■ 2 ユーザ認証設定 > 1 管理設定	15-60
■ 2 ユーザ認証設定 > 2 ユーザ登録	15-62
■ 2 ユーザ認証設定 > 3 ユーザカウンタ	15-65
■ 3 部門管理設定 > 1 部門登録	15-67
■ 3 部門管理設定 > 2 部門カウンタ	15-69
■ 4 認証指定なしプリント	15-71
■ 5 使用管理カウンタリスト	15-72
6 コピー設定	15-73
■ 原稿ガラス自動倍率 (レベル 1)	15-73
■ ADF 自動倍率 (レベル 1)	15-74
■ APS 解除時のトレイ指定 (レベル 1)	15-75
■ インターシートトレイ選択 (レベル 1)	15-76
■ 画像回転	15-77
■ コピー操作時のプリント受付 (レベル 2)	15-78
9 セキュリティ設定	15-79
■ 1 管理者パスワード	15-79
■ 3 ユーザ開放レベル	15-80
■ 4 セキュリティ詳細	15-81
■ 7 管理機能設定	15-84

付録 (文字入力のしかた)

文字を入力するには	付録 -1
■ 英数字を入力する	付録 -2
■ ひらがなを入力する	付録 -3
■ カタカナを入力する	付録 -4
■ 漢字を入力する	付録 -5
■ 文字コードで入力する	付録 -6
入力文字一覧	付録 -7

国際エネルギースタープログラム



国際エネルギースタープログラムは、地球環境を守るために主に化石燃料をエネルギーとする電力を節約し、効率的なエネルギーの使用を目的とした制度です。本機は、以下の様な方法を推奨し、国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

ローパワー機能

ローパワー機能は、機器の消費電力を節約するための機能で、待機中の消費電力を 60W 以下に抑えることができ、電気料の節約にも寄与しています。標準では、待機時間が 1 分（オプション装着に関わらず）を超えると、自動的にパワーセーブ機能が働き消費電力を節約します。機能する時間は、1 分～ 240 分の間で 1 分単位の設定ができます。

スリープ機能

スリープ機能は、ローパワー機能よりもさらに消費電力を節約するための機能で、待機中の消費電力を 2.0W 以下に抑えることができます。通常は、ローパワー機能が働いて、一定時間経過が 1 分（オプション未装着機）／ 15 分（オプション装着機）を超えると、機能が自動的に働き、消費電力を節約します。機能する時間は、1 分～ 240 分の間で 1 分単位の設定ができます。

自動両面コピー機能

一枚の用紙のオモテ面／ウラ面にコピーする自動両面コピー機能により、用紙の省資源化が計られます。

ローパワー機能、スリープ機能、自動両面コピー機能をお使いになることをお勧めします。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収・リサイクルにお出してください。

機械・消耗品のリサイクル／リユース

使用済みのトナーカートリッジ、ドラム（感光体）について

お客様が交換したものにつきましては、サービス技術者が回収しますので、入っていた箱に入れて保管してください。サービス技術者が交換したものにつきましては、そのつど持ち帰ります。回収したトナーカートリッジ、ドラムは、再資源化しています。

使用済みの機械の処理について

買い替え時は、新しい機械を購入する販売店にご相談ください。不要時は、その機械を購入した販売店にご相談ください。回収した機械は再資源化しています。

小型二次電池（リチウムイオン電池）について

本体およびオプションに小型二次電池（リチウムイオン電池）が使用されている場合は、製品として回収後に小型二次電池も含め再資源化いたします。

弊社の環境基準に従い回収された機械、カートリッジなどは、リサイクル、リユースされています。今後も資源の保護に取り組み、人と環境に調和した活動を行ってまいります。

エコマーク



3R・省エネ設計

エコマーク認定番号 第05117011号

bizhub 500/420は「エコマーク事務局認定・環境保全型商品」です。

本機は資源採取からリサイクルまでのライフサイクル全体を通じて環境に配慮し、エコマーク認定された製品です。

■物質エミッションについて

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよびTVOCの放散については、エコマーク No117「複写機 Version2.0」の物質エミッション放散速度に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用の推奨純正品を使用し、白黒複写を行った場合について、試験方法：RAL-UZ62:2003の付録4に基づき試験を実施しました。）

■再生紙について

本機は、古紙パルプ100%再生紙でエコマーク認定商品である「コニカミノルタ NR-A100」をご使用いただけます。

こんな機能があります

用紙を自動的に選択する

原稿のサイズと選択した用紙のサイズに合わせて、倍率を自動的に選択しコピーできます。



詳しくは p. 3-14 をご覧ください。

用紙サイズに合わせてコピーする

原稿のサイズと選択した倍率に合わせて、用紙を自動的に選択しコピーできます。



詳しくは p. 3-14 をご覧ください。

原稿を分割して読む

大量の原稿を分割して読み込ませることができます。原稿ガラスを使用して両面コピーをとったり、ADF と原稿ガラスを切替えて読み込み、1 つのジョブとして 1 度にコピーできます。



詳しくは p. 3-49 をご覧ください。

サイズが異なる原稿を一緒にコピーする

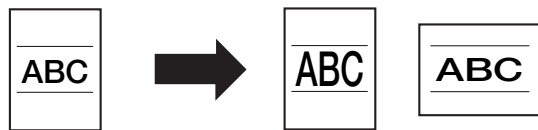
サイズが異なる原稿を、1 度に読んでコピーできます。



詳しくは p. 4-6 をご覧ください。

縦と横の倍率を別々に設定する

縦、横それぞれの倍率を変えることで、原稿の画像を変形させてコピーできます。



詳しくは p. 3-31 をご覧ください。

原稿の画質に合わせてコピーする

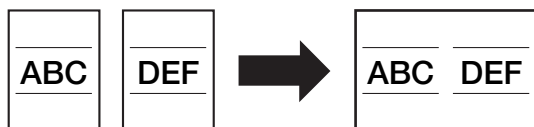
原稿の画質に合った画像でコピーできます。



詳しくは p. 4-16 をご覧ください。

複数の原稿を 1 枚にまとめてコピーする

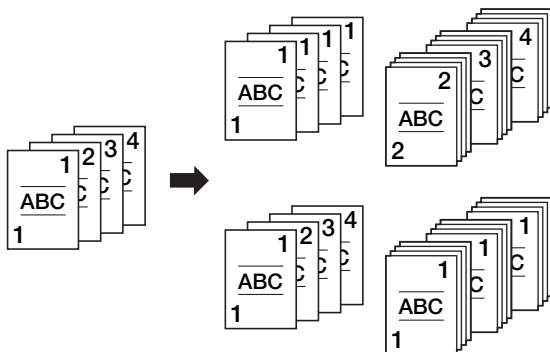
複数枚の原稿画像を 1 枚の用紙にまとめてコピーできます。



詳しくは p. 4-2 をごらんください。

仕分けしてコピーする

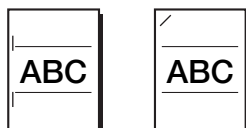
コピーの仕上がり方法を選択できます。



詳しくは p. 6-5 をごらんください。

ステープルでとじる

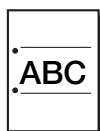
複数枚の原稿を、ステープルでとじてコピーできます。



詳しくは p. 6-9 をごらんください。

パンチ穴をあける

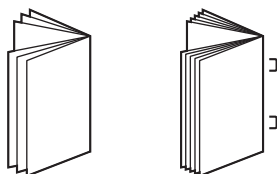
ファイリング用にパンチ穴を開けてコピーできます。



詳しくは p. 6-13 をごらんください。

中折り・中とじにする

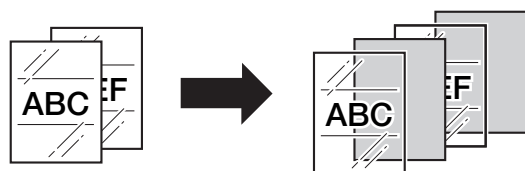
用紙の中央で 2 つ折りのすじをつけたり、中央をステープルでとじて 2 つ折りのすじをつけることができます。



詳しくは p. 6-17 をごらんください。

OHP フィルムの間に合紙を差込んでコピーする

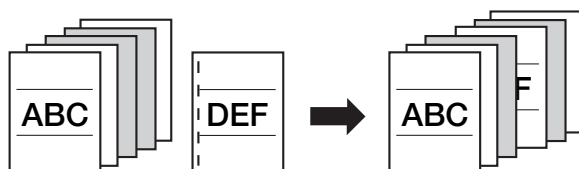
OHP フィルム同士が貼り合わさるのを防ぐため、コピーした OHP フィルム間に白紙、またはコピーして用紙（合紙）を挿入することができます。



詳しくは p. 5-2 をご覧ください。

別原稿のコピーを指定したページに差込む

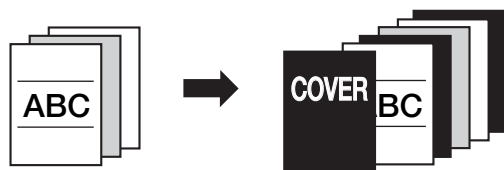
ADF で読込んだ原稿ページの間、原稿ガラスで読込んだ原稿ページを差込んで、まとめてコピーできます。



詳しくは p. 5-17 をご覧ください。

表紙・挿入紙をつける

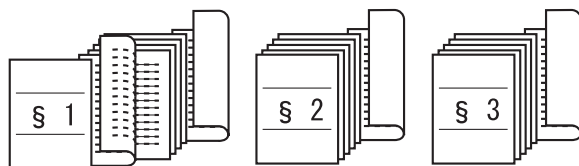
コピーに表紙や挿入紙をつけられます。表紙や挿入紙のみの用紙（色紙等）を使用してコピーできます。



詳しくは p. 5-6、p. 5-11 をご覧ください。

章の先頭ページを必ずオモテ面にコピーする

両面コピーをとるとき、章の先頭ページを必ずオモテ面にコピーできます。



詳しくは p. 5-22 をご覧ください。

ネガポジ反転してコピーする

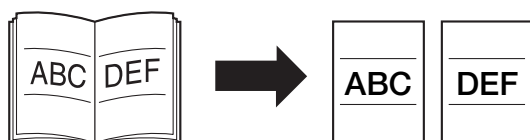
画像の白黒を反転させてコピーできます。



詳しくは p. 5-56 をごらんください。

見開きを左右別々にコピーする

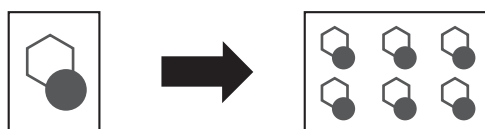
本やカタログなどの見開き原稿を、左右のページごとに分割してコピーできます。



詳しくは p. 5-31 をごらんください。

画像を繰り返してコピーする

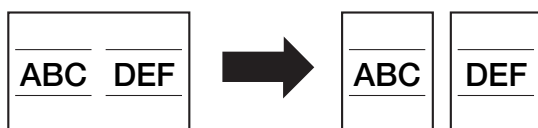
1 枚の原稿の画像を 1 枚の用紙に繰り返してコピーできます。



詳しくは p. 5-37 をごらんください。

1 枚の原稿を分割してコピーする

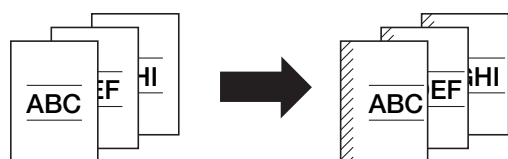
1 枚の原稿画像を 2 分割し、それぞれ別のページとしてコピーできます。



詳しくは p. 5-48 をごらんください。

とじ代をつけてコピーする

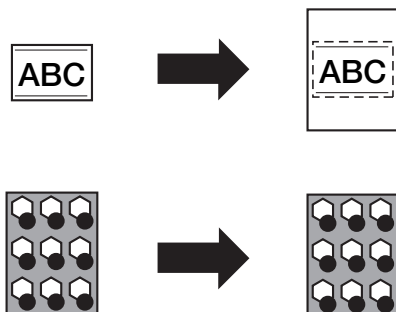
ファイリングしやすいように、用紙にとじ代（余白）をつくらせてコピーできます。



詳しくは p. 5-58 をごらんください。

画像を用紙サイズに合わせてコピーする

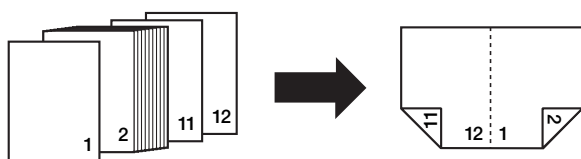
用紙に対する原稿画像の配置を指定してコピーできます。



詳しくは p. 5-74 をごらんください。

中とじ用のレイアウトでコピーする

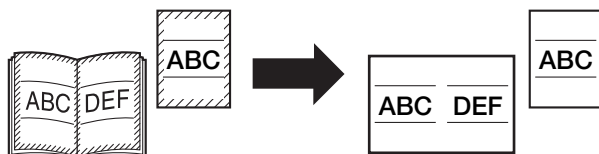
週刊誌や雑誌のようなレイアウトになるように、ページを入れ換えてコピーできます。



詳しくは p. 5-52 をごらんください。

原稿の一部を消してコピーする

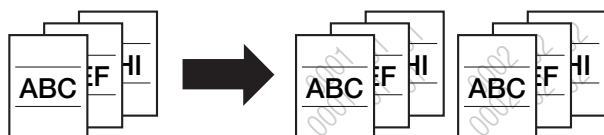
パンチ穴の影や受信したファクスの通信記録、本などの原稿をコピーした時のとじ部分や周囲部に写る影などを消してコピーできます。



詳しくは p. 5-65 をごらんください。

管理用の文字やナンバーを印字する

コピーにページナンバーや日付を入れたり、コピー 1 部ごとに管理用のナンバーを印字できます。



詳しくは p. 5-79 をごらんください。

コピーを管理する

プリント待ち状況の確認をし、管理できます。



詳しくは p. 8-2 をごらんください。

コピー条件を登録する

よく使うコピー条件を登録し、必要なときに呼び出してコピーできます。



詳しくは p. 7-9 をごらんください。

設定内容を確認する

設定した内容を確認できます。また設定した内容の変更もできます。



詳しくは p. 7-5 をごらんください。

タッチパネルの文字サイズを大きくする

タッチパネルの文字やキーを見やすい大きな表示にし、基本的なコピー機能の操作をしやすくします。



別冊の「ユーザーズガイド拡大表示機能編」をごらんください。

機能解説の画面を表示させる

各部の名称、はたらき、機能の詳細をヘルプ画面として表示させます。



詳しくは p. 7-17 をごらんください。

割込んでコピーする

コピーしているジョブを中断し、割込んでコピーできます。



詳しくは p. 7-7 をごらんください。

1部コピーして条件を確認する

複数部数のコピーをする前に1部のみテストプリントし、コピーの仕上がりを確認できます。



詳しくは p. 7-2 をごらんください。

マニュアル体系について

本機には、次のユーザーズガイド（印刷物）が用意されています。

■ ユーザーズガイド（コピー機能編）＜本書＞

基本操作、コピー機能の操作について記載しています。

- 設置・取扱の注意事項、電源の入れ方 / 切り方、用紙補給のしかた、紙づまりなどのトラブル対処のしかたなど、本機の操作に関する内容を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

また、日頃の使い方に合わせて機械をカスタマイズ設定したり、機械を管理する方法を記載しています。

- 用紙の設定やトレイの調整、機械の設定や管理に関する内容を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（ネットワーク／スキャナ機能編）

標準装備のネットワーク機能の設定方法、スキャナ機能の操作について記載しています。

- ネットワーク機能、E-Mail 送信、サーバ送信（FTP）、PC 送信（SMB）の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（ボックス機能編）

ボックス機能の操作について記載しています。

- ハードディスクを利用したボックス機能の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（拡大表示機能編）

コピー機能、ネットワーク／スキャナ機能、ファクシミリ機能の操作を拡大表示画面で行う方法について記載しています。

- 操作パネルの【拡大表示】を押したあとの操作方法を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（ファクシミリ機能編）

オプションのファクスキット FK-502 が装着されて使用できるプリンタ機能の操作について記載しています。

- ファクシミリ機能の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（ネットワークファクス機能編）

ネットワークファクスの操作について記載しています。

- ネットワークファクスの機能（インターネットファクス／SIP ファクス／IP アドレスファクス）の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

また、本機には次のユーザーズガイド / クイックガイドが用意されています。

■ IC-204 ユーザーズガイド

オプションのイメージコントローラ IC-204 が装着されて使用できるプリンタ機能の操作について記載しています。

- プリンタ機能の使い方を知りたい場合は、IC-204 に付属の USER Software CD-ROM 内にあるユーザーズガイド（PDF）またはクイックガイド（印刷物）をごらんください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前に必ず本書「第1章 設置・取扱いの注意」をお読みください。

■ ページの見かた



説明をお読みになる前にあらかじめ知っておくと理解しやすくなる事柄を記述します。



操作上の注意事項です。指示内容をよく読んで、必ず守ってください。

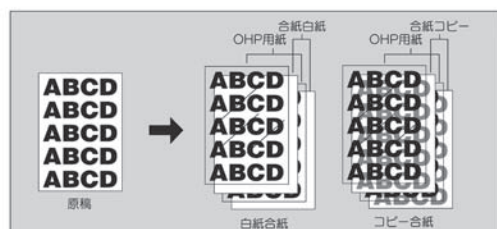
項目タイトルとイラストで、操作の目的と結果を確認します。

▶ OHP 用紙にコピーする：ページ編集＞ OHP 合紙

OHP 用紙にコピーするとき、この機能を使用します。コピー後の熱で OHP 用紙同士が密着するのを防ぐために、間に用紙（合紙）を挿入します。合紙は白紙のままでも、OHP 用紙と同じ画像をコピーして挿入することもできます。



- OHP 用紙は手差しトレイにセットします。
- 1 枚ずつコピーします。複数枚の設定はできません。
- 自動倍率が自動的に設定されます。



操作項目を太字で表記し、操作内容や操作結果を下記に説明します。

1 OHP 用紙を手差しトレイにセットします。

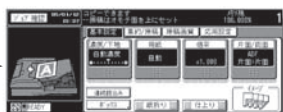
2 合紙となる用紙を、手差しトレイ以外の任意のトレイにセットします。

OHP 用紙と同じサイズの用紙をセットします。



OHP 用紙は、手差しトレイ以外のトレイには絶対にセットしないでください。トラブルの原因になります。

操作を行ったときの、タッチパネルの表示内容を確認します。



応用設定画面が表示されます。

3 ADF を閉じます。



注意

重い原稿は原稿ガラスにのせないでください。また、厚手の原稿をのせた場合、強く原稿を押さえつけないでください。原稿ガラスが割れてケガをする恐れがあります。



原稿セット方向を間違えると希望するコピーが得られないことがあります。特に両面コピー、ステープル、中折り、小冊子のときは守ってください。詳細は、p. 10-00 をごらんください。



応用設定のブック連携、イメージリピーターの画像サイズ自動検出モード、センタリング、を設定しているときは、ADF を閉じずに原稿をスキャンします。



注意

機械を安全に使用していただくための注意事項です。必ずお読みください。



詳しく説明します

操作手順や内容に関して、さらに詳しく説明しています。



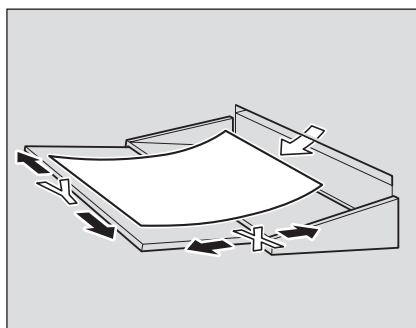
参照先を指示します。必要に応じて参照してください。

■ 原稿および用紙の呼び方と表示

本文中に出てくる原稿や用紙の呼び方と、その表示について説明します。

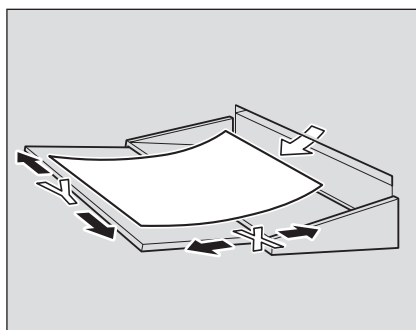
幅と長さ

原稿／用紙の大きさを表す場合、Y 辺を幅と呼び、X 辺を長さと呼びます。

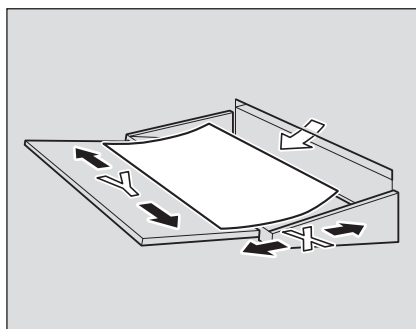


縦送り □ と横送り ▢

幅 (Y) よりも長さ (X) のほうが大きい方向にセットすることを縦送りと表現し、□ と表示します。

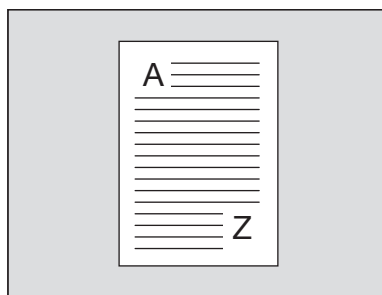


幅 (Y) よりも長さ (X) のほうが小さい方向にセットすることを横送りと表現し、▢ と表示します。

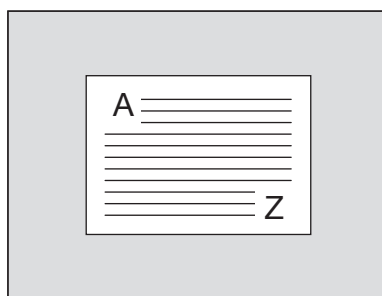


ポートレート原稿とランドスケープ原稿

原稿の天を上にするすると横送り  になる原稿をポートレート原稿と表現します。



原稿の天を上にするすると縦送り  になる原稿をランドスケープ原稿と表現します。



コピー禁止事項

本機でなにをコピーしてもよいわけではありません。
とくに法律によって、そのコピーをとるだけでも罰せられるものがありますので、次の点にご注意ください。

■ 法律によりコピーを禁止されているもの

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債、地方債証券
- 外国紙幣、証券類
- 未使用郵便切手、官製はがき類
- 政府発行の印紙、酒税法で規定されている証券類

<関係法律>

通貨及証券模造取締法

外国に於て流通する貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造に関する法律

郵便切手類模造等取締法

印紙等模造取締法

紙幣類似証券取締法

■ 著作権の対象となっているもの

書籍、絵画、写真、図面、地図、楽譜などの著作物は、個人的にまたは、家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除いてコピーは禁止されています。

■ 注意を必要とするもの

- 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行証、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうが良いと考えられます。
- 民間発行の有価証券（株券、小切手、手形等）、定期券、回数券などは事業所が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。

設置・
取扱いの
注意

第1章

設置・取扱いの注意について説明します。

安全にご使用いただくために.....	1-2
適合宣言文	1-8
注意ラベル	1-9
設置スペース	1-11
使用上のご注意	1-13

安全にご使用いただくために

製品を安全にお使いいただくため、機械の電源、設置および日常の取扱い時にぜひ守っていただきたい注意とお願いを記述しました。製品の電源を入れる前に必ずお読みください。

● このユーザーズガイドはいつでも見られる場所に大切に保管ください。

● ユーザーズガイド本文内に書かれている注意事項も必ずお守りください。

※ ご購入いただいた製品によってはこの項の内容と、一部合致しないものもありますが、ご了承ください。

■ 絵表示の意味

このユーザーズガイドおよび製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 図記号の例



この記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。記号の中に具体的な注意内容が描かれています。

例)  「高温注意」を示す図記号



この記号は禁止の行為であることを告げるものです。記号の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。

例)  「分解禁止」を表わす図記号



この記号は必ず行わなければならない行為を告げるものです。記号の中に具体的な指示内容が描かれています。

例)  「電源プラグを抜く」を表わす図記号

安全にご使用いただくために（つづき）

分解・改造について

⚠ 警告

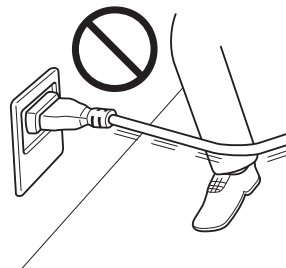
- 本製品を改造しないでください。火災・感電のおそれがあります。また、レーザーを使用している機器にはレーザー光源があり、失明のおそれがあります。
- 本製品の固定されているカバーやパネルなどは外さないでください。製品によっては、内部で高電圧の部分やレーザー光源を使用しているものがあり、感電や失明のおそれがあります。



電源コードについて

⚠ 警告

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、重いものを載せたり、加熱したり、無理にねじったり、曲げたり、引っばったりして破損させないでください。傷んだ電源コード（芯線の露出、断線等）を使用すると火災のおそれがあります。



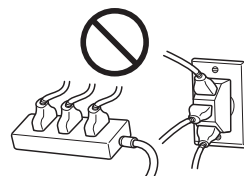
電源について

⚠ 警告

- 製品に表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。



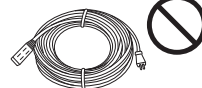
- プラグの形状とコンセントが合わない場合に変換アダプタを使用しないでください。コンセントの形状は電圧や流せる電流で決まっているため、これを守らないと火災の危険があります。また、アース接続の不良により、感電の危険もあります。プラグの形状に合うコンセントの設置を電気工事士にご依頼ください。



- コンセントが2口以上あって、この製品と他の電気製品を同時に使う場合は、事前に担当サービス技術者にご相談ください。コンセントの容量を超えて使用すると、火災の危険があります。



- 原則的に延長コードは使用しないで下さい。また、タコ足配線はしないでください。火災、感電のおそれがあります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、担当サービス技術者にご相談ください。



⚠ 注意

- コンセントはできるだけ製品のそばにあるものを利用し、そのコンセントに容易に近づけるようにしてください。火災、感電のおそれがあります。非常時に電源プラグを抜けなくなります。



電源プラグについて

⚠ 警告

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。



- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。火災、感電のおそれがあります。



⚠ 注意

- プラグを抜くときは電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



- 電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。



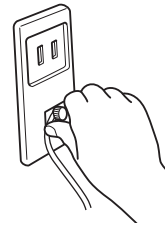
安全にご使用いただくために（つづき）

アース接続について

⚠ 警告

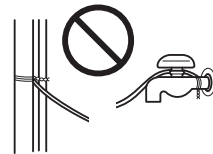
- 必ずアース接続してください。アース接続しないで、万一漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。
※ アース線の接続は電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アース線の取り外しは、必ず電源プラグをコンセントから外した後に行ってください。
アース線は、以下のいずれかの場所に取り付けるようにしてください。

- ・コンセントのアース端子
- ・接地工事を施してある接地端子（第D種）



- 次のような所には絶対にアース線を取り付けしないでください。

- ・ガスパイプ（ガス爆発の原因になります）
- ・電話専用アース線および避雷針のアース線（落雷時に大きな電流が流れ、火災・感電のおそれがあります）
- ・水道管（途中が樹脂になっていて、アースの役目を果たさない場合があります）

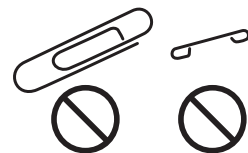


設置について

⚠ 警告

- 本製品の上に水などの入った花瓶等の容器や、クリップ等の小さな金属物などを置かないでください。こぼれて製品内に入った場合、火災、感電のおそれがあります。

万一、金属片、水、液体等の異物が本製品の内部に入った場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービス技術者にご連絡ください。



⚠ 注意

- 本製品を設置したら固定脚を使用して固定してください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。（床置き型製品の場合）



- 本製品をほこりの多い場所や調理台・風呂場・加湿器の側など油煙や湯気の当たる場所には置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。



- 本製品を不安定な台の上や傾いたところ、振動・衝撃の多いところに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



- 本製品の通風口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。



- 本製品の周囲で引火性のスプレーや液体、ガス等を使用しないでください。火災の原因となります。



換気について

注意

- 本製品を狭い部屋等で使用される場合は、定期的に部屋の換気をしてください。換気の悪い状態で長期間使用すると健康に障害を与える可能性があります。



異常が見られたら

警告

- 本製品が異常に熱くなったり、煙、異臭、異音が発生するなどの異常が発生した場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービス技術者にご連絡ください。
- 本製品を落としたり、カバーを破損した場合は、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービス技術者にご連絡ください。そのまま使用しますと、火災・感電のおそれがあります。



注意

- 本製品の内部にはやけどの原因となる高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」を促す表示がある部分（定着器周辺など）に、触れないでください。



消耗品について

警告

- トナーまたはトナーの入った容器を火中に投じないでください。トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。



注意

- トナーボトルや感光体等を子供の手の届くところに放置しないで下さい。なめたり食べたりすると健康に障害を来す原因になることがあります。
- トナーユニットや感光体ユニットは、フロッピーディスクや時計等磁気に弱いものの近くには保管しないでください。これら製品の機能に障害を与える可能性があります。



安全にご使用いただくために（つづき）

製品を移動させるときは

注意

- 本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 本製品を移動する際は必ず使用書等で指定された場所を持って移動してください。製品が落下してけがの原因となります。



長期間使用しないときは

注意

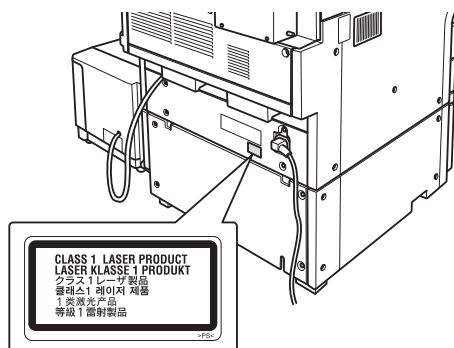
- 連休等で本製品を長期間使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



■ レーザーの安全性

この製品はクラス 3B の半導体レーザーを使用しています。このレーザーダイオードの最大出力は 10 mW で、波長は 775 ～ 800nm です。

この製品はクラス 1 レーザー製品として認定されています。レーザー光放射は保護カバーの中に完全に遮へいされていますので、この説明書に記載の指示事項を守って使用するかぎり、ユーザー使用のどの段階においても、レーザー光が機外に漏れ出すことはありません。



■ オゾン放出

本機の使用中は少量のオゾンが発生しますが、その量は人体に悪影響を及ぼさないレベルです。

ただし、換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量に印刷を行ったりする場合には臭気が気になることがあります。快適な環境を保つために、定期的な部屋の換気をお勧めします。

■ 電波障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

この装置は、シールドタイプのインターフェースケーブルおよびネットワークケーブルを使用して下さい。ノンシールドケーブルを使用するとラジオやテレビジョン受信機の受信障害を引き起こすことがあり、VCCI で禁止されています。

■ JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

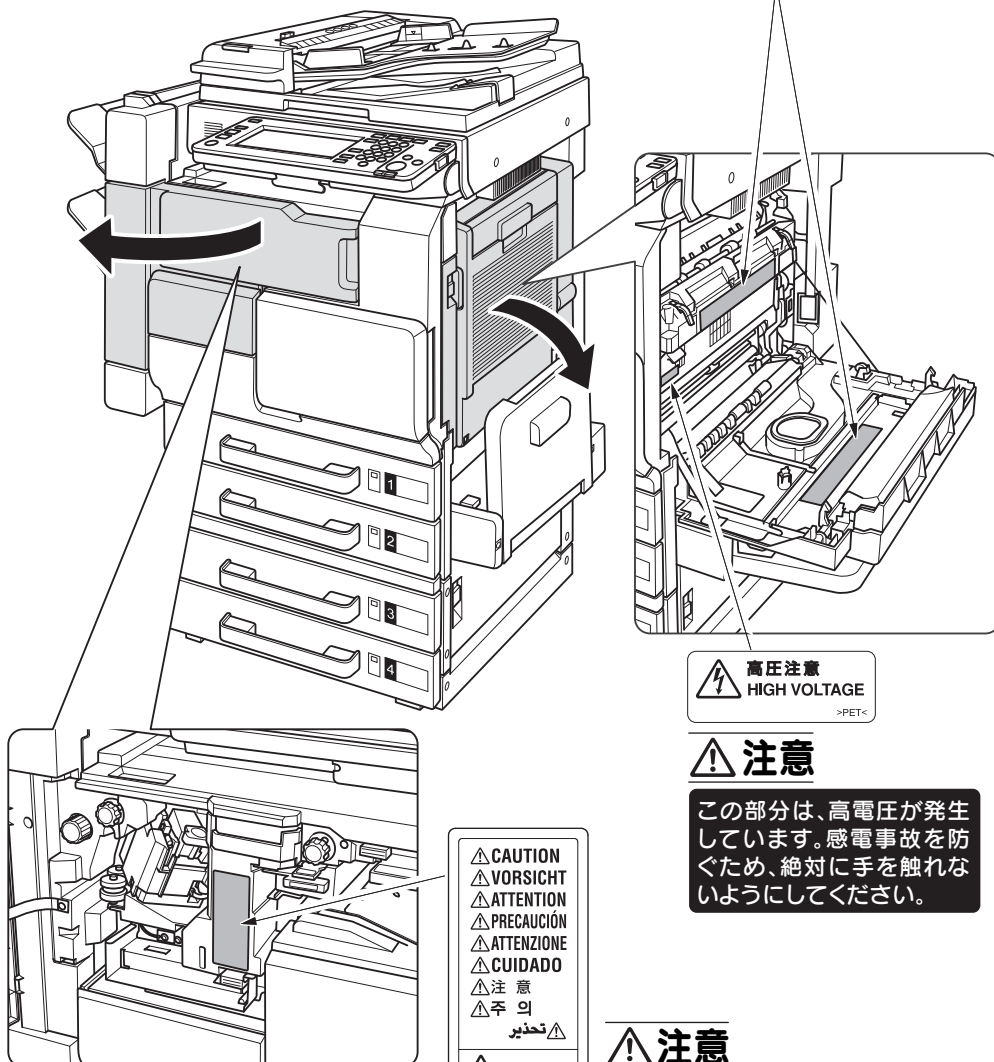
注意ラベル

本機には以下に示す位置に安全に関する注意ラベルがあります。
紙づまり処理時などに事故のないようご注意ください。

⚠ 注意

定着部周辺は、高温
になっています。
火傷の恐れがありま
すので、触れないよ
うにしてください。

⚠ CAUTION	⚠ VORSICHT	⚠ ATTENTION	⚠ PRECAUCIÓN	⚠ CUIDADO
High Temperature!	Heiße Oberfläche!	Température élevée!	Temperatura alta!	Alta temperatura!
⚠ ATTENZIONE	تحذير ⚠	⚠ 注意	⚠ 注意	⚠ 주의
Alta temperatura!	حرارة عالية	高温!	高温!	고온!



⚡ 高圧注意
HIGH VOLTAGE
▶PET◀

⚠ 注意

この部分は、高電圧が発生
しています。感電事故を防
ぐため、絶対に手を触れな
いようにしてください。

⚠ CAUTION
⚠ VORSICHT
⚠ ATTENTION
⚠ PRECAUCIÓN
⚠ ATTENZIONE
⚠ CUIDADO
⚠ 注意
⚠ 주의
⚠ تحذير ⚠



⚠ 注意

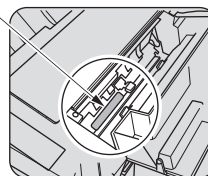
この部分は、高温になっています。
火傷の恐れがありますので、触れな
いようにしてください。

フィニツシャFS-510



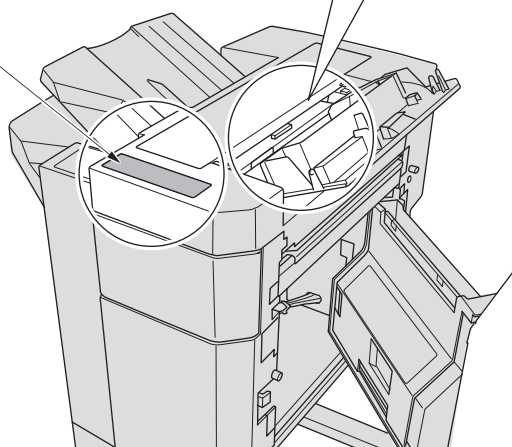
⚠ 注意

この部分は高温になっています。火傷の恐れがありますので、触れないようにしてください。



⚠ 注意

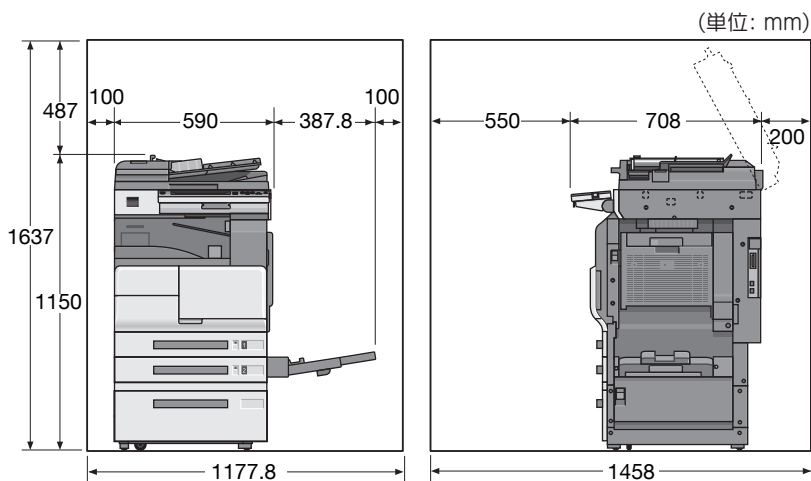
トレイ2(メイントレイ)に積載された用紙を取り出すとき、用紙の上に手をおいたままにしないでください。上昇するトレイと本体との間に指をはさむなど思わぬ事故になることがあります。



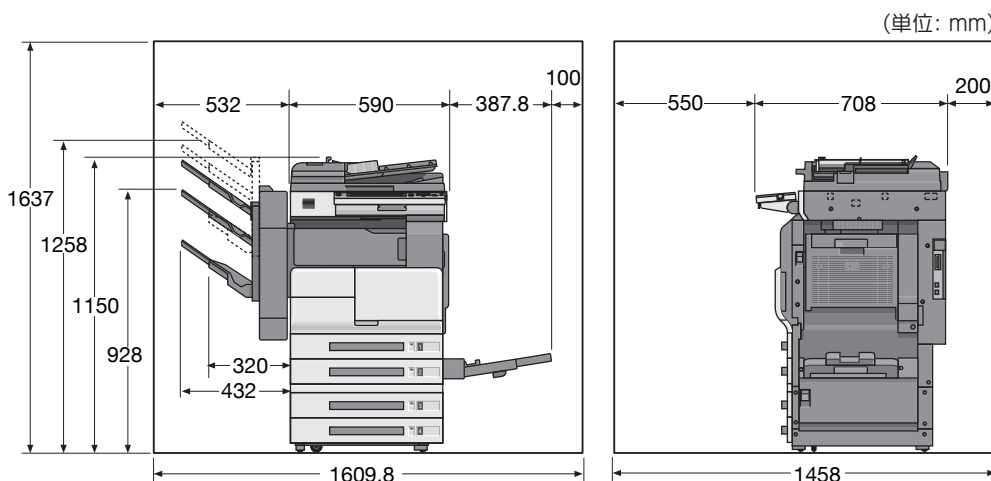
フィニツシャFS-511

設置スペース

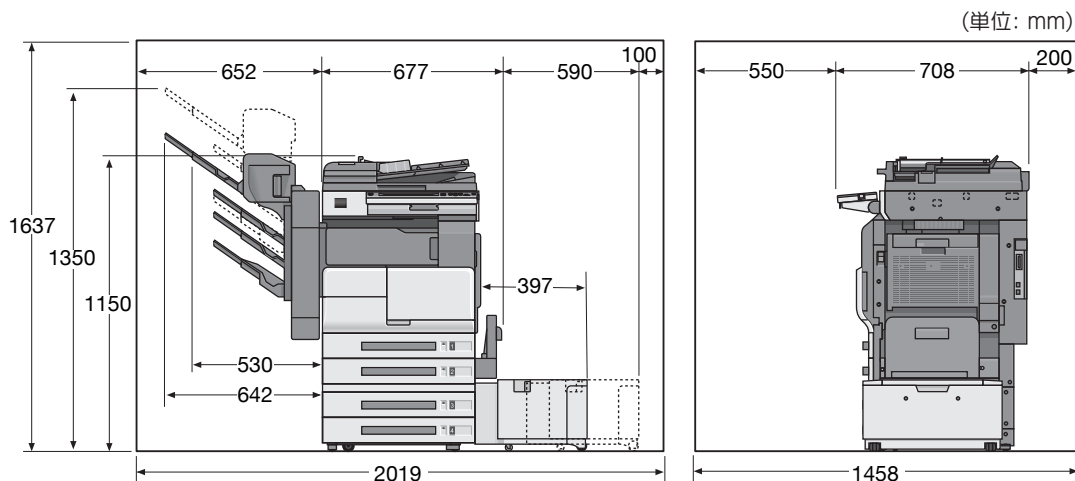
プリント操作、消耗品の補給、交換、定期点検が容易に行えるよう、十分な設置スペースをお取りください。



機械本体 + 専用デスクDK-501

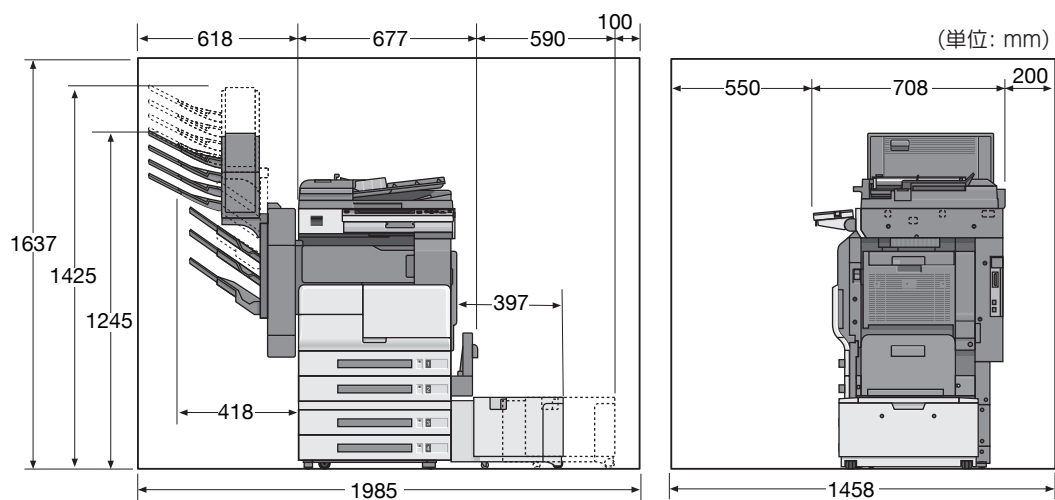


機械本体+給紙キャビネットPC-202+フィニッシャFS-510

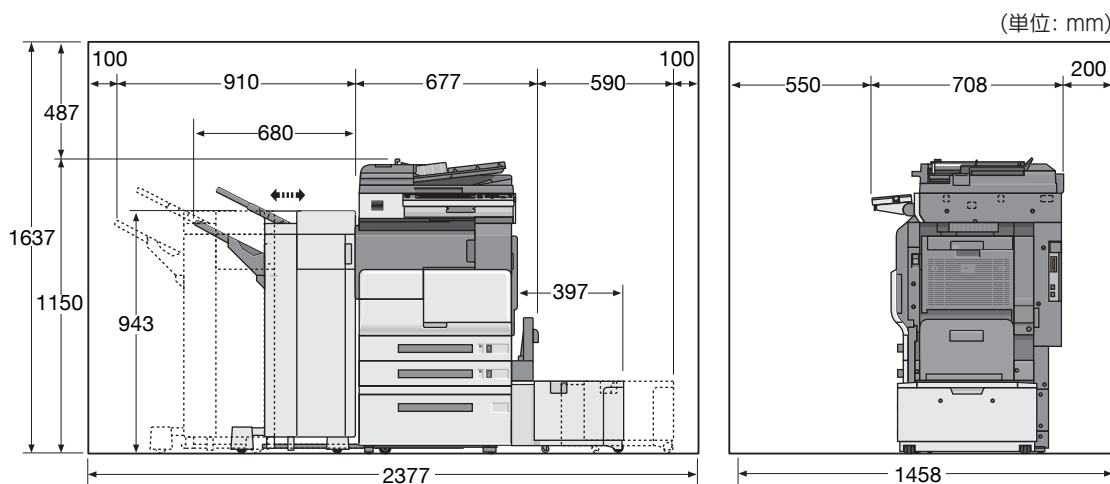


機械本体+給紙キャビネットPC-202+フィニッシャFS-510
+中綴じ機SD-502+大容量給紙ユニットLU-201

設置スペース (つづき)



機械本体+給紙キャビネットPC-202+フィニッシャFS-510
+メールピンキットMT-501+大容量給紙ユニットLU-201



機械本体+給紙キャビネットPC-402+フィニッシャFS-511
+大容量給紙ユニットLU-201

使用上のご注意

本機を最良の状態でご使用いただくために、次の点にご注意ください。

■ 設置電源

設置電源には以下の条件の電源を使用してください。

- 使用する電源は、電圧および周波数の変動が少ないものを使用してください。
電圧： AC 100 V
周波数： 50 Hz/60 Hz

■ 使用環境

いつも良い条件でご使用いただける環境の範囲は、以下の条件です。

- 使用温度 10℃ ～ 30℃
- 湿度 10% ～ 80%

■ トナーカートリッジの取扱いについて

トナーカートリッジを取り扱う場合、以下の項目をよく読み、取扱いには十分に注意してください。

- トナーカートリッジは、無理に開けたりしないでください。
トナーが漏れ出した場合には、トナーの吸引および皮膚接触を極力避けてください。
- トナーが服や手についた場合には、石鹸を使って水でよく洗い流してください。
- トナーを吸入した場合には、新鮮な空気のある場所へ移動し、大量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状がでるようであれば、医師の診察を受けてください。
- トナーが目に入った場合には、ただちに流水で 15 分以上洗い流してください。刺激が残るようであれば、医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合には、口の中をよくすすぎ、コップ 1、2 杯の水をお飲みください。必要に応じて医師の診察を受けてください。
- トナーカートリッジは、幼児や子供の手の届かないところに保管してください。

■ コピーの保存について

- 長期間保存される場合は、光による退色を防ぐため光の当たらないところに保管してください。
- コピーされたものを貼る場合、溶剤入りの接着剤（スプレーのりなど）を使用すると、トナーが溶けることがあります。

ご使用いただく前に

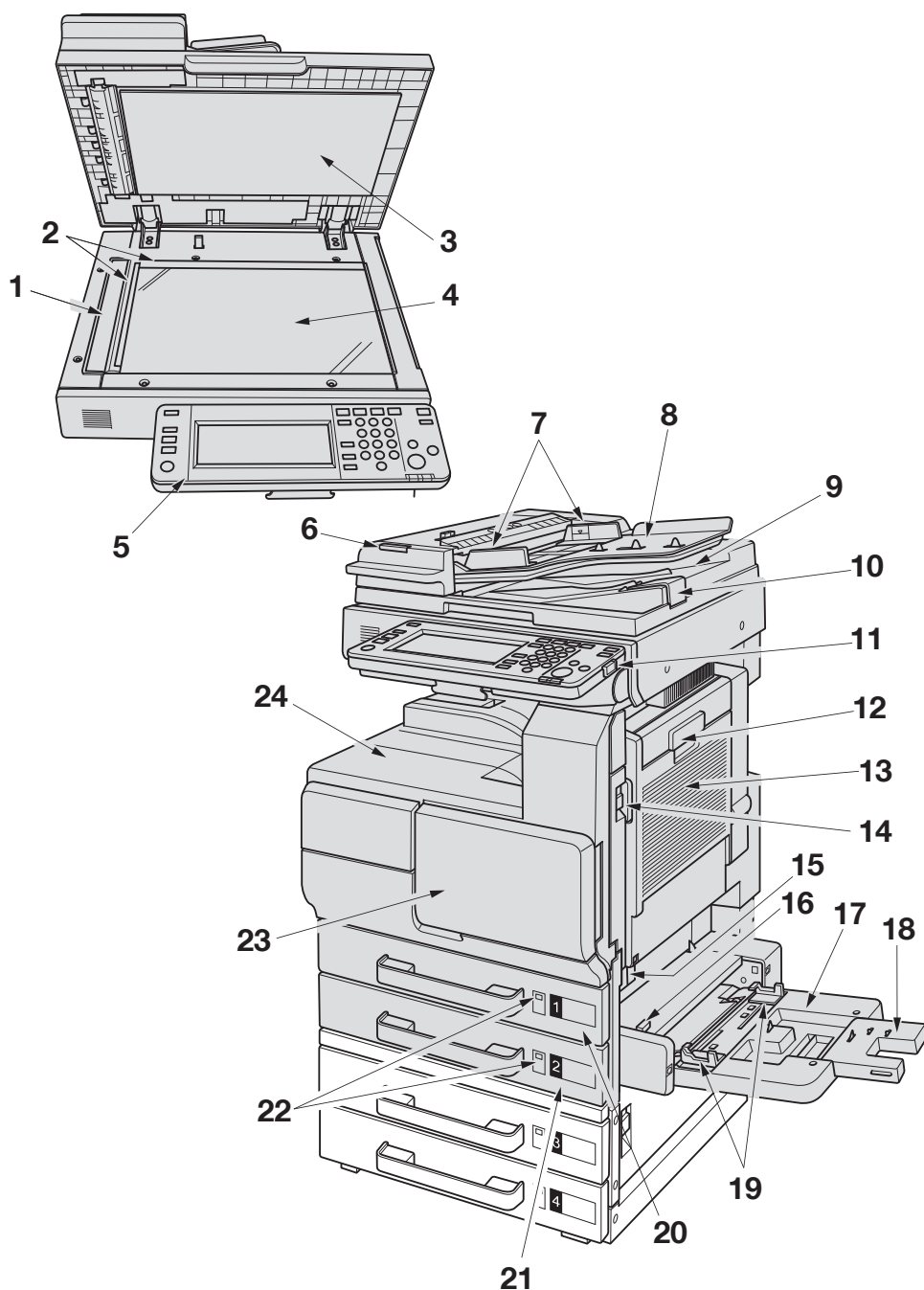
第2章

ご使用いただく前に知っておきたいことから
について説明します。

各部の名称とはたらき	2-2
操作パネルの角度を変える	2-26
電源を入れる／切る	2-28
パワーセーブランプが点灯する	2-32
ユーザ認証／部門認証をもとめられたとき	2-38
用紙を補給する	2-45
併用できないコピー操作	2-58

各部の名称とはたらき

■ 本体外部



No	名 称	説 明
1	原稿読取りガラス	ADF にセットした原稿を読込みます。
2	原稿スケール	原稿ガラスに原稿をセットするとき、指標として使用します。

各部の名称とはたらき（つづき）

No	名 称	説 明
3	原稿押さえパッド	原稿ガラス上にセットした原稿を押さえます。
4	原稿ガラス	コピーする面を下にしてセットした原稿を読み込みます。
5	操作パネル	本機の各種設定、動作スタートなどの操作をします。詳細は、p. 2-20 をごらんください。
6	機械状態表示ランプ	本機の状態をグリーンと赤のランプの点灯、点滅で表示します。
7	原稿ガイド	セットした原稿に沿わせます。
8	原稿給紙トレイ	読み込む原稿を上向きにセットします。
9	原稿排紙トレイ	読み込まれた原稿が排紙されます。
10	原稿ストッパ	大きいサイズの原稿が原稿排紙トレイから落ちないように、立てて使用します。
11	副電源スイッチ	コピー、スキャニングの機能をオン／オフします。オフにすると、プリント、ファクスのデータ受信、出力機能以外はオフになり、節電状態になります。
12	ADU ドア解除レバー	両面ユニット内の紙づまりのとき、手前に引き出して両面ユニットドアを開きます。
13	ADU ドア	両面ユニット内で紙づまりをした用紙を取り出すときに開きます。
14	右ドア解除レバー	右ドアを開くとき、手前に引き出します。
15	縦搬送ドア解除レバー	紙づまりのとき、右にスライドさせて縦搬送ドアを開きます。
16	手差しスライドカバーレバー	紙づまりのとき、持って手差しスライドカバーを手前に引き出します。
17	手差しトレイ	ほかのトレイにセットされていない用紙や、ほかのトレイにはセットできない用紙（厚紙、OHP フィルム、官製はがき、封筒、ラベル用紙など）にプリントするときに開いて使用します。
18	補助トレイ	手差しトレイに大きいサイズの用紙をセットするときに開きます。
19	ガイド板	セットした用紙に沿わせます。
20	第 1 給紙トレイ	A3 ～ A5 の用紙を 550 枚（64g/m ² 紙）セットできます。
21	第 2 給紙トレイ	A3 ～ A5 の用紙を 550 枚（64g/m ² 紙）セットできます。
22	用紙残量窓	給紙トレイにセットされている用紙の残量を表示します。用紙が減るにつれて赤い表示が増えます。
23	前ドア	トナーカートリッジの交換や書込みユニット／帯電ワイヤを清掃するときに開きます。詳細は、p. 10-5 および p. 12-4 をごらんください。
24	排紙トレイ	プリントされた用紙が排紙されます。

各部の名称とはたらき

操作パネルの角度を変える

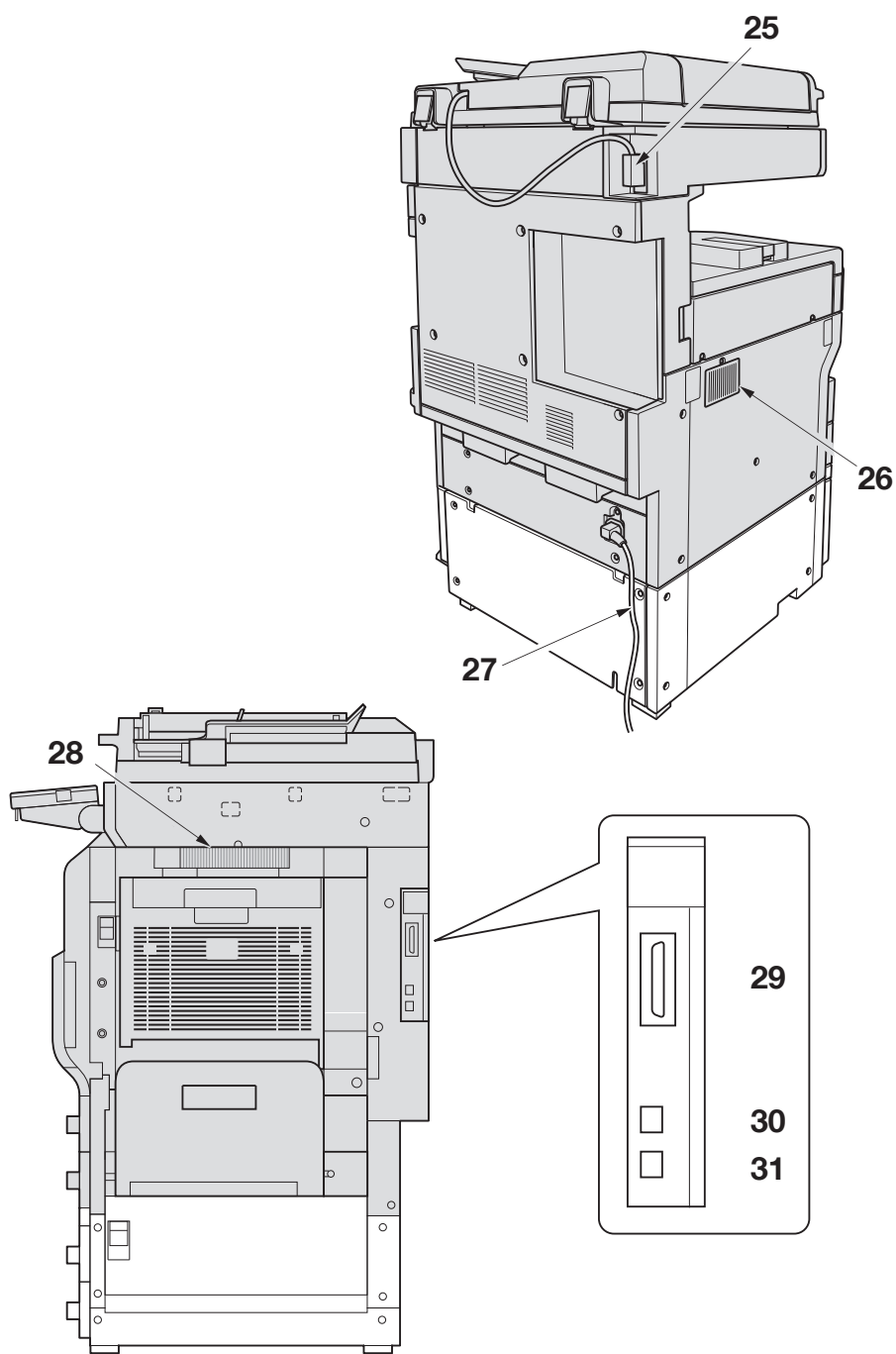
電源を入れる／切る

パワーセーブランプが点灯する

ユーザ認証／部門認証をもちめられたとき

用紙を補給する

併用できないコピー操作



各部の名称とはたらき（つづき）

No	名 称	説 明
25	ADF 用コネクタ	ADF のコードを接続します。
26	トナーフィルタ	機内で発生したトナー粉などを回収します。
27	電源コード	本機に電源を供給します。
28	排気ダクト	機械の排熱を放出します。
29	IEEE1284 ポート（タイプ C）	パラレルケーブルで PC と本機を接続するときに使用します。
30	USB ポート（タイプ B） USB 2.0/1.1 準拠	USB ケーブルで PC と本機を接続するときに使用します。
31	ネットワーク用ポート （10Base-T/100Base-TX）	本機をネットワークプリンタやネットワークスキャナとして使用するため、ローカルネットにネットワークケーブルで接続するときに使用します。

各部の名称とはたらき

操作パネルの角度を変える

電源を入れる／切る

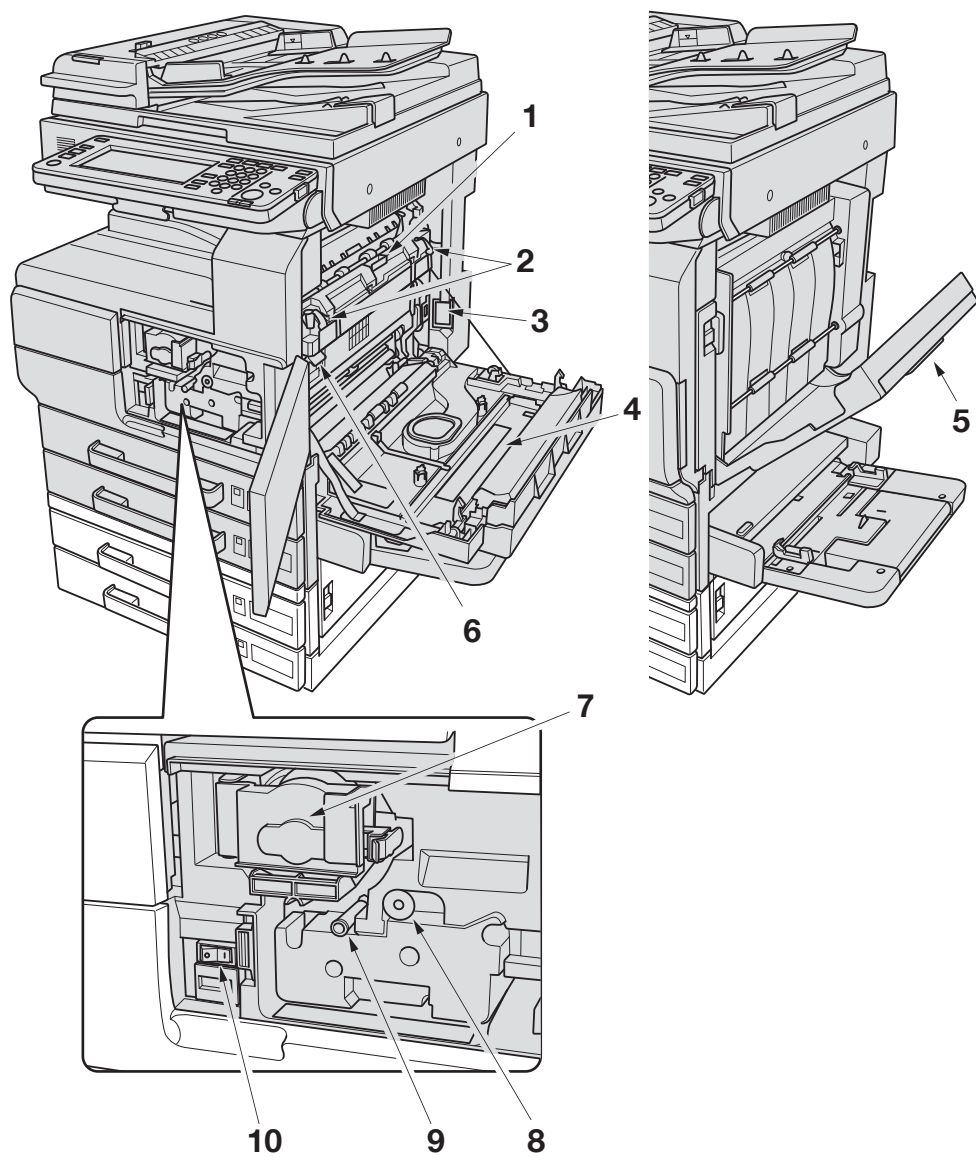
パワーセーブランプが点灯する

ユーザ認証／部門認証をもちめられたとき

用紙を補給する

併用できないコピー操作

■ 本体内部



各部の名称とはたらき（つづき）

No	名 称	説 明
1	定着ガイドレバー	紙づまりのとき、持って定着ガイドを開きます。
2	封筒レバー	封筒にプリントするとき上に上げます。
3	オゾンフィルタ	機内で発生したオゾンを回収します。
4	反転ユニット	両面プリントするとき、本機の内部で用紙を反転させます。
5	ADU レバー	紙づまりのとき、持って ADU を開きます。
6	搬送ガイドレバー	紙づまりのとき、持って搬送ガイドを開きます。
7	トナーカートリッジカバー	トナーカートリッジ交換時、トナーカートリッジを引き出すために開きます。
8	帯電ワイヤ清掃レバー	帯電ワイヤを清掃するときに引き出します。
9	書込みユニットガラス清掃レバー	書込みユニットガラスを清掃するときに引き出します。
10	主電源スイッチ	本機の電源をオン／オフします。

各部の名称とはたらき

操作パネルの角度を変える

電源を入れる／切る

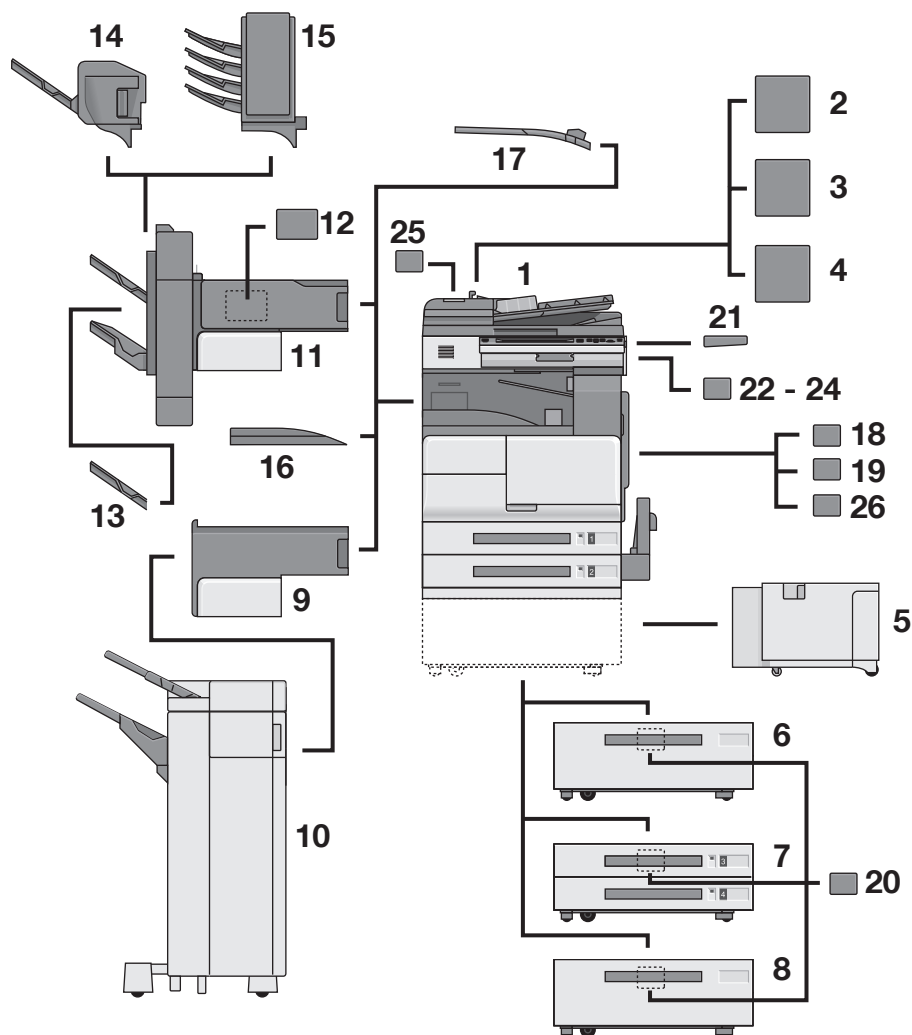
パワーセーブランプが点灯する

ユーザ認証／部門認証をもちめられたとき

用紙を補給する

併用できないコピー操作

■ オプション構成



No	名 称	説 明
1	本体	スキャナ部、プリント部、ADF部、給紙部（トレイ2段+手差しトレイ）で構成されています。
2	ハンドセット HS-501	本機で電話回線の通話をするときに取り付けます。ファクスキット FK-502 を取り付けただけ使用できるオプションです。
3	ファクスキット取り付けキット MK-708	ファクスキットを取り付けるときに使用します。
4	回線拡張キット ML-503	ファクス専用の電話回線を増設する場合に取り付けます。
5	大容量給紙ユニット LU-201	2,100 枚（64g/m ² 紙）までの用紙をセットできます。

各部の名称とはたらき（つづき）

No	名 称	説 明
6	専用デスク DK-501	本機を上のにのせてフロアに設置します。資材などを収納できます。
7	給紙キャビネット PC-202	2 段のトレイで構成され、各 550 枚（64g/m ² 紙）までの用紙をセットできます。
8	給紙キャビネット PC-402	2,500 枚（80g/m ² 紙）までの用紙をセットできます。
9	中継搬送ユニット RU-502	本体とフィニッシャ FS-511 の用紙経路を中継します。
10	フィニッシャ FS-511	プリントされた用紙が排紙されます。仕上り機能としてソート、グループ、オフセットソート、オフセットグループ、ステープル、パンチを選択できます。
11	フィニッシャ FS-510	プリントされた用紙が排紙されます。仕上り機能としてソート、グループ、オフセットソート、オフセットグループ、ステープルを選択できます。
12	パンチユニット PU-501	フィニッシャ FS-510 に装着して、パンチ出力ができます。
13	排紙トレイ OT-601	フィニッシャ FS-510 に増設可能な排紙トレイです。
14	中綴じ機 SD-502	フィニッシャ FS-510 に装着して、中折り、中とじ出力ができます。
15	メールピンキット MT-501	フィニッシャ FS-510 に装着して、PC プリント出力時に個人やグループごとにピンを割り当てて、出力用紙を仕分けることができます。
16	排紙トレイ OT-501	フィニッシャを装着しないとき、本体に取り付ける排紙トレイです。
17	セパレータ JS-502	プリントされた用紙を仕分けることができます。
18	イメージコントローラ IC-204	本機をネットワークプリンタやネットワークスキャナとして使用するとき装着します。
19	ハードディスク HD-505	原稿読み込み枚数を増やしたり、複数ジョブの読み込みをするためにセットします。また、オプションの I-FAX に増設することができます。
20	防湿ヒータ 1C	給紙キャビネットに取り付けて、セットされている用紙の湿気を防止します。（専用デスクにも取付け可）
21	ワーキングテーブル	原稿などを一時的に置くことができます。
22	キーカウンタ	出力枚数の管理をするときに本機にセットします。
23	キーカウンタキット	キーカウンタを使用するために必要なキットです。
24	キーカウンタ取り付けキット	キーカウンタキットを取り付けるのに必要なキットです。
25	ファクス済みスタンプユニット SP-501	ADF に取り付けて使用します。ファクス送信時、読取りが完了した原稿にファクス済みスタンプを付けます。
26	セキュリティキット SC-502	ハードディスクに保存されるデータを暗号化し、より安全にハードディスクを使用できます。

各部の名称とはたらき

操作パネルの角度を変える

電源を入れる／切る

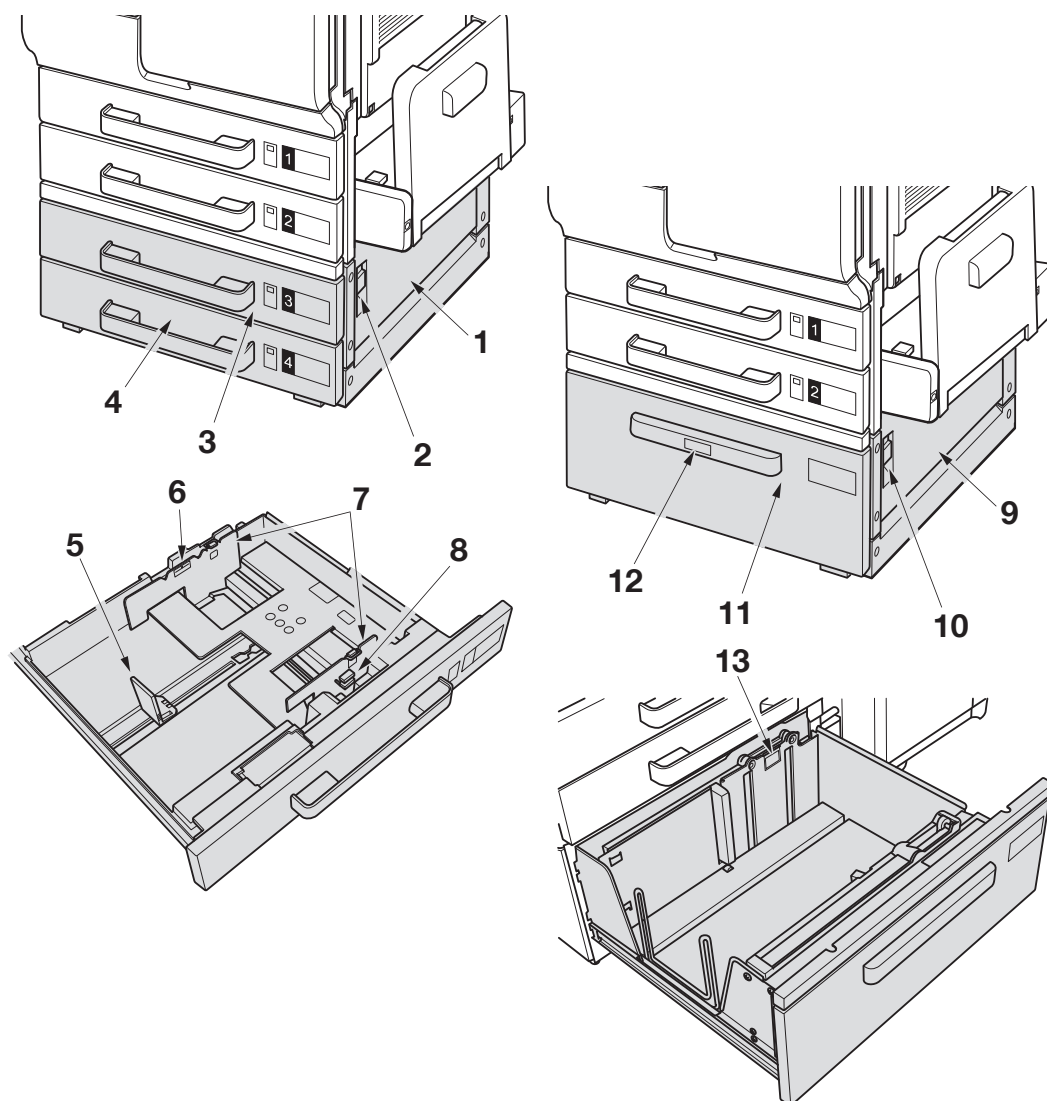
パワーセーブランプが点灯する

ユーザ認証／部門認証をもとめられたとき

用紙を補給する

併用できないコピー操作

■ 給紙キャビネット PC-202 / PC-402



各部の名称とはたらき（つづき）

給紙キャビネット PC-202

No	名 称	説 明
1	右下ドア	紙づまりのとき、開いてつまった用紙を処理します。
2	右下ドア解除レバー	紙づまりのとき、右に開いてつまった用紙を処理します。
3	第3給紙トレイ	A3～A5の用紙を550枚（64g/m ² 紙）セットできます。
4	第4給紙トレイ	A3～A5の用紙を550枚（64g/m ² 紙）セットできます。
5	後端ストッパ	セットした用紙の後端側に沿わせます。
6	用紙積載制限マーク（▼）	用紙の積載制限の高さを表示しています。
7	ガイド板	セットした用紙の両側面に沿わせます。
8	ガイド板ロック解除レバー	ガイド板をスライドさせるとき、奥側に押してロックを解除します。

各部の名称とはたらき

操作パネルの角度を変える

電源を入れる／切る

パワーセーブランプが点灯する

ユーザ認証/部門認証をもちめられたとき

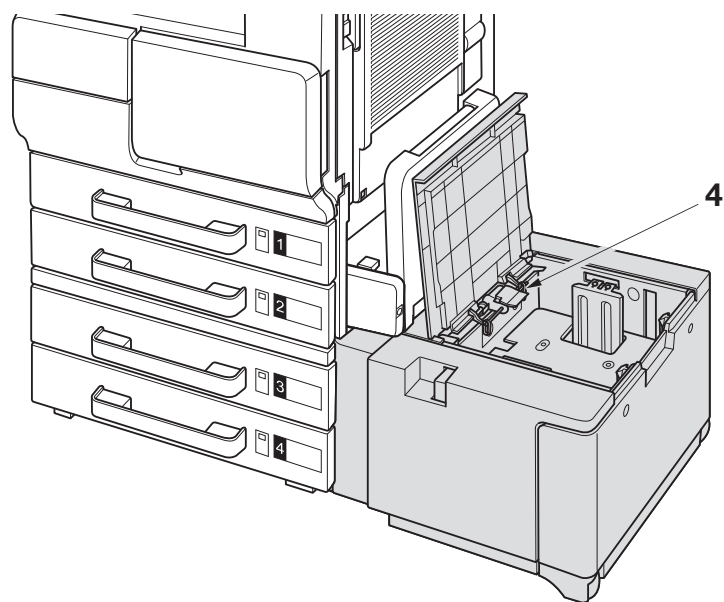
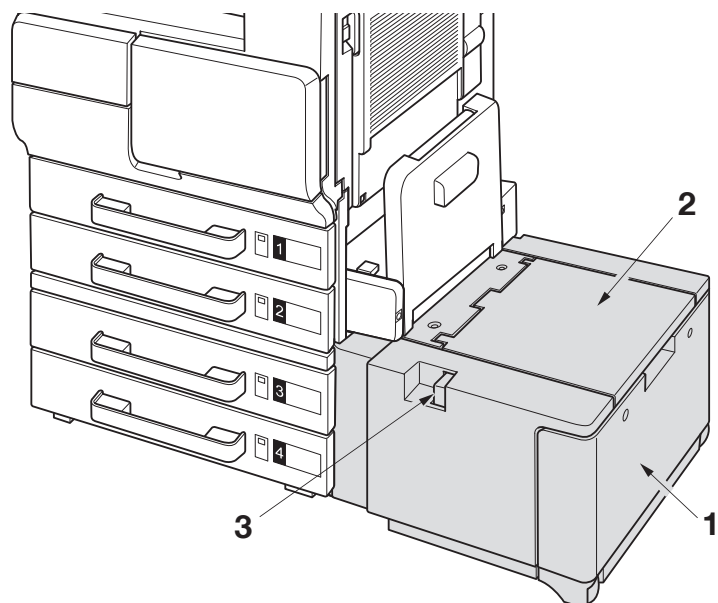
用紙を補給する

併用できないコピー操作

給紙キャビネット PC-402

No	名 称	説 明
9	右下ドア	紙づまりのとき、開いてつまった用紙を処理します。
10	右下ドア解除レバー	紙づまりのとき、右に開いてつまった用紙を処理します。
11	大容量給紙トレイ	A4専用の大容量給紙トレイです。用紙を2,500枚（80g/m ² 紙）セットできます。
12	トレイ引出し解除キー	大容量給紙トレイを引き出すときに押します。
13	用紙積載制限マーク（▼）	用紙の積載制限の高さを表示しています。

■ 大容量給紙ユニット LU-201

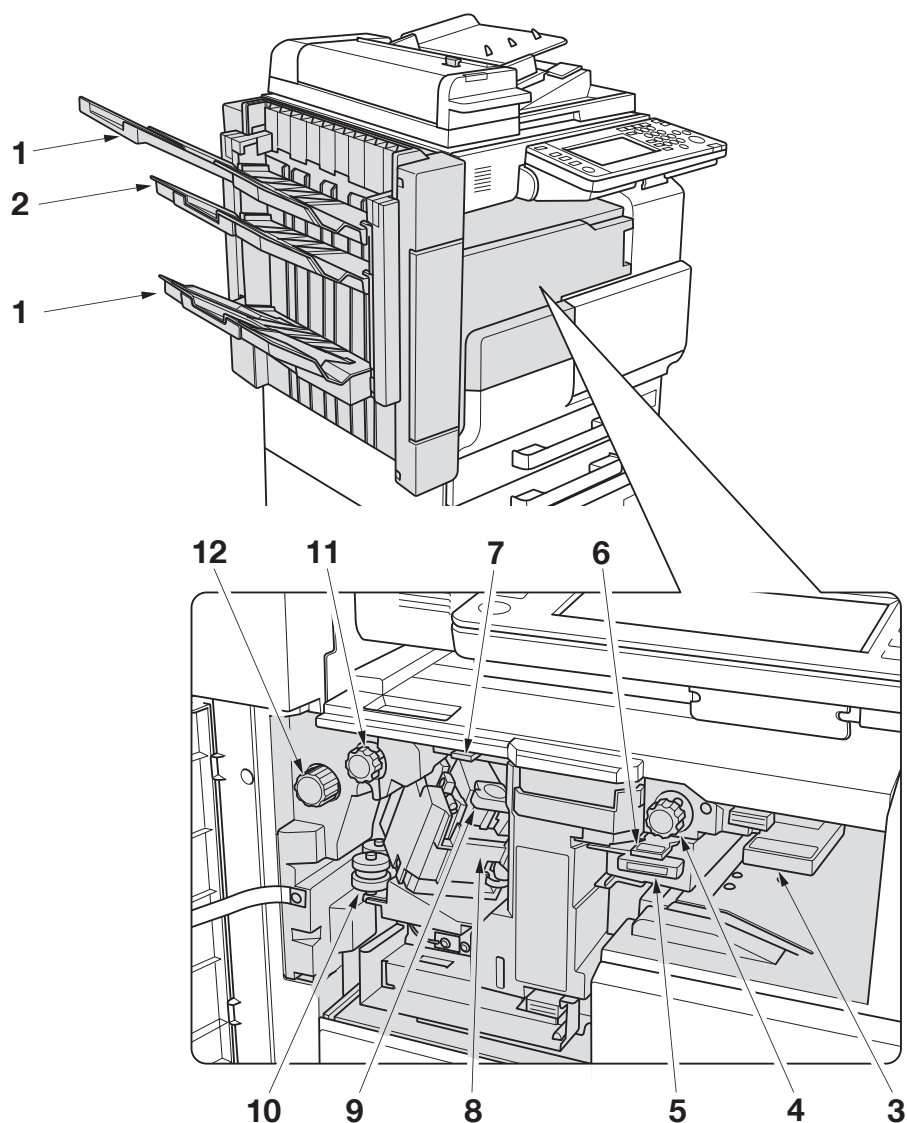


大容量給紙ユニットに足をかけてのったり、物を載せたりしないでください。故障の原因になります。

各部の名称とはたらき（つづき）

No	名 称	説 明
1	大容量給紙ユニット	A4 専用の大容量給紙ユニットです。用紙を 2,100 枚 (64g/m ² 紙) セットできます。
2	上ドア	用紙を補給したり、紙づまりのときに開けて処理します。
3	引出し解除レバー	紙づまりのとき、持って大容量給紙ユニットを右側にスライドさせます。
4	給紙ローラ	用紙を 1 枚ずつ本体に送り込みます。

■ フィニッシャ FS-510 / 排紙トレイ OT-601 / パンチユニット PU-501



フィニッシャ排紙トレイの下にものを置かないでください。ぶつかるなどして故障の原因になります。

各部の名称とはたらき（つづき）

No	名 称	説 明
1	排紙トレイ	用紙が排紙されます。
2	増設排紙トレイ (排紙トレイ OT-601 オプション)	用紙が排紙されます。
3	ガイド (FN1)	紙づまりのとき、押し下げてつまった用紙を処理します。
4	つまみ (FN2)	紙づまりのとき、回してつまった用紙を処理します。
5	パンチくず箱 (パンチユニット PU-501 オプション)	パンチくずがたまります。引き出してパンチくずを捨てます。
6	ガイド (FN3)	紙づまりのとき、パンチくず箱を引き出したあと、押し下げてつまった用紙を処理します。
7	ガイド (FN4)	紙づまりのとき、押し下げてつまった用紙を処理します。
8	ステーブラ	用紙にステープルを打ち込みます。
9	ステープルホルダ	ステープル針を収納しています。ステープル針を補給したり、針づまりのときステーブラから取り出して処理します。
10	ダイアル	針づまりや針補給のとき、ステーブラを手前に移動させます。
11	つまみ (FN5)	紙づまりのとき、回してつまった用紙を処理します。
12	つまみ (FN6)	紙づまりのとき、回してつまった用紙を処理します。

各部の名称とはたらき

操作パネルの角度を変える

電源を入れる／切る

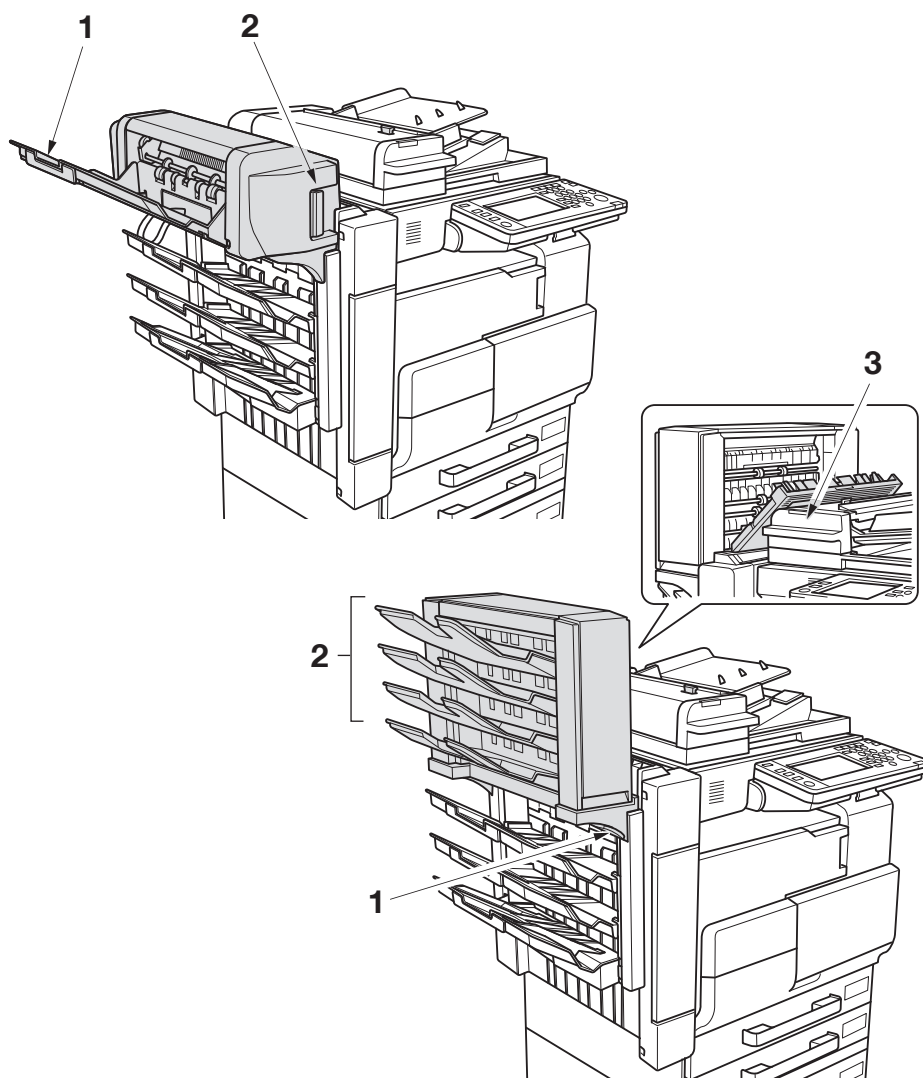
パワーセーブランプが点灯する

ユーザ設定/部門認証をもちめられたとき

用紙を補給する

併用できないコピー操作

■ 中綴じ機 SD-502 / メールビンキット MT-501



必ず守ってください

フィニッシャは排紙されるトレイによってトレイ全体が上下します。中綴じ機やメールビンが取り付けられていると上下の動きが大きいので、フィニッシャの上部や下部に物があると、ぶつかるなどして故障の原因になります。物が無いことを必ず確認してください。中綴じ機やメールビンの上に物をのせたり、もたれかかったりしないでください。故障の原因になります。

各部の名称とはたらき（つづき）

中綴じ機 SD-502

No	名 称	説 明
1	サドルトレイ	用紙が排紙されます。
2	中綴じ機解除レバー	紙づまりのとき、左にスライドさせてつまった用紙を処理します。

メールビンキット MT-501

No	名 称	説 明
1	メールビン下レバー	紙づまりのとき、下に開いてつまった用紙を処理します。
2	メールビン	プリントされた用紙が仕分けされて排紙されます。
3	メールビン横ドア	紙づまりのとき、右に開いてつまった用紙を処理します。

各部の名称とはたらき

操作パネルの角度を変える

電源を入れる／切る

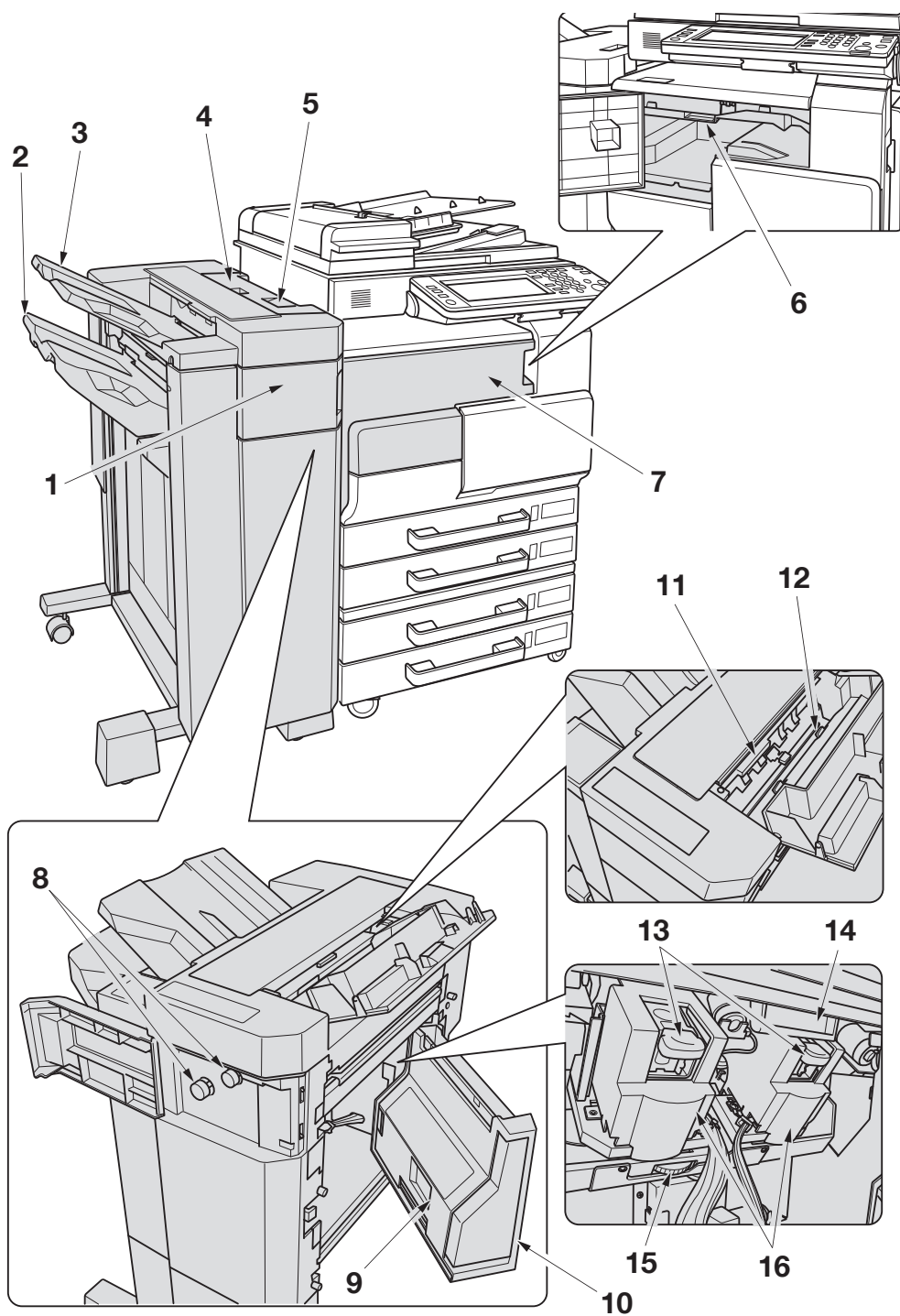
パワーセーブランプが点灯する

ユーザ認証／部門認証をもちめられたとき

用紙を補給する

併用できないコピー操作

■ フィニッシャ FS-511 / 中継ユニット RU-502



各部の名称とはたらき（つづき）



フィニッシャ排紙トレイの下にものを置かないでください。ぶつかるなどして故障の原因になります。
フィニッシャを移動させるときは排紙トレイを持たないようにしてください。トレイが壊れたり、機械故障の原因になります。

No	名 称	説 明
1	フィニッシャ前ドア（FN4）	紙づまりのとき、開けて処理します。
2	メイン排紙トレイ（トレイ2）	プリントされた用紙が排紙されます。
3	サブ排紙トレイ（トレイ1）	プリントされた用紙が排紙されます。
4	フィニッシャ上ドア（FN1）	紙づまりのとき、開けてつまった用紙を処理します。
5	引出し取手	紙づまり、ステープル針の補給、パンチくず処理のときなどフィニッシャを本体から離すとき、持ってフィニッシャを左にスライドさせます。
6	中継搬送ユニットレバー	紙づまりのとき、開いてつまった用紙を処理します。
7	中継搬送ユニット前ドア	紙づまりのとき、開いて処理します。
8	つまみ（FN5）	紙づまりのとき、回してつまった用紙を処理します。
9	パンチくず箱	パンチくずがたまります。取り出してパンチくずを捨てます。
10	フィニッシャ右ドア（FN7）	パンチくず処理、針づまり処理、ステープル針の補給のときに開きます。
11	ガイド板（FN3）	紙づまりのとき、開いてつまった用紙を処理します。
12	ガイド板（FN2）	紙づまりのとき、開いてつまった用紙を処理します。
13	ステープルホルダ	ステープル針を収納しています。ステープル針を補給したり、針づまりのときステープラから取り出して処理します。
14	ガイド板（FN8）	紙づまりのとき、開いてつまった用紙を処理します。
15	ダイヤル	針づまりや針補給のとき左に回してステープラを中央に移動させます。
16	ステープラ	用紙にステープルを打ち込みます。

各部の名称とはたらき

操作パネルの角度を変える

電源を入れる／切る

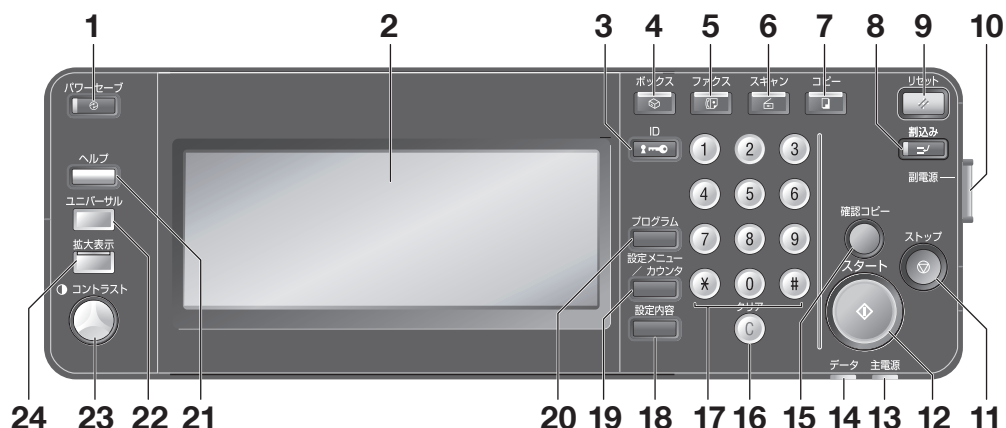
パワーセーブランプが点灯する

ユーザ認証／部門認証をもとめられたとき

用紙を補給する

併用できないコピー操作

■ 操作パネル



No	名 称	説 明
1	パワーセーブキー	【パワーセーブ】が点灯しているとき、機械を使用できるようにするとき押します。また、手でパワーセーブを機能させるときに押します。
2	タッチパネル	各設定画面やメッセージが表示されます。タッチパネルに直接タッチして各設定を行います。
3	ID キー	ユーザ認証および部門管理を設定している場合、ユーザ名とパスワード（ユーザ認証）、部門名とパスワード（部門管理）を入力したあとにこのキーを押すと、本機が使用できるようになります。
4	ボックスキー	ボックス機能に切替わります。ボックス機能中は【ボックス】が緑色に点灯します。詳細は「ユーザズガイド ボックス機能編」をごらんください。
5	ファクスキー	ファクス機能に切替わります。ファクス機能中は【ファクス】が緑色に点灯します。詳細は「ユーザズガイド ファクシミリ機能編」をごらんください。
6	スキャンキー	スキャン機能に切替わります。スキャン機能中は【スキャン】が緑色に点灯します。詳細は「ユーザズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。
7	コピーキー	コピー機能に切替わります。（初期設定ではコピー機能が選択されています。）コピー機能中は【コピー】が緑色に点灯します。
8	割込みキー	コピー、プリンタ、スキャナ作業中、他の設定で作業したいときに押します。選択されたときは、【割込み】が緑色に点灯します。
9	リセットキー	操作パネルやタッチパネルで設定した全ての設定がリセットされます。（登録されている設定はリセットされません。）

各部の名称とはたらき（つづき）

No	名 称	説 明
10	副電源スイッチ	コピー、スキャンの機能をオン／オフします。オフにすると、プリント、ファクス機能はオフにならず、節電状態になります。
11	ストップキー	機械の動作を停止したいときに押します。
12	スタートキー	コピーや各機能を開始するときに押します。コピーを開始できる状態のときは【スタート】が緑色に点灯します。【スタート】がオレンジ色に点灯しているときはコピーを開始できません。
13	主電源ランプ	主電源がオンになっているとき緑色に点灯します。
14	データランプ	プリントジョブを受信中は、緑色に点滅します。プリントジョブのプリント待ちやプリント中は、緑色に点灯します。
15	確認コピーキー	複数部数のコピーを行うとき、1部出力して仕上りを確認するときに押します。
16	クリアキー	テンキーで入力した数値（コピー部数、倍率など）を変更するときに押します。
17	テンキー	コピー部数の設定、倍率の設定など各種の設定値を入力するときに押します。
18	設定内容キー	現在設定されているコピー条件を確認する設定内容画面を表示させるときに押します。
19	設定メニュー／カウンタキー	設定メニュー画面やセールスカウンタを表示させるときに押します。
20	プログラムキー	任意のコピー条件を登録したり、登録したコピー条件を呼び出すときに押します。
21	ヘルプキー	コピー操作方法や機能を説明するヘルプ画面を表示させるときに押します。
22	ユニバーサルキー	操作パネルやタッチパネルの操作性を変更するときに押します。
23	コントラスト調整ダイヤル	タッチパネルの輝度調整を行うときに回します。
24	拡大表示キー	拡大表示画面と標準表示画面の切換えをするときに押します。

各部の名称とはたらき

操作パネルの角度を変える

電源を入れる／切る

パワーセーブランプが点灯する

ユーザ認証／部門認証をもとめられたとき

用紙を補給する

併用できないコピー操作



必ず守ってください

先のとがったものでタッチパネルを押したり、タッチパネルに強い力を加えると、傷が付いたり破損の原因になります。そのようなことはしないでください。

■ 基本設定画面（表示アイコン）

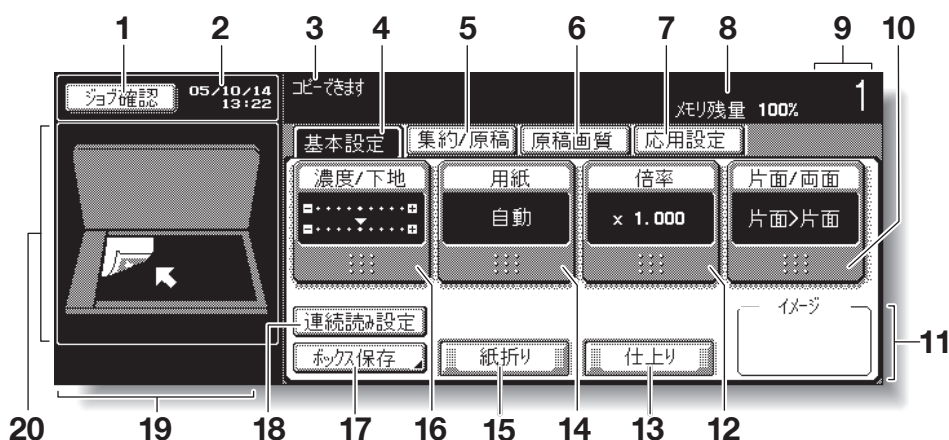
電源を入れてコピー可能な状態になると、基本設定画面が表示されます。画面内に表示されたキーを押すと、表示された機能やモードを設定できます。

基本設定画面は2種類あります。（TYPE1 / TYPE2）

この2つの画面は、各機能の設定画面の階層やキーの配置が異なりますが、設定できる機能は同じです。

本書ではTYPE1の基本設定画面での設定方法を説明しています。

TYPE1の基本設定画面に表示されるキーおよびアイコンについて説明します。



2種類の基本設定画面の切替えは設定メニューのユーザ設定で行います。詳細は、p.14-15 をご覧ください。

No	名 称	説 明
1	〔ジョブ確認〕	ジョブ確認画面を表示させるときに押します。
2	日時表示エリア	現在の日時が表示されます。ウィークリタイマ設定時は、機能する5分前から時計表示に替わります。
3	メッセージ表示エリア	本機の状態やそのときにしなければならない操作手順などが表示されます。
4	〔基本設定〕タブ	基本設定画面を表示させて基本設定をするときに押します。
5	〔集約/原稿〕タブ	集約/原稿画面を表示させて集約コピーやスキャンする原稿の形態を設定するときに押します。
6	〔原稿画質〕タブ	原稿画質画面を表示させて原稿の画質を設定するときに押します。
7	〔応用設定〕タブ	応用設定画面を表示させて応用設定をするときに押します。
8	メモリ残量表示エリア	機械動作中に使用されるメモリの残量が表示されます。
9	設定部数表示エリア	設定したコピー部数が表示されます。
10	〔片面/両面〕	原稿および用紙のプリント面の片面、両面の設定をするときに押します。

各部の名称とはたらき（つづき）

No	名 称	説 明
11	イメージ表示エリア	設定したステープルやパンチ穴の位置などが表示されます。
12	〔倍率〕	固定倍率、登録倍率、ズーム、自動倍率を設定したり、任意の倍率を登録倍率として登録するときに押します。
13	〔仕上り〕	紙折り以外の出力の設定をするときに押します。設定には下記のものがあります。 出力トレイ、排紙方法、ソート／グループとその仕分け、ステープル／パンチとその位置（装着されているオプションによって設定できる内容は変わります。）
14	〔用紙〕	用紙トレイの選択や、自動用紙の設定をするときに押します。また、手差しトレイにセットした用紙の種類やサイズを指定するときに押します。
15	〔紙折り〕	中折り、中とじの設定をするときに押します。（中綴じ機 SD-502 が装着されていないとこのボタンは表示されません。）
16	〔濃度／下地〕	コピー濃度を設定するとき、登録濃度を呼び出すとき、下地濃度を設定するときに押します。
17	〔ボックス保存〕	読込んだ原稿のデータを出力しながらボックスに保存するときに押します。保存先のボックスの指定、保存時にプリントの選択ができます。詳細は「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。（ハードディスク HD-505 が装着されていないとこのボタンは表示されません。）
18	〔連続読み設定〕	原稿を分割して読込むときに押します。
19	アイコン表示エリア	ジョブや機械の状態を示すアイコンが表示されます。
20	サブエリア	操作の手順や設定内容がイラストで表示されます。

各部の名称とはたらき

操作パネルの角度を変える

電源を入れる／切る

パワーセーブランプが点灯する

ユーザ認証／部門認証をもとめられたとき

用紙を補給する

併用できないコピー操作

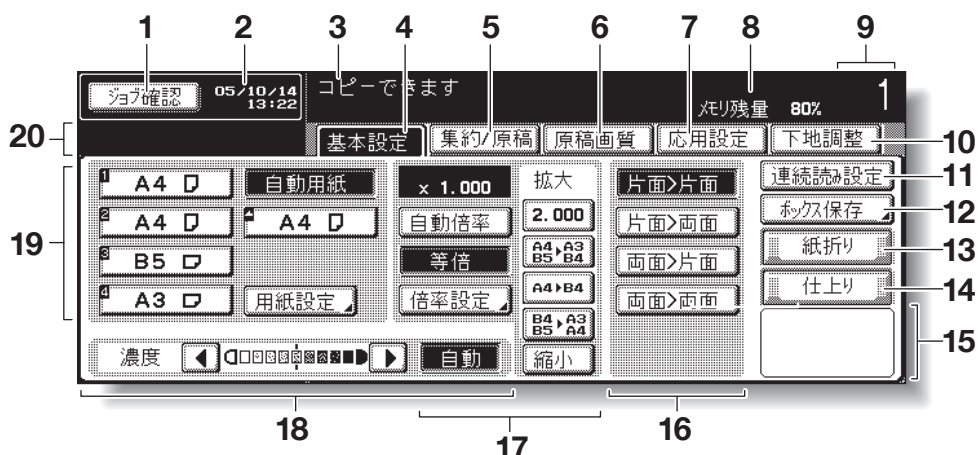
詳しく説明します

- 基本設定画面に〔回転しない〕キーを表示させることができます。設定メニューのユーザ設定で選択します。詳細は、p.14-13をごらんください。
- 初期設定を変更したとき、変更された設定画面のタブキーは実線枠で表示されます。

アイコン表示エリアに表示されるアイコン

アイコン	説 明
	機能に関係なく、本機からデータを送信していることを表示しています。
	機能に関係なく、本機がデータを受信していることを表示しています。
	警告発生中に警告画面を閉じたとき、このアイコンを押すと再び警告表示画面に切替わります。

TYPE2 の基本設定画面に表示されるキーおよびアイコンについて説明します。



No	名 称	説 明
1	〔ジョブ確認〕	ジョブ確認画面を表示させるときに押します。
2	日時表示エリア	現在の日時が表示されます。ウィークリタイマ設定時は、機能する5分前から時計表示に替わります。
3	メッセージ表示エリア	本機の状態やそのときにしなければならない操作手順などが表示されます。
4	〔基本設定〕タブ	基本設定画面を表示させて基本設定をするときに押します。
5	〔集約/原稿〕タブ	集約/原稿画面を表示させて集約コピーやスキャンする原稿の形態を設定するときに押します。
6	〔原稿画質〕タブ	原稿画質画面を表示させて原稿の画質を設定するときに押します。
7	〔応用設定〕タブ	応用設定画面を表示させて応用設定をするときに押します。
8	メモリ残量表示エリア	機械動作中に使用されるメモリの残量が表示されます。
9	設定部数表示エリア	設定したコピー部数が表示されます。
10	〔下地調整タブ〕	下地調整画面を表示させて下地調整やコピー濃度を設定するときに押します。
11	〔連続読み設定〕	原稿を分割して読み込むときに押します。
12	〔ボックス保存〕	読み込んだ原稿のデータを出力しながらボックスに保存するときに押します。保存先のボックスの指定、保存時にプリントの選択ができます。詳細は「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。（ハードディスク HD-505 が装着されていないとこのボタンは表示されません。）
13	〔紙折り〕	中折り、中とじの設定をするときに押します。（中綴じ機 SD-502 が装着されていないとこのボタンは表示されません。）

各部の名称とはたらき（つづき）

No	名 称	説 明
14	〔仕上り〕	紙折り以外の出力の設定をするときに押します。設定には下記のものがあります。 出力トレイ、排紙方法、ソート／グループとその仕分け、ステープル／パンチとその位置（装着されているオプションによって設定できる内容は変わります。）
15	イメージ表示エリア	設定したステープルやパンチ穴の位置などが表示されます。
16	片面／両面設定エリア	〔片面＞両面〕、〔両面＞両面〕、〔両面＞片面〕を選択すると〔開き方向他〕キーが表示され、原稿セット方向および原稿／コピーの開き方向を設定できます。
17	倍率設定エリア	固定倍率、登録倍率、ズーム、自動倍率を設定したり、任意の倍率を登録倍率として登録するときに押します。
18	濃度設定エリア	コピー濃度を設定するときに押します。
19	用紙設定エリア	用紙トレイの選択や、自動用紙の設定をするときに押します。また、手差しトレイにセットした用紙の種類やサイズを指定するときに押します。
20	アイコン表示エリア	ジョブや機械の状態を示すアイコンが表示されます。

各部の名称とはたらき

操作パネルの角度を変える

電源を入れる／切る

パワーセーブランプが点灯する

ユーザ認証／部門認証をもとめられたとき

用紙を補給する

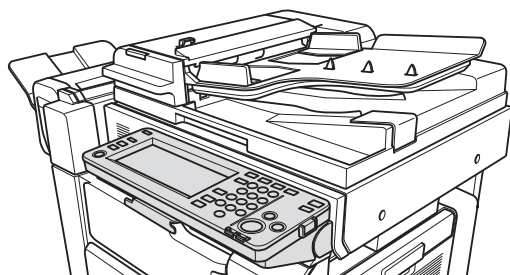
併用できないコピー操作

アイコン表示エリアに表示されるアイコン

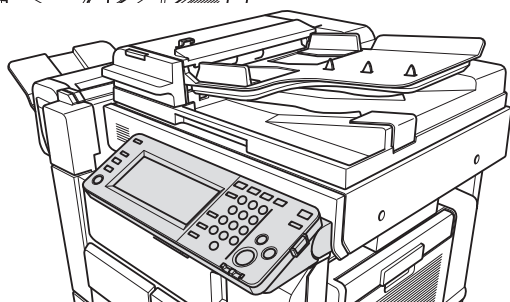
アイコン	説 明
	機能に関係なく、本機からデータを送信していることを表示しています。
	機能に関係なく、本機がデータを受信していることを表示しています。
	警告発生中に警告画面を閉じたとき、このアイコンを押すと再び警告表示画面に切替わります。

操作パネルの角度を変える

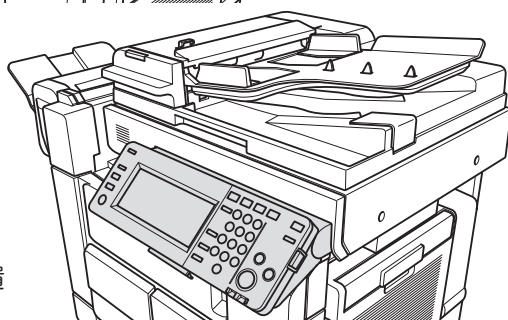
本機の操作パネルは、操作面の角度を3段階に設定できます。使いやすい角度を選んでご使用ください。



1 上段位置（ホームポジション）



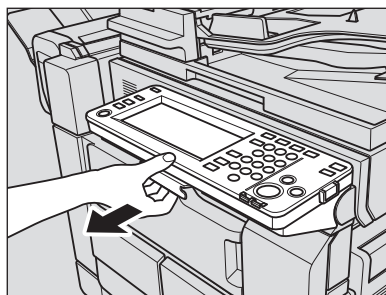
2 中段位置



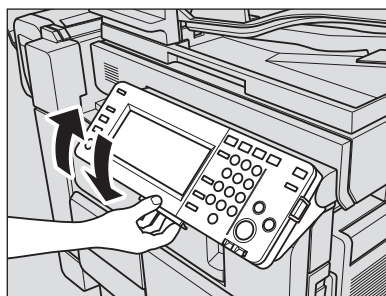
3 下段位置

■ 操作パネルの角度の換え方

- 1 操作パネル解除レバーを手前に引き、位置ロックを解除します。



- 2 任意の位置に操作パネルを動かし、操作パネル解除レバーを放します。



各部の名称と
はたらき

操作パネルの
角度を変える

電源を
入れる／切る

パワーセーブ
ランプが点灯する

ユーザ認証／部門認証
をもとめられたとき

用紙を
補給する

併用できない
コピー操作

電源を入れる／切る

本機には主電源スイッチと副電源スイッチの2つの電源スイッチがあります。

主電源スイッチは本機の全ての機能に対してオン／オフします。通常主電源スイッチはオンの状態にしておきます。

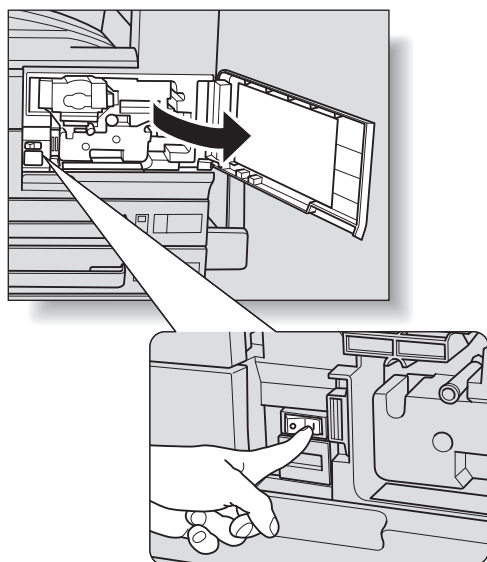
副電源スイッチは、コピー、スキャンの機能をオン／オフします。ただし、副電源スイッチをオフしても、プリントおよびファクスのデータ受信、出力機能はオフにならず、節電状態になります。

■ 電源を入れる

1 主電源スイッチをオンにします。

主電源スイッチは本体内部にあります。

本体前ドアを開き、主電源スイッチをオンにします。



操作パネルの主電源ランプが緑色に点灯します。

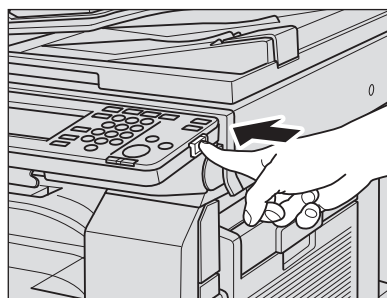
2 副電源スイッチをオンにします。

副電源スイッチは操作パネル右側面にあります。

副電源スイッチを押します。

ウォームアップに下記の時間がかかります。

bizhub 500 : 30 秒以下、bizhub 420 : 15 秒以下



ウェイクアップ画面に続き、基本設定画面が表示されます。



副電源スイッチをオンにすると、【スタート】がオレンジ色に点灯して起動中を表す画面が表示されます。数秒後、「ウォームアップ中です。読み込みできます」というメッセージが表示され、【スタート】が緑色の点灯にかわると、ウォームアップ中でも原稿を読み込み、コピー可能になったときに出力することができます。詳細は、p. 3-52 をごらんください。

電源を入れる／切る（つづき）

詳しく説明します

- 機械を動作させるためにユーザ認証／部門管理の名前やパスワードの入力が必要な場合があります。詳細は、p. 2-38 をごらんください。
- キーカウンタやコピーカードの挿入を指示されることがあります。指示に従ってください。

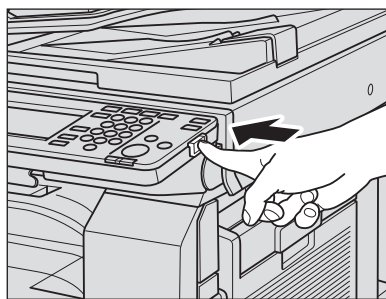
詳しく説明します

電源をオンにしたあと何も操作をしていない状態、【リセット】を押してそれまで設定を取り消した状態を初期設定といいます。初期設定は変更できます。詳細は、p. 14-17 をごらんください。工場出荷時に設定されている初期設定を出荷時設定といいます。

■ 電源を切る

1 副電源スイッチをオフにします。

副電源スイッチは操作パネル右側面にあります。
副電源スイッチを押してオフにします。

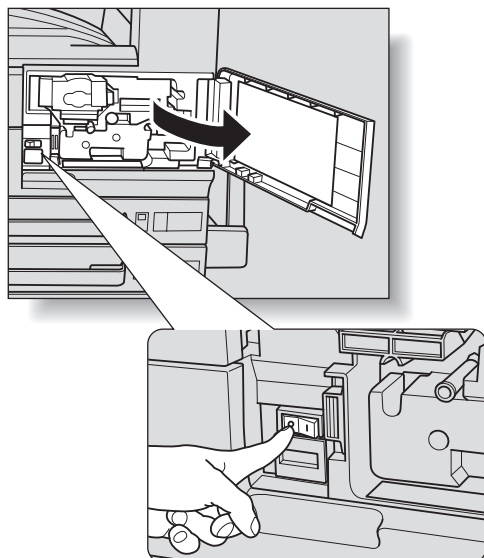


タッチパネルの表示は消え、主電源ランプ以外は全て消灯します。

2 主電源スイッチをオフにします。

主電源スイッチは本体内部にあります。

本体前ドアを開き、主電源スイッチをオフにします。



全ての表示は消え、機能は完全にオフになります。



必ず守ってください

主電源スイッチをオフ／オンするときは、オフにしてから必ず10秒以上経過してからオンにしてください。間隔を開けないと正常に機能しないことがあります。



必ず守ってください

主電源スイッチは通常オフにしないでください。オフにすると、プリント、ファクスのデータ受信、出力機能など全ての機能がオフになります。

登録されたジョブや、蓄積されたジョブのプリント待機中に主電源スイッチをオフにしないでください。プリントされていないデータは削除されます。

プリント中に主電源スイッチや副電源スイッチをオフにしないでください。紙づまりを起こします。

原稿の読み込み中や画像データの送信中に主電源スイッチや副電源スイッチをオフにしないでください。それらのデータは削除されます。

電源を入れる／切る（つづき）

■ 自動的に初期設定にもどる（オートリセット）

【リセット】を押さなくても、本機を操作しなくなってから一定時間が経過すると、任意に設定したコピー条件が取り消され、初期状態にもどります。これをオートリセットといいます。

出荷時設定では、1 分を経過するとオートリセットが機能します。



オートリセット機能が働くまでの時間や、オートリセット機能を使用するかしないかは、管理者設定で設定できます。詳細は、p. 15-49 をごらんください。

■ 自動的に設定画面にもどる（システムオートリセット）

本機を操作しなくなしてから一定時間が経過すると、自動的に優先機能画面に切換わります。これをシステムオートリセットといいます。

優先機能画面は、コピー機能画面またはスキャン機能画面から選択します。

出荷時設定では、1 分を経過するとコピー機能画面にもどります。



システムオートリセット機能が働くまでの時間や優先機能画面として表示させる画面の選択は、管理者設定で行います。詳細は、p. 15-48 をごらんください。

パワーセーブランプが点灯する

パワーセーブランプが点灯しているときは、パワーセーブが機能しているか、ウィークリタイマが機能しています。いずれもそのままでは機械を使用することはできません。



■ 機械を使用するための操作

1 原稿をセットします。

原稿をセットしなくても、操作パネルのいずれかのキーを押すと、機械操作可能な状態にもどります。

パワーセーブ機能が働いていた場合は、機能が解除され機械の使用が可能になります。

ウィークリタイマ機能が働いていた場合は、基本設定画面が表示され、メッセージ表示部に「現在、ウィークリタイマ設定により使用時間外です 時間外使用パスワードを入力してください」と表示されます。時間外に機械を使用することができます。詳細は、p. 2-36 をご覧ください。



パワーセーブ機能にはローパワーとスリープの2つのモードがあります。詳細は、p. 2-33 ~ p. 2-34 をご覧ください。手動でパワーセーブを機能させることができます。詳細は、p. 2-35 をご覧ください。

パワーセーブランプが点灯する（つづき）

■自動的に節電状態になる（ローパワー）

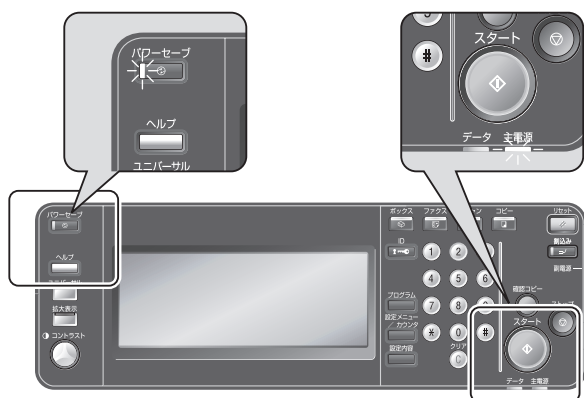
機械を使用しなくなってから一定時間経過すると、本機はタッチパネルの表示を自動的に消すなどして、待機中の消費電力を 60W 以下に抑えます。

【パワーセーブ】および主電源ランプは緑色に点灯し、【スタート】はオレンジ色に点灯し、タッチパネルおよびそのほかのランプは消えます。

これをローパワーモードといいます。

ローパワーモード中でも、本機はジョブを受け付けることができます。

出荷時設定では、1 分を経過するとローパワーモードになります。



<ローパワーモード解除のしかた>

1 原稿をセットします。

原稿をセットしなくても、操作パネルのいずれかのキーを押すと、機械操作可能な状態にもどります。

タッチパネルの表示が再点灯し、ウォームアップ完了後に操作可能な状態にもどります。



ウォームアップ中に原稿読込ができます。詳細は、p. 3-52 をご覧ください。



ローパワーモードに切りかわる時間を変更できます。詳細は、p. 15-23 をご覧ください。
ローパワーモードとスリープモードの時間設定が同じ場合、ローパワーモードは機能せずスリープモードが機能します。

各部の名称と
はたらき

操作パネルの
角度を変える

電源を
入れる／切る

パワーセーブ
ランプが点灯する

ユーザ認証／部門認証
をもとめられたとき

用紙を
補給する

併用できない
コピー操作

■自動的に節電状態になる（スリープ）

機械を使用しなくなってから一定時間経過すると、本機はタッチパネルの表示を自動的に消すなどして、待機中の消費電力を 2.0W 以下にしてローパワーモードよりも消費電力を抑えます。

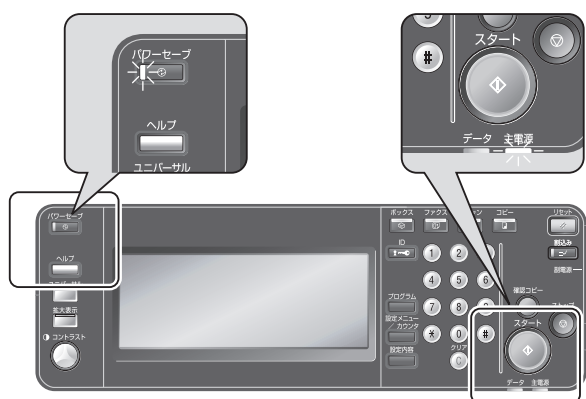
【パワーセーブ】 および主電源ランプは緑色に点灯し、タッチパネルおよびそのほかのランプは全て消えます。

これをスリープモードといいます。

スリープモードは、ローパワーモードよりも節電効果が得られますが、再度コピーを行うためのウォームアップにかかる時間はローパワーモードよりもかかります。

スリープモード中でも、本機はジョブを受け付けることができます。

出荷時設定では、オプション未装着機は 1 分、オプション装着機は 15 分を経過するとスリープモードになります。



<スリープモード解除のしかた>

1 原稿をセットします。

原稿をセットしなくても、操作パネルのいずれかのキーを押すと、機械操作可能な状態にもどります。

タッチパネルの表示が再点灯し、ウォームアップ完了後に操作可能な状態にもどります。



ウォームアップ中に原稿読込ができます。詳細は、p. 3-52 をご覧ください。



詳しく説明します

スリープモードに切り替わる時間を変更できます。詳細は、p. 15-23 をご覧ください。
ローパワーモードとスリープモードの時間設定が同じ場合、ローパワーモードは機能せずスリープモードが機能します。

パワーセーブランプが点灯する（つづき）

■ 手動で節電状態にする

パワーセーブ（ローパワー、スリープ）の機能を手動で設定します。

1 操作パネルの【パワーセーブ】を長押しします。

出荷時設定ではローパワーモードになります。



詳しく説明します

出荷時設定では【パワーセーブ】を押したときは、ローパワーモードになりますが、管理者設定でスリープモードになるように設定を変更できます。詳細は、p. 15-23 をごらんください。

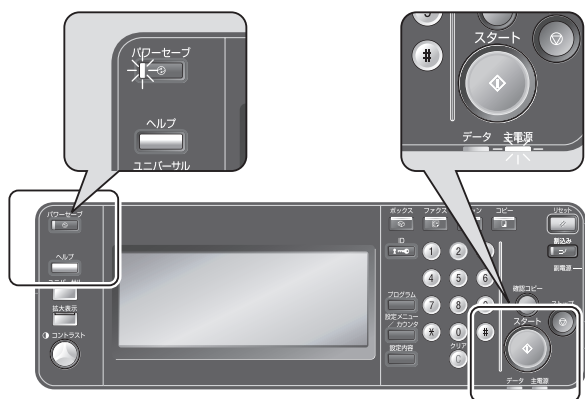
■ 使用時間を制限する（ウィークリタイマ）

本機は、管理者がたてた使用時間スケジュールに従って自動的にスリープモードに切換え、使用時間を制限できます。

これをウィークリタイマといいます。

ウィークリタイマが設定されている機械がウィークリタイマによってスリープモードになっている場合は、【パワーセーブ】および主電源ランプは緑色に点灯し、タッチパネルおよびそのほかのランプは全て消えて、機械を使用することができません。

再びスリープモードに切換るまでの使用時間を設定したり、時間外使用パスワードを入力後に時間を設定して、機械を使用できます。ウィークリタイマ機能によってスリープモードに切換っている機械を使用するときは、次項目の「時間外使用する（ウィークリタイマ）」をごらんください。



出荷時設定ではウィークリタイマは設定されていません。ウィークリタイマの設定は管理者設定で行います。詳細は p. 15-29 をごらんください。

再びスリープモードに切換る時間を設定する前に時間外使用パスワードの入力が必要なときは、管理者設定で行います。出荷時設定では設定されていません。詳細は p. 15-35 をごらんください。

各部の名称と
はたらき

操作パネルの
角度を変える

電源を
入れる／切る

パワーセーブ
ランプが点灯する

ユーザ認証／部門認証
をもとめられたとき

用紙を
補給する

併用できない
コピー操作

■ 時間外使用する（ウィークリタイマ）

ウィークリタイマ機能によってスリープモードに切換わっている機械を使用するときは、以下の手順に従って操作してください。

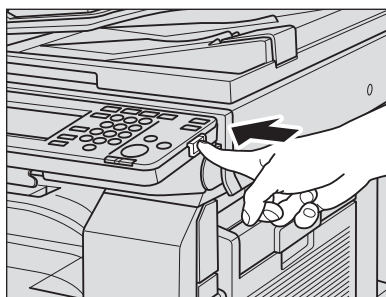


- ウィークリタイマが管理者に設定されていること。
- スリープモードを解除して再びスリープモードに切換わる時間を設定します。
- 時間外使用パスワードが管理者によって設定されているときは、使用する時間を設定する前に時間外使用パスワードを入力する必要があります。

1 原稿をセットします。または、操作パネルのいずれかのキーを押します。



副電源スイッチをオフにしていたときは、オンにします。



使用時間設定画面が表示されます。手順④に進みます。

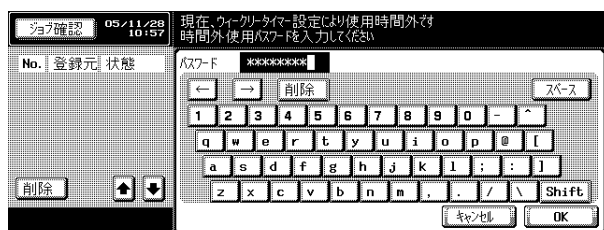
時間外使用パスワードが設定されていると、時間外使用パスワード入力画面が表示されます。手順②に進みます。

パワーセーブランプが点灯する（つづき）

2 タッチパネルのテンキーで時間外使用パスワードを入力します。

最大 8 桁の時間外使用パスワードを入力します。

入力を間違えたときは「削除」を押して、再度正しいパスワードを入力します。

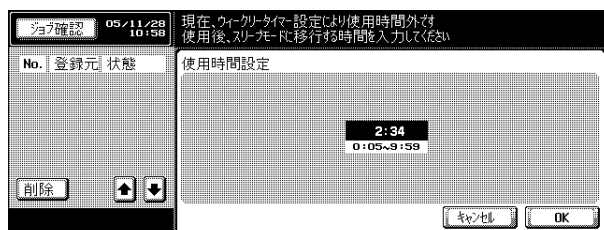


3 「OK」を押します。

使用時間設定画面が表示されます。

4 使用時間を操作パネルのテンキーで入力します。

再度スリープモードに切換わるまでの時間を入力します。5 分から 9 時間 59 分までの設定ができます。



5 「OK」を押します。

「コピーできます」というメッセージが表示された基本設定画面が表示されます。通常通りのコピーができます。



時間設定で 1 桁を入力する場合は、最初に 0 を入力します。ただし、5 分未満の値を入力したときは、5 分に設定されます。また、分の値に 60 分以上の設定はできません。



設定した使用時間内に作業が終了したときは、【パワーセーブ】を長押ししてスリープモードに切換えてください。

各部の名称と
はたらき

操作パネルの
角度を変える

電源を
入れる／切る

パワーセーブ
ランプが点灯する

ユーザ認証／部門認証
をもとめられたとき

用紙を
補給する

併用できない
コピー操作

ユーザ認証／部門認証をもとめられたとき

本機は、管理者が設定したユーザ名／ユーザパスワード／部門名／部門パスワードを入力しなければ機械を使用できないように設定できます。

管理者はユーザごとに機能を制限したり、出力枚数の上限値を設定したり、出力／読込みのカウント、各ユーザの個人ボックスへの操作ができます。（ユーザ認証）

また、管理者は部門ごとに出力枚数の上限値を設定したり、出力／読込みのカウントができます。（部門管理）



ユーザ認証の設定は管理者設定で行います。詳細は p. 15-55 をご覧ください。
部門管理の設定は管理者設定で行います。詳細は p. 15-55 をご覧ください。

■ ユーザ名とパスワードを入力する（ユーザ認証）

本機は、管理者によってユーザ認証が設定されていると、ユーザ登録された特定のユーザだけが使用可能になります。



- ユーザ認証が設定されていると、ユーザ名およびそのユーザ名に設定されたパスワードを入力した方だけが、本機を使用できます。
- パスワードは管理者にご確認ください。
- ユーザ認証に加えて部門管理が設定されていることがあります。部門名や部門パスワードの入力をもとめられた場合は、次項目「部門名／パスワードを入力する」に進みます。
- ユーザごとに機能が制限されたり、出力枚数の上限値が設定されていて出力枚数を制限されていることがあります。

1

機械の電源を入れます。

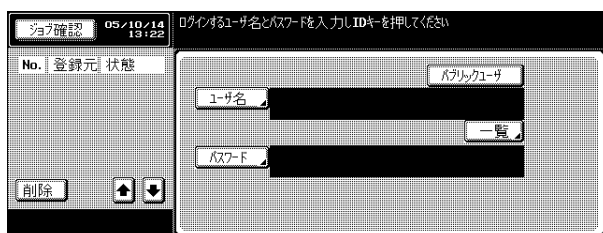
ユーザ名／パスワード設定画面が表示されます。

2

〔ユーザ名〕を押します。

ユーザ名入力画面が表示されます。

ユーザ認証／部門認証をもとめられたとき（つづき）



〔パブリックユーザ〕が表示されている場合は、ユーザ名やパスワードを割り当てられていない方でも〔パブリックユーザ〕を押して本機を使用できます。

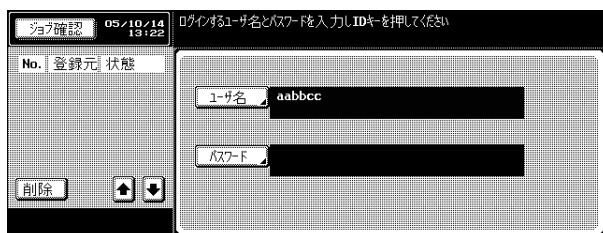
〔一覧〕が表示されている場合は、ユーザ名一覧から任意のユーザ名を選択できます。〔一覧〕を押して任意のユーザ名を選択し、〔OK〕を押し、手順④に進みます。

3 ユーザ名を入力して〔OK〕を押します。



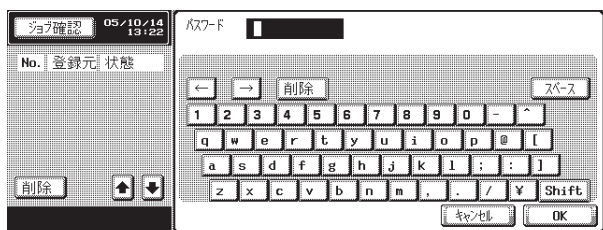
ユーザ名／パスワード設定画面にもどります。

4 〔パスワード〕を押します。



パスワード入力画面が表示されます。

5 パスワードを入力して〔OK〕を押します。



ユーザ名／パスワード設定画面にもどります。

6 操作パネルの〔ID〕を押します。



基本設定画面が表示されます。

7 任意の機能を使ってコピーします。

8 作業が終了したら、再度操作パネルの〔ID〕を押します。



ユーザ認証／部門認証をもとめられたとき（つづき）



ログアウト確認画面が表示されます。

9 「はい」を押します。

ユーザ名／パスワード設定画面が表示され、機械を使用できなくなります。

各部の名称と
はたらき

操作パネルの
角度を変える

電源を
入れる／切る

パワーセーブ
ランプが点灯する

ユーザ認証／部門認証
をもとめられたとき

用紙を
補給する

併用できない
コピー操作

■ 部門名／パスワードを入力する（部門管理）

本機は、管理者によって部門管理が設定されていると、部門登録された特定の部門のユーザだけが使用可能になります。



- 部門管理が設定されていると、部門名と部門パスワードまたは部門パスワードのみを入力した方だけが、本機を使用できます。
- パスワードは管理者にご確認ください。
- 部門ごとに出力枚数の上限値が設定されていて出力枚数を制限されていることがあります。

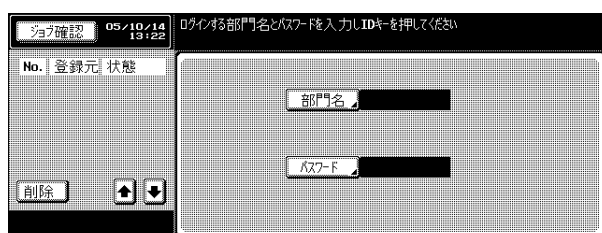
1

機械の電源を入れます。

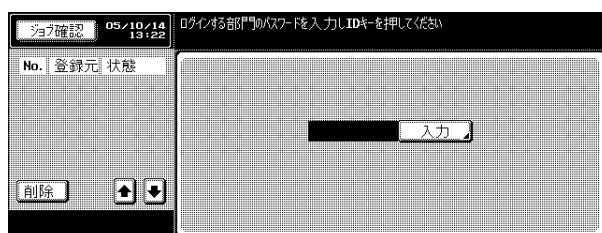
部門名／パスワード設定画面が表示されます。

2

〔部門名〕を押します。



部門名入力画面が表示されます。



部門パスワード設定画面が表示された場合は、〔入力〕を押して手順⑤に進みます。

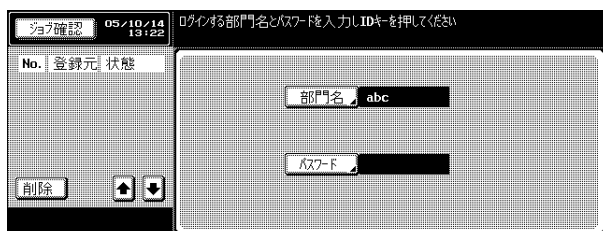
ユーザ認証／部門認証をもとめられたとき（つづき）

3 部門名を入力して〔OK〕を押します。



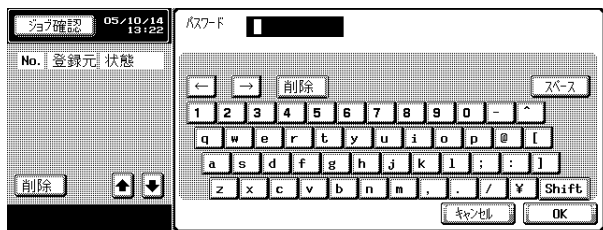
部門名／パスワード設定画面にもどります。

4 〔パスワード〕を押します。



パスワード入力画面が表示されます。

5 パスワードを入力して〔OK〕を押します。



各部の名称と
はたらき

操作パネルの
角度を変える

電源を
入れる／切る

パワーセーブ
ランプが点灯する

ユーザ認証／部門認証
をもとめられたとき

用紙を
補給する

併用できない
コピー操作

6 操作パネルの【ID】を押します。



基本設定画面が表示されます。

7 任意の機能を使ってコピーします。

8 作業が終了したら、再度操作パネルの【ID】を押します。



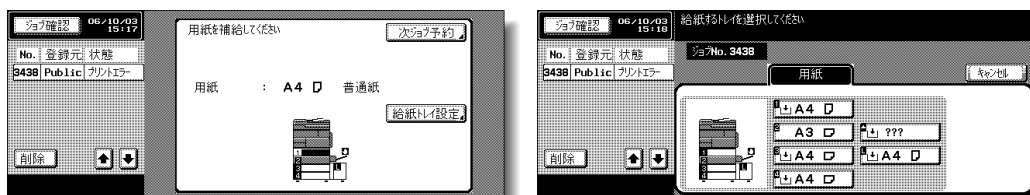
ログアウト確認画面が表示されます。

9 【はい】を押します。

部門名／パスワード設定画面が表示され、機械を使用できなくなります。

用紙を補給する

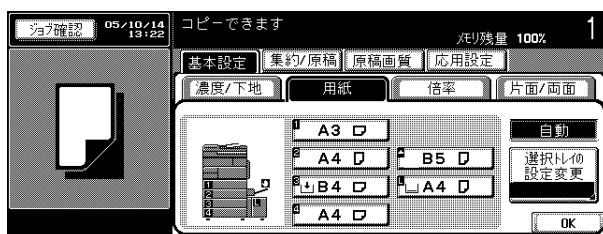
コピー中またはプリント終了後に用紙がなくなったときは、「用紙を補給してください」というメッセージが表示されます。



トレイの用紙がなくなったときに、別のトレイに入っている用紙を使って出力を続ける場合は、「給紙トレイ設定」を押し、任意のトレイを選択してください。

用紙残量の確認

用紙がなくなる前に用紙設定画面を表示させて、トレイキーの用紙残量アイコンで現在の用紙残量を確認できます。



用紙残量アイコン	説 明
	給紙トレイの用紙残量が 0 枚であることを示します。
	給紙トレイの用紙残量が 25% 以下であることを示します。

第 1 ～ 4 給紙トレイのトレイ前面右側に用紙残量窓があり、給紙トレイにセットされている用紙の残量を表示します。用紙が減るにつれて赤い表示が増えます。



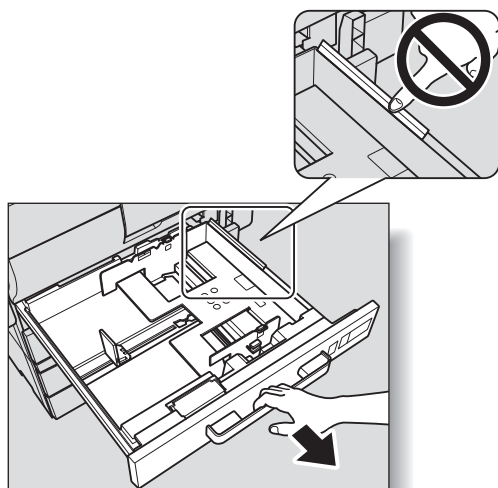
トレイに設定している用紙以外の用紙をセットしないでください。トラブルの原因になります。設定している以外の用紙をセットするときは、設定メニューのユーザ設定で給紙トレイ設定を変更してください。詳細は、p. 14-7 をごらんください。

機械故障の原因になりますので、表面が加工された用紙は絶対に使用しないでください。詳細は、p. 9-10 をごらんください。

■ 第 1・2 / 第 3・4 給紙トレイに用紙をセットする

第 1・2 給紙トレイおよび第 3・4 給紙トレイ（オプションの給紙キャビネット PC-202）に用紙をセットする方法を説明します。

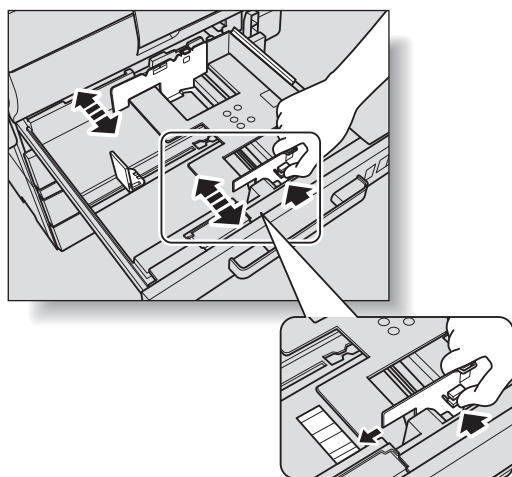
1 用紙セットをしたい給紙トレイを引き出します。



必ず守ってください

トレイ右端にあるフィルムには手を触れないようにしてください。曲げたり折ったりすると、給紙トラブルの原因になります。

2 トレイ底板のサイズ指標に合わせてガイド板をスライドさせます。

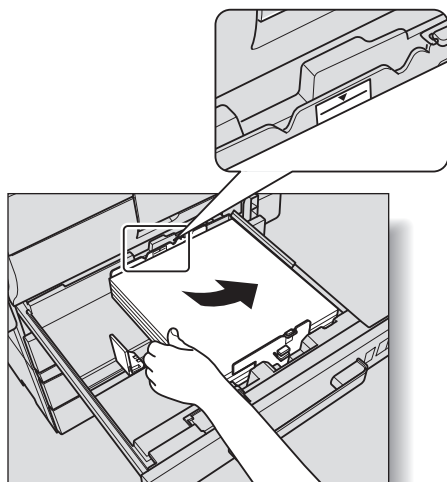


必ず守ってください

セットした用紙に対してガイド板の位置が合っていないと、用紙サイズを正しく検出できません。ガイド板は、必ずセットした用紙サイズの位置に合わせてください。

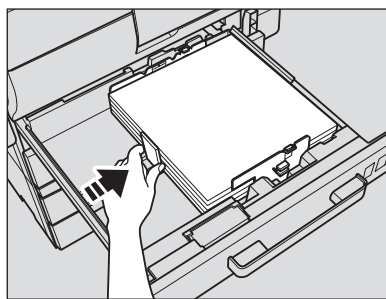
ガイド板ロック解除レバーを押しながら、セットする用紙サイズのサイズ指標にガイド板を合わせてガイド板を動かします。ガイド板ロック解除レバーを放すとロックされます。

3 用紙をセットします。



トレイ右側に用紙をそろえるようにしてセットします。

4 後端ストッパを用紙に突き当てます。



後端ストッパの両側を押して、用紙に突き当てます。
後端ストッパは両側を放すとロックされます。

必ず守ってください

用紙は積載制限マーク（▼）を超えないようにセットしてください。
用紙がカールしている場合は、用紙のカールをのばしてからセットしてください。給紙トラブルの原因になります。

必ず守ってください

後端ストッパは、必ず用紙に突き当ててください。後端ストッパと用紙の間に隙間があると、給紙トラブルの原因になります。

各部の名称と
はたらき

操作パネルの
角度を変える

電源を
入れる／切る

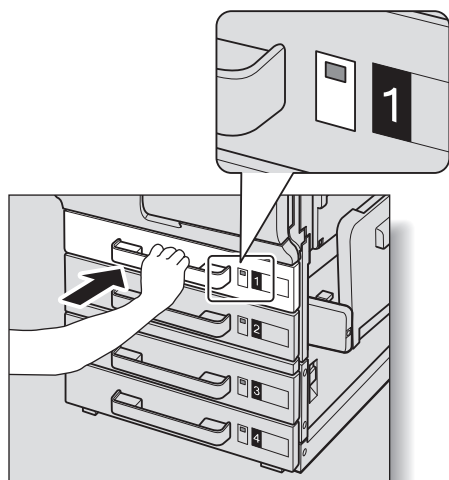
パワーセーブ
ランプが点灯する

ユーザ認証／部門認証
をもとめられたとき

用紙を
補給する

併用できない
コピー操作

5 給紙トレイを奥まで確実に押し込みます。



トレイ右側にある用紙残量窓の赤色表示がなくなります。

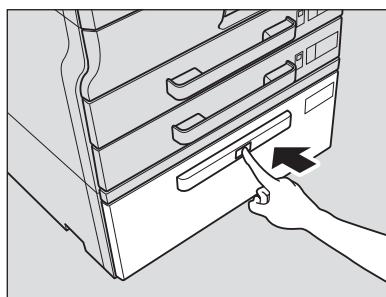
■ 第3 給紙トレイに用紙をセットする

第3 給紙トレイ（オプションの給紙キャビネット PC-402）に用紙をセットする方法を説明します。



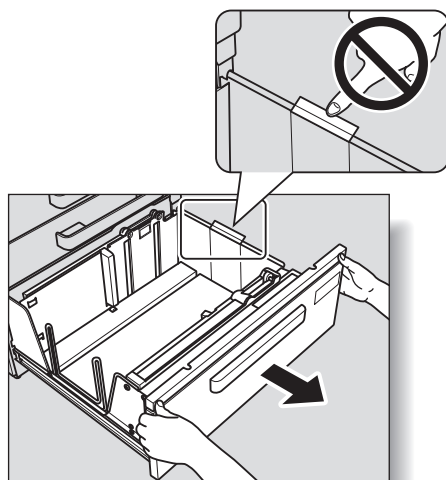
- 給紙キャビネットにセットできる用紙サイズは A4 のみ、セットできる枚数は最大 2,500 枚（80g/m² 紙）です。
- 主電源スイッチと副電源スイッチの両方がオンになっていないと給紙キャビネットを引き出すことができません。給紙キャビネットに用紙をセットするときは、必ず 2 つともオンにします。
- スリープモード時に給紙キャビネットを引き出すことはできません。給紙キャビネットに用紙をセットするときは、スリープモードを解除します。

1 給紙キャビネット引出し解除キーを押します。



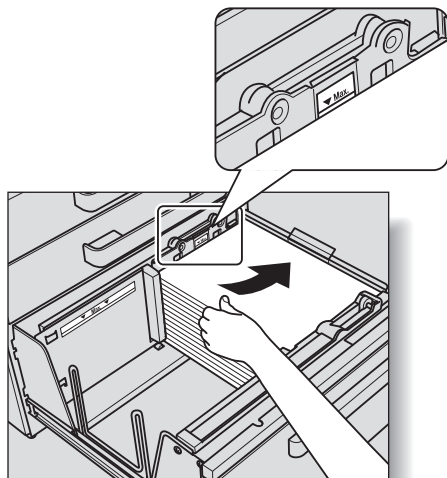
ロックが解除され、給紙キャビネットが少し前に押し出されます。

2 給紙キャビネットを引き出します。



給紙キャビネットの両側を持って引き出します。

3 給紙キャビネット右段に用紙をセットします。



A4 用紙を横送り方向  にして、給紙キャビネットの右側に用紙をそろえるようにしてセットします。

必ず守ってください

給紙キャビネット右端にあるフィルムには手を触れないようにしてください。曲げたり折ったりすると、給紙トラブルの原因になります。

必ず守ってください

用紙は右段左段とも積載制限マーク（▼）を超えないようにセットしてください。用紙がカールしている場合は、用紙のカールをのばしてからセットしてください。給紙トラブルの原因になります。

各部の名称と
はたらき

操作パネルの
角度を変える

電源を
入れる／切る

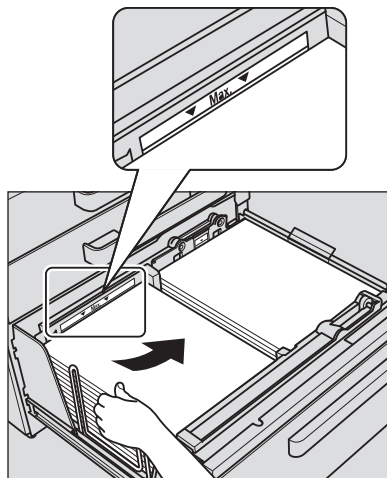
パワーセーブ
ランプが点灯する

ユーザ認証／部門認証
をもとめられたとき

用紙を
補給する

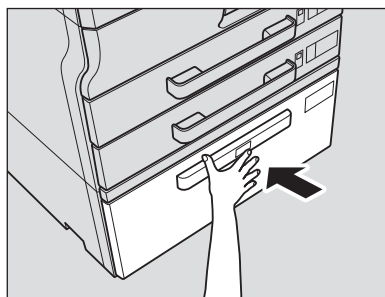
併用できない
コピー操作

4 給紙キャビネット左段に用紙をセットします。



A4 用紙を横送り方向  にして、右段と左段を分けている給紙キャビネット中央の凸部（2 カ所）に用紙をそろえるようにしてセットします。

5 給紙キャビネットを奥まで確実に押し込みます。



 **必ず守ってください**

給紙キャビネットを必要以上に勢いよくもどさないでください。給紙キャビネットや紙の重さなどで機械に思わぬ衝撃が加わり、故障の原因になることがあります。

用紙を補給する（つづき）

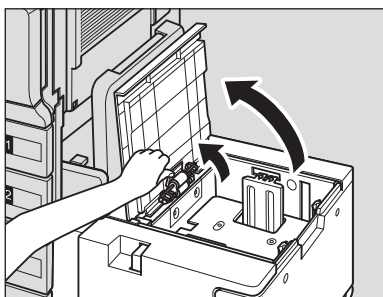
■ 大容量給紙ユニットに用紙をセットする

大容量給紙ユニット（オプションの大容量給紙ユニット LU-201）に用紙をセットする方法を説明します。

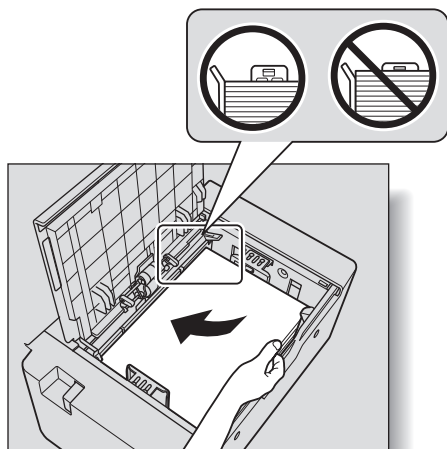


大容量給紙ユニットにセットできる用紙サイズは A4 のみ、セットできる枚数は最大 2,100 枚（64g/m² 紙）です。

1 大容量給紙ユニットの上ドアを開き、給紙ローラを開きます。



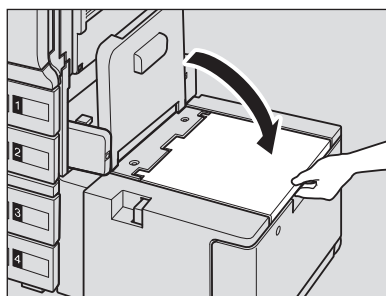
2 用紙をセットします。



用紙は用紙をそろせる板の曲がり始める部分より上になるまで入れないでください。給紙トラブルの原因になります。
用紙がカールしている場合は、用紙のカールをのばしてからセットしてください。給紙トラブルの原因になります。

トレイ左側に用紙をそろえるようにしてセットします。

3 大容量給紙ユニットの上ドアを閉じます。



必ず守ってください

大容量給紙ユニット上ドアに足をかけてあがらないでください。
機械故障の原因になります。

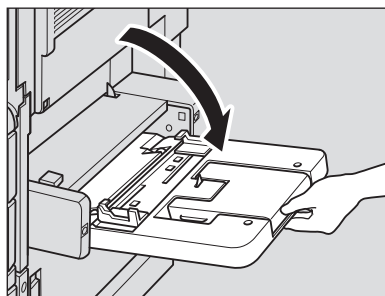
■手差しトレイに用紙をセットする

給紙トレイ、給紙キャビネット、大容量給紙ユニットにセットされていないサイズ of 用紙や、それらの給紙装置からは給紙できない用紙（厚紙、官製はがき、封筒、OHP フィルム、ラベル用紙など）にプリントしたいときに、手差しトレイを使用します。

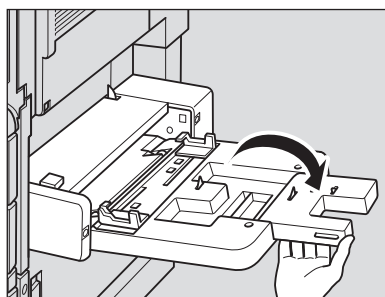


- 自動検知できないサイズ（インチサイズの用紙、不定形サイズ）の用紙をセットしたときや、厚紙、OHP フィルムなどの特殊紙をセットしたときは用紙設定画面で用紙の設定をします。詳細は、p. 3-24 をごらんください。
- 特殊紙によって用紙のセット方向が決まっているものがあります。詳細は、p. 2-55 ～ p. 2-57 をごらんください。

1 手差しトレイを開きます。



大きなサイズの用紙をセットするときは、補助トレイを開きます。



各部の名称と
はたらき

操作パネルの
角度を変える

電源を
入れる／切る

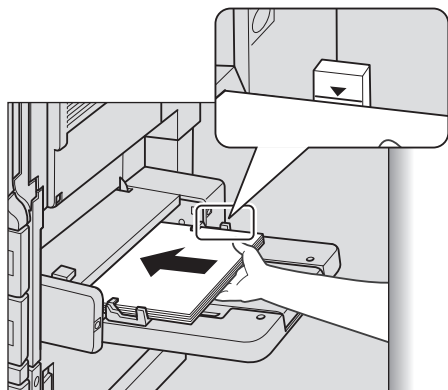
パワーセーブ
ランプが点灯する

ユーザ認証／部門認証
をもとめられたとき

用紙を
補給する

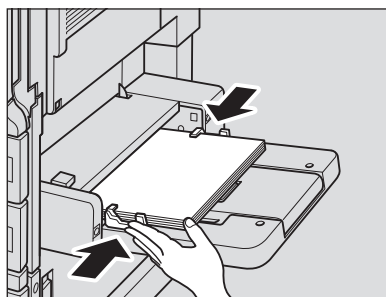
併用できない
コピー操作

2 用紙をセットします。



プリントする面を下向きにセットします。
用紙の先端を奥まで差し込みます。最大 150 枚(80g/
m² 紙) までセットできます。

3 ガイド板を用紙に突き当てます。



手差しトレイにセットした用紙サイズを自動検出し、
用紙画面が表示されます。

4 用紙種類と用紙サイズを自動検出できないときは、用紙サイズを手動で設定します。

 **必ず守ってください**

- 用紙は積載制限マーク（▼）を超えないようにセットしてください。
- 用紙がカールしている場合は、用紙のカールをのばしてからセットしてください。給紙トラブルの原因になります。
- ラベル紙、OHP フィルム、第 2 原紙は、1 枚ずつセットしてください。

 **必ず守ってください**

ガイド板は用紙に確実に突き当ててください。用紙サイズを検知できなかったり、プリント画像が曲がったりします。

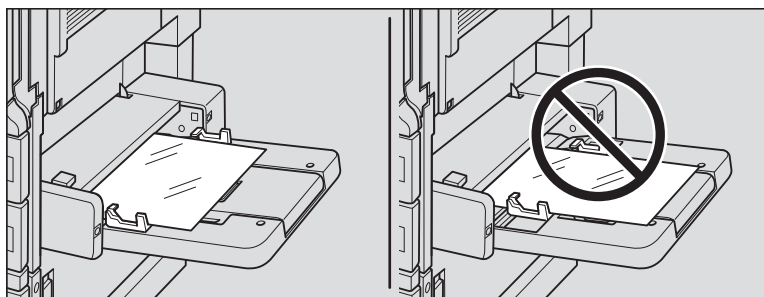
 **詳しく説明します**

用紙種類や用紙サイズの設定についての詳細は p. 3-17「手差しトレイの用紙を選ぶ：用紙設定」をごらんください。

用紙を補給する（つづき）

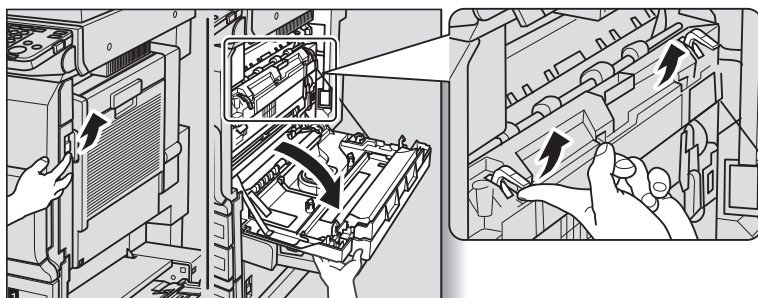
OHP フィルムをセットする

OHP フィルムは、1 枚ずつセットしてください。



封筒をセットする

封筒にプリントするときは、本体右ドアをひらき、封筒レバーを上にあげます。封筒にプリントした後は、必ず封筒レバーを元の位置にもどしてください。



各部の名称と
はたらき

操作パネルの
角度を変える

電源を
入れる／切る

パワーセーブ
ランプが点灯する

ユーザ設定／部門認証
をもとめられたとき

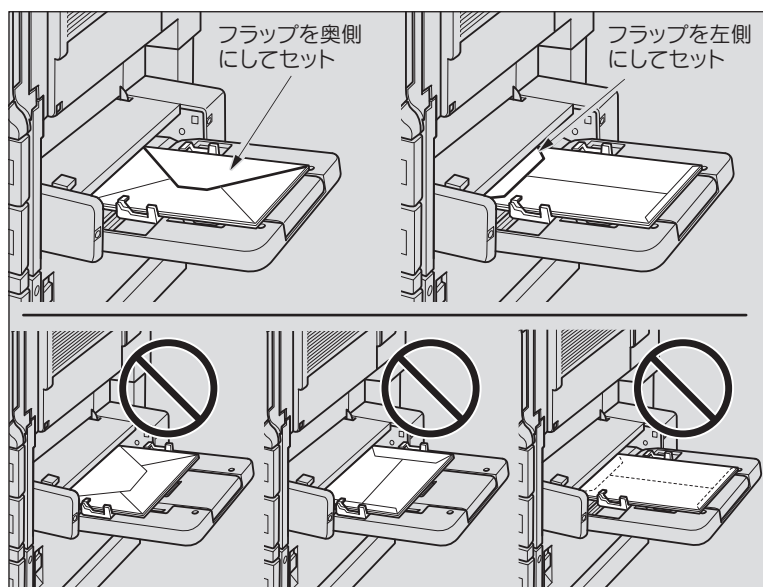
用紙を
補給する

併用できない
コピー操作

封筒をセットする前に、封筒内部の空気を押しだし、封筒の折目をしっかり押さえてください。空気が残っていたり、折目がしっかり押さえられていないと、しわがでいたり、紙づまりの原因になります。

封筒は次のようにセットします。

- 縦送り方向  にセットします。横送り方向  にはセットしないでください。
- 封印部を上側にしてセットします。封印部側にプリントすることはできません。封印部と下側にしてセットすると紙づまりの原稿になります。
- 封筒のフラップは機械奥側、または左側になるようにセットします。
- 最大 10 枚の封筒をセットできます。

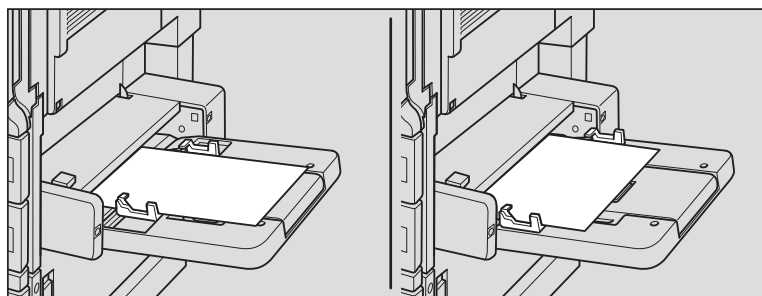


ラベル紙をセットする

ラベル紙をセットする場合は、プリント面を下にしてセットします。

ラベル紙は 1 枚ずつセットしてください。

ラベル紙のセット方向については、サービス実施店にお問合せください。

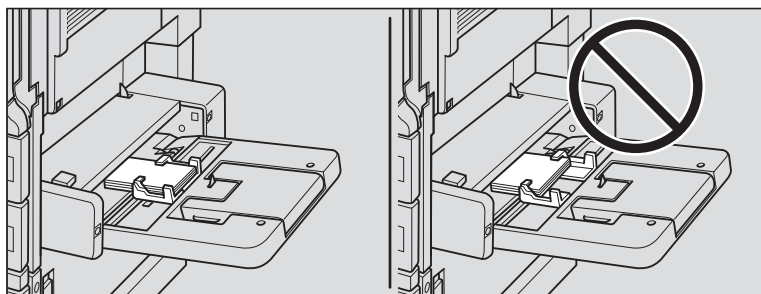


官製はがきをセットする

官製はがきをセットする場合は、縦送り方向  に、プリント面を下にしてセットします。横送り方向  にはセットしないでください。

最大 50 枚の官製はがきをセットできます。

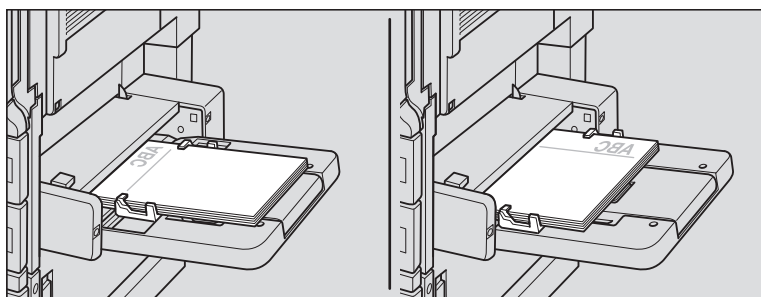
官製はがきにコピーする場合は、手差しトレイの用紙種類を厚紙に設定してください。



レターヘッド紙をセットする

レターヘッド紙をセットする場合は、プリント面を下にセットします。

最大 150 枚のレターヘッド紙をセットできます。



各部の名称と
はたらき

操作パネルの
角度を変える

電源を
入れる／切る

パワーセーブ
ランプが点灯する

ユーザ認証／部門認証
をもとめられたとき

用紙を
補給する

併用できない
コピー操作

併用できないコピー操作

各コピー操作の設定には併用できないものがあります。そして、併用できないコピー操作には優先順位があります。

併用できないコピー操作の設定をした場合、機械は下記いずれかの対応をします。

- あとから設定したコピー操作の優先順位が先に設定したコピー操作よりも高い場合、先に設定したコピー操作を自動的に解除します。
- 先に設定したコピー操作の優先順位があとから設定したコピー操作よりも高い場合、併用不可のメッセージを表示して、あとから設定したコピー操作を削除します。



詳しく説明します

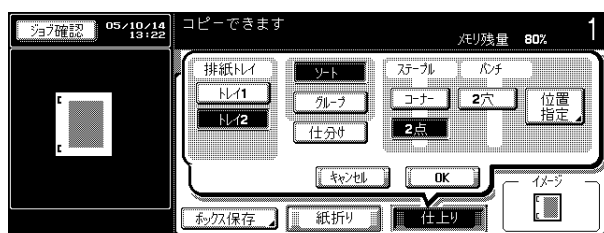
併用できないコピー条件は、第3章～第6章の最後のページに記載しています。ご参照ください。

■あとから設定したコピー操作を優先する

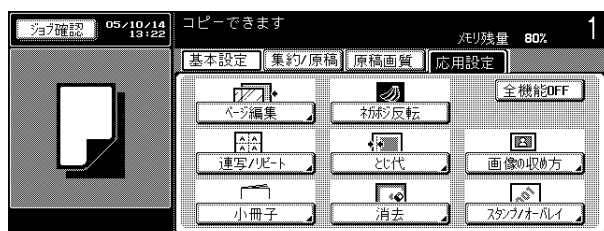
小冊子は2点ステープルよりも優先順位が高いコピー操作です。

ここでは、2点ステープル、小冊子の順に設定したときの機械の対応について説明します。

1 2点ステープルを設定します。



2 小冊子を設定します。



先に設定した2点ステープルは自動的に解除され、あとで設定した小冊子が有効になります。

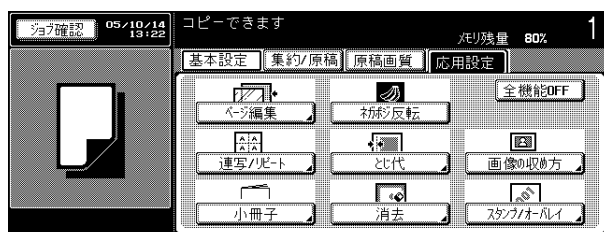
優先順位の低い2点ステープルを有効にする場合は、小冊子を解除します。

併用できないコピー操作（つづき）

■ 先に設定したコピー操作を優先する

小冊子は2点ステープルよりも優先順位が高いコピー操作です。
ここでは、小冊子を設定してから2点ステープルを設定したときの機械の対応について説明します。

1 小冊子を設定します。



2 2点ステープルを設定します。



「小冊子とは同時設定できません」というメッセージが表示され、2点ステープルは解除され、先に設定された小冊子は引き続き有効になっています。

優先順位の低い2点ステープルを有効にする場合は、小冊子を解除します。

基本設定

第3章

基本的なコピーのとり方について説明します。

基本的なコピー操作の流れ.....	3-2
原稿をセットする	3-6
コピー部数を設定する	3-10
濃度を選ぶ：濃度／下地調整.....	3-12
トレイの用紙を選ぶ：用紙設定	3-14
手差しトレイの用紙を選ぶ：用紙設定	3-17
倍率を選ぶ：倍率設定	3-26
片面／両面コピーを選ぶ：片面／両面設定	3-39
原稿を分割して読み込み一度に出力する：連続読み設定.....	3-49
ウォームアップ中に読み込む	3-52
出力中に次の原稿を読み込む：コピー予約	3-54
動作中のジョブを停止／再開／削除する	3-56
基本設定と併用できないコピー条件	3-58

基本的なコピー操作の流れ

コピーをとるときの基本的な操作の流れを説明します。

■ コピーのとり方

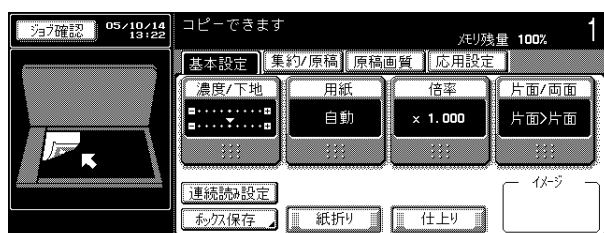


以下に説明する操作手順は基本的なもので、全てのコピー操作に共通するものではありません。各設定はそれぞれの操作手順に従ってください。

1

操作パネルの【コピー】を押し、コピー機能画面を表示させます。

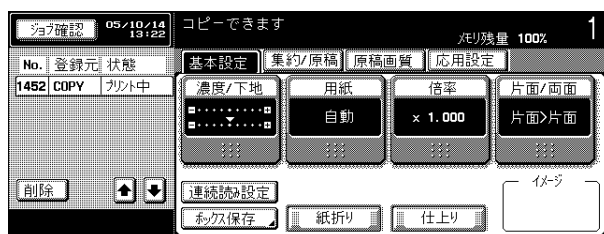
出荷時設定では、基本設定画面が表示されます。



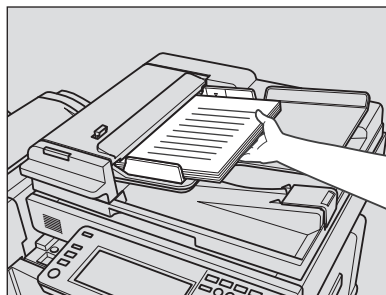
詳しく説明します

操作パネルの【コピー】を押し、表示される画面の総称をコピー機能画面と称します。

サブエリアの表示を現在実行されているジョブの一覧に変更することができます。詳細は、p. 14-12 をご覧ください。

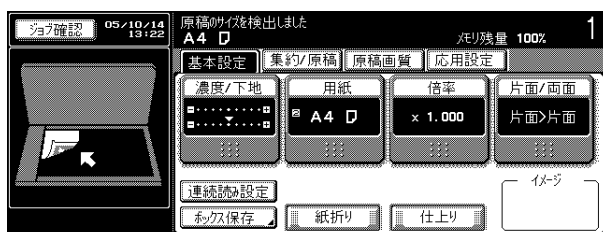
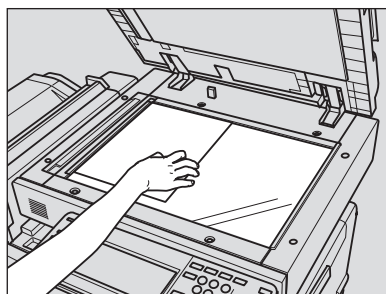
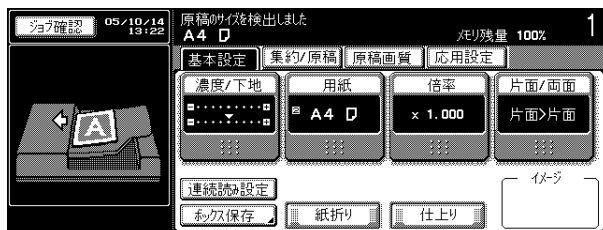


2 原稿をセットします。



詳しく説明します

原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をごらんください。



ADF に原稿をセットしたときや、原稿ガラスに原稿をセットして ADF を閉じたとき、原稿サイズを自動検出し、自動用紙の機能によって用紙サイズを自動的に選択します。

原稿をセットした読み取り装置によってサブエリアの表示がかわります。

基本第3章 設定

基本的なコピー操作の流れ

原稿をセットする

コピー部数を設定する

濃度／下地調整

用紙設定（給紙トレイ）

用紙設定（手差しトレイ）

倍率設定

片面／両面設定

連続読み設定

ウォームアップ中に読み込む

コピー予約

動作中のジョブを停止／再開／削除する

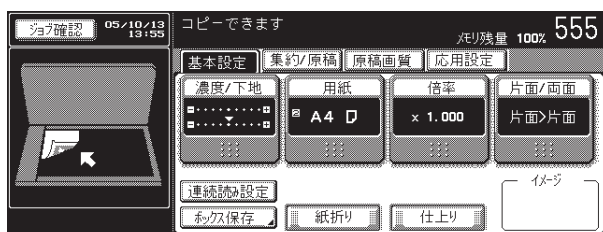
併用できないコピー条件

3 テンキーでコピー部数を入力します。



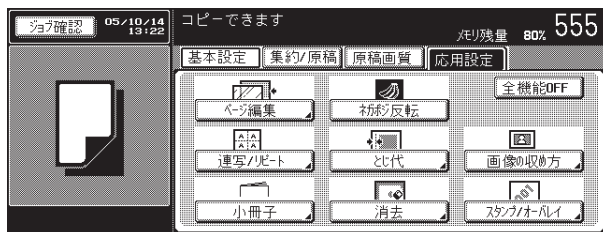
詳しく説明します

コピー部数の設定のしかたについての詳細は、p. 3-10「コピー部数を設定する」をごらんください。



コピー部数の入力、テンキーによってそのほかの数値を入力するとき以外はいつでも可能です。
設定した部数が基本設定画面の設定部数表示エリアに表示されます。

4 必要に応じて各機能を設定します。



出荷時設定では、初期設定として以下の機能が設定されています。

- 〔濃度／下地〕：自動（濃度）、ふつう（下地調整）
- 〔用紙〕：自動
- 〔倍率〕：等倍（x1.000）
- 〔片面／両面〕：片面＞片面
- 〔原稿画質〕：文字／写真

コピー濃度の設定については p. 3-12 をごらんください。

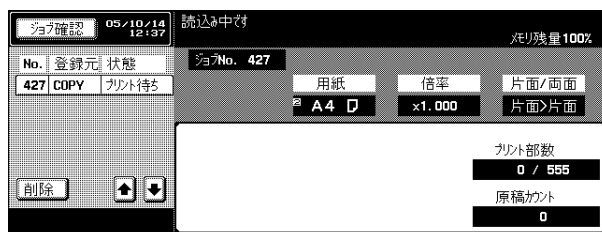
用紙サイズの設定については p. 3-16 をごらんください。

倍率の設定については p. 3-26 をごらんください。
 片面／両面コピーの設定については p. 3-39 をごらんください。
 原稿種類の設定については p. 4-6 をごらんください。
 原稿画質の設定については p. 4-16 をごらんください。
 応用機能の設定については「第 5 章 応用設定」をごらんください。
 仕上りの設定については「第 6 章 仕上り・紙折り」をごらんください。
 紙折りの設定については「第 6 章 仕上り・紙折り」をごらんください。

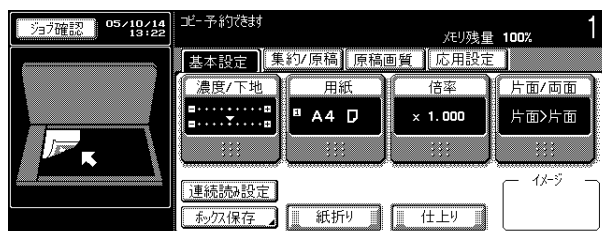
5 操作パネルの【スタート】を押します。



原稿の読み込みが始まると、原稿読み中画面が表示され原稿のカウント枚数などが表示されます。



出力が始まると、メッセージ表示エリアに「コピー予約できます」と表示された基本設定画面が表示されます



詳しく説明します

- 出力中、基本設定画面のかわりに出力部数と総プリント枚数を表示するプリント中画面を表示するように設定できます。設定は設定メニューのユーザ設定で行います。詳細は、p. 14-14 をごらんください。
- 出力が始まると、次のコピーの原稿読み込みが可能になります。詳細は、p. 3-54「出力中に次の原稿を読み込む：コピー予約」をごらんください。
- コピーを停止したいときは、操作パネルの【ストップ】を押します。詳細は、p. 3-56「動作中のジョブを停止／再開／削除する」をごらんください。

原稿をセットする

原稿を読み込むために ADF と原稿ガラスの 2 つの装置があります。原稿の種類によって最適な装置に原稿をセットしてください。

読み装置	特 長
ADF	原稿を上から自動的に 1 枚ずつ送り出し、読みます。両面原稿も自動的に読み込むことができます。
原稿ガラス	原稿ガラス上に、コピーする面を下向きにセットして読みます。本など ADF にセットできない原稿を読み込むことができます。

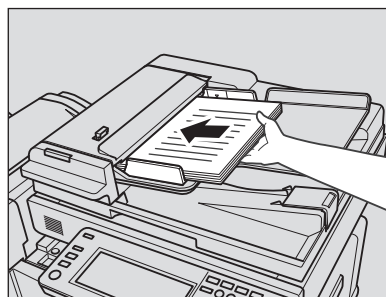
■ ADF に原稿をセットする



- ADF にセットできる原稿についての詳細は、p. 9-11「原稿について」をごらんください。
- ADF に原稿をセットすると、原稿サイズを自動検出し、自動用紙の機能によって用紙サイズを自動的に選択します。
- クリップやステーブルなどで綴じられた原稿は、絶対にセットしないでください。機械故障の原因になるだけでなく、原稿を破損することがあります。ADF にセットできない原稿についての詳細は、p. 9-11「原稿について」をごらんください。

1 原稿を 1 ページ目から順にそろえます。

2 コピーする面（1 ページ目）を上にして原稿をセットします。



詳しく説明します

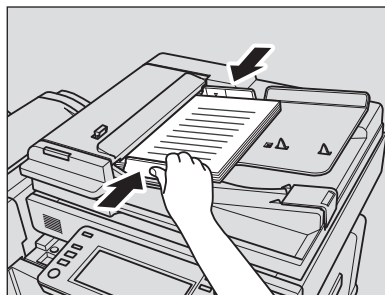
原稿をセットする向きは、設定した原稿セット方向に合わせます。詳細は、p. 4-11「原稿セット方向を設定する：原稿セット方向」をごらんください。



必ず守ってください

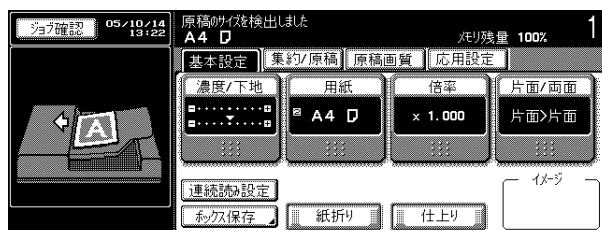
原稿は 80 枚または積載制限マーク（▼）を超えてセットしないでください。原稿づまりや原稿破損の原因になります。また、機械故障の原因になります。原稿が 80 枚を超える場合は、原稿を分割して読みませます。詳細は、p. 3-49「原稿を分割して読み込み一度に出力する：連続読み設定」をごらんください。

3 原稿ガイドを原稿に沿わせます。



セットした原稿にガイド板を確実に沿わせます。原稿のセットが不完全な場合、原稿が斜め送りされ、原稿づまりや原稿破損の原因になります。

ADF にセットした原稿サイズを自動検出し、基本設定画面のメッセージエリアにサイズが表示されます。また、自動用紙の機能によって、用紙サイズが自動選択され、基本設定画面の〔用紙〕に表示されます。



詳しく説明します

サイズの異なる原稿（混載原稿）をセットしてコピーすることができません。詳細は、p. 4-6「サイズの異なる原稿をコピーする：混載原稿」をご覧ください。

両面原稿をコピーするときは、原稿のと同じ方向をご確認ください。詳細は、p. 4-14「原稿のと同じ方向を設定する：原稿と同じ代」をご覧ください。

基本設定 第3章

基本的なコピー操作の流れ

原稿をセットする

コピー部数を設定する

濃度／下地調整

用紙設定（給紙トレイ）

用紙設定（手差しトレイ）

倍率設定

片面／両面設定

連続読み設定

ウォームアップ中に読み取る

コピー予約

動作中のジョブを停止／再開／削除する

併用できないコピー条件

■ 原稿ガラスに原稿をセットする

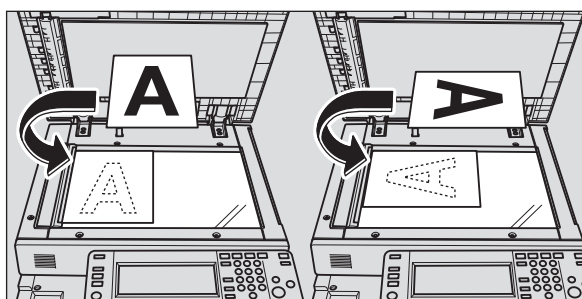


- 原稿ガラスにセットできる原稿についての詳細は、p. 9-11「原稿について」をごらんください。
- 原稿ガラスに原稿をセットして ADF を閉じると、原稿サイズを自動検出し、自動用紙の機能によって用紙サイズを自動的に選択します。
- 原稿が厚い本や立体物の場合、ADF を閉じずに読み込みをしてください。ADF を閉じずに読み込みした場合、光が漏れることがあります。原稿ガラス面を直視しないようにしてください。

1 ADF を開きます。

2 コピーする面を下にして原稿を原稿ガラス上に置きます。

原稿セット方向を設定していない場合は、原稿の天部（上側）を原稿ガラスの奥側または左側になるように置きます。

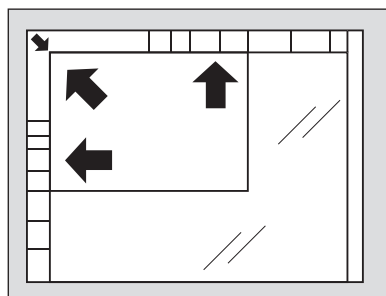


原稿をセットする向きは、設定した原稿セット方向に合わせてます。詳細は、p. 4-11「原稿セット方向を設定する：原稿セット方向」をごらんください。



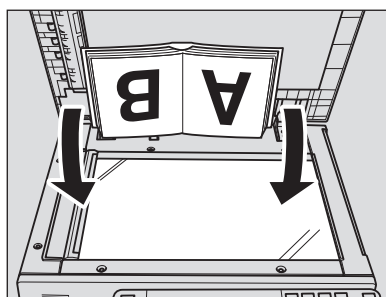
原稿ガラスには 6.8kg を超える重い原稿は載せないでください。また、本の見開き原稿などをセットする場合、強い力で上から押さえつけないでください。機械故障の原因になります。

3 原稿スケール左奥側の ↘ マークに合わせて原稿をセットします。

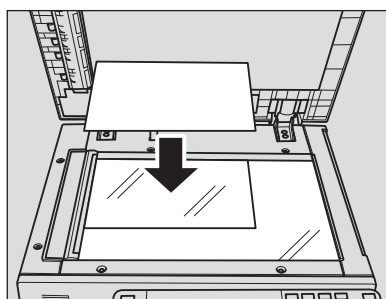


原稿をセットする（つづき）

本や雑誌などのとじてある見開き原稿をセットする場合、図のように原稿の天部（上側）を奥側にして原稿を置き、原稿スケール左奥側の **▼** マークに合わせます。

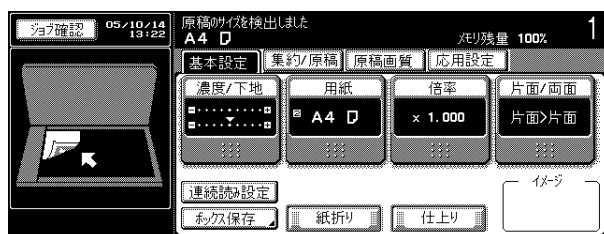


透明度の高い原稿をセットする場合、原稿と同じサイズの白紙を原稿の上に重ねます。



4 ADF を閉じます。

原稿ガラスにセットした原稿サイズを自動検出し、基本設定画面のメッセージエリアにサイズが表示されます。また、自動用紙の機能によって、用紙サイズが自動選択され、基本設定画面の「用紙」に表示されます。



詳しく説明します

応用設定のブック連写、リピートの自動検出、センタリング、原稿外消去を設定しているときは、ADF を閉じずに原稿を読み込みます。
このとき、原稿サイズを自動検出できません。任意の用紙を手動で入力します。

基本設定 第3章

基本的なコピー
操作の流れ

原稿を
セットする

コピー部数を
設定する

濃度/下地
調整

用紙設定
(給紙トレイ)

用紙設定
(手差しトレイ)

倍率設定

片面/両面
設定

連続読み設定

ウォームアップ
中に読みこみする

コピー予約

動作中のジョブを
停止/再開/削除する

併用できない
コピー条件

コピー部数を設定する

コピー部数の設定および変更の手順を説明します。

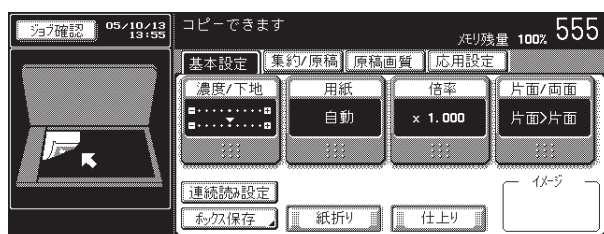
■ コピー部数を入力する

出荷時設定では、コピー部数は1部でグループ出力します。2部以上設定すると自動的にソート出力にかかります。



コピー部数の入力、テンキーによってそのほかの数値を入力するとき以外はいつでも可能です。

- 1 操作パネルのテンキーを押して、コピー部数を入力します。

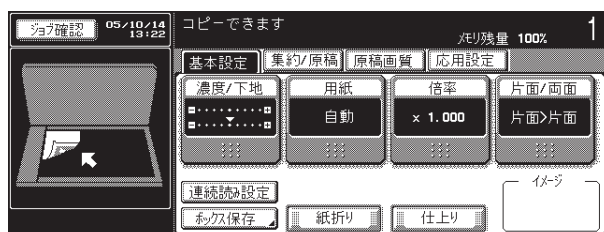


タッチパネルのコピー部数表示エリアに入力した部数が表示されます。

■ 入力したコピー部数を変更する

入力した部数を変更するときは、下記の手順に従って変更します。

1 操作パネルの【C】（クリア）を押します。



タッチパネルのコピー部数表示エリアの部数表示が「1」にもどります。

2 操作パネルのテンキーを押して、新たなコピー部数を入力します。

新たに入力した部数がコピー部数表示エリアに表示されます。

濃度を選ぶ：濃度／下地調整

出荷時設定では濃度は自動的に設定されます。原稿読み込み時に原稿の濃度レベルを検知し、自動的に適正濃度を選択してプリントします。

自動濃度のプリント結果よりも濃く、または薄くプリントしたいときは、濃度を調整します。

濃度調整には、以下の2つの設定があります。

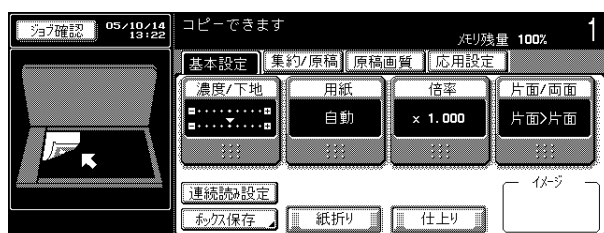
- 濃度：プリント画像濃度を9段階で調整できます。
- 下地濃度：下地色付き原稿の下地色の濃度を9段階で調整できます。

詳しく説明します

鉛筆で書かれた原稿、ハーフトーンの原稿など、手動の濃度調整がむずかしい原稿をコピーするときは、原稿画質の設定をおためください。詳細は、p. 4-16「原稿画質に合わせてコピーする」をごらんください。

■ 濃度／下地調整を行う

1 基本設定画面の〔濃度／下地〕を押します。



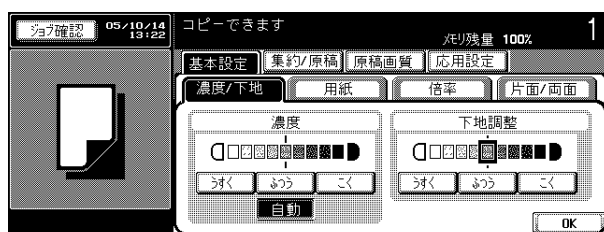
濃度／下地画面が表示されます。

2 任意の濃度に調整します。

プリント画像濃度を9段階で調整できます。〔うすく〕、〔こく〕を押すごとに、1段階ずつ濃度が増減します。

〔ふつう〕を押すと、9段階の中央に設定されます。

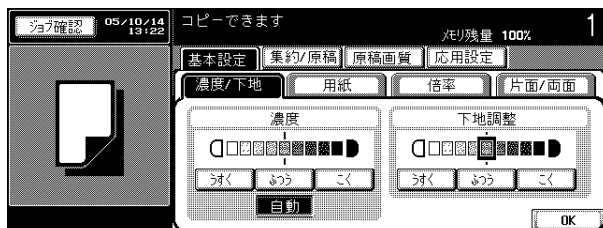
〔自動〕を押すと、原稿の濃度レベルを自動的に検知し、最適な濃度でプリントします。



3 任意の下地濃度に調整します。

下地色付き原稿の下地色の濃度を9段階で調整できます。〔うすく〕、〔こく〕を押すごとに、1段階ずつ濃度が増減します。

〔ふつう〕を押すと、9段階の中央に設定されます。



4 濃度／下地画面の〔OK〕を押します。

基本設定画面にもどります。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、〔OK〕を押して基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

トレイの用紙を選ぶ：用紙設定

用紙サイズを選択する方法は2つあります。
任意のコピー操作に応じていずれかの手順に従って設定します。

- 原稿サイズに合わせて自動で用紙を選択させる
- 手で用紙を指定する

■ 自動的に用紙を選択させる：自動用紙選択

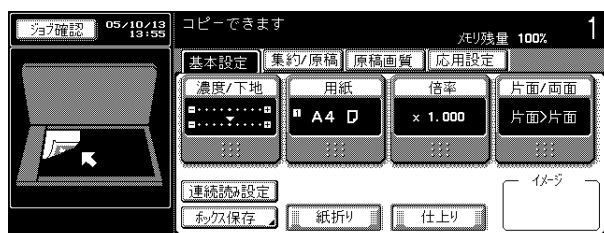
セットされた原稿サイズを検知し、適正サイズの用紙を選択してコピーします。
倍率が等倍に設定されている場合は、原稿サイズと同じサイズの用紙を選択してコピーします。

倍率が拡大または縮小に設定されている場合は、設定されている倍率に対応したサイズの用紙を自動的に選択してコピーします。



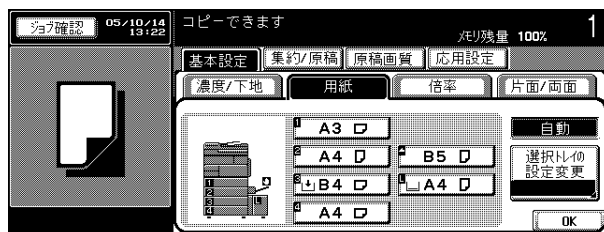
- 出荷時設定では、等倍で自動用紙選択が機能するように設定されています。
- 自動用紙選択と自動倍率選択は併用できません。
- 手差しトレイにセットされた用紙は、自動用紙選択の対象になります。
- 専用紙として設定した給紙トレイや手差しトレイは、自動用紙で自動選択の対象になりません。特別な用紙を給紙トレイにセットしておくときに設定すると便利な機能です。給紙トレイの用紙設定は p. 14-7、手差しトレイの用紙設定は p. 3-17「手差しトレイの用紙を選ぶ：用紙設定」をごらんください。

1 基本設定画面の〔用紙〕を押します。



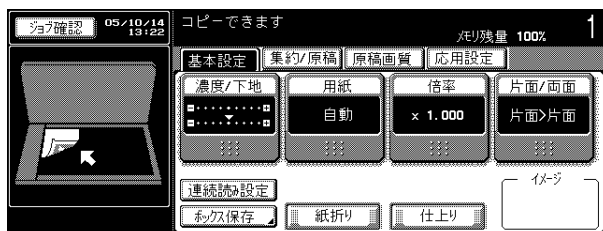
用紙画面が表示されます。

2 〔自動〕を押します。



3 [OK] を押します。

基本設定画面にもどります。〔用紙〕下に「自動」が表示されます。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、[OK] を押して基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

基本設定 第3章

基本的なコピー操作の流れ

原稿をセットする

コピー部数を設定する

濃度/下地調整

用紙設定 (給紙トレイ)

用紙設定 (手差しトレイ)

倍率設定

片面/両面設定

連続読み設定

ウォームアップ中に読み込む

コピー予約

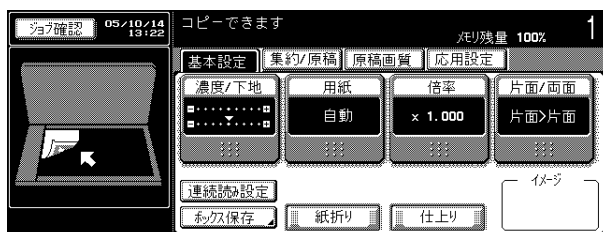
動作中のジョブを停止/再開/削除する

併用できないコピー条件

■ 手動で用紙を指定する

用紙と倍率を任意に設定してコピーすると、コピー画像が用紙に入りきらなかったり、用紙に比べてコピー画像が小さくなったりすることがあります。自動倍率選択と併用すると、原稿サイズと指定した用紙サイズに合わせて最適な倍率を自動的に設定してコピーします。詳細は、p. 3-37「自動的に倍率を選択させる：自動倍率選択」をごらんください。

1 基本設定画面の〔用紙〕を押します。



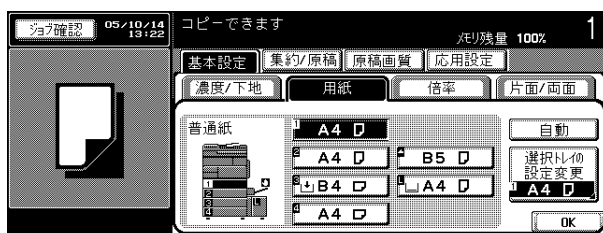
用紙画面が表示されます。



- ADFに原稿をセットしたとき、出荷時設定では自動的に自動倍率選択が機能します。
- 原稿ガラスに原稿をセットしたとき、出荷時設定では自動的に自動倍率選択は機能しません。自動的に自動倍率選択が機能するように設定できます。詳細は、p.15-73をごらんください。

2 任意の給紙トレイボタンを押します。

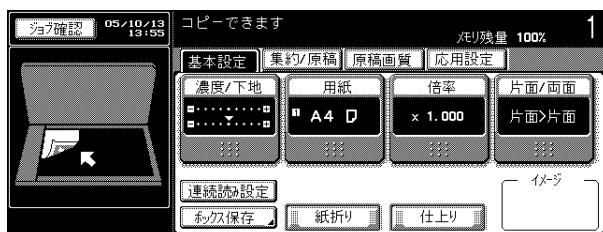
給紙トレイボタンには用紙のサイズ、セット方向、用紙残量が表示されています。給紙トレイに専用紙が設定されているときは、専用紙のアイコンが表示されています。



専用紙アイコンの詳細は、p. 9-9をごらんください。

3 [OK] を押します。

基本設定画面にもどります。〔用紙〕下に選択した給紙トレイにセットされている用紙サイズが表示されます。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、[OK] を押して基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

手差しトレイの用紙を選ぶ：用紙設定

ここでは、手差しトレイにセットした用紙サイズおよび用紙種類の設定方法について説明します。

手差しトレイには、以下の使い方があります。

- **自動検出を設定**
自動検出できるサイズの普通紙をセットして、他の給紙トレイを同様に使用する
- **不定形サイズを設定**
他の給紙トレイにはセットできないサイズの用紙をセットして使用する
- **用紙種類を設定**
他の給紙トレイにはセットできない種類の用紙をセットして使用する

詳しく説明します

手差しトレイ以外の給紙トレイにも用紙種類の設定ができます。用紙種類設定は、設定メニューのユーザ設定で行います。詳細は、p. 14-7 をごらんください。
手差しトレイ以外の給紙トレイに不定形サイズの設定はできません。手差しトレイの用紙セット方法の詳細は、p. 2-53「手差しトレイに用紙をセットする」をごらんください。

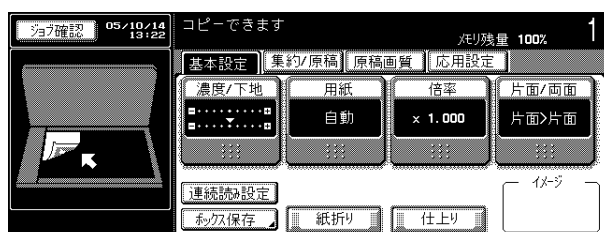
■ 用紙サイズを自動的に検出させる：自動検出

手差しトレイにセットした定形サイズ用紙のサイズを自動的に検出します。



手差しトレイが自動検出できる定形サイズは、A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □、B6 □、11 x 17□、8-1/2 x 11□、官製はがき □ です。
出荷時設定では、手差しトレイの自動検出が設定されています。

1 基本設定画面の〔用紙〕を押します。



用紙画面が表示されます。

基本設定 第3章

基本的なコピー操作の流れ

原稿をセットする

コピー部数を設定する

濃度/下地調整

用紙設定 (給紙トレイ)

用紙設定 (手差しトレイ)

倍率設定

片面/両面設定

連続読み設定

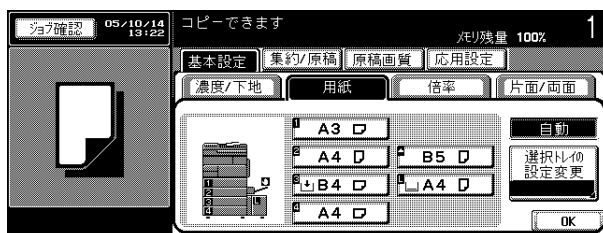
ウォームアップ中に読み取る

コピー予約

動作中のジョブを停止/再開/削除する

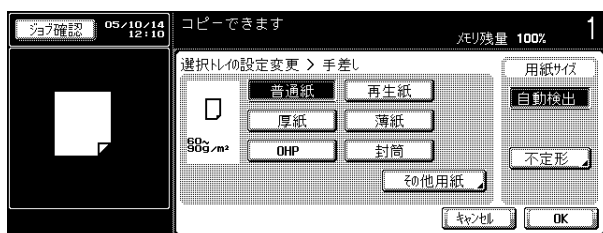
併用できないコピー条件

- 2** 手差しトレイボタンを押して反転させ、「選択トレイの設定変更」を押します。



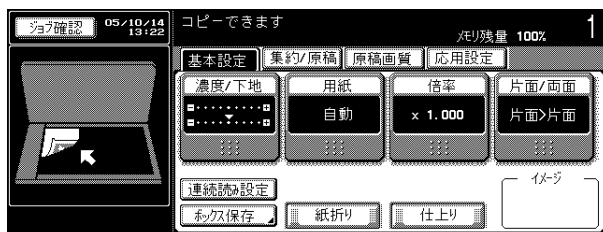
トレイ設定変更画面が表示されます。

- 3** 「自動検出」を押します。



- 4** 「OK」を2回押します。

基本設定画面にもどります。



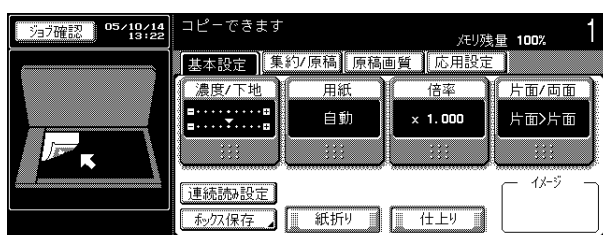
■ 不定形サイズを設定／呼出しする：不定形サイズ

不定形サイズの用紙を手差しトレイにセットするときに設定します。



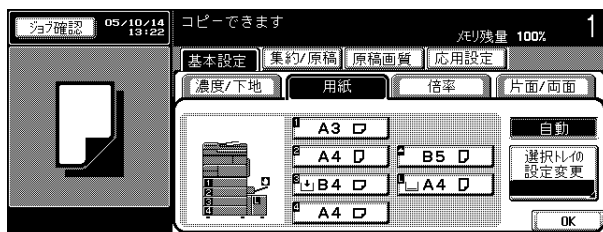
- 不定形の用紙サイズを入力します。
入力できる範囲は下記の通りです。
X 辺：148.0mm ～ 431.8mm
Y 辺：92.0mm ～ 297.0mm
- 5つまで登録した不定形サイズを呼出すことができます。不定形サイズの登録方法の詳細は、p. 3-21「不定形サイズを登録する：不定形サイズ」をごらんください。

1 基本設定画面の〔用紙〕を押します。



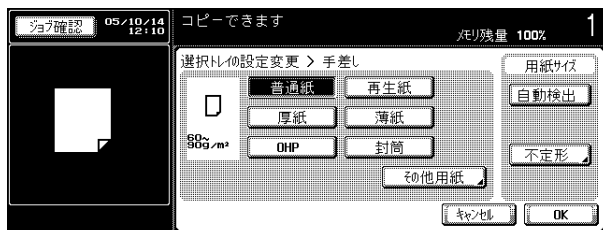
用紙画面が表示されます。

2 手差しトレイボタンを押して反転させ、〔選択トレイの設定変更〕を押します。



トレイ設定変更画面が表示されます。

3 〔不定形〕を押します。



不定形サイズ画面が表示されます。

4 用紙の長さ〔X〕／幅〔Y〕を設定します。

〔X〕が反転していることを確認し、操作パネルのテンキーでX辺の長さを入力します。(148.0mm～431.8mm)

〔Y〕を押して反転させ、操作パネルのテンキーでY辺の長さを入力します。(92.0mm～297.0mm)

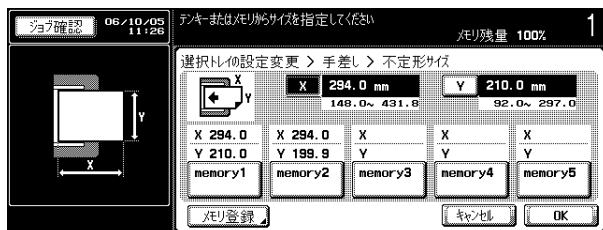
登録されている不定形サイズを呼出すときは、〔memory1〕から〔memory5〕のいずれかのボタンを押して呼出します。呼出すときに押すボタンは名称が変更されていることがあります。



サイズ設定した以外の不定形サイズ用の紙をセットしてプリントすると、紙づまりを起こすことがあります。必ず設定したサイズの用紙をセットしてください。

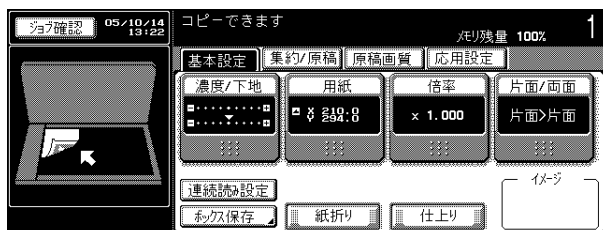


設定可能範囲を超える数値を入力すると「入力エラー」と表示され、入力を受け付けません。操作パネルの【C】(クリア)を押し、正しい数値を入力しなおしてください。



5 〔OK〕を3回押します。

基本設定画面にもどります。基本設定画面の〔用紙〕に入力したサイズが表示されます。



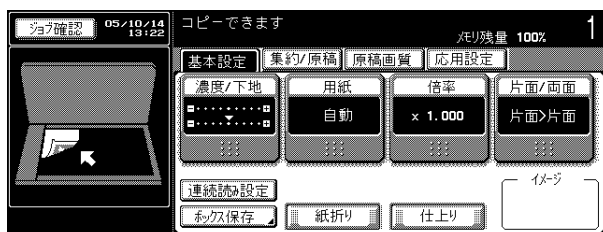
■ 不定形サイズを登録する：不定形サイズ

不定形サイズを5つまで登録できます。よく使用する不定形サイズを登録しておけば、コピーするたびサイズを入力する必要がなくなります。



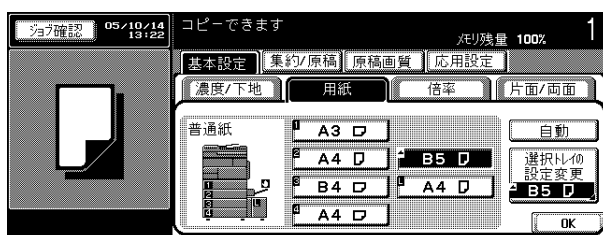
- 不定形の用紙サイズを入力します。
入力できる範囲は下記の通りです。
X 辺：148.0mm ～ 431.8mm
Y 辺：92.0mm ～ 297.0mm
- 登録した不定形サイズを呼出す方法は、p. 3-19「不定形サイズを設定／呼出しする：不定形サイズ」をごらんください。

1 基本設定画面の〔用紙〕を押します。



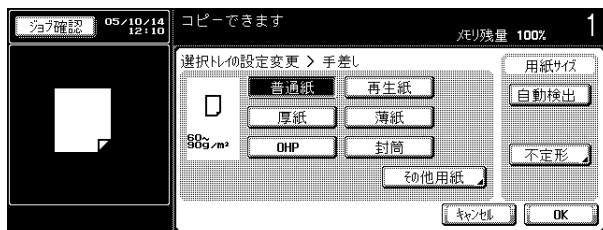
用紙画面が表示されます。

2 手差しトレイボタンを押して反転させ、〔選択トレイの設定変更〕を押します。



トレイ設定変更画面が表示されます。

3 「不定形」を押します。



不定形サイズ画面が表示されます。

4 登録する用紙の長さ〔X〕／幅〔Y〕を入力します。

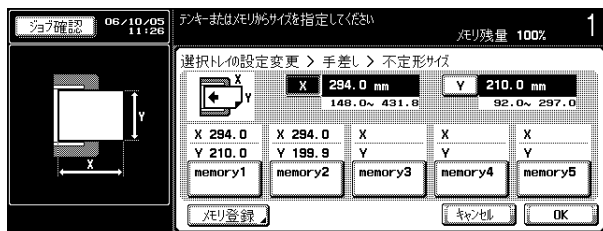
〔X〕が反転していることを確認し、操作パネルのテンキーでX辺の長さを入力します。（148.0mm～431.8mm）

〔Y〕を押して反転させ、操作パネルのテンキーでY辺の長さを入力します。（92.0mm～297.0mm）



詳しく説明します

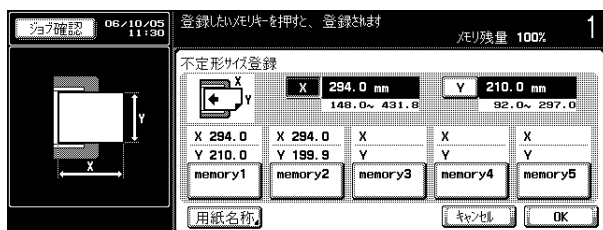
設定可能範囲を超える数値を入力すると「入力エラー」と表示され、入力を受け付けません。操作パネルの【C】（クリア）を押し、正しい数値を入力しなおしてください。



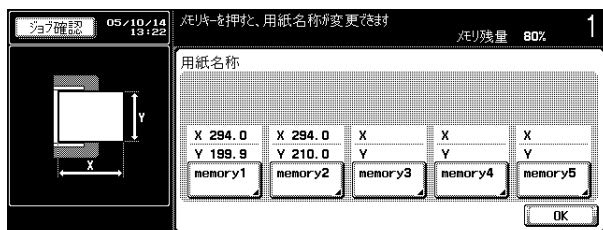
5 「メモリ登録」を押します。

6 入力したサイズ値を登録します。（登録ボタン名を変更します。）

〔memory1〕から〔memory5〕のいずれかのボタンを押して、入力したサイズ値を登録します。



登録ボタン名を変更する場合は〔用紙名称〕を押します。用紙名称画面が表示されます。



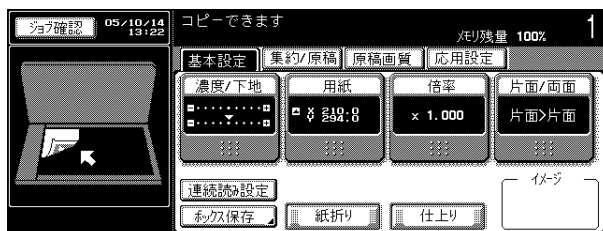
登録ボタン名の変更は任意に行ってください。
登録ボタン名は半角 16 文字（全角 8 文字）まで入力できます。

登録名称を変更したいボタンを押します。文字入力画面が表示されます。新しい名称を入力し、〔OK〕を押します。



7 〔OK〕を 4 回押します。

基本設定画面にもどります。



基本第3章

基本的なコピー操作の流れ

原稿をセットする

コピー部数を設定する

濃度/下地調整

用紙設定（給紙トレイ）

用紙設定（手差しトレイ）

倍率設定

片面/両面設定

連続読み設定

ウォームアップ中に読み込む

コピー予約

動作中のジョブを停止/再開/削除する

併用できないコピー条件

■ 用紙種類を設定する

手差しトレイを専用紙用のトレイとして設定します。

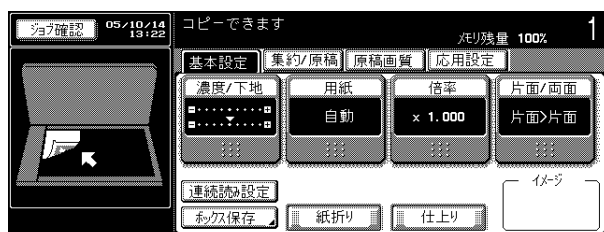
設定する用紙種類によって、定着温度の調整や排紙トレイの制限などを行うことがあります。

また、自動用紙や自動トレイ切換えの機能が働いても、手差しトレイにセットした用紙を自動的に給紙できないようにします。OHP フィルムや専用紙をセットする場合、この設定をしておけば思わぬ給紙を防止してくれます。



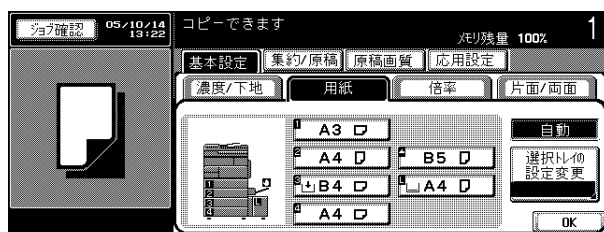
- OHP フィルムや厚紙、薄紙を手差しトレイにセットするときは、必ず設定します。
- 再生紙、厚紙、薄紙、OHP、封筒、レターヘッド紙、第2原紙、ユーザ紙、ラベル紙、色紙の設定ができます。
- 封筒にコピーするときは、本体右ドア内側の封筒レバーを上にあげます。詳細は、p. 2-55 をご覧ください。
- 手差しトレイの用紙種類を普通紙以外に設定しても、機械がリセットされるとその設定は普通紙の設定にもどります。

1 基本設定画面の〔用紙〕を押します。



用紙画面が表示されます。

2 手差しトレイボタンを押して反転させ、〔選択トレイの設定変更〕を押します。



トレイ設定変更画面が表示されます。

3 専用紙の種類を設定します。

任意の用紙種類のボタンを押します。

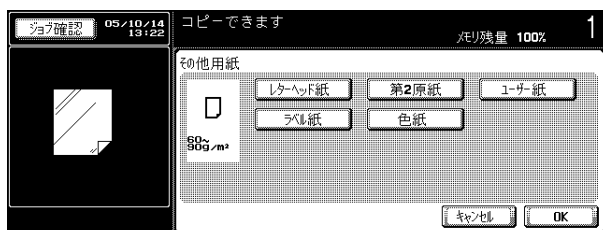
レターヘッド紙、第2原紙、ユーザ紙、ラベル紙、色紙を設定したいときは、〔その他用紙〕を押します。



必ず守ってください

手差しトレイに専用紙をセットしたときは必ず手差しトレイをその専用紙トレイとして設定してください。設定しなかったり、誤った設定をすると、紙づまりの原因になります。

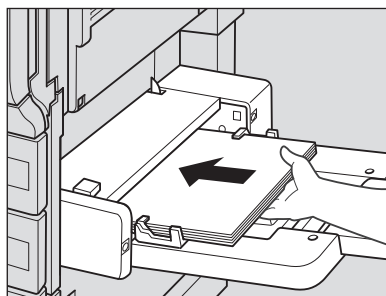
その他用紙設定画面の任意のボタンを押して、〔OK〕を押します。



4 〔OK〕を2回押します。

基本設定画面にもどります。

5 手差しトレイに設定した用紙をセットします。



基本第3章

基本的なコピー操作の流れ

原稿をセットする

コピー部数を設定する

濃度／下地調整

用紙設定（給紙トレイ）

用紙設定（手差しトレイ）

倍率設定

片面／両面設定

連続読み設定

ウォームアップ中に読み込む

コピー予約

動作中のジョブを停止／再開／削除する

併用できないコピー条件

倍率を選ぶ：倍率設定

原稿と異なるサイズの手紙にコピーするときや、画像のサイズを変えてコピーするときには倍率を設定します。

初期状態では、倍率は等倍（x1.000）に設定されています。

ここでは、倍率の設定のしかたについて説明します。

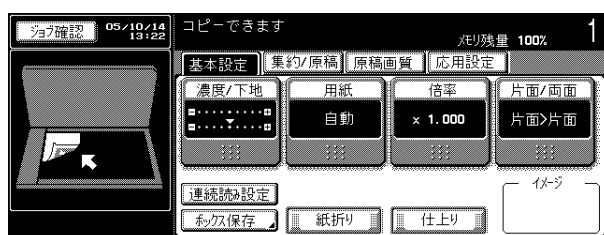
■ 等倍でコピーする

手紙サイズに関係なく、原稿と同じ大きさの画像をコピーします。



- 初期状態では、倍率は等倍（x1.000）に設定されています。等倍以外の設定がされているとき、下記の手順で等倍にします。
- 等倍（x1.000）の初期状態を変更していなければ、操作パネルの【リセット】を押すと、等倍にもどります。このとき、そのほかのコピー操作も初期状態にもどります。
- 設定した倍率を微調整するとき、倍率画面の〔+〕／〔-〕を押します。〔+〕を押すと拡大側に、〔-〕を押すと縮小側に x0.001 刻みで倍率を変更できます。

1 基本設定画面の〔倍率〕を押します。



倍率画面が表示されます。

2 〔等倍〕を押します。



3 〔OK〕を押します。

基本設定画面にもどります。x1.000 が表示されます。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、〔OK〕を押して基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

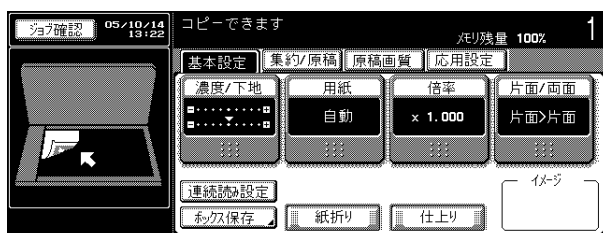
■ 少しでも縮小させる：小さめ

画像を、原稿サイズより、わずかに縮小（x0.930）してコピーします。



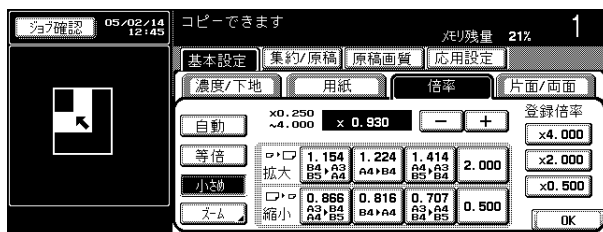
- 出荷時設定では、倍率は x0.930 に設定されています。
- 「小さめ」の倍率を x0.900 ～ x0.999 の範囲で変更できます。詳しくは p. 3-35 「倍率を登録する」をごらんください。
- 設定した倍率を微調整するとき、倍率画面の〔+〕／〔-〕を押します。〔+〕を押すと拡大側に、〔-〕を押すと縮小側に x0.001 刻みで倍率を変更できます。

1 基本設定画面の〔倍率〕を押します。



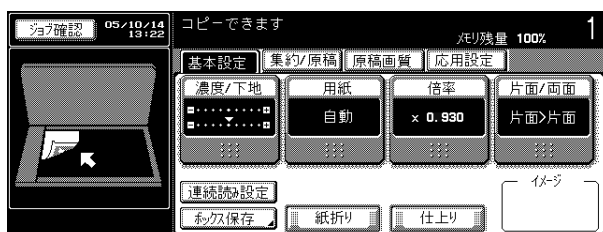
倍率画面が表示されます。

2 「小さめ」を押します。



3 「OK」を押します。

基本設定画面にもどります。設定した倍率が表示されています。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、〔OK〕を押して基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

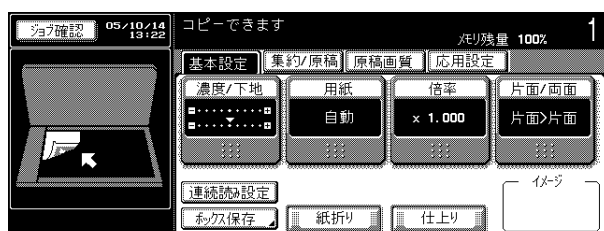
■ 固定倍率を選択する

定形サイズ原稿を定形サイズ用紙にコピーする場合によく使用される倍率（固定倍率）があらかじめ設定されています。原稿と用紙のサイズから固定倍率を選択します。



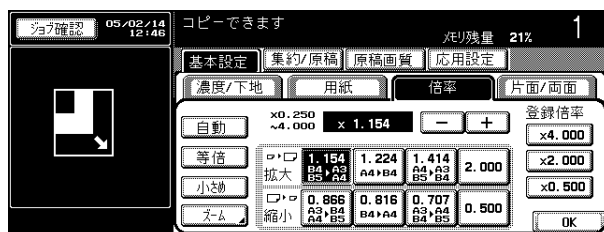
- 拡大倍率はx1.154、x1.224、x1.414、x2.000の4種類、縮小倍率はx0.866、x0.816、x0.707、x0.500の4種類が設定されています。
- 設定した倍率を微調整するとき、倍率画面の〔+〕／〔-〕を押します。〔+〕を押すと拡大側に、〔-〕を押すと縮小側にx0.001刻みで倍率を変更できます。

1 基本設定画面の〔倍率〕を押します。



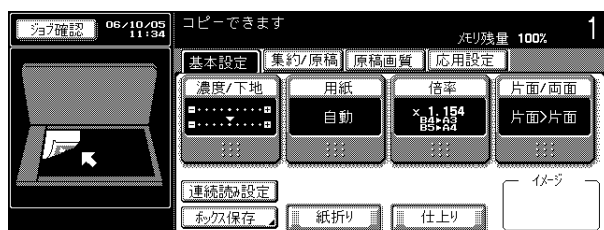
倍率画面が表示されます。

2 任意の固定倍率ボタンを選択します。



3 〔OK〕を押します。

基本設定画面にもどります。設定した倍率が表示されています。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、〔OK〕を押して基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

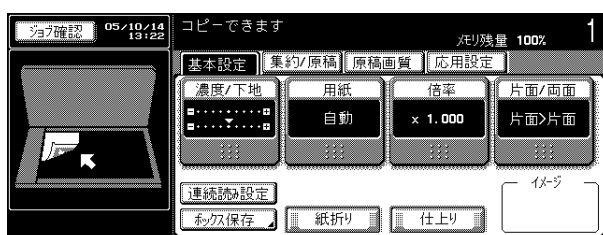
■ズーム倍率を設定する

縦と横の比率を変えずに x0.250 ～ x4.000 の範囲で倍率を設定します。



- 操作パネルのテンキーで倍率を入力します。x0.250 ～ x4.000 の範囲の倍率を x0.001 刻みで設定できます。
- 入力した倍率を登録することができます。詳細は、p. 3-35「倍率を登録する」をごらんください。
- 設定した倍率を微調整するとき、倍率画面の〔+〕／〔-〕を押します。〔+〕を押すと拡大側に、〔-〕を押すと縮小側に x0.001 刻みで倍率を変更できます。

1 基本設定画面の〔倍率〕を押します。



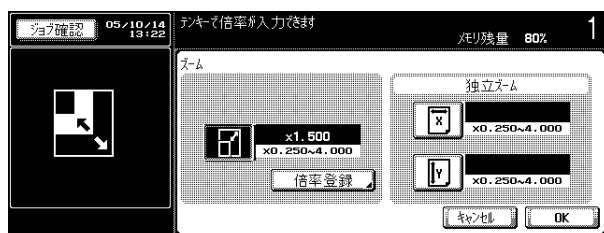
倍率画面が表示されます。

2 〔ズーム〕を押します。



ズーム画面が表示されます。

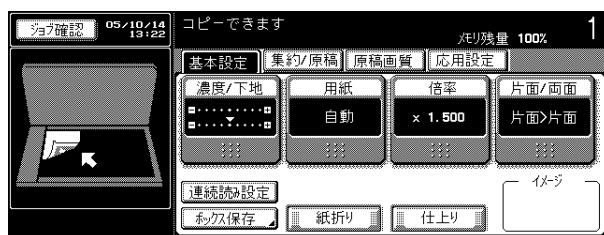
- 3** ズームのアイコンボタンを押して反転させ、操作パネルのテンキーで任意の倍率（x0.250 ~ x4.000）を入力します。



入力した倍率が表示されます。

- 4** **〔OK〕** を押します。
〔キャンセル〕を押すと、ズーム画面で設定したズーム倍率は設定されません。
倍率画面にもどります。

- 5** **〔OK〕** を押します。
基本設定画面にもどります。設定した倍率が表示されています。



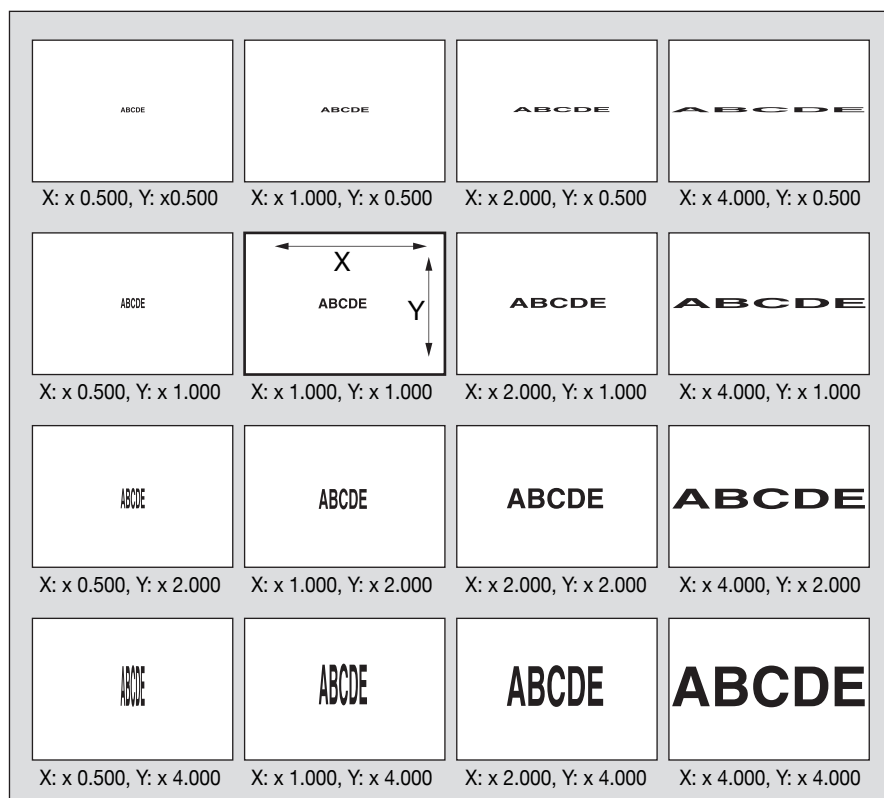
設定可能範囲を超える数値を入力すると「入力エラー」と表示され、入力を受け付けません。操作パネルの【C】（クリア）を押し、正しい数値を入力しなおしてください。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、〔OK〕を押して基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

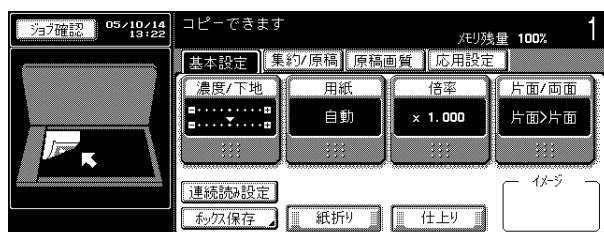
■ 縦／横別々に倍率を設定する：独立ズーム

縦と横の倍率を別々に設定し、下図のようなコピー画像が得られます。



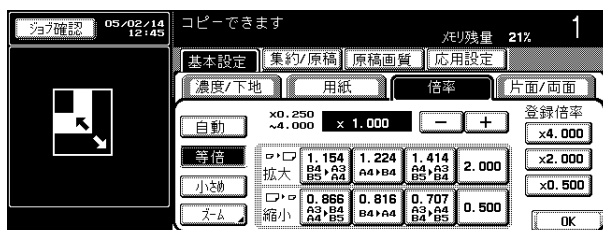
- 操作パネルのテンキーで倍率を入力します。縦、横とも別々に x0.250 ～ x4.000 の範囲の倍率を x0.001 刻みで設定できます。
- 独立ズーム倍率を登録することはできません。
- 設定した独立ズーム倍率を倍率画面の〔+〕／〔-〕を使って微調整することはできません。

1 基本設定画面の〔倍率〕を押します。



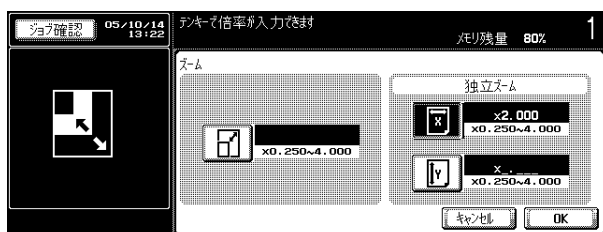
倍率画面が表示されます。

2 「ズーム」を押します。



ズーム画面が表示されます。

3 「独立ズーム」の〔X〕を押して反転させ、操作パネルのテンキーで任意の倍率（x0.250～x4.000）を入力します。

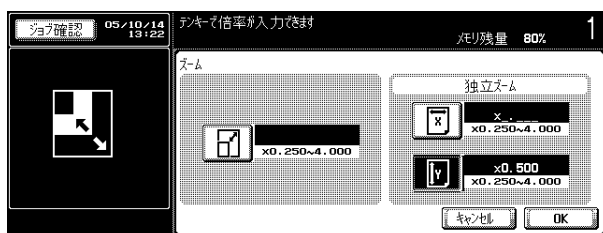


詳しく説明します

設定可能範囲を超える数値を入力すると「入力エラー」と表示され、入力を受け付けません。操作パネルの【C】（クリア）を押し、正しい数値を入力しなおしてください。

入力した倍率が〔X〕横に表示されます。

4 「独立ズーム」の〔Y〕を押して反転させ、操作パネルのテンキーで任意の倍率（x0.250～x4.000）を入力します。



詳しく説明します

設定可能範囲を超える数値を入力すると「入力エラー」と表示され、入力を受け付けません。操作パネルの【C】（クリア）を押し、正しい数値を入力しなおしてください。

入力した倍率が〔Y〕横に表示されます。

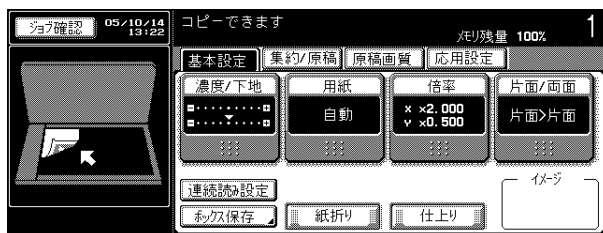
5 「OK」を押します。

〔キャンセル〕を押すと、ズーム画面で設定した独立ズーム倍率は設定されません。

倍率画面にもどります。

6 [OK] を押します。

基本設定画面にもどります。設定した独立ズーム倍率が表示されています。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、[OK] を押して基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

基本設定 第3章

基本的なコピー操作の流れ

原稿をセットする

コピー部数を設定する

濃度/下地調整

用紙設定 (給紙トレイ)

用紙設定 (手差しトレイ)

倍率設定

片面/両面設定

連続読み設定

ウォームアップ中に読みみする

コピー予約

動作中のジョブを停止/再開/削除する

併用できないコピー条件

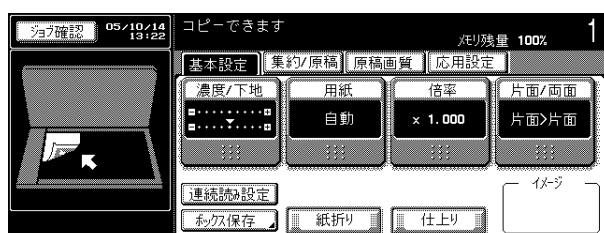
■登録倍率から選択する

登録されている倍率を呼出してコピーします。



- 出荷時設定では、x4.000、x2.000、x0.500 の3つのズーム倍率が登録されています。
- 登録倍率を変更できます。詳細は、p. 3-35「倍率を登録する」をごらんください。
- 呼出した倍率を微調整するとき、倍率画面の〔+〕／〔-〕を押します。〔+〕を押すと拡大側に、〔-〕を押すと縮小側にx0.001刻みで倍率を変更できます。

1 基本設定画面の〔倍率〕を押します。



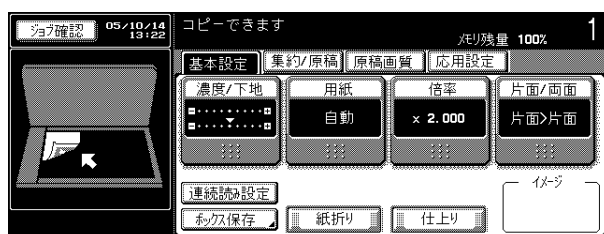
倍率画面が表示されます。

2 「登録倍率」の任意の登録倍率ボタンを押します。



3 〔OK〕を押します。

基本設定画面にもどります。呼出した倍率が表示されています。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、〔OK〕を押して基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

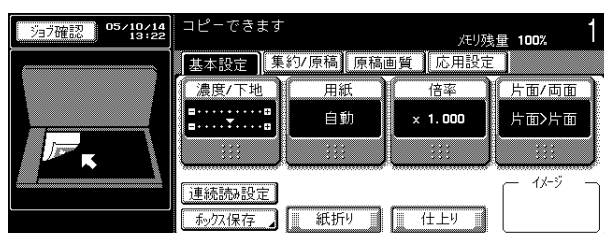
■ 倍率を登録する

よく使用するズーム倍率を登録したり、〔小さめ〕に設定されている倍率を変更します。



- x0.250 ～ x4.000 の範囲のズーム倍率を x0.001 刻みで 3 つまで登録できます。出荷時設定では、x4.000、x2.000、x0.500 の 3 つのズーム倍率が登録されています。
- 〔小さめ〕に設定されている縮小倍率を x0.900 ～ x0.999 の範囲で変更できます。出荷時設定では、x0.930 が設定されています。
- 独立ズーム倍率を登録することはできません。

1 基本設定画面の〔倍率〕を押します。



倍率画面が表示されます。

2 〔ズーム〕を押します。



ズーム画面が表示されます。

3 ズームのアイコンボタンを押して反転させ、操作パネルのテンキーで任意の倍率を入力します。

ズーム倍率を登録する場合は、x0.250 ~ x4.000 の範囲の倍率を入力します。

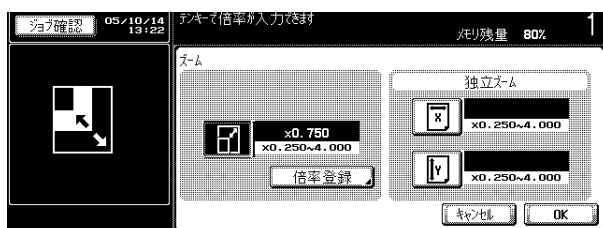
〔小さめ〕に設定する倍率の場合は、x0.900 ~ x0.999 の範囲の倍率を入力します。

入力した倍率が表示されます。



詳しく説明します

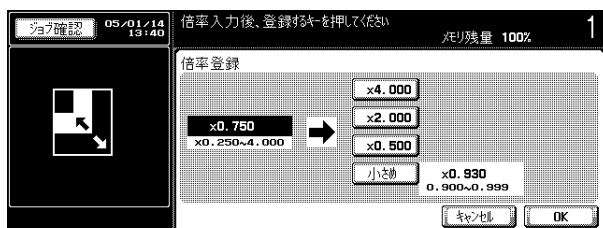
設定可能範囲を超える数値を入力すると「入力エラー」と表示され、入力を受け付けません。操作パネルの【C】（クリア）を押し、正しい数値を入力しなおしてください。



4 〔倍率登録〕を押します。

倍率登録画面が表示されます。

5 登録するいずれかのボタン、または〔小さめ〕を押します。



6 〔OK〕を押します。

〔キャンセル〕を押すと、設定した倍率は登録されません。

ズーム画面にもどります。

7 〔OK〕を2回押します。

基本設定画面にもどります。

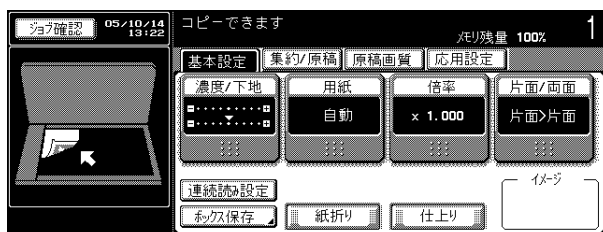
■ 自動的に倍率を選択させる：自動倍率選択

原稿サイズと選択した用紙サイズに合わせて、自動的に最適な倍率を選択します。



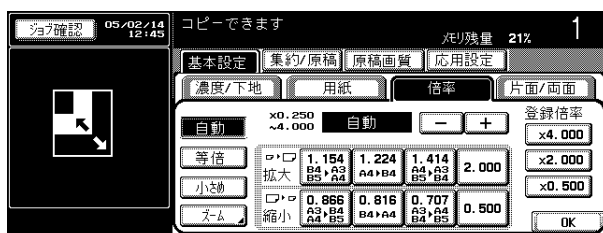
- 出荷時設定では、倍率は等倍（ $\times 1.000$ ）が設定されています。
- 自動倍率選択と自動用紙選択は併用できません。自動用紙選択に関しては、p. 3-14 をご覧ください。

1 基本設定画面の〔倍率〕を押します。



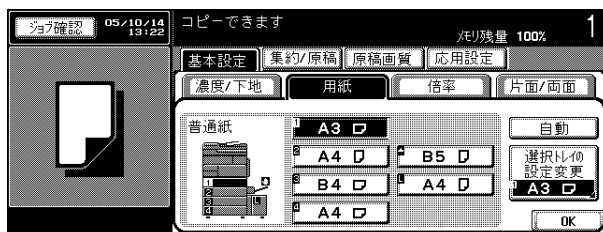
倍率画面が表示されます。

2 〔自動〕を押します。



用紙画面が表示されます。

3 任意のトレイボタンを押して、用紙を選択します。

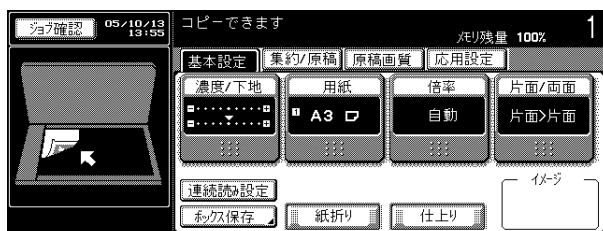


4

〔OK〕を押します。

基本設定画面にもどります。

原稿サイズに合わせて、最適な倍率が表示されます。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、〔OK〕を押して基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

片面／両面コピーを選ぶ：片面／両面設定

ADF または原稿ガラスに原稿をセットして両面コピーをとる方法を説明します。
また、ADF を使って両面原稿を片面コピーする方法を説明します。
出荷時設定では、片面原稿を片面コピー（片面＞片面）するように設定されています。

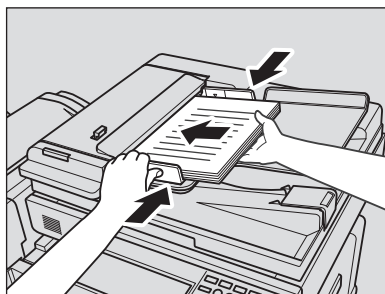
■ ADF を使って両面コピーをとる

ADF を使用して片面原稿や両面原稿を両面コピーする方法を説明します。

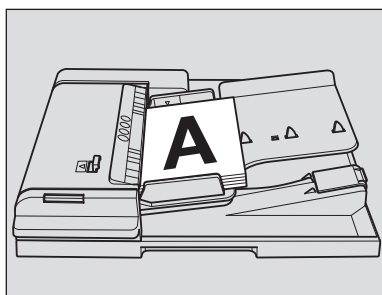


- セットした原稿の方向に合わせて原稿セット方向を設定します。詳細は、p. 4-11「原稿セット方向を設定する：原稿セット方向」をごらんください。
- 〔両面＞両面〕を選択したとき、下記の両面原稿は原稿のと同じ方向を手動で設定しないと希望するコピーがとれないことがあります。
 - A4 サイズ以下の上とじポートレート原稿
 - A4 サイズ以下の左／右とじランドスケープ原稿
 - B4 サイズ以上の左／右とじポートレート原稿
 - B4 サイズ以上の上とじランドスケープ原稿詳細は p. 4-14「原稿のと同じ方向を設定する：原稿と同じ代」をごらんください。

1 ADF に原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をごらんください。



基本第3章 設定

基本的なコピー操作の流れ

原稿をセットする

コピー部数を設定する

濃度／下地調整

用紙設定（給紙トレイ）

用紙設定（手差しトレイ）

倍率設定

片面／両面設定

連続読み設定

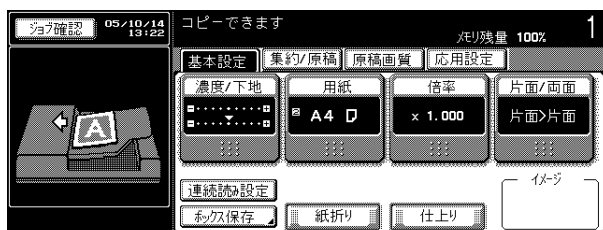
ウォームアップ中に読み込む

コピー予約

動作中のジョブを停止／再開／削除する

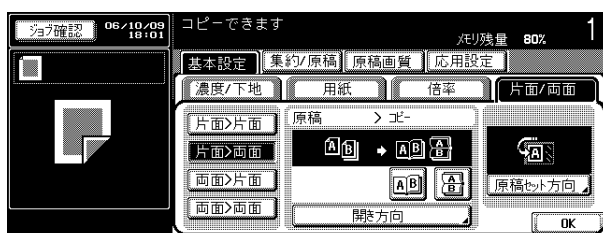
併用できないコピー条件

2 基本設定画面の〔片面／両面〕を押します。



片面／両面画面が表示されます。

3 〔片面>両面〕または〔両面>両面〕を押します。



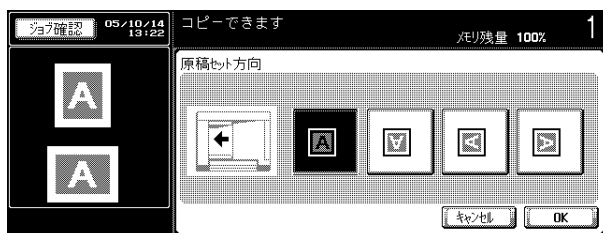
4 セットした原稿の方向に合わせて原稿セット方向を選択します。

〔原稿セット方向〕を押して原稿セット方向画面を表示させます。

セットした原稿の方向に合わせて、任意の方向ボタンを選択し、〔OK〕を押します。



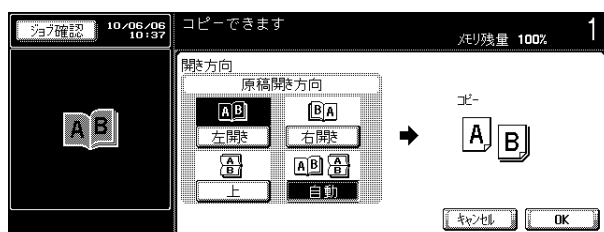
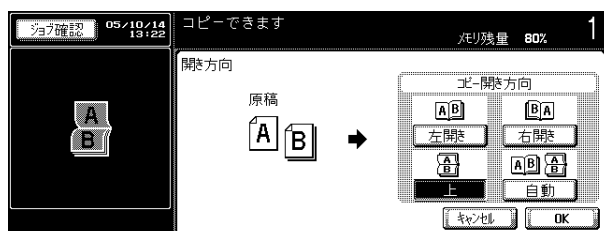
原稿セット方向に関しては別に説明しています。詳細は、p.4-11 をごらんください。



5 原稿およびコピーの開き方向を選択します。

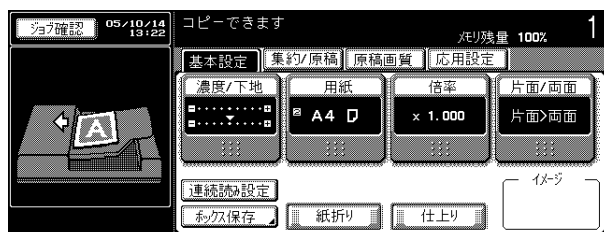
原稿のと同じ方向や、両面コピーのと同じ方向を手動で設定しないと希望するコピーがとれないことがあります。

〔開き方向〕を押して開き方向画面を表示させます。
原稿およびコピー開き方向の任意のボタンを選択して〔OK〕を押します。



6 〔OK〕を押します。

基本設定画面にもどります。



7 必要に応じて、そのほかの設定をします。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、〔OK〕を押して基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

■ 原稿ガラスを使って両面コピーをとる

原稿ガラスを使用して両面コピーをとる手順を説明します。

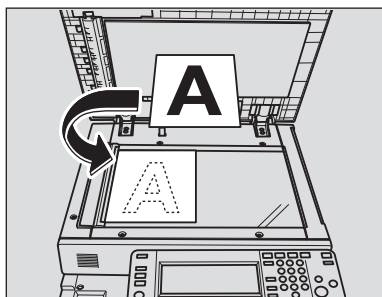
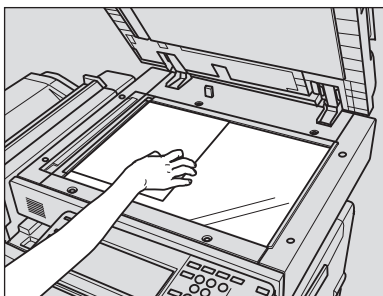


- 連続読み設定モードが自動的に機能します。
- セットした原稿の方向に合わせて原稿セット方向を設定します。詳細は、p. 4-11「原稿セット方向を設定する：原稿セット方向」をごらんください。

1 ADF を開きます。

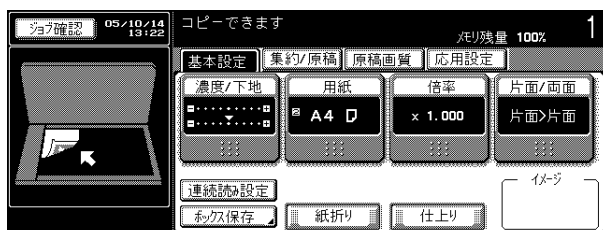
2 原稿ガラスに原稿をセットします。

原稿は 1 枚目（1 ページ目）のコピーする面を下に向け原稿ガラスにセットします。



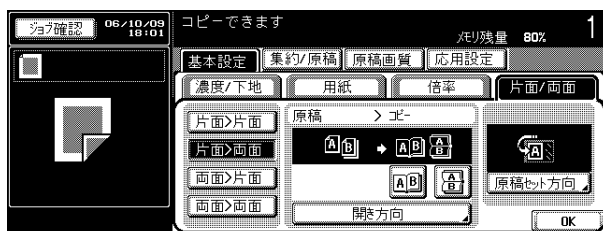
原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をごらんください。

3 基本設定画面の〔片面／両面〕を押します。



片面／両面画面が表示されます。

4 〔片面＞両面〕を押します。



〔両面＞両面〕を選択することができますが、原稿ガラスにセットする原稿が両面原稿だからといって〔両面＞両面〕を選択する必要はありません。

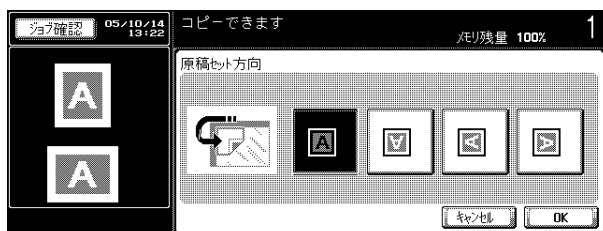
5 セットした原稿の方向に合わせて原稿セット方向を選択します。

〔原稿セット方向〕を押して原稿セット方向画面を表示させます。

セットした原稿に合わせて任意の方向ボタンを選択し、〔OK〕を押します。



原稿セット方向に関しては別に説明しています。詳細は、p.4-11をごらんください。



基本第3章

基本的なコピー
操作の流れ

原稿を
セットする

コピー部数を
設定する

濃度／下地
調整

用紙設定
(給紙トレイ)

用紙設定
(手差しトレイ)

倍率設定

片面／両面
設定

連続読み設定

ウォームアップ
中に読みみる

コピー予約

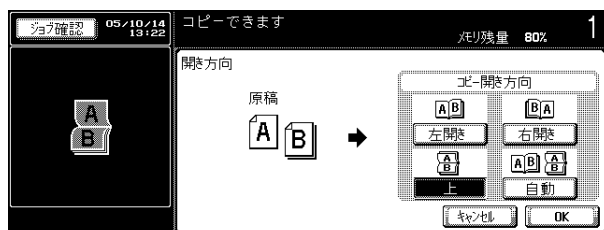
動作中のジョブを
停止／再開／削除する

併用できない
コピー条件

6 コピーの開き方向を選択します。

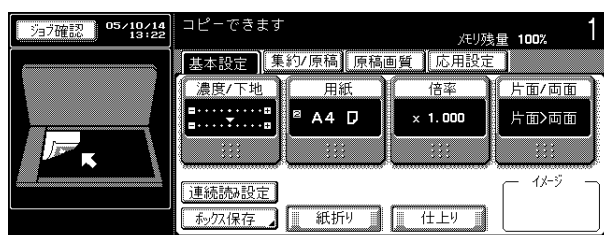
両面コピーのとじ方向を手動で設定しないと希望するコピーがとれないことがあります。

〔開き方向〕を押して開き方向画面を表示させます。
コピー開き方向の任意のボタンを選択して〔OK〕を押します。



7 〔OK〕を押します。

基本設定画面にもどります。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、〔OK〕を押して基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

8 必要に応じて、そのほかの設定します。



両面コピーのとじ方向設定の詳細は、p. 5-59 をごらんください。



コピー部数の入力のかたについての詳細は、p. 3-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

9 操作パネルの【スタート】を押します。

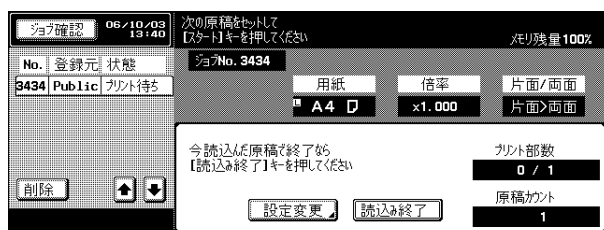
読み込みが開始されます。

読み込み後、「読み込み停止中です 【スタート】キーで再開できます」と表示されます。

10 2枚目（2ページ目）の原稿をセットし、【スタート】を押します。

すべての原稿を読み込むまで、手順⑨を繰り返します。

11 全ての原稿を読み込んだ後、【読み込み終了】を押します。



12 【スタート】を押します。 両面コピーを一括出力します。

詳しく説明します

動作中のジョブを停止するとき
は【ストップ】を押します。詳
細は、p. 3-56「動作中のジョブ
を停止／再開／削除する」をご
らんください。

基本第3章

基本的なコピー
操作の流れ

原稿を
セットする

コピー部数を
設定する

濃度／下地
調整

用紙設定
(給紙トレイ)

用紙設定
(手差しトレイ)

倍率設定

片面／両面
設定

連続読み設定

ウォームアップ
中に読み込む

コピー予約

動作中のジョブを
停止／再開／削除する

併用できない
コピー条件

■ 両面原稿から片面コピーをとる

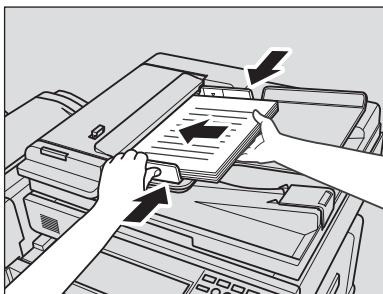
ADF を使用して両面原稿を片面コピーする方法を説明します。

両面原稿を原稿ガラスにセットして片面コピーするときは、〔片面＞片面〕をご利用ください。



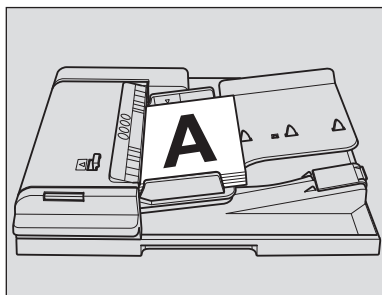
- セットした原稿の方向に合わせて原稿セット方向を設定します。詳細は、p. 4-11「原稿セット方向を設定する：原稿セット方向」をごらんください。
- 下記の両面原稿は原稿のと同じ方向を手動で設定しないと希望するコピーがとれないことがあります。
 - A4 サイズ以下の上とじポートレート原稿
 - A4 サイズ以下の左／右とじランドスケープ原稿
 - B4 サイズ以上の左／右とじポートレート原稿
 - B4 サイズ以上の上とじランドスケープ原稿

1 ADF に原稿をセットします。

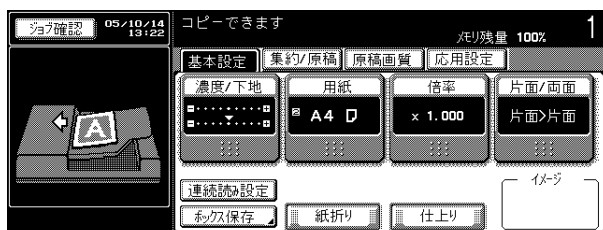


詳しく説明します

原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をごらんください。



2 基本設定画面の〔片面／両面〕を押します。



片面／両面画面が表示されます。

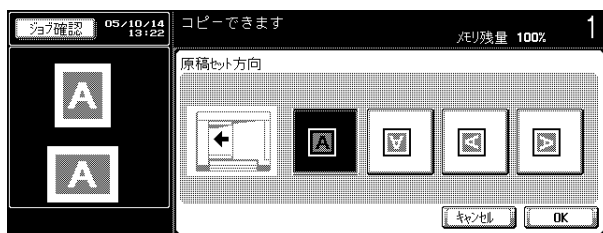
3 〔両面＞片面〕を押します。



4 セットした原稿の方向に合わせて原稿セット方向を選択します。

〔原稿セット方向〕を押して原稿セット方向画面を表示させます。

セットした原稿の方向に合わせて、任意の方向ボタンを選択し、〔OK〕を押します。



原稿セット方向に関しては別に説明しています。詳細は、p.4-11 をごらんください。

基本第3章

基本的なコピー
操作の流れ

原稿を
セットする

コピー部数を
設定する

濃度／下地
調整

用紙設定
(給紙トレイ)

用紙設定
(手差しトレイ)

倍率設定

片面／両面
設定

連続読み設定

ウォームアップ
中に読み取る

コピー予約

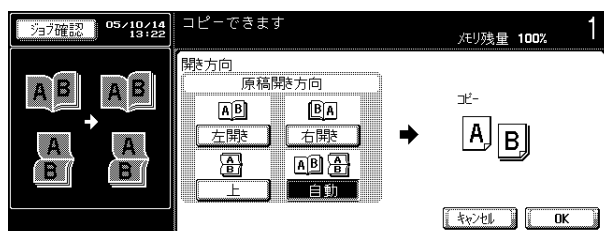
動作中のジョブを
停止／再開／削除する

併用できない
コピー条件

5 原稿の開き方向を選択します。

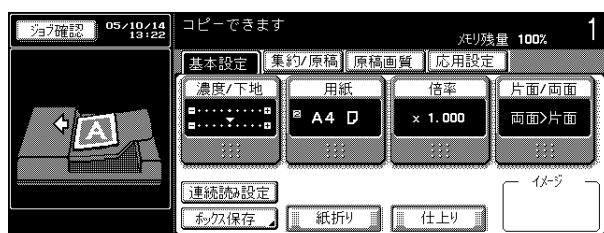
〔両面＞両面〕を選択したとき、原稿のと同じ方向を手動で設定しないと希望するコピーがとれないことがあります。

〔開き方向〕を押して開き方向画面を表示させます。
原稿およびコピー開き方向の任意のボタンを選択して〔OK〕を押します。



6 〔OK〕を押します。

基本設定画面にもどります。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、〔OK〕を押して基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

7 必要に応じて、そのほかの設定をします。

原稿を分割して読み一度に出力する：連続読み設定

大量にある原稿をいくつかに分けて読みませることができます。

ADF に一度にセットできる原稿枚数は 80 枚までですが、連続読み設定を使用することにより、80 枚を超える原稿を一つのジョブとして扱うことができます。

また、原稿ガラスで読みませた複数枚の原稿を一つのジョブとして扱ったり、ADF のジョブと原稿ガラスのジョブを組み合わせ一つのジョブとして扱うこともできます。

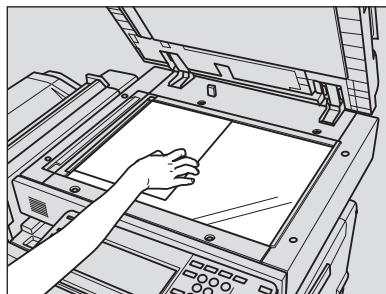


- 連続読み設定にしても ADF にセットできる原稿枚数は変わりません。原稿は 80 枚または積載制限マーク (▼) を超えてセットしないでください。原稿づまりや原稿破損の原因になります。
- 以下のコピー操作は連続読み設定が前提です。設定すると自動的に連続読み設定が機能します。
原稿ガラスを使用して両面コピー
差し込みコピー
ブック連写

1

原稿をセットします。

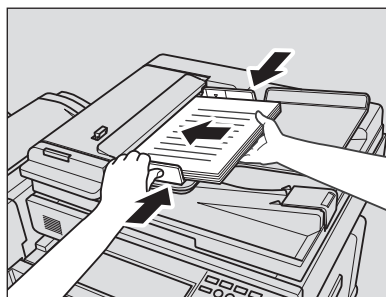
原稿ガラスを使用する場合、最初のページから、コピーする面を下にしてセットします。



詳しく説明します

原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をごらんください。

ADF を使用する場合、ページ順にそろえた原稿の 1 ページ目を上にしてセットします。



基本第3章 設定

基本的なコピー
操作の流れ

原稿を
セットする

コピー部数を
設定する

濃度／下地
調整

用紙設定
(給紙トレイ)

用紙設定
(手差しトレイ)

倍率設定

片面／両面
設定

連続読み設定

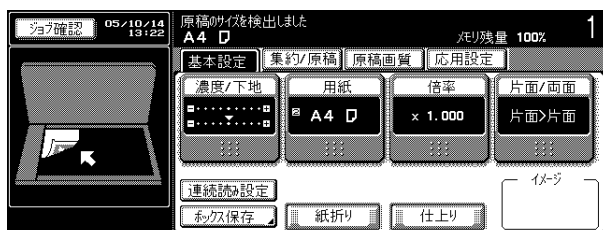
ウォームアップ
中に読みみる

コピー予約

動作中のジョブを
停止／再開／削除する

併用できない
コピー条件

2 基本設定画面の〔連続読み設定〕を押します。



3 必要に応じてそのほかの設定をします。



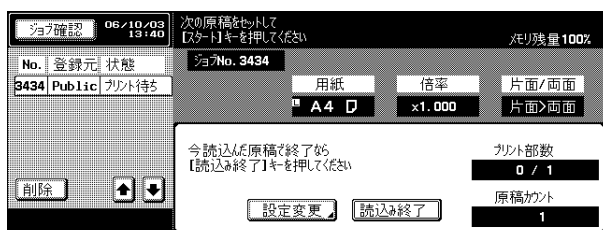
詳しく説明します

コピー部数の入力の方法についての詳細は、p. 3-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

4 操作パネルの【スタート】を押します。



読み込みが開始されます。



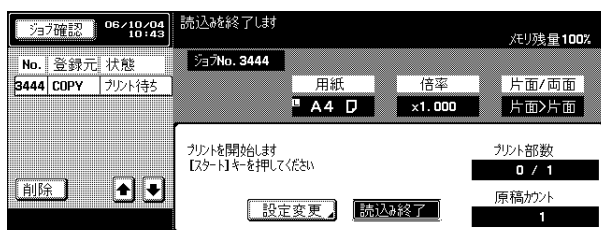
原稿を読込んだ後、「次の原稿をセットして【スタート】キーを押してください」と表示されます。

5 次の原稿をセットし、操作パネルの【スタート】を押します。



全ての原稿を読み込むまで手順④～⑤の操作を繰り返します。

6 全ての原稿を読込んだ後、〔読み終了〕を押します。



7 操作パネルの【スタート】を押します。



一括出力されます。

詳しく説明します

読込んだ画像データを削除したいときは、【ストップ】を押します。詳細は、p. 3-56「動作中のジョブを停止／再開／削除する」をご覧ください。



基本設定画面右上部のメモリ残量表示で、原稿読み中のメモリ残量が確認できます。

基本設定 第3章

基本的なコピー操作の流れ

原稿をセットする

コピー部数を設定する

濃度／下地調整

用紙設定（給紙トレイ）

用紙設定（手差しトレイ）

倍率設定

片面／両面設定

連続読み設定

ウォームアップ中に読みする

コピー予約

動作中のジョブを停止／再開／削除する

併用できないコピー条件

詳しく説明します

動作中のジョブを停止するときは【ストップ】を押します。詳細は、p. 3-56「動作中のジョブを停止／再開／削除する」をご覧ください。

ウォームアップ中に読みます

出力できるまでのウォームアップ中に原稿を読み込んで、ウォームアップが完了したときに出力することができます。



下記条件のとき、ウォームアップが始まります。

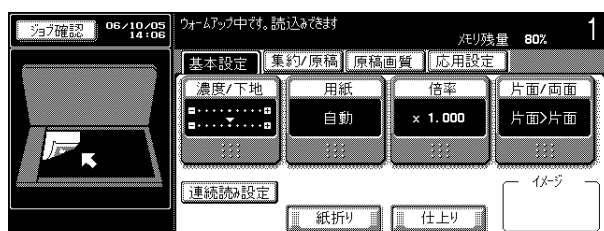
副電源スイッチをオンにする (p. 2-28 参照)

スリープモードを解除するために操作パネルの【パワーセーブ】を押す (p. 2-34 参照)

ウィークリタイマの時間外使用を行う (p. 2-36 参照)

1 基本設定画面メッセージ表示エリアの「ウォームアップ中です 読みできます」というメッセージを確認します。

操作パネルの【スタート】が緑色に点灯します。



2 原稿をセットします。



詳しく説明します

原稿のセット方法の詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をご覧ください。

3 コピー部数および必要に応じてそのほかの設定をします。



詳しく説明します

コピー部数の設定の詳細は、p. 3-10「コピー部数を設定する」をご覧ください。

4 操作パネルの【スタート】を押します。



詳しく説明します

動作中のジョブを停止したいときは、【ストップ】を押します。詳細は、p. 3-56「動作中のジョブを停止／再開／削除する」を
ごらんください。

原稿の読みをし、待機中のジョブに追加されます。

5 次の原稿があるときは、手順③～④の操作を繰り返します。

6 新たにコピー部数、そのほかの設定をして【スタート】を押します。



ウォームアップが完了したとき、ジョブの順番に自動的に出力を開始します。

詳しく説明します

次の原稿を読み込むためのコピー条件を設定するとき、いくつかのコピー条件をそのまま生かすように設定することができます。詳細は、p. 14-17 をごらんください。
待機中のジョブの設定内容を確認したり、優先出力の設定をしたり、ジョブを削除することができます。詳細は、「第8章 ジョブ確認」を
ごらんください。

基本第3章

基本的なコピー
操作の流れ

原稿を
セットする

コピー部数を
設定する

濃度／下地
調整

用紙設定
(給紙トレイ)

用紙設定
(手差しトレイ)

倍率設定

片面／両面
設定

連続読み設定

ウォームアップ
中に読みする

コピー予約

動作中のジョブを
停止／再開／削除する

併用できない
コピー条件

出力中に次の原稿を読み込む：コピー予約

現在のジョブのプリント中に、次のコピージョブの設定や原稿読み込みを行います。コピー予約されたコピージョブは、その前のジョブが完了後に続けてプリントします。



コピー予約は、現在出力中のジョブも含めて 61 ジョブまで設定できます。
出荷時設定では、現在のジョブの原稿読み込みが完了してプリント中に次のコピー予約が可能になります。原稿読み込み中はコピー予約できません。
コピー予約可能になると、プリント中画面が表示されることがあります。このときは〔次ジョブ予約〕を押してコピー予約を行います。プリント中画面についての詳細は、p. 14-14 をご覧ください。

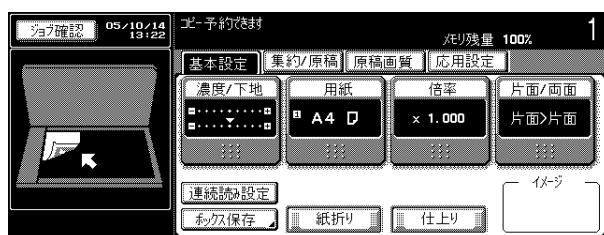
1 操作パネルの【スタート】を押して、原稿の読み込みを開始させます。

原稿読み込み中画面が表示されます。この間コピー予約できません。

原稿読み込みが完了し、プリントが開始されると基本設定画面が表示され、メッセージ表示エリアに「コピー予約できます」と表示されます。



原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をご覧ください。



原稿読み込みが完了し、プリントが開始されるとプリント中画面が表示されることがあります。プリント中画面の〔次ジョブ予約〕を押します。



2 次の原稿をセットします。

3 セットした原稿のコピー部数やコピー条件を設定します。



コピー部数の入力のしかたについての詳細は、p. 3-10「コピー部数を設定する」をご覧ください。

4 操作パネルの【スタート】を押します。



最初のジョブの出力後、コピー予約したジョブのプリントを自動的に開始します。

5 ジョブが複数あるときは、手順①～③の操作を繰り返します。

詳しく説明します

次の原稿を読み込むためのコピー条件を設定するとき、管理者設定でいくつかのコピー条件をそのまま生かすように設定することができます。詳細は、p. 15-49 をご覧ください。

待機中のジョブの設定内容を確認したり、優先出力の設定をしたり、ジョブを削除することができます。停止／再開することはできません。詳細は、「第 8 章 ジョブ確認」をご覧ください。

詳しく説明します

動作中のジョブを停止するときは【ストップ】を押します。詳細は、p. 3-56 「動作中のジョブを停止／再開／削除する」をご覧ください。

基本設定 第3章

基本的なコピー操作の流れ

原稿をセットする

コピー部数を設定する

濃度／下地調整

用紙設定（給紙トレイ）

用紙設定（手差しトレイ）

倍率設定

片面／両面設定

連続読み設定

ウォームアップ中に読み取る

コピー予約

動作中のジョブを停止／再開／削除する

併用できないコピー条件

動作中のジョブを停止／再開／削除する

現在動作中のジョブ（原稿読み込み、プリント、または原稿読み込みとプリント）を停止、停止後再開、または削除する方法を説明します。

■ 動作中のジョブを停止／再開する



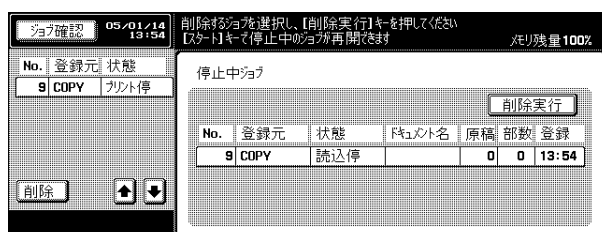
- 停止できるのは、現在動作中のジョブです。
- コピー予約で原稿読み込み中のジョブは、動作を停止できません。〔ジョブ確認〕を押して、読み込んだデータを削除することができます。詳細は、「第8章 ジョブ確認」をごらんください。

1

原稿読み込み／プリント中に操作パネルの【ストップ】を押します。



原稿読み込み／プリントが停止し、停止中ジョブ画面が表示されます。



2

操作パネルの【スタート】を押します。



停止していた全てのジョブが再開されます。

■ 停止したジョブを削除する



- 削除できるのは、停止させたジョブです。
- コピー予約で読込んだデータは、「ジョブ確認」を押して削除して、プリントしないようにすることができます。詳細は、「第 8 章 ジョブ確認」をごらんください。

1 原稿読み／プリント中に操作パネルの【ストップ】を押します。



原稿読み／プリントが停止し、停止中ジョブ画面が表示されます。

2 削除したいジョブ項目を押して反転させ、「削除実行」を押します。



選択したジョブが削除されます。

基本設定と併用できないコピー条件

機能組み合わせ表			基本設定																						
			濃度/下地		用紙																倍率				
			自動	下地調整	濃度	自動用紙	本体トレイ/大容量トレイ	手差し	普通紙	再生紙	OHP	ラベル紙	第2原紙	ユーザ紙	レターヘッド紙	はがき	薄紙	厚紙	色紙	封筒	自動倍率	等倍	固定倍率	ズーム	独立ズーム
基本設定	濃度／下地	自動		△	▼																				
		下地調整			▼																				
		濃度	▼																						
	用紙	自動用紙					▼	▼		▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼				▼
		本体トレイ/大容量トレイ					▼	▼			×	×	×			×	×	×		×					
		手差し					▼	▼																	
		普通紙								×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×					
		再生紙					▼			×		×	×	×	×	×	×	×	×	×					
		OHP					▼	×		×	×		×	×	×	×	×	×	×	×					
		ラベル紙					▼	×		×	×	×		×	×	×	×	×	×	×					
		第2原紙					▼	×		×	×	×	×		×	×	×	×	×	×					
		ユーザ紙					▼			×	×	×	×		×	×	×	×	×	×					
		レターヘッド紙					▼			×	×	×	×	×		×	×	×	×	×					
		はがき					▼	×		×	×	×	×	×	×		×	×	×	×					
		薄紙					▼	×		×	×	×	×	×	×	×		×	×	×					
		厚紙					▼	×		×	×	×	×	×	×	×			×	×					
		色紙					▼			×	×	×	×	×	×	×	×			×					
		封筒					▼	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×						
	倍率	自動倍率					▼														▼	▼	▼	▼	▼
		等倍						▼	▼												▼	▼	▼	▼	▼
		固定倍率						▼	▼												▼	▼	▼	▼	▼
		ズーム						▼	▼												▼	▼	▼	▼	▼
		独立ズーム					▼	▼	▼												▼	▼	▼	▼	▼
	片面／両面	片面原稿																							
		両面原稿																							
		片面プリント																							
		両面プリント										△	△	△			△	△	△		△				
連続読み込み																									

▼ 後優先（後で設定したコピー条件が優先され、先に設定したコピー条件は解除される。）

× 併用の設定はできない。

△ 先優先（先に設定したコピー条件が優先され、警告表示する。）

*3 コピー挿入選択時のみ、後優先する。

*4 集約/小冊子でおすすめ倍率使用時、後優先する。

*5 中とじ/中折り選択時に自動的に小冊子が選択されるように設定されているとき、後優先する。

*6 排紙オプションごとに異なる。

*7 仕分けを無視して動作する。

*8 中とじ/中折り選択時に自動的に小冊子が選択されるように設定されているとき、併用の設定はできない。

機能組み合わせ表			基本設定					集約／原稿				原稿画質				応用設定					
			片面／両面				連続読み込み	集約枚数			原稿	文字	文字／写真	写真	薄文字	OHP合紙	カバーシート	インターシート	差しみページ	章分け	ネガポジ反転
			片面原稿	両面原稿	片面プリント	両面プリント															
								2in1	4in1	8in1											
基本設定	濃度／下地	自動																			
		下地調整																			
		濃度																			
	用紙	自動用紙														▼	▼	▼		*3	
		本体トレイ/大容量トレイ																			
		手差し																			
		普通紙																			
		再生紙																			
		OHP				△															△
		ラベル紙				△									△					△	
		第2原紙				△									△					△	
		ユーザ紙																			
		レターヘッド紙																			
		はがき				△										△				△	
		薄紙				△										△				△	
		厚紙				△										△				△	
		色紙																			
		封筒				△		△	△	△						△	△	△	△	△	△
	倍率	自動倍率						*4	*4	*4											
		等倍						*4	*4	*4						▼					
		固定倍率						*4	*4	*4						▼					
		ズーム						*4	*4	*4						▼					
		独立ズーム						*4	*4	*4						▼					
	片面／両面	片面原稿		▼																	
		両面原稿	▼																		
		片面プリント				▼														▼	
		両面プリント				▼										▼					
	連続読み込み																				

基本設定 第3章

基本的なコピー操作の流れ

原稿をセットする

コピー部数を設定する

濃度／下地調整

用紙設定（給紙トレイ）

用紙設定（手差しトレイ）

倍率設定

片面／両面設定

連続読み設定

ウォームアップ中に読み込む

コピー予約

動作中のジョブを停止／再開／削除する

併用できないコピー条件

機能組み合わせ表			応用設定																							
			ブック連写	ページ連写	リピート			とじ代	編集とし代	消去						画像の収め方				スタンプ						
					範囲指定	自動検出	定型			枠消し／折目消し	原稿外消去	センタリング	回転しない	原稿サイズ設定	不定形サイズ原稿	小冊子	ナンバリング	ページ	日付／時刻	定型スタンプ	ウォータマーク					
基本設定	濃度／下地	自動																								
		下地調整																								
		濃度																								
	用紙	自動用紙	▼	▼	▼	▼	▼					▼	▼			▼										
		本体トレイ/大容量トレイ																								
		手差し																								
		普通紙																								
		再生紙																								
		OHP																△								
		ラベル紙																△								
		第2原紙																△								
		ユーザ紙																								
		レターヘッド紙																								
		はがき																△								
		薄紙																△								
		厚紙																△								
		色紙																								
		封筒	△	△	△	△	△											△	△	△	△	△	△	△	△	△
	倍率	自動倍率	▼	▼	▼	▼	▼					▼	▼			▼	*4									
		等倍															*4									
		固定倍率															*4									
		ズーム															*4									
		独立ズーム															*4									
	片面／両面	片面原稿																								
		両面原稿	▼		▼	▼	▼					▼	△													
		片面プリント															▼									
		両面プリント	▼		▼	▼	▼					▼	▼													
連続読み込み																										

機能組み合わせ表			仕上り							紙折り	
			ショート	グループ	仕分け		ステープル	パンチ	排紙トレイ選択	じり	折り
					回転	シフト					
基本設定	濃度／下地	自動									
		下地調整									
		濃度									
	用紙	自動用紙									
		本体トレイ/大容量トレイ									
		手差し									
		普通紙				*6	*6	*6	*6	*6	*6
		再生紙				*6	*6	*6	*6	*6	*6
		OHP			△	*6	*6	*6	*6	*6	*6
		ラベル紙			△	*6	*6	*6	*6	*6	*6
		第2原紙			△	*6	*6	*6	*6	*6	*6
		ユーザ紙				*6	*6	*6	*6	*6	*6
		レターヘッド紙				*6	*6	*6	*6	*6	*6
		はがき			△	*6	*6	*6	*6	*6	*6
		薄紙			△	*6	*6	*6	*6	*6	*6
		厚紙			△	*6	*6	*6	*6	*6	*6
		色紙				*6	*6	*6	*6	*6	*6
		封筒			△	*6	*6	*6	*6	*6	*6
	倍率	自動倍率			*7						
		等倍									
		固定倍率									
		ズーム									
		独立ズーム			*7						
	片面／両面	片面原稿									
		両面原稿									
		片面プリント									
		両面プリント									
連続読み込み											

基本設定 第3章

基本的なコピー
操作の流れ

原稿を
セットする

コピー部数を
設定する

濃度／下地
調整

用紙設定
(給紙トレイ)

用紙設定
(手差しトレイ)

倍率設定

片面／両面
設定

連続読み設定

ウォームアップ
中に読み込みする

コピー予約

動作中のジョブを
停止／再開／削除する

併用できない
コピー条件

複数枚の原稿を 1 枚の用紙にコピーする方法、原稿の種類やセット方向を設定する方法、および原稿画質に合わせて機械を設定する方法を説明します。

複数枚原稿を 1 枚の用紙にコピーする：集約.....	4-2
原稿の種類を設定する：原稿.....	4-6
原稿画質に合わせてコピーする	4-16
集約／原稿・原稿画質と併用できないコピー条件.....	4-18

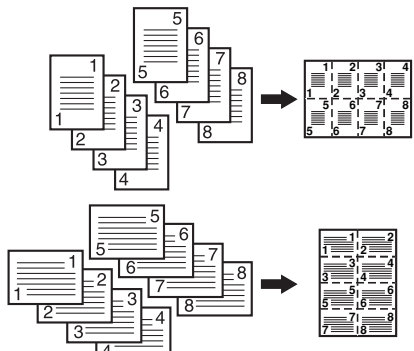
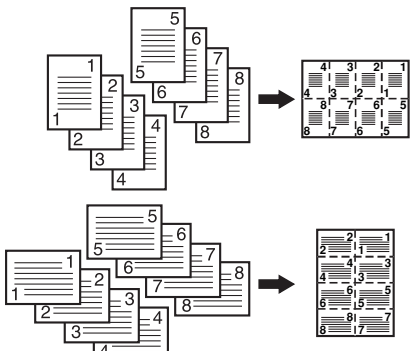
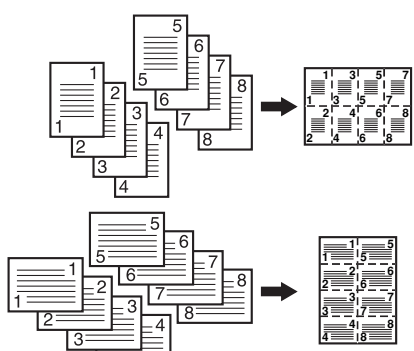
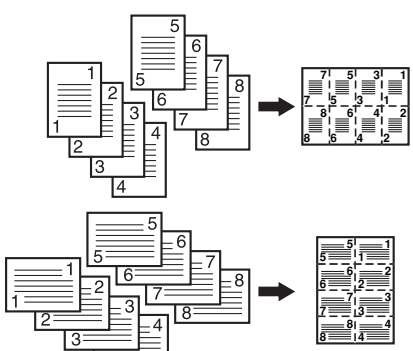
複数枚原稿を 1 枚の用紙にコピーする：集約

複数枚（2 枚、4 枚、8 枚）の原稿を 1 枚の用紙に集約してコピーします。用紙の使用枚数を節約できます。

設定内容

集約機能には下記の設定があります。とじ代の設定により、コピー画像の集約の開始位置が変わります。

項 目	説 明
2 in 1	2 枚の原稿画像を 1 枚の用紙にプリントします。 <左とじ> <右とじ>
4 in 1	4 枚の原稿画像を 1 枚の用紙にプリントします。 集約順（画像の並べ方）を指定できます。 <横順、左とじ> <横順、右とじ> <縦順、左とじ> <縦順、右とじ>

項 目	説 明
8 in 1	8 枚の原稿画像を 1 枚の用紙にプリントします。 集約順（画像の並べ方）を指定できます。 <横順、左とじ>  <横順、右とじ>  <縦順、左とじ>  <縦順、右とじ> 

集約機能を選択すると、自動的にお勧め倍率を設定してコピーします。集約機能の各設定のお勧め倍率は下記の通りです。

- 2 in 1 : x0.707
- 4 in 1 : x0.500
- 8 in 1 : x0.353



詳しく説明します

お勧め倍率を機能させず、倍率を手動で設定するように設定を変更することができます。詳細は、p. 14-19 をごらんください。

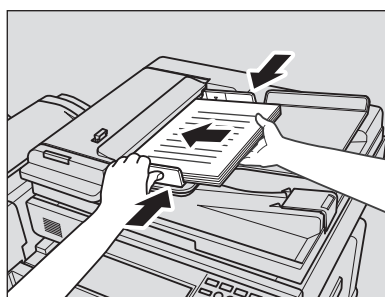


集約コピーのとり方

- 原稿を ADF にセットします。
- 原稿を原稿ガラスにセットしたときは、連続読み設定が自動的に機能します。
- 原稿と同じサイズの用紙がセットされている給紙トレイを自動選択し、集約コピーします。
- 原稿と違うサイズの用紙に集約コピーする場合は、手動で倍率を設定します。
- 自動選択される給紙トレイは、トレイ優先順位の順番に選択されます。トレイ優先順位の設定に関しては、p. 14-8 をごらんください。
- とじ代の設定を「右とじ」にすると、コピー画像が右から集約されます。詳細は、p. 5-58「コピー画像位置を調整する：とじ代」をごらんください。

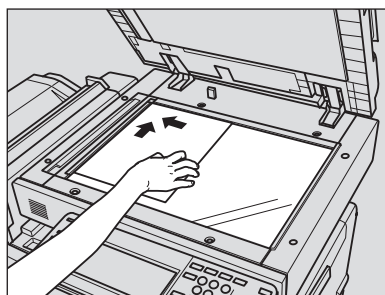
1

原稿をセットします。



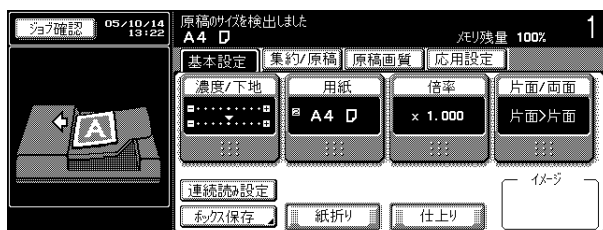
セットした原稿に合わせて原稿セット方向を設定します。詳細は、p. 4-11「原稿セット方向を設定する：原稿セット方向」をごらんください。

原稿ガラスに原稿をセットしたときは、連続読み設定で原稿を読み込みます。



連続読み設定の詳細は、p. 3-49「原稿を分割して読み込み一度に出力する：連続読み設定」をごらんください。

2 基本設定画面の〔集約／原稿〕タブを押します。



詳しく説明します

原稿と同じサイズ of 用紙が給紙トレイにセットされていない場合は、セットしてください。

集約／原稿画面が表示されます。

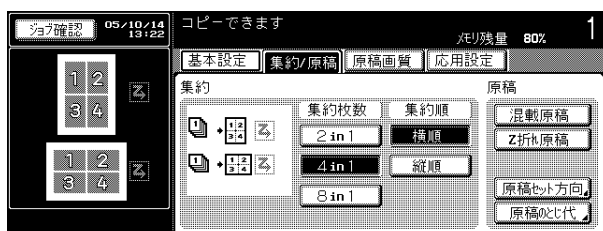
3 任意の集約枚数ボタンを選択します。



詳しく説明します

集約機能を解除するときは、反転させた集約枚数ボタンを再度押すか、操作パネルの【リセット】を押します。

〔4 in 1〕、〔8 in 1〕を選択したとき、〔横順〕または〔縦順〕を押し、集約順を指定します。



詳しく説明します

集約位置を左から右に変更する場合は用紙のと同じ代位置を変更してください。詳しくは、P. 5-58「コピー画像位置を調整する：同じ代」をごらんください。

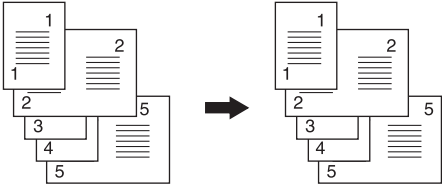
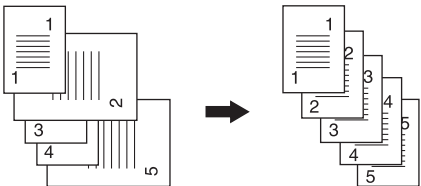
原稿の種類を設定する：原稿

コピーをとる原稿の種類を設定する方法を説明します。また、原稿のセット方向や原稿の
とじ代位置を設定する方法を説明します。

■ サイズの異なる原稿をコピーする：混載原稿

サイズの異なる原稿をいっしょに ADF にセットし、自動用紙選択または自動倍率選択の
機能と併用してコピーします。

設定内容

選択項目	説 明
自動用紙選択	原稿と同じサイズの下紙にコピー 
自動倍率選択	原稿ごとに適正倍率を自動設定し、全て同じサイズの下紙にコピー 



混載原稿コピーのとり方

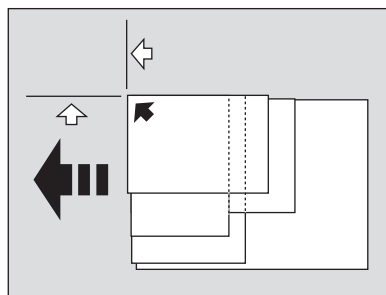
- 原稿を ADF にセットします。
ADF に混載できる原稿サイズの組み合わせは、セットする原稿の最大幅（ADF ガイド板の開き幅）により異なります。詳細は、p. 9-12 をご覧ください。
- セットした原稿にガイド板を確実に沿わせませす。原稿のセットが不完全な場合、原稿が斜め送りされ、原稿づまりや原稿破損の原因になります。
- 原稿は 80 枚以上セットしないでください。原稿づまりや原稿破損の原因になります。また、機械故障の原因になります。原稿が 80 枚を超える場合は、原稿を分割して読みませます。詳細は、p. 3-49「原稿を分割して読み込み一度に出力する：連続読み設定」をご覧ください。
- 原稿を原稿ガラスにセットしたときは、p. 3-8「原稿ガラスに原稿をセットする」を参考に原稿を読み込み、手順③に進みます。
- 混載機能を設定すると、自動用紙選択が自動的に機能します。自動倍率選択を使って同じサイズの用紙にコピーしたい場合は、自動倍率選択を設定します。詳細は、p. 3-37「自動的に倍率を選択させる：自動倍率選択」をご覧ください。

1

コピーする面を上にして、サイズの違う原稿の奥側と左側をそろえます。

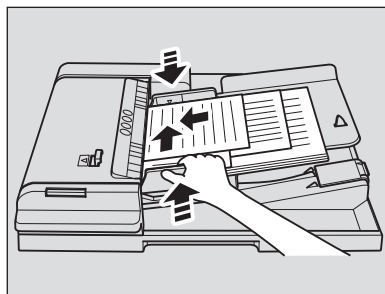


セットした原稿に合わせて原稿セット方向を設定します。詳細は、p. 4-11「原稿セット方向を設定する：原稿セット方向」をご覧ください。



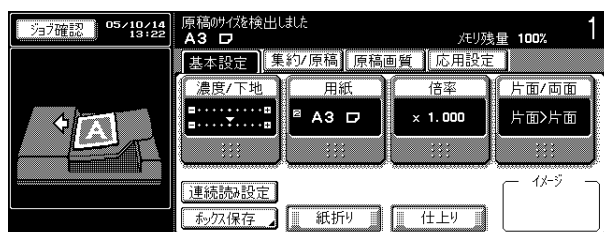
両面原稿の場合は 1 ページ目から順にして、サイズの違う原稿の奥側と左側をそろえます。

- 2** コピーしたい面（1 ページ目）を上にし、ADF にセットします。



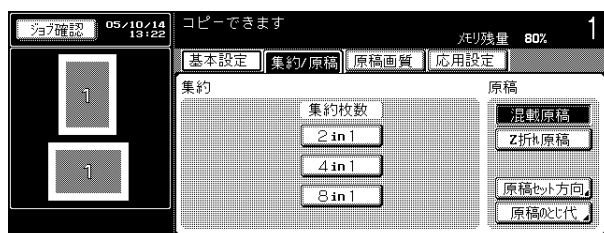
原稿の左側と奥側を ADF に突き当てセットします。
そして、原稿ガイドを原稿に沿わせます。

- 3** 基本設定画面の〔集約／原稿〕タブを押します。



集約／原稿画面が表示されます。

- 4** 〔混載原稿〕を押します。



混載原稿機能を解除するときは、再度〔混載原稿〕を押すか、操作パネルの【リセット】を押します。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

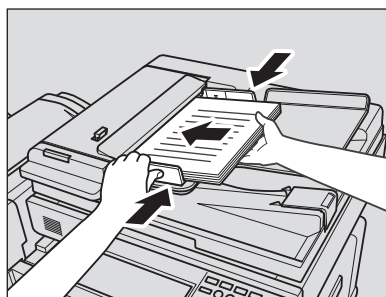
■ Z 折れ原稿をコピーする：Z 折れ原稿

Z 折れ原稿を ADF にセットすると、原稿の浮きにより ADF のサイズ検知センサがうまく機能しないことがあります。このモードを設定すると、原稿をスキャンして、原稿サイズを確実に検知します。

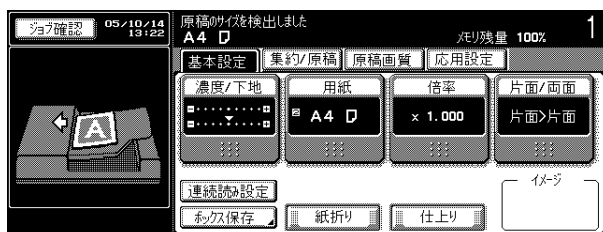


- 原稿は ADF にセットします。
- 1 枚目の原稿のサイズ長を検知し、それ以降の原稿は同じサイズとして読み込みます。

1 原稿をセットします。



2 基本設定画面の〔集約／原稿〕タブを押します。



集約／原稿画面が表示されます。

集約

原稿

原稿画質に
合わせてコピー

併用できない
コピー条件

3 [Z折れ原稿] を押します。



詳しく説明します

Z折れ原稿機能を解除するときは再度[Z折れ原稿]を押すか、操作パネルの【リセット】を押します。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

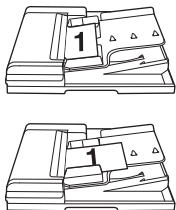
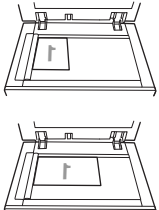
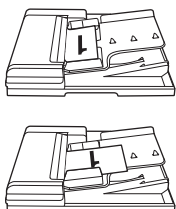
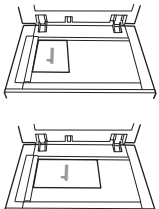
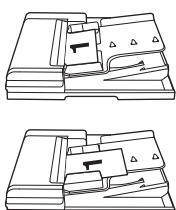
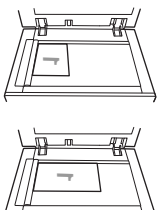
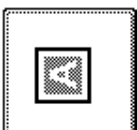
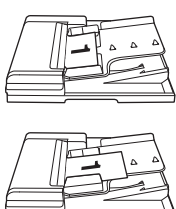
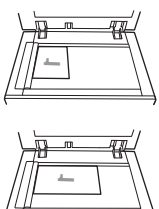
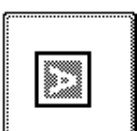
■ 原稿セット方向を設定する：原稿セット方向

ADF や原稿ガラスにセットする原稿の天地方向を設定します。

以下の設定を行う場合、ADF や原稿ガラスにセットする原稿の天地方向を設定しないと希望通りのコピーができないことがあります。

- 両面原稿のコピー
- 両面コピー
- 集約
- 小冊子
- ページ連写
- ステープルなど

設定内容

ADF にセット	原稿ガラスにセット	選択ボタン	説明
			原稿の天部（上側）を奥側にしてセットしたとき、選択します。出荷時設定では、これが選択されています。
			原稿の天部（上側）を手前側にセットしたとき、選択します。
			原稿の天部（上側）を ADF の左側にして、ADF に原稿をセットしたとき、選択します。 原稿の天部（上側）を原稿ガラスの右側にして、原稿ガラスに原稿をセットしたとき、選択します。
			原稿の天部（上側）を ADF の右側にして、ADF に原稿をセットしたとき、選択します。 原稿の天部（上側）を原稿ガラスの左側にして、原稿ガラスに原稿をセットしたとき、選択します。



原稿セット方向の選択にポートレート原稿／ランドスケープ原稿の区別はありません。原稿の天部（上側）を基準に選択します。

原稿セット方向の設定のしかた

1

原稿をセットします。

ADF または原稿ガラスに原稿をセットします。

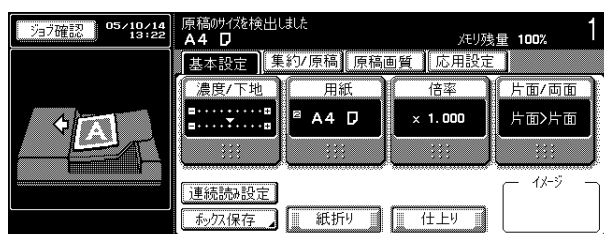


原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をごらんください。

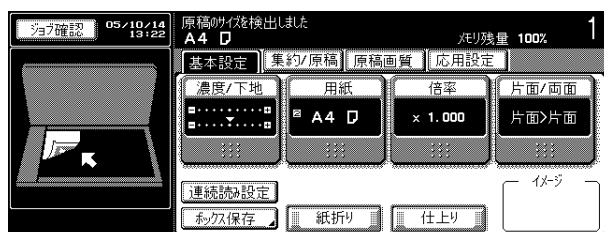
2

基本設定画面の〔集約／原稿〕タブを押します。

ADF に原稿をセットしたときの画面



原稿ガラスに原稿をセットしたときの画面



集約／原稿画面が表示されます。

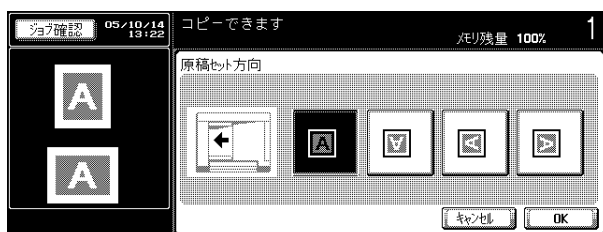
3 「原稿セット方向」を押します。



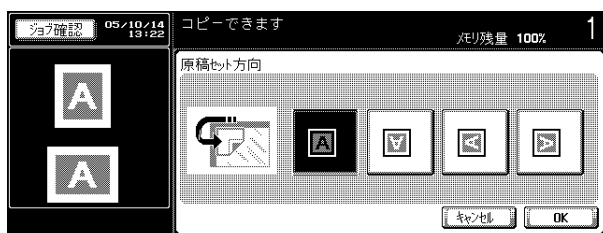
原稿セット方向画面が表示されます。

4 セットした原稿の方向に合わせて原稿方向ボタンを選択します。

ADF に原稿をセットしたときの画面



原稿ガラスに原稿をセットしたときの画面



5 「OK」を押して、「基本設定」タブを押します。

基本設定画面にもどります。

詳しく説明します

原稿セット方向の設定は、ひとつのジョブが終わってもリセット機能が働くまで維持されます。管理者設定でひとつのジョブが終わるごとに原稿セット方向の設定を出荷時設定にもどすように設定できます。詳細は、p. 15-49 をごらんください。

詳しく説明します

原稿セット方向画面の「キャンセル」を押すと、設定は変更されません。操作パネルの【リセット】を押すと、出荷時設定にもどります。

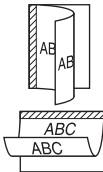
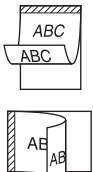
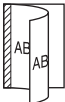
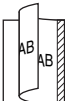
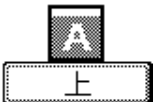


そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、基本設定画面にもどさなくても設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

■ 原稿のとり方向を設定する：原稿とり代

ADF に両面原稿をセットするとき、両面原稿のとり方向を設定します。
出荷時設定では、自動が設定されています。

設定内容

選択ボタン	説 明
	両面原稿のとり方向が自動で選択されます。 A4以下のサイズの前稿は長辺を、B4以上のサイズの前稿は短辺を、とり方向に自動設定します。出荷時設定では、自動が設定されています。  A4 以下  B4 以上
	原稿の左側がとり方向になっている両面原稿をセットするときを選択します。 A4以下のランドスケープ両面原稿 B4以上のポートレート両面原稿 
	原稿の右側がとり方向になっている両面原稿をセットするときを選択します。 A4以下のランドスケープ両面原稿 B4以上のポートレート両面原稿 
	原稿の上側がとり方向になっている両面原稿をセットするときを選択します。 



- ADF に原稿をセットします。
- 原稿とり代は、片面／両面設定で両面＞両面、両面＞片面を選択したとき機能します。

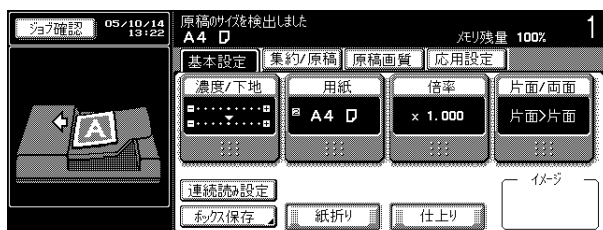
原稿とり代の設定のしかた

1 ADF に原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 基本設定画面の〔集約／原稿〕タブを押します。



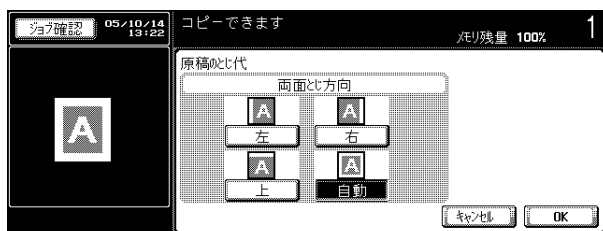
集約／原稿画面が表示されます。

3 〔原稿とじ代〕を押します。



原稿とじ代画面が表示されます。

4 任意の両面とじ方向ボタンを選択します。



詳しく説明します

原稿とじ代の設定は、ひとつのジョブが終わってもリセット機能が働くまで維持されます。管理者設定でひとつのジョブが終わるごとに原稿とじ代の設定を出荷時設定にもどすように設定できます。詳細は、p. 15-49 をごらんください。

5 〔OK〕を押して、〔基本設定〕タブを押します。

基本設定画面にもどります。

詳しく説明します

原稿とじ方向画面の〔キャンセル〕を押すと、設定は変更されません。操作パネルの【リセット】を押すと、出荷時設定にもどります。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

原稿画質に合わせてコピーする

原稿の画像タイプに合わせて下記のモードを選択し、よりよいコピー画像に調整します。

設定内容

選択ボタン	説 明
 文字	文字だけで校正された原稿をコピーするときに選択します。コピーされた文字のエッジをシャープに再現し、読みやすい画像が得られます。     原稿 通常 文字
 文字/写真	文字と写真が混在する原稿をコピーするときに選択します。出荷時設定では、「文字/写真」が設定されています。     原稿 通常 文字 / 写真
 写真	通常モードでは再現できないハーフトーンの原稿画像（写真など）を再現するときに選択します。     原稿 通常 写真
 薄文字	文字だけで構成された原稿で、濃度のうすい文字（鉛筆文字）原稿をコピーするときに選択します。文字の濃度を濃く再現し、読みやすくします。     原稿 通常 薄文字

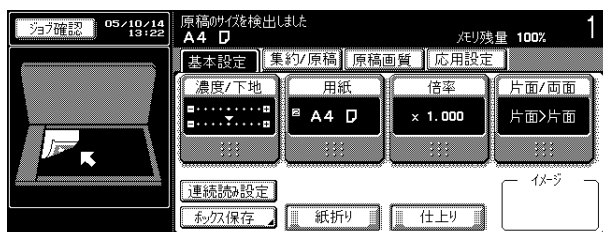
原稿画質の設定のしかた

1 原稿をセットします。



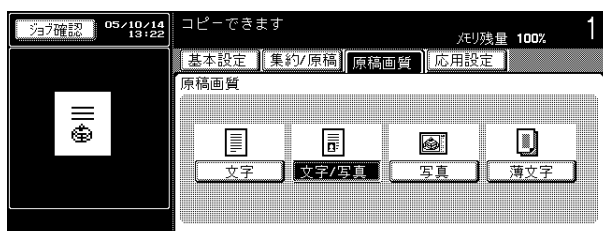
原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 基本設定画面の〔原稿画質〕タブを押します。



原稿画質画面が表示されます。

3 セットした原稿画質にあった原稿画質ボタンを選択します。



4 〔基本設定〕タブを押します。

基本設定画面にもどります。



操作パネルの【リセット】を押すと、出荷時設定にもどります。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

集約／原稿・原稿画質と併用できないコピー条件

機能組み合わせ表			基本設定																					
			濃度/下地		用紙													倍率						
			自動	下地調整	濃度	自動用紙	本体トレイ/大容量トレイ	手差し	普通紙	再生紙	OHP	ラベル紙	第2原紙	ユーザ紙	レターヘッド紙	はがき	薄紙	厚紙	色紙	封筒	自動倍率	等倍	固定倍率	ズーム
集約／原稿	集約枚数	2in 1																	△	*4	*4	*4	*4	*4
		4in 1																	△	*4	*4	*4	*4	*4
		8in 1																	△	*4	*4	*4	*4	*4
	原稿	混載原稿																						
原稿方向設定																								
原稿綴じ代																								
原稿画質	文字																							
	文字／写真																							
	写真																							
	薄文字																							

機能組み合わせ表			基本設定		集約／原稿						原稿画質				応用設定			
			片面／両面		集約枚数			原稿			文字／写真		薄文字		OHP合紙		インターシート	
			片面原稿	両面原稿	片面プリント	両面プリント	連続読み込み	2in 1	4in 1	8in 1	混載原稿	原稿方向設定	原稿綴じ代	文字	写真	薄文字	カバースート	インターシート
集約／原稿	集約枚数	2in 1						▼	▼	▼					△	△	△	△
		4in 1						▼	▼	▼					△	△	△	△
		8in 1						▼	▼	▼					△	△	△	△
	原稿	混載原稿						▼	▼	▼					△	△	△	△
		原稿方向設定																
		原稿綴じ代																
原稿画質	文字													▼	▼	▼		
	文字／写真													▼	▼	▼		
	写真													▼	▼	▼		
	薄文字													▼	▼	▼		

▼ 後優先（後で設定したコピー条件が優先され、先に設定したコピー条件は解除される。）

× 併用の設定はできない。

△ 先優先（先に設定したコピー条件が優先され、警告表示する。）

*3 コピー挿入選択時のみ、後優先する。

*4 集約／小冊子でおすすめ倍率使用時、後優先する。

*5 中とじ／中折り選択時に自動的に小冊子が選択されるように設定されているとき、後優先する。

*6 排紙オプションごとに異なる。

*7 仕分けを無視して動作する。

*8 中とじ／中折り選択時に自動的に小冊子が選択されるように設定されているとき、併用の設定はできない。

機能組み合わせ表			応用設定																		
			ブック 連写	ページ 連写	リピート			編集 とじ代	罫 集とじ代	消去		画像の取め方				スタンプ					
					範囲 指定	自動 検出	定型			枠消し ／折目消し	原稿外 消去	センタリ ング	回転しな い	原稿サイ ズ設定	不定形サ イズ原稿	小冊子	ナンバリ ング	ペー ジ	日付／時 刻	定型スタ ンプ	ウォータ マーク
集約／ 原稿	集約枚数	2in 1	△	△	△	△	△			△	△	△	△		△	△					
		4in 1	△	△	△	△	△			△	△	△	△		△	△					
		8in 1	△	△	△	△	△			△	△	△	△		△	△	△				
	原稿	混載原稿	△	△	△	△	△		△	△	△	△		△	△	△		△	△	△	△
		原稿方向設定	△	△	△	△	△				△										
		原稿綴じ代	△	△	△	△	△				△										
原稿画質	文字																				
	文字／写真																				
	写真																				
	薄文字																				

機能組み合わせ表			仕上り							紙折り	
			ト ノ リ	グルー プ	仕分け		ス テ ー プ ル	パン チ	排紙 トレイ選 択	じ と じ	の ち の ち
					回 転	シ フ ト					
集約／ 原稿	集約枚数	2in 1	△	△						*8	*8
		4in 1	△	△						*8	*8
		8in 1	△	△						*8	*8
	原稿	混載原稿			△					△	△
		原稿方向設定									
		原稿綴じ代									
	原稿画質	文字									
文字／写真											
写真											
薄文字											

応用設定

第5章

応用機能の設定を使ってコピーする方法について説明します。

OHP フィルムにコピーする：ページ編集＞OHP 合紙	5-2
表紙をつける：ページ編集＞カバーシート	5-6
挿入紙をつける：ページ編集＞インターシート	5-11
別の原稿画像を指定したページに差し込む：ページ編集＞差し込みページ	5-17
指定したページを両面コピーのオモテ面にする：ページ編集＞章分け ..	5-22
原稿ごとに異なる設定で読みままとめてコピーする：ページ編集＞プログラムジョブ	5-27
本の見開き左右ページを別々にコピーする：連写／リピート＞ブック連写 ..	5-31
1 枚の用紙に 1 つの画像を繰り返しコピーする：連写／リピート＞リピート ...	5-37
ADF を使って見開き原稿の分割コピーをとる：連写／リピート＞ページ連写 ..	5-48
中とじ本のページ立てにコピーする：小冊子	5-52
原稿画像の濃淡を反転させてコピーする：ネガポジ反転	5-56
コピー画像位置を調整する：とじ代	5-58
不要部分を消去してコピーする：消去	5-65
コピー画像位置を調整する：画像の収め方	5-74
付属情報や別画像をいっしょにコピーする：スタンプ／オーバーレイ	5-79
応用設定と併用できないコピー条件	5-104

応用設定 第5章

OHP 合紙
(ページ編集)

カバーシート
(ページ編集)

インターシート
(ページ編集)

差し込みページ
(ページ編集)

章分け
(ページ編集)

プログラムジョブ
(ページ編集)

ブック連写
(連写／リピート)

リピート
(連写／リピート)

ページ連写
(連写／リピート)

小冊子

ネガポジ反転

とじ代

消去

画像の収め方

スタンプ／
オーバーレイ

併用できない
コピー条件

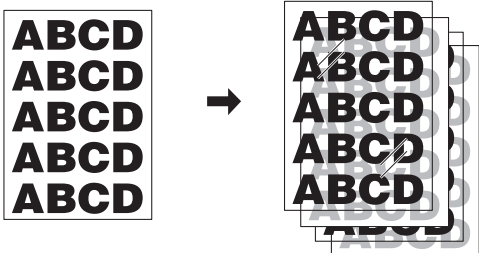
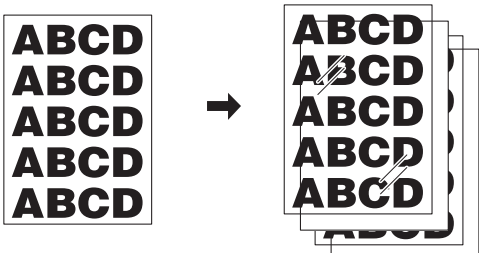
OHP フィルムにコピーする：ページ編集＞ OHP 合紙

OHP フィルムにコピーするとき設定します。

コピー後の熱で OHP フィルム同士が密着するのを防ぐために、間に用紙（合紙）を挿入します。合紙は白紙のままでも、OHP フィルムと同じ画像をコピーして挿入することもできます。

設定内容

OHP 合紙には下記の設定があります。

項 目	選択ボタン	説 明
合紙にコピーする		OHP フィルムと同じ画像をコピーして間に挿入します。 
合紙にコピーしない		白紙のまま間に挿入します。 



- OHP フィルムを手差しトレイに 1 枚ずつセットします。
- OHP フィルムは手差しトレイ以外には絶対セットしないでください。トラブルの原因になります。
- 手差しトレイの用紙設定で OHP を選択します。
- OHP フィルムと同じサイズ of 用紙を手差しトレイ以外の給紙トレイにセットします。OHP フィルムと違うサイズの用紙を合紙にすることはできません。
- OHP 合紙を設定すると、倍率は自動倍率が、仕上りはソートが自動的に設定されます。
- コピー部数は 1 に固定されます。複数部数の設定はできません。
- オプションのフィニッシャ FS-511 が装着されている場合、OHP フィルムはトレイ 1 にのみ排紙されます。フィニッシャ機能は、ソート、ソート + 仕分けのみ使用できます。オプションのフィニッシャ FS-510 が装着されている場合、OHP フィルムはどの排紙トレイにも排紙できます。フィニッシャ機能は、ソート、ソート + 仕分けのみ使用できます。オプションの中綴じ機 SD-502 が装着されている場合、中綴じ機の排紙トレイには排紙できません。また、中とじ、中折りなどの機能は使用できません。

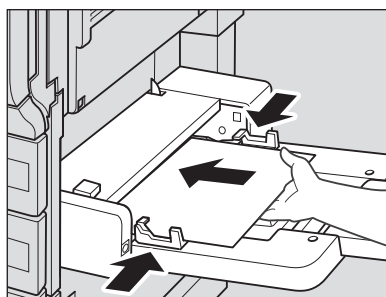
OHP 合紙の設定

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 OHP フィルムを手差しにセットします。

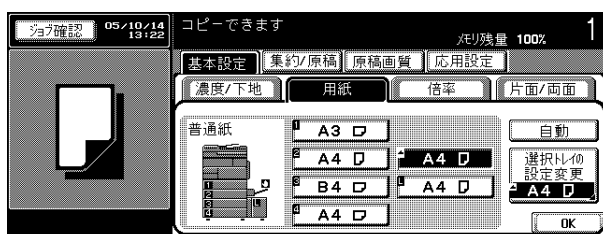


OHP フィルムは、手差しトレイに一度に 1 枚ずつセットします。

用紙画面が表示されます。

3 用紙画面で OHP を選択します。

用紙画面で手差しトレイボタンを押し、「選択トレイの設定変更」を押します。



〔OHP〕を押して反転させ、〔OK〕を押します。



用紙画面にもどります。

応用設定 第5章

OHP 合紙
(ページ編集)

カバーシート
(ページ編集)

インターシート
(ページ編集)

差込みページ
(ページ編集)

章分け
(ページ編集)

プログラムジョブ
(ページ編集)

ブック連写
(連写/リピート)

リピート
(連写/リピート)

ページ連写
(連写/リピート)

小冊子

ネガポジ反転

とじ代

消去

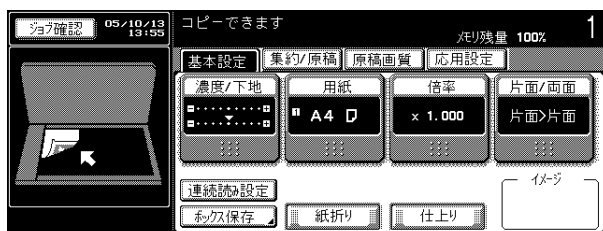
画像の取め方

スタンプ/
オーバーレイ

併用できない
コピー条件

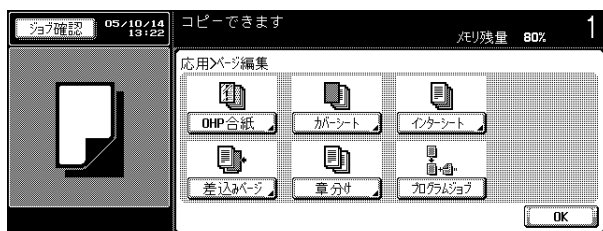
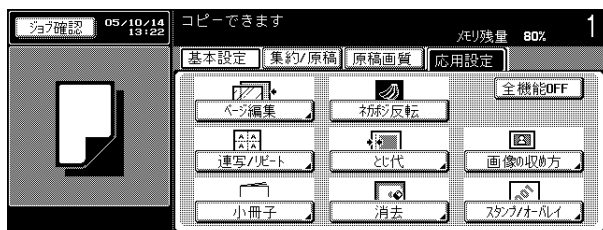
4 OHP フィルムと同じサイズの手差しトレイ以外の給紙トレイにセットします。

5 基本設定画面の〔応用設定〕タブを押します。



応用設定画面が表示されます。

6 〔ページ編集〕、〔OHP 合紙〕を順に押します。



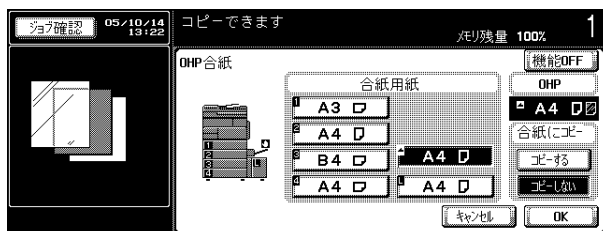
OHP 合紙画面が表示されます。

7 合紙となる用紙がセットされた給紙トレイを選択します。

手順④で合紙として使用する用紙をセットした給紙トレイボタンを押して反転させます。

詳しく説明します

設定した応用機能を解除するときは、〔機能 OFF〕を押します。



8 コピー合紙にコピーする、しないの選択をします。

合紙に OHP フィルムと同じ画像をコピーするときには、「合紙にコピー」表示下の〔コピーする〕を押して反転させます。

白紙にするときは、「合紙にコピー」表示下の〔コピーしない〕を押して反転させます。

9 各画面ごとに〔OK〕を押して、応用設定画面にもどします。

OHP 合紙画面の〔キャンセル〕を押すと、設定は変更されません。

詳しく説明します

応用機能を全て解除するときには、〔全機能 OFF〕を押します。
応用設定を含めた全ての設定を初期設定にもどすときは、操作パネルの【リセット】を押します。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、応用設定画面や基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

10 必要に応じて、そのほかの設定をします。

11 操作パネルの【スタート】を押します。



詳しく説明します

動作中のジョブを停止するときには【ストップ】を押します。詳細は、p. 3-56「動作中のジョブを停止／再開／削除する」をご覧ください。

応用設定 第5章

OHP 合紙
(ページ編集)

カバーシート
(ページ編集)

インターシート
(ページ編集)

差込みページ
(ページ編集)

章分け
(ページ編集)

プログラムジョブ
(ページ編集)

ブック連写
(連写/リビート)

リビート
(連写/リビート)

ページ連写
(連写/リビート)

小冊子

ネガポジ反転

とじ代

消去

画像の取め方

スタンプ/
オーバーレイ

併用できない
コピー条件

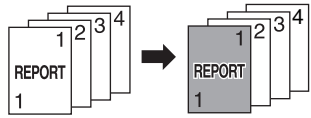
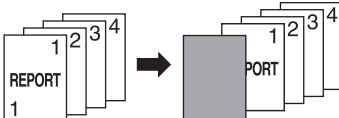
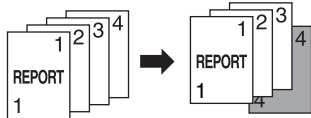
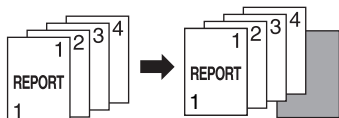
表紙をつける：ページ編集＞カバーシート

本文コピーとは異なる用紙を使って表紙をつけます。

表紙として、本文コピーの前にオモテ表紙、本文コピーの後にウラ表紙をつけることができ、それぞれにコピーするか、しないかの選択ができます。

設定内容

カバーシートには下記の設定があります。オモテ表紙（オモテコピーまたはオモテ白紙）とウラ表紙（ウラコピーまたはウラ白紙）の設定は併用が可能です。

項 目	選択ボタン	説 明
オモテコピー	 オモテコピー	原稿の 1 枚目をオモテ表紙用の用紙にコピーします。両面コピーの場合、原稿の 2 枚目をオモテ表紙用のウラ面にコピーします。 
オモテ白紙	 オモテ白紙	本文コピーの最初にオモテ表紙用の用紙を白紙で挿入します。両面コピーの場合も同様です。 
ウラコピー	 ウラコピー	原稿の最終ページをウラ表紙用の用紙にコピーします。両面コピーの場合、原稿が偶数枚のとき、原稿の最後 2 ページをウラ表紙用の用紙に両面コピーします。 
ウラ白紙	 ウラ白紙	本文コピーの最後にウラ表紙用の用紙を白紙で挿入します。両面コピーの場合も同様です。 



- 原稿をADFにセットします。原稿枚数が80枚を超える場合は、連続読み込み設定をします。詳細は、p. 3-49「原稿を分割して読み込み一度に出力する：連続読み込み設定」をごらんください。
- 連続読み込み設定を併用すれば、原稿ガラスが使用できます。
- 表紙用の用紙と本文用の用紙は、同じサイズの用紙を同じ方向にセットします。
- 出荷時設定では、表紙用の用紙を給紙するトレイは、オモテ表紙、ウラ表紙とも第1給紙トレイに初期設定されています。違う給紙トレイに表紙用の用紙をセットしたときは、用紙画面で選択します。初期設定は、管理者設定で変更できます。詳細は、p. 15-76をごらんください。
- オモテ表紙とウラ表紙の給紙トレイは別々に選択できます。
- 表紙に厚紙を使用する場合は、厚紙を手差しにセットし、手差しトレイの用紙設定をします。
- 挿入紙をいっしょにつけることができます。詳細は、p. 5-11「挿入紙をつける：ページ編集＞インターシート」をごらんください。

カバーシートの設定

1 原稿をセットします。



詳しく説明します

原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 操作パネルのテンキーでコピー部数を入力します。



詳しく説明します

コピー部数の入力のしかたについての詳細は、p. 3-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

3 表紙用の用紙を任意の給紙トレイにセットします。



詳しく説明します

本文用の用紙と同じサイズの表紙用の用紙を、本文用の用紙をセットしている給紙トレイ以外の給紙トレイにセットします。オモテ表紙とウラ表紙の用紙をそれぞれ用意し、別々の給紙トレイにセットできます。

厚紙を表紙に使用する場合は、厚紙を手差しトレイにセットし、手差しトレイの用紙設定で「厚紙」を選択します。

応用設定 第5章

OHP合紙
(ページ編集)

カバーシート
(ページ編集)

インターシート
(ページ編集)

差し込みページ
(ページ編集)

章分け
(ページ編集)

プログラムジョブ
(ページ編集)

ブック連写
(連写/リビート)

リビート
(連写/リビート)

ページ連写
(連写/リビート)

小冊子

ネガポジ反転

とじ代

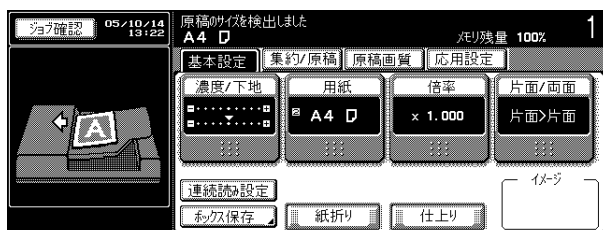
消去

画像の取め方

スタンプ/
オーバーレイ

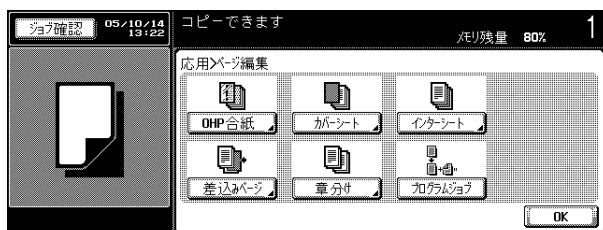
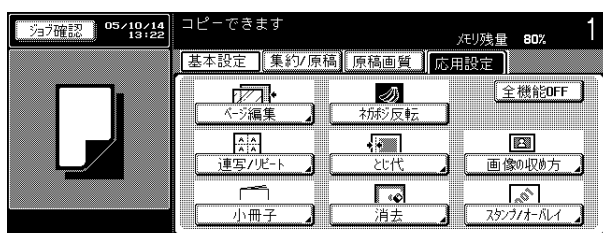
併用できない
コピー条件

4 基本設定画面の〔応用設定〕タブを押します。



応用設定画面が表示されます。

5 〔ページ編集〕、〔カバースheet〕を順に押します。



カバースheet画面が表示されます。

6 「オモテ表紙」「ウラ表紙」表示下のボタンを押して任意の表紙を選択します。

オモテ表紙をつけるときは、「オモテコピー」または「オモテ白紙」のどちらかを押して反転させます。

オモテ表紙をつけないときは、どちらのボタンも反転させないようにします。

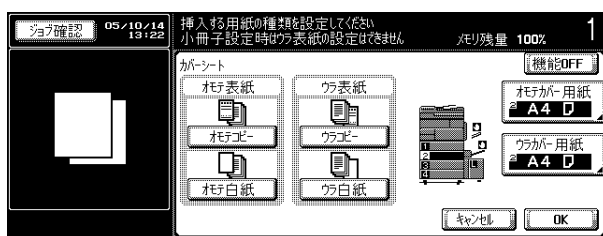
ウラ表紙をつけるときは、「ウラコピー」または「ウラ白紙」のどちらかを押して反転させます。

ウラ表紙をつけないときは、どちらのボタンも反転させないようにします。

オモテ表紙とウラ表紙の設定は併用が可能です。



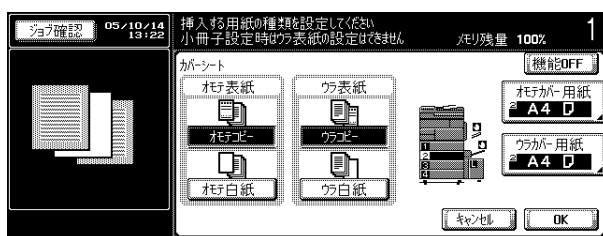
設定した応用機能を解除するときは、「機能 OFF」を押します。



7 「オモテカバー用紙」／「ウラカバー用紙」を押します。

オモテ表紙の給紙トレイを選択するときは、「オモテカバー用紙」を押します。

ウラ表紙の給紙トレイを選択するときは、「ウラカバー用紙」を押します。



それぞれのカバー用紙画面が表示されます。

応用設定 第5章

○HP 合紙
(ページ編集)

カバーシート
(ページ編集)

インターシート
(ページ編集)

差込みページ
(ページ編集)

章分け
(ページ編集)

プログラムジョブ
(ページ編集)

ブック連写
(連写/リビート)

リビート
(連写/リビート)

ページ連写
(連写/リビート)

小冊子

ネガポジ反転

とじ代

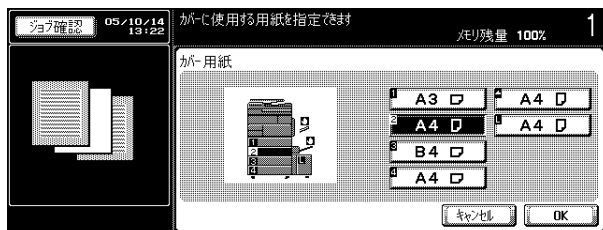
消去

画像の取め方

スタンプ/
オーバーレイ

併用できない
コピー条件

- 8** 手順③で表紙用の用紙をセットした給紙トレイを選択します。



- 9** 各画面ごとに〔OK〕を押して、応用設定画面にもどします。

カバー用紙画面の〔キャンセル〕を押すと、設定は変更されません。



応用機能を全て解除するときは、〔全機能 OFF〕を押します。
応用設定を含めた全ての設定を初期設定にもどすときは、操作パネルの【リセット】を押します。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、応用設定画面や基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

- 11** 必要に応じて、そのほかの設定をします。

- 12** 操作パネルの【スタート】を押します。



動作中のジョブを停止するときは【ストップ】を押します。詳細は、p. 3-56「動作中のジョブを停止／再開／削除する」をご覧ください。

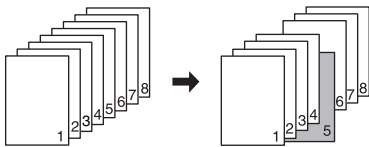
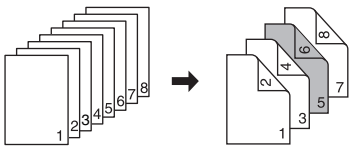
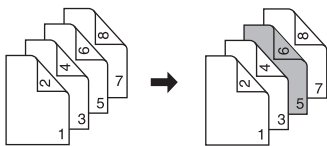
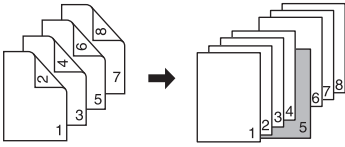
挿入紙をつける：ページ編集>インターシート

コピーの指定した箇所に異なる用紙を挿入します。挿入紙にコピーするか、しないかの選択ができます。

設定内容

インターシートの設定をするとき、原稿の片面／両面、コピーの片面／両面によって出力のしかたが違います。

例：〔コピーする〕で挿入ページを「5」にしたとき

選択項目	説 明
片面＞片面	片面原稿の 5 ページ目を挿入紙に片面コピーし、5 枚目に挿入します。 
片面＞両面	片面原稿の 5 ページ目と 6 ページ目を挿入紙に両面コピーし、3 枚目に挿入します。「6」と設定したときは、両面原稿の 5 ページ目を片面コピーし、6 ページ目と 7 ページ目を挿入紙に両面コピーし、4 枚目に挿入します。 
両面＞両面	両面原稿の 5 ページ目と 6 ページ目を挿入紙に両面コピーし、3 枚目に挿入します。「6」と設定したときは、両面原稿の 5 ページ目を片面コピーし、6 ページ目と 7 ページ目を挿入紙に両面コピーし、4 枚目に挿入します。 
両面＞片面	両面原稿の 5 ページ目を挿入紙に片面コピーし、5 枚目に挿入します。 

応用設定 第5章

○HP 合紙
(ページ編集)

カバーシート
(ページ編集)

インターシート
(ページ編集)

差込みページ
(ページ編集)

章分け
(ページ編集)

プログラムジョブ
(ページ編集)

ブック連写
(連写/リビート)

リビート
(連写/リビート)

ページ連写
(連写/リビート)

小冊子

ネガポジ反転

とじ代

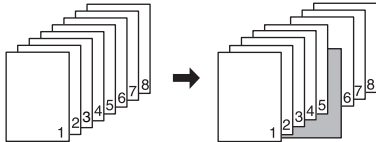
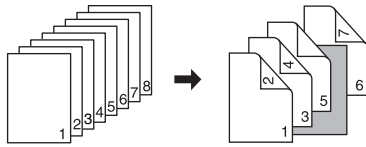
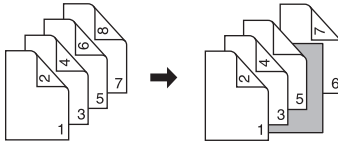
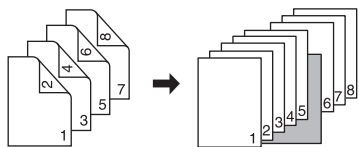
消去

画像の取め方

スタンプ/
オーバーレイ

併用できない
コピー条件

例：〔コピーしない〕で挿入ページを「5」にしたとき

選択項目	説 明
片面＞片面	片面原稿の5ページ目を片面コピーした後の6枚目に白紙を挿入します。 
片面＞両面	5ページ目の片面原稿を片面コピーした後の4枚目に白紙を挿入します。「6」と設定したときは、片面原稿の5ページ目と6ページ目を両面コピーした後の4枚目に白紙を挿入します。 
両面＞両面	5ページ目の両面原稿を片面コピーした後の4枚目に白紙を挿入します。「6」と設定したときは、両面原稿の5ページ目と6ページ目を両面コピーした後の4枚目に白紙を挿入します。 
両面＞片面	両面原稿の5ページ目を片面コピーした後の6枚目に白紙を挿入します。 



- 原稿をADFにセットします。原稿枚数が80枚を超える場合は、連続読み設定をします。詳細は、p. 3-49「原稿を分割して読み一度に出力する：連続読み設定」をごらんください。
- 連続読み設定を併用すれば、原稿ガラスが使用できます。
- 挿入紙と本文用の用紙は、同じサイズの用紙を同じ方向にセットします。
- 出荷時設定では、挿入紙の用紙を給紙するトレイは、第1給紙トレイに初期設定されています。違う給紙トレイに表紙用の用紙をセットしたときは、用紙画面で選択します。初期設定は、管理者設定で変更できます。詳細は、p. 15-76をごらんください。挿入紙ごとに給紙トレイを選択することはできません。
- 挿入紙は1～999ページの原稿に最大30枚まで設定できます。
- 表紙をいっしょにつけることができます。詳細は、p. 5-6「表紙をつける：ページ編集＞カバーシート」をごらんください。オモテ表紙、ウラ表紙、挿入紙の給紙トレイは別々に選択できます。

インターシートの設定

1 原稿をセットします。



詳しく説明します

原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をごらんください。

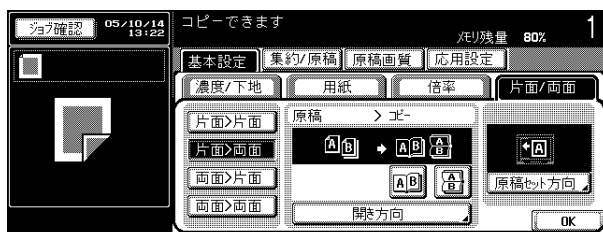
2 操作パネルのテンキーでコピー部数を入力します。



詳しく説明します

コピー部数の入力のしかたについての詳細は、p. 3-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

3 片面／両面設定をします。



詳しく説明します

片面／両面設定の詳細は、p. 3-39「片面／両面コピーを選ぶ：片面／両面設定」をごらんください。

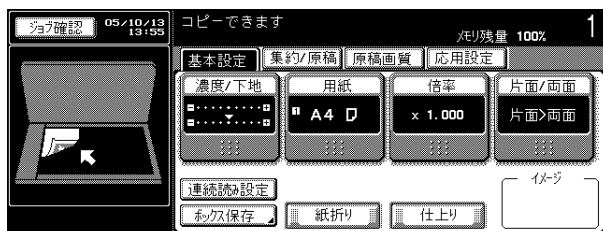
4 挿入紙用の用紙を任意の給紙トレイにセットします。



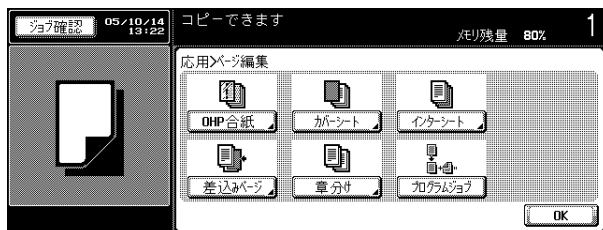
詳しく説明します

挿入紙用の用紙を手差しトレイにセットできます。

5 基本設定画面の〔応用設定〕タブを押します。



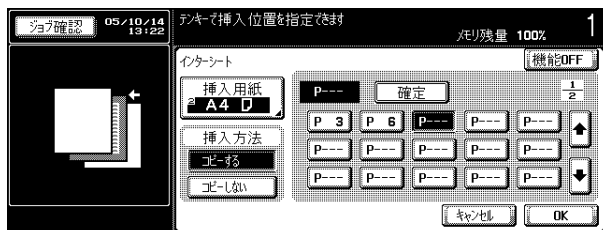
応用設定画面が表示されます。



7 挿入紙の挿入ページを指定します。

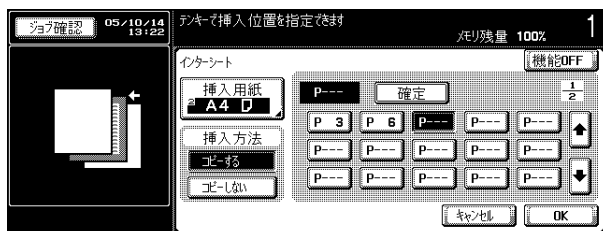
詳しく説明します

- ページ指定の数値は小さい方から順に入力する必要はありません。入力後、自動的にページ順にソートされます。
- 同じページを2度入力しても、同一ページと見なされ仕上りはわかりません。
- 入力したページが原稿枚数より大きいと、入力された数値は無効になります。
- 指定したページを削除するときは、削除するページボタンを押して反転させ、操作パネルの[C] (クリア) を押します。



8 挿入紙となる用紙がセットされた給紙トレイを選択します。

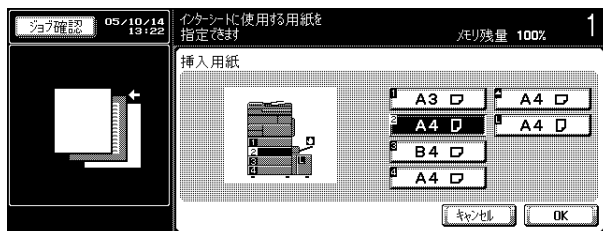
〔挿入用紙〕を押します。



詳しく説明します

インターシート編集画面やインターシート確認画面の〔キャンセル〕を押すと、設定は変更されません。

手順④で挿入紙用の用紙をセットした給紙トレイを押して反転させ、〔OK〕を押します。

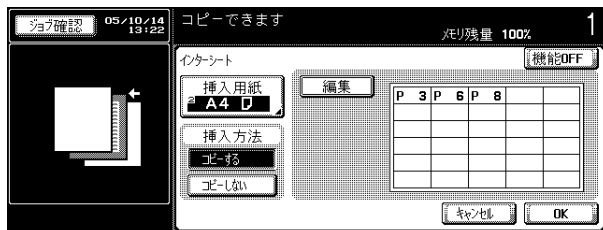


インターシート編集画面の〔確定〕を押して、インターシート確認画面を表示します。

9 挿入紙にコピーする、しないの選択をします。

コピーする場合は、「挿入方法」表示下の〔コピーする〕を押して反転させます。

コピーしない場合は、「挿入方法」表示下の〔コピーしない〕を押して反転させます。



応用設定 第5章

OHP 合紙
(ページ編集)

カバーシート
(ページ編集)

インターシート
(ページ編集)

差込みページ
(ページ編集)

章分け
(ページ編集)

プログラムジョブ
(ページ編集)

ブック連写
(連写/リビート)

リビート
(連写/リビート)

ページ連写
(連写/リビート)

小冊子

ネガポジ反転

とじ代

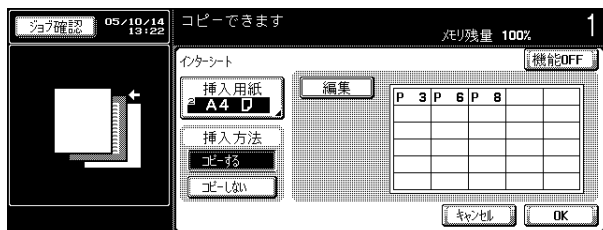
消去

画像の取め方

スタンプ/
オーバーレイ

併用できない
コピー条件

10 インターシート確認画面で設定内容を確認／変更します。



挿入用紙の変更は、手順⑧をごらんください。
挿入方法の変更は、手順⑨をごらんください。
挿入ページの変更は、〔編集〕を押して手順⑦をごらんください。

11 各画面ごとに〔OK〕を押して、応用設定画面にもどします。

インターシート編集画面やインターシート確認画面の〔キャンセル〕を押すと、設定は変更されません。



設定した応用機能を解除するときは、〔機能 OFF〕を押します。



応用機能を全て解除するときは、〔全機能 OFF〕を押します。
応用設定を含めた全ての設定を初期設定にもどすときは、操作パネルの【リセット】を押します。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、応用設定画面や基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

12 必要に応じて、そのほかの設定をします。

13 操作パネルの【スタート】を押します。



動作中のジョブを停止するときは【ストップ】を押します。詳細は、p. 3-56「動作中のジョブを停止／再開／削除する」をごらんください。

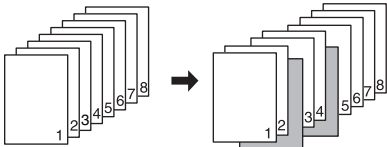
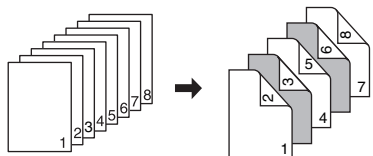
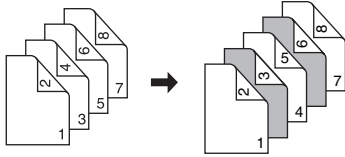
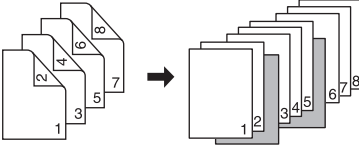
別の原稿画像を指定したページに差し込む：ページ編集＞差し込みページ

ADF を使用して読込んだ原稿の任意の箇所に、後から原稿ガラスで読込んだ複数の画像を差し込み、まとめて出力します。

設定内容

差し込みページでは、指定したページの後ろに差し込み原稿の画像が挿入されます。

例：差し込み箇所のページを「2」と「5」にしたとき

選択項目	説明
片面＞片面	2 ページ目と 5 ページ目の片面原稿が片面コピーされたあとにそれぞれ 1 枚ずつ差し込み原稿のコピーが挿入されます。 
片面＞両面	2 ページ目の片面原稿が両面コピーされた後の 2 枚目のオモテ面、5 ページ目の片面原稿が両面コピーされた後の 4 枚目のオモテ面に差し込み原稿のコピーが挿入されます。 
両面＞両面	2 ページ目の両面原稿が両面コピーされた後の 2 枚目のオモテ面、5 ページ目の両面原稿が両面コピーされた後の 4 枚目のオモテ面に差し込み原稿のコピーが挿入されます。 
両面＞片面	2 ページ目と 5 ページ目の両面原稿が片面コピーされたあとにそれぞれ 1 枚ずつ差し込み原稿のコピーが挿入されます。 

応用設定

第5章

○HP 合紙
(ページ編集)

カバーシート
(ページ編集)

インターシート
(ページ編集)

差し込みページ
(ページ編集)

章分け
(ページ編集)

プログラムジョブ
(ページ編集)

ブック連写
(連写/リピート)

リピート
(連写/リピート)

ページ連写
(連写/リピート)

小冊子

ネガポジ反転

とじ代

消去

画像の収め方

スタンプ/
オーバーレイ

併用できない
コピー条件



- 差し込まれる原稿を ADF にセットします。
原稿枚数が 80 枚を超える場合は、連続読み設定をします。詳細は、p. 3-49「原稿を分割して読み一度に出力する：連続読み設定」をごらんください。
- 差し込む原稿を原稿ガラスにセットします。
- 差し込み箇所は 1 ～ 999 ページの原稿に対して最大 30 箇所まで指定できます。

差し込みページの設定

1 差し込まれる原稿を ADF にセットします。

原稿は必ず最初のページから順にセットします。最後のページからセットすると、目的のコピーを得られません。



詳しく説明します

原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をごらんください。

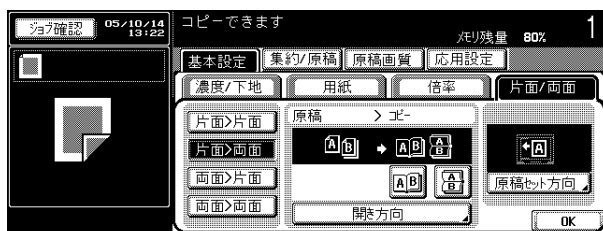
2 操作パネルのテンキーでコピー部数を入力します。



詳しく説明します

コピー部数の入力のしかたについての詳細は、p. 3-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

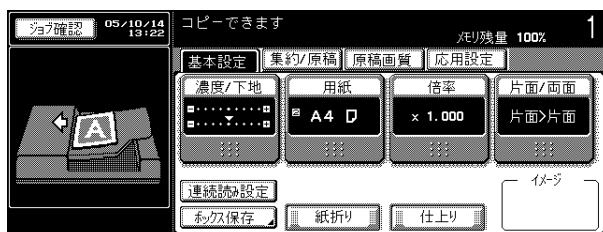
3 片面／両面設定をします。



詳しく説明します

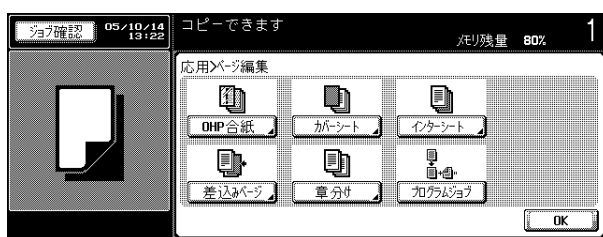
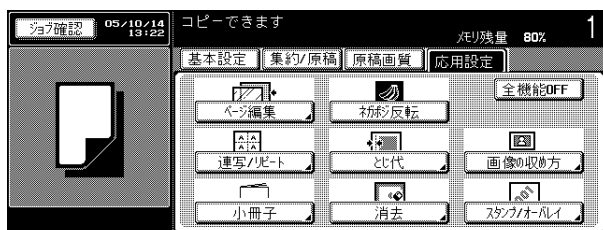
片面／両面設定の詳細は、p. 3-39「片面／両面コピーを選ぶ：片面／両面設定」をごらんください。

4 基本設定画面の〔応用設定〕タブを押します。



応用設定画面が表示されます。

5 「ページ編集」、[差し込みページ] を順に押します。



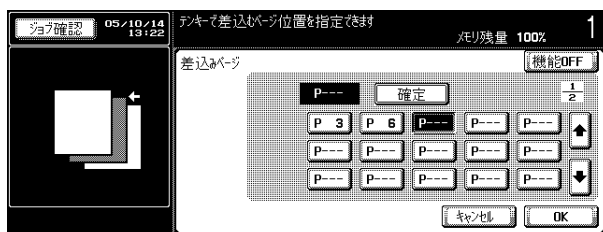
差し込みページ編集画面が表示されます。

6 差し込み箇所を指定します。

[p---] を押して反転させ、操作パネルのテンキーを押して、差し込み箇所を指定します。

[↓]、[↑] を押して、1～15 箇所と 16～30 箇所の表示を切替えます。

[確定] を押します。



差し込みページ確認画面が表示されます。

詳しく説明します

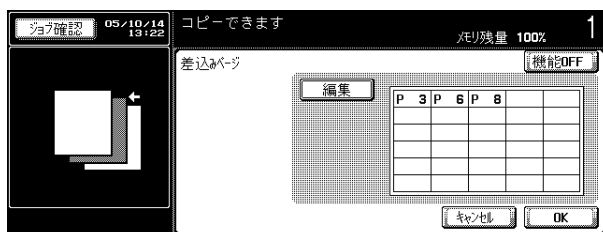
- 差し込み原稿枚数より差し込み箇所を少なく指定すると、差し込み原稿の画像は最終ページの後ろに差し込まれます。
- 差し込み原稿枚数より差し込み箇所を多く指定すると、差し込み原稿枚数以上の指定箇所は無効になります。
- 同じ差し込みページを2つ以上入力すると、該当箇所に差し込み原稿画像を入力した数の画像が差し込まれます。
- 指定したページを削除するときは、削除するページボタンを押して反転させ、操作パネルの[C] (クリア) を押します。

詳しく説明します

差し込みページ編集画面や差し込みページ確認画面の [キャンセル] を押すと、設定は変更されません。

7 差し込みページ確認画面で設定内容を確認／変更します。

詳しく説明します



設定した応用機能を解除するときは、〔機能 OFF〕を押します。

差し込み箇所の変更は、〔編集〕を押して手順⑥をごらんください。

8 各画面ごとに〔OK〕を押して、応用設定画面にもどします。

詳しく説明します

差し込みページ編集画面や差し込みページ確認画面の〔キャンセル〕を押すと、設定は変更されません。

応用機能を全て解除するときは、〔全機能 OFF〕を押します。
応用設定を含めた全ての設定を初期設定にもどすときは、操作パネルの【リセット】を押します。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、応用設定画面や基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

9 必要に応じて、そのほかの設定をします。

10 操作パネルの【スタート】を押します。

差し込まれる原稿の読み込みが開始されます。

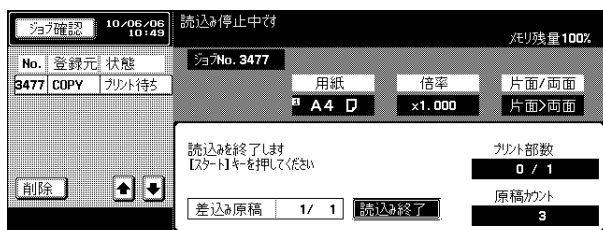
11 差し込む原稿を原稿ガラスにセットします。

差し込まれる原稿の読み込みが完了したら、ADFを開いて、差し込む原稿のコピーする面を下にしてセットし、ADFを静かに閉じます。

12 操作パネルの【スタート】を押します。

複数枚の原稿を差し込む場合は、1ページ目から順に手順⑪と⑫の操作を繰り返し、全ての差し込み原稿を読み込みます。

13 「読み込み終了」を押します。



14 操作パネルの【スタート】を押します。 出力が開始されます。



詳しく説明します

動作中のジョブを停止するときは【ストップ】を押します。詳細は、p. 3-56「動作中のジョブを停止／再開／削除する」をご覧ください。

応用設定 第5章

○HP 合紙
(ページ編集)

カバーシート
(ページ編集)

インターシート
(ページ編集)

差し込みページ
(ページ編集)

章分け
(ページ編集)

プログラムジョブ
(ページ編集)

ブック連写
(連写/リピート)

リピート
(連写/リピート)

ページ連写
(連写/リピート)

小冊子

ネガポジ反転

とじ代

消去

画像の取め方

スタンプ/
オーバーレイ

併用できない
コピー条件

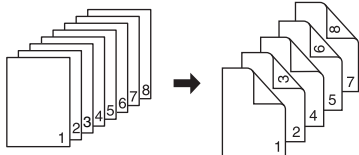
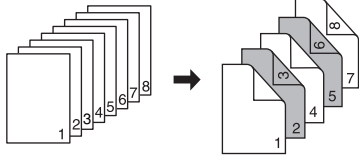
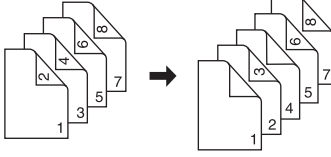
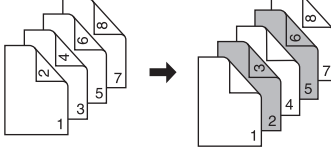
指定したページを両面コピーのオモテ面にする：ページ編集＞章分け

章分けは両面コピーをするときに機能します。指定ページが両面コピーのウラ面になるとき、指定ページの前に白紙ページを挿入し、必ずオモテ面になるようにコピーします。

設定内容

章分けでは、指定したページが両面コピーのウラ面になるとき、指定ページの前に白紙ページが挿入されます。

例：章の先頭ページを「2」と「5」にしたとき

選択項目	説 明
片面＞両面 章分け紙：なし	原稿の2ページ目と5ページ目の両面コピーの前に白紙ページを挿入します。 
片面＞両面 章分け紙：コピー挿入	原稿の2ページ目と5ページ目の両面コピー前に白紙ページを挿入し、2、3ページと5、6ページを別の用紙にコピーします 
両面＞両面 章分け紙：なし	原稿のウラ面になっている2ページ目と5ページ目のそれぞれ前に白紙ページを挿入し、オモテ面にします。 
両面＞両面 章分け紙：コピー挿入	原稿のウラ面になっている2ページ目と5ページ目のそれぞれ前に白紙ページを挿入し、2、3ページと5、6ページを別の用紙にコピーします。 



- 原稿をADFにセットします。
原稿枚数が80枚を超える場合は、連続読み設定をします。詳細は、p. 3-49「原稿を分割して読み一度に出力する：連続読み設定」をごらんください。
連続読み設定を併用すれば、原稿ガラスが使用できます。
- 両面コピー（片面＞両面、両面＞両面）します。片面コピー（片面＞片面、両面＞片面）はできません
- 1～999ページの原稿に対して最大30箇所までオモテ面にしたいページを指定できます。
- 指定ページの給紙トレイを選択し、章の先頭ページとして別の用紙にコピーすることができます。指定ページごとに給紙トレイを選択することはできません。

章分けの設定

1

原稿をセットします。

ADF に原稿をセットする場合、原稿は必ず最初のページから順に揃えてセットします。ページ順を間違えると、目的のコピーを得られません。

原稿ガラスに原稿をセットする場合、原稿は最初のページをセットします。最後のページからセットすると、目的のコピーを得られません。



詳しく説明します

原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をごらんください。

2

操作パネルのテンキーでコピー部数を入力します。



詳しく説明します

コピー部数の入力のしかたについての詳細は、p. 3-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

3

〔片面＞両面〕または〔両面＞両面〕を選択します。

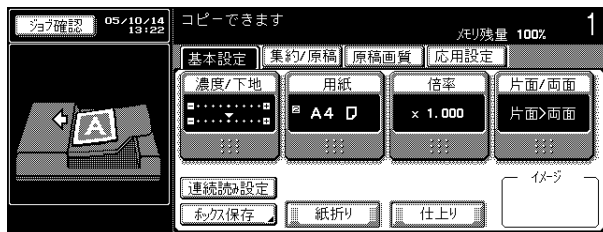


詳しく説明します

片面／両面設定の詳細は、p. 3-39「片面／両面コピーを選ぶ：片面／両面設定」をごらんください。

4

基本設定画面の〔応用設定〕タブを押します。



応用設定画面が表示されます。

応用設定 第5章

OHP 合紙
(ページ編集)

カバーシート
(ページ編集)

インターシート
(ページ編集)

差込みページ
(ページ編集)

章分け
(ページ編集)

プログラムジョブ
(ページ編集)

ブック連写
(連写/リビート)

リビート
(連写/リビート)

ページ連写
(連写/リビート)

小冊子

ネガポジ反転

とじ代

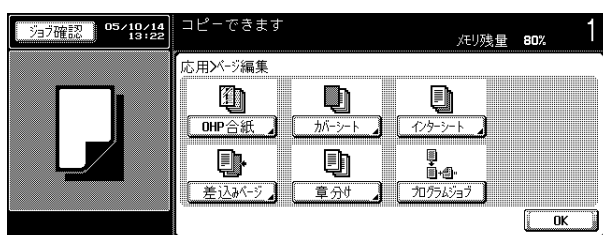
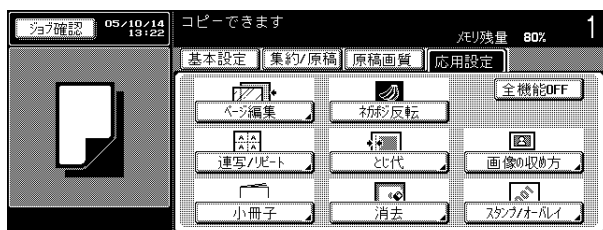
消去

画像の取め方

スタンプ/
オーバーレイ

併用できない
コピー条件

5 [ページ編集]、[章分け] を順に押します。

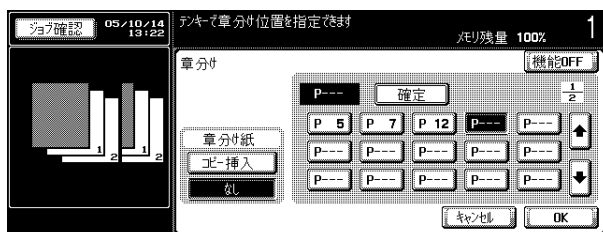


章分け編集画面が表示されます。

6 章の先頭ページを指定します。

〔p---〕を押して反転させ、操作パネルのテンキーを押して、章の先頭ページを指定します。

〔↓〕、〔↑〕を押して、1～15 箇所と 16～30 箇所の表示を切替えます。



章の先頭ページを別の用紙にコピーする場合、手順⑦に進みます。

章の先頭ページをそのほかのページと同じ用紙にコピーする場合、〔確定〕を押して章分け確認画面を表示します。手順⑧に進みます。

詳しく説明します

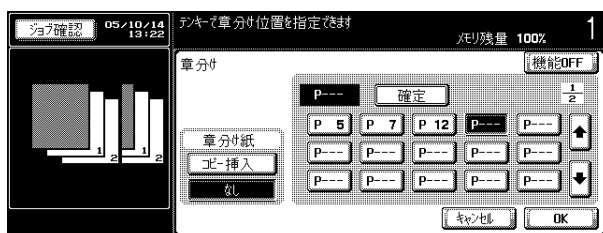
- 原稿ページより大きい数値を章の先頭ページに指定すると、原稿ページ以上の章の先頭ページを指定してもそれらは無効になります。
- 同じ指定ページを 2 つ以上入力すると、同一ページとして動作し、1 つ入力したときと変わりません。
- 指定したページを削除するときは、削除するページボタンを押して反転させ、操作パネルの〔C〕(クリア)を押します。

7 章の先頭ページの給紙トレイを選択します。

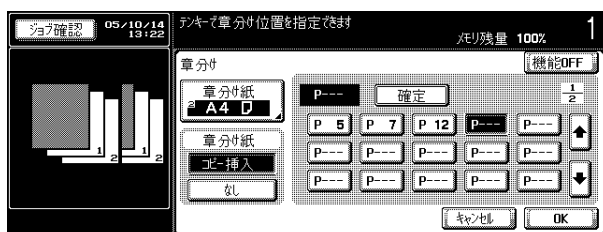
〔コピー挿入〕を押して、〔章分け紙〕ボタンを表示させます。



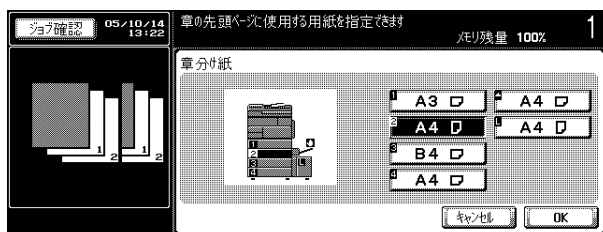
章分け編集画面や章分け確認画面の〔キャンセル〕を押すと、設定は変更されません。



〔章分け紙〕を押して、章分け紙画面を表示させます。



章の先頭ページに使用する用紙をセットしたトレイを押して反転させます。



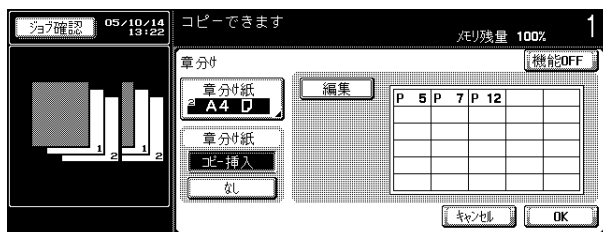
〔OK〕を押し、章分け編集画面にもどります。

章分け編集画面の〔確定〕を押して、章分け確認画面を表示します。

8 章分け確認画面で設定内容を確認／変更します。



設定した応用機能を解除するときは、〔機能 OFF〕を押します。



章分け紙の設定変更は、手順⑦をごらんください。
指定ページの変更は、〔編集〕を押して手順⑥をごらんください。

応用設定 第5章

OHP 合紙
(ページ編集)

カバーシート
(ページ編集)

インターシート
(ページ編集)

差し込みページ
(ページ編集)

章分け
(ページ編集)

プログラムジョブ
(ページ編集)

ブック連写
(連写/リビート)

リビート
(連写/リビート)

ページ連写
(連写/リビート)

小冊子

ネガポジ反転

とじ代

消去

画像の取め方

スタンプ/
オーバーレイ

併用できない
コピー条件

9 各画面ごとに〔OK〕を押して、応用設定画面にもどします。

章分け編集画面や章分け確認画面の〔キャンセル〕を押すと、設定は変更されません。



応用機能を全て解除するときは、〔全機能 OFF〕を押します。
応用設定を含めた全ての設定を初期設定にもどすときは、操作パネルの【リセット】を押します。



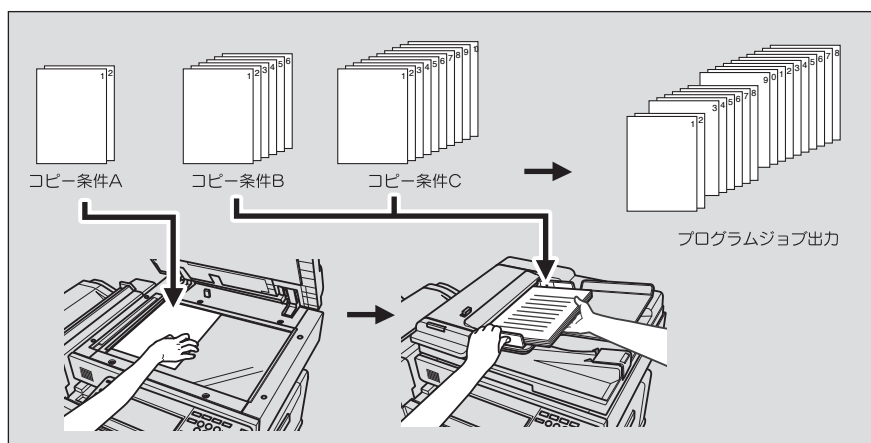
そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、応用設定画面や基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

10 必要に応じて、そのほかの設定をします。

11 操作パネルの【スタート】を押します。
読み込み、出力が開始されます。

原稿ごとに異なる設定で読みまとめてコピーする：ページ編集>プログラムジョブ

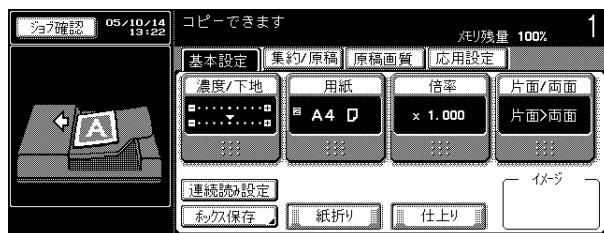
セットする原稿ごとに異なる設定で読み込み、一度にまとめてコピーします。一部の原稿のみ倍率や用紙を変更したり、全ての原稿を読み込んだあとで仕上り機能やナンバリングを設定してコピーすることができます。



- 連続読み設定が自動的に設定されます。
- ジョブごとに部数／仕上り設定の変更はできません。
- 用紙サイズの設定は、最初のジョブ設定がすべてのジョブに適用されます。
- 原稿は 100 束まで設定できます。
- プログラムジョブをプログラムに登録することはできません。

1 原稿をセットします。

2 〔応用設定〕タブを押します。



応用設定画面が表示されます。



原稿のセット方法については「原稿をセットする」(p. 3-6) をご覧ください。



詳しく説明します

全ての応用設定を解除する場合は、[全機能 OFF] を押します。

応用設定 第5章

○HP 合紙
(ページ編集)

カバーシート
(ページ編集)

インターシート
(ページ編集)

差し込みページ
(ページ編集)

章分け
(ページ編集)

プログラムジョブ
(ページ編集)

ブック連写
(連写/リビート)

リビート
(連写/リビート)

ページ連写
(連写/リビート)

小冊子

ネガポジ反転

とじ代

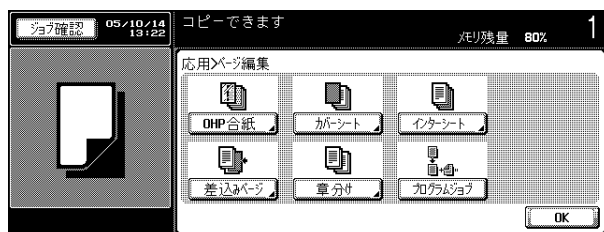
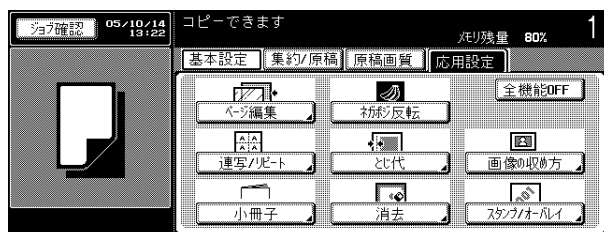
消去

画像の取め方

スタンプ/
オーバーレイ

併用できない
コピー条件

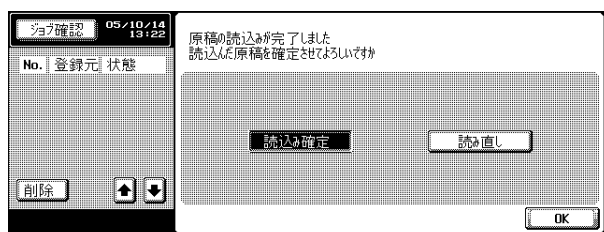
3 [ページ編集] [プログラムジョブ] を順に押し、 [OK] を押します。



4 目的のコピー条件を設定して、操作パネルの【スタート】を押します。

操作パネルの【確認コピー】を押すと 1 部だけプリントされ、仕上りを確認できます。
読み込みが開始されます。

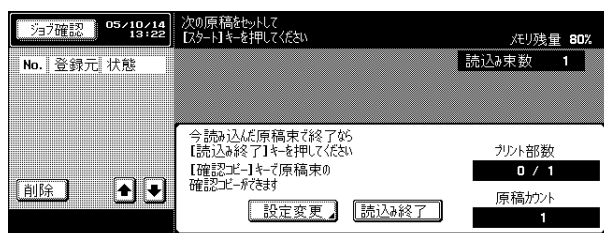
5 [読み込み確定] を選択して [OK] を押します。



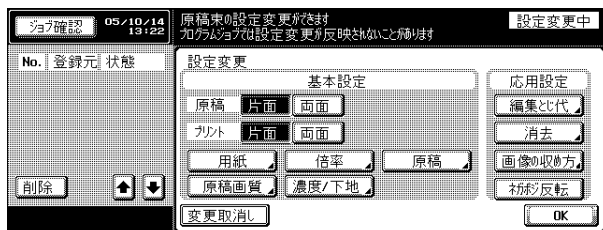
ひとこと

- 原稿を原稿ガラス上にセットした場合は、表示される原稿読み込み終了の確認画面で「読み込み終了」を押します。
- 「読み直し」を選択した場合、読み込んだ原稿が取り消されます。

6 次の原稿をセットして [設定変更] を押します。



7 目的のコピー条件を設定して、操作パネルの【スタート】を押します。



【確認コピー】を押すと1部だけプリントされ、仕上りを確認できます。

読み込みが開始されます。読み込み後、【読み込み確定】を選択して【OK】を押します。

詳しく説明します

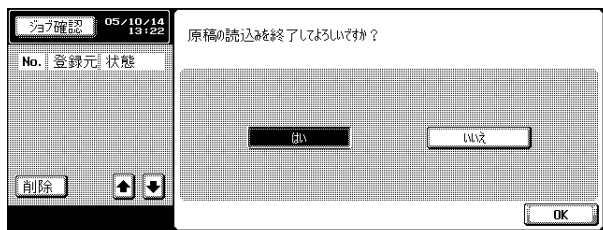
- 手順⑥と⑦を繰り返して、全ての原稿を読み込みます。画面右上部の【メモリ残量】表示で、メモリの残量が確認できます。また【読み込み束数】で原稿束数が確認できます。
- メモリ不足の場合、メッセージが表示されます。最後の原稿データを破棄して読み込みなおす、または最後の原稿データを破棄してプリントする、または全ての原稿データを破棄するのいずれかを選択します。



各設定方法については、各設定の説明ページをごらんください。

8 全ての原稿を読み込んだあと、【読み込み終了】を押します。

9 【はい】を選択して【OK】を押します。



読み込み終了の確認画面が表示されます。

ひとこと

【変更取消し】を押すと設定は変更されません。

ひとこと

【いいえ】を選択した場合、【設定変更】を押してコピー条件を変更できます。

応用設定 第5章

OHP 合紙
(ページ編集)

カバーシート
(ページ編集)

インターシート
(ページ編集)

差し込みページ
(ページ編集)

章分け
(ページ編集)

プログラムジョブ
(ページ編集)

ブック連写
(複写/リビート)

リビート
(複写/リビート)

ページ連写
(複写/リビート)

小冊子

ネガポジ反転

とじ代

消去

画像の収め方

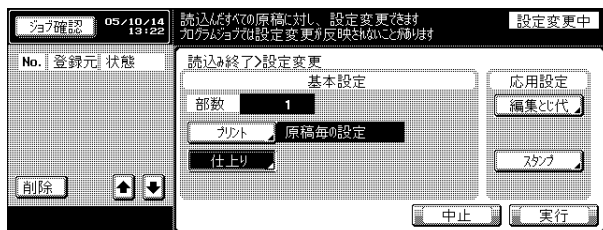
スタンプ/
オーバーレイ

併用できない
コピー条件

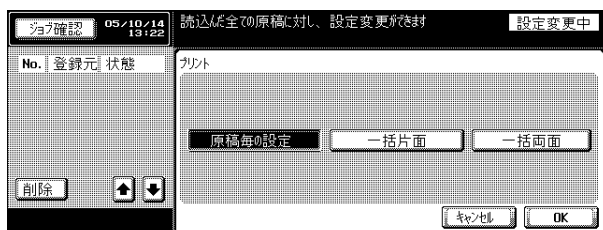
10 必要に応じて、仕上りのコピー条件を設定します。



各設定方法については、各設定の説明ページをごらんください。



〔プリント〕を押すと、読み込んだ全ての原稿に対してプリント方法を設定できます。



11 テンキーでコピー部数を入力します。

12 〔実行〕または〔スタート〕を押します。

ひとこと

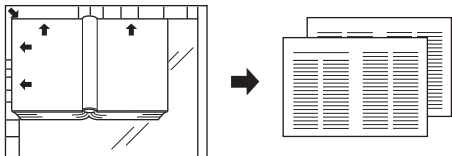
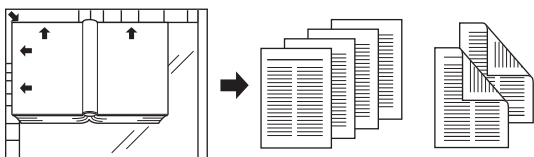
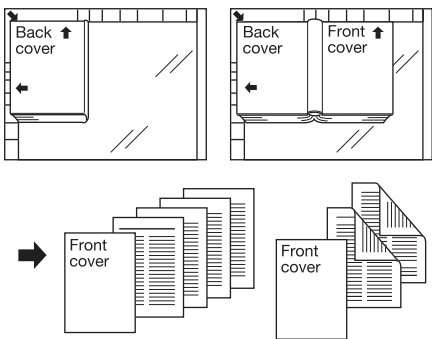
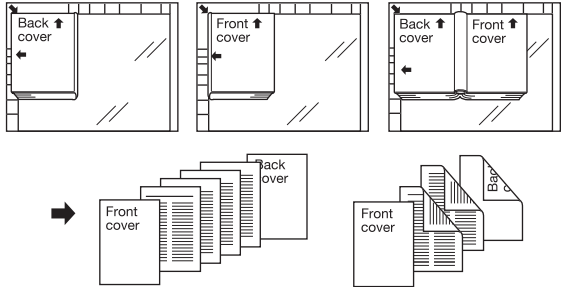
〔中止〕を押すとデータ破棄の確認画面が表示されます。
プリントを中止する場合は、〔はい〕を選択して〔OK〕を押します。

本の見開き左右ページを別々にコピーする：連写／リピート＞ブック連写

本やカタログなどを見開き原稿を原稿ガラスにセットし、左右ページをそれぞれ 1 ページずつ分割してコピーします。分割したコピーにオモテ / ウラ表紙をつける場合は、最初に読むことでオモテ / ウラ表紙のみ 2 分割せずに、すべてをページ順に出力することができます。

見開き原稿を分割せずにそのままコピーする選択もできます。

設定内容

項目／選択ボタン	説 明
見開き	見開き原稿が分割されずにそのままコピーされます。 
分割	見開き原稿がページ順に左右別々に分割コピーされます。 
オモテ表紙	オモテ表紙、ページ順の分割コピーの順に出力されます。 原稿は、オモテ表紙、見開き本文原稿の順に読みます。 
オモテ+ウラ表紙	オモテ表紙、ページ順の分割コピー、ウラ表紙の順に出力されます。 原稿は、オモテ表紙、ウラ表紙、見開き本文原稿の順に読みます。 



- 原稿を原稿ガラスにセットし、ADF を開けたままにします。ADF は使用できません。
- 原稿外消去が自動的に設定されます。
- 原稿セット方向、原稿のとり代は設定できません。
- ブック連写を設定すると、第 1 給紙トレイの用紙が自動的に選択されます。任意の用紙を使用する場合は、手動で給紙トレイを選択します。
- このとき、選択した用紙サイズに合わせて原稿の読み込み範囲を自動的に設定します。自動用紙は機能しません。
- 読みむ見開き原稿の左とじ／右とじを設定します。〔分割〕、〔オモテ表紙〕、〔オモテ＋ウラ表紙〕で有効になります。〔見開き〕では機能しません。
- センタリングの機能を併用すると、原稿ガラスの任意の位置に原稿を置いてブック連写コピーをすることができます。
- 枠消し／折目消しを併用して、影のないコピーができます。
- 自動倍率は機能しません。任意に倍率を変更することができます。

ブック連写の設定

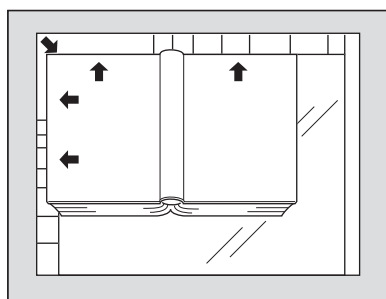
1

原稿ガラスに原稿をセットします。

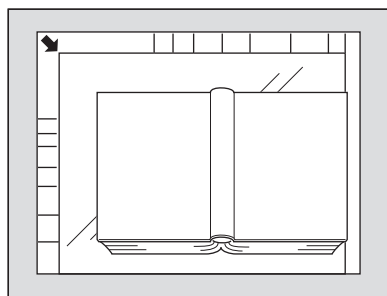
原稿の左上を原稿ガラスの左奥側に沿わせます。
ADF は開いたままにします。

〔見開き〕または〔分割〕を選択する場合は、原稿を見開きにして、最初のページをセットします。

〔オモテ表紙〕または〔オモテ＋ウラ表紙〕を選択する場合は、オモテ表紙を下にしてセットします。



センタリング機能と併用する場合は、原稿ガラスの任意の位置に原稿が曲がらないようにセットします。



- 2** 操作パネルのテンキーでコピー部数を入力します。



詳しく説明します

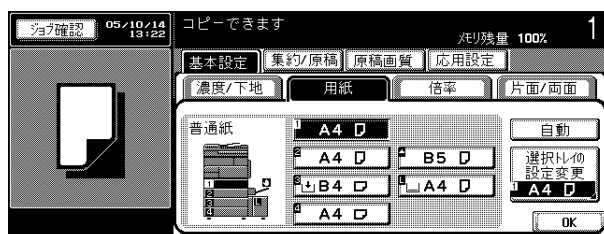
コピー部数の入力のしかたについての詳細は、p. 3-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

- 3** 使用する用紙を任意の給紙トレイにセットします。

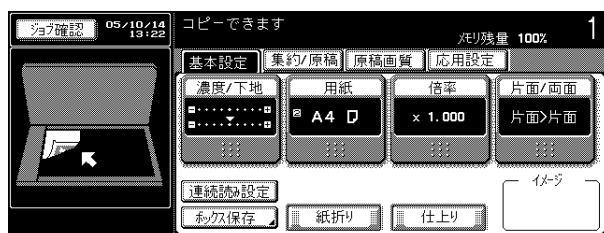
- 4** 用紙画面で使用する用紙サイズを選択します。

基本設定画面の〔用紙〕を押して、用紙画面を表示させます。

任意の給紙トレイボタンを押して、用紙サイズを選択します。用紙サイズを選択しないと、第1給紙トレイにセットされている用紙を自動的に選択します。



- 5** 基本設定画面の〔応用設定〕タブを押します。



応用設定画面が表示されます。

応用設定 第5章

○HP 合紙
(ページ編集)

カバーシート
(ページ編集)

インターシート
(ページ編集)

差込みページ
(ページ編集)

章分け
(ページ編集)

プログラムジョブ
(ページ編集)

ブック連写
(連写/リピート)

リピート
(連写/リピート)

ページ連写
(連写/リピート)

小冊子

ネガポジ反転

とじ代

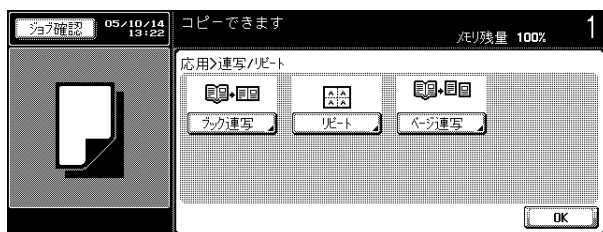
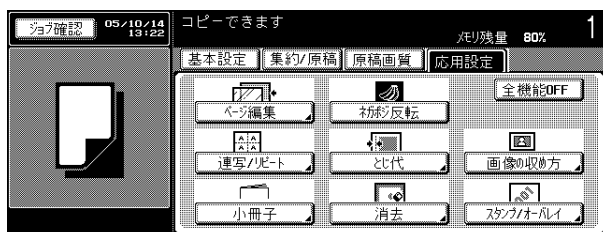
消去

画像の取め方

スタンプ/
オーバーレイ

併用できない
コピー条件

6 「連写／リピート」、〔ブック連写〕を順に押します。



ブック連写画面が表示されます。

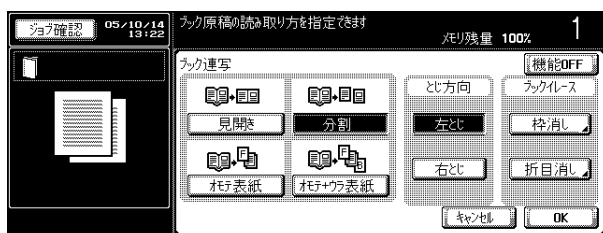
7 ブック連写のモードを選択します。

〔見開き〕、〔分割〕、〔オモテ表紙〕、〔オモテ+ウラ表紙〕のいずれか1つを押して反転させます。

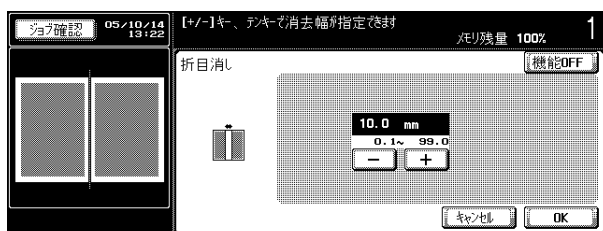
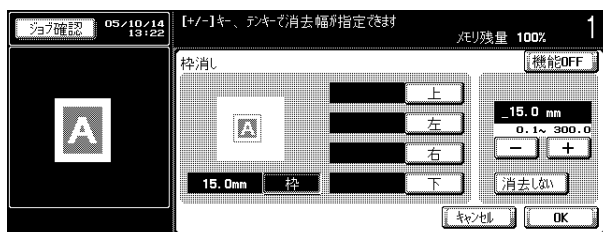
〔分割〕、〔オモテ表紙〕または〔オモテ+ウラ表紙〕を選択したときは、「とじ方向」表示下の〔左とじ〕または〔右とじ〕を押して原稿のとじ方向を設定します。



設定した応用機能を解除するときは、「機能 OFF」を押します。



必要に応じて、「ブックイレース」表示下の〔枠消し〕、〔折目消し〕を押して、枠消し画面、折目消し画面を表示させます。



8 各画面ごとの〔OK〕を押して、応用設定画面にもどします。

ブック連写画面、枠消し画面、折目消し画面の〔キャンセル〕を押すと、設定は変更されません。

9 必要に応じて、そのほかの設定をします。

分割の原稿サイズと選択した用紙サイズが違う場合は、任意の倍率を手動で設定します。

センタリング機能と併用する場合は、応用設定画面の〔画像の収め方〕を押し、画像の収め方画面の〔センタリング〕を押します。



設定の詳細は、p. 5-66「本の周囲の黒い影を消す：消去＞枠消し」、p. 5-69「本の折目の黒い影を消す：消去＞折目消し」をご覧ください。



応用機能を全て解除するときは、〔全機能 OFF〕を押します。
応用設定を含めた全ての設定を初期設定にもどすときは、操作パネルの〔リセット〕を押します。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、応用設定画面や基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

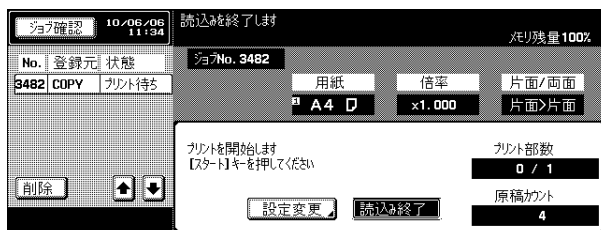
10 操作パネルの【スタート】を押します。

最初のページから順に読み込みを続けます。

〔オモテ＋ウラ表紙〕を選択したときは、オモテ表紙、ウラ表紙、見開き本文原稿の順に読み込みます。

〔オモテ表紙〕を選択したときは、オモテ表紙、見開き本文原稿の順に読み込みます。

11 全ての原稿の読み込みが完了したら、〔読み込み終了〕を押します。



12 操作パネルの【スタート】を押します。

出力を開始します。



動作中のジョブを停止するときは【ストップ】を押します。詳細は、p. 3-56「動作中のジョブを停止／再開／削除する」をご覧ください。



濃い色地の原稿の場合、原稿外消去が機能しないことがあります。白地の原稿で正しく機能するかご確認ください。
また、室内照明の関係で、原稿外消去が正しく機能しないことがあります。このような場合は、機械の設置場所についてサービス実施店にご相談ください。

1枚の用紙に1つの画像を繰り返しコピーする：連写／リピート>リピート

1つの原稿画像を1枚の用紙に繰り返しコピーします。リピート機能には下記の2つのモードがあります。

● リピート回数自動設定

原稿を原稿ガラスにセットします。

画像サイズと用紙サイズからリピート回数を自動的に設定させます。

画像サイズは、原稿のサイズを自動的に検出する〔自動検出〕か、原稿の画像範囲を手動で指定する〔範囲指定〕のいずれかを選択します。

リピート画像のうち、おさまりきらない画像もプリントする〔用紙いっぱい〕か、おさまりきらない画像は余白にしてプリントしない〔余白を除く〕のいずれかを選択します。

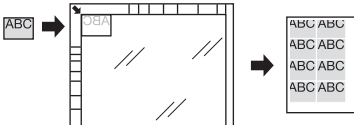
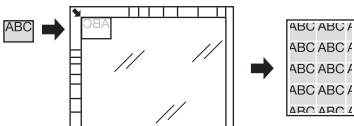
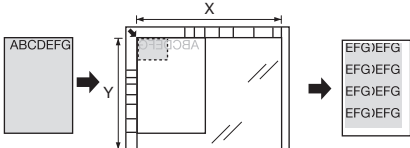
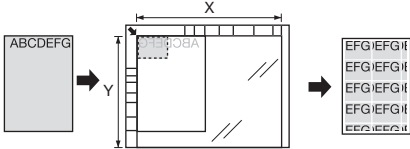
● 定型リピート

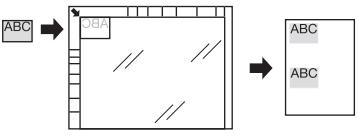
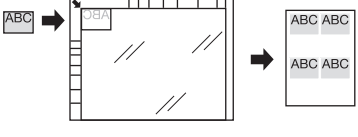
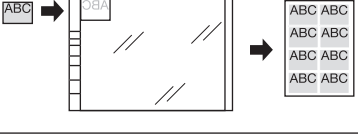
原稿を ADF または原稿ガラスにセットします。

画像サイズに関係なく、リピート回数を 2 回／ 4 回／ 8 回から選択します。

画像サイズは、〔自動検出〕または〔範囲指定〕を選択します。

設定内容

項 目	選 択	説 明
リピート回数自動設定	〔自動検出〕 + 〔余白を除く〕	
	〔自動検出〕 + 〔用紙いっぱい〕	
	〔範囲指定〕 + 〔余白を除く〕	
	〔範囲指定〕 + 〔用紙いっぱい〕	

項 目	選 択	説 明
定型リピート	2 リピート	
	4 リピート	
	8 リピート	

■ リピート回数を自動的に設定させる

原稿のサイズを自動的に検出させる〔自動検出〕か、原稿の画像範囲を手動で指定する〔範囲指定〕かのいずれかを選択し、任意の倍率を選定して、リピート回数を自動的に設定させます。



- 原稿を原稿ガラスにセットします。ADF を使用できません。
- 〔自動検出〕は、原稿外消去の機能を使って原稿サイズを自動検出します。ADF は開けたままにします。
- 〔範囲指定〕は、原稿の全画像ではなく、一部の画像を繰り返しコピーするときに、その画像範囲を指定します。ADF を閉じてコピーします。
定形サイズを指定するか、不定形サイズの数値を入力します。
不定形サイズ：X 座標 30.0 ～ 432.0 mm、Y 座標 30.0 ～ 297.0 mm
- 〔余白を除く〕はリピート画像のうち、用紙におさまりきらない画像をプリントしないで余白にしてコピーします。
〔用紙いっぱい〕は用紙におさまりきらない画像もプリントします。
- 第 1 給紙トレイの用紙が自動的に選択されます。任意の用紙を使用する場合は、手動で選択します。自動用紙は機能しません。
- 自動倍率は機能しません。任意の倍率を選定します。

設定のしかた

1 原稿ガラスに原稿をセットします。

ADF を開いたままにします。



原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 操作パネルのテンキーでコピー部数を入力します。



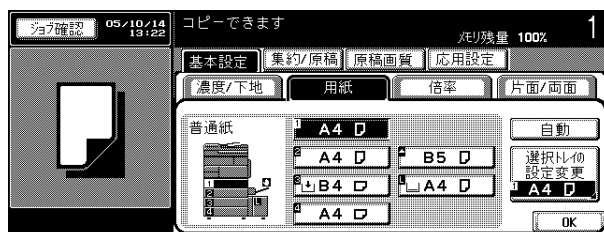
コピー部数の入力のしかたについての詳細は、p. 3-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

3 使用する用紙を任意の給紙トレイにセットします。

4 用紙画面で使用する用紙サイズを選択します。

基本設定画面の〔用紙〕を押して、用紙画面を表示させます。

任意の給紙トレイボタンを押して、用紙サイズを選択します。用紙サイズを選択しないと、第 1 給紙トレイにセットされている用紙を自動的に選択します。



応用設定 第5章

OHP 合紙
(ページ編集)

カバーシート
(ページ編集)

インターシート
(ページ編集)

差込みページ
(ページ編集)

章分け
(ページ編集)

プログラムジョブ
(ページ編集)

ブック連写
(連写/リピート)

リピート
(連写/リピート)

ページ連写
(連写/リピート)

小冊子

ネガポジ反転

とじ代

消去

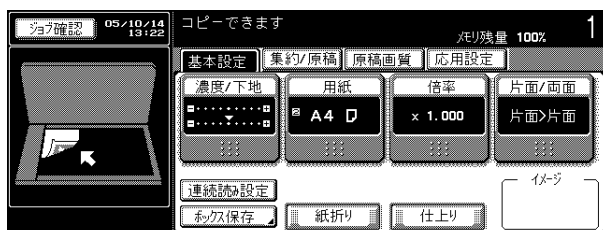
画像の取め方

スタンプ/
オーバーレイ

併用できない
コピー条件

1 枚の用紙に 1 つの画像を繰り返しコピーする：連写／リピート>リピート（つづき）

5 基本設定画面の〔応用設定〕タブを押します。



応用設定画面が表示されます。

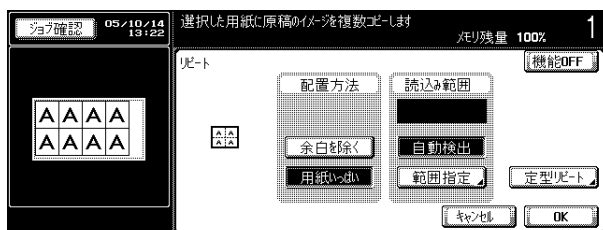
6 〔連写／リピート〕、〔リピート〕を順に押します。



リピート画面が表示されます。

7 「配置方法」を選択します。

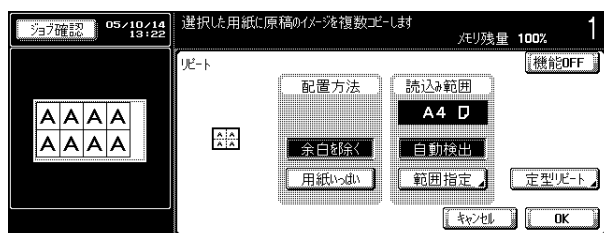
〔余白を除く〕または〔用紙いっぱい〕を押して、反転させます。



8 「読み込み範囲」を指定します。

原稿サイズを自動検出する場合は、「自動検出」を押します。

原稿外消去が自動的に設定されます。

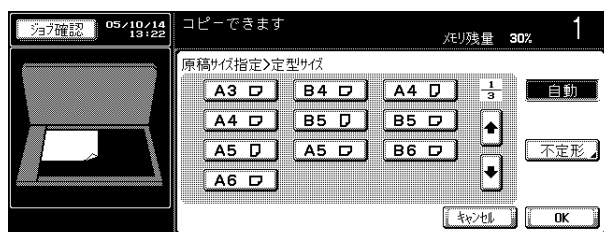


読み込み範囲を指定したい場合は、「範囲指定」を押して、定形サイズ画面を表示させ、任意の範囲を選択します。

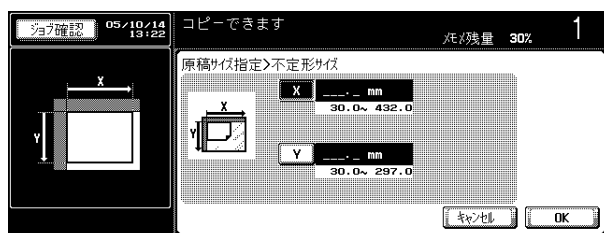
〔↓〕、〔↑〕を押して、任意の定形サイズを表示させます。



設定した応用機能を解除するときは、「機能 OFF」を押します。



読み込み範囲を数値入力する場合は、定形サイズ画面の「不定形」を押して、不定形サイズ画面を表示させ、操作パネルのテンキーで任意の数値を入力します。



「範囲指定」を選択したいときは、ADF を閉じます。

応用設定 第5章

OHP 合紙
(ページ編集)

カバーシート
(ページ編集)

インターシート
(ページ編集)

差し込みページ
(ページ編集)

章分け
(ページ編集)

プログラムジョブ
(ページ編集)

ブック連写
(連写/リピート)

リピート
(連写/リピート)

ページ連写
(連写/リピート)

小冊子

ネガポジ反転

とじ代

消去

画像の取め方

スタンプ/
オーバーレイ

併用できない
コピー条件

9 各画面ごとの〔OK〕を押して、応用設定画面にもどします。

リピート画面、定形サイズ画面、不定形サイズ画面の〔キャンセル〕を押すと、設定は変更されません。



応用機能を全て解除するときは、〔全機能 OFF〕を押します。
応用設定を含めた全ての設定を初期設定にもどすときは、操作パネルの【リセット】を押します。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、応用設定画面や基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

10 必要に応じて、そのほかの設定をします。

任意の倍率を設定します。

設定した読み込み範囲、選択した用紙サイズ、そして倍率からリピート回数が自動設定されます。

11 操作パネルの【スタート】を押します。

出力を開始します。



動作中のジョブを停止するときは【ストップ】を押します。詳細は、p. 3-56「動作中のジョブを停止／再開／削除する」をご覧ください。



濃い色地の原稿の場合、原稿外消去が機能しないことがあります。白地の原稿で正しく機能するかご確認ください。
また、室内照明の関係で、原稿外消去が正しく機能しないことがあります。このような場合は、機械の設置場所についてサービス実施店にご相談ください。

■ リピート回数を指定する：定型リピート

画像サイズに関係なく、リピート回数を 2 回／4 回／8 回から選択します。



- 原稿を原稿ガラス、または ADF にセットします。
- 〔範囲指定〕は、一部の画像を繰り返しコピーするときに、その画像範囲を指定します。
定形サイズを指定するか、不定形サイズの数値を入力します。
不定形サイズ：X 座標 30.0 ～ 432.0 mm、Y 座標 30.0 ～ 297.0 mm
- 〔余白を除く〕を選択すると、用紙サイズに対し先端約 3 mm、後端約 4 mm、左／右端約 2 mm ずつの範囲の内側にコピーします。
〔用紙いっぱい〕を選択すると、画像欠けを起こす範囲もコピー範囲にしてコピーします。
- 〔2 リピート〕を選択したとき、〔リピート間隔指定〕を押してリピート画像の間隔を調整できます。
- 第 1 給紙トレイの用紙が自動的に選択されます。任意の用紙を使用する場合は、手動で選択します。自動用紙は機能しません。
- 自動倍率は機能しません。任意の倍率を選定します。

設定のしかた

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 操作パネルのテンキーでコピー部数を入力します。



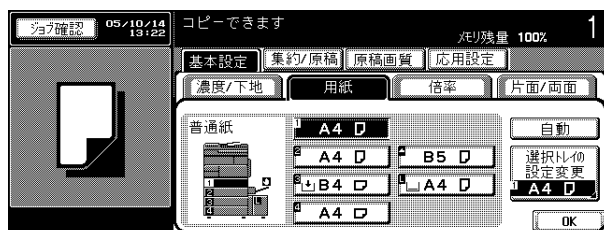
コピー部数の入力のしかたについての詳細は、p. 3-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

3 使用する用紙を任意の給紙トレイにセットします。

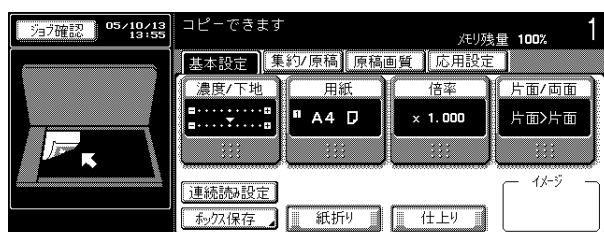
4 用紙画面で使用する用紙サイズを選択します。

基本設定画面の〔用紙〕を押して、用紙画面を表示させます。

任意の給紙トレイボタンを押して、用紙サイズを選択します。用紙サイズを選択しないと、第 1 給紙トレイにセットされている用紙を自動的に選択します。

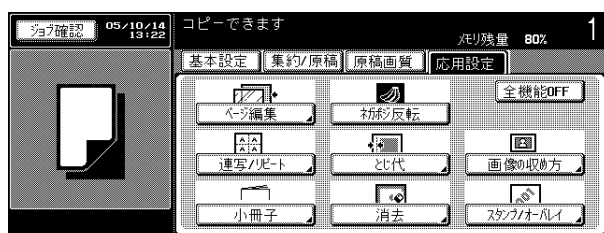


5 基本設定画面の〔応用設定〕タブを押します。



応用設定画面が表示されます。

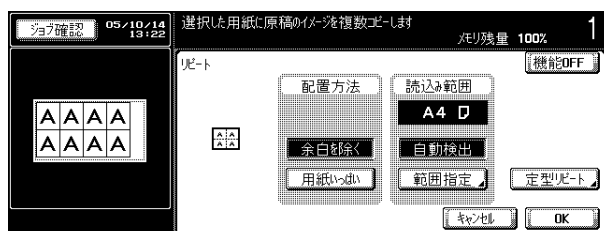
6 〔連写／リピート〕、〔リピート〕を順に押します。



リピート画面が表示されます。

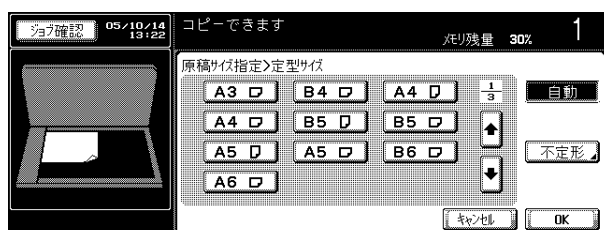
7 「読み込み範囲」を指定します。

ADFに原稿をセットして、原稿サイズをうまく検出できないときは、「範囲指定」で手動指定します。



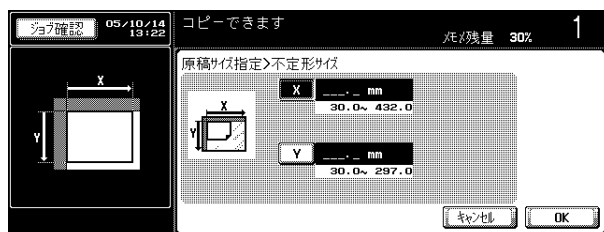
原稿ガラスにセットした原稿の読み込み範囲を指定したい場合は、「範囲指定」を押して、定形サイズ画面を表示させ、任意の範囲を選択します。

〔↓〕、〔↑〕を押して、任意の定形サイズを表示させます。



読み込み範囲を数値入力する場合は、定形サイズ画面の〔不定形〕を押して、不定形サイズ画面を表示させ、操作パネルのテンキーで任意の数値を入力します。

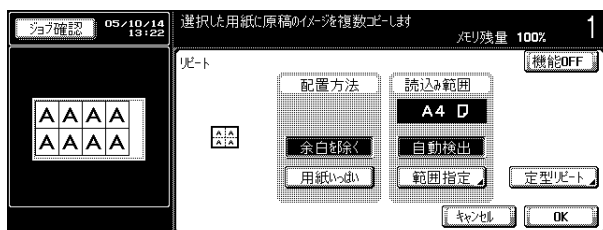
〔OK〕を押して、リピート画面にもどります。



詳しく説明します

入力を間違えたときは、操作パネルの【C】（クリア）を押して、正しい数値を入力します。範囲外の数値入力すると、「入力エラー」というメッセージが表示されます。操作パネルの【C】（クリア）を押して、正しい数値を入力します。

8 リピート画面の〔定型リピート〕を押します。



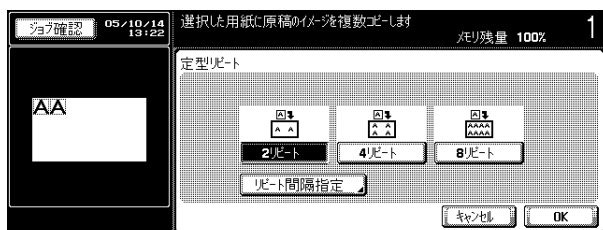
詳しく説明します

設定した応用機能を解除するときには、〔機能 OFF〕を押します。

定型リピート画面が表示されます。

9 リピート回数を選択します。

〔2 リピート〕、〔4 リピート〕または〔8 リピート〕を押して、反転させます。



〔2 リピート〕を選択した場合、1 枚の用紙に原稿画像を 2 回繰り返してコピーします。

〔リピート間隔指定〕を押して、2 つの画像の幅を指定できます。手順⑩に進みます。

〔4 リピート〕を選択した場合、1 枚の用紙に原稿画像を 4 回繰り返してコピーします。手順⑪に進みます。

〔8 リピート〕を選択した場合、1 枚の用紙に原稿画像を 8 回繰り返してコピーします。手順⑫に進みます。

詳しく説明します

このとき、自動画像回転が機能します。

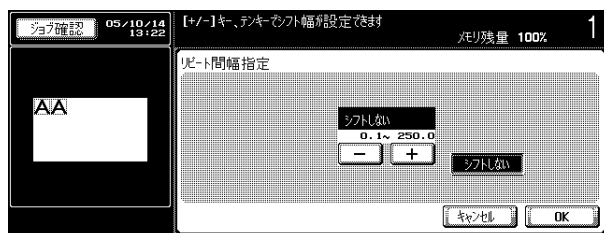
10 リピート間隔を指定します。

〔リピート間隔指定〕を押して、リピート間隔指定画面を表示させます。

リピート間隔を〔+〕、〔-〕または操作パネルのテンキーで設定します。

リピート間隔を設定しない場合は、〔シフトしない〕を押します。

〔OK〕を押します。



通常は、用紙の端を基準に原稿画像を 2 つ繰り返しコピーします。リピート間隔を設定すると、用紙中央を基準に設定したページ間隔量が 2 画像の間隔となるようにコピーします。



入力を間違えたときや「入力エラー」が表示されたときは、操作パネルの〔C〕（クリア）を押して、正しい数値を入力します。

11 各画面ごとの〔OK〕を押して、応用設定画面にもどします。

リピート画面、定型リピート画面、リピート間隔指定画面の〔キャンセル〕を押すと、設定は変更されません。



応用機能を全て解除するときは、〔全機能 OFF〕を押します。応用設定を含めた全ての設定を初期設定にもどすときは、操作パネルの〔リセット〕を押します。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、応用設定画面や基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

12 必要に応じて、そのほかの設定をします。

13 操作パネルの【スタート】を押します。

出力を開始します。

応用設定 第5章

OHP 合紙
(ページ編集)

カバーシート
(ページ編集)

インターシート
(ページ編集)

差し込みページ
(ページ編集)

章分け
(ページ編集)

プログラムジョブ
(ページ編集)

ブック連写
(連写／リピート)

リピート
(連写／リピート)

ページ連写
(連写／リピート)

小冊子

ネガポジ反転

とじ代

消去

画像の取め方

スタンプ／
オーバーレイ

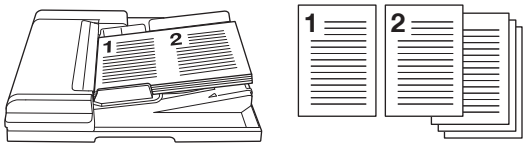
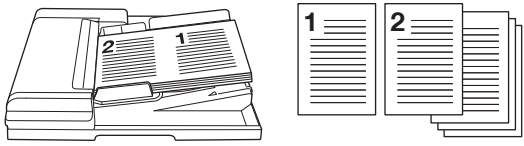
併用できない
コピー条件

ADF を使って見開き原稿の分割コピーをとる：連写／リピート＞ページ連写

ADF にセットできる見開き原稿を ADF にセットし、左右ページをそれぞれ 1 ページずつ分割してコピーします。

設定内容

見開き原稿の左とじ／右とじを設定します。

選択項目	説 明
左とじ	見開き原稿を左、右の順に左右別々に分割コピーされます。 
右とじ	見開き原稿を右、左の順に左右別々に分割コピーされます。 



- 原稿を ADF にセットします。原稿枚数が 80 枚を超える場合は、連続読み設定を設定します。詳細は、p. 3-49「原稿を分割して読み一度に出力する：連続読み設定」をご覧ください。
- 原稿は、ランドスケープ原稿に限ります。ポートレート原稿はセットできません。原稿サイズは、ADF に原稿をセットしたときに自動検出します。
- 原稿セット方向、原稿のとじ代は設定しても機能しません。
- 用紙サイズは、A4□、B5□、8-1/2 x 11 □ の 3 種類に限ります。必ず手動で選択します。自動用紙は機能しません。
- 自動倍率は機能しません。任意に倍率を変更できます。

ページ連写の設定

1 原稿を ADF にセットします。



原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 操作パネルのテンキーでコピー部数を入力します。



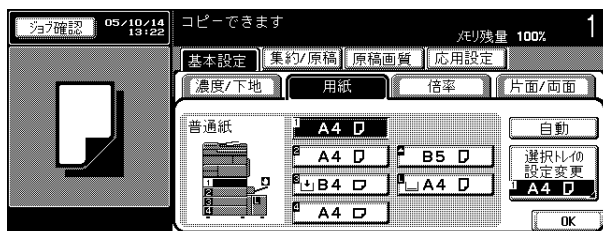
コピー部数の入力のしかたについての詳細は、p. 3-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

3 A4、B5、または 8-1/2 x 11 の用紙を任意の給紙トレイにセットします。

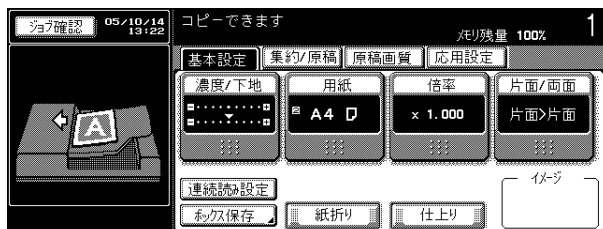
4 用紙画面で使用する用紙サイズを選択します。

基本設定画面の〔用紙〕を押して、用紙画面を表示させます。

任意の給紙トレイボタンを押して、A4、B5、または 8-1/2 x 11 の用紙サイズを選択します。



5 基本設定画面の〔応用設定〕タブを押します。



応用設定画面が表示されます。

応用設定 第5章

OHP 合紙
(ページ編集)

カバーシート
(ページ編集)

インターシート
(ページ編集)

差込みページ
(ページ編集)

章分け
(ページ編集)

プログラムジョブ
(ページ編集)

ブック連写
(連写/リピート)

リピート
(連写/リピート)

ページ連写
(連写/リピート)

小冊子

ネガポジ反転

とじ代

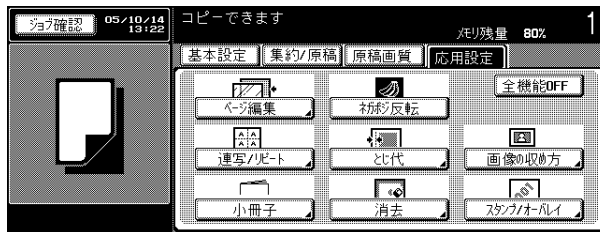
消去

画像の取め方

スタンプ/
オーバーレイ

併用できない
コピー条件

6 「連写／リピート」、〔ページ連写〕を順に押します。



ページ連写画面が表示されます。

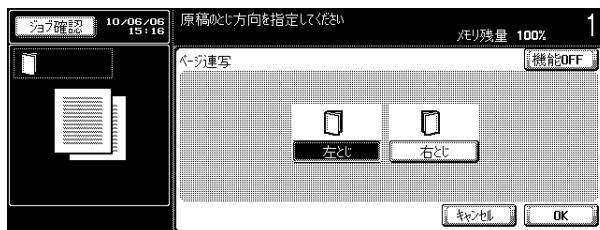
7 見開き原稿のとじ方向を選択します。

見開き原稿が左、右の順になっている場合は、〔左とじ〕を選択します。

見開き原稿が右、左の順になっている場合は、〔右とじ〕を選択します。



設定した応用機能を解除するときは、〔機能 OFF〕を押します。



8 各画面ごとの〔OK〕を押して、応用設定画面にもどします。

ページ連写画面の〔キャンセル〕を押すと、設定は変更されません。



応用機能を全て解除するときは、〔全機能 OFF〕を押します。
応用設定を含めた全ての設定を初期設定にもどすときは、操作パネルの【リセット】を押します。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、応用設定画面や基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

9 必要に応じて、そのほかの設定をします。

10 操作パネルの【スタート】を押します。 読み込み／出力を開始します。



動作中のジョブを停止するときは【ストップ】を押します。詳細は、p. 3-56「動作中のジョブを停止／再開／削除する」をご覧ください。

応用設定 第5章

○HP 合紙
(ページ編集)

カバーシート
(ページ編集)

インターシート
(ページ編集)

差込みページ
(ページ編集)

章分け
(ページ編集)

プログラムジョブ
(ページ編集)

ブック連写
(連写／リピート)

リピート
(連写／リピート)

ページ連写
(連写／リピート)

小冊子

ネガポジ反転

とじ代

消去

画像の取め方

スタンプ／
オーバーレイ

併用できない
コピー条件

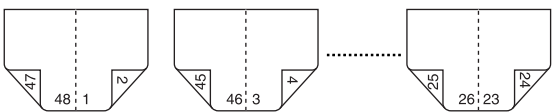
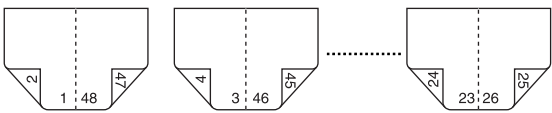
中とじ本のページ立てにコピーする：小冊子

二つ折りにしたとき中とじ本の仕上りになるように、読込んだ原稿画像を並べ換えて両面コピーします。オプションのフィニッシャ FS-510 と中綴じ機 SD-502 を使って、中折り中とじステープルをすることができます。

設定内容

小冊子を設定すると、自動的に x0.707 のお勧め倍率を指定してコピーします。自動設定されるお勧め倍率でたとえば A4 の原稿を小冊子コピーすると、見開き A4（本にすると A5）の小冊子になります。見開き A3（本にすると A4）の小冊子をつくる場合は、手動で A3 の用紙を選択します。

仕上りが中とじ本の左とじ／右とじのページ立てになる設定をします。

選択項目	説 明
左とじ	左とじの中とじページ立てにコピーされます。 
右とじ	右とじの中とじページ立てにコピーされます。 



- 原稿を ADF にセットします。原稿枚数が 80 枚を超える場合は、連続読み設定を設定します。詳細は、p. 3-49「原稿を分割して読み一度に出力する：連続読み設定」をごらんください。
- 原稿枚数は、片面＞両面設定時は 4 の倍数、両面＞両面設定時は 2 の倍数が基本です。足りない場合は、自動的に白紙画像を末尾に挿入します。
- ADF に原稿をセットしたときに原稿サイズを自動検出し、x0.707 のお勧め倍率を自動指定し、自動用紙によって用紙サイズを自動選択します。
倍率を手動で指定するように設定を変更することができます。詳細は、p. 14-19 をごらんください。
- 左とじ／右とじを選択します。
- 自動的にとじ代幅を指定します。
- オプションのフィニッシャ FS-510 と中綴じ機 SD-502 が装着されている場合、中折りのすじをつけたり、中とじステープルをすることができます。詳細は、p. 6-17「2 つ折りの折目をつけ／中央をとじて出力する：中折り／中とじ」をごらんください。

小冊子の設定

1 原稿を ADF にセットします。



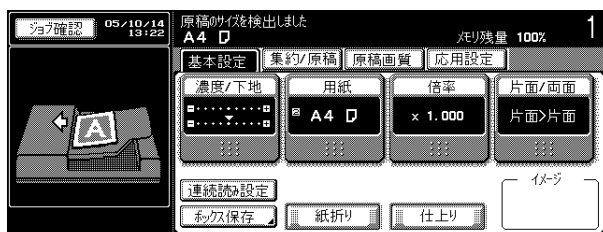
原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 操作パネルのテンキーでコピー部数を入力します。



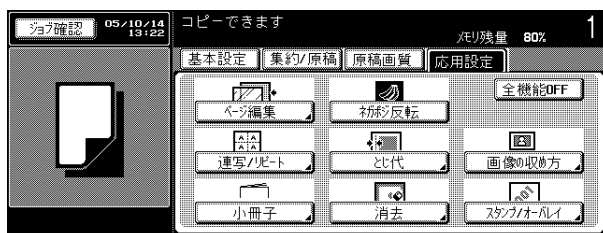
コピー部数の入力のしかたについての詳細は、p. 3-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

3 基本設定画面の〔応用設定〕タブを押します。



応用設定画面が表示されます。

4 応用設定画面〔小冊子〕を押します。



小冊子画面が表示されます。

応用設定 第5章

OHP 合紙
(ページ編集)

カバーシート
(ページ編集)

インターシート
(ページ編集)

差込みページ
(ページ編集)

章分け
(ページ編集)

プログラムジョブ
(ページ編集)

ブック連写
(連写/リビート)

リビート
(連写/リビート)

ページ連写
(連写/リビート)

小冊子

ネガポジ反転

とじ代

消去

画像の取め方

スタンプ/
オーバーレイ

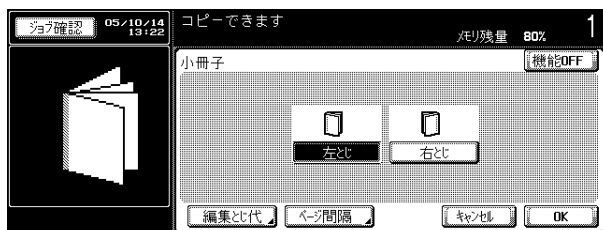
併用できない
コピー条件

5 小冊子のとじ方向を選択します。

〔左とじ〕または〔右とじ〕を押して、反転させます。

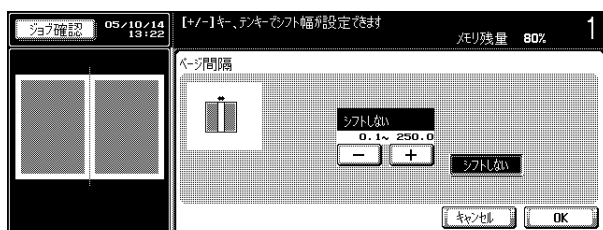


小冊子画面の〔キャンセル〕を押すと、設定は変更されません。設定した応用機能を解除するときは、〔機能 OFF〕を押します。



必要に応じて〔編集とじ代〕や〔ページ間隔〕を押して、見開きの画像位置を調整します。

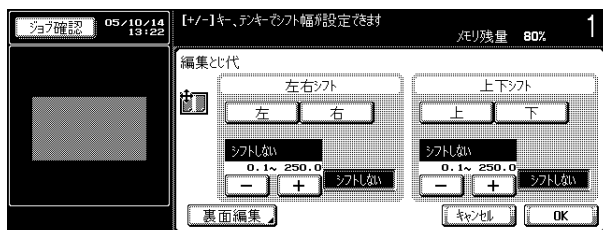
ページ間隔は、出力紙の中央を基準に、左右のページを設定値分だけ画像間隔を広げます。〔-〕、〔+〕または操作パネルのテンキーを押して入力し、〔OK〕を押します。



編集とじ代は、ページ間隔がセンター基準で画像間隔を広げるだけなのに対して、画像位置を上下左右に任意に調整します。調整が終了したら〔OK〕を押します。



編集とじ代の詳細は、p. 5-62 をご覧ください。



6 各画面ごとの〔OK〕を押して、応用設定画面にもどします。

原稿サイズと自動指定されたお勧め倍率に対応した用紙サイズが自動的に選択されています。

原稿サイズに対応したサイズの用紙が給紙トレイにセットされていない場合、メッセージが表示されます。表示された用紙をセットしてください。



応用機能を全て解除するときは、〔全機能 OFF〕を押します。応用設定を含めた全ての設定を初期設定にもどすときは、操作パネルの【リセット】を押します。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、応用設定画面や基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

7 必要に応じて、そのほかの設定をします。

2つ折りにした小冊子と原稿サイズを同じサイズにしたいときは、原稿の2倍の大きさの用紙を手動で選択します。お勧め倍率の $\times 0.707$ が自動的に $\times 1.000$ の倍率に変更されます。

片面／両面設定は、「片面＞両面」が自動的に設定されています。手順①で両面原稿をADFにセットしているときは、片面／両面画面で〔両面＞両面〕を選択します。

8 操作パネルの【スタート】を押します。

読み込み／出力を開始します。



動作中のジョブを停止するときは【ストップ】を押します。詳細は、p. 3-56「動作中のジョブを停止／再開／削除する」をご覧ください。

応用設定 第5章

OHP 合紙
(ページ編集)

カバーシート
(ページ編集)

インターシート
(ページ編集)

差込みページ
(ページ編集)

章分け
(ページ編集)

プログラムジョブ
(ページ編集)

ブック連写
(連写/リピート)

リピート
(連写/リピート)

ページ連写
(連写/リピート)

小冊子

ネガポジ反転

とじ代

消去

画像の収め方

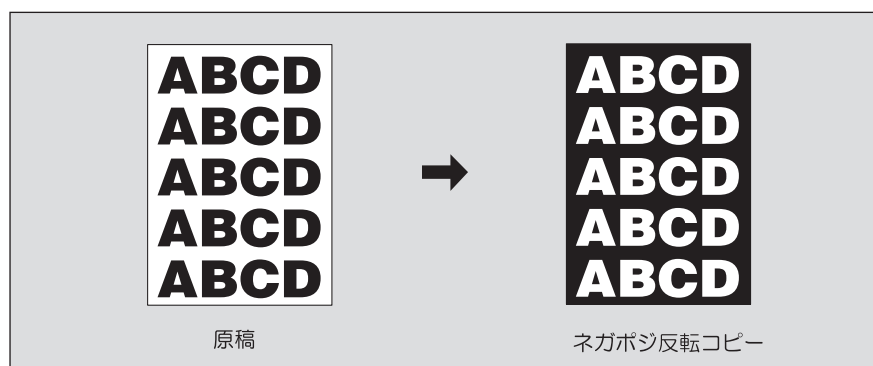
スタンプ/
オーバーレイ

併用できない
コピー条件

原稿画像の濃淡を反転させてコピーする：ネガポジ反転

原稿の白い部分を黒く、黒い部分を白く反転させてコピーします。

設定内容



ネガポジ反転の設定

1 原稿をセットします。



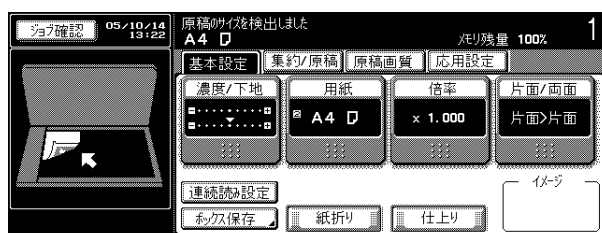
原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 操作パネルのテンキーでコピー部数を入力します。



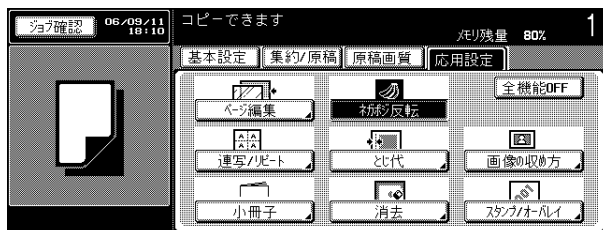
コピー部数の入力のしかたについての詳細は、p. 3-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

3 基本設定画面の〔応用設定〕タブを押します。



応用設定画面が表示されます。

4 応用設定画面の「ネガポジ反転」を押して、反転させます。



詳しく説明します

応用機能を全て解除するときは、[全機能 OFF] を押します。
応用設定を含めた全ての設定を初期設定にもどすときは、操作パネルの【リセット】を押します。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

5 必要に応じて、そのほかの設定をします。

6 操作パネルの【スタート】を押します。 読み込み／出力を開始します。

詳しく説明します

動作中のジョブを停止するときは【ストップ】を押します。詳細は、p. 3-56「動作中のジョブを停止／再開／削除する」をご覧ください。

応用設定 第5章

OHP 合紙
(ページ編集)

カバーシート
(ページ編集)

インターシート
(ページ編集)

差し込みページ
(ページ編集)

章分け
(ページ編集)

プログラムジョブ
(ページ編集)

ブック連写
(連写/リピート)

リピート
(連写/リピート)

ページ連写
(連写/リピート)

小冊子

ネガポジ反転

とじ代

消去

画像の取め方

スタンプ/
オーバーレイ

併用できない
コピー条件

コピー画像位置を調整する：とじ代

ファイリングしやすいように、コピー画像にとじ代（余白）をつくります。
両面コピーのとじ方向を任意に選択し、両面コピーの天地を補正することができます。
また、両面コピーするときに、オモテ、ウラのコピー画像の位置を調整して画像ズレを補正します。

設定内容

項 目	説 明
とじ代をつける (とじ代)	
両面コピーの天地を補正する (とじ代)	
両面コピーのオモテ面、ウラ面の画像位置を調整する (編集とじ代)	

■ とじ代をつける／両面コピーのとじ方向を設定する

コピー画像にファイリングに便利なとじ代を付けます。

また、とじ代幅を「なし」にして、両面コピーのとじ方向を任意に変更します。



- 出荷時設定では、とじ代位置は「自動」、とじ代幅は「なし」が設定されています。
- とじ代位置の「自動」は、原稿のセット方向から用紙につくるとじ代位置を自動的に選択します。両面コピーをとる場合、原稿が A4 以下のときは用紙の長辺をとじ代位置に、原稿が B4 以上のときは用紙の短辺をとじ代位置に自動設定します。
- ステープルやパンチの位置指定ととじ代のとじ代位置が異なる場合、ステープルやパンチ位置の設定が優先されます。

設定のしかた

1 原稿をセットします。



詳しく説明します

原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をごらんください。

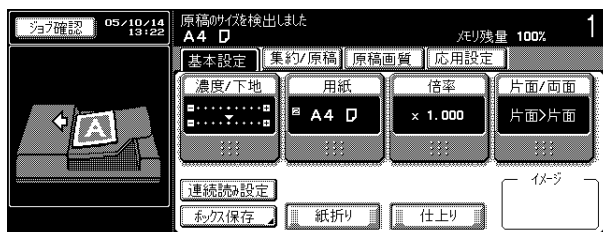
2 操作パネルのテンキーでコピー部数を入力します。



詳しく説明します

コピー部数の入力のしかたについての詳細は、p. 3-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

3 基本設定画面の「応用設定」タブを押します。



応用設定画面が表示されます。

応用設定 第5章

OHP 合紙
(ページ編集)

カバーシート
(ページ編集)

インターシート
(ページ編集)

差し込みページ
(ページ編集)

章分け
(ページ編集)

プログラムジョブ
(ページ編集)

ブック連写
(連写/リビート)

リビート
(連写/リビート)

ページ連写
(連写/リビート)

小冊子

ネガポジ反転

とじ代

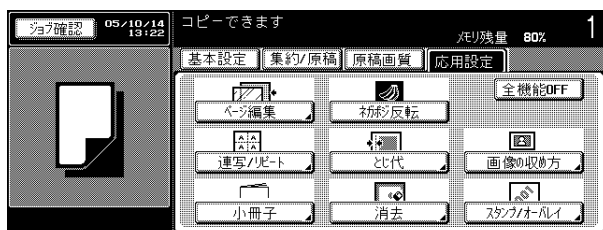
消去

画像の取め方

スタンプ/
オーバーレイ

併用できない
コピー条件

4 応用設定画面の〔とじ代〕を押します。



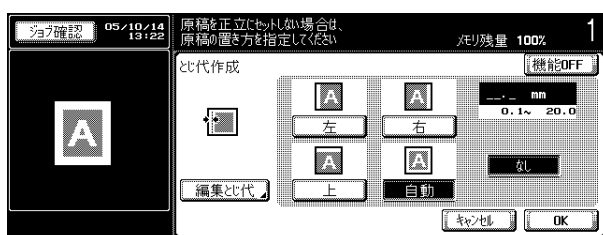
とじ代作成画面が表示されます。

5 とじ代位置を選択します。

任意のボタンを押して、反転させます。



設定した応用機能を解除するときは、〔機能 OFF〕を押します。



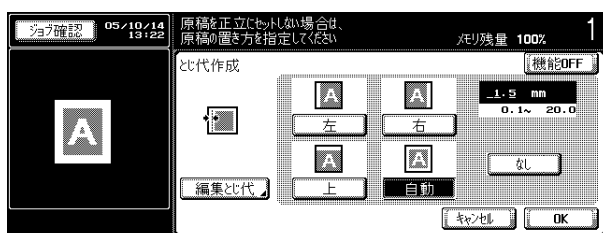
6 とじ代幅を入力します。

操作パネルのテンキーでとじ代幅を入力します。

両面コピーの画像の天地を補正する場合は、〔なし〕を選択します。



入力を間違えたときは、操作パネルの【C】（クリア）を押して、正しい数値を入力します。範囲外の数値を入力すると、「入力エラー」というメッセージが表示されます。操作パネルの【C】（クリア）を押して、正しい数値を入力します。とじ代幅を入力した後にとじ代位置を変更することができます。



とじ代幅は、0.1 mm ～ 20.0 mm の範囲を 0.1 mm 刻みで設定できます。

7 各画面ごとの〔OK〕を押して、応用設定画面にもどします。

とじ代作成画面の〔キャンセル〕を押すと、設定は変更されません。



応用機能を全て解除するときは、〔全機能 OFF〕を押します。
応用設定を含めた全ての設定を初期設定にもどすときは、操作パネルの【リセット】を押します。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、応用設定画面や基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

8 必要に応じて、そのほかの設定をします。

9 操作パネルの【スタート】を押します。 読み込み／出力を開始します。



動作中のジョブを停止するときは【ストップ】を押します。詳細は、p. 3-56「動作中のジョブを停止／再開／削除する」をご覧ください。

応用設定 第5章

〇HP 合紙
(ページ編集)

カバーシート
(ページ編集)

インターシート
(ページ編集)

差込みページ
(ページ編集)

章分け
(ページ編集)

プログラムジョブ
(ページ編集)

ブック連写
(連写/リビート)

リビート
(連写/リビート)

ページ連写
(連写/リビート)

小冊子

ネガポジ反転

とじ代

消去

画像の取め方

スタンプ/
オーバーレイ

併用できない
コピー条件

■ オモテ／ウラのコピー画像位置を調整する：編集とじ代

読込んだ画像の位置を上下左右に任意にシフトし、とじ代をつくったり、コピー画像位置を調整します。両面コピー時にオモテ、ウラのコピー画像を個別にシフトさせて、位置ズレを調整します。



- ・上下方向（上シフト、下シフト）と左右方向（左シフト、右シフト）の位置調整ができます。
- ・両面コピー時にオモテ、ウラのコピー画像を個別に上下左右シフトさせて、位置ズレを調整することができます。

設定のしかた

1 原稿をセットします。



詳しく説明します

原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をごらんください。

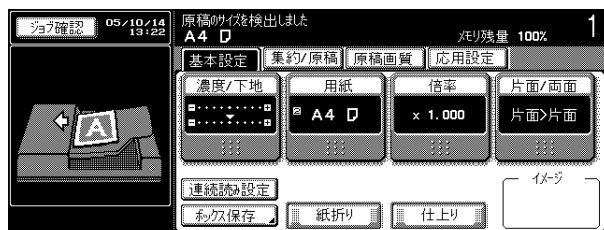
2 操作パネルのテンキーでコピー部数を入力します。



詳しく説明します

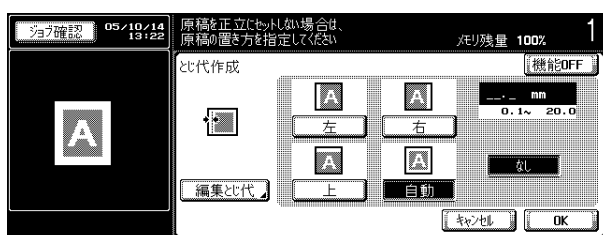
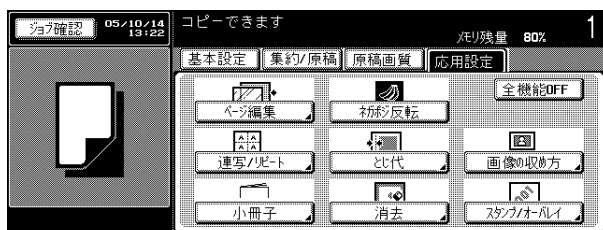
コピー部数の入力のしかたについての詳細は、p. 3-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

3 基本設定画面の〔応用設定〕タブを押します。



応用設定画面が表示されます。

4 「とじ代」、〔編集とじ代〕を順に押します。



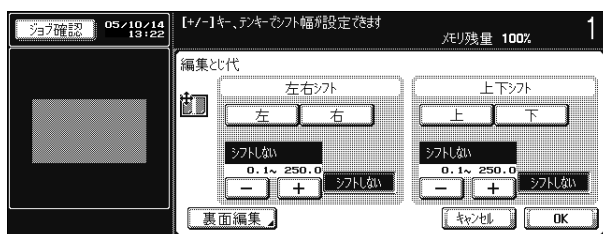
編集とじ代画面が表示されます。

5 シフト方向とシフト幅を設定します。

「左右シフト」表示下の〔左〕または〔右〕を押して反転させ、〔-〕、〔+〕または操作パネルのテンキーを押してシフト幅を設定します。

「上下シフト」表示下の〔上〕または〔下〕を押して反転させ、〔-〕、〔+〕または操作パネルのテンキーを押してシフト幅を入力します。

「左右シフト」、「上下シフト」表示下の〔シフトしない〕を押して反転させると、その方向のシフトは行われません。



両面コピーのウラ面画像位置を調整するときは、手順⑥に進みます。

両面コピーのウラ面画像位置を調整しないときは、手順⑦に進みます。

詳しく説明します

シフト幅は、上下左右とも 0.1 mm ~ 250.0 mm の範囲を 0.1 mm 刻みで設定できます。

詳しく説明します

- 入力を間違えたときは、操作パネルの【C】（クリア）を押して、正しい数値を設定します。
- 範囲外の数値を入力すると、「入力エラー」というメッセージが表示されます。操作パネルの【C】（クリア）を押して、正しい数値を入力します。
- シフト幅を入力した後にシフト位置を変更することができます。

詳しく説明します

設定した応用機能を解除するときは、〔機能 OFF〕を押します。

詳しく説明します

ウラ面の画像位置を設定しないと、以下の設定となります。

- シフト方向はオモテ面と逆
- シフト幅はオモテ面と同じ

OHP 合紙
(ページ編集)

カバーシート
(ページ編集)

インターシート
(ページ編集)

差込みページ
(ページ編集)

章分け
(ページ編集)

プログラムジョブ
(ページ編集)

ブック連写
(連写/リビート)

リビート
(連写/リビート)

ページ連写
(連写/リビート)

小冊子

ネガポジ反転

とじ代

消去

画像の収め方

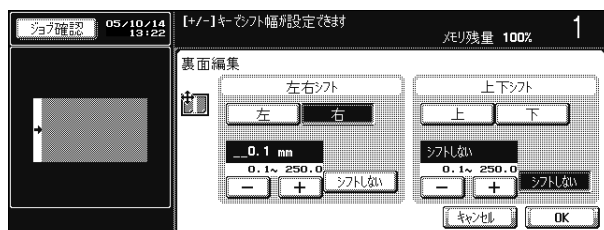
スタンプ/
オーバーレイ

併用できない
コピー条件

6 ウラ面のコピー画像位置を調整します。

編集とじ代画面の〔裏面編集〕を押して、裏面編集画面を表示させます。

手順⑤と同じようにウラ面のシフト方向とシフト幅を設定します。



7 各画面ごとの〔OK〕を押して、応用設定画面にもどします。

とじ代作成画面、編集とじ代画面、裏面編集画面の〔キャンセル〕を押すと、設定は変更されません。



応用機能を全て解除するときは、〔全機能 OFF〕を押します。
応用設定を含めた全ての設定を初期設定にもどすときは、操作パネルの【リセット】を押します。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、応用設定画面や基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

8 必要に応じて、そのほかの設定をします。

9 操作パネルの【スタート】を押します。

読み込み／出力を開始します。



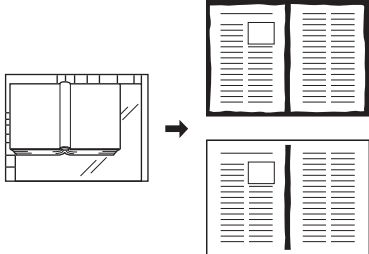
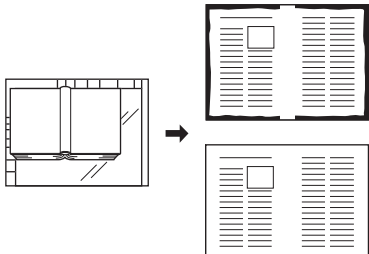
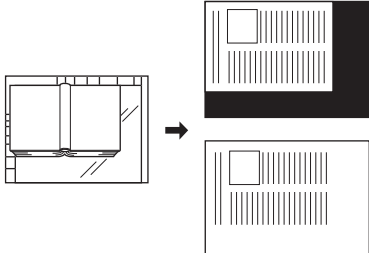
動作中のジョブを停止するときは【ストップ】を押します。詳細は、p. 3-56「動作中のジョブを停止／再開／削除する」をご覧ください。

不要部分を消去してコピーする：消去

原稿を読み込むときに、コピーの周囲や中央部、パンチ穴などに黒い影ができることがあります。この機能を設定することで、それらの黒い影を消してコピーし、トナーの消費をおさえることができます。

設定内容

消去機能には 3 つがあります。3 つの機能は併用できます。

項 目	説 明
枠消し	コピー画像の周囲 4 辺の不要部分を消去します。 
折目消し	コピー画像の中央部にできる黒い影を消去します。 
原稿外消去	原稿サイズを検知し、コピー画像にできる原稿外側の影を消去します。 

■ 本の周囲の黒い影を消す：消去＞枠消し

本など、厚みのある原稿を原稿ガラスにセットしてコピーするときにはできる、コピー画像の周囲の影を消去してコピーします。

周囲に影ができてしまった原稿をセットする場合も、この機能を設定すると、周囲の影を消去してコピーします。



- 4 辺を同じ幅で一括消去したり、1 辺ごとに消去する幅を指定したりできます。
- 折目消しとの併用が可能です。
原稿外消去と併用するときは、原稿を原稿ガラスにセットします。

設定のしかた

1 原稿をセットします。



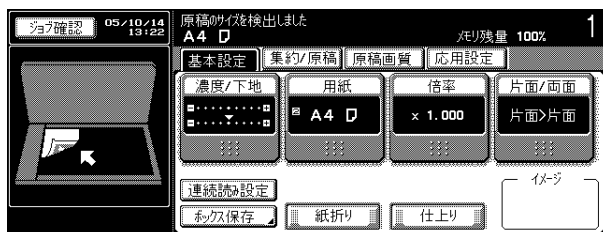
原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 操作パネルのテンキーでコピー部数を入力します。



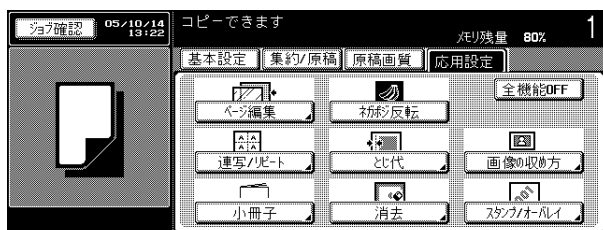
コピー部数の入力のしかたについての詳細は、p. 3-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

3 基本設定画面の〔応用設定〕タブを押します。



応用設定画面が表示されます。

4 「消去」、〔枠消し〕を順に押します。



枠消し画面が表示されます。

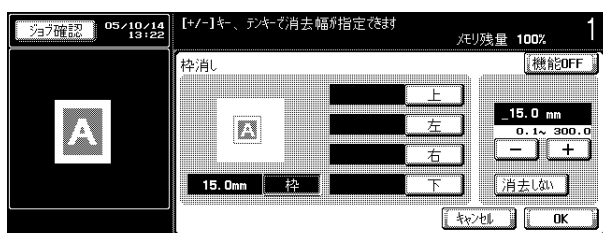
5 枠消しの消去位置と消去幅を設定します。

周囲 4 辺の影を同じ幅で消去するときは、〔枠〕を押して反転させます。

周囲 4 辺の影を個別に消去するときは、消去したい辺のボタンを 1 つ押して反転させます。

消去幅は、〔-〕、〔+〕または操作パネルのテンキーを押して入力します。

消去しないときは、〔消去しない〕を押します。



詳しく説明します

枠消しの消去幅は、0.1 mm ～ 300.0 mm の範囲を 0.1 mm 刻みで設定できます。

詳しく説明します

- 〔枠〕は 4 辺を一括に同じ消去幅で消去するときに設定します。個別に設定する 4 辺のボタンと同時に設定できません。
- 個別に消去幅を設定する場合は、4 辺すべて消去幅を入力する必要があります。
- 入力されている消去幅をテンキーで変更するときは、操作パネルの【C】（クリア）を押して、正しい数値を入力します。
- 範囲外の数値入力すると、「入力エラー」というメッセージが表示されます。操作パネルの【C】（クリア）を押して、正しい数値を入力します。
- 消去幅を入力した後に消去位置を変更することはできません。

詳しく説明します

設定した応用機能を解除するときは、〔機能 OFF〕を押します。

応用設定 第5章

OHP 合紙
(ページ編集)

カバーシート
(ページ編集)

インターシート
(ページ編集)

差込みページ
(ページ編集)

章分け
(ページ編集)

プログラムジョブ
(ページ編集)

ブック連写
(連写/リビート)

リビート
(連写/リビート)

ページ連写
(連写/リビート)

小冊子

ネガポジ反転

とじ代

消去

画像の収め方

スタンプ/
オーバーレイ

併用できない
コピー条件

6 各画面ごとの〔OK〕を押して、応用設定画面にもどします。

枠消し画面の〔キャンセル〕を押すと、設定は変更されません。



応用機能を全て解除するときは、〔全機能 OFF〕を押します。
応用設定を含めた全ての設定を初期設定にもどすときは、操作パネルの〔リセット〕を押します。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、応用設定画面や基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

7 必要に応じて、そのほかの設定をします。

8 操作パネルの〔スタート〕を押します。

読み込み／出力を開始します。



動作中のジョブを停止するときは〔ストップ〕を押します。詳細は、p. 3-56「動作中のジョブを停止／再開／削除する」をご覧ください。

■ 本の折目の黒い影を消す：消去＞折目消し

本など、厚みのある原稿を原稿ガラスにセットしてコピーするときにはできるコピー画像中央の折目やとじ部分の影を消去してコピーします。

中央に影ができてしまった原稿をセットする場合も、この機能を設定すると、中央部の影を消去してコピーします。



枠消しの消去幅は、0.1mm ～ 99.0mm の範囲を 0.1mm 刻みで設定できます。

枠消しとの併用が可能です。

原稿外消去と併用するときは、原稿を原稿ガラスにセットします。

設定のしかた

1 原稿をセットします。



詳しく説明します

原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をごらんください。

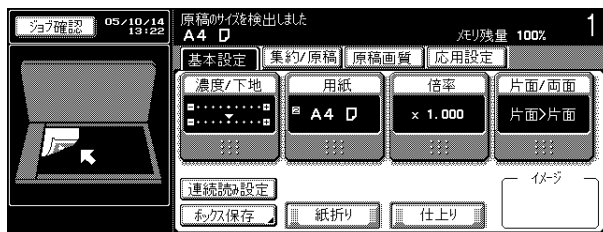
2 操作パネルのテンキーでコピー部数を入力します。



詳しく説明します

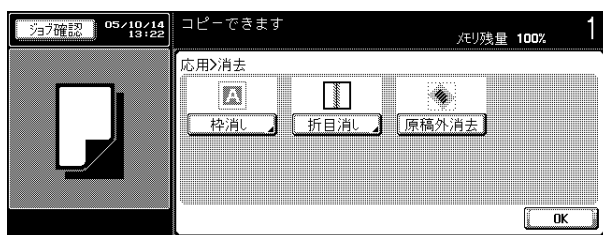
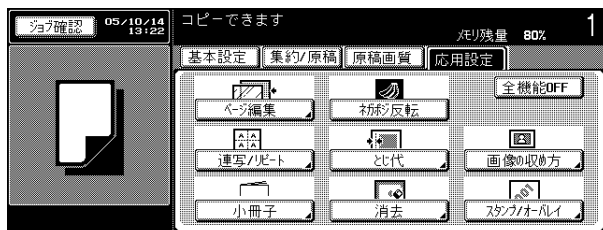
コピー部数の入力のしかたについての詳細は、p. 3-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

3 基本設定画面の〔応用設定〕タブを押します。



応用設定画面が表示されます。

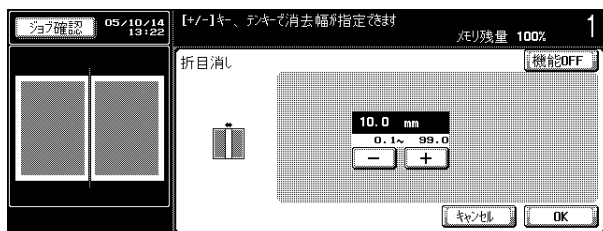
4 「消去」、〔折目消し〕を順に押します。



折目消し画面が表示されます。

5 折目消しの消去幅を入力します。

〔－〕、〔＋〕または操作パネルのテンキーを押して消去幅を入力します。



詳しく説明します

- 入力されている消去幅をテンキーで変更するときは、操作パネルの【C】（クリア）を押して、正しい数値を入力します。
- 範囲外の数値入を入力すると、「入力エラー」というメッセージが表示されます。操作パネルの【C】（クリア）を押して、正しい数値を入力します。

詳しく説明します

設定した応用機能を解除するときは、〔機能 OFF〕を押します。

6 各画面ごとの〔OK〕を押して、応用設定画面にもどします。

折目消し画面の〔キャンセル〕を押すと、設定は変更されません。



詳しく説明します

応用機能を全て解除するときは、〔全機能 OFF〕を押します。
応用設定を含めた全ての設定を初期設定にもどすときは、操作パネルの【リセット】を押します。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、応用設定画面や基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

7 必要に応じて、そのほかの設定をします。

8 操作パネルの【スタート】を押します。 読み込み／出力を開始します。



詳しく説明します

動作中のジョブを停止するときは【ストップ】を押します。詳細は、p. 3-56「動作中のジョブを停止／再開／削除する」をご覧ください。

応用設定 第5章

○HP 合紙
(ページ編集)

カバーシート
(ページ編集)

インターシート
(ページ編集)

差込みページ
(ページ編集)

章分け
(ページ編集)

プログラムジョブ
(ページ編集)

ブック連写
(連写/リビート)

リビート
(連写/リビート)

ページ連写
(連写/リビート)

小冊子

ネガボジ反転

とじ代

消去

画像の取め方

スタンプ/
オーバーレイ

併用できない
コピー条件

■ 原稿の外側の部分を消す：消去＞原稿外消去

原稿ガラスにセットした原稿の大きさを検知して、原稿以外の部分を消してコピーします。



- 原稿は原稿ガラスにセットします。ADF は必ず開けたままにします。
- 原稿ガラスにセットした原稿サイズは、30 mm x 30 mm 以上の大きさが必要です。
- 枠消し、折目消しとの併用が可能です。

設定のしかた

1 原稿を原稿ガラスにセットします。

ADF は必ず開けたままにします。



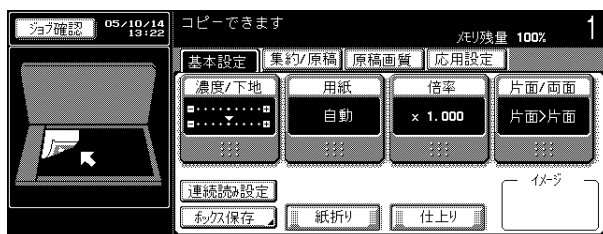
原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 操作パネルのテンキーでコピー部数を入力します。



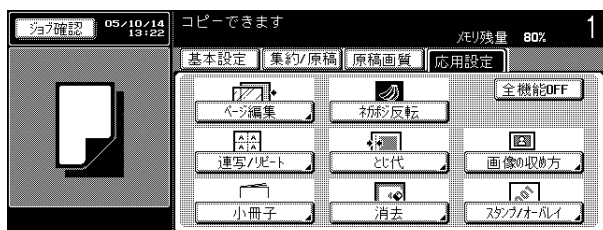
コピー部数の入力のしかたについての詳細は、p. 3-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

3 基本設定画面の〔応用設定〕タブを押します。



応用設定画面が表示されます。

4 応用設定画面の〔消去〕を押します。



消去画面が表示されます。

5 消去画面の〔原稿外消去〕を押して反転させます。



応用機能を全て解除するときは、〔全機能 OFF〕を押します。
応用設定を含めた全ての設定を初期設定にもどすときは、操作パネルの【リセット】を押します。

6 〔OK〕を押して、応用設定画面にもどします。

原稿外消去機能を解除するときは、〔原稿外消去〕を押して反転を解除します。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、応用設定画面や基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

7 必要に応じて、そのほかの設定をします。

8 操作パネルの【スタート】を押します。

読み込み／出力を開始します。



動作中のジョブを停止するときは【ストップ】を押します。詳細は、p. 3-56「動作中のジョブを停止／再開／削除する」をご覧ください。

コピー画像位置を調整する：画像の収め方

画像位置を調整してコピーします。
原稿サイズを自動検出するか、サイズを手動で指定します。

- センタリング

原稿画像を用紙の中央に配置してコピーします。

- 回転しない

自動画像回転機能は、例えば横送り  にセットした A4 サイズの原稿を等倍コピーするとき、A4 サイズ用紙が給紙トレイに縦送り  にしかセットされていない場合でも、画像を回転させて横送り  にセットされた用紙にコピーするのと同じようにコピーします。

また、縦送り  にしかセットできないサイズの原稿（A3、B4 など）を、トレイに横送り  にセットされた用紙（A4、B5 など）に自動倍率を機能させて縮小してコピーします。

〔回転しない〕は、この自動画像回転機能をオフにします。

設定内容

画像の収め方には2つの方法があります。2つの機能は併用できます。

項 目	説 明							
〔センタリング〕								
〔回転しない〕	<table><tr><th>原稿</th><th>コピー</th><th>原稿</th><th>コピー</th></tr><tr><td> ABCDE A3  ABCDE B4  ABCDE A4  ABCDE B5  </td><td> 自動画像回転オン ABCDE A4  ABCDE B5  自動画像回転オフ ABCDE A4  ABCDE B5  </td><td> 自動画像回転オン ABCDE A4  ABCDE B5  自動画像回転オフ ABCDE A4  ABCDE B5  </td></tr></table>	原稿	コピー	原稿	コピー	ABCDE A3  ABCDE B4  ABCDE A4  ABCDE B5 	自動画像回転オン ABCDE A4  ABCDE B5  自動画像回転オフ ABCDE A4  ABCDE B5 	自動画像回転オン ABCDE A4  ABCDE B5  自動画像回転オフ ABCDE A4  ABCDE B5 
原稿	コピー	原稿	コピー					
ABCDE A3  ABCDE B4  ABCDE A4  ABCDE B5 	自動画像回転オン ABCDE A4  ABCDE B5  自動画像回転オフ ABCDE A4  ABCDE B5 	自動画像回転オン ABCDE A4  ABCDE B5  自動画像回転オフ ABCDE A4  ABCDE B5 						

■ 画像を用紙の中央に配置してコピーする：画像の収め方＞センタリング

原稿画像を用紙の中央に配置してコピーします。



- 原稿は原稿ガラスにセットします。ADF は必ず開けたままにします。自動的に原稿外消去が機能します。
- センタリングを選択した場合、〔自動検出〕は機能しますが、〔サイズ指定〕は機能しません。
- 自動倍率は機能しません。

設定のしかた

1 原稿を原稿ガラスにセットします。

ADF は必ず開けたままにします。



詳しく説明します

原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をごらんください。

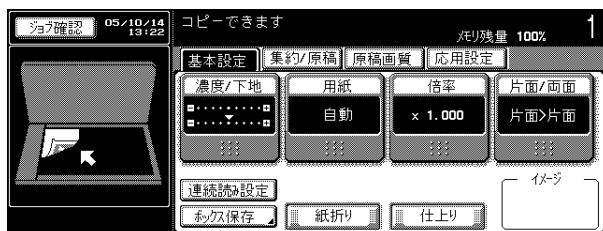
2 操作パネルのテンキーでコピー部数を入力します。



詳しく説明します

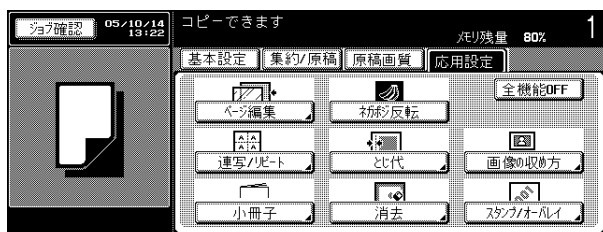
コピー部数の入力のしかたについての詳細は、p. 3-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

3 基本設定画面の〔応用設定〕タブを押します。



応用設定画面が表示されます。

4 応用設定画面の〔画像の収め方〕を押します。



画像の収め方画面が表示されます。

- 5** 画像の収め方画面の〔センタリング〕を押して、反転させます。



- 6** 〔OK〕を押して、応用設定画面にもどします。
画像の収め方画面の〔キャンセル〕を押すと、設定は変更されません。

詳しく説明します

応用機能を全て解除するときは、〔全機能 OFF〕を押します。
応用設定を含めた全ての設定を初期設定にもどすときは、操作パネルの【リセット】を押します。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、応用設定画面や基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

- 7** 必要に応じて、そのほかの設定をします。

出荷時設定では、第 1 給紙トレイにセットされている用紙を自動的に選択します。用紙サイズを選択する場合は、〔用紙〕を押して、用紙画面を表示させ、任意の給紙トレイボタンを押します。

- 8** 操作パネルの【スタート】を押します。
読み込み／出力を開始します。

詳しく説明します

動作中のジョブを停止するときは【ストップ】を押します。詳細は、p. 3-56「動作中のジョブを停止／再開／削除する」をごらんください。

■ 自動画像回転をオフにする：画像の収め方＞回転しない

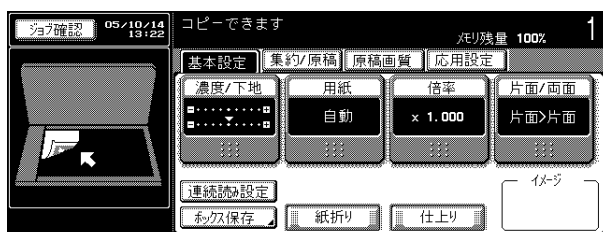
自動画像回転機能をオフ／オンします。



- 用紙は、A4、B5、A5 サイズに対して機能します。
- 原稿は、A3、B4、A4、B5、A5、B6 サイズに対して機能します。
- 出荷時設定では、自動画像回転機能はオンになっています。
- 自動画像回転機能をオフにしても、操作パネルの【リセット】を押したり、オートリセット機能が働くと、オンになります。

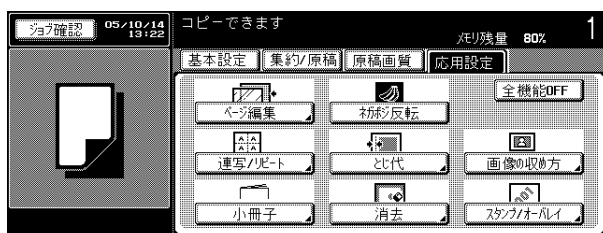
設定のしかた

1 基本設定画面の〔応用設定〕タブを押します。



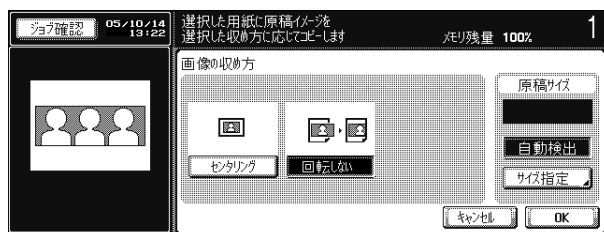
応用設定画面が表示されます。

2 応用設定画面の〔画像の収め方〕を押します。



画像の収め方画面が表示されます。

- 3** 画像の収め方画面の「回転しない」を押して、反転させます。



自動画像回転機能がオフになります。

- 4** 「OK」を押して、応用設定画面にもどします。
画像の収め方画面の「キャンセル」を押すと、設定は変更されません。



応用機能を全て解除するときは、
「全機能 OFF」を押します。
応用設定を含めた全ての設定を
初期設定にもどすときは、操作
パネルの【リセット】を押します。



そのほかのコピー操作の設定を
しない場合は、応用設定画面や
基本設定画面にもどさなくても、
設定した機能を使ってコピーを
開始することができます。

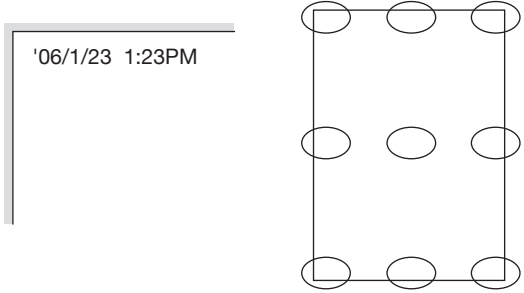
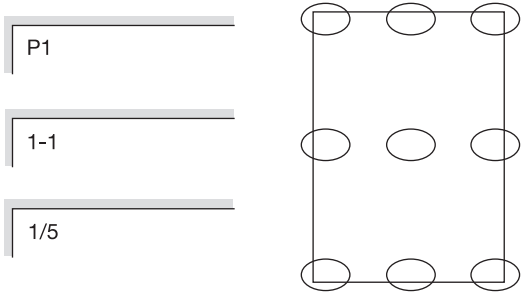
付属情報や別画像をいっしょにコピーする：スタンプ/オーバーレイ

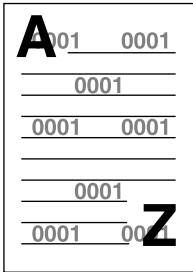
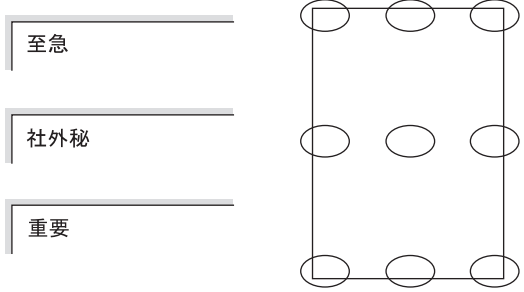
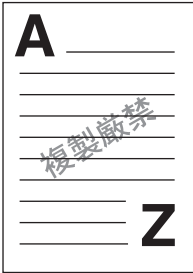
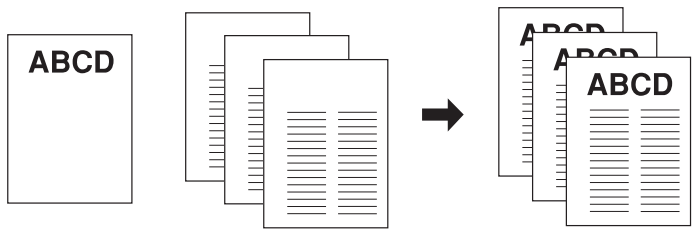
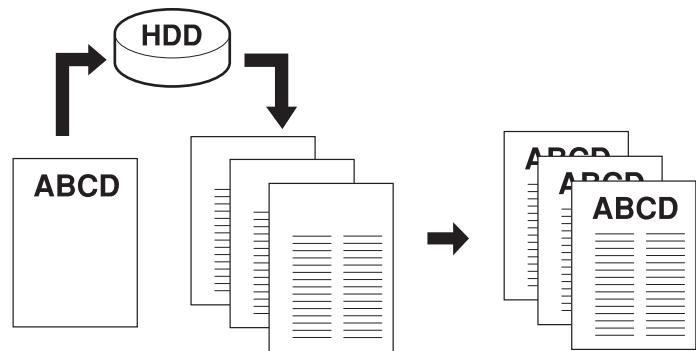
原稿にはない日付／時刻、複数コピーをするときのページ番号（ページ）、コピー部数ごとの管理番号（ナンバリング）、定型のスタンプ、ウォーターマークをコピーに印字します。下記の種類があります。

- **日付／時刻**
表示形式、印字位置を指定して、日付や時刻を印字します。
- **ページ**
表示形式、印字位置を指定して、指定した番号からページを印字します。
- **ナンバリング**
コピー部数ごとに、コピー画像の背景いっぱいに 4 桁の管理番号を印字します。
- **定型スタンプ**
表示形式、印字位置を指定して、「至急」、「社外秘」などの決まった文言を印字します。
- **ウォーターマーク**
コピー画像真ん中の背景に、「至急」、「社外秘」などの決まった文言を印字します。
- **オーバーレイ**
最初に読込んだ 1 枚の画像を、その後に読込んだ画像に重ねてコピーします。
- **登録オーバーレイ**
あらかじめ重ねる画像を保存し、保存した画像を呼び出して重ねてコピーします。

設定内容

スタンプ/オーバーレイには下記の種類があります。これらは併用できます。

項 目	説 明
〔日付／時刻〕	
〔ページ〕	

項 目	説 明
〔ナンバリング〕	
〔定型スタンプ〕	
〔ウォーターマーク〕	
〔オーバーレイ〕	
〔登録オーバーレイ〕	

■ 日付や時刻を印字する：スタンプ＞日付／時刻



- 時刻を印字しないように設定できます。
- 印字ページを「表紙のみ」「全ページ」から選択します。

設定のしかた

1 原稿をセットします。



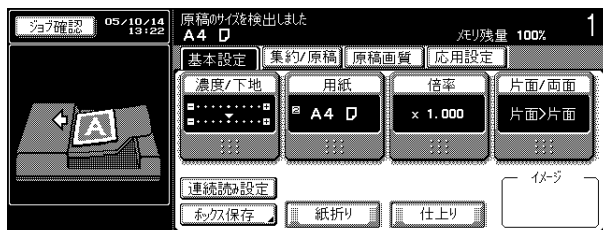
原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 操作パネルのテンキーでコピー部数を入力します。



コピー部数の入力のしかたについての詳細は、p. 3-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

3 基本設定画面の〔応用設定〕タブを押します。



応用設定画面が表示されます。

応用設定 第5章

OHF 合紙

(ページ編集)

カバーシート

(ページ編集)

インターシート

(ページ編集)

差込みページ

(ページ編集)

章分け

(ページ編集)

プログラムジョブ

(ページ編集)

ブック連写

(連写/リピート)

リピート

(連写/リピート)

ページ連写

(連写/リピート)

小冊子

ネガポジ反転

とじ代

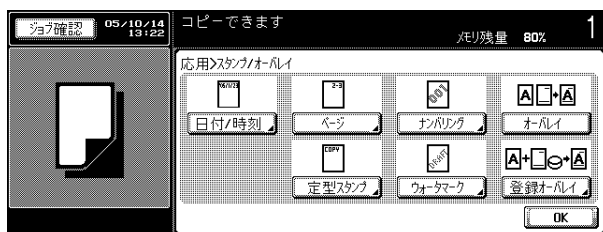
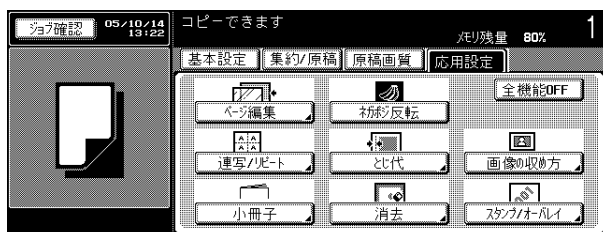
消去

画像の取め方

スタンプ／
オーバーレイ

併用できない
コピー条件

4 「スタンプ／オーバーレイ」、〔日付／時刻〕を順に押します。



日付・時刻画面が表示されます。

5 「日付種類」、「時刻種類」、「印字ページ」をそれぞれ選択します。

「日付種類」表示下 5 つのボタンのいずれか 1 つを押して、反転させます。

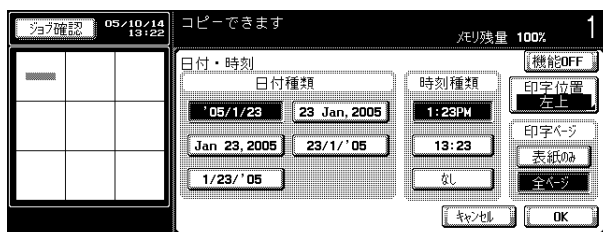
「時刻種類」表示下 2 つのボタンのいずれか 1 つを押して、反転させます。時刻を印字させないときは、〔なし〕を押して反転させます。

「印字ページ」表示下 2 つのボタンのいずれか 1 つを押して、反転させます。



詳しく説明します

設定した応用機能を解除するときは、〔機能 OFF〕を押します。



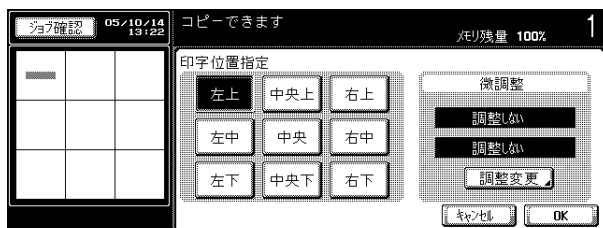
〔印字位置〕に表示されている印字位置の指定を変更したり、印字位置を微調整したいときは、手順⑥に進みます。

印字位置の変更や微調整をしない場合は、手順⑧に進みます。

6 日付・時刻画面の〔印字位置〕を押して、印字位置を指定します。

印字位置指定画面が表示されます。

9つの印字位置ボタンのいずれか1つを押して反転させます。



微調整をしない場合は、手順8に進みます。

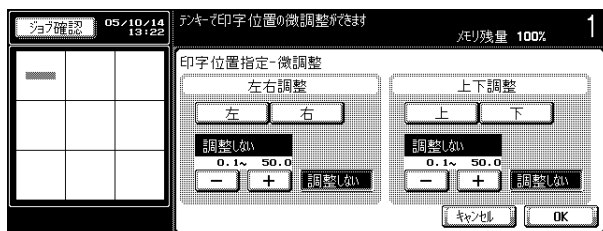
7 印字位置指定画面の〔調整変更〕を押して、印字位置の微調整をします。

印字位置指定 - 微調整画面が表示されます。

「左右調整」表示下の〔左〕または〔右〕を押して反転させ、〔-〕、〔+〕または操作パネルのテンキーを押して調整値を入力します。

「上下調整」表示下の〔上〕または〔下〕を押して反転させ、〔-〕、〔+〕または操作パネルのテンキーを押して調整値を入力します。

「左右調整」、「上下調整」表示下の〔調整しない〕を押して反転させると、その方向の微調整は行われません。



詳しく説明します

手順6で選択したエリア内の印字位置を0.1 mm～50.0 mmの範囲で上下左右方向に0.1 mm刻みの微調整ができます。

詳しく説明します

- 入力されている調整値をテンキーで変更するときは、操作パネルの【C】(クリア)を押して、正しい数値を入力します。
- 範囲外の数値を入力すると、「入力エラー」というメッセージが表示されます。操作パネルの【C】(クリア)を押して、正しい数値を入力します。

8 各画面ごとの〔OK〕を押して、応用設定画面にもどします。

日付・時刻画面、印字位置指定画面、印字位置指定－微調整画面の〔キャンセル〕を押すと、設定は変更されません。



応用機能を全て解除するときは、〔全機能 OFF〕を押します。
応用設定を含めた全ての設定を初期設定にもどすときは、操作パネルの【リセット】を押します。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、応用設定画面や基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

9 必要に応じて、そのほかの設定をします。

10 操作パネルの【スタート】を押します。 読み込み／出力を開始します。



動作中のジョブを停止するときは【ストップ】を押します。詳細は、p. 3-56「動作中のジョブを停止／再開／削除する」をご覧ください。

■ ページ数を印字する：スタンプ＞ページ



- ページ種類は 5 種類の中から 1 つ選択します。
- 応用設定のカバーシートと併用しているとき、表紙を含めた全ページ、オモテ表紙を除く全ページ、オモテウ表紙を除く全ページにページを印字するか選択できます。

設定のしかた

1 原稿をセットします。



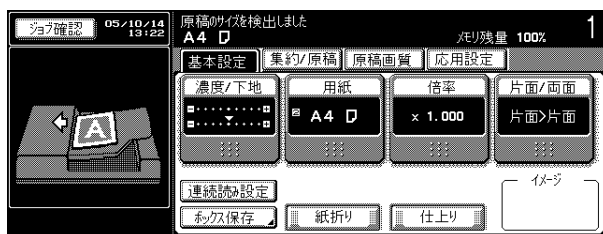
原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 操作パネルのテンキーでコピー部数を入力します。



コピー部数の入力のしかたについての詳細は、p. 3-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

3 基本設定画面の〔応用設定〕タブを押します。



応用設定画面が表示されます。

応用設定 第5章

○HP 合紙
(ページ編集)

カバーシート
(ページ編集)

インターシート
(ページ編集)

差し込みページ
(ページ編集)

章分け
(ページ編集)

プログラムジョブ
(ページ編集)

ブック連写
(連写/リビート)

リビート
(連写/リビート)

ページ連写
(連写/リビート)

小冊子

ネガポジ反転

とじ代

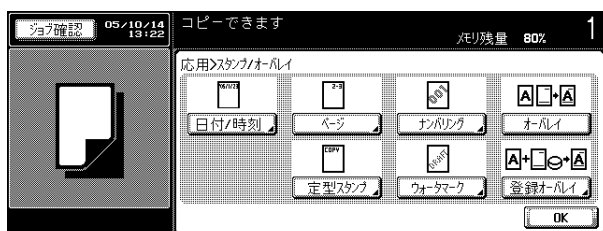
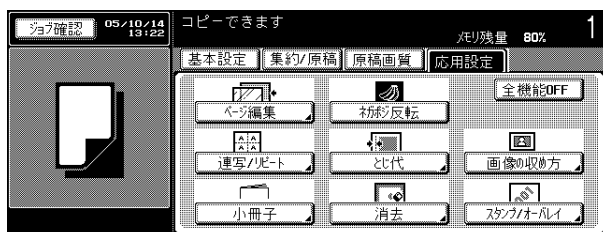
消去

画像の取め方

スタンプ/
オーバーレイ

併用できない
コピー条件

4 「スタンプ/オーバーレイ」、〔ページ〕を順に押します。



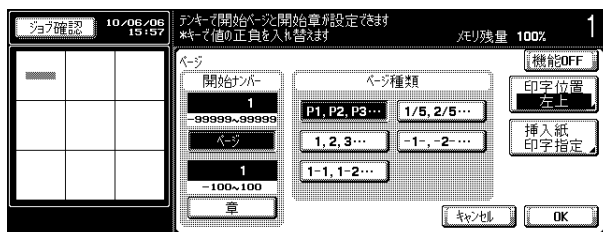
ページ画面が表示されます。

5 「開始ナンバー」、「ページ種類」をそれぞれ選択します。

「開始ナンバー」表示下の〔ページ〕を押して反転させ、操作パネルのテンキーで開始ページを入力します。＋、－を切り換えるときは、操作パネルの【*】を押します。

応用設定の章分けを設定して、章ごとにページをつけるときは、〔章〕を押して反転させ、操作パネルのテンキーで開始ページを入力します。＋、－を切り換えるときは、操作パネルの【*】を押します。

「ページ種類」表示下 5 つのボタンのいずれか 1 つを押して、反転させます。



応用設定のカバーシートを設定して、表紙、挿入紙にページ印字の設定をするときは、手順⑥に進みます。

〔印字位置〕に表示されている印字位置の指定を変更したり、印字位置を微調整したいときは、手順⑦に進みます。

印字位置の変更や微調整をしない場合は、手順⑨に進みます。

詳しく説明します

ページの開始ナンバーを指定します。マイナスで印字開始を調整します。
コピーの 3 ページ目を 1 ページとしたいときは「- 1」と設定します。
- 99999 ~ 99999 の範囲で設定します。
章ごとの開始ナンバーは、- 100 ~ 100 の範囲で設定します。

詳しく説明します

- 入力されている調整値をテンキーで変更するときは、操作パネルの【C】（クリア）を押して、正しい数値を入力します。
- 範囲外の数値を入力すると、「入力エラー」というメッセージが表示されます。操作パネルの【C】（クリア）を押して、正しい数値を入力します。

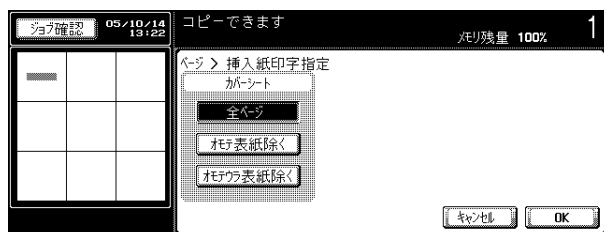
詳しく説明します

設定した応用機能を解除するときは、〔機能 OFF〕を押します。

6 ページ画面の〔挿入紙印字指定〕を押して、カバーシートのページ印字を設定します。

挿入紙印字指定画面が表示されます。

カバーシートを設定している場合は、「カバーシート」表示下 3 つのボタンのいずれか 1 つを押して反転させます。

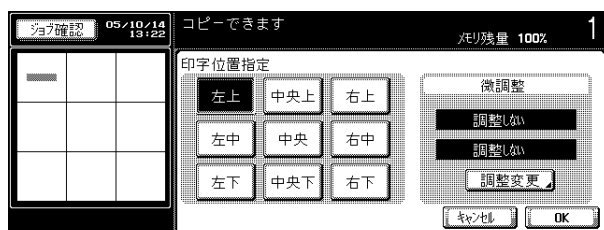


挿入紙印字指定画面の〔OK〕を押します。

7 〔印字位置〕を押して、印字位置を指定します。

印字位置指定画面が表示されます。

9 つの印字位置ボタンのいずれか 1 つを押して反転させます。



微調整をしない場合は、手順⑨に進みます。

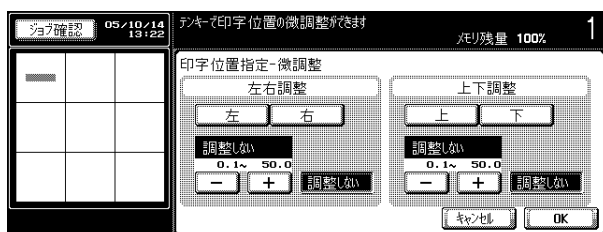
8 「調整変更」を押して、印字位置の微調整をします。

印字位置指定 - 微調整画面が表示されます。

「左右調整」表示下の〔左〕または〔右〕を押して反転させ、〔－〕、〔＋〕または操作パネルのテンキーを押して調整値を入力します。

「上下調整」表示下の〔上〕または〔下〕を押して反転させ、〔－〕、〔＋〕または操作パネルのテンキーを押して調整値を入力します。

「左右調整」、「上下調整」表示下の〔調整しない〕を押して反転させると、その方向の微調整は行われません。



詳しく説明します

設定した応用機能を解除するときは、〔機能 OFF〕を押します。

詳しく説明します

- 入力されている調整値をテンキーで変更するときは、操作パネルの【C】（クリア）を押して、正しい数値を入力します。
- 範囲外の数値を入力すると、「入力エラー」というメッセージが表示されます。操作パネルの【C】（クリア）を押して、正しい数値を入力します。

9 各画面ごとの〔OK〕を押して、応用設定画面にもどします。

ページ画面、挿入紙印字指定画面、印字位置指定画面、印字位置指定 - 微調整画面の〔キャンセル〕を押すと、設定は変更されません。

詳しく説明します

応用機能を全て解除するときは、〔全機能 OFF〕を押します。
応用設定を含めた全ての設定を初期設定にもどすときは、操作パネルの【リセット】を押します。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、応用設定画面や基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

10 必要に応じて、そのほかの設定をします。

11 操作パネルの【スタート】を押します。

読み込み／出力を開始します。

詳しく説明します

動作中のジョブを停止するときは【ストップ】を押します。詳細は、p. 3-56「動作中のジョブを停止／再開／削除する」をご覧ください。

■ 管理用ナンバリングを印字する：スタンプ>ナンバリング



- 管理ナンバーの印字濃度を 4 つのレベルから 1 つ選択します。
- 管理ナンバーの印字を表紙のみに印字するか、表紙を含めた全ページに印字するか選択できます。
- 管理ナンバーのサイズを 20pt と 36pt の 2 種類から選択できます。

設定のしかた

1 原稿をセットします。



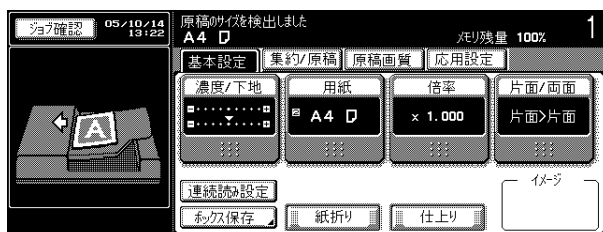
原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 操作パネルのテンキーでコピー部数を入力します。



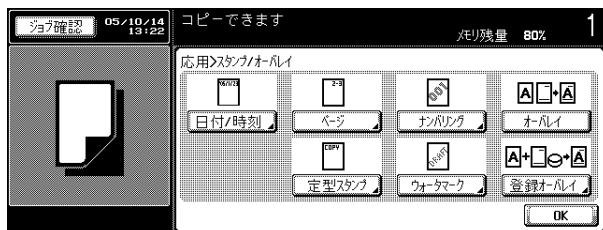
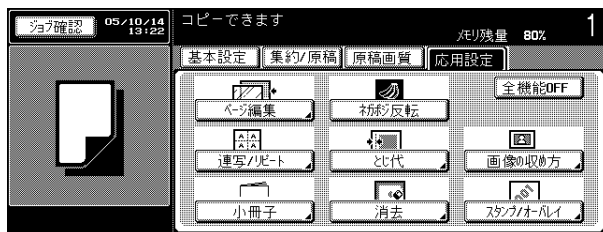
コピー部数の入力のしかたについての詳細は、p. 3-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

3 基本設定画面の〔応用設定〕タブを押します。



応用設定画面が表示されます。

4 「スタンプ／オーバーレイ」、〔ナンバリング〕を順に押します。



ナンバリング画面が表示されます。

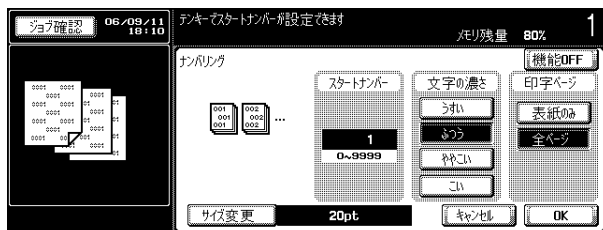
5 「スタートナンバー」、「文字の濃さ」、「印字ページ」をそれぞれ入力／選択します。

操作パネルのテンキーを押して、「スタートナンバー」表示下にスタートナンバーを表示させます。

「文字の濃さ」表示下4つのボタンのいずれか1つを押して、反転させます。

「印字ページ」表示下2つのボタンのいずれか1つを押して、反転させます。

〔サイズ変更〕を押して、「20pt」または「36pt」を表示させます。



詳しく説明します

ナンバリングのスタートナンバーを指定します。0～9999の範囲で設定します。管理ナンバーは常に4桁で印字されます。

詳しく説明します

- 入力されている調整値をテンキーで変更するときは、操作パネルの【C】(クリア)を押して、正しい数値を入力します。
- 範囲外の数値を入力すると、「入力エラー」というメッセージが表示されます。操作パネルの【C】(クリア)を押して、正しい数値を入力します。

詳しく説明します

設定した応用機能を解除するときは、〔機能 OFF〕を押します。

6 各画面ごとの〔OK〕を押して、応用設定画面にもどします。

ナンバリング画面の〔キャンセル〕を押すと、設定は変更されません。



応用機能を全て解除するときは、〔全機能 OFF〕を押します。
応用設定を含めた全ての設定を初期設定にもどすときは、操作パネルの【リセット】を押します。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、応用設定画面や基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

7 必要に応じて、そのほかの設定をします。

8 操作パネルの【スタート】を押します。 読み込み／出力を開始します。



動作中のジョブを停止するときは【ストップ】を押します。詳細は、p. 3-56「動作中のジョブを停止／再開／削除する」をご覧ください。

応用設定 第5章

○HP 合紙
(ページ編集)

カバーシート
(ページ編集)

インターシート
(ページ編集)

差し込みページ
(ページ編集)

章分け
(ページ編集)

プログラムジョブ
(ページ編集)

ブック連写
(連写/リピート)

リピート
(連写/リピート)

ページ連写
(連写/リピート)

小冊子

ネガポジ反転

とじ代

消去

画像の取め方

スタンプ/
オーバーレイ

併用できない
コピー条件

■ 定型のスタンプを印字する：スタンプ＞定型スタンプ



- 12 ある定型スタンプの文言から 1 つ選択します。
- 印字される定型スタンプの大きさを、大サイズ／小サイズから選択できます。

設定のしかた

1 原稿をセットします。



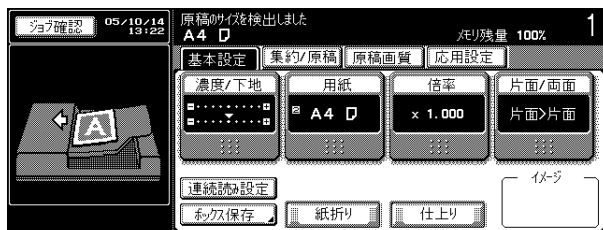
原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 操作パネルのテンキーでコピー部数を入力します。



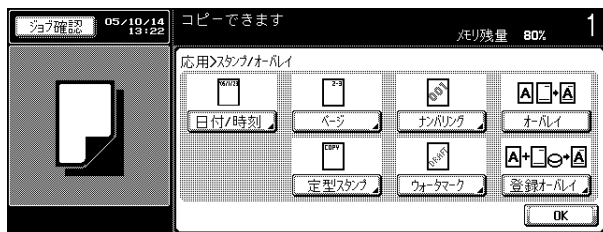
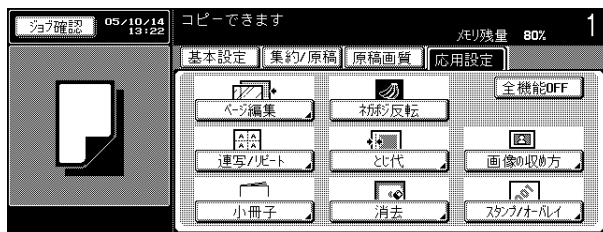
コピー部数の入力のしかたについての詳細は、p. 3-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

3 基本設定画面の〔応用設定〕タブを押します。



応用設定画面が表示されます。

4 「スタンプ／オーバーレイ」、〔定型スタンプ〕を順に押します。



定型スタンプ画面が表示されます。

5 定型スタンプの文言、「印字ページ」をそれぞれ選択します。

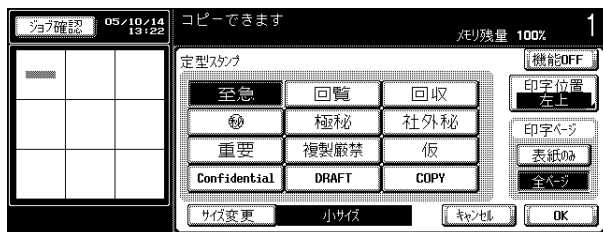
12 ある定型スタンプの文言ボタンのいずれか 1 つを押して、反転させます。

「印字ページ」表示下 2 つのボタンのいずれか 1 つを押して、反転させます。

〔サイズ変更〕を押して、「大サイズ」または「小サイズ」を表示させます。



設定した応用機能を解除するときは、〔機能 OFF〕を押します。



〔印字位置〕に表示されている印字位置の指定を変更したり、印字位置を微調整したいときは、手順⑥に進みます。

印字位置の変更や微調整をしない場合は、手順⑧に進みます。

6 「印字位置」を押して、印字位置を指定します。

印字位置指定画面が表示されます。

9つの印字位置ボタンのいずれか1つを押して反転させます。



微調整をしない場合は、手順8に進みます。

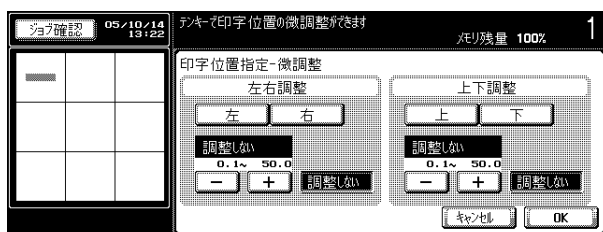
7 「調整変更」を押して、印字位置の微調整をします。

印字位置指定 - 微調整画面が表示されます。

「左右調整」表示下の「左」または「右」を押して反転させ、「-」、「+」または操作パネルのテンキーを押して調整値を入力します。

「上下調整」表示下の「上」または「下」を押して反転させ、「-」、「+」または操作パネルのテンキーを押して調整値を入力します。

「左右調整」、「上下調整」表示下の「調整しない」を押して反転させると、その方向の微調整は行われません。



詳しく説明します

手順6で選択したエリア内の印字位置を0.1 mm～50.0 mmの範囲で上下左右方向に0.1 mm刻みの微調整ができます。



詳しく説明します

- 入力されている調整値をテンキーで変更するときは、操作パネルの【C】（クリア）を押して、正しい数値を入力します。
- 範囲外の数値を入力すると、「入力エラー」というメッセージが表示されます。操作パネルの【C】（クリア）を押して、正しい数値を入力します。

8 各画面ごとの〔OK〕を押して、応用設定画面にもどします。

定型スタンプ画面、印字位置指定画面、印字位置指定－微調整画面の〔キャンセル〕を押すと、設定は変更されません。



応用機能を全て解除するときは、〔全機能 OFF〕を押します。
応用設定を含めた全ての設定を初期設定にもどすときは、操作パネルの【リセット】を押します。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、応用設定画面や基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

9 必要に応じて、そのほかの設定をします。

10 操作パネルの【スタート】を押します。 読み込み／出力を開始します。



動作中のジョブを停止するときは【ストップ】を押します。詳細は、p. 3-56「動作中のジョブを停止／再開／削除する」をご覧ください。

応用設定 第5章

○HP 合紙
(ページ編集)

カバーシート
(ページ編集)

インターシート
(ページ編集)

差し込みページ
(ページ編集)

章分け
(ページ編集)

プログラムジョブ
(ページ編集)

ブック連写
(連写/リビート)

リビート
(連写/リビート)

ページ連写
(連写/リビート)

小冊子

ネガポジ反転

とじ代

消去

画像の取め方

スタンプ/
オーバーレイ

併用できない
コピー条件

■ 定型のウォータマークを中央に印字する：スタンプ＞ウォータマーク



12 ある定型ウォータマークの文言から 1 つ選択します。

設定のしかた

1 原稿をセットします。



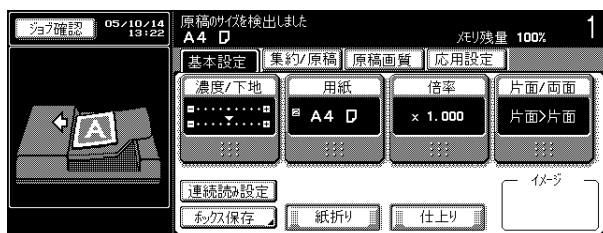
原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 操作パネルのテンキーでコピー部数を入力します。



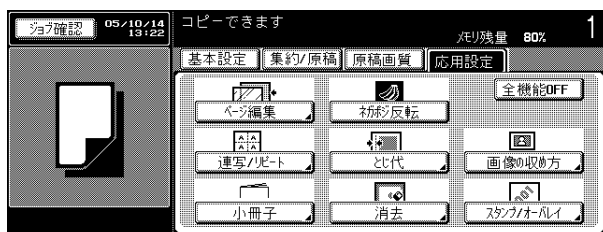
コピー部数の入力のしかたについての詳細は、p. 3-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

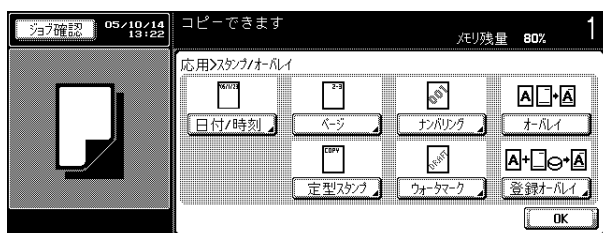
3 基本設定画面の〔応用設定〕タブを押します。



応用設定画面が表示されます。

4 〔スタンプ／オーバーレイ〕、〔ウォータマーク〕を順に押します。





ウォーターマーク画面が表示されます。

5 定型ウォーターマークの文言を選択します。

12 ある定型スタンプの文言ボタンのいずれか1つを押して、反転させます。



6 各画面ごとの【OK】を押して、応用設定画面にもどします。

ウォーターマーク画面の【キャンセル】を押すと、設定は変更されません。



設定した応用機能を解除するときには、〔機能 OFF〕を押します。



応用機能を全て解除するときには、〔全機能 OFF〕を押します。応用設定を含めた全ての設定を初期設定にもどすときは、操作パネルの【リセット】を押します。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、応用設定画面や基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

7 必要に応じて、そのほかの設定をします。

8 操作パネルの【スタート】を押します。

読み込み／出力を開始します。

■ 画像を重ねてコピーする：オーバーレイ



自動的に連続読み設定が機能します。

1

重ねる画像の原稿をセットします。

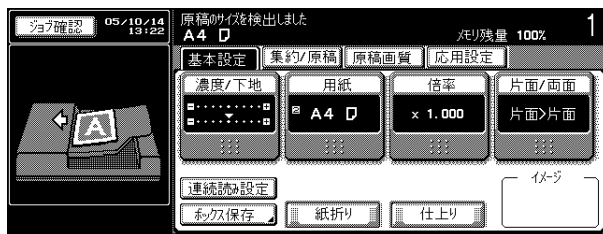
ADF または原稿ガラスに原稿を 1 枚セットします。



原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6 をご覧ください。

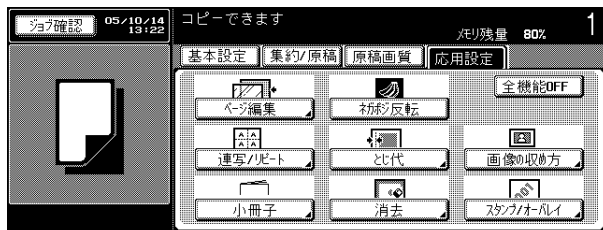
2

基本設定画面の〔応用設定〕タブを押します。

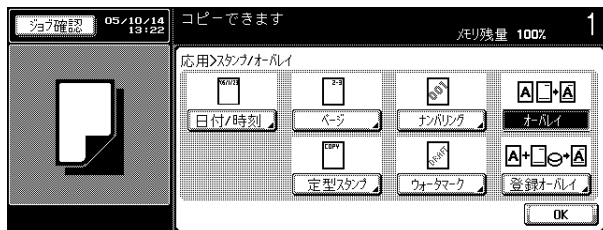


3

〔スタンプ／オーバーレイ〕、〔オーバーレイ〕を順に押します。

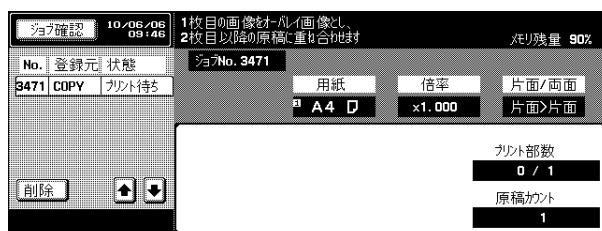


このとき、自動用紙および自動倍率の機能は自動的に解除され、倍率は〔等倍〕に設定されます。重ねる原稿を任意のコピー条件で読みみたいときは〔OK〕を押して設定を続けます。



4 操作パネルの【スタート】を押します。

セットされた原稿の画像が読み込まれ、下記の画面にかわります。



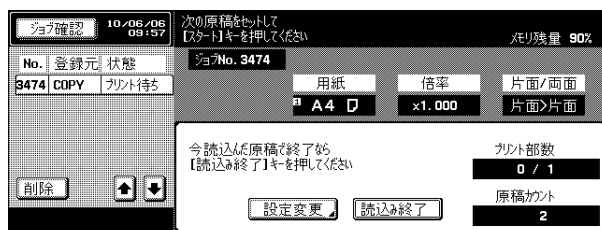
5 重ねられる画像の原稿をセットします。

ADF または原稿ガラスに原稿をセットします。

6 操作パネルの【スタート】を押します。

必要に応じて手順 5、6 の操作を繰り返します。

7 基本設定画面の〔読み込み終了〕を押します。



8 操作パネルの【スタート】を押します。

重ねられた画像のコピーが出力されます。

■ 重ねる画像を登録し、重ねてコピーする：登録オーバーレイ

すでに登録されている画像を重ねてコピーする場合は、手順 ⑨ から操作してください。

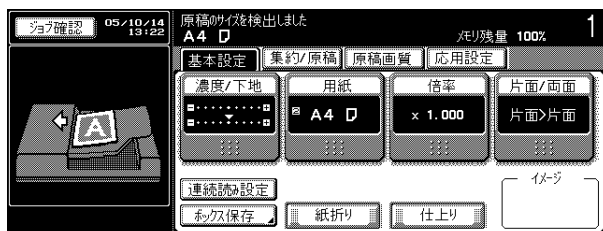
1

登録する画像の原稿をセットします。

ADF または原稿ガラスに原稿を 1 枚セットします。

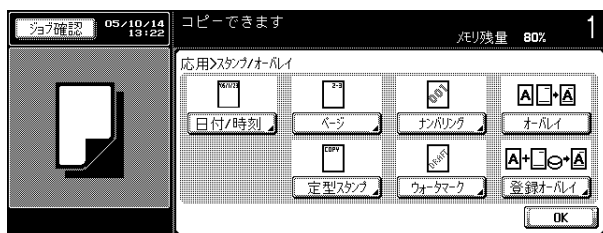
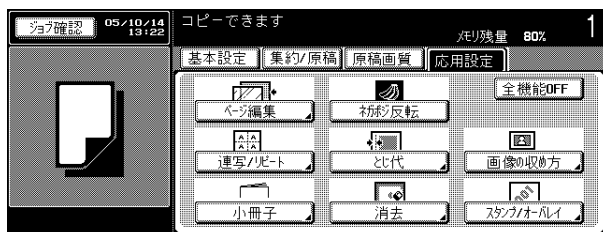
2

基本設定画面の〔応用設定〕タブを押します。



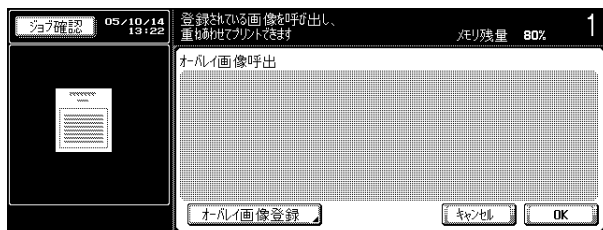
3

〔スタンプ/オーバーレイ〕、〔登録オーバーレイ〕を順に押します。



オーバーレイ画像呼出画面が表示されます。

4 「オーバーレイ画像登録」を押します。

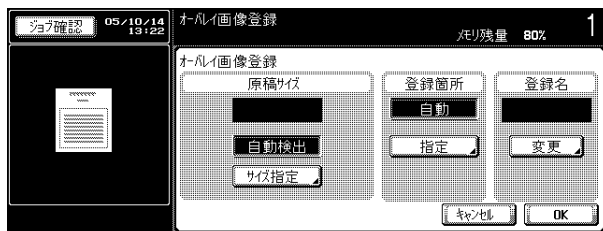


オーバーレイ画像登録画面が表示されます。

5 登録画像のサイズと登録箇所を設定します。

原稿サイズは自動検出されます。サイズを指示したときは「サイズ指定」を押して、任意のサイズを設定します。

登録箇所は自動的に設定されます。任意に指定したときは「指定」を押して、保存場所を指定します。



6 登録名を入力します。

「変更」を押して画像名入力画面を表示させます。

半角8文字まで入力できます。入力した名前に日付が自動的に付加されます。



「OK」を押します。

「登録名が重複しています 上書きしてもよろしいですか？」というメッセージが表示されたときは、上書きができます。

〔はい〕を押すと上書きされ、既存の画像はなくなります。

別の名前で保存するときは、〔いいえ〕を押します。



「登録名が重複しています 新たな登録名を入力してください」というメッセージが表示されたときは、その名前で保存できません。〔OK〕を押して別の名前をつけ直してください。



詳しく説明します

登録名の上書き禁止の設定は、管理者設定で行います。詳細は p.15-38 をご覧ください。

7 〔OK〕を押してスタンプ／オーバーレイ画面を表示させます。

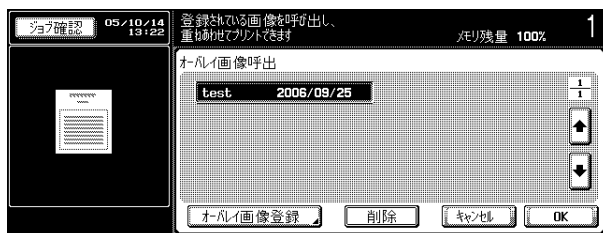
8 操作パネルの【スタート】を押します。
読み込まれた画像が登録保存され、コピー基本画面にもどります。

9 重ねられる画像の原稿をセットします。
ADF または原稿ガラスに原稿をセットします。

10 手順②～③の操作をして、オーバーレイ画像呼出画面を表示させます。

11 重ねる画像を呼び出します。

呼び出したい画像の登録ボタンを押して反転させます。



12 [OK] を押して、応用設定画面にもどします。

必要に応じて、そのほかの設定をします。



応用機能を全て解除するときは、**〔全機能 OFF〕**を押します。
応用機能を含めた全ての設定を初期設定にもどすときは、操作パネルの**〔リセット〕**を押します。

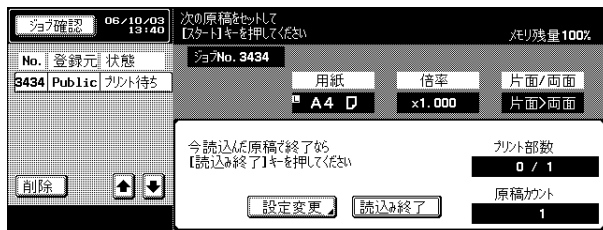


そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、応用設定画面や基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

13 操作パネルの【スタート】を押します。

重ねられる原稿を読み込みます。

14 基本設定画面の〔読み込み終了〕を押します。



15 操作パネルの【スタート】を押します。

重ねられた画像のコピーが出力されます。

応用設定と併用できないコピー条件

機能組み合わせ表		基本設定																							
		濃度/下地			用紙																倍率				
		自動	下地調整	濃度	自動用紙	本体トレイ/大容量トレイ	手差し	普通紙	再生紙	OHP	ラベル紙	第2原紙	ユーザ紙	レターヘッド紙	はがき	薄紙	厚紙	色紙	封筒	自動倍率	等倍	固定倍率	ズーム	独立ズーム	
応用設定	OHP合紙					△					△	△		△	△	△		△							
	カバーシート					△													△						
	インターシート					△													△						
	差し込みページ																		△						
	章分け					*3				△	△	△		△	△	△		△							
	ネガポジ反転																		△						
	ブック連写					△													△	△					
	ページ連写					△													△	△					
	リピート	範囲指定				△													△	△					
		自動検出				△													△	△					
		定型				△													△	△					
	とじ代																								
	編集とじ代																								
	消去	枠消し／折目消し																							
		原稿外消去				△															△				
	画像の 取め方	センタリング																		△					
		回転しない																							
		原稿サイズ設定																							
		不定形サイズ原稿				△															△				
	小冊子										△	△	△		△	△	△		△	*4	*4	*4	*4		
	スタンプ	ナンバリング																	△						
		ページ																	△						
		日付／時刻																	△						
		定型スタンプ																	△						
		ウォータマーク																	△						

▼ 後優先（後で設定したコピー条件が優先され、先に設定したコピー条件は解除される。）

× 併用の設定はできない。

△ 先優先（先に設定したコピー条件が優先され、警告表示する。）

*3 コピー挿入選択時のみ、後優先する。

*4 集約/小冊子でおすすり倍率使用時、後優先する。

*5 中とじ/中折り選択時に自動的に小冊子が選択されるように設定されているとき、後優先する。

*6 排紙オプションごとに異なる。

*7 仕分けを無視して動作する。

*8 中とじ/中折り選択時に自動的に小冊子が選択されるように設定されているとき、併用の設定はできない。

機能組み合わせ表		基本設定				集約／原稿				原稿画質				応用設定								
		片面／両面		連続読み込み	集約枚数			原稿	原稿方向設定	原稿綴じ代	文字	文字／写真	写真	薄文字	OHP合紙	カバーシート	インターシート	差し込みページ	章分け	ネガポジ反転		
		片面原稿	両面原稿		片面プリン	両面プリン																
応用設定	OHP合紙			△		△	△	△	△							▼	▼	▼	▼	△		
	カバーシート					△	△	△	△							▼	▼	▼	▼	△		
	インターシート					△	△	△	△							▼	▼	▼	▼	△		
	差し込みページ					△	△	△	△							▼	▼	▼	▼	△		
	章分け			△		△	△	△	△						△		△	△	△	△		
	ネガポジ反転																				△	
	ブック連写		△			△	△	△	△	△	△						△	△	△	△	△	
	ページ連写					△	△	△	△	△	△						△	△	△	△	△	
	リポート	範囲指定		△		△	△	△	△	△	△	△				△	△	△	△	△	△	△
		自動検出		△		△	△	△	△	△	△	△				△	△	△	△	△	△	△
		定型		△		△	△	△	△	△	△	△				△	△	△	△	△	△	△
	とじ代																					
	編集とじ代								△										△			
	消去	枠消し／折目消し					△	△	△	△												
		原稿外消去		△		△	△	△	△	△	△	△					△	△	△	△	△	△
	画像の収め方	センタリング		△		△	△	△	△	△									△	△	△	△
		回転しない					△	△	△													
		原稿サイズ設定								▼												
		不定形サイズ原稿					△	△	△	▼										△		
	小冊子			△			△	△	△	△						△		△				
	スタンプ	ナンバリング														△						△
		ページ								△											△	△
		日付／時刻								△												△
		定型スタンプ								△												△
		ウォーターマーク								△												△

応用設定
第5章

OHP合紙
(ページ編集)

カバーシート
(ページ編集)

インターシート
(ページ編集)

差し込みページ
(ページ編集)

章分け
(ページ編集)

プログラムジョブ
(ページ編集)

ブック連写
(連写／リポート)

リポート
(連写／リポート)

ページ連写
(連写／リポート)

小冊子

ネガポジ反転

とじ代

消去

画像の収め方

スタンプ／
オーバーレイ

併用できない
コピー条件

機能組み合わせ表		応用設定																				
		ブック連写	ページ連写	リピート			とじ代	編集とじ代	消去		画像の収め方				スタンプ							
				範囲指定	自動検出	定型			枠消し／折目消し	原稿外消去	センタリング	回転しない	原稿サイズ設定	不定形サイズ原稿	小冊子	ナンバリング	ページ	日付／時刻	定型スタンプ	ウォーターマーク		
応用設定	OHP合紙			△	△	△										△	△					
	カバーシート	△	△	△	△	△				△												
	インターシート	△	△	△	△	△				△	△				△		△					
	差込みページ	△	△	△	△	△		△		△	△			△								
	章分け	△	△	△	△	△				△	△						△					
	ネガポジ反転			△	△	△				△	△					△	△	△	△	△	△	
	ブック連写		▼	▼	▼	▼		△							△	△		△	△	△		
	ページ連写	▼		▼	▼	▼		△		△					△	△		△	△	△		
	リピート	範囲指定	▼	▼		▼	▼	△	△	△	△	△				△	△	△	△	△	△	△
		自動検出	▼	▼	▼		▼	△	△	△		△		△		△	△	△	△	△	△	△
		定型	▼	▼	▼	▼		△	△	△	△	△				△	△	△	△	△	△	△
	とじ代			△	△	△				△						△						
	編集とじ代	△	△	△	△	△				△	△				△	△		△	△	△		
	消去	枠消し／折目消し			△	△	△									△						
		原稿外消去	△	▼				△	△						△	△	△		△	△	△	
	画像の収め方	センタリング			△	△	△		△					▼	▼			△	△	△		
		回転しない															△					
		原稿サイズ設定				▼					△	▼			▼							
		不定形サイズ原稿	△	△		▼			△	△	△	▼		▼		△		△	△	△		
	小冊子		△	△	△	△	△	△	△		△	△	△		△			△				
	スタンプ	ナンバリング			△	△	△															
		ページ	△	△	△	△	△		△		△	△			△							
		日付／時刻	△	△	△	△	△		△		△	△			△							
		定型スタンプ	△	△	△	△	△		△		△	△			△						▼	
		ウォーターマーク			△	△	△													▼		

機能組み合わせ表			仕上り							紙折り	
			ソート	グループ	仕分け		ステープル	パンチ	排紙トレイ選択	中じり	中折り
					回転	シフト					
応用設定	OHP合紙			△	△	△	△	△	△	△	△
	カバーシート			△	△						
	インターシート			△	△					△	△
	差込みページ			△	△						
	章分け			△	△						
	ネガポジ反転										
	ブック連写				△					△	△
	ページ連写				△					△	△
	リピート	範囲指定			△		△	△		△	△
		自動検出			△		△	△		△	△
		定型			△		△	△		△	△
	とじ代										
	編集とじ代										
	消去	枠消し／折目消し									
		原稿外消去			△		△	△			
	画像の 取め方	センタリング					△	△			
		回転しない									
		原稿サイズ設定									
		不定形サイズ原稿									
	小冊子			△	△		△	△			
	スタンプ	ナンバリング		△							
		ページ									
		日付／時刻									
		定型スタンプ									
		ウォーターマーク									

応用設定
第5章

OHP 合紙
(ページ編集)

カバーシート
(ページ編集)

インターシート
(ページ編集)

差込みページ
(ページ編集)

章分け
(ページ編集)

プログラムジョブ
(ページ編集)

ブック連写
(連写／リピート)

リピート
(連写／リピート)

ページ連写
(連写／リピート)

小冊子

ネガポジ反転

とじ代

消去

画像の取め方

スタンプ／
オーバーレイ

併用できない
コピー条件

本体排紙トレイやオプションのフィニッシャ、中綴じ機、セパレータを使用した出力設定のしかたを説明します。

本体排紙トレイに出力する.....	6-2
フィニッシャにソート／グループ出力する	6-5
ステープルでとじて出力する：ステープル	6-9
用紙にパンチ穴をあける：パンチ	6-13
2つ折りの折目をつけ／中央をとじて出力する：中折り／中とじ....	6-17
セパレータに出力する.....	6-20
仕上り・紙折りと併用できないコピー条件	6-24

本体排紙トレイに
出力する

フィニッシャに
出力する

ステープル

パンチ

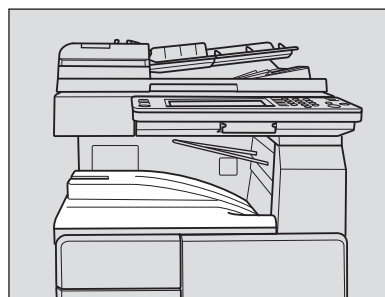
中折り／中とじ

セパレータに
出力する

併用できない
コピー条件

本体排紙トレイに出力する

右図の機械は、本体排紙トレイが装着されています。本体排紙トレイの出力は、下記の4種類の設定ができます。出荷時設定では、ソート出力が設定されています。



- ソート
複数枚の原稿を部数単位に分けて出力します。
- グループ
複数枚の原稿をページ単位に分けて出力します。
- ソート+仕分け
同じサイズの下紙が縦送り □ と横送り ▢ に別々の給紙トレイにセットされているとき、1部ごとに90度回転させて出力する回転ソートが機能し、本体排紙トレイ上で分類します。
- グループ+仕分け
同じサイズの下紙が縦送り □ と横送り ▢ に別々の給紙トレイにセットされているとき、原稿のページごとに90度回転させて出力する回転グループが機能し、本体排紙トレイ上で分類します。

設定内容

項 目		説 明
ソート		原稿 コピー
グループ		原稿 コピー
ソート+仕分け		原稿 コピー
グループ+仕分け		原稿 コピー



- 出荷時設定ではグループ出力が初期設定です。
- グループ出力と併用できないコピー条件があります。詳細は、p. 6-24「仕上り、紙折り」と併用できないコピー条件」をごらんください。
- ソート+仕上り、グループ+仕上りを設定するには、以下の条件を満たす必要があります。
A4 または B5 の用紙を用意します。
同じサイズの下紙を縦送り □ と横送り ▢ に別々の給紙トレイにセットします。
自動用紙機能を設定します。
混載原稿機能を使用するときは、自動倍率選択を設定します。
- 本体排紙トレイの積載制限枚数は 250 枚です。積載制限枚数を超えないようにご注意ください。

設定のしかた

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 操作パネルのテンキーでコピー部数を入力します。

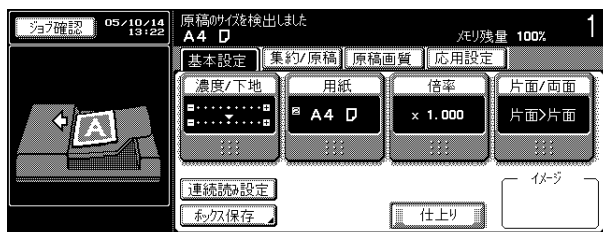


コピー部数の入力のしかたについての詳細は、p. 3-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

3 給紙トレイに任意の下紙をセットします。

回転ソートまたは回転グループを使用するときは、給紙トレイや手差しトレイに A4 □ と A4 ▢、または B5 □ と B5 ▢ の組み合わせの下紙をセットします。

4 基本設定画面の〔仕上り〕を押します。



仕上り画面が表示されます。

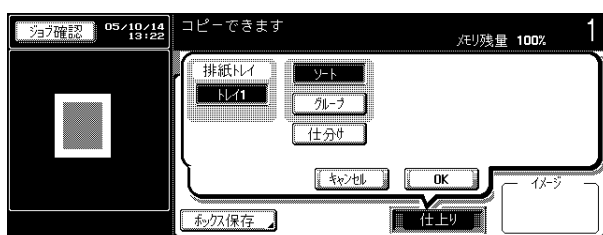
5 任意の仕上り機能を選択します。

ソートを使用するときは、〔ソート〕を押して反転させます。

グループを使用するときは、〔グループ〕を押して反転させます。

回転ソートを使用するときは、〔ソート〕と〔仕分け〕を押して反転させます。

回転グループを使用するときは、〔グループ〕と〔仕分け〕を押して反転させます。



詳しく説明します

仕上り確認画面の〔キャンセル〕を押すと、設定は変更されません。
全ての設定を初期設定にもどすときは、操作パネルの【リセット】を押します。

6 〔OK〕を押します。

基本設定画面にもどります。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

7 必要に応じて、そのほかの設定をします。

設定によっては、自動用紙の機能がオフになることがあります。

回転ソートまたは回転グループを使用するときは、自動用紙の機能がオフにならないようにします。

8 操作パネルの【スタート】を押します。

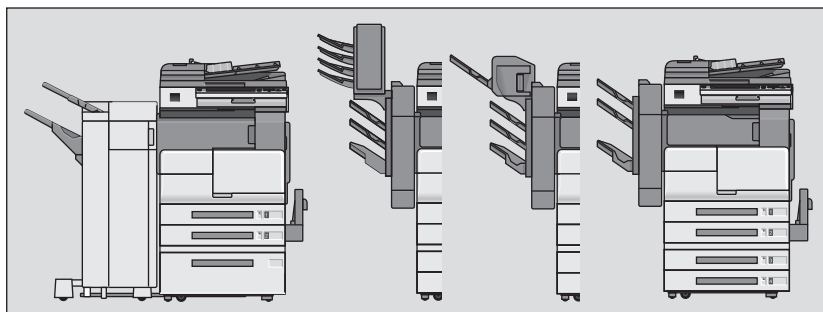
読み込み／出力を開始します。

詳しく説明します

動作中のジョブを停止するときは【ストップ】を押します。詳細は、p. 3-56「動作中のジョブを停止／再開／削除する」をご覧ください。

フィニッシャにソート／グループ出力する

下図の機械には、フィニッシャが装着されていて、ソート／グループ出力ができます。
フィニッシャ FS-510 は、出荷時設定ではトレイ 1 にグループ出力が初期設定です。
フィニッシャ FS-511 は、出荷時設定ではトレイ 2 にグループ出力が初期設定です。

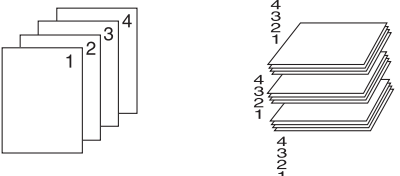
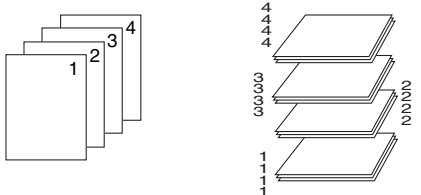
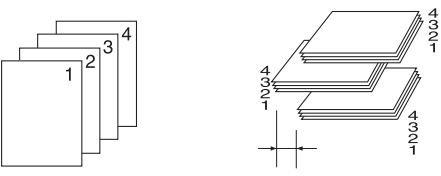
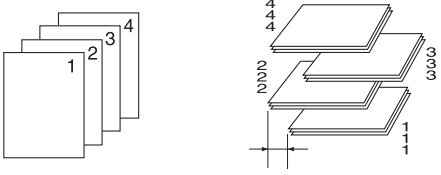


- ソート
複数枚の原稿を部数単位に分けて出力します。ソート出力に制限はありません。
- グループ
複数枚の原稿をページ単位に分けて出力します。
- ソート＋仕分け
1 部ごとに約 30 mm ほどシフトして出力し、排紙トレイ上で分類します。
(フィニッシャ FS-511 のトレイ 1 は、不可)
- グループ＋仕分け
複数枚原稿のページごとに約 30 mm ほどシフトして出力し、排紙トレイ上で分類します。
(フィニッシャ FS-511 のトレイ 1 は、不可)

詳しく説明します

フィニッシャ FS-510 には 2 つの排紙トレイがあります。オプションの排紙トレイ OT-601 を 1 つ増設して 3 つにすることができます。ご用命の際は、サービス実施店にお申し出ください。(上図は、オプションの排紙トレイを増設しています)
フィニッシャ FS-510 は、いずれの排紙トレイも上記 4 つの出力が可能です。

設定内容

項 目	説 明
ソート 	
グループ 	
ソート+仕分け 	
グループ+仕分け 	



- 出荷時設定ではグループ出力が設定されています。
- グループ出力と併用できないコピー条件があります。詳細は、p. 6-24「仕上り、紙折り」と併用できないコピー条件」をごらんください。
- フィニッシャ FS-511 装着機で官製はがき、第2原紙、OHPフィルムにコピーするときは、排紙トレイがトレイ 1 に設定されていることを確認してください。
- フィニッシャ FS-510、フィニッシャ FS-511 の各排紙トレイには、積載制限枚数があります。積載制限枚数を超えないようにご注意ください。詳細は、p. 9-4「セット／出力可能な用紙枚数」をごらんください。

設定のしかた

1 原稿をセットします。



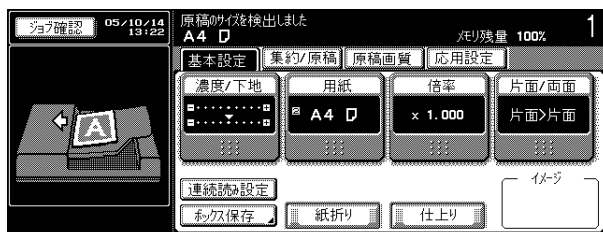
原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 操作パネルのテンキーでコピー部数を入力します。



コピー部数の入力のしかたについての詳細は、p. 3-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

3 基本設定画面の〔仕上り〕を押します。



仕上り画面が表示されます。

4 任意の仕上り機能を選択します。

ソートを使用するときは、〔ソート〕を押して反転させます。

グループを使用するときは、〔グループ〕を押して反転させます。

ソート出力をシフト分類するときは、〔ソート〕と〔仕分け〕を押して反転させます。

グループ出力をシフト分類するときは、〔グループ〕と〔仕分け〕を押して反転させます。



仕上り確認画面の〔キャンセル〕を押すと、設定は変更されません。

全ての設定を初期設定にもどすときは、操作パネルの【リセット】を押します。



選択した機能を解除するときは、そのボタンを押して反転表示をなしにします。

本体排紙トレイに出力する

フィニッシャに出力する

ステープル

パンチ

中折り／中とし

セパレータに出力する

併用できないコピー条件

- 5** **〔OK〕を押します。**
基本設定画面にもどります。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

- 6** **必要に応じて、そのほかの設定をします。**

- 7** **操作パネルの【スタート】を押します。**
読み込み／出力を開始します。



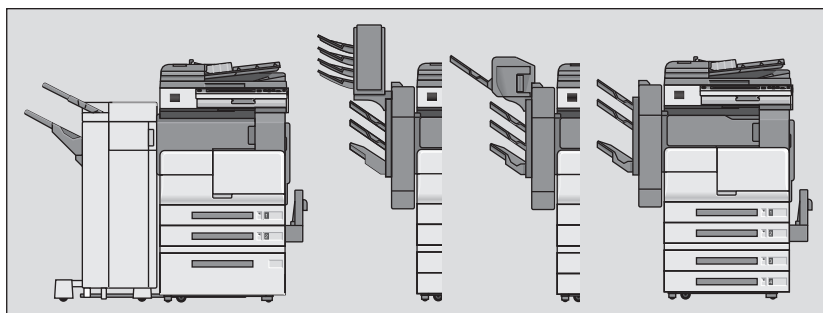
動作中のジョブを停止するときは【ストップ】を押します。詳細は、p. 3-56「動作中のジョブを停止／再開／削除する」をご覧ください。



フィニッシャ FS-510 は、使用する排紙トレイによってトレイ全体が上昇したり下降したりします。フィニッシャ上部や下部に物を置いていると、ぶつかるなどして機械故障の原因になります。そのようなところに物を置かないでください。
フィニッシャ FS-511 のトレイ 2 は、出力中徐々に下降します。トレイ 2 下に物を置いていると、ぶつかるなどして機械故障の原因になりますので、絶対に物を置かないでください。

ステープルでとして出力する：ステープル

下図の機械には、フィニッシャが装着されていて、ステープル出力ができます。



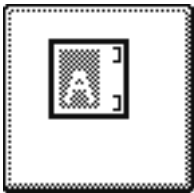
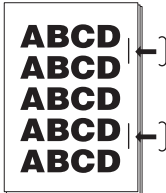
詳しく説明します

フィニッシャ FS-510 には 2 つの排紙トレイがあります。オプションの排紙トレイ OT-601 を 1 つ増設して 3 つにすることができます。ご用命の際は、サービス実施店にお申し出ください。(上図は、オプションの排紙トレイを増設しています。)

設定内容

集約／原稿画面の〔原稿セット方向〕の設定は、原稿の天部（上側）を奥側にセットしたときの設定を前提にしています。

選択ボタン	説 明

選択ボタン	説 明
	
	



- ステープルとじする場合、〔原稿セット方向〕および〔原稿のとじ代〕を設定します。設定されていないと、目的のステープルとじができないことがあります。
- ステープルを選択すると、自動的に〔ソート〕が選択され、それ以外の〔グループ〕、〔仕分け〕を選択することはできません。ソート出力した用紙に1部ずつステープルします。
- ステープル位置指定と応用設定のとじ代位置指定が違う場合、ステープル位置指定が優先されます。
- ステープルの位置指定画面で、〔自動〕を選択すると、用紙サイズがA4以下の場合、用紙の長辺をとじ方向にステープルとじされます。用紙サイズがA4より大きい場合、用紙の短辺をとじ方向にステープルとじされます。
- ステープルできる用紙坪量は、56～90g/m² (FS-510) / 60～90g/m² (FS-511) です。
- そのほかの用紙の仕様については、p. 9-3 をごらんください。
- カールの大きい用紙や薄紙の種類によっては、ステープルすると紙ズレを起こすことがあります。
- フィニッシャ FS-510、フィニッシャ FS-511 の各排紙トレイには、積載制限枚数があります。積載制限枚数を超えないようにご注意ください。詳細は、p. 9-4 「セット／出力可能な用紙枚数」をごらんください。

設定のしかた

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6 「原稿をセットする」をごらんください。

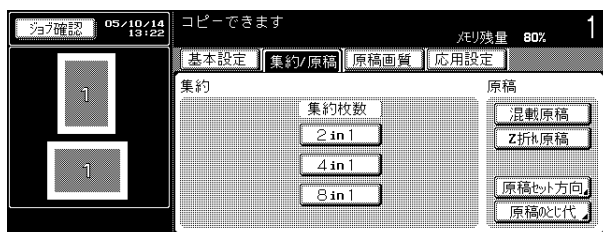
2 操作パネルのテンキーでコピー部数を入力します。



コピー部数の入力のしかたについての詳細は、p. 3-10 「コピー部数を設定する」をごらんください。

3 基本設定画面の〔集約／原稿〕タブを押して、〔原稿セット方向〕、〔原稿のとり代〕の設定をします。

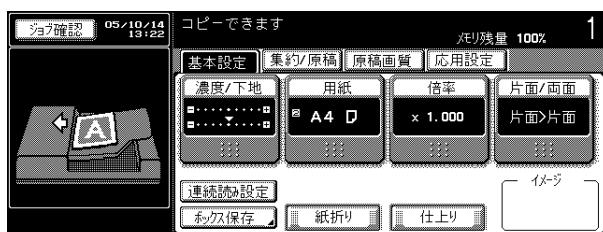
詳しく説明します



〔原稿セット方向〕の設定に関しては、p. 4-11「原稿セット方向を設定する：原稿セット方向」をごらんください。
〔原稿のとり代〕の設定に関しては、p. 4-14「原稿のとり代方向を設定する：原稿のとり代」をごらんください。

設定後は、〔基本設定〕タブを押して、基本設定画面にもどします。

4 基本設定画面の〔仕上り〕を押します。



仕上り画面が表示されます。

5 1カ所ステープルまたは2カ所ステープルを選択します。

1カ所打ちをするときは、〔コーナー〕を押して反転させます。

2カ所打ちをするときは、〔2点〕を押して反転させます。

詳しく説明します

仕上り確認画面、位置指定画面の〔キャンセル〕を押すと、設定は変更されません。
全ての設定を初期設定にもどすときは、操作パネルの【リセット】を押します。



本体原紙トレイに出力する

フィニッシャーに出力する

ステープル

パンチ

中折り／中とし

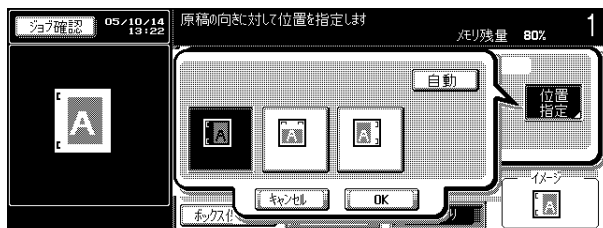
セパレータに出力する

併用できないコピー条件

6 ステープル位置を選択します。

〔位置指定〕を押して、ステープル位置指定画面を表示させます。

任意の位置ボタンのいずれか 1 つを押して反転させます。



7 〔OK〕を 2 回押します。

基本設定画面にもどります。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

8 必要に応じて、そのほかの設定をします。

9 操作パネルの【スタート】を押します。

読み込み／出力を開始します。



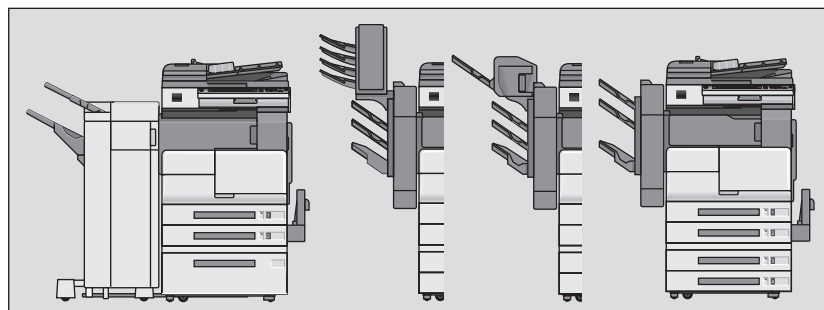
動作中のジョブを停止するときは【ストップ】を押します。詳細は、p. 3-56「動作中のジョブを停止／再開／削除する」をご覧ください。



フィニッシャ FS-510 は、使用する排紙トレイによってトレイ全体が上昇したり下降したりします。フィニッシャ上部や下部に物を置いていると、ぶつかるなどして機械故障の原因になります。そのようなところに物を置かないでください。
フィニッシャ FS-511 のトレイ 2 は、出力中徐々に下降します。トレイ 2 下に物を置いていると、ぶつかるなどして機械故障の原因になりますので、絶対に物を置かないでください。

用紙にパンチ穴をあける：パンチ

オプションのパンチユニット PU-501 付きのフィニッシャ FS-510、または、フィニッシャ FS-511 が装着されている機械は、パンチ出力ができます。



詳しく説明します

FS-510 フィニッシャには 2 つの排紙トレイがあります。オプションの排紙トレイ OT-601 を 1 つ増設して 3 つにすることができます。ご用命の際は、サービス実施店にお申し出ください。（上図は、オプションの排紙トレイを増設しています。）

設定内容

集約／原稿画面の〔原稿セット方向〕の設定は、原稿の天部（上側）を奥側にセットしたときの設定を前提にしています。

選択ボタン	説 明



- パンチ穴をあける場合、〔原稿セット方向〕および〔原稿のと同じ代〕を設定します。設定されていないと、目的のパンチ穴をあけられないことがあります。
- パンチは、ソートのほかに、グループ、ソート+仕分け、グループ+仕分け、ステーブルとの併用が可能です。
- パンチ位置指定と応用設定のと同じ代位置指定が違う場合、パンチ位置指定が優先されます。
- パンチ位置指定画面で、〔自動〕を選択すると、用紙サイズが A4 以下の場合、用紙の長辺をとじ方向にパンチされます。用紙サイズが A4 より大きい場合、用紙の短辺をとじ方向にパンチされます。
- 用紙をセットしているトレイのガイド板と用紙の間に隙間をつくらないようにセットします。正しくセットしないと、パンチ穴の位置ズレを起こすことがあります。
- フィニッシャ FS-510 に取り付けられたパンチユニット PU-501 のパンチできる用紙坪量は、60 ～ 90g/m² です。
フィニッシャ FS-511 のパンチできる用紙坪量は、60 ～ 90g/m² です。
そのほかの用紙の仕様については、p. 9-3 をご覧ください。
- パンチモード動作中に自動トレイ切換え機能が働くと、パンチ穴の位置ズレを起こすことがあります。
- OHP フィルム、ラベル紙、第 2 原図などの専用紙にパンチしないでください。機械故障の原因になります。
- フィニッシャ FS-510、フィニッシャ FS-511 の各排紙トレイには、積載制限枚数があります。積載制限枚数を超えないようにご注意ください。詳細は、p. 9-5 ～ p. 9-6 をご覧ください。

設定のしかた

1

原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をご覧ください。

2

操作パネルのテンキーでコピー部数を入力します。



コピー部数の入力のしかたについての詳細は、p. 3-10「コピー部数を設定する」をご覧ください。

3

基本設定画面の〔集約／原稿〕タブを押して、〔原稿セット〕、〔原稿のと同じ代〕の設定をします。

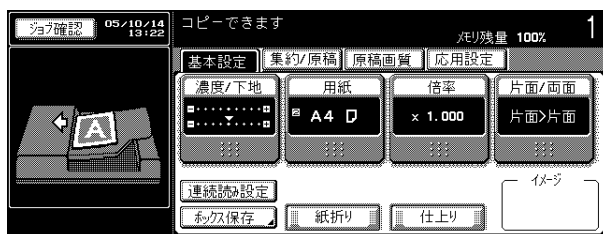


- 〔原稿セット〕の設定に関しては、p. 4-11「原稿セット方向を設定する：原稿セット方向」をご覧ください。
- 〔原稿のと同じ代〕の設定に関しては、p. 4-14「原稿のと同じ方向を設定する：原稿のと同じ代」をご覧ください。



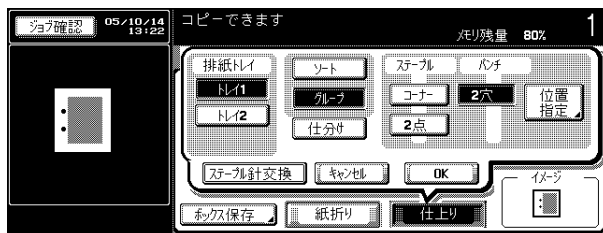
設定後は、「基本設定」タブを押して、基本設定画面にもどします。

4 基本設定画面の「仕上り」を押します。



仕上り画面が表示されます。

5 「2穴」を押して、反転させます。



詳しく説明します

仕上り確認画面、位置指定画面の「キャンセル」を押すと、設定は変更されません。全ての設定を初期設定にもどすときは、操作パネルの【リセット】を押します。

「グループ」、「仕分け」の選択が可能です。任意に選択します。

選択した機能を解除するときは、そのボタンを押して反転表示をなしにします。

本体排紙トレイに出力する

フィニッシャに出力する

ステープル

パンチ

中折り／中とし

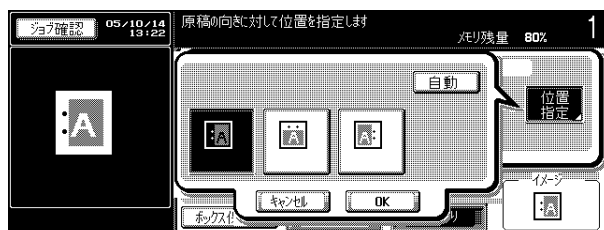
セバレータに出力する

併用できないコピー条件

6 パンチ位置を選択します。

〔位置指定〕を押して、パンチ位置指定画面を表示させます。

任意の位置ボタンのいずれか1つを押して反転させます。



7 〔OK〕を2回押します。

基本設定画面にもどります。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

8 必要に応じて、そのほかの設定をします。

9 操作パネルの【スタート】を押します。

読み込み／出力を開始します。



動作中のジョブを停止するときは【ストップ】を押します。詳細は、p. 3-56「動作中のジョブを停止／再開／削除する」をご覧ください。

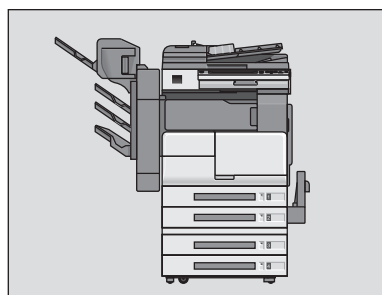


フィニッシャ FS-510 は、使用する排紙トレイによってトレイ全体が上昇したり下降したりします。フィニッシャ上部や下部に物を置いていると、ぶつかるなどして機械故障の原因になります。そのようなところに物を置かないでください。

フィニッシャ FS-511 のトレイ 2 は、出力中徐々に下降します。トレイ 2 下に物を置いていると、ぶつかるなどして機械故障の原因になりますので、絶対に物を置かないでください。

2つ折りの折目をつけ／中央をとじて出力する：中折り／中とじ

下図のように、中綴じ機 SD-502 付きのフィニッシャ FS-510 が装着されている機械は、中折り／中とじ出力ができます。自動的に応用設定の小冊子が設定されます。

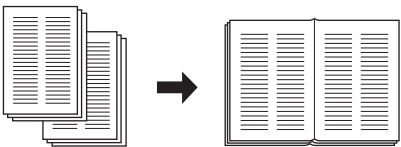
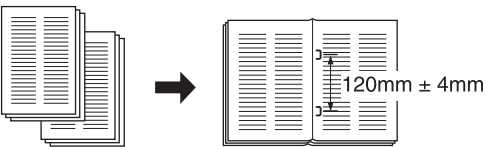


- 中折り
用紙に 2 つ折りのすじをつけて出力します。
- 中とじ
用紙に 2 つ折りのすじをつけ、中央 2 カ所にステープルとじをして出力します。

詳しく説明します

FS-510 フィニッシャには 2 つの排紙トレイがあります。オプションの排紙トレイ OT-601 を 1 つ増設して 3 つにすることができます。ご用命の際は、サービス実施店にお申し出ください。(上図は、オプションの排紙トレイを増設しています。)

設定内容

選択ボタン	説 明
 中折り	
 中とじ	



- 出荷時設定では、片面＞両面、応用設定の小冊子が自動的に設定されます。詳細は、p. 5-48「中とじ本のページ立てにコピーする：小冊子」をごらんください。
片面／両面設定を変更したり、小冊子をオフにして、中折り、中とじの出力は可能です。
- 自動倍率選択が自動的に設定されます。自動倍率選択をオフにして、中折り、中とじの出力は可能です。
- 中とじ位置：2カ所ステープル、ピッチ 120 mm ± 4 mm（針幅 11 mm）
中とじ枚数：15 枚以下（80g/m² 紙）
- 用紙サイズ：A3□、B4□、A4□、B5□
用紙坪量：60 ～ 90g/m²
そのほかの用紙の仕様については、p. 9-3 をごらんください。
- 排紙トレイ容量：200 枚または 20 部（80g/m² 紙）
中折り、中とじは中綴じ機の排紙トレイ以外には出力されません。

設定のしかた

1

原稿をセットします。

中とじする場合は、中とじ枚数を超えないように原稿をセットします。



詳しく説明します

原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をごらんください。

2

操作パネルのテンキーでコピー部数を入力します。

中綴じ機の排紙トレイの制限枚数を超えないように設定します。

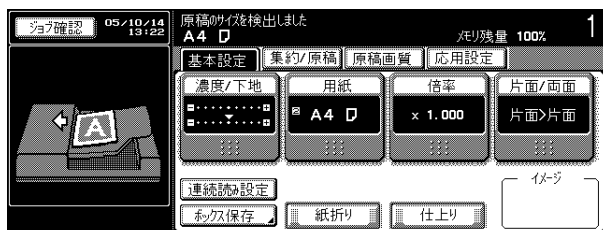


詳しく説明します

コピー部数の入力のしかたについての詳細は、p. 3-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

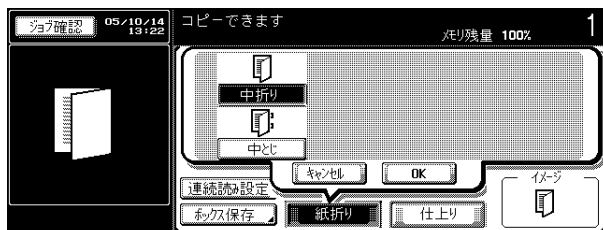
3

基本設定画面の〔紙折り〕を押します。



紙折り画面が表示されます。

4 [中折り]または[中とじ]を押して反転させます。



詳しく説明します

紙折り確認画面の〔キャンセル〕を押すと、設定は変更されません。全ての設定を初期設定にもどすときは、操作パネルの【リセット】を押します。

5 [OK] を押します。 基本設定画面にもどります。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

6 必要に応じて、そのほかの設定をします。

7 操作パネルの【スタート】を押します。 読み込み／出力を開始します。

必ず守ってください

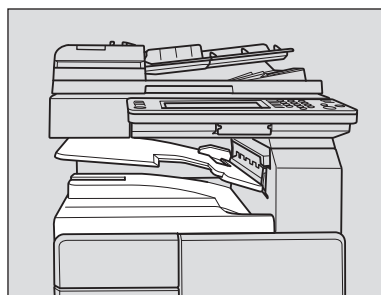
フィニッシャ FS-510 は、使用する排紙トレイによってトレイ全体が上昇したり下降したりします。フィニッシャ上部や下部に物を置いていると、ぶつかるなどして機械故障の原因になります。そのようなところに物を置かないでください。

セパレータに出力する

機械にセパレータを取り付けると、出力の振り分けができます。

コピー以外の出力（ファクス、プリント）を違う排紙トレイに出力するように設定して、出力紙の混在を防ぐことができます。

2つの排紙トレイに対して、それぞれ下記の4つの出力が設定できます。出荷時設定では、トレイ2にグループ出力が設定されています。



- ソート
複数枚の原稿を部数単位に分けて出力します。
- グループ
複数枚の原稿をページ単位に分けて出力します。
- ソート+仕分け
同じサイズ of 用紙が縦送り □ と横送り ▢ に別々の給紙トレイにセットされているとき、1部ごとに90度回転させて出力する回転ソートが機能し、本体排紙トレイ上で分類します。
- グループ+仕分け
同じサイズ of 用紙が縦送り □ と横送り ▢ に別々の給紙トレイにセットされているとき、原稿のページごとに90度回転させて出力する回転グループが機能し、本体排紙トレイ上で分類します。



- 出荷時設定ではグループ出力が初期設定です。
- グループ出力と併用できないコピー条件があります。詳細は、p. 6-24「仕上り、紙折り」と併用できないコピー条件」をごらんください。
- ソート+仕分け、グループ+仕分けを設定するには、以下の条件を満たす必要があります。
A4 または B5 の用紙を用意します。
同じサイズの用紙を縦送り □ と横送り ▢ に別々の給紙トレイにセットします。
自動用紙機能を設定します。
混載原稿機能を使用するときは、自動倍率を設定します。
- トレイ1（上段）の積載制限枚数は100枚、トレイ2（下段）は250枚です。積載制限枚数を超えないようご注意ください。

設定のしかた

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについての詳細は、p. 3-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 操作パネルのテンキーでコピー部数を入力します。

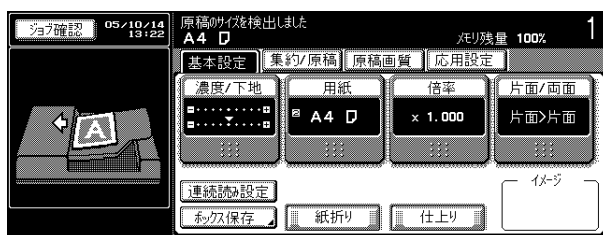


コピー部数の入力のしかたについての詳細は、p. 3-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

3 給紙トレイに任意の用紙をセットします。

回転ソートまたは回転グループを使用するときは、給紙トレイや手差しトレイに A4 □ と A4 □、または B5 □ と B5 □ の組み合わせの用紙をセットします。

4 基本設定画面の〔仕上り〕を押します。



仕上り画面が表示されます。

本体排紙トレイに出力する

フィニッシャに出力する

ステープル

パンチ

中折り／中とじ

セバレータに出力する

併用できないコピー条件

5 任意の仕上り機能を選択します。

ソートを使用するときは、〔ソート〕を押して反転させます。

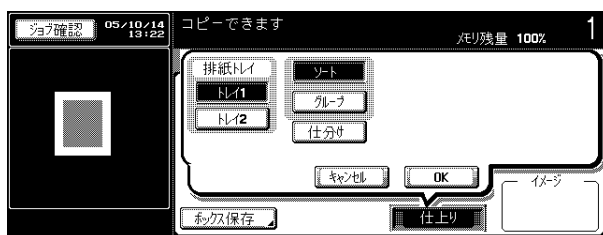
グループを使用するときは、〔グループ〕を押して反転させます。

回転ソートを使用するときは、〔ソート〕と〔仕分け〕を押して反転させます。

回転グループを使用するときは、〔グループ〕と〔仕分け〕を押して反転させます。

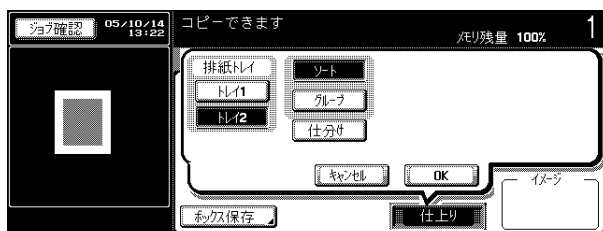


仕上り確認画面の〔キャンセル〕を押すと、設定は変更されません。
全ての設定を初期設定にもどすときは、操作パネルの【リセット】を押します。



6 排紙トレイを選択します。

〔トレイ 1〕または〔トレイ 2〕を押して反転させます。



7 〔OK〕を押します。

基本設定画面にもどります。



そのほかのコピー操作の設定をしない場合は、基本設定画面にもどさなくても、設定した機能を使ってコピーを開始することができます。

8 必要に応じて、そのほかの設定をします。

設定によっては、自動用紙の機能がオフになることがあります。

回転ソートまたは回転グループを使用するときは、自動用紙の機能がオフにならないようにします。

- 9** 操作パネルの【スタート】を押します。
読み込み／出力を開始します。

本体排紙トレイに
出力する

フィニッシャに
出力する

ステーブル

パンチ

中折り／中とし

セバレータに
出力する

併用できない
コピー案件

仕上り・紙折りと併用できないコピー条件

機能組み合わせ表		基本設定															
		濃度/下地		用紙												倍率	
		自動	下地調整	濃度	自動用紙	本体トレイ/大容量トレイ	手差し	普通紙	再生紙	OHP	ラベル紙	第2原紙	ユーズ紙	レターヘッド紙	はがき	薄紙	厚紙
仕上り	ソート																
	グループ																
	仕分け									▼	▼	▼		▼	▼	▼	▼
	回転																
	シフト							*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6
	ステープル							*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6
	パンチ							*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6
紙折り	排紙トレイ選択							*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6
	中とじ							*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6
	中折り							*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6

機能組み合わせ表		基本設定		集約／原稿						原稿画質		応用設定			
		片面／両面		集約枚数		原稿									
		片面原稿	両面原稿	片面プリント	両面プリント	連続読み込み									
						2in1	4in1	8in1	混載原稿	原稿方向設定	原稿綴じ代	文字	文字／写真	写真	薄文字
仕上り	ソート														
	グループ					▼	▼	▼					▼	▼	▼
	仕分け					▼	▼	▼	▼				▼	▼	▼
	回転														
	シフト														
	ステープル													▼	
	パンチ													▼	
紙折り	排紙トレイ選択														
	中とじ		*5			*8	*8	*8	▼					△	△
	中折り		*5			*8	*8	*8	▼					△	△

▼ 後優先（後で設定したコピー条件が優先され、先に設定したコピー条件は解除される。）

× 併用の設定はできない。

△ 先優先（先に設定したコピー条件が優先され、警告表示する。）

*3 コピー挿入選択時のみ、後優先する。

*4 集約／小冊子でおすすり倍率使用時、後優先する。

*5 中とじ／中折り選択時に自動的に小冊子が選択されるように設定されているとき、後優先する。

*6 排紙オプションごとに異なる。

*7 仕分けを無視して動作する。

*8 中とじ／中折り選択時に自動的に小冊子が選択されるように設定されているとき、併用の設定はできない。

機能組み合わせ表			応用設定																		
			ブック連写	ページ連写	リピート			とじ代	編集とじ代	消去		画像の取め方				スタンプ					
					範囲指定	自動検出	定型			枠消し／折目消し	原稿外消去	センタリング	回転しない	原稿サイズ設定	不定形サイズ原稿	小冊子	ナンバリング	ページ	日付／時刻	定型スタンプ	ウォーターマーク
仕上り	ソート																				
	グループ																				
	仕分け	回転	▼	▼	▼	▼	▼			▼						▼					
		シフト																			
	ステーブル		▼		▼	▼	▼			▼	▼					▼					
	パンチ		▼		▼	▼	▼			▼	▼					▼					
排紙トレイ選択																					
紙折り	中とじ		△	△	△	△	△														
	中折り		△	△	△	△	△														

機能組み合わせ表		仕上り							紙折り	
		ソート	グループ	仕分け		ステーブル	パンチ	排紙トレイ選択	中とじ	中折り
				回転	シフト					
仕上り	ソート	▼	▼							
	グループ	▼	▼			▼			▼	▼
	仕分け			×	×	×	×	×	×	×
				×	×	▼			▼	▼
	ステーブル		▼	×	×	×	*6		▼	▼
	パンチ			×		*6			▼	▼
	排紙トレイ選択			×						
紙折り	中とじ	▼	×	×	×	×	×	×	▼	▼
	中折り	▼	×	×	×	×	×	×	▼	▼

本体排紙トレイに出力する

フィニッシャに出力する

ステーブル

パンチ

中折り／中とじ

セバレータに出力する

併用できないコピー条件

コピーするときに手助けになる機能について説明します。

1 部出力して設定を確認する：確認コピー	7-2
出力する前に設定内容を確認／変更する：設定内容	7-5
割り込んでコピーする：割り込み	7-7
設定を登録し、呼び出す：プログラム	7-9
機能・操作説明の画面を表示させる：ヘルプ	7-17
操作パネル／タッチパネルの操作性を変更する：ユニバーサル設定	7-21

1 部出力して設定を確認する：確認コピー

複数部数のコピーを行うとき、先に 1 部だけ出力して仕上がりを確認できます。ミスコピーを未然に防ぐことができます。



確認コピーは、2 枚以上の原稿を複数部数コピーするときに行います。

操作のしかた

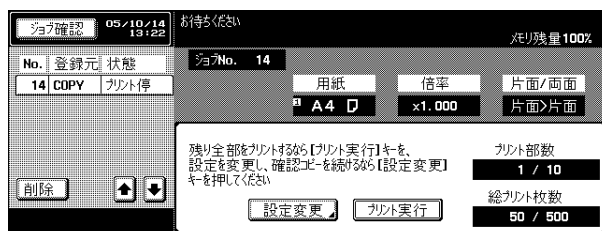
- 1 原稿をセットし、コピー部数を設定します。
- 2 任意の設定をします。
- 3 操作パネルの【確認コピー】を押します。



1 部プリントされ、確認コピー画面が表示されます。

- 4 コピー結果を確認します。

確認コピー画面の「プリント部数」表示下の数値は、「確認コピー済みプリント部数／設定総部数」を表示しています。



コピー結果に問題がなければ、手順⑦に進みます。
設定を変更するときは、手順⑤に進みます。

5 確認コピー画面の〔設定変更〕を押します。
設定変更画面が表示されます。

6 設定を変更します。

確認コピー後に変更できる設定は下記の通りです。

コピー部数

片面、両面コピー（片面原稿、両面原稿の変更は不可）

仕上り

紙折り

カバーシート

インターシート

章分け

とじ代

スタンプ／オーバーレイ

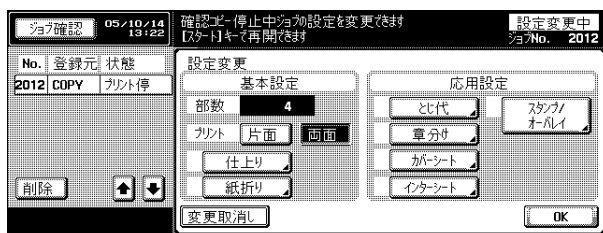
コピー部数を変更する場合は、操作パネルの【C】（クリア）を押して、テンキーで新たな数値を入力します。

片面、両面コピーの変更は、〔片面〕、〔両面〕を押します。

そのほかの設定変更は、そのボタンを押して、それぞれの設定画面を表示させて行います。

 **詳しく説明します**

変更した設定を取り消したいときは、〔変更取消し〕を押します。変更前の設定にもどります。



希望するコピー結果が得られるまで、手順③～⑥を繰り返します。

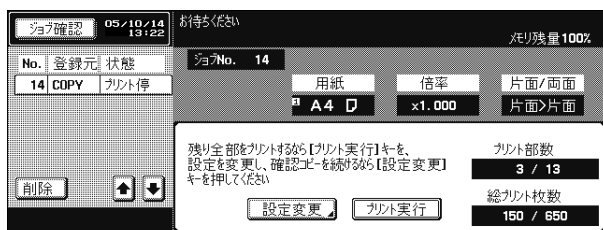
変更したい設定が変更できないときは、ジョブを削除して設定を最初から始めてください。手順⑦をごらんください。

確認コピージョブを削除するとき、サブエリアにジョブ確認リストが表示されている場合は、〔↑〕、〔↓〕を押して中断するジョブを表示させ、そのジョブのボタンを押して反転させます。〔削除〕を押して削除確認画面を表示させ、〔はい〕を押します。



7 確認コピー画面の〔プリント実行〕を押します。

詳しく説明します



【確認コピー】を押した後の原稿読み込み／プリントや、〔プリント実行〕を押した後のプリントを停止するときは、操作パネルの【ストップ】を押します。詳しくは、p. 3-56「動作中のジョブを停止／再開／削除する」をごらんください。

残り部数のコピーを開始します。

出力する前に設定内容を確認／変更する：設定内容

設定内容画面を表示させて、設定内容を確認／変更することができます。

操作のしかた

- 1 原稿をセットし、コピー部数を設定します。
- 2 任意の設定をします。
設定によっては、原稿を読み込みます。
- 3 操作パネルの【設定内容】を押します。

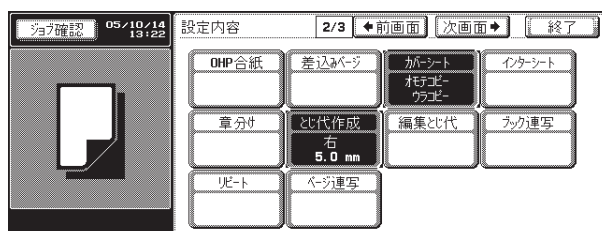
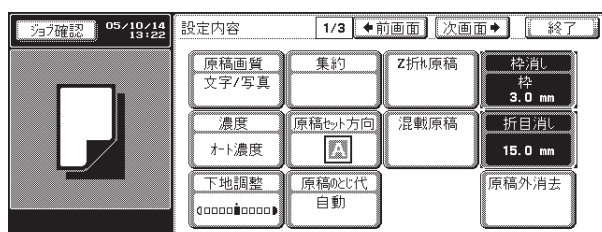


設定内容画面が表示されます。

- 4 設定内容を確認します。

設定内容画面は3画面あります。画面上部中央に、現在表示されている画面番号が表示されます。

〔←前画面〕、〔次画面→〕を押して任意の画面を表示させます。





設定を変更するときは、手順⑤に進みます。

設定を変更しないときは、「終了」を押して手順⑦に進みます。

⑤ 変更する機能のボタンを押します。

各機能の設定画面が表示されます。

⑥ 設定を変更します。

各機能の設定方法に従って、設定を変更します。

複数の設定を変更する場合は、手順③～⑥を繰り返します。

⑦ 操作パネルの【スタート】を押します。

コピーを開始します。



詳しく説明します

プリントを停止するときは、操作パネルの【ストップ】を押します。詳しくは、p. 3-56「動作中のジョブを停止／再開／削除する」をごらんください。

割り込んでコピーする：割込み

プリント中にそのプリントを一時的に停止させて、異なる設定のコピーをすることが出来ます。割込み終了後は、中断させたプリントを再開します。



- プリント中のジョブの割込みではなく、ジョブとジョブの間に割り込む場合は、優先出力の機能を使います。詳細は、p. 8-16「実行中リストの動作中ジョブの優先出力を設定する」をごらんください。
- 原稿読み込み中は、割込みできません。読み込みが終了したときに【割込み】を押します。
- 割込みが機能すると、割り込まれたジョブのプリントが中断し、初期設定になります。

操作のしかた

1 原稿読み込み終了後、割込みコピーの原稿をセットします。

2 操作パネルの【割込み】を押します。



現在のジョブがプリント中の場合は、「もうすぐ止まります」と表示されます。

割込みランプが緑色に点灯し、プリントが停止します。

3 割込みコピーのコピー部数を設定します。

4 任意の設定をします。

5 操作パネルの【スタート】を押します。



割り込みコピーを開始します。

6 割り込みコピーのプリントが終了したら、再度【割込み】を押します。



割り込みランプが消灯し、割り込みコピーの設定が解除され、割り込み前の設定が復帰します。
停止していた割り込み前のプリントが自動的に再開されます。

設定を登録し、呼び出す：プログラム

任意のコピー条件の設定を登録し、必要なときに簡単な操作で呼び出してコピーします。使用する頻度の高い複雑な設定を登録しておくとは便利な機能です。複雑な設定をされた途中で今後もその設定を使用することが予想されるときに、登録することをお勧めします。

■ 設定を登録する：プログラム登録

任意のコピー条件の設定を 30 件まで登録できます。登録した設定は、登録名称を付けて管理することができます。



- 登録した設定に登録名称を付けます。登録名称には、全角で最大 8 文字（漢字、ひらがな、カタカナ）、半角で最大 16 文字（アルファベット、数字、記号）までの文字が使用できます。
- 登録された設定内容を変更して、再登録することはできません。呼び出した設定内容を変更してコピーしたり、変更した設定を新たに登録することはできます。
- 30 件プログラム登録されていると、新たに登録できません。不要な登録を削除してから登録してください。登録されたプログラムの削除については、p. 7-15「登録を削除する」をごらんください。
- 管理者設定で、プログラム登録を個別に削除できないようにロックしたり、登録名称の変更ができないように設定できます。詳しくは、p. 15-36 をごらんください。

操作のしかた

1 原稿をセットし、任意の設定をします。

操作パネルのキーおよびタッチパネルのボタンを使って、任意の設定をします。

2 操作パネルの【プログラム】を押します。



コピープログラム呼び出し画面が表示されます。

3 【プログラム登録】を押します。



詳しく説明します

登録を中止するときは、基本設定画面にもどす前に操作パネルの【リセット】または【プログラム】を押します。どの画面が表示されていても、登録は中止されます。または、基本設定画面が表示されるまで【キャンセル】を押します。

登録名称入力画面が表示されます。

4 登録名称を入力します。

登録名称には、全角で最大 8 文字（漢字、ひらがな、カタカナ）、半角で最大 16 文字（アルファベット、数字、記号）までの文字が使用できます。



詳しく説明します

登録名称の変更は可能です。詳細は、p. 7-14「登録名称を変更する」をごらんください。



詳しく説明します

文字の入力のしかたは、「付録：文字を入力するには」をごらんください。

5 【OK】を押して、基本設定画面にもどします。 プログラム登録が完了します。

■登録を呼び出す：プログラム登録呼び出し

登録したコピープログラムを呼び出してコピーします。呼び出す前に設定内容を確認できます。



コピープログラム呼び出し画面では、設定内容を変更することはできません。呼び出した後、各設定を変更するか、操作パネルの【設定内容】を押して、設定を変更します。詳細は、p. 7-5「出力する前に設定内容を確認／変更する：設定内容」をごらんください。

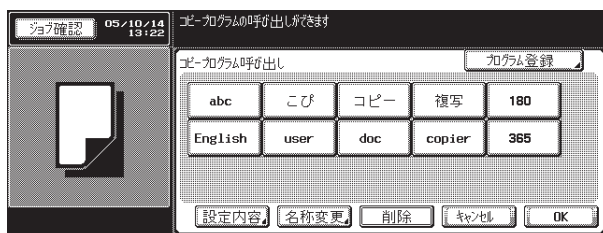
操作のしかた

- 1 原稿をセットします。
- 2 操作パネルの【プログラム】を押します。



コピープログラム呼び出し画面が表示されます。

- 3 呼び出したい設定が登録されているコピープログラムボタンを押して、反転させます。



選択したコピープログラムボタンの設定内容を確認しない場合は、手順③に進みます。



詳しく説明します

コピープログラムの呼び出しを中止するときは、基本設定画面にもどる前に操作パネルの【リセット】または【プログラム】を押します。どの画面が表示されていても、登録は中止されます。または、基本設定画面が表示されるまで〔キャンセル〕を押します。

4 「設定内容」を押します。



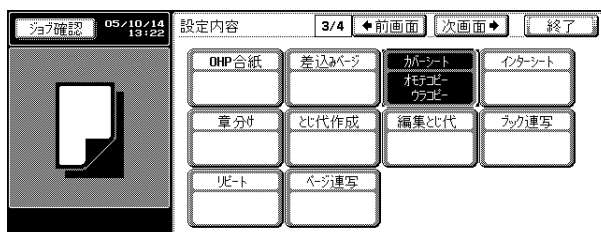
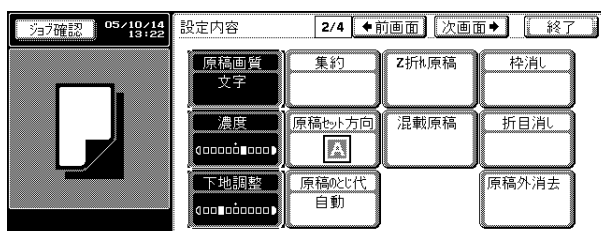
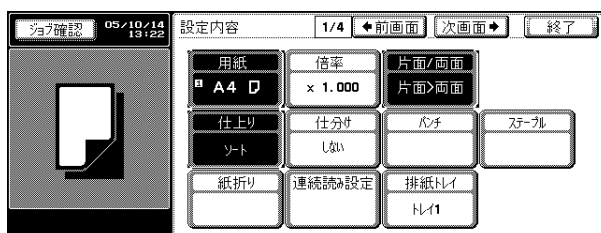
設定内容画面が表示されます。

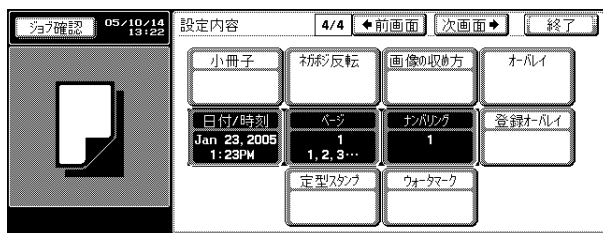
5 設定内容を確認します。

設定内容画面は4画面あります。画面上部中央に、現在表示されている画面番号が表示されます。

〔←前画面〕、〔次画面→〕を押して任意の画面を表示させます。

出荷時設定から設定を変更して登録している機能は、反転表示しています。

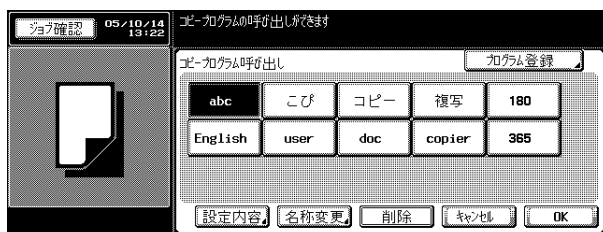




6 「終了」を押します。

コピープログラム呼び出し画面にもどります。このとき、手順③で行ったコピープログラムの選択が解除されています。

7 もう一度呼び出したいコピープログラムボタンを押して反転させます。



8 コピープログラム呼び出し画面の「OK」を押します。

登録していた設定が設定され、基本設定画面が表示されます。

9 操作パネルの【スタート】を押します。

登録していた設定でコピーされます。

■ 登録名称を変更する

登録した登録名称を変更します。



管理者設定で、登録名称の変更ができないように設定できます。このとき、コピープログラム呼び出し画面で登録名称を変更したいコピープログラムボタンを押しても、〔名称変更〕が表示されず、変更できません。詳しくは、p. 15-36 をごらんください。

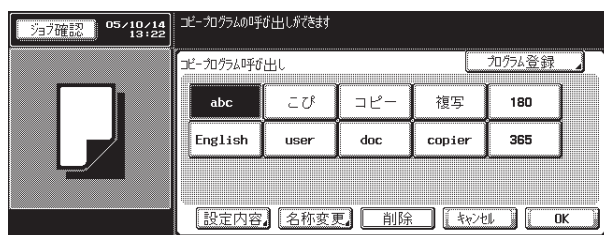
操作のしかた

- 1 操作パネルの【プログラム】を押します。



コピープログラム呼び出し画面が表示されます。

- 2 登録名称を変更したいコピープログラムボタンを押して反転させ、〔名称変更〕を押します。



登録名称入力画面が表示されます。

3 変更名称を入力します。

変更名称は、登録名称と同様に全角で最大 8 文字（漢字、ひらがな、カタカナ）、半角で最大 16 文字（アルファベット、数字、記号）までの文字が使用できます。



詳しく説明します

文字の入力のしかたは、「付録：文字を入力するには」をご覧ください。



4 [OK] を押します。

登録名称が変更されたコピープログラム呼び出し画面にもどります。

■ 登録を削除する

プログラム登録を削除します。



管理者設定で、プログラム登録を個別に削除できないようにロックできます。このとき、コピープログラム呼び出し画面で削除したいコピープログラムボタンを押しても、[削除]が表示されず、削除できません。詳しくは、p. 15-37 をご覧ください。

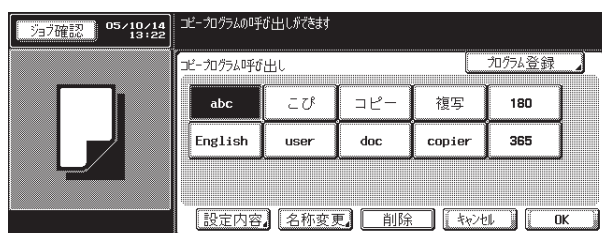
操作のしかた

- 1 操作パネルの【プログラム】を押します。



コピープログラム呼び出し画面が表示されます。

- 2 削除したいコピープログラムボタンを押して、反転させます。



- 3 〔削除〕を押します。
削除確認画面が表示されます。

- 4 〔はい〕を押します。



コピープログラムボタンと登録されていた設定が削除され、コピープログラム呼び出し画面にもどります。

機能・操作説明の画面を表示させる：ヘルプ

各機能の説明や操作方法を画面上に表示して確認できます。

ヘルプ画面の表示方法は2つあります。

- ヘルプメインメニュー画面

基本設定画面が表示されているときに操作パネルの【ヘルプ】を押します。

- 設定画面のヘルプ画面

任意の設定画面を表示させているときに操作パネルの【ヘルプ】を押します。



ヘルプ画面は、【ヘルプ】を押した後に表示展開される画面の総称です。ヘルプ画面には、画面の左上に？マークが表示されます。

ヘルプ画面が表示されている間は、以下の操作パネルのキーは無効になります。

【スタート】
【ストップ】
【C】（クリア）
【割込み】
【確認コピー】
【ID】
【プログラム】
【拡大表示】
【設定内容】

ヘルプ画面表示中に操作パネルの【ヘルプ】を押すかヘルプ画面の〔終了〕を押すと、基本設定画面や元の設定画面にもどります。

コピー：

操作パネルの【コピー】を押して設定する機能や操作方法について説明しています。

スキャン：

操作パネルの【スキャン】を押して設定する機能や操作方法について説明しています。

ファクス：

操作パネルの【ファクス】を押して機能する設定や操作方法について説明しています。

ボックス：

操作パネルの【ボックス】を押して設定する機能や操作方法について説明しています。

ジョブ確認：

基本設定画面の〔ジョブ確認〕を押して展開するジョブ確認画面の機能や操作方法について説明します。

各部の名称と働き：

ADF、原稿ガラス、ハードキー、手差しトレイ、給紙トレイ、LCT、封筒レバー、排紙トレイ、フィニッシャの機能や操作方法について説明します。

サービス / 管理者情報：

本機の管理者情報（名前 / 内線番号 / E-Mail アドレス）を表示します。

メンテナンス：

トナーカートリッジの交換、ステープル針の補給、パンチくずの処理方法について説明しています。

■ ヘルプ画面を表示させる

ヘルプメインメニュー画面からヘルプ画面を展開する操作手順を説明します。



- 機械が下記の状態のとき、ヘルプ画面を表示させることはできません。
原稿読み込み中
プリント中
確認コピー中
拡大表示機能中
ユニバーサル設定中
- コピー、スキャン、ファクス、ボックス、ジョブ確認は、それらの設定画面が表示されているときに操作パネルの【ヘルプ】を押すと、各設定のヘルプ画面が表示されます。

操作のしかた

1

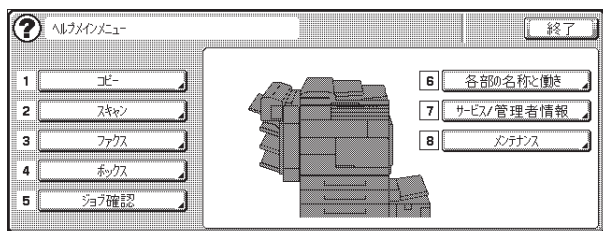
基本設定画面を表示させ、操作パネルの【ヘルプ】を押します。



ヘルプメインメニュー画面が表示されます。

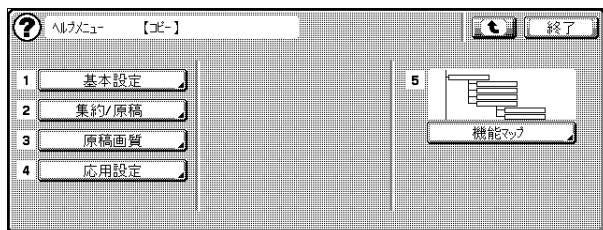
2

ヘルプメインメニュー画面の任意のボタンを押して、任意のヘルプ画面を表示させます。



操作パネルのテンキーで、ボタンに表示されている番号を押してもヘルプ画面を表示することができます。

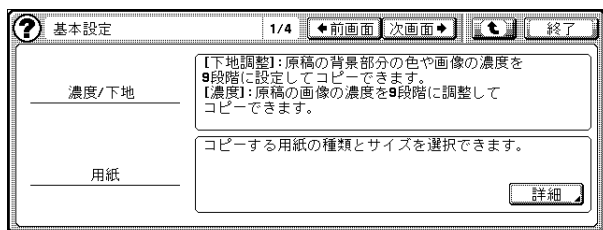
3 任意のボタンを押してヘルプ画面を展開させます。



〔5 機能マップ〕を選択すると、機能や設定項目が階層表示された機能マップ画面が表示されます。操作パネルのテンキーを押してヘルプ画面を展開します。



4 各機能・操作説明を確認します。



ヘルプ画面が複数画面ある場合は、〔←前画面〕〔次画面→〕が表示されます。押して任意の画面を表示させてください。

〔詳細〕を押すと、詳しい説明が表示されます。

〔↑〕を押すと、1つ上の階層のヘルプ画面にもどります。

- 5** ヘルプ画面の〔終了〕または、操作パネルの【ヘルプ】を押します。



基本設定画面にもどります。

操作パネル／タッチパネルの操作性を変更する：ユニバーサル設定

操作パネルやタッチパネルの操作性を変更する方法について説明します。
操作性を変更できる項目は、下記の7つあります。

- キーリピート開始／間隔時間
- 拡大表示解除確認
- メッセージ表示時間
- 音設定
- タッチパネル調整
- 拡大表示設定解除確認
- 拡大表示切換え確認

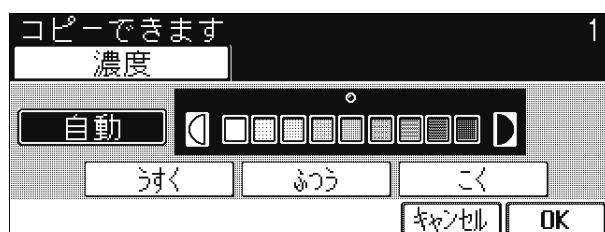
■ 拡大表示画面のキー機能時間を変更する：キーリピート開始／間隔時間

拡大表示機能を使って、拡大表示画面を表示しているときの調整設定です。
下記ボタンを押してから数値が変わり始める時間と、押し続けたときに次の数値に変わるまでの時間を設定します。

- 拡大表示画面の倍率画面に表示される〔+〕、〔-〕



- 拡大表示画面の濃度画面に表示される〔うすく〕、〔こく〕



- 開始までの時間は、0.1 秒～ 3.0 秒の範囲を 0.1 秒刻みで設定できます。
間隔時間は、0.1 秒～ 3.0 秒の範囲を 0.1 秒刻みで設定できます。
- 設定したキーリピート開始／間隔時間は、拡大表示機能が機能しているときのみ反映されます。



拡大表示機能については、別冊の「ユーザーズガイド 拡大表示機能編」を
ごらんください。

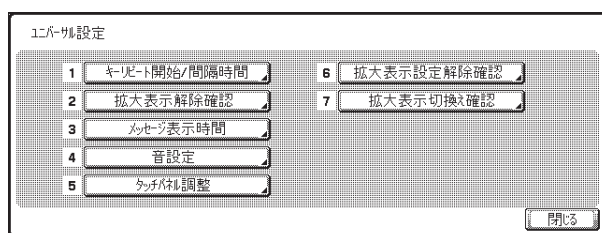
操作のしかた

- 1 操作パネルの【ユニバーサル】を押します。



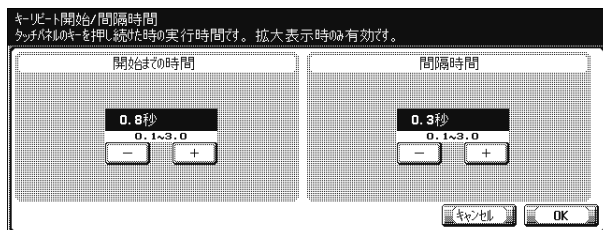
ユニバーサル設定画面が表示されます。

- 2 [1 キーリピート開始／間隔時間] または、操作パネルの【1】を押します。



キーリピート開始／間隔時間設定画面が表示されます。

- 3** **〔+〕、〔-〕** を押して、キーリピート開始時間と
間隔時間を設定します。



設定する数値が各表示下に表示されます。

- 4** **〔OK〕** を押します。
ユニバーサル設定画面にもどります。

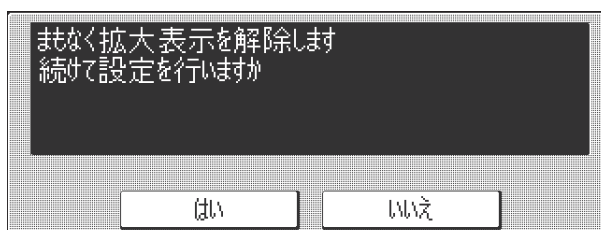
 **詳しく説明します**

キーリピート開始／間隔時間設定画面の〔キャンセル〕を押すと、設定は変更されません。

- 5** **〔閉じる〕** または、操作パネルの **〔ユニバーサル〕**
を押します。
基本設定画面にもどります。

■ 拡大表示画面の解除確認の設定をする：拡大表示解除確認

拡大表示機能を使って、拡大表示画面を表示しているときの調整設定です。
システムオートリセット機能が動作したとき、拡大表示を解除するかどうかを決定する拡大表示解除確認画面を表示させることができます。拡大表示解除確認画面を表示させる場合、その表示時間を選択します。



- 出荷時設定では、拡大表示解除確認画面は表示しません。
拡大表示解除確認画面を表示させる場合、その表示時間は、30 秒、60 秒、90 秒、120 秒から選択します。
- 拡大表示解除確認画面の設定は、拡大表示機能が機能しているときのみ有効です。



拡大表示機能については、別冊の「ユーザーズガイド 拡大表示機能編」をごらんください。

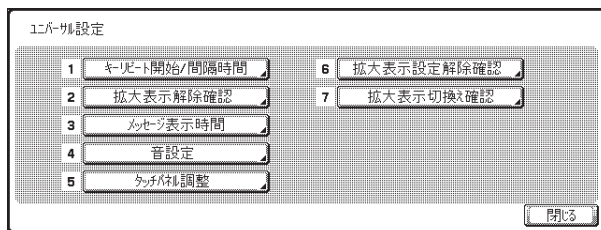
操作のしかた

1 操作パネルの【ユニバーサル】を押します。



ユニバーサル設定画面が表示されます。

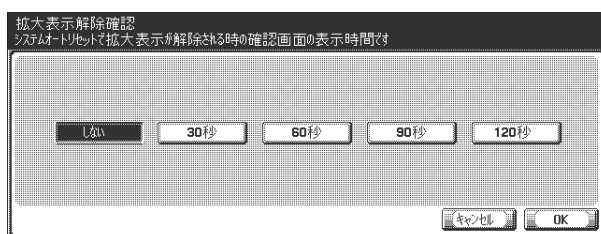
2 「2 拡大表示解除確認」または、操作パネルの【2】を押します。



拡大表示解除確認設定画面が表示されます。

3 「しない」または、任意の表示時間ボタンを押して反転させます。

拡大表示解除確認画面を表示させないときは、「しない」を選択します。



4 「OK」を押します。

ユニバーサル設定画面にもどります。

5 「閉じる」または、操作パネルの【ユニバーサル】を押します。

基本設定画面にもどります。



拡大表示解除確認設定画面の「キャンセル」を押すと、設定は変更されません。

■ 誤操作メッセージの表示時間を設定する：メッセージ表示時間

誤った操作をしたときなどに表示される警告メッセージの表示時間を設定します。



出荷時設定では、3 秒が設定されています。
メッセージ表示時間は、3 秒、5 秒から選択できます。

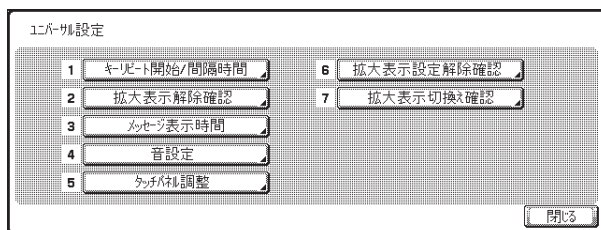
操作のしかた

- 1 操作パネルの【ユニバーサル】を押します。



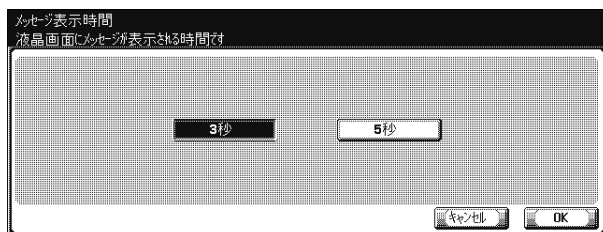
ユニバーサル設定画面が表示されます。

- 2 「3 メッセージ表示時間」または、操作パネルの【3】を押します。



メッセージ表示時間設定画面が表示されます。

- 3** **メッセージ表示時間を選択します。**
〔3 秒〕 または 〔5 秒〕 を押して反転させます。



- 4** **〔OK〕 を押します。**
ユニバーサル設定画面にもどります。



メッセージ表示期間設定画面の
〔キャンセル〕 を押すと、設定は
変更されません。

- 5** **〔閉じる〕 または、操作パネルの【ユニバーサル】
を押します。**
基本設定画面にもどります。

■ キー受付音の設定をする：音設定

機械の音の設定をします。

- 受付音
操作パネルのキーやタッチパネルのボタンを押したとき、音を鳴らすか、鳴らさないかを選択します。
- 警告音
紙づまりや用紙がなくなったとき、警告音を鳴らすか鳴らさないかを選択します。鳴らす場合、鳴っている時間を 3 秒／ 5 秒／ 10 秒から選択します。



受付音は、出荷時設定では、音を鳴らす〔ON〕が設定されています。
警告音は、出荷時設定では音を 3 秒間鳴らすように設定されています。

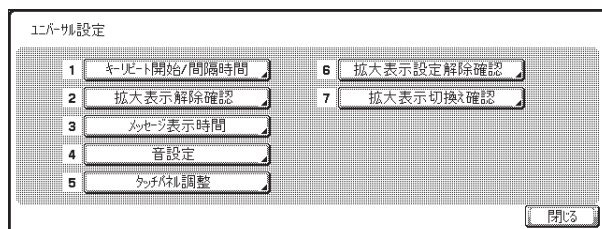
操作のしかた

- 1 操作パネルの【ユニバーサル】を押します。



ユニバーサル設定画面が表示されます。

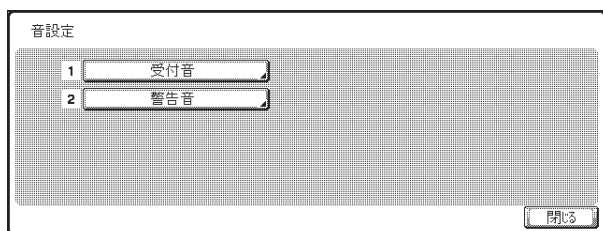
- 2 〔4 音設定〕または、操作パネルの〔4〕を押します。





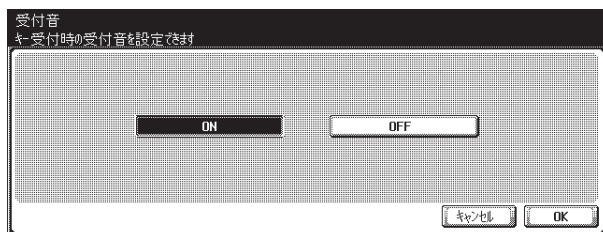
音設定画面が表示されます。

- 3** 受付音を鳴らす、鳴らさないを選択します。
〔1 受付音〕または、操作パネルの【1】を押します。



受付音設定画面が表示されます。

音を鳴らす場合は〔ON〕、鳴らさない場合は〔OFF〕を押して反転させます。



〔OK〕を押して、音設定画面にもどします。

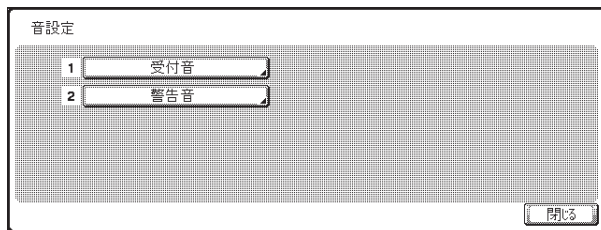


受付音設定画面の〔キャンセル〕を押すと、設定は変更されません。

4

警告音を鳴らす、鳴らさないを選択します。

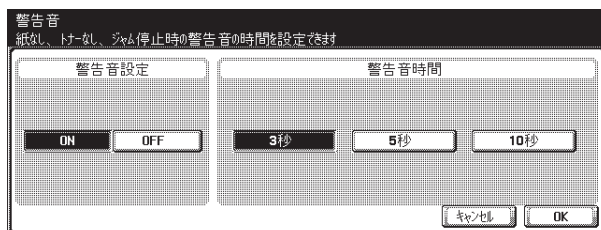
〔2 警告音〕 または、操作パネルの【2】を押します。



警告音設定画面が表示されます。

警告音を鳴らす場合は〔ON〕、鳴らさない場合は〔OFF〕を押して反転させます。

〔ON〕を選択した場合は、〔3 秒〕、〔5 秒〕、〔10 秒〕のいずれかを選択します。



〔OK〕を押して音設定画面にもどります。

5

〔閉じる〕を押します。

ユニバーサル設定画面にもどります。

6

〔閉じる〕 または、操作パネルの【ユニバーサル】を押します。

基本設定画面にもどります。

■ タッチパネルセンサ位置を調整する：タッチパネル調整

タッチパネルに表示されているボタンの位置とタッチパネルセンサの位置がずれ、タッチパネルのボタンを押しても正常に反応しないことがあります。
このとき、タッチパネルセンサの位置を調整します。

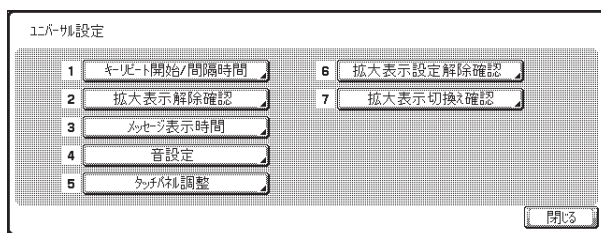
操作のしかた

- 1 操作パネルの【ユニバーサル】を押します。



ユニバーサル設定画面が表示されます。

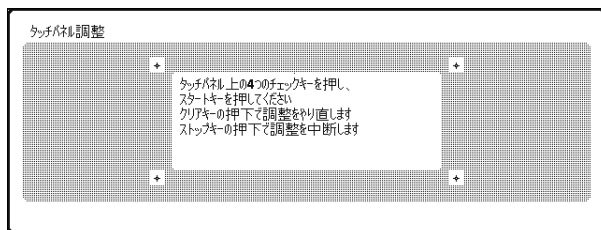
- 2 [5 タッチパネル調整] または、操作パネルの【5】を押します。



タッチパネルセンサがずれていて、[5 タッチパネル調整]を押しても反応しない場合は、操作パネルの【5】を押します。
タッチパネル調整画面が表示されます。

3 4つのチェックキー〔+〕を押して、ブザー音を確認します。

詳しく説明します



正しく押されると、操作パネルの【スタート】のランプが緑色に点灯します。

チェックキー〔+〕を押すとき、押す順番は任意でかまいません。音設定を鳴らさないように設定していると、音は鳴りません。詳細はp. 7-28「キー受付音の設定をする：音設定」をごらんください。

調整をやり直すときは、操作パネルの【クリア】を押し、4つのチェックキー〔+〕を押しなおしてください。

調整を中止するときは、操作パネルの【ストップ】を押します。基本設定画面にもどります。

4 操作パネルの【スタート】を押します。



調整できないときは、サービス実施店にご連絡ください。



タッチパネルセンサの位置が調整され、ユニバーサル設定画面にもどります。

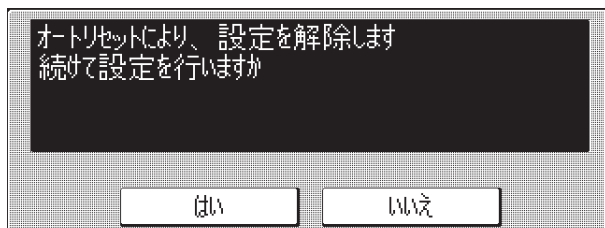
5 〔閉じる〕または、操作パネルの【ユニバーサル】を押します。

基本設定画面にもどります。

■ 拡大表示機能時の設定解除確認表示の設定をする：拡大表示設定解除確認

オートリセット機能が動作するときに、拡大表示の設定解除確認画面を表示できます。

また、拡大表示の設定解除確認画面を表示する時間を設定できます。



拡大表示機能については、別冊の「ユーザーズガイド拡大表示機能編」をごらんください。



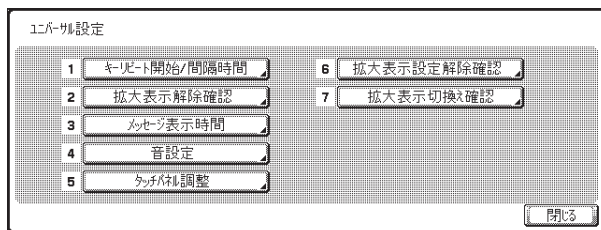
- 出荷時設定では、拡大表示の設定解除確認画面を表示しません。
- オートリセットの時間設定とシステムオートリセットの時間設定が同じ場合は、拡大表示解除確認画面の表示が優先され、拡大表示の設定解除確認画面は表示されません。

操作のしかた

1 操作パネルの【ユニバーサル】を押します。

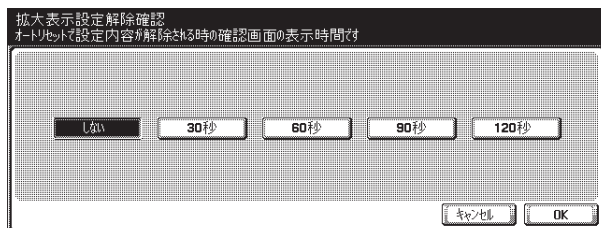


- 2** **【6 拡大表示設定解除確認】 または、操作パネルの【6】を押します。**



拡大表示設定解除確認画面が表示されます。

- 3** **目的の表示方法を選択します。**



詳しく説明します

拡大表示設定解除確認画面の「キャンセル」を押すと設定は変更されません。

- 4** **【OK】を押します。**
ユニバーサル設定画面にもどります。

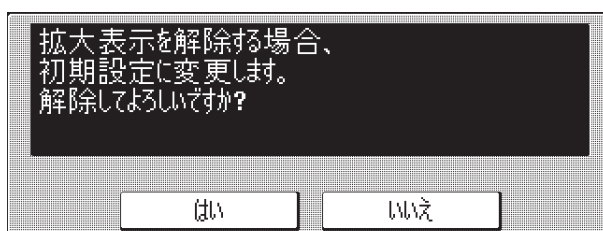
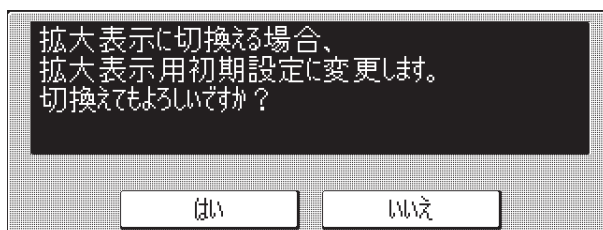
- 5** **【閉じる】または【ユニバーサル】を押します。**
基本設定画面にもどります。

■ 拡大表示機能との切換え時に、初期設定への変更確認表示の設定をする： 拡大表示切換え確認

【拡大表示】を押して画面表示を切換えるときに、各設定が初期値にもどる確認画面を表示できます。



拡大表示機能については、別冊の「ユーザーズガイド拡大表示機能編」をごらんください。



出荷時設定では、「表示しない」に設定されています。

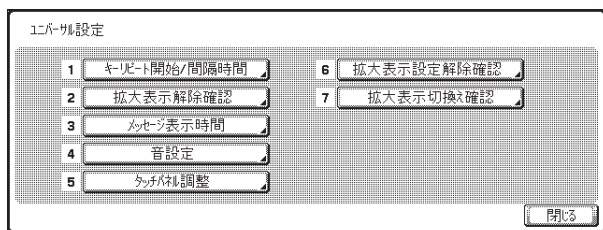
操作のしかた

- 1 操作パネルの【ユニバーサル】を押します。



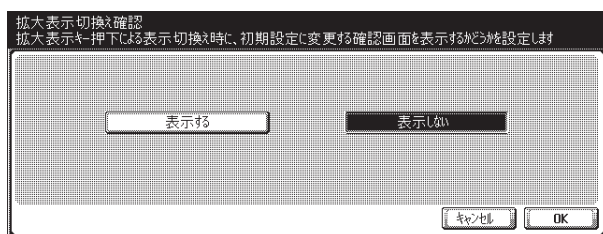
2 [7 拡大表示切換え確認] または、操作パネルの [7] を押します。

拡大表示切換え確認画面が表示されます。



拡大表示切換え確認画面が表示されます。

3 表示方法を選択します。



詳しく説明します

「キャンセル」を押すと設定は変更されません。

4 [OK] を押します。

ユニバーサル設定画面にもどります。

5 [閉じる] または【ユニバーサル】を押します。

基本設定画面にもどります。

ジョブ確認

第8章

本機で実行中のジョブの状態を確認、操作したり、過去のジョブ履歴を確認する方法を説明します。

ジョブ確認画面の概要.....	8-2
ジョブ確認画面を操作する.....	8-6

ジョブ確認画面
の概要

ジョブ確認画面
を操作する

ジョブ確認画面の概要

ジョブについて

コピーの準備をし、操作パネルの【スタート】を押すと、1 件のコピー動作が本機に登録されます。登録されたコピー動作をジョブと呼びます。

読み込み動作、スキャナ、PC プリント指示もジョブとして登録されます。

ジョブ確認画面は、実行中ジョブの状態の確認や操作、過去のジョブ履歴の確認ができます。

ジョブ確認画面は、下記状態のとき以外は、〔ジョブ確認〕を押して、いつでも表示することができます。

- 【ヘルプ】を押してヘルプ画面表示中
- 【ユニバーサル】を押してユニバーサル設定を設定中
- 【設定メニュー／カウンタ】を押したとき
- 拡大表示中



ジョブ確認画面は、タッチパネル画面の〔ジョブ確認〕を押した後に表示展開される画面の総称です。ジョブ確認画面には、画面の左上に「ジョブ確認」が表示されます。

ジョブ確認画面の種類

本機は、コピー機能のほかに、ネットワークプリンタ／スキャナ／ボックス受信の機能があります。ジョブ確認画面には、下記の 3 種類の画面があります。

- 〔プリント〕タブを押して表示されるジョブ確認画面
コピー、ネットワークプリンタ関連のジョブ確認画面です。
実行中リストと履歴リストを表示します。
実行中リストには、動作中ジョブと蓄積ジョブのリストがあります。
履歴リストには、消去ジョブ、終了ジョブとその 2 つをいっしょに表示する全ジョブのリストがあります。
本章で詳しく説明します。

ジョブ確認						プリント	スキャン送信	受信/保存	終了
実行中リスト		履歴リスト		蓄積ジョブ		動作中ジョブ			
No.	登録元	状態	プリント名	登録時間	原稿	部数			
26	COPY	プリント中		05/01/14 16:19	1	0			
27	COPY	プリント待ち		05/01/14 16:19	1	0			
28	COPY	プリント待ち		05/01/14 16:19	1	0			

Buttons: 削除, 優先出力, 設定内容, 詳細

- 〔スキャナ送信〕タブを押して表示されるジョブ確認画面
スキャナ送信関連の画面です。
詳細は、別冊の「ユーザズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。



- 〔受信／保存〕タブを押して表示されるジョブ確認画面
プリント受信ボックスに蓄積したデータに関する画面です。
詳細は、別冊の「ユーザズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。



〔プリント〕タブを押して表示されるジョブ確認画面でできること

ジョブ確認画面を表示させて、下記の項目を確認／操作することができます。

- 実行中リストや履歴リストのジョブの詳細を確認する
- 実行中リストの動作中／蓄積ジョブの設定内容を確認する
- 実行中リストの動作中／蓄積ジョブを削除する
- 実行中リストの動作中ジョブの優先出力を設定する
- 実行中リストの蓄積ジョブを1部プリントして確認する
- 実行中リストの蓄積ジョブの設定変更／プリントをする

〔プリント〕タブを押して表示されるジョブ確認画面の説明

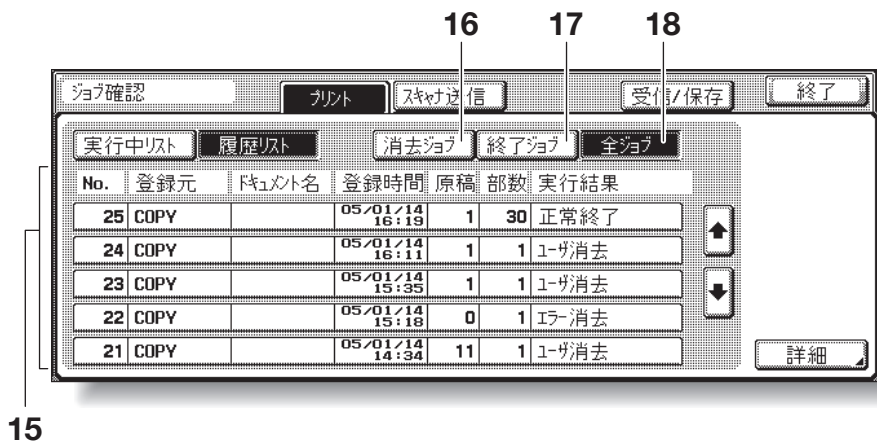
〔プリント〕タブ＞〔実行中リスト〕＞〔動作中ジョブ〕を押したときに表示されるジョブ確認画面



No	名 称	説 明
1	〔プリント〕タブ	コピー、ネットワークプリンタ関連のジョブ確認画面を表示させるときに押します。
2	〔スキャナ送信〕タブ	スキャナ送信関連のジョブ確認画面を表示させるときに押します。
3	〔受信／保存〕タブ	プリント受信ボックスに蓄積したデータに関するジョブ確認画面を表示させるときに押します。
4	〔終了〕	ジョブ確認画面の表示を終了するときを押します。
5	〔実行中リスト〕	履歴リストが表示されているとき、実行中リスト（動作中ジョブまたは蓄積ジョブのリスト）を表示させ、確認／操作するときを押します。
6	〔履歴リスト〕	実行中リストが表示されているとき、履歴リスト（実行が完了したジョブのリスト）表示に切り換えるときを押します。
7	〔蓄積ジョブ〕	実行中リストの中で、蓄積ジョブとして登録されたジョブのリストを表示し、操作するときを押します。
8	〔動作中ジョブ〕	実行中リストの中で、現在実行中のジョブとプリント待ち（待機中）ジョブのリスト表示に切り換えるときを押します。
9	〔削除〕	実行中リストに表示される動作中ジョブや蓄積ジョブを削除するときを押します。
10	〔優先出力〕	現在プリント中のジョブの次にプリントするジョブを動作中ジョブリストから選択して出力させるときに押します。蓄積ジョブリストからは優先出力の設定はできません。
11	〔設定内容〕	実行中リストに表示される動作中ジョブや蓄積ジョブの設定内容を確認するときを押します。
12	〔詳細〕	実行中リストに表示される動作中ジョブや蓄積ジョブの状態を確認するときを押します。
13	〔↑〕／〔↓〕	ジョブの件数が1度に表示できる件数（5件）を超えたとき、表示されていないジョブを表示させるときに押します。

No	名 称	説 明
14	項目表示	No. ジョブの登録時に付けられるジョブ ID 番号を表示します。 登録元 ジョブの種類を表示します。コピージョブは「COPY」と表示されます。 状態 ジョブの状態を表示します。 ドキュメント名 ネットワークプリンタのジョブ時にファイル名を表示します。 ユーザ認証時、他のユーザにドキュメント名を表示しません。機密文書は、ドキュメント名を表示しません。 登録時間 ジョブの登録時間を表示します。 原稿 原稿枚数を表示します。 部数 設定されたプリント枚数を表示します。

〔プリント〕タブ>〔履歴リスト〕>〔全ジョブ〕を押したときに表示されるジョブ確認画面



No	名 称	説 明
15	項目表示	No.、登録元、ドキュメント名、登録時間、原稿部数の説明は、No.14 の項目表示を参照してください。 実行結果…ジョブの実行結果（正常終了、エラー消去、ユーザ消去、モード解除）を表示します。
16	〔消去ジョブ〕	履歴リストの中で、終了前に消去したジョブを表示するときに押します。
17	〔終了ジョブ〕	履歴リストの中で、正常終了したジョブを表示するときに押します。
18	〔全ジョブ〕	全ての履歴リストのジョブを表示するときに押します。

ジョブ確認画面の概要

ジョブ確認画面を操作する

第8章
ジョブ確認

ジョブ確認画面を操作する

ジョブ確認画面を操作して、実行中ジョブを確認／操作する方法、および過去のジョブ履歴を確認する方法を説明します。

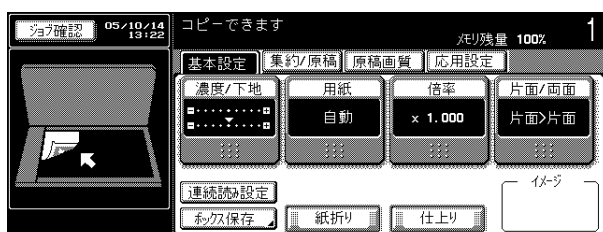
ジョブ確認画面には、2種類の画面があります。

- 実行中リスト
- 履歴リスト

実行中リストを表示する

コピー機能、ネットワークプリンタ機能の受信プリントの実行中リストが表示されます。実行中リストは、動作中ジョブと蓄積ジョブの2つのリストを別々に表示します。蓄積ジョブリストには、確認コピー中にオートリセットが機能したジョブや、ボックス機能の確認プリントジョブが表示されます。

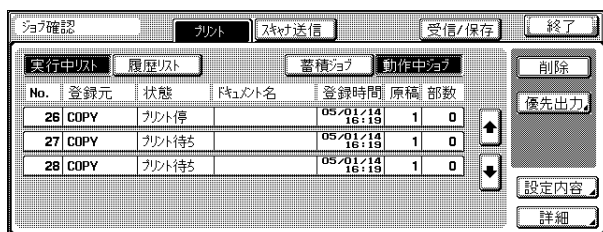
1 タッチパネル画面の〔ジョブ確認〕を押します。



プリント機能の実行中リストが表示されていないときは、〔プリント〕タブを押します。
プリント機能の実行中リストが表示されます。

2 〔蓄積ジョブ〕または〔動作中ジョブ〕を押して、リスト表示したいジョブを選択します。

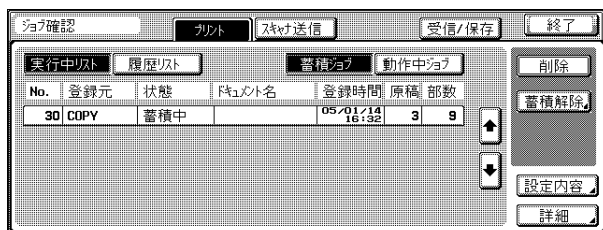
〔動作中ジョブ〕：実行中リストのうち、動作中ジョブリストを表示します。



詳しく説明します

- 実行中リストが表示されたときは、動作中ジョブリストが表示されています。
- 〔ジョブ確認〕を押す前の画面にもどるときは、〔終了〕または、操作パネルの【リセット】を押します。

〔蓄積ジョブ〕：実行中リストのうち、蓄積ジョブリストを表示します。

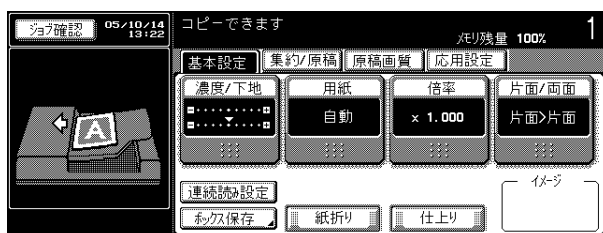


選択したジョブの実行中リストが表示されます。

履歴リストを表示する

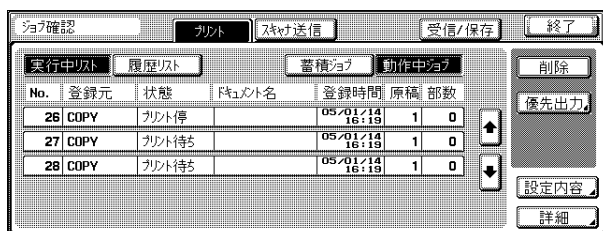
過去に動作したジョブのリストを表示させることができます。
履歴リストは、消去ジョブ、終了ジョブ、全ジョブの3つのリストを表示します。

1 タッチパネル画面の〔ジョブ確認〕を押します。



プリント機能の実行中リストが表示されていないときは、〔プリント〕タブを押します。
プリント機能の実行中リストが表示されます。

2 〔履歴リスト〕を押します。



プリント機能の履歴リストが表示されます。

3 「消去ジョブ」、「終了ジョブ」、「全ジョブ」のいずれか1つを押し、リスト表示したいジョブを選択します。

「消去ジョブ」：履歴リストのうち、終了前に消去したジョブのリストを表示します。

ジョブ確認						
リセット リセット送信 受信/保存 終了						
実行中リスト		履歴リスト		消去ジョブ 終了ジョブ 全ジョブ		
No.	登録元	デバイス名	登録時間	原稿	部数	実行結果
1556	COPY		05/11/29 09:42	1	9	エラー消去
1552	COPY		05/11/29 14:05	1	98	エラー消去
1549	COPY		05/11/29 14:00	1	59	エラー消去
1544	COPY		05/11/29 13:53	0	59	エラー消去
1543	COPY		05/11/29 13:52	1	2	エラー消去
						詳細

詳しく説明します

「ジョブ確認」を押す前の画面にもどるときは、「終了」または、操作パネルの【リセット】を押します。

「終了ジョブ」：履歴リストのうち、正常終了したジョブのリストを表示します。

ジョブ確認						
リセット リセット送信 受信/保存 終了						
実行中リスト		履歴リスト		消去ジョブ 終了ジョブ 全ジョブ		
No.	登録元	デバイス名	登録時間	原稿	部数	実行結果
1556	COPY		05/11/29 16:39	1	1	正常終了
1554	COPY		05/11/29 14:09	1	1	正常終了
1553	COPY		05/11/29 14:07	1	1	正常終了
1551	COPY		05/11/29 14:02	1	1	正常終了
1550	COPY		05/11/29 14:00	1	2	正常終了
						詳細

「全ジョブ」：全ての履歴リストを表示します。

ジョブ確認						
リセット リセット送信 受信/保存 終了						
実行中リスト		履歴リスト		消去ジョブ 終了ジョブ 全ジョブ		
No.	登録元	デバイス名	登録時間	原稿	部数	実行結果
1556	COPY		05/11/29 09:42	1	9	エラー消去
1555	COPY		05/11/29 16:39	1	1	正常終了
1554	COPY		05/11/29 14:09	1	1	正常終了
1553	COPY		05/11/29 14:07	1	1	正常終了
1552	COPY		05/11/29 14:05	1	98	エラー消去
						詳細

選択したジョブの履歴リストが表示されます。

■ 実行中リストや履歴リストのジョブの詳細を確認する

実行中リストに表示されている動作中ジョブや蓄積ジョブ、および履歴リストに表示されているジョブの下記詳細を確認できます。

〔プリント〕 タブの実行中リスト（動作中ジョブまたは蓄積ジョブのリスト）

- 状態：受信中、プリント待ち、プリント中、プリント停、プリントエラー、蓄積中、削除中
- ファイル名
- ユーザ名
- 登録時間
- 原稿枚数
- 部数
- 排紙先

〔プリント〕 タブの履歴リスト

- 実行結果：正常、終了、エラー消去、ユーザ消去、モード解除
- エラー詳細
- ファイル名
- ユーザ名
- 登録時間
- 原稿枚数
- 部数
- 排紙先

〔スキャナ送信〕 タブの実行中リスト

- 状態：送信中、送信待ち
- 宛先
- 送信種別
- ユーザ名
- 登録時間
- 原稿枚数
- ファイル名
- 宛先件数：分子／送信中ジョブ件数、分母／設定宛先件数（実行中リストの複数宛先へ送信ジョブのみ表示）

〔スキャナ送信〕 タブの履歴リスト

- 実行結果：正常終了、エラー消去、ユーザ消去
- エラー詳細
- 宛先
- 送信種別
- ユーザ名
- 登録時間
- 原稿枚数
- ファイル名

ジョブ確認画面
の概要

ジョブ確認画面
を操作する

第
8
章
ジョブ
確認

〔受信／保存〕タブの実行中リスト

- 状態：受信中、プリント待ち、プリント中、プリント停、プリントエラー、メモリ保存中
- 受信ボックス：ボックス番号／ボックス名
- ユーザ名
- 登録時間
- 原稿枚数
- 部数
- 排紙先
- ファイル名

〔受信／保存〕タブの履歴リスト

- 実行結果：正常終了、エラー消去、ユーザ消去、モード解除
- エラー詳細
- 受信ボックス：ボックス番号／ボックス名
- ユーザ名
- 登録時間
- 原稿枚数
- 部数
- 排紙先
- ファイル名

操作のしかた

1 タッチパネル画面の〔ジョブ確認〕を押します。

プリント機能の実行中リストが表示されていないときは、〔プリント〕タブを押します。

プリント機能の実行中リストが表示されます。

2 〔実行中リスト〕または〔履歴リスト〕を押します。

選択したリストが表示されます。

実行中リストを表示させたときは、手順③に進みます。

履歴リストを表示させたときは、手順④に進みます。

3 2つの実行中リストのうち、詳細確認したいジョブの種類を選択します。

〔蓄積ジョブ〕または〔動作中ジョブ〕を押します。

選択したジョブの実行中リストが表示されます。

4 詳細確認したいジョブボタンを選択し、〔詳細〕を押します。

〔↑〕、〔↓〕 を押し、ジョブボタンをスクロールさせ、確認したいジョブを探します。

任意のジョブボタンを押して反転させ、〔詳細〕 を押します。



ジョブボタンを間違えて選択したときは、正しいジョブボタンを押し直すか、間違えたボタンを再度押して選択を取り消してください。

No.	登録元	状態	プリント名	登録時間	原稿	部数
26	COPY	プリント待ち		05/01/14 16:19	1	0
27	COPY	プリント待ち		05/01/14 16:19	1	0
28	COPY	プリント待ち		05/01/14 16:19	1	0

No.	登録元	プリント名	登録時間	原稿	部数	実行結果
1556	COPY		05/11/20 09:42	1	9	ユーザ消去
1555	COPY		05/11/20 16:39	1	1	正常終了
1554	COPY		05/11/20 14:09	1	1	正常終了
1553	COPY		05/11/20 14:07	1	1	正常終了
1552	COPY		05/11/20 14:05	1	98	ユーザ消去

詳細確認画面が表示されます。

5 詳細を確認します。



実行中リストのジョブについては、詳細確認画面で削除することができます。詳細確認しているジョブを削除するときは、〔削除〕を押して、削除確認画面を表示させます。削除確認画面の〔はい〕を押します。

状態	プリント待ち	登録時間	2005/01/14 16:19
ファイル名		原稿枚数	1
		部数	0
ユーザ名	COPY	排出先	メイトレイ

6 詳細確認画面を閉じます。

ジョブ確認画面にもどるときは、〔閉じる〕を押します。

〔ジョブ確認〕を押す前の画面にもどるときは、〔終了〕または、操作パネルの【リセット】を押します。

ジョブ確認画面の概要

ジョブ確認画面を操作する

第8章
ジョブ確認

■ 実行中リストの動作中／蓄積ジョブの設定内容を確認する

実行中リストに表示されている動作中ジョブや蓄積ジョブの設定内容を確認できます。

操作のしかた

- 1 タッチパネル画面の〔ジョブ確認〕を押します。
プリント機能の実行中リストが表示されていないときは、〔プリント〕タブを押します。
プリント機能の実行中リストが表示されます。

- 2 2つの実行中リストのうち、設定内容を確認したいジョブを選択します。
〔蓄積ジョブ〕または〔動作中ジョブ〕を押します。
選択したジョブの実行中リストが表示されます。

- 3 確認したいジョブボタンを選択し、〔設定内容〕を押します。
〔↑〕、〔↓〕 を押し、ジョブボタンをスクロールさせ、確認したいジョブを探します。
任意のジョブボタンを押して反転させ、〔設定内容〕を押します。

詳しく説明します

ジョブボタンを間違えて選択したときは、正しいジョブボタンを押し直すか、間違えたボタンを再度押して選択を取り消してください。



選択したジョブの設定内容画面が表示されます。

4 設定内容を確認します。

〔←前画面〕左の数字は現在表示されている画面番号／総画面数を示しています。

〔←前画面〕、〔次画面→〕を押して設定内容画面を切り換えます。

下記画面は、一例です。設定内容画面の内容、画面数は、確認するジョブによって異なります。

詳しく説明します

設定内容画面の内容や画面数は、確認するジョブによって異なります。

5 設定内容画面を閉じます。

実行中リストにもどるときは、〔閉じる〕を押します。

〔ジョブ確認〕を押す前の画面にもどるときは、〔終了〕または、操作パネルの【リセット】を押します。

ジョブ確認画面の概要

ジョブ確認画面を操作する

第8章
ジョブ確認

■ 実行中リストの動作中／蓄積ジョブを削除する

実行中リストに表示される動作中ジョブや蓄積ジョブを削除できます。



ユーザ認証を行っていて、他のユーザがジョブを削除できない設定をしているときは、削除できません。詳細は、p. 15-36 をごらんください。

操作のしかた

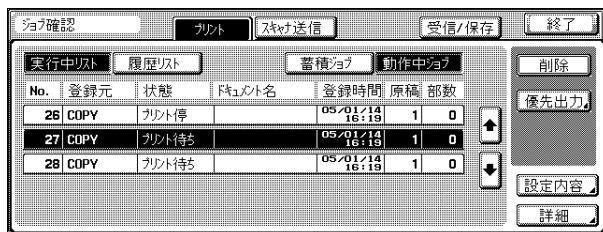
- 1 **タッチパネル画面の〔ジョブ確認〕を押します。**
プリント機能の実行中リストが表示されていないときは、〔プリント〕タブを押します。
プリント機能の実行中リストが表示されます。

- 2 **2つの実行中リストのうち、削除したいジョブの種類を選択します。**
〔蓄積ジョブ〕または〔動作中ジョブ〕を押します。
選択したジョブの実行中リストが表示されます。

- 3 **削除したいジョブボタンを選択し、〔削除〕を押します。**
〔↑〕、〔↓〕を押し、ジョブボタンをスクロールさせ、確認したいジョブを探します。
任意のジョブボタンを押して反転させ、〔設定内容〕を押します。



- ジョブボタンを間違えて選択したときは、正しいジョブボタンを押し直すか、間違えたボタンを再度押して選択を取り消してください。
- 詳細確認後に削除することもできます。詳しくは、p. 8-11 をごらんください。



削除確認画面が表示されます。

4 ジョブの内容を確認し、「はい」を押します。



詳しく説明します

削除を中断したいときは、削除確認画面の「いいえ」を押します。元のままの実行中リストにもどります。

ジョブが削除され、実行中リストにもどります。

5 ジョブ確認画面を閉じます。

〔ジョブ確認〕を押す前の画面にもどるときは、〔終了〕または、操作パネルの【リセット】を押します。

ジョブ確認画面の概要

ジョブ確認画面を操作する

第8章
ジョブ確認

■ 実行中リストの動作中ジョブの優先出力を設定する

プリント中のジョブの次にプリントするジョブを変更できます。



- 管理者設定でジョブ優先順位変更を禁止にしている場合、実行中リストのジョブ管理画面に〔優先出力〕は表示されず、優先出力の設定はできません。詳細は、p. 15-38 をご覧ください。
- 割り込み可能な設定のジョブがプリント中のときに優先出力を設定すると、プリントを中断して優先出力ジョブをプリントします。
中断されたジョブは、優先出力ジョブのプリントを完了すると、自動的にプリントを再開します。
- 割り込みコピー中、および優先出力中のジョブは割り込みできません。これら割り込み不可のジョブをプリント中に優先出力を設定した場合、現在のプリント完了後にプリントします。

操作のしかた

1

タッチパネル画面の〔ジョブ確認〕を押します。

プリント機能の実行中リストが表示されていないときは、〔プリント〕タブを押します。

プリント機能の実行中リストが表示されます。

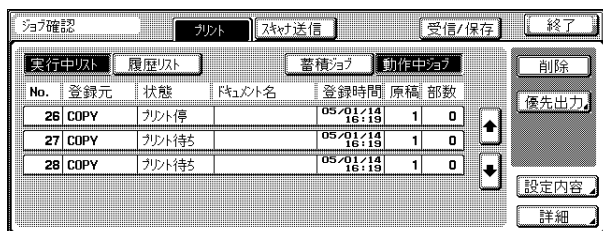
2

〔動作中ジョブ〕を押します。

動作中ジョブの実行中リストが表示されます。

3

〔優先出力〕を押します。

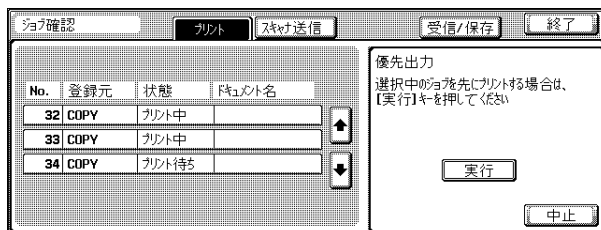


優先出力画面が表示されます。

4 優先出力画面のジョブリストから優先出力するジョブボタンを選択し、〔実行〕を押します。

〔↑〕、〔↓〕 を押し、ジョブボタンをスクロールさせ、確認したいジョブを探します。

任意のジョブボタンを押して反転させ、〔実行〕を押します。



選択したジョブボタンがリストの一番上に移動し、プリントを開始します。

優先出力のプリントが終了すると、実行中リストにもどります。

5 ジョブ確認画面を閉じます。

〔ジョブ確認〕を押す前の画面にもどるときは、〔終了〕または、操作パネルの【リセット】を押します。

詳しく説明します

- ジョブボタンを間違えて選択したときは、正しいジョブボタンを押し直すか、間違えたボタンを再度押して選択を取り消してください。
- 優先出力を中止するときは、〔中止〕を押します。優先出力画面を終了し、動作中ジョブの実行中リストにもどります。

ジョブ確認画面の概要

ジョブ確認画面を操作する

第8章
ジョブ確認

■ 実行中リストの蓄積ジョブを1部プリントして確認する

蓄積ジョブリストには、確認コピー中にオートリセットが機能したジョブや、ボックス機能の確認プリントジョブが表示されます。

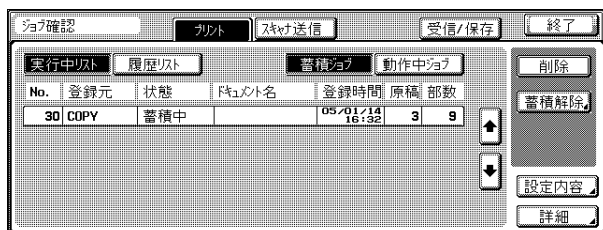
蓄積ジョブを1部プリントして、確認することができます。

操作のしかた

1 タッチパネル画面の〔ジョブ確認〕を押します。
プリント機能の実行中リストが表示されていないときは、〔プリント〕タブを押します。
プリント機能の実行中リストが表示されます。

2 〔蓄積ジョブ〕を押します。
蓄積ジョブの実行中リストが表示されます。

3 〔蓄積解除〕を押します。

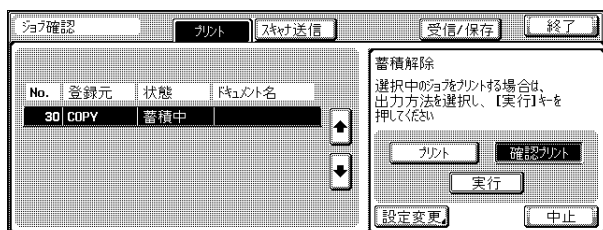


蓄積解除画面が表示されます。

4 ジョブリストから確認プリントするジョブボタンを選択し、〔確認プリント〕を押します。

〔↑〕、〔↓〕を押し、ジョブボタンをスクロールさせ、確認プリントしたいジョブを探します。

任意のジョブボタンを押して反転させ、〔確認プリント〕を押します。



詳しく説明します

- ジョブボタンを間違えて選択したときは、正しいジョブボタンを押し直すか、間違えたボタンを再度押して選択を取り消してください。
- 確認プリントの出力前に確認プリントを終了するときは、〔中止〕を押します。蓄積解除画面を終了し、蓄積ジョブの実行中リストにもどります。

- 5** **〔実行〕を押します。**
1 部プリントされます。



詳しく説明します

確認プリントを中止するときは、
操作パネルの【ストップ】を押
します。

- 6** **プリント結果を確認します。**

- 7** **ジョブ確認画面を閉じます。**
〔ジョブ確認〕を押す前の画面にもどるときは、〔終了〕
または、操作パネルの【リセット】を押します。

ジョブ確認画面
の概要

ジョブ確認画面
を操作する

第
8
章
ジョ
ブ
確
認

■ 実行中リストの蓄積ジョブの設定変更／プリントをする

蓄積ジョブリストには、確認コピー中にオートリセットが機能したジョブや、ボックス機能の確認プリントジョブが表示されます。

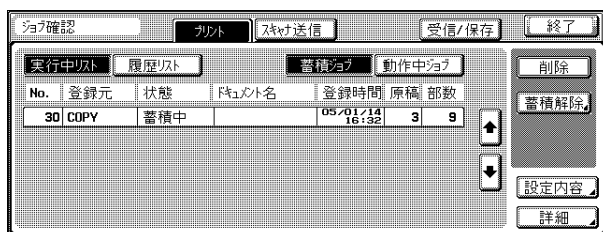
蓄積ジョブリストにあるジョブをプリントします。蓄積ジョブの設定内容を変更することができます。

操作のしかた

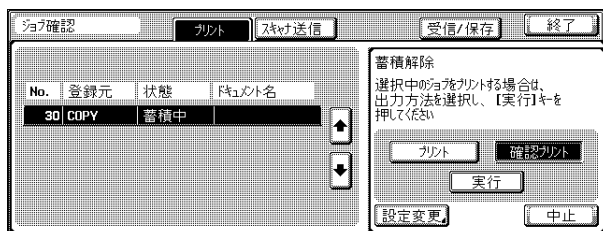
- 1 **タッチパネル画面の〔ジョブ確認〕を押します。**
プリント機能の実行中リストが表示されていないときは、〔プリント〕タブを押します。
プリント機能の実行中リストが表示されます。

- 2 **〔蓄積ジョブ〕を押します。**
蓄積ジョブの実行中リストが表示されます。

- 3 **〔蓄積解除〕を押します。**
蓄積解除画面が表示されます。



- 4 **ジョブリストから通常プリントするジョブボタンを押して、反転させます。**
〔↑〕、〔↓〕 を押し、ジョブボタンをスクロールさせ、プリントしたいジョブを探します。



詳しく説明します

- ジョブボタンを間違えて選択したときは、正しいジョブボタンを押し直すか、間違えたボタンを再度押して選択を取り消してください。
- プリントの出力前にプリントを終了するときは、〔中止〕を押します。蓄積解除画面を終了し、蓄積ジョブの実行中リストにもどります。

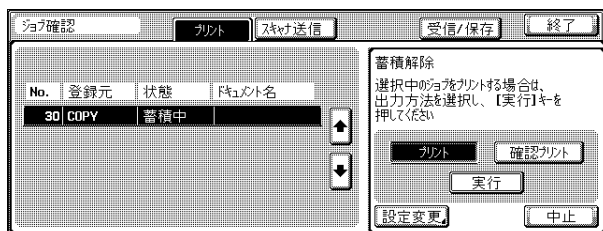
5 「プリント」を押します。

〔設定変更〕が表示されます。

選択した蓄積ジョブの設定内容を変更する場合は、手順⑥に進みます。

選択した蓄積ジョブの設定内容を変更しない場合は、手順⑨に進みます。

6 「設定変更」を押します。

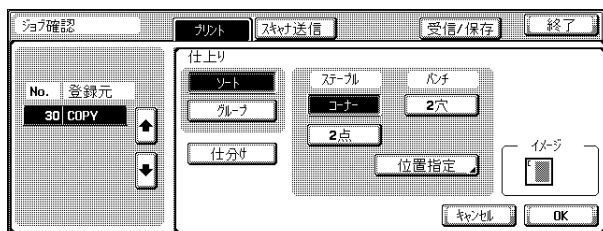
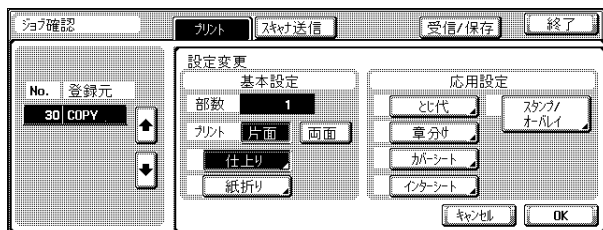


設定変更画面が表示されます。

7 設定変更します。

部数を変更するときは、操作パネルの【C】（クリア）を押して、テンキーで数値を入力します。

変更したい設定ボタンを押して、設定画面を表示させ、各設定画面で設定変更します。



〔キャンセル〕を押すと、設定は変更されません。

各設定画面の〔OK〕を押して、蓄積解除画面にもどします。

詳しく説明します

- 設定変更後、確認プリントができます。蓄積解除画面の〔確認プリント〕を押して反転させ、〔実行〕を押します。詳細は、p. 8-18「実行中リストの蓄積ジョブを1部プリントして確認する」をごらんください。
- 設定変更画面に表示されている以外の設定を変更することはできません。

ジョブ確認画面の概要

ジョブ確認画面を操作する

第8章
ジョブ確認

8 **〔実行〕を押します。**

蓄積ジョブは、動作中ジョブの実行中リストに表示が移り、プリントされます。



プリントを中止するときは、操作パネルの【ストップ】を押します。

9 **ジョブ確認画面を閉じます。**

〔ジョブ確認〕を押す前の画面にもどるときは、〔終了〕または、操作パネルの【リセット】を押します。

用紙・原稿について

第9章

本機で使用する用紙およびコピーをとる原稿の仕様について説明します。

用紙について	9-2
原稿について	9-11

用紙について

原稿について

用紙について

各装置によって、扱える用紙に制限があります。

■ 用紙をセット／処理／出力する装置

用紙をセットする装置には下記のものがあります。

- 本体給紙トレイ：第 1・2 給紙トレイ
- 本体手差しトレイ
- 給紙キャビネット PC-202：第 3・4 給紙トレイ
- 給紙キャビネット PC-402：第 3 給紙トレイ
- 大容量給紙ユニット LU-201

用紙にパンチ／ステープルなどの処理をし、出力積載する装置には下記のものがあります。

- 自動両面コピーユニット（本体内蔵）
- フィニッシャ FS-510（ステープルユニット内蔵）
- フィニッシャ FS-511（ステープル／パンチユニット内蔵）
- パンチユニット PU-501（フィニッシャ FS-510 に装着）
- 中綴じ機 SD-502（フィニッシャ FS-510 に装着）
- メールピンキット MT-501（フィニッシャ FS-510 に装着）
- 排紙トレイ OT-601（フィニッシャ FS-510 に装着）
- 排紙トレイ OT-501（フィニッシャ未装着機の本体に装着）
- セパレータ JS-502（フィニッシャ未装着機の本体に装着）

■ 使用できる用紙の坪量

用紙をセットする装置	坪 量
本体給紙トレイ（第 1・2 給紙トレイ）	60 ～ 90 g/m ²
給紙キャビネット PC-202（第 3・4 給紙トレイ）	
給紙キャビネット PC-402（第 3 給紙トレイ）	
大容量給紙ユニット LU-201	
手差しトレイ	50 ～ 210 g/m ² 91 ～ 210 g/m ² の用紙をセットしたときは、トレイを「厚紙」に設定 50 ～ 59 g/m ² の用紙をセットしたときは、トレイを「薄紙」に設定

用紙を処理／排出する装置	坪 量
自動両面コピーユニット	60 ～ 90 g/m ²
フィニッシャ FS-510	ソート、グループ：50 ～ 210 g/m ² ソート+仕分け、グループ+仕分け：56 ～ 90 g/m ² ステープル：56 ～ 90 g/m ²
フィニッシャ FS-510 + 中綴じ機 SD-502	中折り、中とじ：56 ～ 90 g/m ²
フィニッシャ FS-510 + パンチユニット PU-501	パンチ：60 ～ 130 g/m ²
フィニッシャ FS-510 + 排紙トレイ OT-601	50 ～ 210 g/m ²
メールピンキット MT-501	56 ～ 90 g/m ²
フィニッシャ FS-511	ソート、グループ：50 ～ 130 g/m ² ソート+仕分け、グループ+仕分け：50 ～ 130 g/m ² ステープル：60 ～ 90 g/m ² パンチ：60 ～ 90 g/m ²
排紙トレイ OT-501	50 ～ 210 g/m ²
セパレータ JS-502（下段）	
セパレータ JS-502（上段）	56 ～ 90 g/m ²

用紙について

原稿について

第 9 章
用紙・原稿について

■ セット／出力可能な用紙枚数

用紙をセットする装置	セットできる枚数
本体給紙トレイ（第 1・2 給紙トレイ）	550 枚（64 g/m ² 紙）
給紙キャビネット PC-202（第 3・4 給紙トレイ）	
給紙キャビネット PC-402（第 3 給紙トレイ）	2,500 枚（80 g/m ² 紙）
大容量給紙ユニット LU-201	2,100 枚（64 g/m ² 紙）
手差しトレイ	普通紙、薄紙：150 枚 厚紙：50 枚 OHP フィルム、官製はがき、ラベル紙、第 2 原紙：1 枚 封筒：10 枚

用紙を搬送／出力する装置	搬送／出力可能枚数
自動両面コピーユニット	搬送枚数に制限なし
フィニッシャ FS-510	詳細は、p. 9-5 をごらんください。
メールピンキット MT-501	各ピン 125 枚（80 g/m ² 紙）
フィニッシャ FS-511	トレイ 1 普通紙、再生紙：250 枚（60 ～ 90 g/m ² 紙）または高さ 36 mm 以内 厚紙、薄紙、OHP フィルム、封筒、第 2 原紙、ラベル用紙など：20 枚または高さ 36 mm 以内 トレイ 2 B4／8-1/2 x 14 以上の用紙サイズ：1,500 枚（80 g/m ² 紙）または高さ 187.5 mm 以内 A4／8-1/2 x 11 以下の用紙サイズ：3,000 枚（80 g/m ² 紙）または高さ 375 mm 以内
排紙トレイ OT-501	100 枚（60 ～ 90 g/m ² 紙）
セパレータ JS-502	100 枚（60 ～ 90 g/m ² 紙）

■ フィニッシャ FS-510 の積載制限枚数

フィニッシャ FS-510 にはオプション構成によって下記の 6 つのタイプがあります。

- 単体：排紙トレイ 2 つ
- 排紙トレイ OT-601 付き：排紙トレイ 3 つ
- 中綴じ機 SD-502 付き：中綴じ機トレイ + 排紙トレイ 2 つ
- 排紙トレイ OT-601 + 中綴じ機 SD-502 付き：中綴じ機トレイ + 排紙トレイ 3 つ
- メールピンキット MT-501 付き：メールピン + 排紙トレイ 2 つ
- 排紙トレイ OT-601 + メールピンキット MT-501 付き：メールピン + 排紙トレイ 3 つ

それぞれのタイプによって積載制限枚数が違います。下表をごらんください。表中の「枚数／枚数」は、「A4 または 8-1/2 x 11 以下の用紙サイズ／B4 または 8-1/2 x 14 以上の用紙サイズ」の積載制限枚数を表しています。

ステープル綴じ枚数は、最大 50 枚、中綴じステープルは最大 15 枚です（80 g/m² 紙）。ステープル綴じでの積載制限枚数は、ノンステープルの積載枚数を超えないようにしてください。

単体：排紙トレイ 2 つ

	トレイ 1	トレイ 2
ソート、グループ	200 枚	1000/500 枚
ソート + 仕分け、 グループ + 仕分け		
ステープル	200 枚または 20 部	1000/500 枚 または 100 部 / 50 部

排紙トレイ OT-601 付き：排紙トレイ 3 つ

	トレイ 1	トレイ 3	トレイ 2（増設トレイ）
ソート、グループ	200 枚	500/250 枚	200 枚
ソート + 仕分け、 グループ + 仕分け			
ステープル	200 枚または 20 部	500/250 枚 または 50 部 / 25 部	200 枚または 20 部

中綴じ機 SD-502 付き：中綴じ機トレイ + 排紙トレイ 2 つ

	トレイ 1	トレイ 2	中綴じ機トレイ
ソート、グループ	200 枚	500/250 枚	
ソート + 仕分け、 グループ + 仕分け			
ステープル	200 枚または 20 部	500/250 枚 または 50 部 / 25 部	
中とじ			200 枚（20 部）

用紙について

原稿について

第 9 章
用紙・原稿について

排紙トレイ OT-601 + 中綴じ機 SD-502 付き：中綴じ機トレイ + 排紙トレイ 3 つ

	トレイ 1	トレイ 3	トレイ 2 (増設トレイ)	中綴じ機トレイ
ソート、グループ	200 枚	200/100 枚	200 枚	
ソート + 仕分け、 グループ + 仕分け				
ステープル	200 枚または 20 部	200/100 枚 または 20 部 / 10 部	200 枚 または 20 部	
中とじ				200 枚 (20 部)

メールピンキット MT-501 付き：メールピン + 排紙トレイ 2 つ

	トレイ 1	トレイ 2	メールピン
ソート、グループ	200 枚	500/250 枚	500 枚
ソート + 仕分け、 グループ + 仕分け			
中とじ	200 枚または 20 部	500/250 枚 または 50 部 / 25 部	

排紙トレイ OT-601 + メールピンキット MT-501 付き：メールピン + 排紙トレイ 3 つ

	トレイ 1	トレイ 3	トレイ 2 (増設トレイ)	メールピン
ソート、グループ	200 枚	200/100 枚	200 枚	500 枚
ソート + 仕分け、 グループ + 仕分け				
ステープル	200 枚または 20 部	200/100 枚 または 20 部 / 10 部	200 枚 または 20 部	

■ セット／処理／出力可能な用紙サイズ

用紙をセットする装置	セット可能サイズ
本体給紙トレイ（第1・2給紙トレイ）	A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □、11 x 17 □、8-1/2 x 11 □
給紙キャビネット PC-202（第3・4給紙トレイ）	
給紙キャビネット PC-402（第3給紙トレイ）	A4 □
大容量給紙ユニット LU-201	A4 □
手差しトレイ	定形サイズ：A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □、B6 □、8-1/2 x 11 □、官製はがき □ 不定形サイズ：92 mm x 148 mm □ ~ 297 mm x 431.8 mm □

用紙を処理／排出する装置	処理／排出可能サイズ
自動両面コピーユニット	定形サイズ：A3 □ ~ A5 □、11 x 17 □ ~ 5-1/2 x 8-1/2 □ 不定形サイズ：139.7 mm x 176.0 mm □ ~ 311.1 mm x 457.2 mm □
フィニッシャ FS-510（排紙トレイ OT-601 も同じ）	ソート、グループ： 定形サイズ：A3 □ ~ A5 □、B6 □、11 x 17 □、8-1/2 x 11 □/□、官製はがき □ 不定形サイズ：100 mm x 139.7 mm □ ~ 297 mm x 431.8 mm □ ソート+仕分け、グループ+仕分け： 定形サイズ：A3 □ ~ B5 □/□、11 x 17 □、8-1/2 x 11 □/□ 不定形サイズ：182 mm x 139.7 mm □ ~ 297 mm x 431.8 mm □ ステーブル： 定形サイズ：A3 □ ~ B5 □/□、11 x 17 □、8-1/2 x 11 □/□ 不定形サイズ：182 mm x 139.7 mm □ ~ 297 mm x 431.8 mm □
フィニッシャ FS-510 + 中綴じ機 SD-502	中折り／中とじ： 定形サイズ：A3 □、B4 □、A4 □、B5 □、11 x 17 □、8-1/2 x 11 □/□ 不定形サイズ：182 mm x 257 mm □ ~ 297 mm x 431.8 mm □
フィニッシャ FS-510 + パンチユニット PU-501	パンチ： 定形サイズ：A3 □ ~ B5 □/□、A5 □、B6 □、11 x 17 □、8-1/2 x 11 □/□
メールピンキット MT-501	定形サイズ：A4 □、B5 □、A5 □、 不定形サイズ：139.7 mm x 182 mm □ ~ 297 mm x 216 mm □

用紙について

原稿について

第9章
用紙・原稿について

用紙を処理／排出する装置	処理／排出可能サイズ
フィニッシャ FS-511	ソート、グループ： 定形サイズ：A3 □ ～ B5 □/□、A5 □、B6 □、11 x 17 □、8-1/2 x 11 □/□、官製はがき □（トレイ 1 のみ） 不定形サイズ：100 mm x 139.7 mm □ ～ 314 mm x 457.2 mm □ （ソート+仕分け、グループ+仕分け： 定形サイズ：A3 □ ～ B5 □/□、11 x 17 □、8-1/2 x 11 □/□ 不定形サイズ：182 mm x 182 mm ～ 314 mm x 457.2 mm □ ステープル： 定形サイズ：A3 □ ～ B5 □/□、11 x 17 □、8-1/2 x 11 □/□ 不定形サイズ：182 mm x 182 mm ～ 297 mm x 431.8 mm □ パンチ： 定形サイズ：A3 □ ～ B5 □/□、11 x 17 □、8-1/2 x 11 □/□
排紙トレイ OT-501	100 mm x 148 mm □ ～ 314 mm x 457.2 mm □
セパレータ JS-502	



給紙キャビネット PC-402 と大容量給紙ユニット LU-201 にセットする用紙サイズを、A4□ から 8.5x11□ 変更することができます。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

■ 自動トレイ切換機能

連続プリント中、選択した給紙トレイの用紙が無くなった場合、以下の動作条件を満たした給紙トレイが他にあれば、自動的に給紙トレイを切り換えてプリントを続けます。オプションの大容量給紙ユニットを装着している場合、最大 5,850 枚の連続プリントが可能になります。

ユーザ設定の「1 環境設定 > 3 給紙トレイ設定」で下記の設定をします。

- 「1 用紙種類設定」で同じ用紙種類を設定
- 「2 給紙トレイ自動選択」で自動用紙機能が働いたとき自動選択の対象になるトレイを設定
このとき、切換順位を設定できます。
- 「3 ATS 許可」で「許可する」を設定

給紙トレイに下記の用紙をセットします。

- 同じサイズ of 用紙を同じ向きにセット
- 同じ種類の用紙をセット

■ 専用紙について

OHP フィルム、厚紙、色紙など普通紙以外の用紙を給紙トレイにセットするとき、その給紙トレイに 10 種類の専用紙から任意の用紙種類を設定します。専用紙をセットした給紙トレイとして設定されると、自動用紙または自動トレイ切換え機能が働いても、その給紙トレイから用紙を自動的に給紙しなくなります。

No. 1 ～ 6 の用紙種類は、手差しトレイにのみ設定できます。

手差しトレイの用紙設定に関しては、p. 3-24 「用紙種類を設定する」をごらんください。

ユーザ設定による給紙トレイの用紙設定に関しては、p. 14-7 をごらんください。

No	用紙種類／アイコン	説 明
1	厚紙 	坪量 91 g/m ² ～ 200 g/m ² の厚手の用紙をセットするときに選択します。
2	薄紙 	坪量 50 g/m ² ～ 59 g/m ² の薄手の用紙をセットするときに選択します。
3	OHP 	OHP フィルムをセットするときに選択します。
4	封筒 	封筒をセットするときに選択します。
5	ラベル紙 	ラベル紙をセットするときに選択します。
6	第 2 原紙 	第 2 原紙をセットするときに選択します。
7	ユーザ紙 	本機で設定できる用紙種類以外の用紙をセットするときに選択します。サービス実施店にお問い合わせください。
8	再生紙 	再生紙をセットするときに選択します。
9	色紙 	色紙をセットするときに選択します。
10	レターヘッド紙 	あらかじめ社名や定型文がプリントされた用紙をセットするときに選択します。

■ 使用できない用紙

下記の用紙は使用しないでください。プリント品質の低下や紙づまり、機械故障の原因になります。

- 一度通紙した OHP フィルム（白紙状態で排紙された OHP フィルムも使用できません。）
- 熱転写プリンタやインクジェットプリンタでプリントされた用紙
- 厚すぎる用紙や薄すぎる用紙
- 折目、反り、しわ、破れのある用紙
- 開封後長期間経過した用紙
- 吸湿した用紙、バインダー用の穴が開いている用紙、ミシン目のある用紙
- 表面が滑らかすぎる用紙、表面が粗すぎる用紙、表面がー様でない用紙
- カーボン紙、感熱紙、感圧紙、インクジェットプリンタ用の用紙のような表面が加工された用紙
- 箔押し、エンボスなどの加工が施されている用紙
- 形が不規則の用紙（長方形でない用紙）
- のり、ステーブル、クリップなどでとじられている用紙
- ラベルが貼られている用紙
- リボンやフック、ボタンなどが付いている用紙

■ 用紙の保管

用紙を保管するときは、以下のことにご注意ください。

- 用紙は、湿気の少ない冷暗所に保管してください。
- 用紙が湿気をおびると、紙づまりの原因になります。
給紙トレイにセットしきれなかった用紙は、包装紙に包み、包装紙から取り出した用紙はポリ袋に入れ、湿気の少ない冷暗所に保管してください。
- 用紙は、立てておかずに水平にして保管してください。用紙を立てておくと、用紙にカールが付いて、紙づまりの原因になります。
- 幼児や子供の手の届くところには置かないようにしてください。

原稿について

コピーするときは、原稿を ADF または原稿ガラスにセットします。
ADF にセットできない原稿は、原稿ガラスにセットしてコピーしてください。

■ ADF にセットできない原稿

下記のような原稿を ADF にセットしないでください。このような原稿を ADF にセットしてコピーすると、原稿づまりを起こして原稿を傷めることがあります。また、ADF の故障の原因になります。

- しわ、折れ、カール、破れなどのひどい原稿
- OHP フィルム、第 2 原紙などの透明度の高い原稿
- カーボン紙などの表面がコーティング処理されている原稿
- 129 g/m² 以上の厚紙原稿
- 35g/m² 未満の薄紙原稿
- 両面コピー時の 50 g/m² 未満の薄紙原稿
- クリップ、ステーブルなどでとじられた原稿
- 本など製本されている原稿
- のりなどで貼り合わせている原稿
- 切り取りや切り抜きのある原稿
- ラベル紙
- オフセットマスター
- とじ穴の開いた原稿
- 本機でプリントした直後の原稿

■ ADF にセットする原稿

ADF を使用する場合、原稿の形状によって下記のいずれかの設定でコピーします。ADF に原稿をセットすると、セットした時点で原稿サイズを自動検出し、自動検出可能なサイズの場合は、自動用紙の機能によって自動的に用紙を選択します。

各設定によって原稿の厚み、サイズなどに制限があります。

- 通常設定
- 混載原稿設定

通常設定

項 目	説 明
原稿坪量	片面原稿：35 g/m ² ～ 128 g/m ² 両面原稿：50 g/m ² ～ 128 g/m ²
セット可能原稿サイズ	128 mm x 139.7 mm ～ 297 mm x 431.8 mm
自動検出サイズ	A3□、B4□、A4 □/□、B5 □/□、A5 □/□、B6 □、11 x 17 □、8-1/2 x 11 □/□
原稿カール	10 mm 以内
原稿セット容量	80 枚以内（80 g/m ² 紙）または積載高さ 11 mm 以内

用紙について

原稿について

第 9 章
用紙・原稿について

混載原稿設定

サイズの異なる定形サイズの前稿を自動検出してコピーすることができます。

項 目	説 明
原稿坪量	片面原稿：35 g/m ² ～ 128 g/m ² 両面原稿：50 g/m ² ～ 128 g/m ²
自動検出サイズ	混載可能な原稿サイズの組み合わせは、ADF ガイド板の開き幅で決まります。 A3□ / A4 □ の開き幅：A3□、B4□、A4 □/□、B5 □ B4□ / B5 □ の開き幅：B4□、A4 □、B5 □/□、A5 □ B5□ の開き幅：B5 □、A5 □ A4□ / A5 □ の開き幅：A4 □、B5 □、A5 □ A5□ の開き幅：A5 □、B6 □
原稿カール	10 mm 以内
原稿セット容量	80 枚以内（80 g/m ² 紙）または積載高さ 11 mm 以内

Z 折れ原稿設定

項 目	説 明
原稿坪量	片面原稿：35 g/m ² ～ 128 g/m ² 両面原稿：50 g/m ² ～ 128 g/m ²
セット可能原稿サイズ	128 mm x 139.7 mm ～ 297 mm x 431.8 mm
自動検出サイズ	A3□、B4□、A4 □/□、B5 □/□、A5 □/□、B6 □、11 x 17 □、8-1/2 x 11 □/□
原稿カール	10 mm 以内
原稿セット容量	80 枚以内（80 g/m ² 紙）または積載高さ 11 mm 以内

■ 原稿ガラスにセットする原稿

ADF にセットできない原稿をコピーするときや、ADF を使用してコピーできない設定をしたとき、原稿を原稿ガラスにセットします。

原稿ガラスに原稿をセットし ADF を閉じると、原稿サイズを自動検出し、自動検出可能なサイズのときは、自動用紙の機能によって自動的に用紙を選択します。

項 目	説 明
原稿種類	シート、ブック（見開き）、立体物
セット可能原稿サイズ	128 mm x 139.7 mm ~ 297 mm x 431.8 mm
自動検出サイズ	A3□、B4□、A4 □/□、B5 □/□、A5 □、B6 □、官製はがき □、11 x 17 □、8-1/2 x 11 □/□、5-1/2 x 8-1/2 □
最大原稿質量	6.8 kg
最大原稿厚み	30 mm

原稿ガラスにセットする原稿についての注意事項を下記に説明します。

- インチサイズ of 原稿（11 x 17、8-1/2 x 14、8-1/2 x 11 など）は、サイズを自動検出しません。サービス技術者による設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。
- 自動検出できない不定形の原稿をセットしたときは、自動用紙や自動倍率の機能を使用できません。給紙トレイを選択して、コピーする用紙を手動で選択してください。
- OHP フィルムや第 2 原紙などの透明度の高い原稿をセットした場合、原稿サイズを自動検出できないことがあります。原稿を同じサイズの白紙を上重ねてセットしてください。
- 質量が 6.8 kg を超える重い原稿は、原稿ガラス上に置かないでください。原稿ガラスを破損するなど機械故障の原因になります。
- 厚手の本などをセットした場合、強い力で押さえつけないでください。原稿ガラスを破損するなど機械故障の原因になります。

トナーやステープル針の補給方法、およびパンチくずの処理方法を説明します。

「用紙を補給してください」と表示されたら.....	10-2
トナーを補給する.....	10-3
ステープル針を補給する.....	10-9
パンチくずを処理する.....	10-23

「用紙を補給
してください」

トナーを
補給する

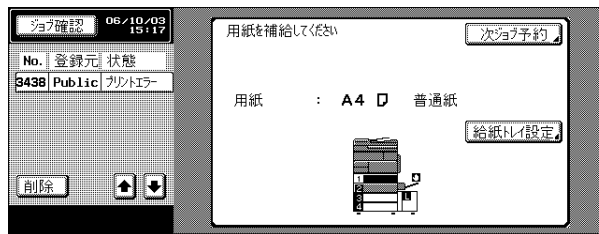
ステープル針
を補給する

パンチくずを
処理する

「用紙を補給してください」と表示されたら

コピー中、またはプリント終了後、給紙トレイに用紙がなくなったとき、「用紙を補給してください」というメッセージ画面が表示されます。

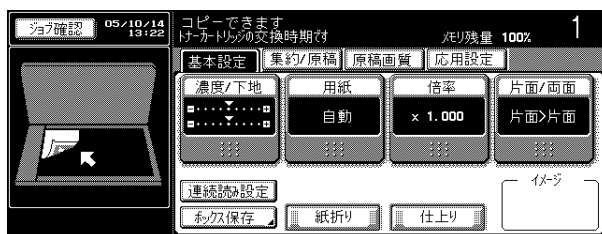
反転表示されている給紙トレイを確認して用紙を補給してください。



- 第1・2 給紙トレイに補給するときは、p. 2-46 をごらんください。
- 給紙キャビネット PC-202 に補給するときは、p. 2-46 をごらんください。
- 給紙キャビネット PC-402 に補給するときは、p. 2-48 をごらんください。
- 大容量給紙ユニット LU-201 に補給するときは、p. 2-51 をごらんください。
- 手差しトレイに補給するときは、p. 2-53 をごらんください。

トナーを補給する

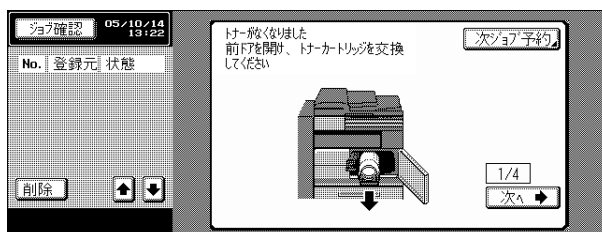
トナーカートリッジ内のトナーが無くなると、下図の通知メッセージが表示されます。トナーカートリッジの交換を行ってください。p. 10-5 をごらんください。



詳しく説明します

「トナーカートリッジの交換時期です」のメッセージが表示されている間は、多少のコピーがとれます。「トナーがなくなりました」が表示されると、機械は停止しコピーできなくなります。「トナーカートリッジの交換時期です」が表示されたら、トナーカートリッジを交換することをお勧めします。

トナーがなくなると、下図の画面が表示され、コピーできなくなります。



「用紙を補給してください」

トナーを補給する

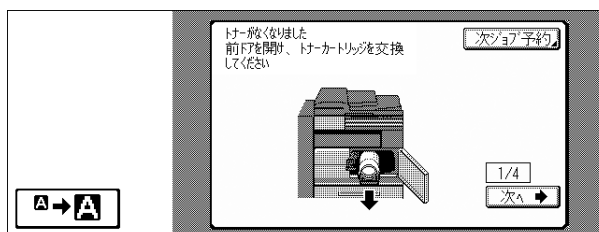
ステープル針を補給する

パンチくずを処理する

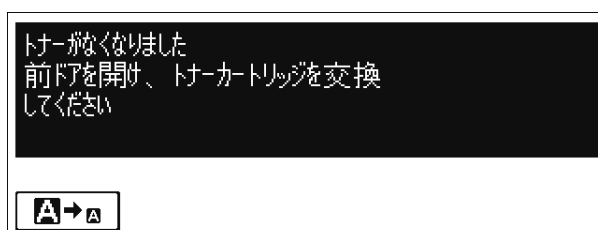
第10章
補給・くず処理

■ 拡大表示機能時のトナー補給表示

拡大表示機能を使用しているときにトナーがなくなると、下図の画面が表示されます。



 ボタンを押すと、メッセージが拡大表示されます。



⚠ 警告

トナーおよびトナーカートリッジを絶対に火中に投じないでください！

トナーやトナーカートリッジは、使用済みのトナーカートリッジも含めて、火中に投げるとトナーが飛び散り、やけどをする恐れがあり、とても危険です。

→ 使用済みのトナーカートリッジは、サービス実施店が回収します。

⚠ 注意

トナーカートリッジの保管や取扱いに注意！

トナーを大量に吸ったり、目に入ったりすると、健康を害します。

- トナーカートリッジは、子供の手の届かないところに保管してください。
- トナーで本体内部、衣服や手を汚さないように注意して取り扱ってください。
- トナーで手を汚してしまった場合は、水や中性洗剤で洗い流してください。
- 目に入ってしまった場合は、すぐに水で洗い流し、医師の診断を受けるようにしてください。

■ トナーカートリッジを交換する

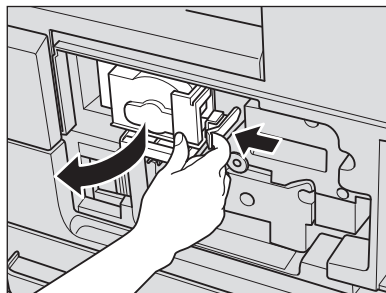


- トナーカートリッジカバーにトナーカートリッジ番号が記載されたラベルが貼られています。その番号と同じ番号のトナーカートリッジをご使用ください。異なる番号のトナーカートリッジを使用すると、故障の原因になります。
- 使用済みのトナーカートリッジは、新しいトナーカートリッジについていたキャップをし、梱包箱に入れてサービス実施店にお渡しください。

1

本体前ドアを開き、トナーカートリッジカバーを開きます。

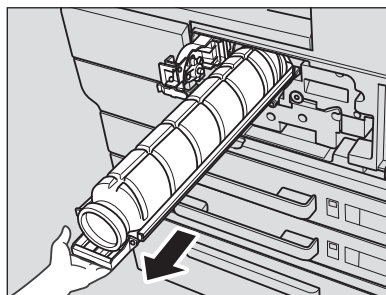
トナーカートリッジカバーを開けるときは、トナーカートリッジカバーのロックを外します。



2

トナーカートリッジホルダを引き出します。

トナーカートリッジホルダの取手を持って、トナーカートリッジホルダが止まるまで手前に引き出します。



「用紙を補給してください」

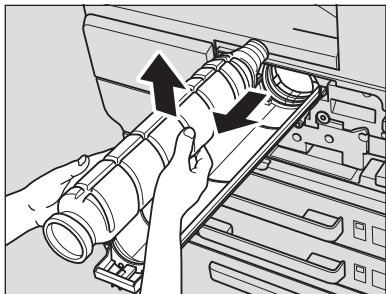
トナーを補給する

ステープル針を補給する

パンチくずを処理する

補給・くず処理
第10章

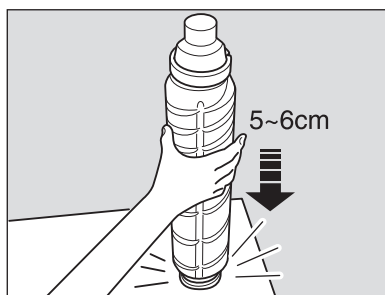
- 3** 使用済みのトナーカートリッジを手前に持ち上げて取り出します。



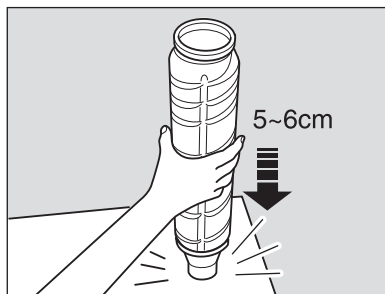
- 4** 新しいトナーカートリッジホルダの底面を、約 5 ～ 6 cm の高さから固い面に落とします。

新しいトナーカートリッジを梱包箱から取り出します。

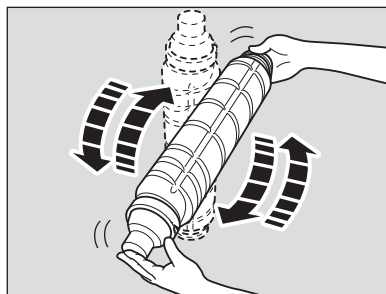
トナーが新しいトナーカートリッジ内で固まっていることがあります。必ず手順**4**～**6**の作業を行い、トナーをほぐしてからトナーカートリッジを交換してください。



- 5** 新しいトナーカートリッジホルダの上面を、約 5 ～ 6 cm の高さから固い面に落とします。

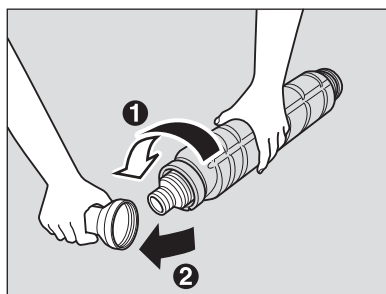


- 6** 新しいトナーカートリッジホルダを、5 回ほど天地が逆になるように振ります。



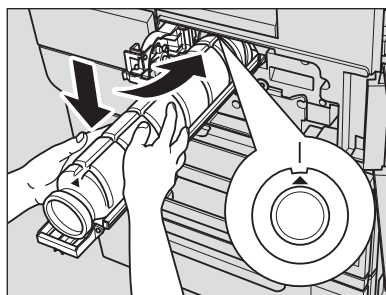
- 7** 新しいトナーカートリッジホルダのキャップを取り外します。

取り外したキャップは使用済みのトナーカートリッジに取り付け、梱包箱に入れます。



- 8** 向きに注意して新しいトナーカートリッジの奥側を先にトナーカートリッジホルダにセットします。

トナーカートリッジの▼マークを上に向けてセットします。▼マークを上に向けてセットしないと、トナーカートリッジホルダが完全に押し込められません。



「用紙を補給してください」

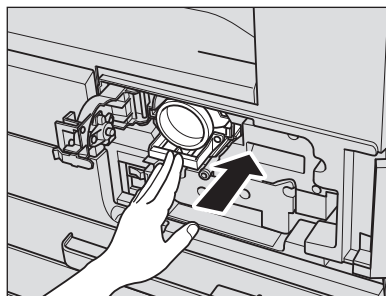
トナーを補給する

ステープル針を補給する

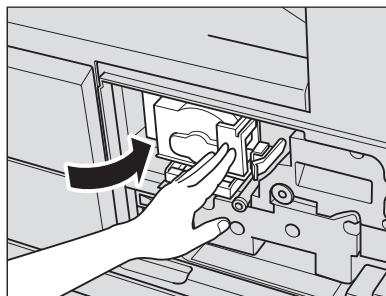
パンチくずを処理する

補給・くず処理
第10章

- 9** トナーカートリッジホルダを元の位置に押し込みます。



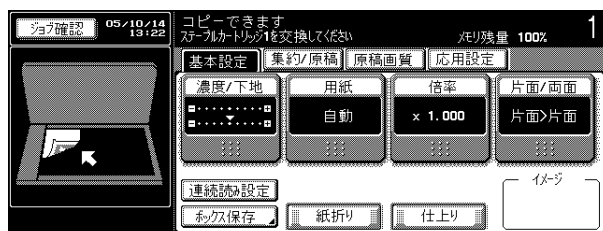
- 10** トナーカートリッジカバーを閉じ、本体前ドアを閉じます。



ステープル針を補給する

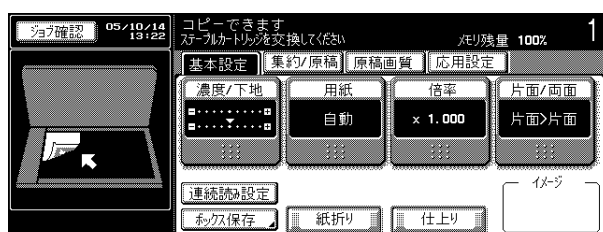
フィニッシャ FS-511 を装着している場合、ステープル針がなくなると、下図のメッセージが表示されます。

フィニッシャ FS-511 のステープルカートリッジの交換方法は、p. 10-11 をごらんください。



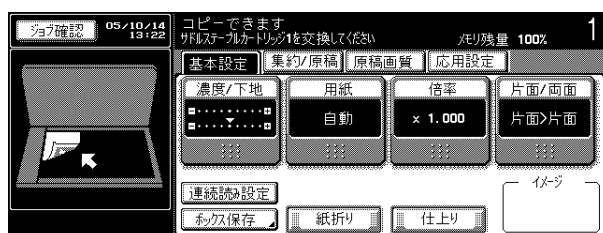
フィニッシャ FS-510 を装着している場合、ステープル針がなくなると、下図のメッセージが表示されます。

フィニッシャ FS-510 のステープルカートリッジの交換方法は、p. 10-15 をごらんください。



フィニッシャ FS-510 に装着している中綴じ機 SD-502 のステープル針がなくなると、下図のメッセージが表示されます。

中綴じ機 SD-502 のステープルカートリッジの交換方法は、p. 10-19 をごらんください。



ステープルカートリッジの交換は、必ず交換のメッセージが表示されてから行ってください。メッセージが表示される前にステープルカートリッジを取り外すと故障の原因になります。

「用紙を補給してください」

トナーを補給する

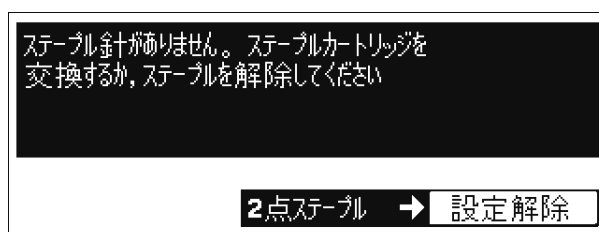
ステープル針を補給する

パンチくずを処理する

補給・くず処理
第10章

■ 拡大表示機能時のステープル針補給表示

拡大表示機能を使用しているときにステープルがなくなると、下図の画面が表示されます。



■ フィニッシャ FS-511 のステープル針を補給する

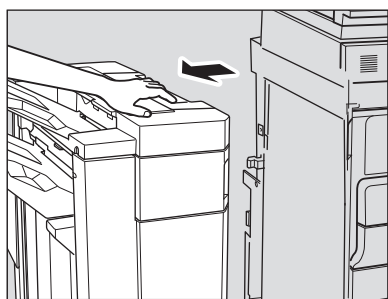


ステープルカートリッジの交換は必ずメッセージが表示されたあとに行ってください。メッセージが表示される前にステープルカートリッジを取り外すと、故障の原因になります。

1

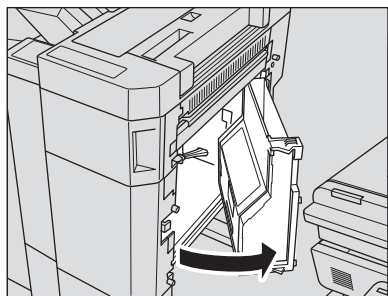
フィニッシャ本体を左へスライドさせます。

フィニッシャ上面の引出し取手を持って左へゆっくり止まるまでスライドさせます。



2

フィニッシャ右ドア FN7 を開きます。



「用紙を補給
してください」

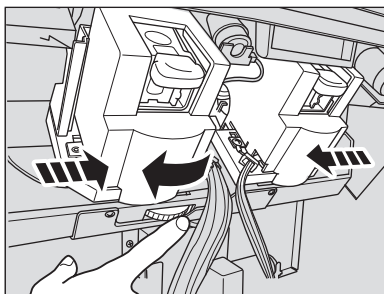
トナーを
補給する

ステープル針
を補給する

パンチくずを
処理する

第10章
補給・くず処理

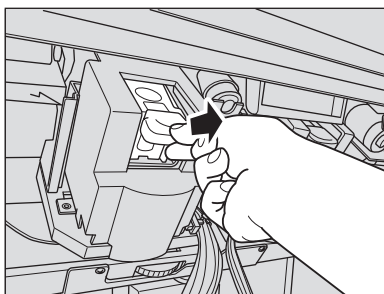
- 3** ダイアルを左側に回し、2つのステープラを中央に移動させます。



- 4** ステープラ 1 またはステープラ 2 からステープルホルダを手前に引き出します。

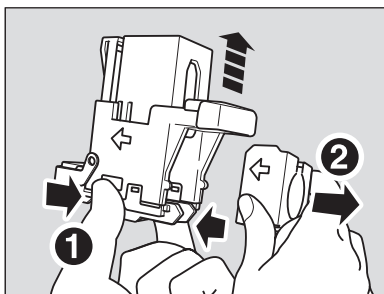
どちらのステープルホルダを引き出すかは、メッセージでご確認ください。

ステープルカートリッジ 1: 奥側、ステープルカートリッジ 2: 手前側



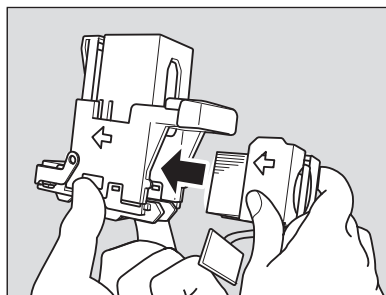
- 5** 空になったステープルカートリッジを取り出します。

ステープルホルダの「PUSH」(2カ所)を押して、ステープルケースを引き上げ、ステープルホルダ内のステープルカートリッジを取り出します。

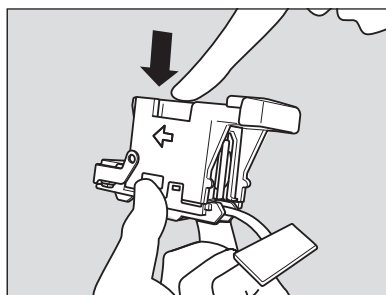


6 新しいステープルカートリッジをステープラホルダにセットします。

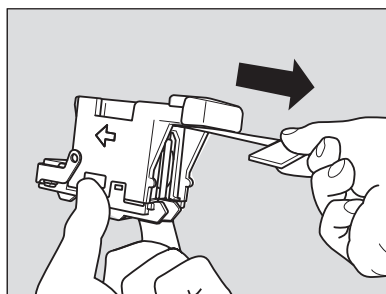
ステープルカートリッジは、ステープルホルダの奥まで確実に押し込みます。



7 ステープルケースを元の位置に押しもどします。



8 ステープルカートリッジのロックテープを引き抜きます。



「用紙を補給
してください」

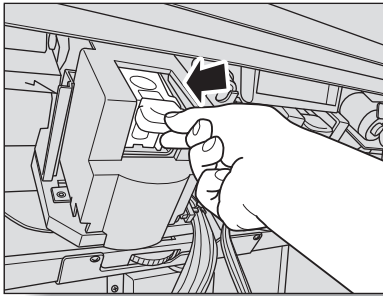
トナーを
補給する

ステープル針
を補給する

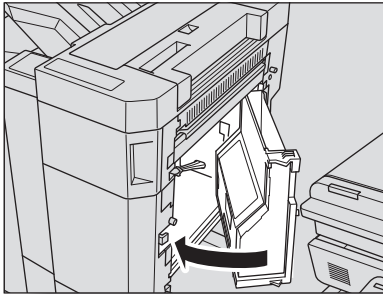
パンチくずを
処理する

補給・
くず処理
第10章

- 9** ステープルホルダをステープラに“カチッ”と音がするまで押し込みます。



- 10** フィニッシャ右ドア FN7 を閉じます。

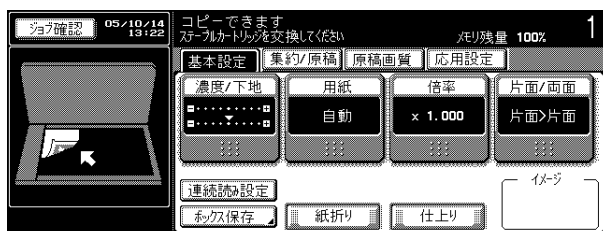


- 11** フィニッシャをゆっくり右にスライドさせ、元の位置にもどします。



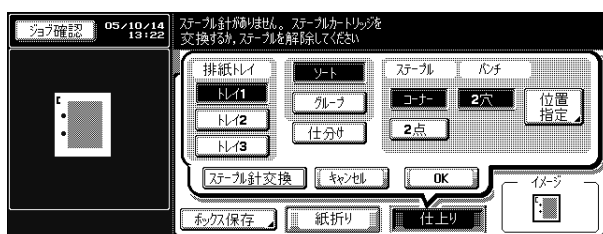
■ フィニッシャ FS-510 のステープル針を補給する

1 基本設定画面の〔仕上り〕を押します。



〔ステープル針交換〕が表示された仕上り画面が表示されます。

2 〔ステープル針交換〕を押します。



ステープルカートリッジを交換するときは、ステープラを手前側に自動的に移動させるため、〔ステープル針交換〕を押します。

通常、フィニッシャ奥側にあるステープラが手前側に移動します。

移動が完了すると、ステープラ移動完了画面が表示されます。

3 ステープラ移動完了画面の表示を確認し、フィニッシャ前ドアを開きます。

ステープラ移動中画面



この画面が表示されているときにフィニッシャ前扉を開かないでください。

「用紙を補給してください」

トナーを補給する

ステープル針を補給する

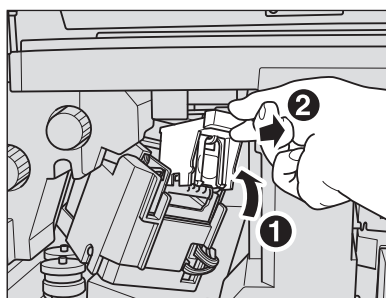
パンチくずを処理する

補給・くず処理
第10章

ステープラ移動完了画面

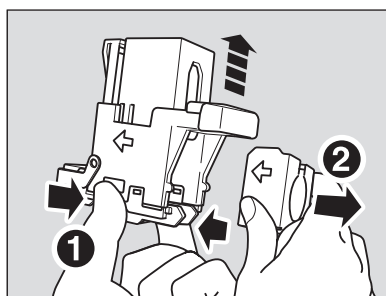


4 ステープラからステープルホルダを手前に引き出します。



5 空になったステープルカートリッジを取り出します。

ステープルホルダの「PUSH」（2カ所）を押して、ステープルケースを引き上げ、ステープルホルダ内のステープルカートリッジを取り出します。

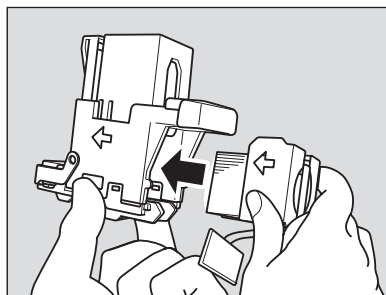


必ず守ってください

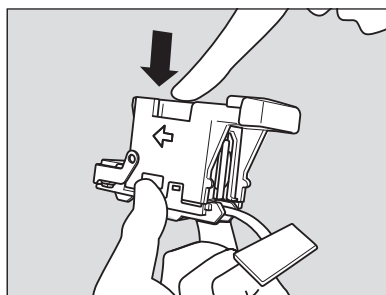
ステープルカートリッジの交換は必ずメッセージが表示されたあとに行ってください。メッセージが表示される前にステープルカートリッジを取り外すと、故障の原因になります。

6 新しいステープルカートリッジをステープルホルダにセットします。

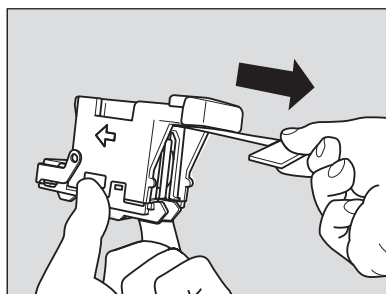
ステープルカートリッジは、ステープルホルダの奥まで確実に押し込みます。



7 ステープルケースを元の位置に押しもどします。



8 ステープルカートリッジのロックテープを引き抜きます。



「用紙を補給
してください」

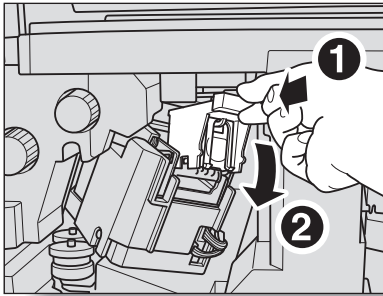
トナーを
補給する

ステープル針
を補給する

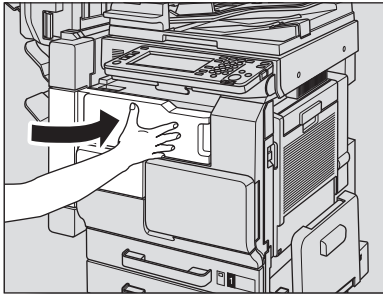
パンチくずを
処理する

第10章
補給・くず処理

- 9** ステープルホルダをステープラに“カチッ”と音がするまで押し込みます。



- 10** フィニッシャ前ドアを閉じます。

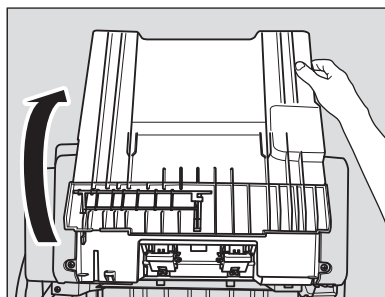


ステープラが元の位置にもどり、基本設定画面にもどります。

■ 中綴じ機 SD-502 のステープル針を補給する

1 中綴じ機の排紙トレイを上方に開き、保持します。

中綴じ機の排紙トレイは、上に開いた状態のままにできません。手を放すと勢いよく閉じられて思わぬ事故になることがあります。ご注意ください。



中綴じ機の下側にある排紙トレイ1の補助トレイが引き出されている場合、以後の作業の妨げになったり、機械故障の原因になりますので、押し込んでください。

2 ステープルホルダを取り出します。

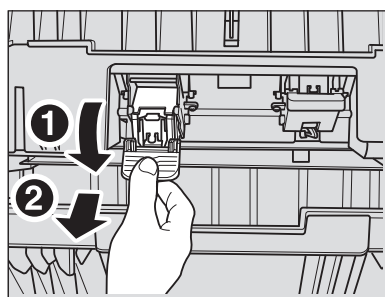
空になったステープルホルダを下に押し込み、手前に引き出します。

どちらのステープルホルダを引き出すかは、メッセージでご確認ください。

サドルステープルカートリッジ 1: 奥側

サドルステープルカートリッジ 2: 手前側

保持していた中綴じ機の排紙トレイを静かに元の位置にもどします。



「用紙を補給してください」

トナーを補給する

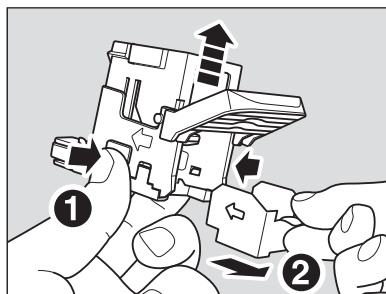
ステープル針を補給する

パンチくずを処理する

第10章
補給・くず処理

3 空になったサドルステープルカートリッジを取り出します。

サドルステープルホルダの「PUSH」(2 カ所) を押して、ステープルケースを引き上げ、ステープルホルダ内のサドルステープルカートリッジを取り出します。

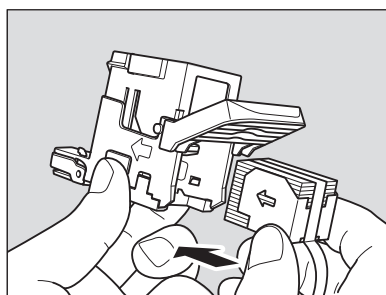


詳しく説明します

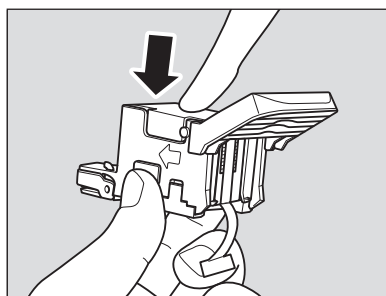
ステープルカートリッジの交換は必ずメッセージが表示されたあとに行ってください。メッセージが表示される前にステープルカートリッジを取り外すと、故障の原因になります。

4 新しいサドルステープルカートリッジをステープルホルダにセットします。

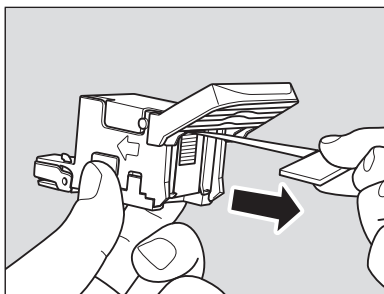
サドルステープルカートリッジは、ステープルホルダの奥まで確実に押し込みます。



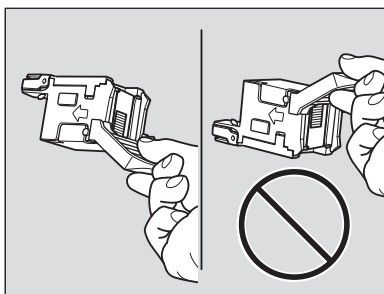
5 ステープルケースを元の位置に押しもどします。



6 サドルステープルカートリッジのロックテープを引き抜きます。

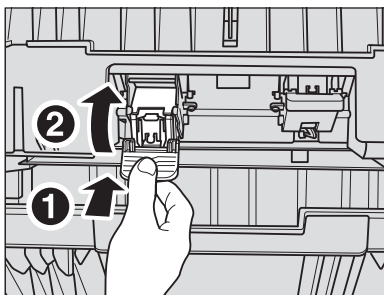


7 ステープルホルダを元の位置に取り付けます。 ステープルホルダを図のように持ちます。



中綴じ機の排紙トレイを上方に開いて保持しながら、ステープルホルダを元の位置に押し込み、“カチッ”と音がするまで上に上げます。

保持していた中綴じ機の排紙トレイを静かに元の位置にもどします。



「用紙を補給してください」

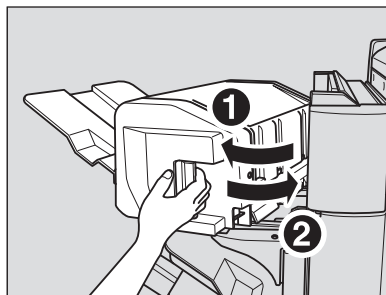
トナーを補給する

ステープル針を補給する

パンチくずを処理する

第10章
補給・くず処理

8 中綴じ機を開閉します。

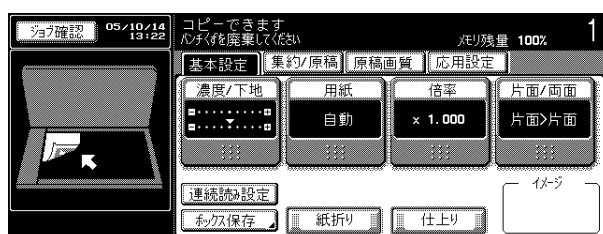


中綴じ機の開閉により、リセットされ、再び中としステープルができるようになります。

パンチくずを処理する

フィニッシャ FS-511 は、パンチくずがいっぱいになっても通知メッセージは表示されません。パンチを行う前にパンチくず量を確認し、必要な場合は、パンチくずを捨ててください。パンチくずの処理方法は、p. 10-23 をごらんください。

フィニッシャ FS-510 に装着されたオプションのパンチユニット PU-501 のパンチくず箱にパンチくずがいっぱいになると、下記のメッセージが表示されてパンチできなくなります。パンチくずを捨ててください。パンチくずの処理方法は、p. 10-25 をごらんください。



■ フィニッシャ FS-511 のパンチくずを処理する

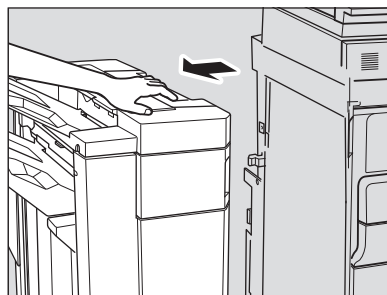


パンチくずがいっぱいになっても通知メッセージは表示されません。パンチを行う前にパンチくず量を確認し、必要な場合は、パンチくずを捨ててください。

1

フィニッシャ本体を左へスライドさせます。

フィニッシャ上面の引出し取手を持って左へゆっくり止まるまでスライドさせます。



「用紙を補給してください」

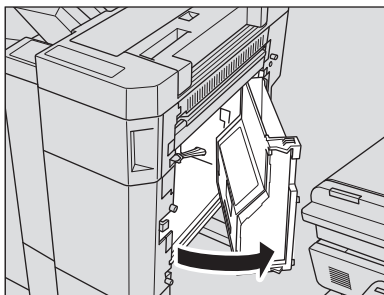
トナーを補給する

ステープル針を補給する

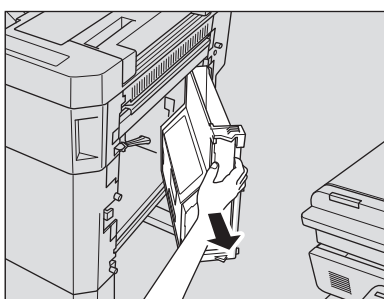
パンチくずを処理する

補給・くず処理
第10章

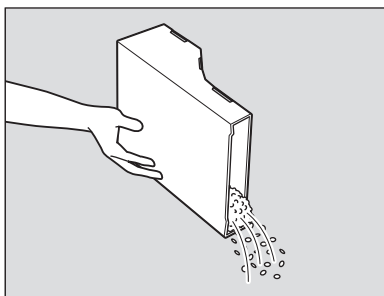
2 フィニッシャ右ドア FN7 を開きます。



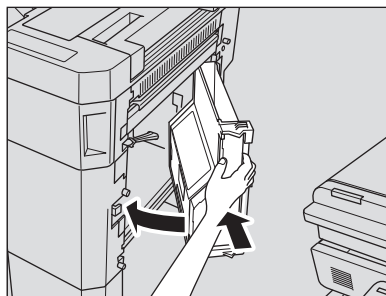
3 パンチくず箱を引き出します。



4 パンチくずを捨てます。



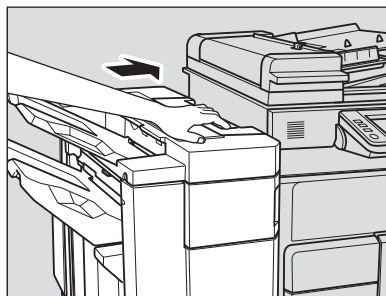
- 5** パンチくず箱を元に位置にもどし、フィニッシャー右ドア FN7 を閉じます。



必ず守ってください

パンチくず箱は使い捨てではありません。パンチくずを捨てた後は、元の位置にもどしてください。

- 6** フィニッシャーをゆっくり右にスライドさせ、元の位置にもどします。



「用紙を補給してください」

トナーを補給する

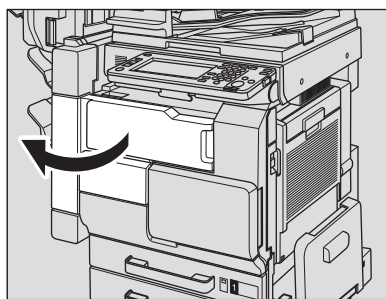
ステープル針を補給する

パンチくずを処理する

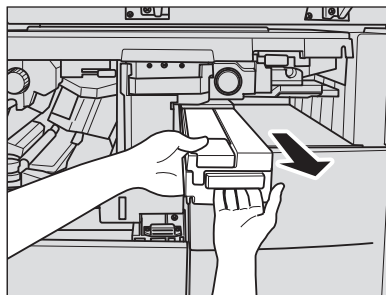
補給・くず処理
第10章

■ パンチユニット PU-501 のパンチくずを処理する

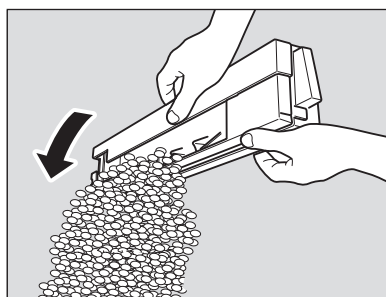
- 1** フィニッシャー前ドアを開きます。



2 パンチくず箱を引き出します。

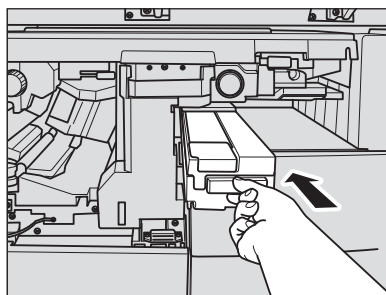


3 パンチくずを捨てます。



4 パンチくず箱を元に位置にもどし、フィニッシャ前ドアを閉じます。

パンチくず箱は奥までしっかり押し込んでください。



トラブルの処理

第11章

トラブルの処理方法について説明します。

「トラブルです」と表示されたら：サービスコール	11-2
「紙づまりです」と表示されたら	11-4
「メモリ残量不足のため、…」と表示されたら	11-7
簡単なトラブルの処理	11-9
主なメッセージと処理のしかた	11-12

「トラブルです」
と表示されたら

「紙づまりです」
と表示されたら

「メモリ残量不足
のため、…」

トラブルの
処理

主なメッセージと
処理のしかた

「トラブルです」と表示されたら：サービスコール

お客様では処理できないトラブルが起こったとき、「トラブルです サービスにトラブルコードを連絡してください」というメッセージが表示されます。（サービスコール画面）サービスコール画面の中央には、通常、お客様のサービス実施店の電話番号とファクス番号が表示されます。

サービスコール画面が表示されたら、速やかに以下の手順に従ってサービス実施店にご連絡ください。

The screenshot shows a service call screen. At the top left, there is a status bar with 'ジョブ確認' (Job Confirmation), the date '05/10/14', and the time '13:22'. Below this, there is a section with 'No.' and '登録元 状態' (Registered Source Status). At the bottom left, there is a '削除' (Delete) button and two arrow buttons. The main area of the screen displays the following text: 'トラブルです サービスにトラブルコードを連絡してください' (Trouble! Please contact service with a trouble code), 'TEL 0123456789', 'FAX 0123456780', and 'C-0001'.

■ 拡大表示機能時のサービスコール画面

拡大表示機能を使用しているときにサービスコールのトラブルが発生すると、下図の画面が表示されます。

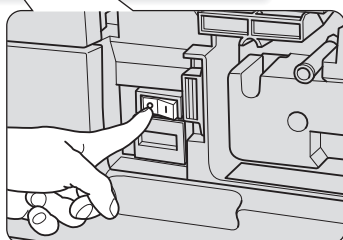
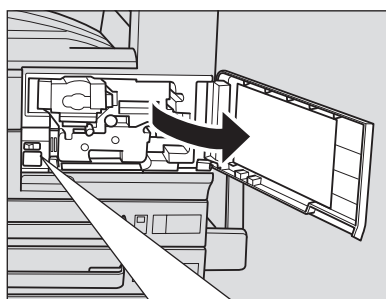
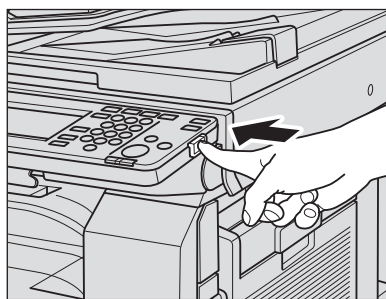
This screenshot is similar to the one above, but it highlights the 'A → A' button in the bottom left corner, which is used to expand the message.

 ボタンを押すと、メッセージが拡大表示されます。

This screenshot shows the service call screen with the message expanded. The text 'トラブルです サービスにトラブルコードを連絡してください' is now larger and more prominent. The contact information 'TEL 0123456789', 'FAX 0123456780', and 'C-0001' remains visible at the bottom. The 'A → A' button is still present in the bottom left corner.

■ サービス実施店への連絡手順

- 1 サービスコール画面のトラブルコード（例：C-0001）を書き留めます。
- 2 副電源スイッチと主電源スイッチをオフにします。



- 3 本体の電源プラグをコンセントから抜きます。
- 4 サービス実施店に連絡し、書き留めたトラブルコードをお知らせください。

詳しく説明します

サービス実施店による CS Remote Care が行われている機械の場合は、自動でサービス実施店にトラブルコードが連絡されます。「すでに自動通知によりサービスに通知しました お急ぎの時は担当営業所へ連絡願います」という画面表示を確認した後、副電源スイッチと主電源スイッチをオフにして、本体の電源プラグをコンセントから抜いてください。

「トラブルです」と表示されたら

「紙づまりです」と表示されたら

「メモリ残量不足のため、…」

トラブルの処理

主なメッセージと処理のしかた

第11章 トラブルの処理

「紙づまりです」と表示されたら

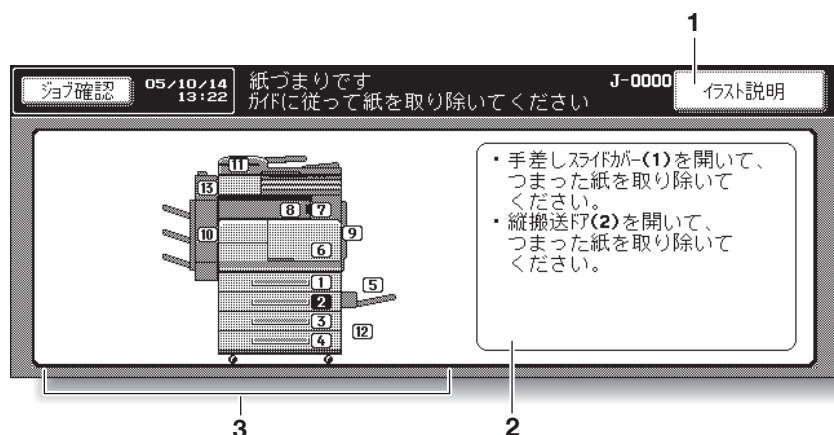
コピー／プリント中に紙づまりが発生すると、「紙づまり」というメッセージと、紙づまりの箇所が画面上に表示されます。(JAM 位置表示画面)

このとき、紙づまりが適切に処理されるまでは、コピー／プリントできなくなっています。

紙づまりが複数箇所が発生していると、複数のジャム番号や矢印が点滅、または点灯します。

点滅しているジャム番号や矢印は、最優先で処理すべき紙づまりの位置をあらわしています。

ガイド表示エリアのメッセージに従って、紙づまり処理を行ってください。



No	項 目	説 明
1	〔イラスト説明〕	最優先で処理する方法をイラストで説明する画面が表示されます。
2	ガイド表示エリア	具体的な紙づまり処理方法が表示されます。
3	イラスト表示エリア	ジャム番号は紙づまり位置を示し、矢印は処理動作を示します。

必ず守ってください

紙づまり処理をする前に、本書の p. 1-9 ～ p. 1-10 で注意ラベルの位置を必ずご確認ください。



上図は参考のため、すべてのジャム番号と矢印を表示していますが、実際には全部表示されることはありません。
JAM 位置表示画面のイラスト表示エリアにジャムコードを表示させることができます。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

■ 紙づまり処理の手順



- つまっている紙を取り除くときは、紙を破ったり、紙片を機械内部に残さないようにしてください。
- 本体右ドアを開いて搬送カバーを開いたとき、ドラムに触れられる状態になります。このとき、ドラム面に手を触れたり、傷を付けたりしないようにしてください。
また、長時間搬送カバーを開けっ放しにしないでください。ドラムに長時間光を当てると、劣化の原因になります。

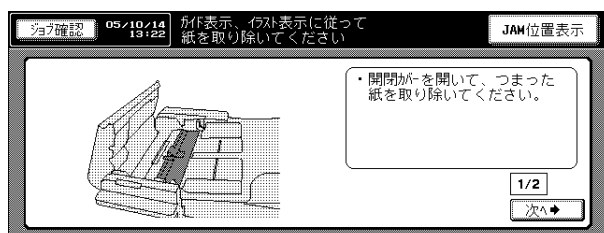
1 JAM 位置表示画面の〔イラスト説明〕を押します。

イラスト説明画面が表示されます。

2 イラスト説明画面の指示に従って、紙づまり処理を行います。

イラスト説明画面が複数の画面にわたる場合は、画面右下に〔次へ→〕が表示されます。〔次へ→〕を押すと、次の画面に切り替わります。

1 つ前のイラスト説明画面にもどるときは、〔←前へ〕を押します。



3 処理が終わると、基本設定画面にもどります。

紙づまり箇所が複数ある場合は、JAM 位置表示画面にもどります。次に処理すべき箇所と処理方法が JAM 位置表示画面に表示されています。

基本設定画面にもどるまで、手順①～②を繰り返します。

「トラブルです」と表示されたら

「紙づまりです」と表示されたら

「メモリ残量不足のため、…」

トラブルの処理

主なメッセージと処理のしかた

第11章
トラブルの処理

 警告

感電事故に注意！

本体右ドア内部のドラム部付近は高電圧が発生しています。

→ 紙づまり処理時にドラム部付近に絶対手を触れないようにしてください。

 注意

やけどに注意！

本体右ドア内部の定着部は高温になっています。

→ 紙づまり処理時にこの付近に手を触れないようにしてください。

 注意

ケガに注意！

針で指を刺すなどの事故が考えられます。

→ ステープルの針づまり処理時は、十分ご注意ください。

 注意

やけどに注意！

フィニッシャ FS-510 のステープラ可動レール付近奥側は高温になっています。

→ 紙づまり処理時にこの付近に手を触れないようにしてください。

「メモリ残量不足のため、…」と表示されたら

本機は、メモリを使用してコピーを行っています。

メモリの容量には限りがあります。コピー操作中にメモリ残量不足になったとき、下記のメッセージが表示されることがあります。

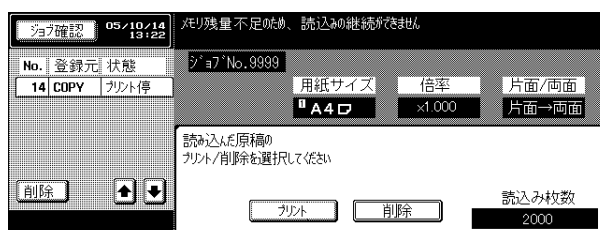
通常読み中のメモリ不足：「メモリ残量不足のため、読み込みが継続できません」

予約ジョブ中のメモリ不足：「メモリ残量不足のため、読み込み中ジョブを削除しました」

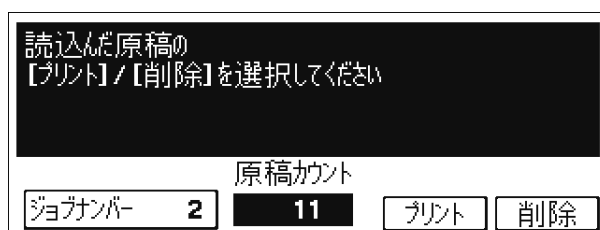
それぞれの方法に従って、作業を続けてください。

■ 通常読み中のメモリ不足

通常のコピー操作で原稿読み中にメモリが不足すると、読み込みを停止し、下記の画面とメッセージが表示されます。



拡大表示機能時の表示画面



次のように作業を続けてください。

- 読み込んだ原稿のページまでをプリントするときは、〔プリント〕を押します。
- 読み込み作業のジョブをプリントしないで破棄するときは、〔削除〕を押します。

「トラブルです」
と表示されたら

「紙づまりです」
と表示されたら

「メモリ残量不足
のため、…」

トラブルの
処理

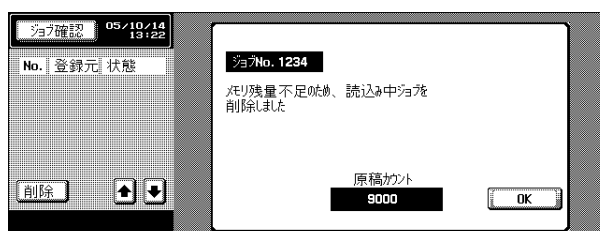
主なメッセージと
処理のしかた

第11章
トラブルの
処理

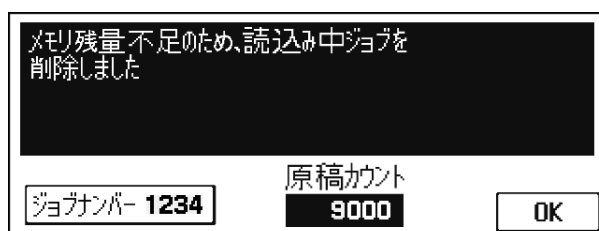
「メモリ残量不足のため、…」と表示されたら（つづき）

■ 予約ジョブ中のメモリ不足

予約ジョブの原稿読み中にメモリが不足すると、読み込みデータおよびその予約ジョブを破棄し、下記の画面とメッセージが表示されます。



拡大表示機能時の表示画面



読みませる原稿枚数が多すぎます。画面で原稿カウントの枚数を確認し、読みませる原稿枚数を調整してください。

簡単なトラブルの処理

	トラブルの内容	チェックポイント	処理のしかた
本 体	主電源スイッチをオンにしても機械が始動しない	コンセントの接続は確実ですか？ 副電源スイッチはオンになっていますか？	- 主電源スイッチおよび副電源スイッチを一度オフにして、電源プラグをコンセントに確実に接続してください。 - 副電源スイッチをオンにしてください。
	コピーがスタートしない	本体前ドアやフィニッシュドアなどは確実に閉じていますか？ 原稿に見合った適正な用紙が給紙トレイにセットされていますか？	- 本体やフィニッシュのドアを確実に閉じてください。 - 適正なサイズ of 用紙を給紙トレイにセットしてください。
	画像がうすい	濃度の設定がうすくなっていますか？ 用紙が湿気をおびていませんか？	- 濃度画面で〔こく〕を押して、お好みの濃度でコピーしてください。(p. 3-12) - 用紙を新しいものに交換してください。
	画像がこい	濃度の設定がこくなっていますか？ 原稿が原稿ガラスから浮き上がっていませんか？	- 濃度画面で〔うすく〕を押して、お好みの濃度でコピーしてください。(p. 3-12) - 原稿が原稿ガラスに密着するようにセットしてください。
	画像がにじむ／ぼける	用紙が湿気をおびていませんか？ 原稿が原稿ガラスから浮き上がっていませんか？	- 用紙を新しいものに交換してください。 - 原稿が原稿ガラスに密着するようにセットしてください。
	プリントの全体が汚れる／プリントにすじが表れる	原稿ガラスが汚れていませんか？ 原稿読取りガラスが汚れていませんか？ 原稿押さえパッドが汚れていませんか？ 第2原紙、OHPフィルムなどの透明度の高い原稿をコピーしていますか？ 両面原稿をコピーしていますか？	- 原稿ガラスを柔らかな布で乾拭きしてください。(p. 12-2) - 原稿読取りガラスを柔らかな布で乾拭きしてください。(p. 12-2) - 原稿押さえパッドを柔らかな布で乾拭きしてください。(p. 12-3) - 原稿の上に白紙をのせてコピーしてください。 - うすい紙の両面原稿の場合、裏面の原稿画像が透けて、おもて面の原稿コピーに写ってしまうことがあります。下地調整画面で下地レベルをうすくしてください。(p. 3-12)

「トラブルです」と表示されたら

「紙づまりです」と表示されたら

「メモリ残量不足のため、…」

トラブルの処理

主なメッセージと処理のしかた

第11章
トラブルの処理

	トラブルの内容	チェックポイント	処理のしかた
本 体	プリントの画像が傾いている	原稿が正しくセットされていますか？ ADF に適した原稿がセットされていますか？ ADF 使用時、原稿ガラスに異物が付着していませんか？ 給紙トレイの原稿ガイドを確実に用紙に沿わせてありますか？ カールの大きい用紙が給紙トレイにセットされていませんか？	● 原稿を原稿スケールに正しくセットしてください。(p. 3-6) ● 原稿を ADF にセットし、原稿ガイドを原稿に正しく沿わせてください。(p. 3-6) ● ADF に適していない原稿は、原稿ガラスにセットしてコピーしてください。(p. 9-11) ● 原稿ガラスを柔らかな布で乾拭きしてください。(p. 12-2) ● 給紙トレイの原稿ガイドを用紙端面に確実に沿わせてください。 ● 用紙のカールを手でなおして給紙トレイにセットしなおしてください。
	プリントされた用紙が反っている	お使いになる用紙（再生紙など）に反りはありませんか？	● 給紙トレイにセットされている用紙を裏返しにしてセットしなおしてください。 ● 吸湿していない新しい用紙に交換してください。
	画像の周りが汚れる	原稿押さえパッドがよごれていませんか？ 等倍コピー時、原稿サイズより大きな用紙を選択していませんか？ 等倍コピー時、原稿サイズと用紙の向きが違っていませんか？ 縮小倍率のコピーを手動で行うとき、用紙サイズに合った縮小コピー倍率が選択されていますか？	● 原稿押さえパッドを柔らかな布で乾拭きしてください。(p. 12-3) ● 原稿と同じサイズの用紙を選択してください。(p. 3-14) または、自動倍率を選択し、用紙に合わせた倍率で拡大コピーしてください。(p. 3-37) ● 原稿と同じサイズの用紙を選択してください。または、原稿と同じ向きに用紙をセットしなおしてください。 ● 用紙サイズに合った倍率を選択してください。または、自動倍率を選択し、用紙に合わせた倍率で縮小コピーしてください。(p. 3-37)
	紙づまり処理してもコピーできない	他に紙づまりはありませんか？	● JAM 位置表示などを見て、他の場所につまっている用紙を取り除いてください。(p. 11-5)
	部門管理設定をしている機械でパスワードを入力してもコピーできない	「部門別カウンタが上限値です」が表示されていませんか？	● 機械管理者にご確認ください。

	トラブルの内容	チェックポイント	処理のしかた
A D F	原稿が送られない	ADF が浮いていませんか？ 仕様以外の原稿をセットしていませんか？ 正しく原稿をセットしていますか？	● ADF を確実に閉じてください。 ● 仕様にあった原稿をセットしてください。(p. 9-11) ● 原稿を正しくセットしてください。(p. 3-6)
	フィニッシャが作動しない	フィニッシャ内に紙づまりがありませんか？ フィニッシャドアは完全に閉じていますか？	● 紙片があれば取り除いてください。 ● フィニッシャドアを確実に閉じてください。
フ ィ ニ ッ シャ	ステープルができない	ステープル針がなくなっていますか？	● ステープル針を補給してください。(p. 10-9)
	ステープルの位置が 90 度ずれる	ステープルの位置指定は合っていますか？	● ステープルの位置を目的の位置に指定してください。(p. 6-9)
	排紙される用紙が均一に積載されず、パンチ穴やステープルの位置がずれる	用紙が大きくカールしていませんか？ 用紙をセットしている給紙トレイのガイド板と用紙の間に隙間がありませんか？	● 給紙トレイ内にセットされている用紙を、裏表逆にセットしてください。 ● 給紙トレイのガイド板を用紙に突き当て、隙間ができないようにしてください。
	パンチを設定してもパンチされない (PU-501 が装着された FS-510)	「パンチくずがいっぱいです」というメッセージが表示されていませんか？	● パンチくず箱からパンチくずを捨ててください。

上記以外のメッセージが表示された場合は、メッセージに従い処理してください。処理してもトラブルがなおらない場合は、サービス実施店にご連絡ください。

「トラブルです」と表示されたら

「紙づまりです」と表示されたら

「メモリ残量不足のため、…」

トラブルの処理

主なメッセージと処理のしかた

主なメッセージと処理のしかた

メッセージ	原因	処理のしかた
原稿ガラス上に原稿が残っています	原稿ガラス上に原稿を置き忘れてあります。	原稿ガラス上の原稿を取り除いてください。
最適用紙がありません 用紙を選択してください	適合するサイズの用紙が給紙トレイにセットされていません。	他のサイズの用紙を選択するか、必要なサイズの用紙をセットしてください。
原稿サイズが検出できません 用紙を選択してください	原稿が正しくセットされていません。 自動検出できない不定形サイズまたは、小サイズ of 原稿をセットしています。	原稿を正しくセットしてください。 用紙を手動で選択し、コピーしてください。
〇〇〇とは同時設定できません	先の設定が優先される機能を選択しています。	先に設定した機能を解除するなど、どちらか一方の機能でコピーしてください。
トレイの容量オーバーです →のトレイのコピーを取り除いてください	表示されているフィニッシャの排紙トレイの容量が最大積載量に達したため、コピーできません。	表示されている排紙トレイ上の用紙をすべて取り除いてください。
ログインするユーザ名とパスワードを入力してください	ユーザ認証が設定されています。ユーザ名と正しいパスワードを入力しないとコピーできません。	ユーザ名と正しいパスワードを入力してください。(p. 2-38)
ログインする部門名とパスワードを入力してください	部門管理が設定されています。部門名と正しいパスワードを入力しないとコピーできません。	部門名と正しいパスワードを入力してください。(p. 2-42)
部門別カウンタが上限値です	プリントできる概数が制限されており、その上限値に達しました。	機械管理者に連絡してください。
→部が開いています 確実に閉めてください	本体やフィニッシャの扉やカバーが開いているか、オプションが確実にセットされていないため、コピーできません。	本体、フィニッシャの扉やカバー、オプションを確実にセットしてください。
用紙を補給してください	表示されている給紙トレイに用紙がありません。	用紙を給紙トレイに補給してください。(p. 2-45)
トナーがなくなりました	トナーがなくなったため、コピーできません。	新しいトナーボトルと交換してください。
ステープル針がありません。 ステープルカートリッジを交換するか、ステープルを解除してください	ステープル針がなくなりました。	新しいステープルカートリッジと交換してください。(p. 10-9)
紙づまりです	紙づまりが発生し、コピーできません。	つまっている用紙を取り除いてください。
トラブルです サービスにトラブルコードを連絡してください	本機に何らかのトラブルが発生し、コピーできません。	電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いて、画面に表示されているトラブルコードをサービス実施店に連絡してください。

上記以外のメッセージが表示された場合は、メッセージに従い処理してください。処理してもトラブルがなおらない場合は、サービス実施店にご連絡ください。

第12章

日頃の機械の管理と保守サービスについて説明します。

清掃する	12-2
カウンタを確認する：セールスカウンタ	12-6
「装置の定期点検です」と表示されたら	12-8
保守サービス	12-9

清掃する

セールスカウンタ

「装置の定期点検です」と表示

保守サービス

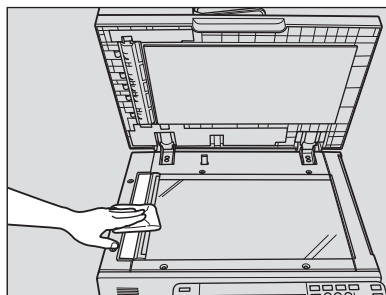
清掃する

ここでは、機械各部の清掃のしかたを説明します。

■ 原稿読取りガラスの清掃

原稿読取りガラスが汚れていると、ADF 使用時のコピー画像にタテスジができることがあります。

柔らかい布で原稿読取りガラスの表面を乾拭きし、汚れを拭き取ります。

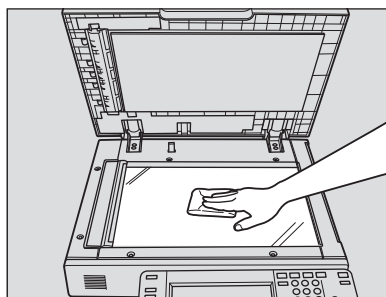


原稿読取りガラスの清掃にベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

■ 原稿ガラスの清掃

原稿ガラスが汚れていると、原稿ガラスでコピーした画像に汚れができることがあります。

柔らかい布で原稿ガラスの表面を乾拭きし、汚れを拭き取ります。

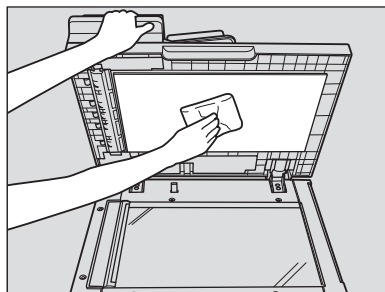


原稿ガラスの清掃にベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

■ 原稿押さえパッドの清掃

原稿押さえパッドが汚れていると、原稿ガラスでコピーした画像に汚れができることがあります。

柔らかい布で原稿押さえパッドの表面を乾拭きし、汚れを拭き取ります。

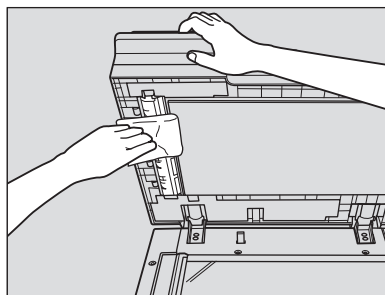


原稿押さえパッドの清掃にベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

■ 給紙ローラの清掃

給紙ローラが汚れていると、コピーした画像に汚れができることがあります。

柔らかい布で給紙ローラを乾拭きし、汚れを拭き取ります。



給紙ローラの清掃にベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

清掃する

セールス
カウンタ

「装置の定期点検
です」と表示

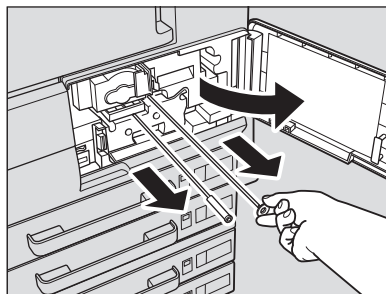
保守サービス

第12章
日頃の管理・保守サービス

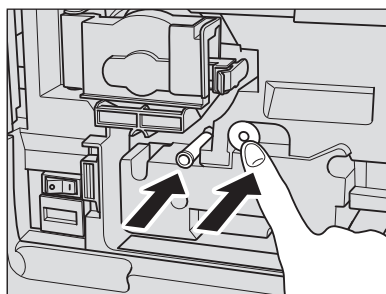
■ 書込みユニットガラス／電極ワイヤの清掃

書込みユニットガラスや帯電ワイヤが汚れると、コピー画像にスジのような汚れができることがあります。

前ドアを開き、書込みユニットガラス清掃レバーと帯電ワイヤ清掃レバーを引出し、押し込みを数回繰り返します。

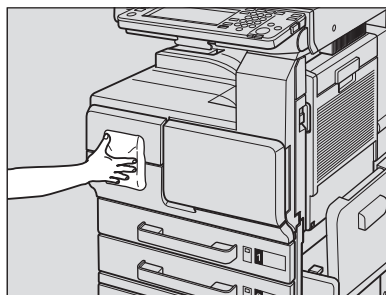


2つのレバーを確実に押し込み、前ドアを閉じます。



■ 機械外装の清掃

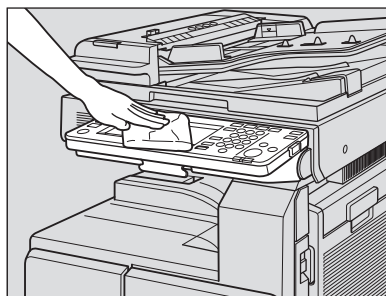
柔らかい布に家庭用中性洗剤を含ませ、機械外装の汚れを拭き取ります。



給清掃時は必ず本体の主電源スイッチをオフにしてください。
機械外装の清掃にベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

■ 操作パネルの清掃

柔らかい布で操作パネルの表面を乾拭きし、汚れを拭き取ります。



清掃時、操作のパネルのキーやタッチパネルを強く押さえないでください。また、機械外装の清掃に中性洗剤、ガラスクリーナーやベンジン、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

清掃する

セールス
カウンタ

「装置の定期点検
です」と表示

保守サービス

第12章
日々の管理・保守サービス

カウンタを確認する：セールスカウンタ

設定メニュー／カウンタ画面を表示させて、下記セールスカウンタを確認できます。

- トータルカウンタ
- 原稿枚数カウンタ
- 用紙枚数カウンタ
- 両面トータルカウンタ

設定メニュー／カウンタ画面の〔詳細確認〕を押して、詳細なカウンタを確認できます。
カウンタリストをプリントアウトできます。

■ 設定メニュー／カウンタ画面の表示手順

- 1 操作パネルの【設定メニュー／カウンタ】を押します。

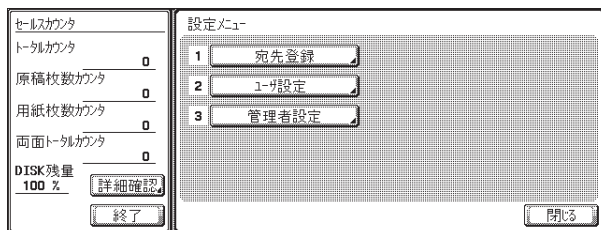


コピー／プリント中でも設定メニュー／カウンタ画面を表示させることができます。



設定メニュー／カウンタ画面が表示されます。
4つのカウンタを確認することができます。

- 2 サブエリアの〔詳細確認〕を押します。



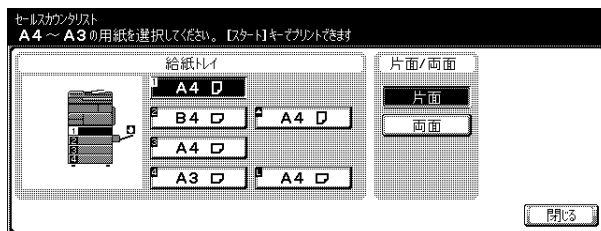
カウンタを確認する：セールスカウンタ（つづき）

〔↑〕、〔↓〕 を押し、詳細なカウンタを確認することができます。



カウンタリストをプリントアウトするときは、〔プリント〕を押します。

給紙トレイおよび片面／両面を選択し、操作パネルの【スタート】を押します。



3 設定メニュー／カウンタ画面の〔閉じる〕を押します。

基本設定画面にもどります。

清掃する

セールスカウンタ

「装置の定期点検です」と表示

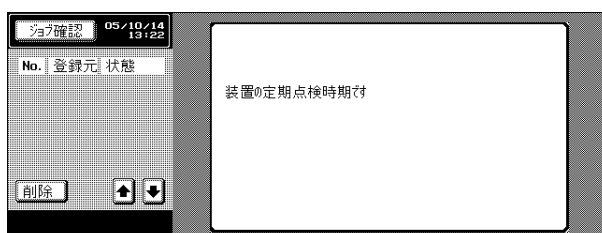
保守サービス

第12章
日頃の管理・保守サービス

「装置の定期点検です」と表示されたら

定期点検は、250,000 コピーごとに実施します。

「装置の定期点検です」と表示されたら、サービス実施店に連絡して、定期点検をお受けください。



詳しく説明します

前回の定期点検から現在までのコピーカウントを表示させて、次回の定期点検時期を予測することができます。設定メニュー／カウンタ画面を表示させてご確認ください。詳細は、p. 12-6 をご覧ください。

保守サービス

このチャージシステムを契約していただきますと、本機を常に安定した状態でご使用いただくための保守サービス（定期点検、調整、修理、感光体、現像剤交換等）を提供いたします。保守サービス提供の対価として、カウンタ数値により算出されますコピー料金を申し受けます。

コピー料金には、用紙の代金は含まれませんので、別途ご購入いただきます。

補修用性能部品の保有期間

複写機の機能を維持するために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、機械本体製造打ち切り後 7 年間です。

同梱品

同梱現像剤	1
ユーザズガイド	各 1
コピー機能編	
拡大表示機能編	
ネットワーク／スキャナ機能編	
ボックス機能編	
ファクシミリ機能編	
ネットワークファクス機能編	
QA シート	1
チャージシステムお申込書	1
インストールマニュアル	1
その他	

清掃する

セールス
カウンタ

「装置の定期点検
です」と表示

保守サービス

第 12 章
日頃の管理・保守サービス

仕様 第13章

本体およびオプションの仕様について説明します。

本体仕様	13-2
オプション仕様	13-4

本体仕様

本体

項 目	説 明
名称	bizhub 500/420
形式	デスクトップ
原稿台方式	固定式
感光体	OPC
光源	キセノンランプ
複写方式	レーザー静電転写方式
現像方式	乾式 2 成分反転磁気ブラシ現象
定着方式	ヒートローラ
解像度（読み取り）	600 dpi x 600 dpi
複写原稿	種類：シート、ブック（見開き）、立体物 サイズ：最大 A3/11x17 厚み：最大 30 mm、重量：6.8 kg 原稿ガラスの自動検出サイズ： A3□、B4□、A4 □/□、B5 □/□、A5 □/□、B6 □、官製はがき □、11 x 17 □、8-1/2 x 11 □/□ ADF の自動検出サイズ： A3□、B4□、A4 □/□、B5 □/□、A5 □/□、B6 □、11 x 17 □、8-1/2 x 11 □/□
複写紙種類	普通紙：60 g/m ² ~ 90 g/m ² 、 薄紙：50 g/m ² ~ 59 g/m ² 、 厚紙：91 g/m ² ~ 210 g/m ² 、 OHP フィルム *、封筒 *、ラベル紙 *、第 2 原紙 *、官製はがき *、上質紙、ユーザ紙、再生紙、色紙、レターヘッド紙 * は手差しトレイのみ使用可
複写紙サイズ	第 1・2 給紙トレイ A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □、11 x 17 □、8-1/2 x 11 □、5-1/2 x 8-1/2 □ 手差しトレイ 定形サイズ：A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □、B6 □、8-1/2 x 11 □、官製はがき □ 不定形サイズ：92mm x 148mm ~ 297mm x 431.8mm
画像欠け幅	先端、手前・奥側：1.5 mm ± 1.5 mm 以内 後端：3.0 mm ± 3.0 mm 以内
用紙収納枚数	第 1・2 給紙トレイ：550 枚（64 g/m ² 紙） 手差しトレイ：150 枚（64 g/m ² 紙）
ウォームアップタイム	bizhub 500：約 30 秒、bizhub 420：約 15 秒
ファーストコピータイム	bizhub 500：3.2 秒以下、bizhub 420：約 3.6 秒以下
連続複写速度	bizhub 500：50 枚 / 分（A4□）、27 枚 / 分（A3□）、31 枚 / 分（B4□）、35 枚 / 分（A4□）、39 枚 / 分（B5□）、57 枚 / 分（B5□）、51 枚 / 分（A5□） bizhub 420：42 枚 / 分（A4□）、23 枚 / 分（A3□）、26 枚 / 分（B4□）、30 枚 / 分（A4□）、33 枚 / 分（B5□）、48 枚 / 分（B5□）、43 枚 / 分（A5□）

本体仕様（つづき）

項 目	説 明
複写倍率	等倍：× 1.000 ± 1.0% 以下 拡大（固定倍率）：× 1.154、× 1.224、× 1.414、× 2.000 縮小（固定倍率）：× 0.866、× 0.816、× 0.707、× 0.500 小さめ：0.930 連動ズーム：× 0.250 ～ 4.000 0.001 刻み 独立ズーム：タテ × 0.250 ～ 4.000、ヨコ × 0.250 ～ 4.000 タテ／ヨコ 0.001 刻み 倍率登録：3
連続複写枚数／部数	1 ～ 999 枚／ 1 ～ 999 部
濃度調整	コピー濃度：自動および手動調整（9 段階） 下地調整：手動調整（9 段階）
電源	AC 100 V、15 A、50/60 Hz
騒音	bizhub 500：75 dB 以下（作動時） bizhub 420：73.7 dB 以下（作動時）
消費電力	最大 1500 W 以下（含オプション）
エネルギー消費効率	bizhub 500：500.46 wh/h bizhub 420：420.42 wh/h
大きさ	677 (W) x 708 (D) x 895 (H) mm（本体 + ADF）
機械占有寸法 *1	978 (W) x 708 (D)（本体 + ADF）
メモリ	192 MB（最大 320 MB まで増設可能）
質量	約 91.2 kg

*1：機械占有寸法は、手差しトレイを最大に開いた状態の寸法です。

この製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

自動両面原稿送り装置 DF-607

項 目	説 明
名称	DF-607
原稿通紙機能	標準機能：片面原稿、両面原稿 混載原稿機能：片面原稿、両面原稿
原稿種類	片面原稿：35 g/m ² ～ 128 g/m ² 両面原稿：50 g/m ² ～ 128 g/m ²
原稿サイズ	128 mm x 139.7 mm ～ 297 mm x 431.8 mm 自動検出サイズ： A3□、B4□、A4 □/□、B5 □/□、A5 □/□、B6 □、11 x 17 □、8-1/2 x 11 □/□
原稿積載量	最大 80 枚（80 g/m ² ）または高さ 11 mm 以下
電源	本体から供給
大きさ	582 (W) x 145 (D) x 558 (H) mm
質量	約 10 kg

本体仕様

オプション
仕様

仕
第
様
13
章

オプション仕様

給紙キャビネット PC-202

項 目	説 明
名称	PC-202
用紙種類	普通紙 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²)
用紙サイズ	A3 □、B4 □、A4 □/ □、B5 □/ □、A5 □
収納枚数	上段 (第 3 給紙トレイ) : 550 枚 (64 g/m ²) 下段 (第 4 給紙トレイ) : 550 枚 (64 g/m ²)
電源	本体から供給
最大消費電力	15 W 以下
大きさ	570 (W) x 548 (D) x 263 (H) mm
質量	約 26 kg
ユニット構成	給紙トレイ 2 段

給紙キャビネット PC-402

項 目	説 明
名称	PC-402
用紙種類	普通紙 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²)
用紙サイズ	A4 □
収納枚数	2,500 枚 (80 g/m ²)
電源	本体から供給
最大消費電力	45 W 以下
大きさ	570 (W) x 548 (D) x 263 (H) mm
質量	約 26 kg
ユニット構成	給紙トレイ 1 段 (左右 2 段置きに収納)

大容量給紙ユニット LU-201

項 目	説 明
名称	LU-201
用紙種類	普通紙 (60 g/m ² ~ 105 g/m ²)
用紙サイズ	A4 □
収納枚数	2,100 枚 (64 g/m ²)
電源	本体から供給
最大消費電力	30 W 以下
大きさ	356 (W) x 515 (D) x 299 (H) mm
質量	約 13 kg
ユニット構成	給紙トレイ 1 段

専用デスク DK-501

項 目	説 明
名称	DK-501
機能	コピー資材収納
ユニット構成	収納棚

フィニッシャ FS-510

項 目	説 明
名称	FS-510
機能	ストレートスタック（ソート、グループ） 仕分けスタック（ソート+仕分け、グループ+仕分け）
ソートステーブル	オプションを装着して下記機能を追加できます。 パンチユニット PU-501：ファイリング用パンチ穴穿孔 中綴じ機 SD-502：中折り／中とじ（折りスジ） メーリングキット MT-501：排紙トレイ追加（4 段） 排紙トレイ OT-601：排紙トレイの追加（1 段）
排紙トレイ	トレイ 1、トレイ 2
仕分けシフト量	30 mm
用紙種類	ソート、グループ：普通紙（60 g/m ² ～ 90 g/m ² ）、 厚紙（91g/m ² ～ 210g/m ² ）、薄紙（50g/m ² ～ 59g/m ² ）、 OHP フィルム、官製はがき、封筒、ラベル紙他 ステーブル：普通紙（60 g/m ² ～ 90 g/m ² 紙）、 薄紙（56 g/m ² ～ 59 g/m ² 紙） パンチ：普通紙（60 g/m ² ～ 90 g/m ² 紙）、 厚紙（91 g/m ² ～ 130 g/m ² 紙） （オプションのパンチユニット PU-501 装着時）
用紙サイズ	ソート、グループ 定形サイズ：A3 □ ～ A5 □/□、B6 □、官製はがき □ 不定形サイズ： 100 mm x 139.7 mm □ ～ 297 mm x 431.8 mm □ ソート+仕分け、グループ+仕分け 定形サイズ：A3 □ ～ B5 □/□ 不定形サイズ： 182 mm x 139.7 mm □ ～ 297 mm x 431.8 mm □ ステーブル 定形サイズ：A3 □ ～ B5 □/□、A5 □ 不定形サイズ： 182 mm x 139.7 mm □ ～ 297 mm x 431.8 mm □ パンチ（オプションのパンチユニット PU-501 装着時） 定形サイズ：A3 □ ～ B5 □/□
収納枚数	p. 9-5 をごらんください。
電源	本体から供給
最大消費電力	66 W 以下
大きさ	319 (435) (W) x 558 (D) x 573 (H) mm () はトレイ引出し時
質量	約 21.4 kg
消耗品	ステーブル針 MS-5D（50 枚とじ用 5,000 針入り）x 2

本体仕様

オプション
仕様

仕第
様 13
章

排紙トレイキット OT-601

項 目	説 明
名称	OT-601
機能	フィニッシャ FS-510 用増設排紙トレイ
大きさ	282 (W) x 368 (D) x 57 (H) mm
質量	約 0.7 kg
ユニット構成	トレイ 1 ビン

パンチユニット PU-501

項 目	説 明
名称	PU-501
機能	ファイリング用パンチ穴穿孔
パンチ穴数	2 穴
パンチ穴径	6.5 mm ± 0.5 mm
パンチ穴ピッチ	2 穴 : 80 mm ± 0.5 mm
用紙種類	60 g/m ² ~ 130 g/m ² 紙
用紙サイズ	定形サイズ : A3 □ ~ B5 □/ ▢
電源	フィニッシャから供給
大きさ	114 (W) x 461 (D) x 136 (H) mm
質量	約 1.9 kg

中綴じ機 SD-502

項 目	説 明
名称	SD-502
機能	中折り／中とじ（折りスジ）
綴じピッチ	120 mm ± 4 mm（針幅 11 mm）
綴じ枚数	2 ~ 15 枚（最大 60 ページ）／ 1 部
用紙種類	56 g/m ² ~ 90 g/m ² 紙
用紙サイズ	定形サイズ : A3 □、B4 □、A4 □、B5 □、 不定形サイズ : 182 mm x 257 mm □ ~ 297 mm x 431.8 mm □
収納枚数	200 枚または 20 部
電源	フィニッシャから供給
最大消費電力	66 W 以下
大きさ	445 (576) (W) x 203 (281) (D) x 478 (H) mm () はトレイ引出し時
質量	約 9.3 kg
消耗品	ステープル針 MS-2C（15 枚とじ用 2,000 針入り）x 2
ユニット構成	中とじ部、折り部、排紙トレイ 1 段

メールビンキット MT-501

項 目	説 明
名称	MT-501
機能	用紙仕分け
用紙種類	56 g/m ² ～ 90 g/m ² 紙
用紙サイズ	定形サイズ：A4 □、B5 □、A5 □ 不定形サイズ： 139.7 mm x 182 mm □ ～ 216 mm x 297 mm □
収納枚数	125 枚／ビン（合計 500 枚）
電源	フィニッシャから供給
大きさ	340 (W) x 509 (D) x 387 (H) mm
質量	約 8.0 kg（製品質量）

フィニッシャ FS-511

項 目	説 明
名称	FS-511
機能	ストレートスタック（ソート、グループ） 仕分けスタック（ソート+仕分け、グループ+仕分け）
ソートステープル	ファイリング用パンチ穴穿孔
排紙トレイ	トレイ 1、トレイ 2
用紙種類	トレイ 1 ソート、グループ： 普通紙（60g/m ² ～ 90g/m ² ）、厚紙（91g/m ² ～ 210g/m ² ）、 薄紙（50 g/m ² ～ 59 g/m ² ）、OHP フィルム、官製はがき、 封筒、ラベル紙他 トレイ 2 ソート、グループ： 普通紙（60g/m ² ～ 90g/m ² ）、厚紙（91g/m ² ～ 130g/m ² ）、 薄紙（50 g/m ² ～ 59 g/m ² ） ステープル： 60 g/m ² ～ 90 g/m ² 紙 パンチ： 60 g/m ² ～ 90 g/m ² 紙 （オプションのパンチユニット PU-501 装着時）
仕分けシフト量	30 mm

本体仕様

オプション
仕様

仕第
様13
章

項 目	説 明
用紙サイズ	ソート、グループ 定形サイズ： A3 □ ～ B5 □/ □、A5 □、B6 □、官製はがき □ 不定形サイズ： 100 mm x 139.7 mm □ ～ 314 mm x 457.2 mm □ ソート+仕分け、グループ+仕分け 定形サイズ：A3 □ ～ B5 □/ □ 不定形サイズ： 182 mm x 182 mm ～ 314 mm x 457.2 mm □ ステープル 定形サイズ：A3 □ ～ B5 □/ □ 不定形サイズ： 182 mm x 182 mm ～ 297 mm x 431.8 mm □ パンチ 定形サイズ：A3 □ ～ B5 □/ □
収納枚数	トレイ 1 普通紙、再生紙： 250 枚（60 ～ 90 g/m² 紙）または高さ 36 mm 以内 厚紙、薄紙、OHP フィルム、封筒、第 2 原紙、ラベル用紙 など：20 枚または高さ 36 mm 以内 トレイ 2 B4 / 8-1/2 x 14 以上の用紙サイズ： 1,500 枚（80 g/m² 紙）または高さ 187.5 mm 以内 A4 / 8-1/2 x 11 以下の用紙サイズ： 3,000 枚（80 g/m² 紙）または高さ 375 mm 以内
ステープル枚数	50 枚（80 g/m ² 紙）または厚み 5 mm 以下
パンチ機能	パンチ穴数：2 穴、6.5 mm ± 0.5 mm パンチ穴ピッチ：2 穴：80 mm ± 0.5 mm
電源	本体から供給
最大消費電力	63 W 以下
大きさ	538 (669) (W) x 637 (D) x 978 (1,055) (H) mm () はトレイ引出し時
質量	約 39.2 kg
消耗品	ステープル針 MS-5D（50 枚とじ用 5,000 針入り）x 2

排紙トレイ OT-501

項 目	説 明
名称	OT-501
機能	本体排紙トレイ
用紙種類	普通紙（60g/m ² ～90g/m ² ）、厚紙（91g/m ² ～210g/m ² ）、 薄紙（50 g/m ² ～59 g/m ² ）、OHP フィルム、官製はがき、 封筒、ラベル紙他
収納枚数	最大 100 枚
大きさ	437 (W) x 511 (D) x 183 (H) mm
質量	約 1.3 kg

セパレータ JS-502

項 目	説 明
名称	JS-502
機能	排出先振分け
用紙種類	普通紙（60g/m ² ～90g/m ² ）、厚紙（91g/m ² ～210g/m ² ）、 薄紙（50 g/m ² ～59 g/m ² ）、OHP フィルム、官製はがき、 封筒、ラベル紙他
収納枚数	最大 100 枚
大きさ	450 (W) x 511 (D) x 183 (H) mm
質量	約 1.7 kg

その他

中継搬送ユニット RU-502
 イメージコントローラ IC-204
 取り付けキット MK-708
 回線拡張キット ML-503
 ハードディスク HD-505
 ファクス済みスタンプユニット SP-501
 ステープル MS-2C
 ステープル MS-5D
 キーカウンタ（TBD）
 キーカウンタキット 4（TBD）
 キーカウンタ取り付けキット（TBD）
 防湿ヒータ IC
 ファクスキット FK-502
 セキュリティキット SC-502

本体仕様

オプション
仕様

仕
第
13
章
様

第14章

設定メニュー／カウンタ画面で一般ユーザが設定できる内容および設定方法を説明します。

ユーザ設定画面の概要	14-2
ユーザ設定の内容一覧	14-3
1 環境設定	14-5
2 画面切替え設定	14-12
3 初期設定	14-17
4 コピー設定	14-18

ユーザ設定
画面の概要

ユーザ設定
説明一覧

1 環境設定

2 画面
切替え設定

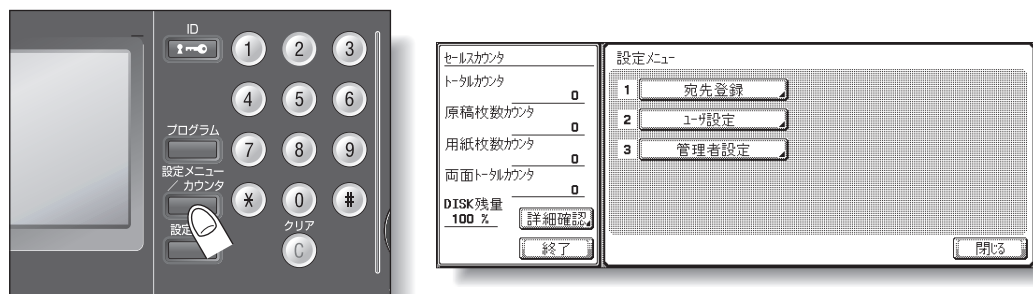
3 初期設定

4 コピー設定

ユーザ設定画面の概要

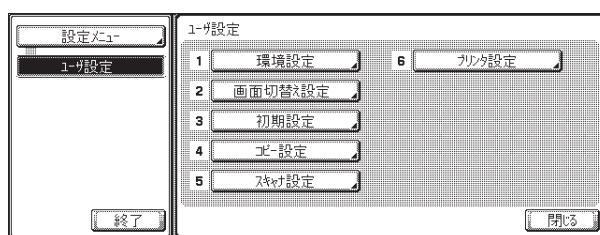
設定メニュー／カウンタ画面は操作パネルの【設定メニュー／カウンタ】を押したあとに展開する画面の総称です。

【設定メニュー／カウンタ】を押して最初に表示される画面が、設定メニュー／カウンタ画面です。

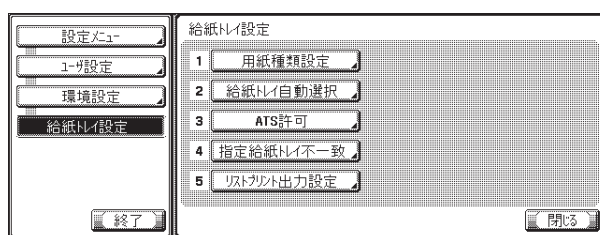


設定メニュー画面には、一般ユーザが設定可能な項目と、管理者パスワードを入力しなければ設定できない管理者設定項目があります。

ここではユーザ設定について説明します。



設定メニュー／カウンタ画面の〔閉じる〕、〔終了〕、階層ボタン



〔閉じる〕を押すと、今表示されている前に表示されていた画面にもどります。

任意の階層ボタンを押すと、それぞれの階層画面に飛びます。

〔終了〕を押すと、基本設定画面にもどります。

ユーザ設定の内容一覧

設定項目とその内容		設定値（下線は出荷時設定）
1 環境設定		
1 言語選択 タッチパネルに表示している言語を切り替えます。		日本語／英語
2 単位系設定 タッチパネルに表示される数値単位を選択します。		mm（数値）／インチ（数値）／インチ（分数）
3 給紙トレイ設定		
1 用紙種類設定 各給紙トレイで使用する用紙の種類をトレイごとに選択します。		普通紙／ユーザ紙／再生紙／色紙／レターヘッド紙
2 給紙トレイ自動選択 自動用紙や自動トレイ切換えの機能が働いたとき、選択対象になるトレイの選択、および選択の優先順位の設定をします。		自動選択トレイ：各トレイ個別選択（出荷時設定は全トレイ選択しない） トレイの優先順：トレイ 1-トレイ 2-トレイ 3-トレイ 4-LCT-手差し（出荷時設定は全トレイ選択しない）
3 ATS 許可 自動トレイ切換え機能のオン／オフを選択します。		許可する／許可しない
4 指定給紙トレイ不一致 指定した給紙トレイに該当する用紙がない場合の動作を設定できます。		指定給紙トレイ固定／指定給紙トレイ優先
5 リストプリント出力設定 セールスカウンタなどのリストを出力するときの給紙トレイを設定できます。また、片面／両面を設定できます。		トレイ 1／トレイ 2／トレイ 3／トレイ 4／手差し／LCT 片面／両面
2 画面切替え設定		
1 表示サブエリア切替え		
サブエリア表示種別 基本画面左側サブエリアの表示を設定します。		設定値／ジョブリスト
2 コピー設定		
回転しないキー表示 基本設定画面に〔回転しない〕ボタンを表示させるかどうかの設定をします。		OFF／ON
3 スキャナ設定 スキャナ機能に関する設定を行います。詳しくは、「ユーザズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。		
4 ファクス設定 ファクス機能に関する設定を行います。詳しくは「ユーザズガイドファクスミリ機能編」をごらんください。		
5 コピー動作中画面 プリント動作中の画面表示を設定します。		プリント中画面表示：ON／OFF
6 ファクス動作中画面 ファクス動作中の表示画面を設定します。詳しくは「ユーザズガイドファクスミリ機能編」をごらんください。		
7 コピー初期画面切替え 2 つあるコピーの基本設定画面の表示を切替えます。		TYPE1／TYPE2
8 ジョブ確認初期表示 〔ジョブ確認〕ボタンを押したあとに表示される画面を設定します。		プリント実行中リスト／ プリント履歴リスト

ユーザ設定
画面の概要

ユーザ設定
説明一覧

1 環境設定

2 画面
切替え設定

3 初期設定

4 コピー設定

第 14 章
ユーザ設定メニュー

設定項目とその内容	設定値（下線は出荷時設定）
3 初期設定	
機械がリセットされたときに自動設定される初期設定のコピー条件を設定します。	コピー：現在の設定値／ <u>出荷時の設定値</u>
4 コピー設定	
中とじ／中折り時小冊子 中とじを選択したとき自動で小冊子の設定をするかどうかを設定します。	<u>自動選択する</u> ／自動選択しない
集約／小冊子倍率 自動用紙設定時に集約または小冊子を選択すると、自動で適した倍率を選択するかどうかを設定できます。	<u>お勤め倍率</u> ／設定しない
ソート／グループ自動切換え 1 ジョブでプリントする用紙枚数が 2 枚以上ある場合、ソートする／しないの自動切換えをするかどうかを設定できます。	<u>する</u> ／しない
拡大ローテーション 自動倍率機能が働いたとき、A4 タテや B5 タテの原稿を A3 ヨコや B4 ヨコの用紙に拡大回転コピーするかどうかを設定できます。	<u>許可</u> ／禁止



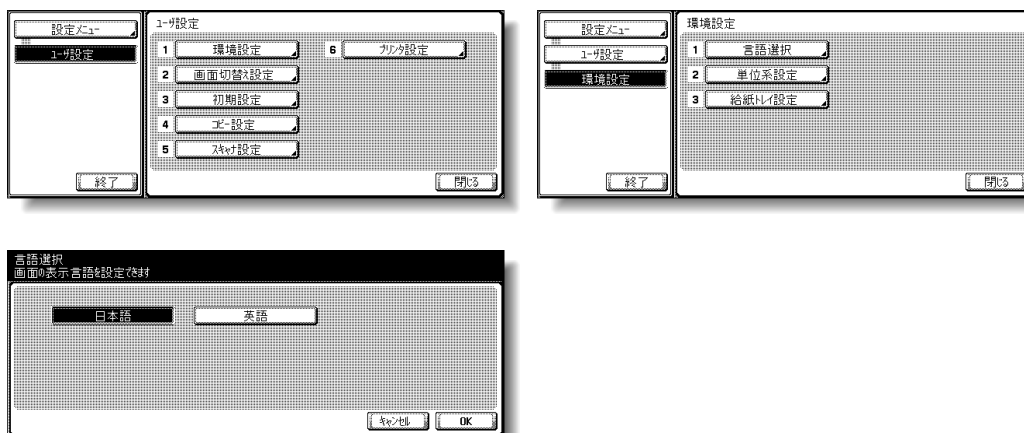
管理者設定により、ユーザが下記の項目を設定できるようになります。各項目の設定方法については、第 15 章「設定メニュー＜管理者設定＞」をごらんください。

パワーセーブ設定、出力設定、連続読み時の出力設定、原稿画質の濃度シフト、原稿ガラス自動倍率、ADF 自動倍率、APS 解除時のトレイ設定、インターシートトレイ選択、コピー操作時のプリント受付

1 環境設定

■ 1 言語選択

タッチパネルに表示される言語を選択をします。
最初は、日本語が選択されています。



手順

- 1 操作パネルの【設定メニュー／カウンタ】を押して、設定メニュー／カウンタ画面を表示させます。
- 2 設定メニュー／カウンタ画面の〔2 ユーザ設定〕を押して、ユーザ設定画面を表示させます。
- 3 ユーザ設定画面の〔1 環境設定〕を押します。環境設定画面が表示されます。
- 4 環境設定画面の〔1 言語選択〕を押します。言語選択画面が表示されます。
- 5 〔日本語〕または〔英語〕を押して反転させます。
- 6 変更内容を確認するため、〔OK〕を押します。
変更しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、環境設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 14-2 をごらんください。

ユーザ設定
画面の概要

ユーザ設定
説明一覧

1 環境設定

2 画面
切替え設定

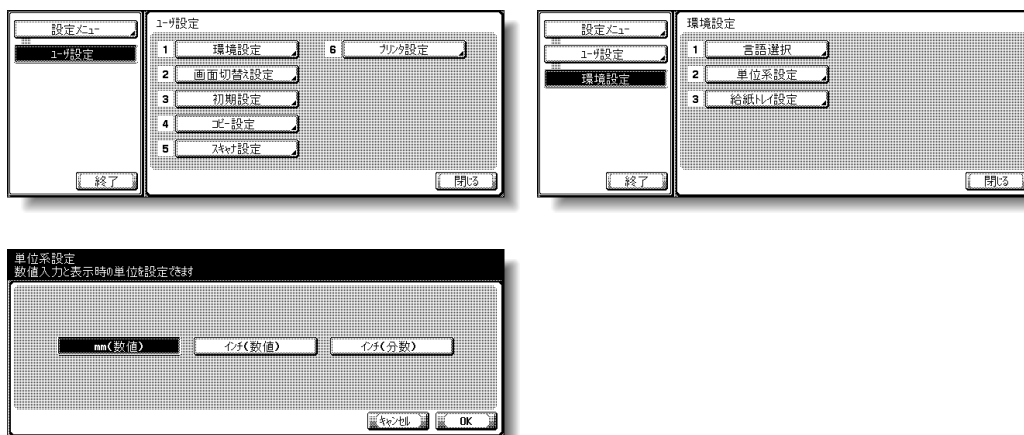
3 初期設定

4 コピー設定

第14章
設定メニュー
ユーザ設定

■ 2 単位系設定

ユーザが入力する数値や、タッチパネルに表示される数値の単位を選択します。

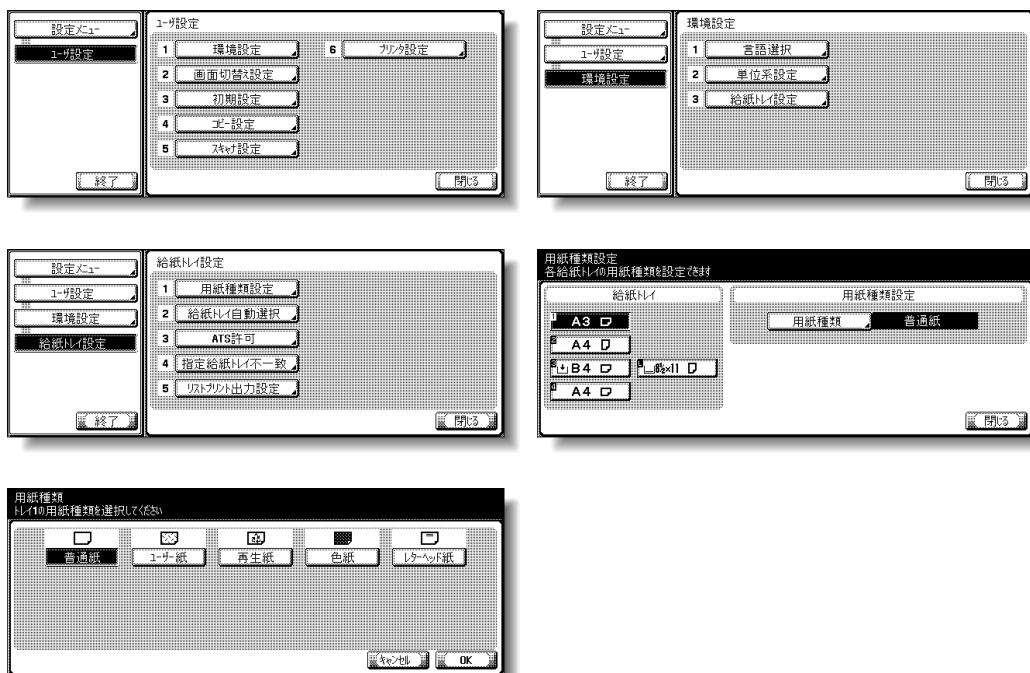


手順

- 1 操作パネルの【設定メニュー／カウンタ】を押して、設定メニュー／カウンタ画面を表示させます。
- 2 設定メニュー／カウンタ画面の〔2 ユーザ設定〕を押して、ユーザ設定画面を表示させます。
- 3 ユーザ設定画面の〔1 環境設定〕を押します。環境設定画面が表示されます。
- 4 環境設定画面の〔2 単位系設定〕を押します。単位系設定画面が表示されます。
- 5 希望する単位のボタンを押して反転させます。
- 6 変更内容を確認するため、〔OK〕を押します。
変更しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、環境設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 14-2 をごらんください。

■ 3 給紙トレイ設定 > 1 用紙種類設定

各給紙トレイで使用する用紙の種類をトレイごとに選択します。



手順

- 1 操作パネルの【設定メニュー／カウンタ】を押して、設定メニュー／カウンタ画面を表示させます。
- 2 設定メニュー／カウンタ画面の〔2 ユーザ設定〕を押して、ユーザ設定画面を表示させます。
- 3 ユーザ設定画面の〔1 環境設定〕を押します。環境設定画面が表示されます。
- 4 環境設定画面の〔3 給紙トレイ設定〕を押します。給紙トレイ設定画面が表示されます。
- 5 給紙トレイ設定画面の〔1 用紙種類設定〕を押します。用紙種類設定画面が表示されます。
- 6 画面左側の〔給紙トレイ〕下で、任意のトレイボタンを押して反転させます。
- 7 〔用紙種類〕を押します。用紙種類画面が表示されます。
- 8 任意の用紙種類キーを押して反転させます。
- 9 変更内容を確認するため、〔OK〕を押します。
変更しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、用紙種類設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 14-2 をごらんください。

ユーザ設定
画面の概要

ユーザ設定
説明一覧

1 環境設定

2 画面
切替え設定

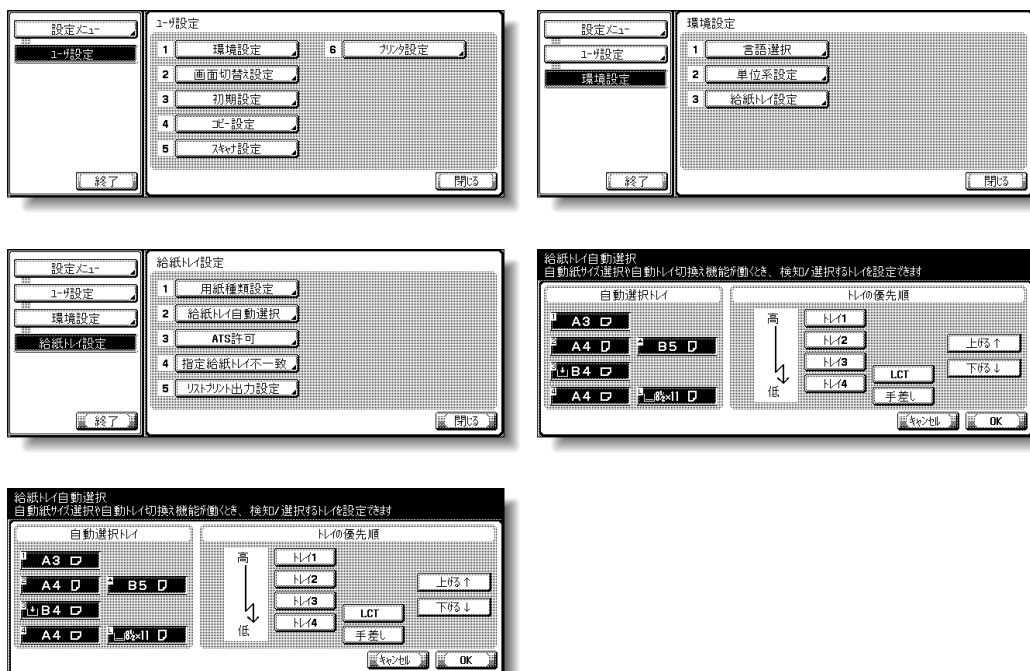
3 初期設定

4 コピー設定

第14章
設定メニュー
ユーザ設定

■ 3 給紙トレイ設定 > 2 給紙トレイ自動選択

自動用紙機能や自動トレイ切換え機能を働くときに選択対象になるトレイの選択、選択トレイの優先順位を設定します。

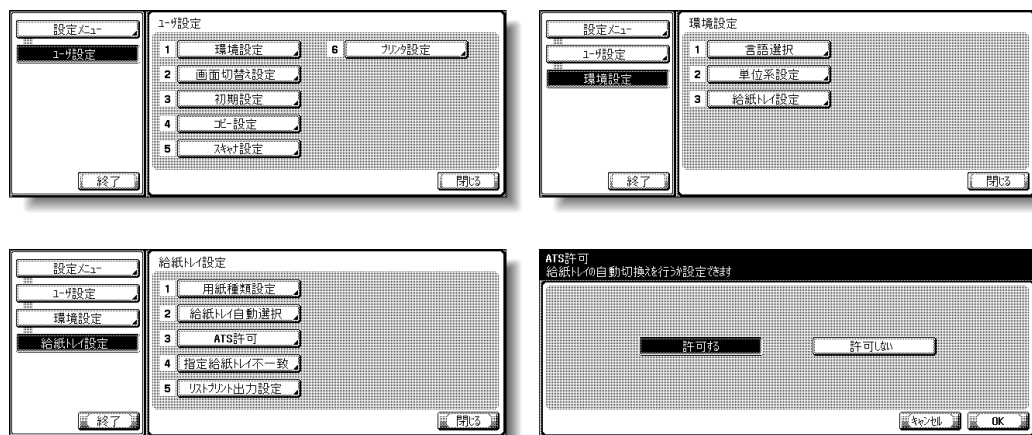


手順

- 1 操作パネルの【設定メニュー／カウンタ】を押して、設定メニュー／カウンタ画面を表示させます。
- 2 設定メニュー／カウンタ画面の〔2 ユーザ設定〕を押して、ユーザ設定画面を表示させます。
- 3 ユーザ設定画面の〔1 環境設定〕を押します。環境設定画面が表示されます。
- 4 環境設定画面の〔3 給紙トレイ設定〕を押します。給紙トレイ設定画面が表示されます。
- 5 給紙トレイ設定画面の〔2 給紙トレイ自動選択〕を押します。給紙トレイ自動選択画面が表示されます。
- 6 画面左側の「自動選択トレイ」下の各トレイボタンで、自動用紙機能や自動トレイ切換え機能が機能したとき、選択対象になるトレイの選択をします。選択したトレイは自動用紙機能や自動トレイ切換え機能が機能したとき、選択対象のトレイになります。選択しなかったトレイは自動用紙機能や自動トレイ切換え機能がオンになっていても選択対象のトレイになりません。
選択したトレイは、画面右側にトレイキーとして表示されます。
- 7 画面右側の「トレイの優先順」下の各トレイボタンで、自動用紙機能や自動トレイ切換え機能が機能したときに選択対象になっているトレイの優先順位を設定します。
順位を変更するトレイボタンを押して選択し、〔上げる↑〕または〔下げる↓〕を押して変更します。
- 8 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、給紙トレイ設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 14-2 をごらんください。

■ 3 給紙トレイ設定 > 3 ATS 許可

自動トレイ切換え機能 (ATS) のオン/オフの設定をします。



手順

- 1 操作パネルの【設定メニュー／カウンタ】を押して、設定メニュー／カウンタ画面を表示させます。
- 2 設定メニュー／カウンタ画面の〔2 ユーザ設定〕を押して、ユーザ設定画面を表示させます。
- 3 ユーザ設定画面の〔1 環境設定〕を押します。環境設定画面が表示されます。
- 4 環境設定画面の〔3 給紙トレイ設定〕を押します。給紙トレイ設定画面が表示されます。
- 5 給紙トレイ設定画面の〔3 ATS 許可〕を押します。ATS 許可画面が表示されます。
- 6 オートトレイスイッチングを使用する場合は〔許可する〕、使用しない場合は〔許可しない〕を選択します。
- 7 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、給紙トレイ設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 14-2 をごらんください。

ユーザ設定
画面の概要

ユーザ設定
説明一覧

1 環境設定

2 画面
切替え設定

3 初期設定

4 コピー設定

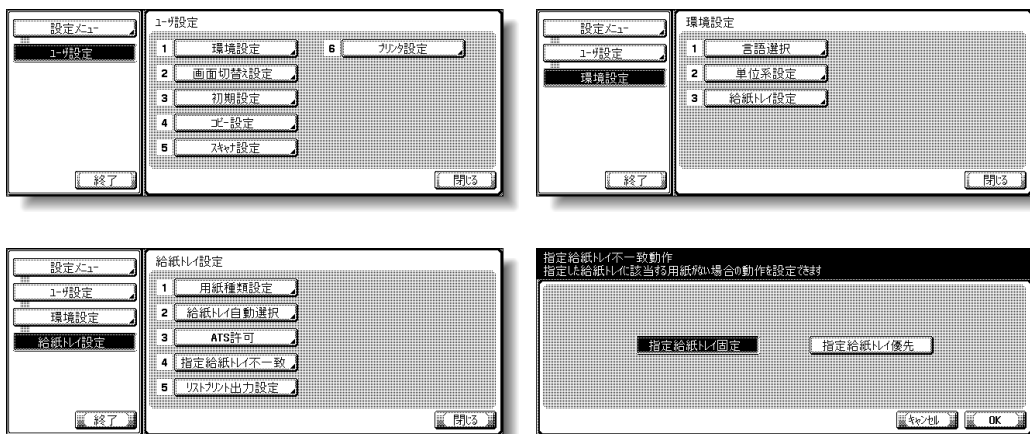
設定メニュー
ユーザ設定
第14章

■ 3 給紙トレイ設定 > 4 指定給紙トレイ不一致

自動トレイ切換え機能が働いて自動選択されたトレイが、それまで給紙していたトレイと異なる用紙種類を設定している場合、動作を停止するか、同じ用紙種類を設定している別のトレイを探して、該当するトレイがあればそのトレイを選択するかを選択をします。

〔指定給紙トレイ固定〕を選択すると、自動トレイ切換え機能が自動選択したトレイが、それまで給紙していたトレイに設定されていた用紙種類と異なる用紙種類を設定している場合、直ちに動作を中止します。

〔指定給紙トレイ優先〕を選択すると、自動トレイ切換え機能が自動選択したトレイが、それまで給紙していたトレイに設定されていた用紙種類と異なる用紙種類を設定している場合、同じ用紙種類を設定しているそのほかのトレイを探し、該当トレイがあるときは、引き続きそのトレイから給紙します。

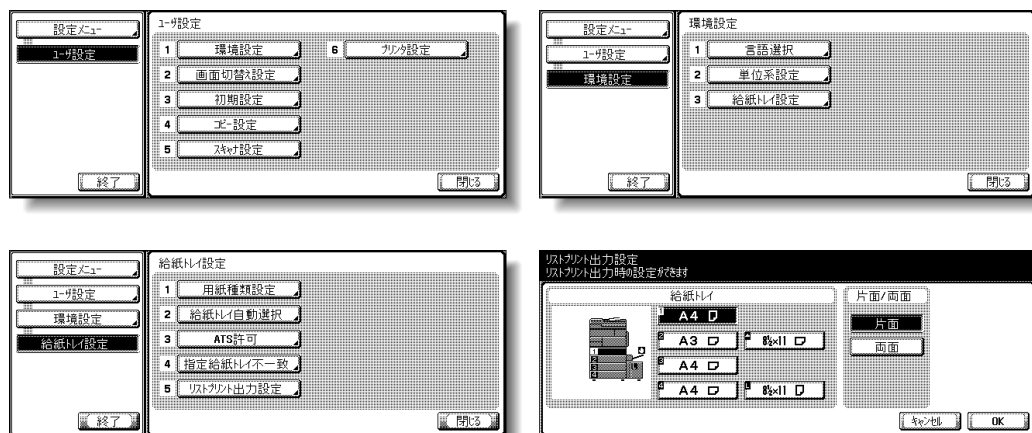


手順

- 1 操作パネルの【設定メニュー／カウンタ】を押して、設定メニュー／カウンタ画面を表示させます。
- 2 設定メニュー／カウンタ画面の〔2 ユーザ設定〕を押して、ユーザ設定画面を表示させます。
- 3 ユーザ設定画面の〔1 環境設定〕を押します。環境設定画面が表示されます。
- 4 環境設定画面の〔3 給紙トレイ設定〕を押します。給紙トレイ設定画面が表示されます。
- 5 給紙トレイ設定画面の〔4 指定給紙トレイ不一致〕を押します。指定給紙トレイ不一致画面が表示されます。
- 6 〔指定給紙トレイ固定〕または〔指定給紙トレイ優先〕のどちらかを選択します。
- 7 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、給紙トレイ設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 14-2 をごらんください。

■ 3 給紙トレイ設定 > 5 リストプリント出力設定

セールスカウンタなどのリストを出力するときの給紙トレイを設定します。
また、片面／両面を設定できます。



手順

- 1 操作パネルの【設定メニュー／カウンタ】を押して、設定メニュー／カウンタ画面を表示させます。
- 2 設定メニュー／カウンタ画面の〔2 ユーザ設定〕を押して、ユーザ設定画面を表示させます。
- 3 ユーザ設定画面の〔1 環境設定〕を押します。環境設定画面が表示されます。
- 4 環境設定画面の〔3 給紙トレイ設定〕を押します。給紙トレイ設定画面が表示されます。
- 5 給紙トレイ設定画面の〔5 リストプリント出力設定〕を押します。リストプリント出力設定画面が表示されます。
- 6 希望するトレイを押して反転させます。
- 7 〔片面〕または〔両面〕を選択します。
- 8 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、給紙トレイ設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 14-2 をごらんください。

ユーザ設定
画面の概要

ユーザ設定
説明一覧

1 環境設定

2 画面
切替え設定

3 初期設定

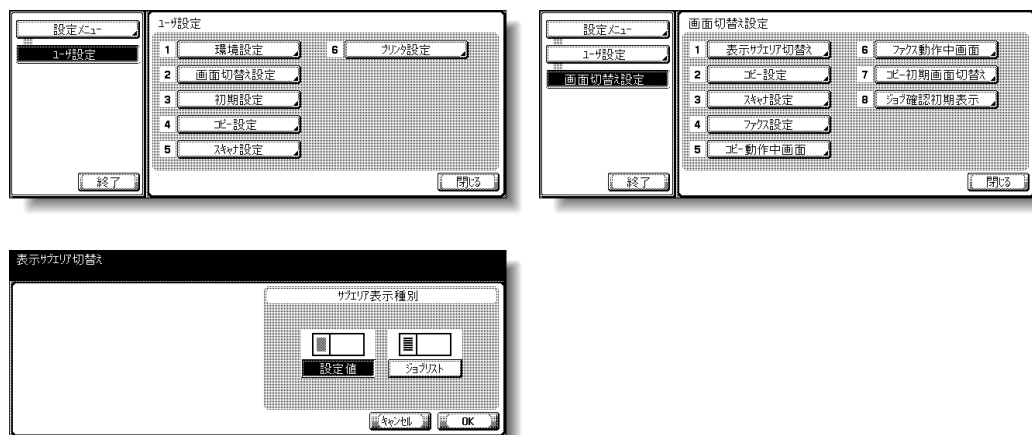
4 コピー設定

第14章
ユーザ設定
設定メニュー

2 画面切替え設定

■ 1 表示サブエリア切替え

基本画面左側のサブエリア部に設定値を表示するか、簡易的なジョブリストを表示するかの設定をします。

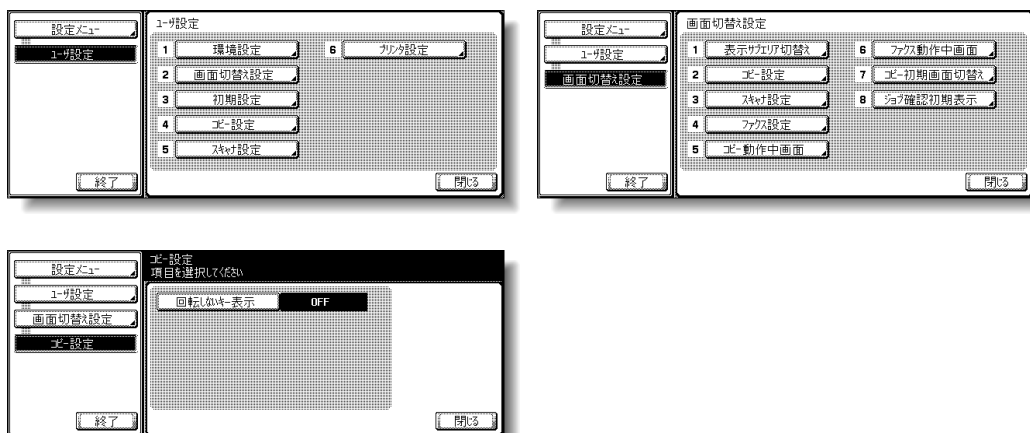


手順

- 1 操作パネルの【設定メニュー／カウンタ】を押して、設定メニュー／カウンタ画面を表示させます。
- 2 設定メニュー／カウンタ画面の〔2 ユーザ設定〕を押して、ユーザ設定画面を表示させます。
- 3 ユーザ設定画面の〔2 画面切替え設定〕を押して、画面切替え設定画面を表示させます。
- 4 画面切替え設定画面の〔1 表示サブエリア切替え〕を押します。表示サブエリア切替え画面が表示されます。
- 5 〔設定値〕または〔ジョブリスト〕を選択します。
- 6 変更内容を確認するため、〔OK〕を押します。
変更しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、画面切替え設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 14-2 をごらんください。

■ 2 コピー設定

基本画面に[設定メニュー]＞[画像の取め方]＞[回転しない]の機能を使用するかしないかを選択する〔回転しない〕ボタンを表示するか、しないかを設定します。



手順

- 1 操作パネルの【設定メニュー／カウンタ】を押して、設定メニュー／カウンタ画面を表示させます。
 - 2 設定メニュー／カウンタ画面の〔2 ユーザ設定〕を押して、ユーザ設定画面を表示させます。
 - 3 ユーザ設定画面の〔2 画面切替え設定〕を押して、画面切替え設定画面を表示させます。
 - 4 画面切替え設定画面の〔2 コピー設定〕を押します。コピー設定画面が表示されます。
 - 5 〔回転しないキー表示〕を押します。画面右側「設定値」表示下の〔ON〕または〔OFF〕を選択します。
 - 6 〔閉じる〕を押して、画面切替え設定画面にもどります。
- 以後の操作は、p.14-2 をごらんください。

■ 3 スキャナ設定

スキャナ機能に関する設定を行います。詳しくは、〔ユーザズガイド ネットワーク／スキャナ機能編〕をごらんください。

■ 4 ファクス設定

ファクシミリ機能に関する設定を行います。詳しくは「ユーザズガイドファクシミリ機能編」をごらんください。

ユーザ設定
画面の概要

ユーザ設定
説明一覧

1 環境設定

2 画面
切替え設定

3 初期設定

4 コピー設定

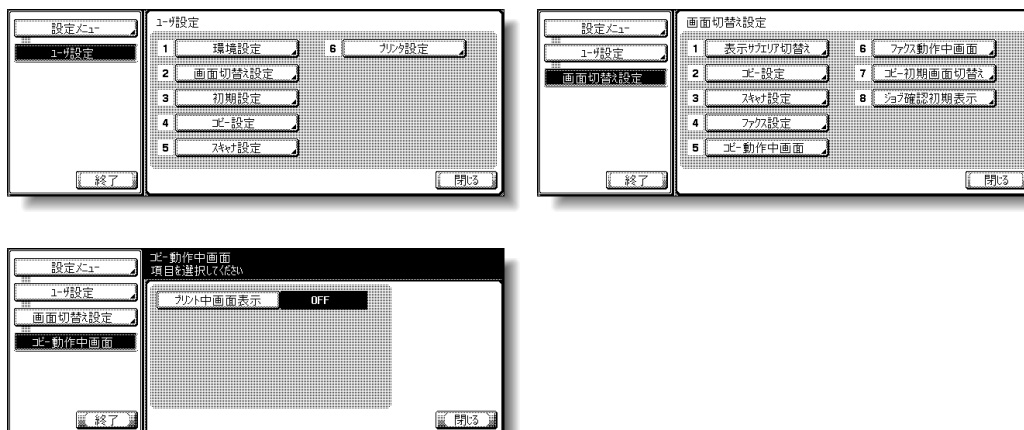
第14章
設定メニュー
ユーザ設定

■ 5 コピー動作中画面

プリント動作中の画面表示を設定します。

〔ON〕を選択するとプリント動作中にプリント中画面が表示され、〔次ジョブ予約〕を押すとジョブの予約ができます。

〔OFF〕を選択するとコピー機能の基本設定画面が表示され、コピー予約ができます。



手順

- 1 操作パネルの【設定メニュー／カウンタ】を押して、設定メニュー／カウンタ画面を表示させます。
- 2 設定メニュー／カウンタ画面の〔2 ユーザ設定〕を押して、ユーザ設定画面を表示させます。
- 3 ユーザ設定画面の〔2 画面切替え設定〕を押して、画面切替え設定画面を表示させます。
- 4 画面切替え設定画面の〔5 コピー動作中画面〕を押します。コピー動作中画面が表示されます。
- 5 〔プリント中画面表示〕を押します。画面右側「設定値」表示下の、〔ON〕または〔OFF〕を選択します。
- 6 〔閉じる〕を押して、画面切替え設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 14-2 をごらんください。

■ 6 ファクス動作中画面

ファクス動作中の表示画面を設定します。詳しくは「ユーザーズガイドファクシミリ機能編」をごらんください。

■ 7 コピー初期画面切替え

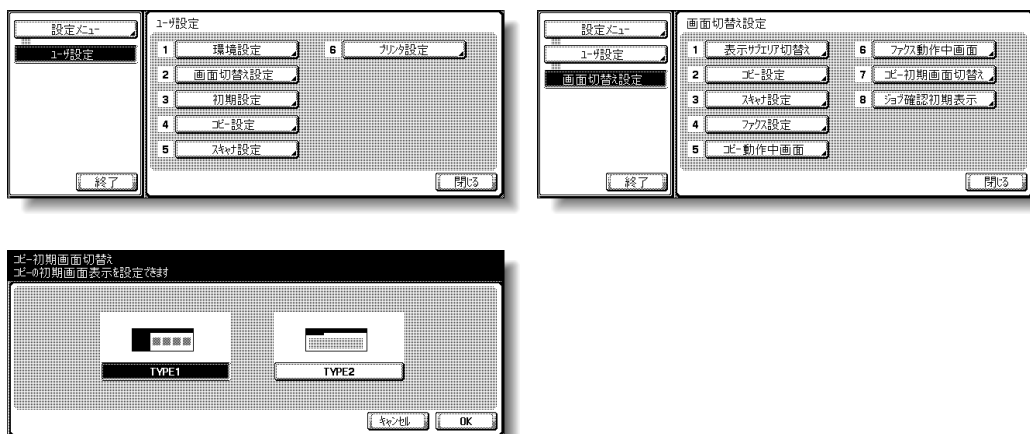
2 種類あるコピー機能の基本画面の表示を切替えます。

〔TYPE1〕

基本画面で設定する各機能の名称ボタンと現在の設定が表示されます。

〔TYPE2〕

基本画面で設定する各機能の選択ボタンが表示され、現在の設定が反転表示されます。



手順

- 1 操作パネルの【設定メニュー／カウンタ】を押して、設定メニュー／カウンタ画面を表示させます。
- 2 設定メニュー／カウンタ画面の〔2 ユーザ設定〕を押して、ユーザ設定画面を表示させます。
- 3 ユーザ設定画面の〔2 画面切替え設定〕を押して、画面切替え設定画面を表示させます。
- 4 画面切替え設定画面の〔7 コピー初期画面切替え〕を押します。コピー初期画面切替え画面が表示されます。
- 5 〔TYPE1〕または〔TYPE2〕を選択します。
- 6 変更内容を確認するため、〔OK〕を押します。
変更しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、画面切替え設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 14-2 をごらんください。

ユーザ設定
画面の概要

ユーザ設定
説明一覧

1 環境設定

2 画面
切替え設定

3 初期設定

4 コピー設定

第14章
設定メニュー
ユーザ設定

■ 8 ジョブ確認初期表示

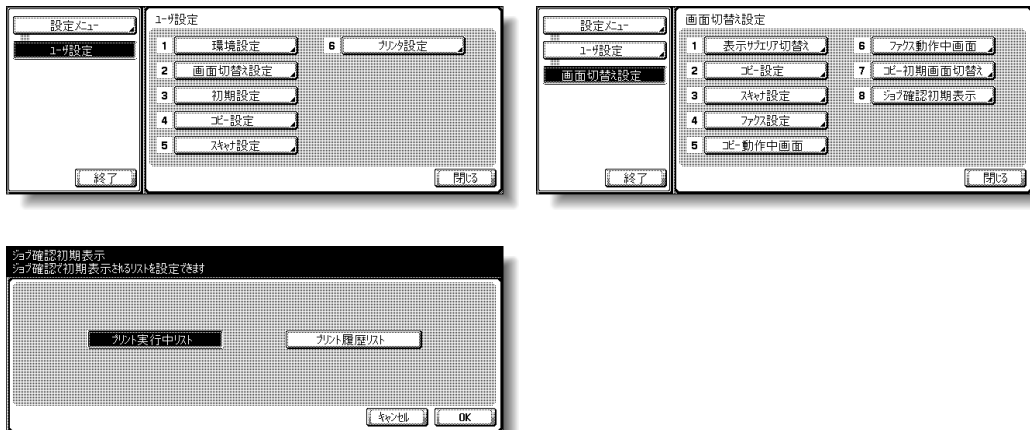
ジョブ確認画面で初期表示されるジョブリストを設定します。

〔プリント実行中リスト〕

プリントタブの実行中リストが表示されます。

〔プリント履歴リスト〕

プリントタブの履歴リストが表示されます。



手順

- 1 操作パネルの【設定メニュー／カウンタ】を押して、設定メニュー／カウンタ画面を表示させます。
- 2 設定メニュー／カウンタ画面の〔2 ユーザ設定〕を押して、ユーザ設定画面を表示させます。
- 3 ユーザ設定画面の〔2 画面切替え設定〕を押して、画面切替え設定画面を表示させます。
- 4 画面切替え設定画面の〔8 ジョブ確認初期表示〕を押します。ジョブ確認初期表示画面が表示されます。
- 5 〔プリント実行中リスト〕または〔プリント履歴リスト〕を選択します。
- 6 変更内容を確認するため、〔OK〕を押します。
変更しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、画面切替え設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 14-2 をごらんください。

3 初期設定

機械がリセットされたときに自動設定される初期設定のコピー条件を設定します。
初期設定として設定できるコピー条件は、下記の2種類です。

- 出荷時の設定値： 機械出荷時に設定されている初期設定（フルオート）
- 現在の設定値： 設定メニュー／カウンタ画面に入る前に設定されていたコピー条件

詳しく説明します

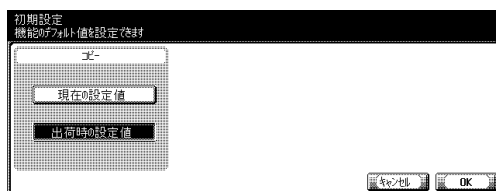
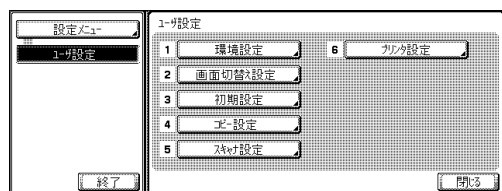
機械がリセットされる条件

- 電源をオンにしたとき
- オートリセット機能が働いたとき
- パワーセーブ機能が働いたとき
- ユーザ認証／部門認証が設定されているときにパスワード入力等でコピー可能になったとき
- カウンタ／コピーカードを挿入したとき
- 操作パネルの【リセット】を押したとき

詳しく説明します

出荷時の設定値（フルオートのコピー条件）

- 基本設定：部数 001、両面 片面＞片面、ADF オン、濃度 自動、下地調整 ふつう、倍率 1.000、自動用紙オン
- 集約／原稿設定：集約 オフ、原稿セット方向 上向き、両面とじ方向 左右とじ、特殊原稿 普通原稿、原稿サイズ 定形サイズ
- 原稿画質設定：文字／写真
- 応用設定：オフ



手順

- 1 初期設定をフルオートではなく任意のコピー条件にしたい場合は、そのコピー条件を最初に設定します。
- 2 操作パネルの【設定メニュー／カウンタ】を押して、設定メニュー／カウンタ画面を表示させます。
- 3 設定メニュー／カウンタ画面の〔2 ユーザ設定〕を押して、ユーザ設定画面を表示させます。
- 4 ユーザ設定画面の〔3 初期設定〕を押して、初期設定画面を表示させます。
- 5 〔現在の設定値〕または〔出荷時の設定値〕を選択します。
- 6 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、ユーザ設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 14-2 をごらんください。

ユーザ設定
画面の概要

ユーザ設定
説明一覧

1 環境設定

2 画面
切替え設定

3 初期設定

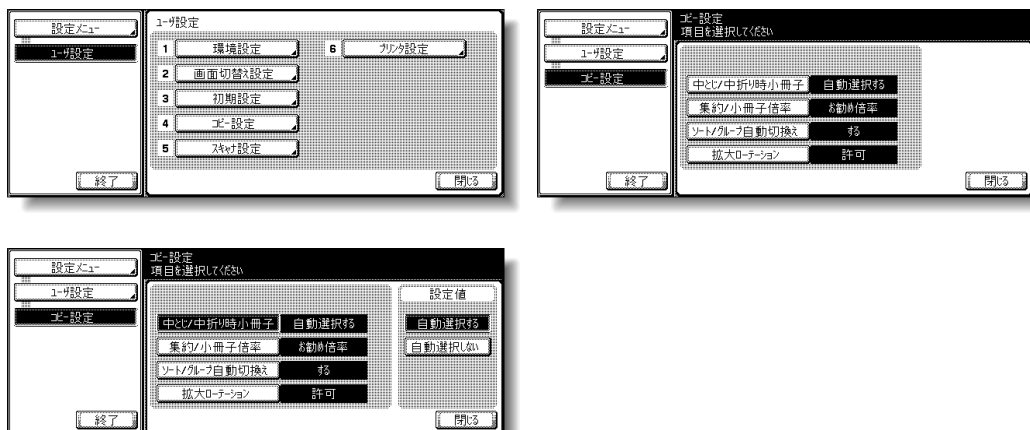
4 コピー設定

設定メニュー
ユーザ設定
第14章

4 コピー設定

■ 中とじ／中折り時小冊子

中とじを選択したとき自動で小冊子の設定をするかしないかの設定ができます。
中とじ／中折り時小冊子は、オプションのフィニッシャ FS-510 に中綴じ機 SD-502 を装着している場合にのみ設定が有効となります。



手順

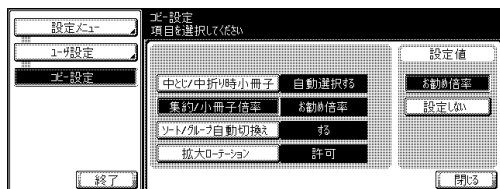
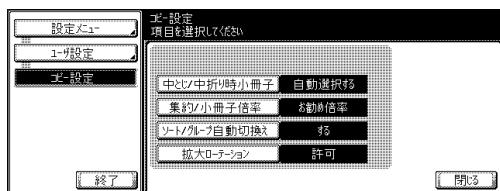
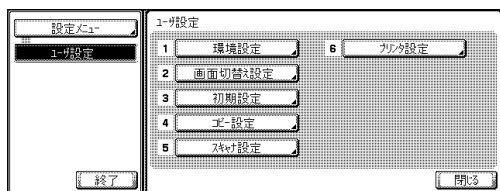
- 1 操作パネルの【設定メニュー／カウンタ】を押して、設定メニュー／カウンタ画面を表示させます。
- 2 設定メニュー／カウンタ画面の〔2 ユーザ設定〕を押して、ユーザ設定画面を表示させます。
- 3 ユーザ設定画面の〔4 コピー設定〕を押して、コピー設定画面を表示させます。
- 4 〔中とじ／中折り時小冊子〕を押します。
画面右側「設定値」表示下の、〔自動選択する〕または〔自動選択しない〕を選択します。
- 5 〔閉じる〕を押して、ユーザ設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 14-2 をごらんください。

■ 集約／小冊子倍率

自動用紙設定時に集約または小冊子を選択すると、自動で適した倍率を選択するかどうかを設定できます。

倍率の設定値は次のようになります。

〔お勧め倍率〕を選択： 2in1、小冊子 ... × 0.707
 4in1..... × 0.500
 8in1..... × 0.353
 〔設定しない〕を選択： 倍率は自動で設定されません。



手順

- 1 操作パネルの【設定メニュー／カウンタ】を押して、設定メニュー／カウンタ画面を表示させます。
- 2 設定メニュー／カウンタ画面の〔2 ユーザ設定〕を押して、ユーザ設定画面を表示させます。
- 3 ユーザ設定画面の〔4 コピー設定〕を押して、コピー設定画面を表示させます。
- 4 〔集約／小冊子倍率〕を押します。
画面右側「設定値」表示下の、〔お勧め倍率〕または〔設定しない〕を選択します。
- 5 〔閉じる〕を押して、ユーザ設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 14-2 をごらんください。

ユーザ設定
画面の概要

ユーザ設定
説明一覧

1 環境設定

2 画面
切替え設定

3 初期設定

4 コピー設定

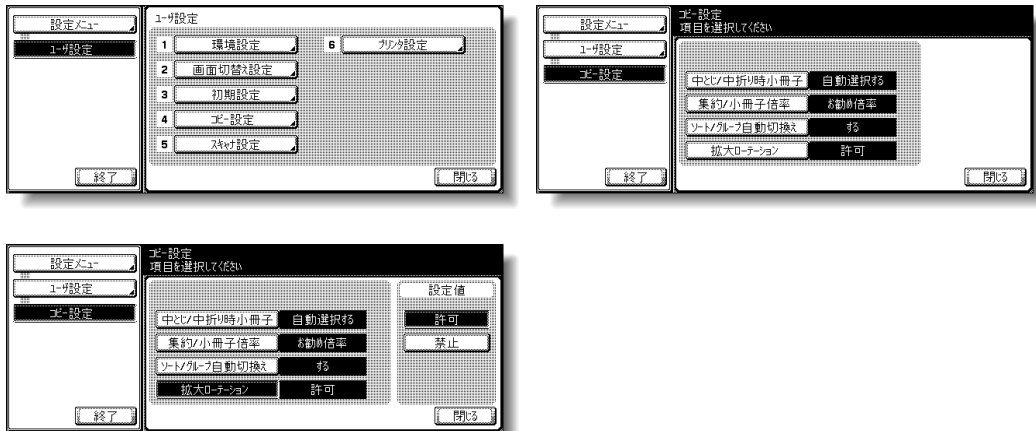
第14章
設定メニュー
ユーザ設定

■ ソート／グループ自動切換え

1 ジョブでプリントする用紙枚数が2枚以上ある場合、ソートする／しないの自動切換えをするかどうかを設定できます。

〔する〕を選択： ADF に原稿をセットし、操作パネルの【スタート】を押したときに、原稿枚数が1枚の場合は自動的にソートしないを選択し、原稿枚数が2枚以上の場合は自動的にソートするを選択します。

〔しない〕を選択： ソートする／しないの自動切換えは行いません。

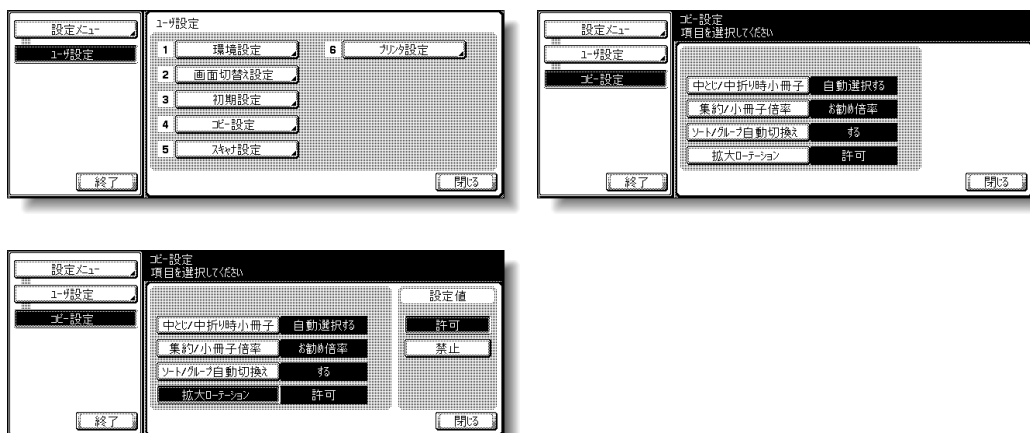


手順

- 1 操作パネルの【設定メニュー／カウンタ】を押して、設定メニュー／カウンタ画面を表示させます。
- 2 設定メニュー／カウンタ画面の〔2 ユーザ設定〕を押して、ユーザ設定画面を表示させます。
- 3 ユーザ設定画面の〔4 コピー設定〕を押して、コピー設定画面を表示させます。
- 4 〔ソート／グループ自動切換え〕を押します。
画面右側「設定値」表示下の、〔する〕または〔しない〕を選択します。
- 5 〔閉じる〕を押して、ユーザ設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 14-2 をごらんください。

■ 拡大ローテーション

自動倍率が機能しているとき、A4□、B5□、8.5"×11"□の原稿をA3□、B4□、11"×17"□に拡大ローテーションコピーするかしないかを設定します。



手順

- 1 操作パネルの【設定メニュー／カウンタ】を押して、設定メニュー／カウンタ画面を表示させます。
- 2 設定メニュー／カウンタ画面の〔2 ユーザ設定〕を押して、ユーザ設定画面を表示させます。
- 3 ユーザ設定画面の〔4 コピー設定〕を押して、コピー設定画面を表示させます。
- 4 〔拡大ローテーション〕を押します。
画面右側「設定値」表示下の〔許可〕または〔禁止〕を選択します。
- 5 〔閉じる〕を押して、ユーザ設定画面にもどります。
以後の操作は、p.14-2 をごらんください。

ユーザ設定
画面の概要

ユーザ設定
説明一覧

1 環境設定

2 画面
切替え設定

3 初期設定

4 コピー設定

第14章
設定メニュー
ユーザ設定

第15章

設定メニュー／カウンタ画面で管理者が設定する内容およびその設定方法について説明します。

管理者設定画面の概要	15-2
設定メニューで設定できる階層項目の一覧	15-4
管理者設定の内容一覧	15-17
1 環境設定	15-23
2 管理者／本体登録	15-53
4 ユーザ認証／部門管理	15-55
6 コピー設定	15-73
9 セキュリティ設定	15-79

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者／
本体登録

4 ユーザ認証／
部門管理

6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

管理者設定画面の概要

ここでは、管理者が設定メニュー／カウンタ画面の〔3 管理者設定〕で設定する項目とその設定方法について説明します。

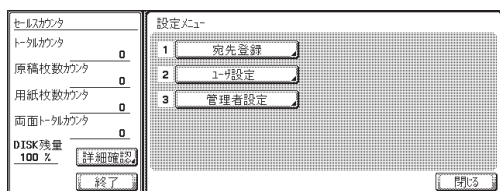
管理者は、管理者パスワードを入力して管理者設定を行います。

■ 管理者設定画面を表示させるためには

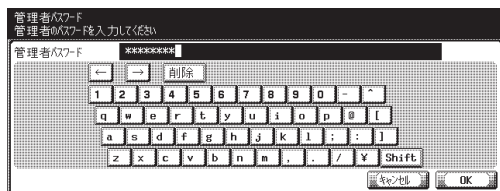
- 1 操作パネルの【設定メニュー／カウンタ】を押します。設定メニュー／カウンタ画面が表示されます。



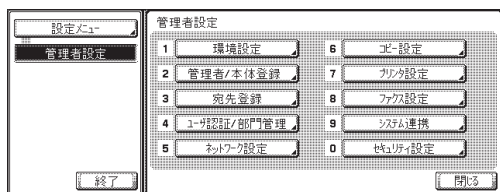
- 2 〔3 管理者設定〕を押します。管理者パスワード入力画面が表示されます。



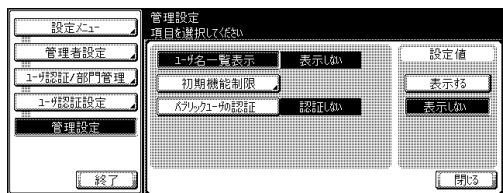
- 3 8ケタの管理者パスワードを入力して〔OK〕を押します。管理者設定画面が表示されます。



- 4 各種の管理者設定をします。



設定メニュー／カウンタ画面の〔閉じる〕または〔終了〕、階層キー



〔閉じる〕を押すと、今表示されている前に表示されていた画面にもどります。

任意の階層キーを押すと、それぞれの階層画面に飛びます。

〔終了〕を押すと、基本設定画面にもどります。

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者／
本体登録

4 ユーザ認証／
部門管理

6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

第15章
設定メニュー
〈管理者設定〉

設定メニューで設定できる階層項目の一覧

設定メニューで設定できる項目の階層をチャートを使って説明します。

設定メニューには、管理者が設定する「管理者設定」のほかに、第 14 章で説明している「ユーザ設定」および「ネットワーク／スキャナ」、「ファクシミリ」の階層も表示しています。

ユーザ開放レベルについて

管理者設定のユーザ開放レベルの設定によって、管理者設定で行う設定の一部を一般ユーザが行えるように変更することができます。

ユーザに開放する項目は、重要度によってレベル 1、レベル 2 と 2 段階に分かれています。レベル 2 を選択すると、ユーザは管理者により近い設定を行うことになります。

設定内容および設定方法は、それぞれの管理者設定の説明ページをごらんください。

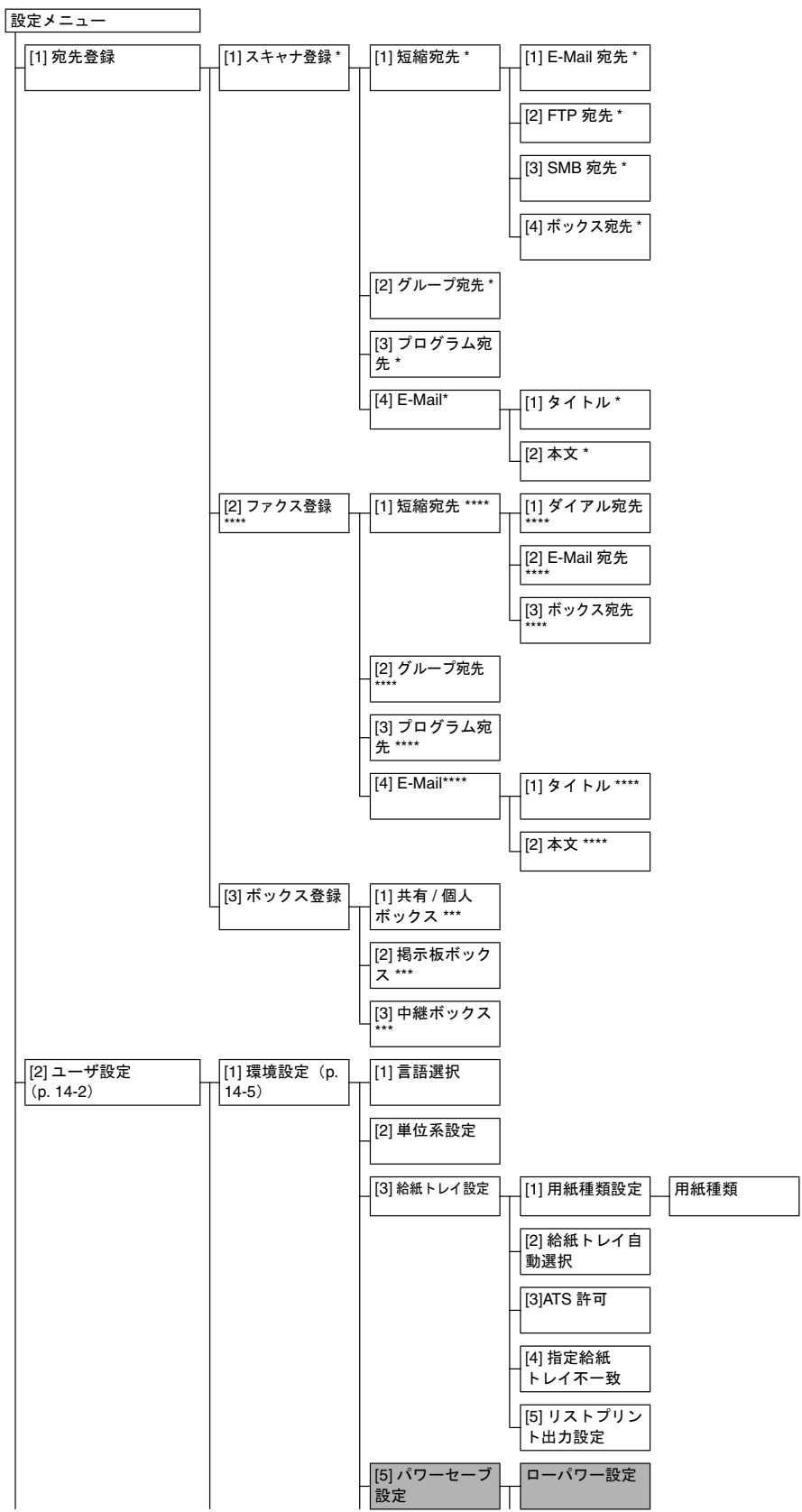


詳しく説明します

ユーザ開放レベルの設定に関しては、p. 15-80 「3 ユーザ開放レベル」をごらんください。

チャート表示について

- 網掛けがついているボタンは、ユーザ開放レベルの設定でユーザ設定でも設定可能になります。
- * マークがついているボタンの詳細は、「ユーザズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。
- ** マークがついているボタンの詳細は、「IC-204 ユーザズガイド」をごらんください。
- *** マークがついているボタンの詳細は、「ユーザズガイド ボックス機能編」をごらんください。
- **** マークがついているボタンの詳細は、「ユーザズガイド ファクシミリ機能編」をごらんください。
- ***** マークがついているボタンの詳細は、サービス実施店にご相談ください。



画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者／
本体登録

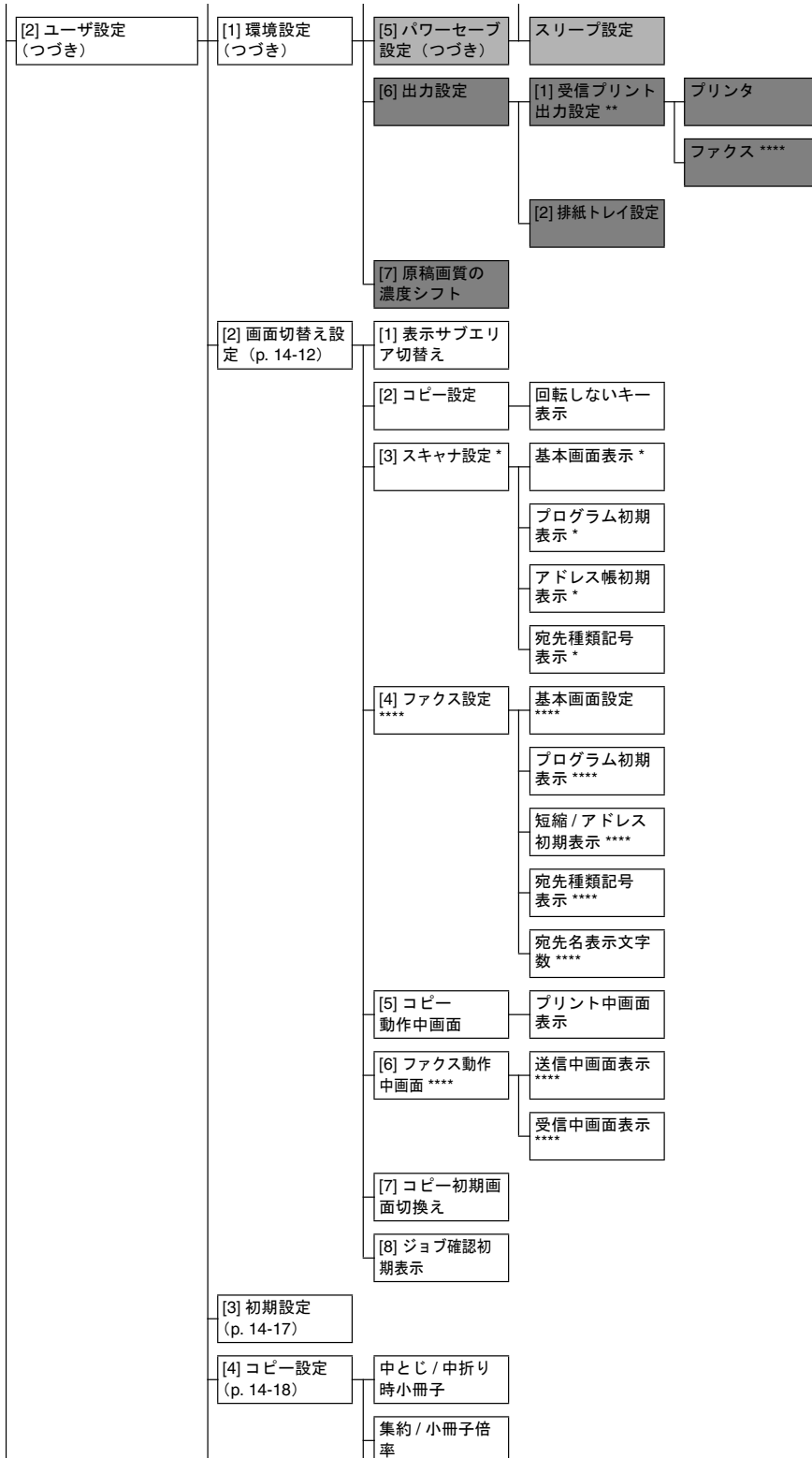
4 ユーザ認証／
部門管理

6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

第15章
設定メニュー
〈管理者設定〉

設定メニューで設定できる階層項目の一覧（つづき）



[2] ユーザ設定 (つづき)	[4] コピー設定 (つづき)	ソート / グループ自動切換え	
		拡大ローテーション	
		原稿ガラス自動倍率	
		ADF 自動倍率	
		APS 解除時のトレイ指定	
		インターシートトレイ選択	
		連続読み時の出力設定	
		コピー操作時のプリント受付	
	[5] スキャナ設定 *	白黒 2 値圧縮方法 *	
	[6] プリンタ設定 **	[1] 基本設定 **	PDL 設定 **
			プリント部数 **
			画像の向き **
			スプール設定 **
			用紙サイズ変換 **
			パナー設定 **
			管理ナンバー 印字濃度 **
			白紙抑制 **
		[2] 用紙設定 **	給紙トレイ **
			用紙サイズ **
			両面プリント **
			とじ方向 **
			ステープル **
			パンチ **
			パナー給紙トレイ **

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者 /
本体登録

4 ユーザ認証 /
部門管理

6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

設定メニューで設定できる階層項目の一覧（つづき）

[2] ユーザ設定 (つづき)	[6] プリンタ設定 ** (つづき)	[3] PCL 設定 **	[1] フォント設定 **	
			[2] シンボルセット **	
			[3] フォントサイズ **	
			[4] ライン / ページ **	
			[5] CR/LF マッピング **	
			[4] PS 設定 **	PS エラープリント **
			[5] レポート出力 **	設定情報リスト **
				デモページ **
				PCL フォントリスト **
				PS フォントリスト **
[3] 管理者設定 (p. 15-2)	[1] 環境設定 (p. 15-23)	[1] パワーセーブ設定	ローパワー設定	
			スリープ設定	
			パワーセーブキー節電切替	
			パワーセーブ移行ファクス ****	
		[2] 出力設定	[1] 受信プリント出力設定 **	プリンタ **
				ファクス ****
			[2] 排紙トレイ設定	
			[4] ジョブ毎のシフト排出設定 ****	
		[3] 日時設定		
		[5] ウィークリタイマ設定	[1] ウィークリタイマ使用設定	
			[2] タイマー予約時刻設定	
			[3] 動作日設定	
			[4] 昼休み OFF 機能設定	
			[5] 時間外パワード設定	

[3] 管理者設定 (つづき)	[1] 環境設定 (つづき)	[6] ユーザ操作禁止設定	[1] コピープログラムロック設定	
			[2] コピープログラム削除	
			[3] 変更禁止設定	ジョブ優先順位変更
				他ユーザジョブ削除
				宛先登録変更
				倍率登録変更
				From アドレス変更
				登録オーバーレイ変更
			[4] 操作禁止設定	ファクス複数宛先禁止
		[7] エキスパート調整	[1] 原稿画質の濃度シフト	
			[2] 消去補正	原稿外消去機能
				原稿外消去動作設定
				ADF 枠消し
			[3] フィニッシャ調整	[1] 中とじ位置調整
				[2] 中折り位置調整
				[3] パンチ横位置
				[4] パンチレジストループ量
		[8] リスト/カウンタ	[1] マシン管理リストプリント	設定値リスト
			[2] 用紙サイズ/種類カウンタ	
	[9] リセット設定	[1] システムオートリセット		
			[2] オートリセット	
			[3] モードリセット	使用者変更
				ADF 原稿セット
				次ジョブ
				ステーブル設定

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

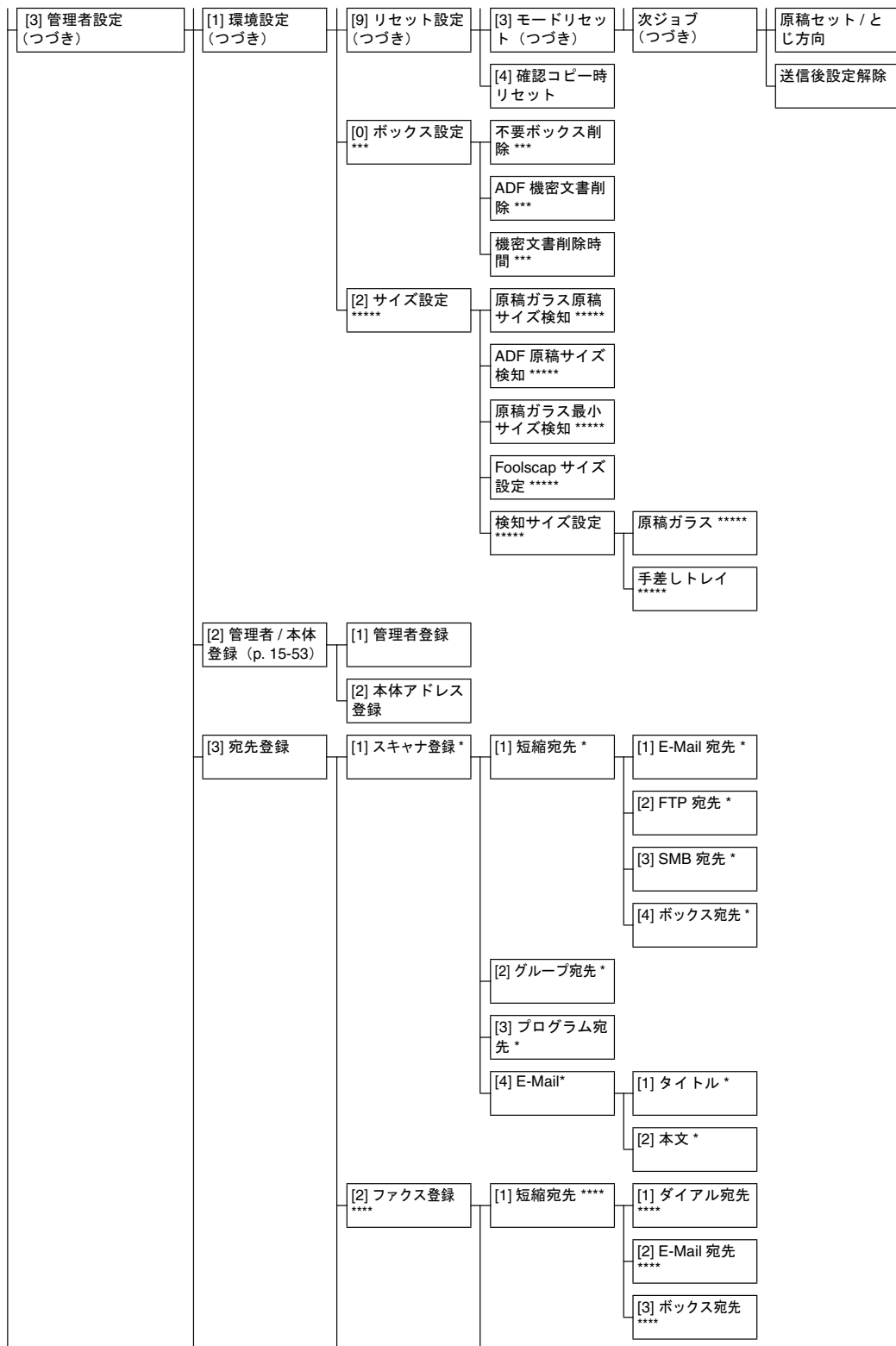
2 管理者／
本体登録

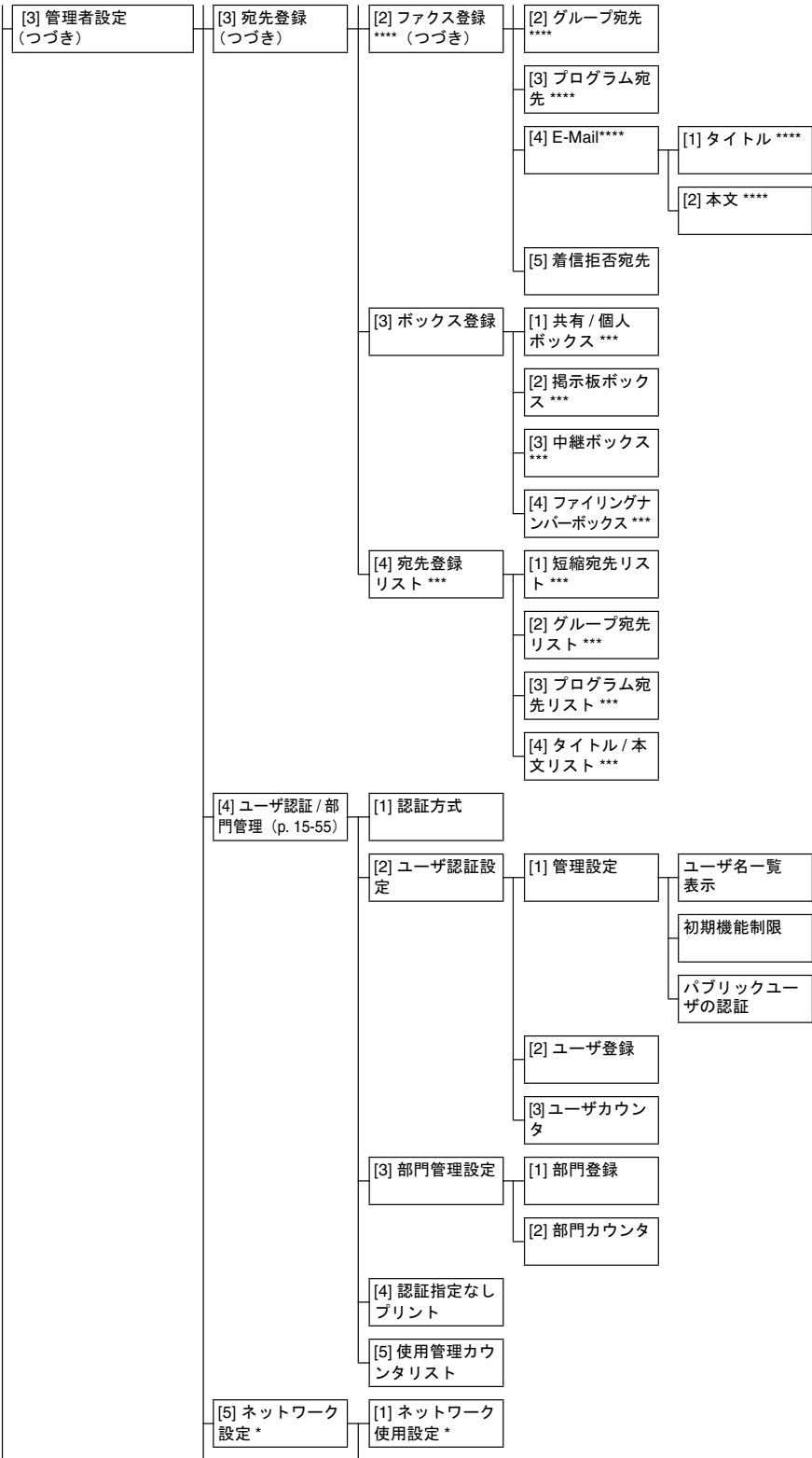
4 ユーザ認証／
部門管理

6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

設定メニューで設定できる階層項目の一覧（つづき）





画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者 / 本体登録

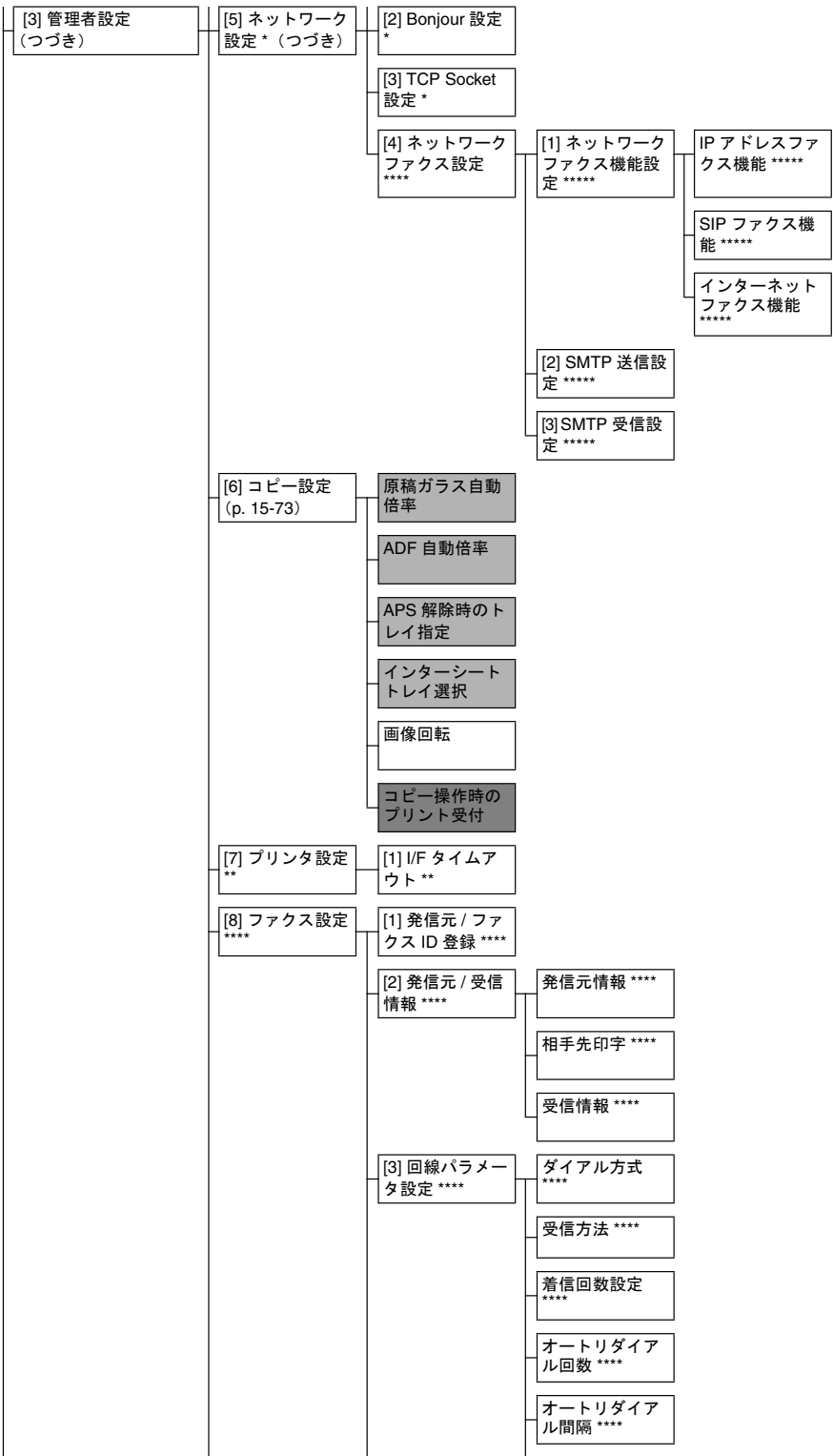
4 ユーザ認証 / 部門管理

6 コピー設定

9 セキュリティ設定

設定メニューで設定できる階層項目の一覧（つづき）

[3] 管理者設定 (つづき)	[5] ネットワーク 設定 * (つづき)	[2] TCP/IP 設定 *	
		[3] NetWare 設定 *	
		[4] http サーバ設 定 *	
		[5] FTP 設定 *	
		[6] SMB 設定 *	
		[7] AppleTalk 設 定 *	
		[8] LDAP 設定 *	[1] LDAP 使用設 定 *
			[2] LDAP サーバ 登録 *
			[3] 検索デフォル ト設定 *
		[9] E-Mail 設定 *	[1] E-Mail 送信 (SMTP)*
			[2] E-Mail 受信 (POP)*
		[0] 詳細設定 *	[1] デバイス設定 *
			[2] 時刻補正設定 *
			[3] 状態通知設定 *
			[1] 通知先登録 *
			[2] 通知項目設定 *
			[3] 通知時間設定 *
			[4] トータルカウ ンタ通知設定 *
			[5] PING 応答確 認 *
			[6] SLP 設定 *
			[7] LPD 設定 *
			[8] アドレス入力 付加設定 *
			[1] アドレス入力 付加 *
			[2] Prefix/Suffix 登録 *
			[9] 証明書無効時 処理 *
		[1] SNMP 設定 *	



画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者／
本体登録

4 ユーザ認証／
部門管理

6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

第15章
設定メニュー
〈管理者設定〉

設定メニューで設定できる階層項目の一覧（つづき）

[3] 管理者設定 (つづき)	[8] ファクス設定 **** (つづき)	[3] 回線パラメータ設定 **** (つづき)	回線モニター音 ****	
			回線モニター音レベル ****	
		[4] 送信 / 受信設定 ****	受信原稿両面プリント ****	
			インチ系用紙優先選択 ****	
			記録用紙優先選択 ****	
			記録用紙サイズ ****	
			着信拒否の動作 ****	
			給紙トレイ固定 ****	
			縮小率 ****	
			ページ分割記録 ****	
			ポーリング送信後文書 ****	
			受信プリント部数 ****	
		[5] 機能設定 ****	[1] 機能 ON/OFF 設定 ****	Fコード送信機能 ****
				中継受信機能 ****
				中継プリント ****
				宛先確認表示機能 ****
				ナンバーディスプレイ機能 ****
			[2] ダイヤルイン設定 ****	
			[3] 強制メモリ受信設定 ****	
			[4] 閉域受信設定 ****	
			[6] リモート受信設定 ****	
			[7] 再送信設定 ****	
			[6] PBX 接続設定 ****	
			[7] レポート出力設定 ****	通信管理レポート ****

[3] 管理者設定 (つづき)	[8] ファクス設定 **** (つづき)	[7] レポート出力 設定 **** (つづき)	送信結果レポート ****	
			順次通信結果レポート ****	
			予約レポート ****	
			親展受信レポート ****	
			掲示板送信結果レポート ****	
			中継結果レポート ****	
			中継依頼受付レポート ****	
			PC-FAX 送信エラーレポート ****	
			同報結果レポート出力 ****	
			送信結果レポート出力画面 ****	
		[8] 設定値リスト ****		
		[9] 増設回線設定 ****	[1] 回線パラメータ設定 ****	ダイヤル方式 ****
				着信回数設定 ****
				回線モーター音 ****
				回線モーター音レベル ****
			[2] 機能設定 ****	PC-FAX 通信設定 ****
				ナンバーディスプレイ機能 ****
			[3] 複数回線使用設定 ****	
			[4] ファクス ID ****	
		[0] ネットワーク ファクス *****	[1] 白黒 2 値圧縮方法 ****	
			[2] SIP アダプタ接続確認 ****	
			[3] I-Fax 自機受信能力 ****	
			[4] I-Fax 拡張設定 ****	
			アクセス設定 *	
	[9] システム連携 *	[1] OpenAPI 設定 *		

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

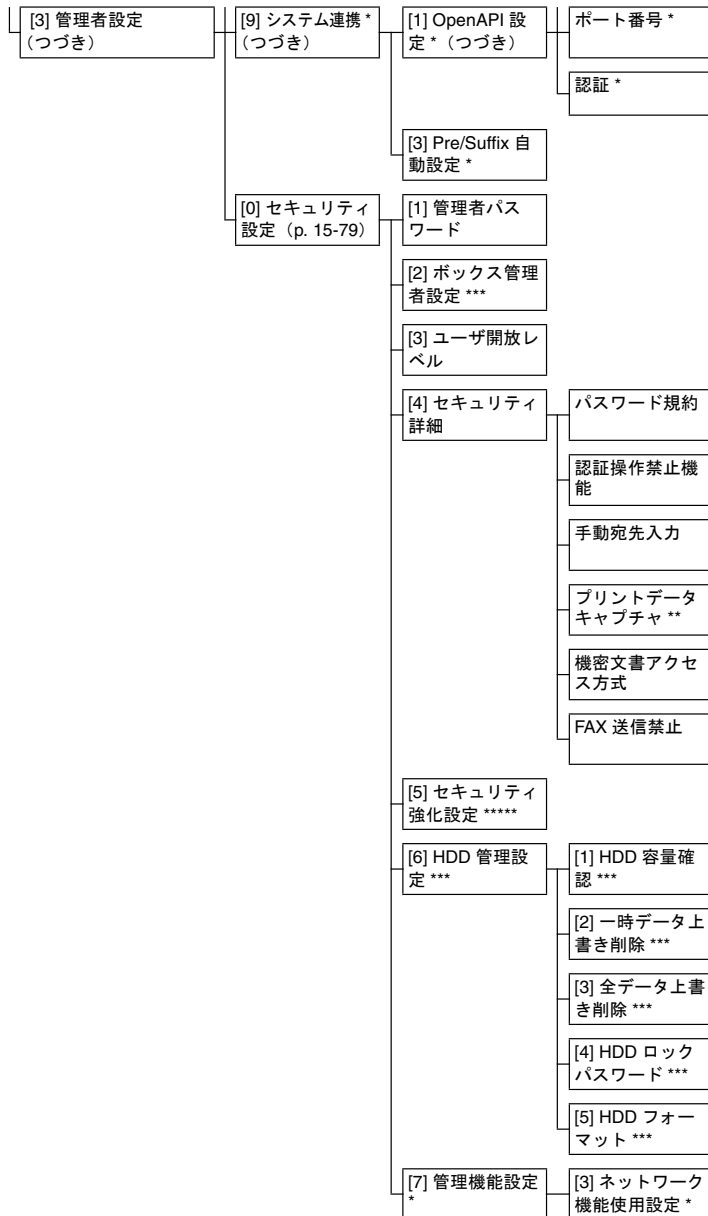
1 環境設定

2 管理者／
本体登録

4 ユーザ認証／
部門管理

6 コピー設定

9 セキュリティ
設定



ひとこと

各画面に表示されるキーおよびオプションは設定により異なります。網掛けがついているキーについては、p.15-80「3 ユーザ開放レベル」をごらんください。

* マークがついているキーの詳細については「ユーザーズガイドネットワーク / スキャナ機能編」をごらんください。

** マークがついているキーの詳細については「IC-204 ユーザーズガイド」をごらんください。

*** マークがついているキーの詳細については「ユーザーズガイドボックス機能編」をごらんください。

**** マークがついているキーの詳細については「ユーザーズガイドファクシミリ機能編」をごらんください。

***** マークがついているキーの詳細についてはサービス技術者にご相談ください。

管理者設定の内容一覧

ユーザ設定の内容一覧は第 14 章をごらんください。

設定項目とその内容		設定値（下線は出荷時設定）
1 環境設定		
1 パワーセーブ設定（レベル 1）		
ローパワー設定 自動的にローパワーが機能するまでの時間を設定します。		1 分～ 240 分の範囲で 1 分刻みで設定できます。： <u>1 分</u>
スリープ設定 自動的にスリープが機能するまでの時間を設定します。		1 分～ 240 分の範囲で 1 分刻みで設定できます。： <u>1 分</u> （オプション未装着機）、 <u>15 分</u> （オプション装着機）
パワーセーブキー節電切替 パワーセーブ機能をローパワーとスリープから選択します。		ローパワー／スリープ
2 出力設定		
2 排紙トレイ設定（レベル 2）		
コピー コピー操作で出力される初期設定の排紙トレイを選択します。		トレイ 1 / <u>トレイ 2</u> / トレイ 3
プリンタ プリンタ操作で出力される初期設定の排紙トレイを選択します。		トレイ 1 / <u>トレイ 2</u> / トレイ 3
レポート出力 レポートが出力される初期設定の排紙トレイを選択します。		トレイ 1 / <u>トレイ 2</u> / トレイ 3
ファクス ファクス操作で出力される初期設定の廃止トレイを選択します。		トレイ 1 / <u>トレイ 2</u> / トレイ 3
4 ジョブ毎のシフト排出設定 フィニッシャ FS-510/511 装着時に仕分け機能を設定したとき、コピーの完了した用紙をシフトして排紙し、ジョブごとに用紙を区別するかしないかを選択します。		する／ <u>しない</u>
3 日時設定 本機に設定されている時計の時刻合わせと世界標準時との時差（タイムゾーン）を設定します。		設定時刻 タイムゾーン： -12：00 ～ 13：00 の範囲で 30 分刻みで設定できます。： <u>00:00</u>
4 サマータイム設定 本機内蔵の時計をサマータイムにするかしないかを選択します。また、サマータイムにしたときの進める時間を指定します。		<u>ON/OFF</u> 1 分～ 150 分の範囲で 1 分刻みで設定できます。
5 ウィークリタイマ設定		
1 ウィークリータイマ使用設定 ウィークリータイマを使用するかどうかの設定をします。		する／ <u>しない</u>
2 タイマ予約時刻設定 機械の電源を自動的に ON / OFF させる時刻を設定します。		—
3 動作日設定 機械の電源を自動的に ON / OFF させる動作日を設定します。		—
4 昼休み OFF 機能設定 昼休みに設定した時間、機械の電源を OFF にするかどうかを設定します。		昼休み OFF する／ <u>連続運転</u>
5 時間外パスワード設定 ウィークリタイマ使用中、機械の電源を ON にするために必要なパスワードの設定をします。		<u>ON</u> / <u>OFF</u>

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者／
本体登録

4 ユーザ認証／
部門管理

6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

第 15 章
設定メニュー
〈管理者設定〉

設定項目とその内容		設定値（下線は出荷時設定）
6 ユーザ操作禁止設定		
1 コピープログラムロック設定 プログラム登録したコピー条件（プログラム）を、ほかのプログラム登録／削除操作中にあやまって消されないようにロックします。		—
2 コピープログラム削除 プログラム登録したコピー条件（プログラム）の削除をします。		—
3 変更禁止設定		
ジョブ優先順位変更 ジョブのプリント優先順位の変更をユーザに許可するか、禁止するか選択します		許可／禁止
他ユーザジョブ削除 ユーザ認証されている場合に、他のユーザがジョブを削除することを許可するか、禁止するか選択します。		許可／禁止
宛先登録変更 スキャナ画面で、送信先手動入力をユーザに許可するか、禁止するかの選択をします。		許可／禁止
倍率登録変更 登録してある倍率の変更をユーザに許可するか、禁止するか選択します。		許可／禁止
From アドレス変更 設定されているFrom アドレスの変更を許可するか、禁止するか選択します。		許可／禁止
登録オーバーレイ変更 登録オーバーレイに登録した画像を削除したり、上書きできるようにするかどうかを選択します。		許可／禁止
4 操作禁止設定		
ファクス複数宛先禁止 ファクスジョブの送信で、複数の宛先設定を禁止する設定をできるようにするか、しないかを選択します。		する／ <u>しない</u>
7 エキスパート調整		
1 原稿画質の濃度シフト 原稿の濃度と画質を設定します。		機能：コピー／ <u>ファクス</u> 原稿画質：文字／写真／文字／写真／薄文字 濃度シフト 文字／写真：0（うすく）～5（こく）： <u>3</u> 文字：0（うすく）～5（こく）： <u>3</u> 写真：0（うすく）～5（こく）： <u>1</u> 薄文字：0（うすく）～5（こく）： <u>2</u>
2 消去補正 原稿外消去の条件と動作、および ADF 枠消しの幅を設定します。		原稿外消去機能：制限なし／自動サイズ／等倍時のみ／ <u>原稿ガラス等倍を除く</u> 原稿外消去動作設定：自動／ <u>指定</u> 消去方法：斜角消去／ <u>矩形消去</u> 原稿濃度：1（うすく）～5（こく）： <u>3（ふつう）</u> ADF 枠消し：0～5mm の範囲で 1mm 刻みで設定できます。： <u>3mm</u>

設定項目とその内容		設定値（下線は出荷時設定）
3 フィニッシャ調整		
1 中とじ位置調整 中とじ機能でプリントするときのステーブル位置を用紙ごとに調整できます。		-5.0 ～ 5.0mm の範囲で 0.5mm 刻みで設定できます。： <u>0.0mm</u>
2 中折り位置調整 中折り機能でプリントするときの中折り位置を用紙ごとに調整できます。		-5.0 ～ 5.0 mm の範囲で 0.5mm 刻みで設定できます。： <u>0.0mm</u>
3 パンチ横位置 パンチの横位置を調整できます。		-5.0 ～ 5.0mm の範囲で 0.5mm 刻みで設定できます。： <u>0.0mm</u>
4 パンチレジストループ量 両面出力やカバーシート出力時のパンチ位置の傾きを調整できます。		-4 ～ 4mm の範囲で 1mm 刻みで設定できます。： <u>0mm</u>
8 リスト／カウンタ		
1 マシン管理リストプリント ユニバーサル設定、ユーザ設定、管理者設定、フィニッシャ調整の設定値を出力します。		—
2 用紙サイズ／種類カウンタ 特定の用紙サイズと用紙種類を組み合わせで 9 件まで登録し、カウントする設定ができます。		—
9 リセット設定		
1 システムオートリセット システムオートリセットが働いたときに表示される機能と、働くまでの時間を設定できます。		優先機能 コピー／スキャナ システムオートリセット時間 しない／ 1 分～ 9 分の範囲を 1 分刻みで設定可： <u>1 分</u>
2 オートリセット 何も操作せずに一定時間が経過すると、機械が初期設定の条件にリセットされます。リセットされるまでの時間を設定します。		コピー しない／ 1 分～ 9 分の範囲を 1 分刻みで設定可： <u>1 分</u> スキャナ しない／ 1 分～ 9 分の範囲を 1 分刻みで設定可： <u>1 分</u>
3 モードリセット		
使用者変更 機械使用者が交代したと機械が判断したとき、コピー条件を初期化するかどうかを設定します。		初期化する／初期化しない
ADF 原稿セット ADF に原稿をセットしたとき、コピー条件を初期化するかどうかを設定します。		リセットする／ <u>リセットしない</u>
次ジョブ 1 つのジョブが終了したときに初期設定にもどすコピー条件を選択します。		ステーブル設定：解除する／ <u>解除しない</u> 原稿セット／とじ方向：解除する／ <u>解除しない</u> 送信後設定解除： <u>解除する</u> ／解除しない
4 確認コピー時リセット 確認コピー中の動作停止中にシステムオートリセットをさせるかどうかを選択します。		リセットする／ <u>リセットしない</u>

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者／
本体登録

4 ユーザ認証／
部門管理

6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

設定項目とその内容		設定値（下線は出荷時設定）
2 管理者／本体登録		
1 管理者登録 機械管理者の名前と内線番号、E-mail アドレスを登録します。		名前／内線番号／ E-mail アドレス
2 本体アドレス登録 本機の名前と E-mail アドレスを登録します。		装置名／ E-mail アドレス
4 ユーザ認証／部門管理		
1 認証方式 ユーザ認証の認証方式、パブリックユーザの設定、部門管理の認証方式、ユーザ認証 / 部門認証の連動、ユーザカウンタ割当て数を設定します。		ユーザ認証：認証しない／外部サーバ認証（Active Directory／SMB／NDS）／本体装置認証 パブリックユーザ：許可しない／許可する 部門管理：管理しない／管理する 部門管理認証方式：部門名＋パスワード／パスワードのみ ユーザ認証／部門認証の連動：連動する／連動しない ユーザカウンタ割当て数：1 個～ 99 個：50 個
2 ユーザ認証設定		
1 管理設定		
ユーザ名一覧表示 ユーザ名一覧の表示をするかどうかの設定をします。		表示する／表示しない
初期機能制限 外部サーバ認証を設定している場合、認証したユーザが本機で利用できる機能を制限できます。		コピー操作：許可する／許可しない スキャン操作：許可する／許可しない プリンタ印字：許可する／許可しない 蓄積文書操作：許可する／許可しない
パブリックユーザの認証 認証方式で「パブリックユーザ」が「許可」されている場合に、ユーザ認証画面でパブリックユーザの認証をするか、しないかの選択をします。		認証する／認証しない
2 ユーザ登録 ユーザの登録、変更、削除を行います。		ユーザ名／ユーザパスワード／ E-mail アドレス／所属部門／上限設定／機能制限
3 ユーザカウンタ ユーザごとに、全プリント、コピー、プリンタ、スキャン、それぞれの総プリント枚数／総読込み枚数が確認できます。		全プリント／コピー／プリンタ／スキャン
3 部門管理設定		
1 部門登録 本機を使用する部門ごとに、部門名、パスワード、プリント枚数の上限値を設定できます。		部門名／パスワード／上限設定
2 部門カウンタ 部門ごとに、全プリント、コピー、プリンタ、スキャン、それぞれの総プリント枚数／総読込み枚数が確認できます。		全プリント／コピー／プリンタ／スキャン
4 認証指定なしプリント ユーザ、部門が特定できないプリントを許可するかどうかの設定ができます。		許可／禁止
5 使用管理カウンタリスト ユーザカウンタと部門カウンタをプリントできます。		－

設定項目とその内容	設定値（下線は出荷時設定）
6 コピー設定	
原稿ガラス自動倍率（レベル 1） 原稿ガラスに原稿をセットしてコピーするとき、自動倍率選択機能を動かせるかどうかの設定をします。	ON / <u>OFF</u>
ADF 自動倍率（レベル 1） ADF に原稿をセットしてコピーするとき、自動倍率選択機能を動かせるかどうかの設定をします。	<u>ON</u> / OFF
APS 解除時のトレイ指定（レベル 1） 自動用紙選択機能（APS）が解除されたときに選択するトレイを指定します。	<u>APS 選択前トレイ</u> / 初期設定トレイ
インターシートトレイ選択（レベル 1） インターシートおよびカバーシート用の用紙をセットするトレイをあらかじめ設定します。	トレイ 1 / <u>トレイ 2</u> / トレイ 3 / トレイ 4 / LCT / 手差し
画像回転 自動画像回転機能を自動用紙（APS）や自動倍率（AMS）が働いたときのみ機能させるか、さらに縮小コピーのときも機能させるか、選択します。	<u>APS/AMS</u> / APS/AMS/ 縮小
コピー操作時のプリント受付（レベル 2） コピー操作をしているときにプリントデータのプリント受付をするかしないかを設定できます。	<u>プリントする</u> / プリント抑制 / 受信しない
9 セキュリティ設定	
1 管理者パスワード 管理者設定を行う場合に使用する管理者パスワードの変更ができます。	■■■■■■
3 ユーザ開放レベル ユーザに許可する管理者機能の範囲を設定できます。	レベル 1 / レベル 2 / <u>開放しない</u>
4 セキュリティ詳細	
パスワード規約 パスワード規約を適用するかしないかを設定します。パスワード規約を適用すると、セキュリティを強化することができます。	ON / <u>OFF</u>
認証操作禁止機能 ユーザが認証に失敗したとき、本機操作の禁止を設定できます。 モード 1 一定時間、操作ができません。 モード 2 認証失敗を繰り返すと操作パネルの操作ができません。認証失敗回数は 1 ～ 5 回まで設定できます。パネル操作禁止になった場合は、〔操作禁止解除〕を押して、操作禁止を解除する項目を選択します。 〔ユーザ+部門〕 ユーザ認証、部門管理に対する操作 〔機密文書〕 機密文書に対する操作 〔ボックス〕 パスワード付きボックスに対する操作 〔SNMP〕 SNMPv3Write ユーザの認証に対する操作	<u>モード 1</u> / モード 2
手動宛先入力 宛先入力画面で、手動宛先入力を許可するか禁止するかを設定できます。	<u>許可</u> / 禁止

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者 / 本体登録

4 ユーザ認証 / 部門管理

6 コピー設定

9 セキュリティ設定

第 15 章
設定メニュー
管理者設定

設定項目とその内容		設定値（下線は出荷時設定）
	プリントデータキャプチャ プリンタ機能に関する設定です。詳しくは、「IC-204 ユーザーズガイド」をごらんください。	
	機密文書アクセス方式 機密文書に対する操作方式を確認できます。 認証操作禁止機能が〔モード 1〕の場合、〔モード 1〕が設定されます。 〔モード 1〕：機密文書 ID とパスワードを入力し、文書を選択します。 〔モード 2〕：機密文書 ID を入力し、文書を選択したあとパスワードを入力します。	モード <u>1</u> / モード 2
	FAX 送信禁止 FAX 送信を禁止するかどうかを設定します。	ON / <u>OFF</u>
7 管理機能設定		
	3 ネットワーク機能使用設定 セキュリティを強化するため、一部のネットワーク機能の使用を制限することができます。	<u>使用する</u> / 使用しない

1 環境設定

■ 1 パワーセーブ設定（レベル 1）

自動的にローパワーが機能する時間およびスリープが機能する時間を入力します。

設定項目

ローパワー： 1 分～ 240 分（1 分刻みで設定可）

出荷時設定：1 分

スリープ： 1 分～ 240 分（1 分刻みで設定可）

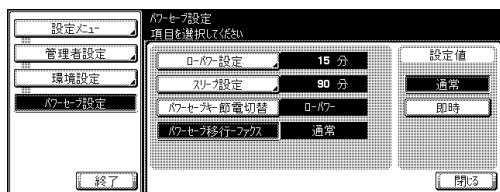
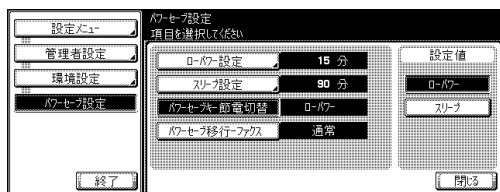
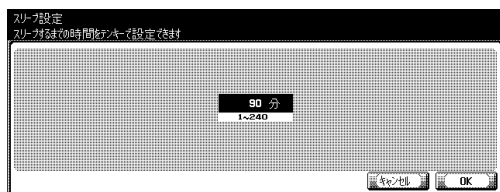
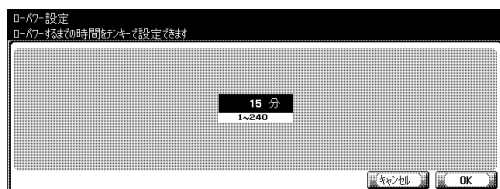
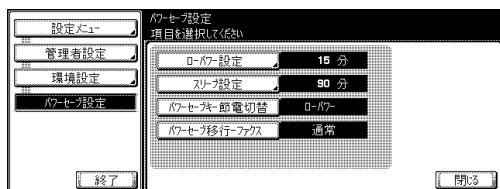
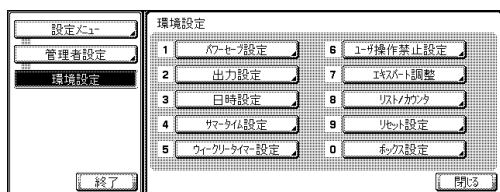
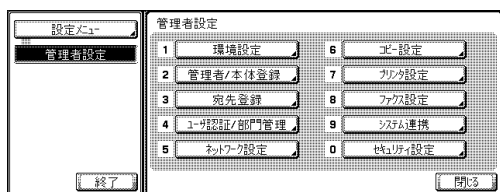
出荷時設定：1 分（オプション未装着機）、15 分（オプション装着機）

操作パネルの【パワーセーブ】を押したときに機能するパワーセーブ機能をローパワー、スリープから選択します。

パワーセーブ移行 - ファクスに関しては「ユーザーズガイドファクシミリ編」をごらんください。

ひとこと

〔1 パワーセーブ設定〕のローパワー／スリープ機能時間設定は、管理者設定のユーザ開放レベルを〔レベル 1〕または〔レベル 2〕に設定すると、ユーザ設定画面で操作できるようになります。



画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者／
本体登録

4 ユーザ認証／
部門管理

6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

第15章
設定メニュー
〈管理者設定〉

手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 [1 環境設定]、[1 パワーセーブ設定] を順に押します。
パワーセーブ設定画面が表示されます。
- 3 ローパワーが機能する時間を入力します。
 - (1) [ローパワー設定] を押します。ローパワー設定画面が表示されます。
 - (2) 操作パネルのテンキーを押して、ローパワーが機能するまでの時間を入力します。

ひとこと

ローパワーの時間をスリープの時間を超えて入力すると、ローパワーは機能しません。

- (3) 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
確定しない場合は [キャンセル] を押します。いずれも、パワーセーブ設定画面にもどります。
- 4 スリープが機能する時間を入力します。
 - (1) [スリープ設定] を押します。スリープ設定画面が表示されます。
 - (2) 操作パネルのテンキーを押して、スリープが機能するまでの時間を入力します。

ひとこと

ローパワーが機能する時間より長い時間を入力すると、ローパワー、スリープの順に機能します。ローパワーが機能する時間より短い時間を入力すると、ローパワーは機能せず、スリープが機能します。

- (3) 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
確定しない場合は [キャンセル] を押します。いずれも、パワーセーブ設定画面にもどります。
- 5 操作パネルの【パワーセーブ】を押したときに開始されるパワーセーブ機能の種類を選択します。
 - (1) [パワーセーブキー節電切替] を押します。
画面右側に表示される「設定値」下で、[ローパワー] または [スリープ] のどちらかを選択します。
 - ・ [ローパワー] を選択：タッチパネルの表示を消し、節電状態となります。
 - ・ [スリープ] を選択：ローパワーモードよりも節電効果が得られます。しかし、再操作時にウォームアップを必要とするため、準備時間はローパワーモードよりもかかります。
 - (2) [閉じる] を押します。
- 6 以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

■ 2 出力設定 > 2 排紙トレイ設定 (レベル 2)

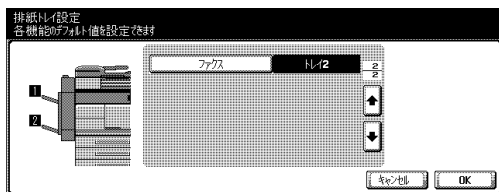
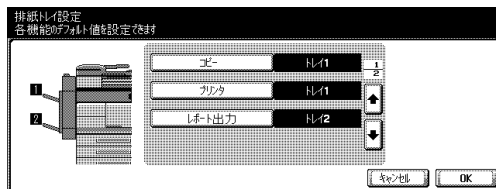
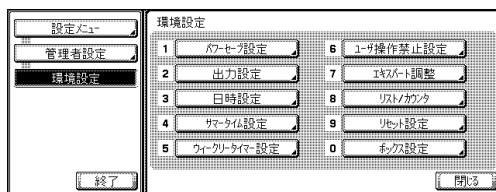
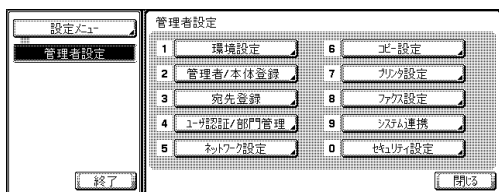
コピー、プリンタ、レポート出力のそれぞれのジョブに、優先出力される排紙トレイを選択します。



オプションのフィニッシャ FS-510/FS-511、または セパレータ JS-502 を装着している場合に排紙トレイを選択できます。

ひとこと

〔2 排紙トレイ設定〕は、管理者設定のユーザ開放レベルを〔レベル 2〕に設定すると、ユーザ設定画面で操作できるようになります。



手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 〔1 環境設定〕、〔2 出力設定〕、〔2 排紙トレイ〕を順に押します。排紙トレイ設定画面が表示されます。
- 3 コピー操作で出力される初期設定の排紙トレイを選択します。
〔コピー〕を押します。
画面右側の「デフォルト値」下で、希望するトレイの番号を選択します。
- 4 プリンタ、レポート出力、ファクスについても同じように排紙トレイを選択します。
- 5 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、出力設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者/
本体登録4 ユーザ認証/
部門管理

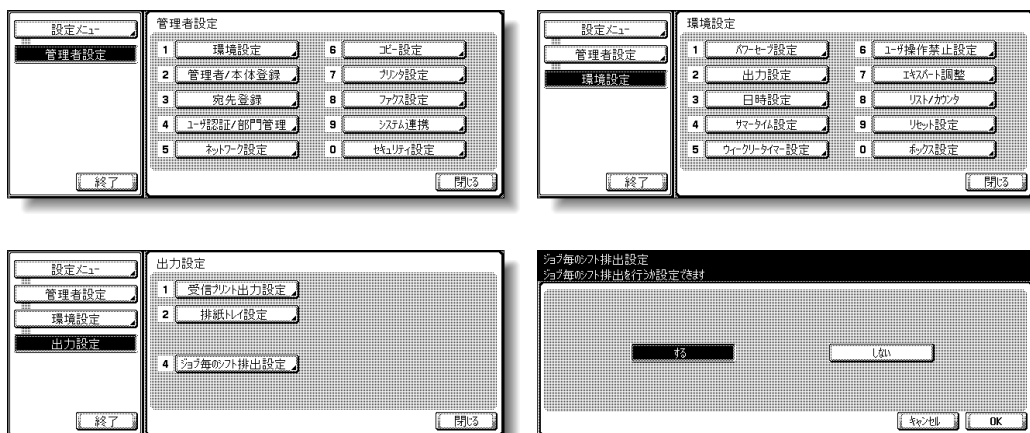
6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

第15章
設定メニュー
〈管理者設定〉

■ 2 出力設定 > 4 ジョブ毎のシフト排出設定

フィニッシャ FS-510/511 装着時に仕分け機能を設定したとき、コピー完了した用紙をシフト排出し、ジョブごとに用紙を区別するかしないかを選択します。



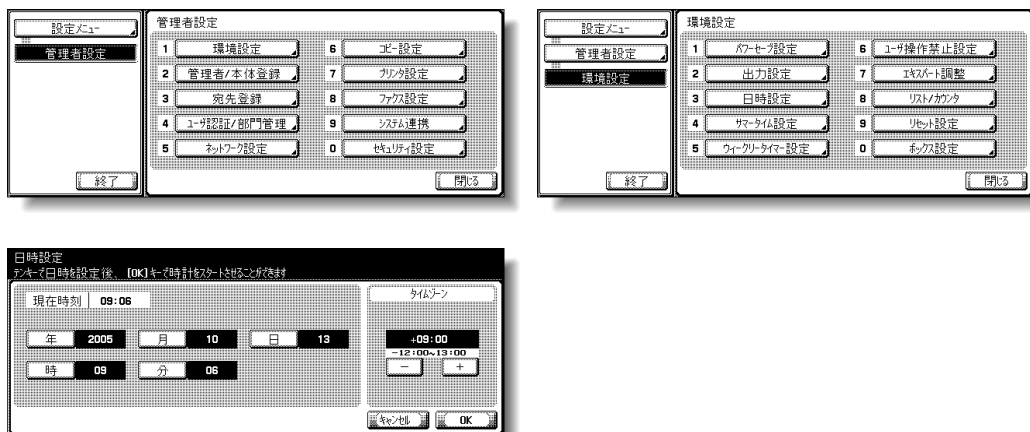
手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 [1 環境設定]、[2 出力設定]、[4 ジョブ毎のシフト排出設定] を順に押します。ジョブ毎のシフト排出設定画面が表示されます。
- 3 [する] または [しない] を選択します。
- 4 設定内容を確認するため、[OK] を押します。
 確定しない場合は [キャンセル] を押します。いずれも、出力設定画面にもどります。
 以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

■ 3 日時設定

本機に設定されている時計の時刻合わせと世界標準時との時差（タイムゾーン）を設定します。

設定項目：現在時刻、タイムゾーン設定



手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 [1 環境設定]、[3 日時設定] を順に押します。日時設定画面が表示されます。
- 3 本機に設定されている時計の時刻合わせを行います。
画面左側には、現在設定されている時刻が年（西暦）、月、日、時刻（24 時間表示）の順に表示されています。
 (1) 最初に〔年〕を押します。操作パネルのテンキーを押して年を入力します。年が表示されます。
 (2) 同様に〔月〕または〔日〕または〔時〕または〔分〕を押してそれぞれ設定します。
- 4 世界標準時との時差を設定します。
これはメール通知時の誤差情報です。時差は国や地域によって決まっています。（日本の場合は 9 時間早い）
 (1) 画面右側の「タイムゾーン」下で、〔+ / -〕を押して、時差を入力します。
 〔+〕を 1 回押すごとにタイムゾーンが 30 分増え、〔-〕を 1 回押すごとにタイムゾーンが 30 分減ります。
 (2) 「+ 00:00」が表示されている状態から〔-〕を押すことで、マイナス値も入力できます。
 テンキーで入力することはできません。
- 5 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、環境設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者／
本体登録

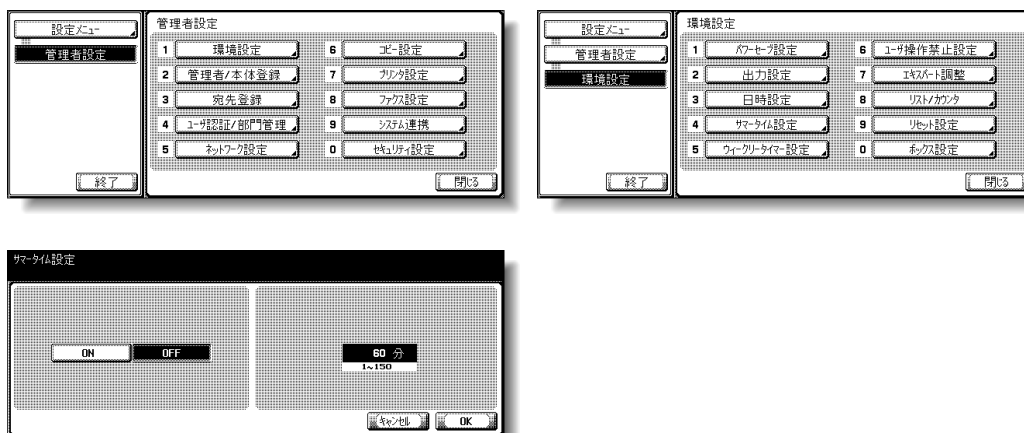
4 ユーザ認証／
部門管理

6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

■ 4 サマータイム設定

本機内蔵の時計をサマータイムにするかしないかを選択します。また、サマータイムにしたときの進める時間を指定します。最初は、サマータイムは設定されていません。



手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 [1 環境設定]、[4 サマータイム設定] を順に押します。サマータイム設定画面が表示されます。
- 3 本機の時計をサマータイムにするか、しないかの選択をします。
最初、サマータイムは設定されていません。
サマータイムにするときは、[ON] を押して反転させます。
- 4 サマータイムにしたときの進める時間を指定します。
操作パネルのテンキーを使って進めたい時間を入力します。1 分～ 150 分の範囲を 1 分刻みで指定できます。
画面右側に入力した時間が表示されます。
- 5 設定内容を確認するため、[OK] を押します。
確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも環境設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

■ ウィークリタイマ設定の概要

ウィークリタイマは、管理者設定によって下記のように機械を管理します。

- 動作日設定で一日一日個別に、または曜日単位で、タイマ動作日を設定します。
- タイマ予約時刻設定で月曜日～日曜日まで個別に、または一括に、オン時刻／オフ時刻を設定します。
- 基本的に1日1回のオン／オフをさせます。ただし、オンしているときに1回オフ／オンさせることができます。（昼休みオフ機能）
- 時間外パスワードをあらかじめ設定し、タイマが機能して機械がオフ状態のときに操作パネルの【パワーセーブ】を押してその時間外パスワードを入力すると、機械が使えるようになります。（時間外使用）

ウィークリタイマは、出荷時設定では設定されていません。

ウィークリタイマの基本条件

- 本体のプラグがコンセントに接続されていること。
電源プラグが抜かれているとウィークリタイマは機能しませんが、オン時刻／オフ時刻設定などのデータは保存されます。
- 主電源および副電源スイッチがオン状態であること。
- 現在の正確な日付、日時を設定すること。

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者／
本体登録

4 ユーザ認証／
部門管理

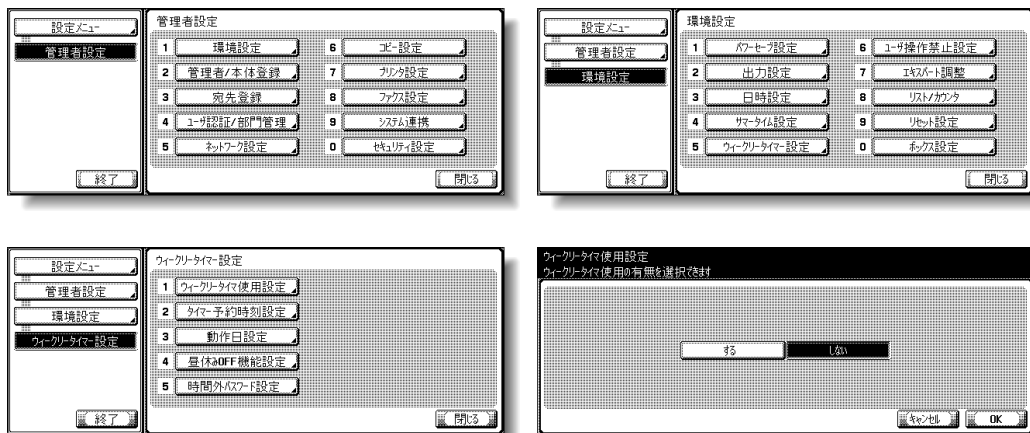
6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

第15章
設定メニュー
〈管理者設定〉

■ 5 ウィークリタイマ設定 > 1 ウィークリタイマ使用設定

ウィークリタイマ機能を使用するか、しないかの選択をします。

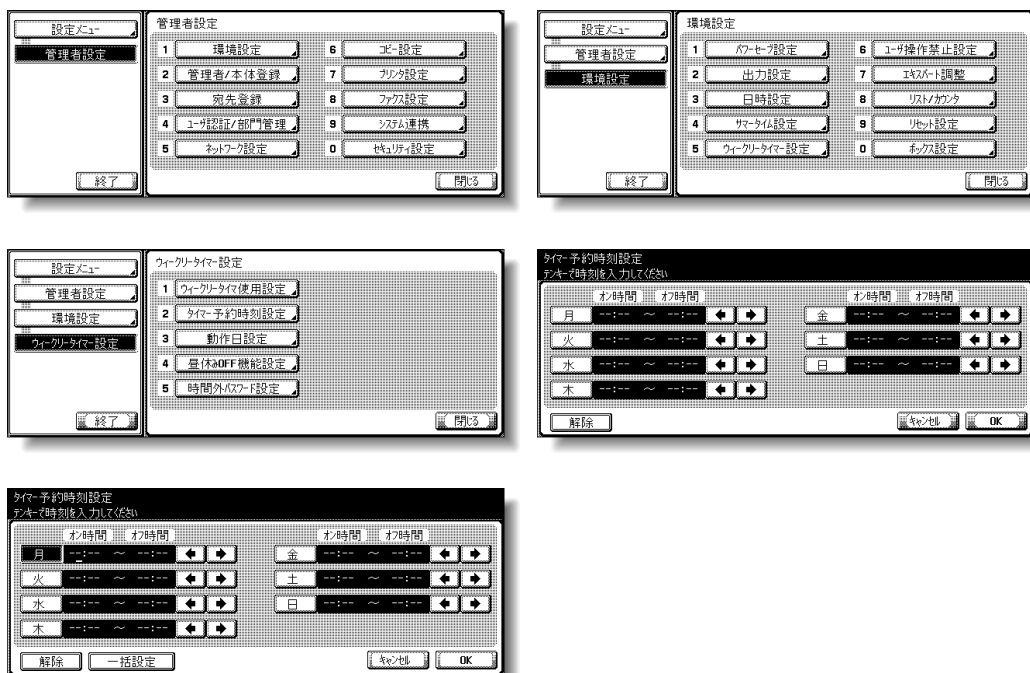


手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 [1 環境設定]、[5 ウィークリタイマ設定]、[1 ウィークリタイマ使用設定] を順に押します。ウィークリタイマ使用設定画面が表示されます。
- 3 [する] または [しない] を選択します。
最初は [しない] が選択されています。
[する] を選択：ウィークリタイマが機能します。このように設定した機械は主電源および副電源スイッチを ON にしたままにします。
[しない] を選択：ウィークリタイマは機能しません。電源のオン／オフは主電源および副電源スイッチで行います。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
確定しない場合は [キャンセル] を押します。いずれも、ウィークリタイマ設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

■ 5 ウィークリタイマ設定 > 2 タイマ予約時刻設定

機械のオン時刻／オフ時刻を曜日ごとに個別に、または一括に設定します。



手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 [1 環境設定]、[5 ウィークリタイマ設定]、[2 タイマ予約時刻設定] を順に押します。
タイマ予約時刻設定画面が表示されます。
- 3 オン時刻／オフ時刻を設定します。

ひとこと

ここで時刻を設定してもタイマを動作させるかどうかは、動作日設定（次項参照）で行います。休日の時刻を設定しても休日に機械の電源が入るわけではありません。

- (1) 設定したい曜日キーを押して反転させます。
- (2) 操作パネルのテンキーを使って、オン時刻を入力します。
〔時〕は2ケタで入力して、午後の時間は24時間方式にします。（例：午後2時の場合、14と入力）
続けて、〔分〕の2ケタを入力します。1分～9分は前に0をつけます。（例：7分の場合、07と入力）
入力した時刻が表示されます。入力が完了したら、〔→〕を押します。
- (3) オン時刻と同様に、オフ時刻を入力します。オン時刻の入力にもどりたい場合は、〔←〕を押します。
〔一括設定〕を押すと、設定した時刻がすべての曜日に表示されます。

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者／

本体登録

4 ユーザ認証／

部門管理

6 コピー設定

9 セキュリティ

設定

第15章
設定メニュー
〈管理者設定〉

ひとこと

- オン時刻とオフ時刻を同じ時刻に設定すると、タイマ動作を設定しても電源は入りません。
- 入力した時刻を変更するときは、〔←〕または〔→〕を押して変更したい箇所にカーソルを移動させます。〔解除〕を押すとその箇所の時刻が削除されます。テンキーで数値を入力し直してください。
- 曜日ごとにオン時間・オフ時間両方を削除したいときは、曜日を選択して操作パネルの【C】（クリア）を押します。

- 4** 設定内容を確定するため、タイマ予約時刻設定画面の〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、ウィークリタイマ設定画面にもどります。

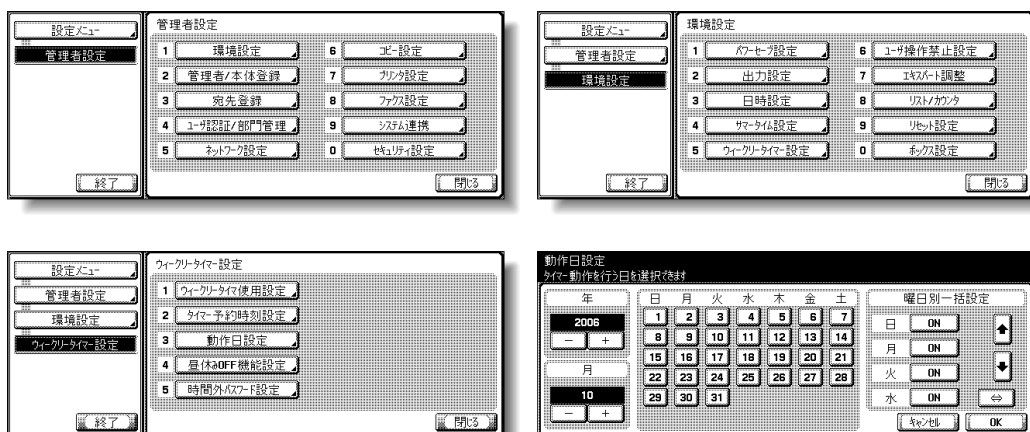
以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

■ 5 ウィークリタイマ設定 > 3 動作日設定

タイマ予約時刻設定で設定したオン時刻／オフ時刻どおりに、タイマ動作させる動作日を設定します。個別に設定するときはカレンダーをみながら、一括の場合は曜日単位で設定します。

ひとこと

出荷時設定では、どの月もすべての曜日がオンに設定されています。



手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 [1 環境設定]、[5 ウィークリタイマ設定]、[3 動作日設定] を順に押します。動作日設定画面が表示されます。
- 3 画面左側に表示されるカレンダー内の動作日設定したい日のキーを押して、反転させます。
〔－〕または〔＋〕で、表示されるカレンダーの年と月を変更することができます。
- 4 「曜日別一括設定」表示下のキーで、曜日別にタイマを動作させる／させないを設定します。
〔↑〕または〔↓〕を押して、任意の曜日キーを表示させます。
変更するときは、〔←→〕を押して ON と OFF を切替えます。
- 5 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、ウィークリタイマ設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者／
本体登録4 ユーザ認証／
部門管理

6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

■ 5 ウィークリタイマー設定 > 4 昼休み OFF 機能設定

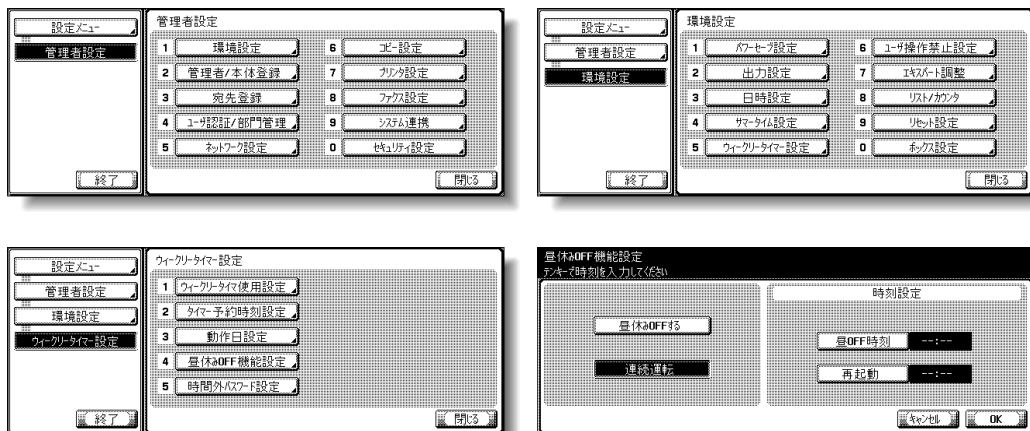
タイマ時間設定は、1 日 1 回のオン／オフをさせます。

昼休み OFF 機能設定は、タイマ時間設定によってオンしている状態で 1 回オフ／オンさせる機能です。昼休みオフ時刻は、曜日に共通して 1 種類の時刻設定ができます。

ひとこと

タイマ時間設定によってオン設定されていない時間に昼休みオフ時刻が設定されていてもそれは無効になります。

出荷時設定では、昼休み OFF 機能は働かないように設定されています。

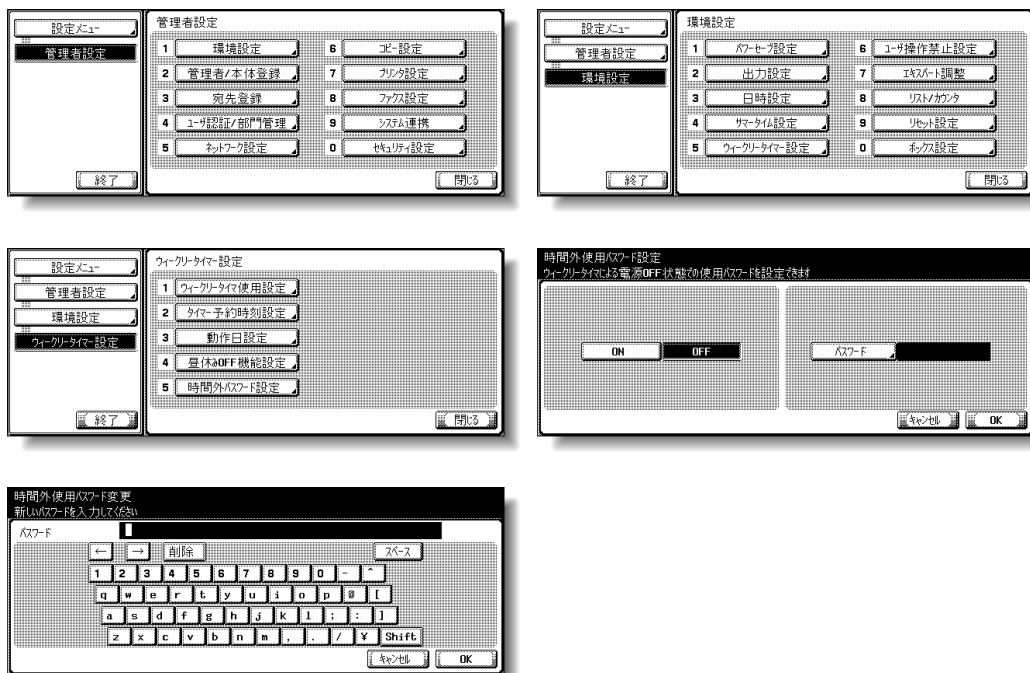


手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 [1 環境設定]、[5 ウィークリタイマー設定]、[4 昼休み OFF 機能設定] を順に押します。
昼休み OFF 機能設定画面が表示されます。
- 3 [昼休み OFF する] または [連続運転] を選択します。
最初は [連続運転] が選択されています。[昼休み OFF する] を選択すると、昼休み OFF 機能が働きます。
[昼 OFF 時刻] を押して反転させ、操作パネルのテンキーで昼休み OFF 時刻を入力します。
続けて [再起動] を押して反転させ、操作パネルのテンキーで再起動の時刻を入力します。
- 4 [連続運転] を選択すると、昼休み OFF 機能が働かなくなります。
- 5 設定内容を確認するため、[OK] を押します。
確定しない場合は [キャンセル] を押します。いずれも、ウィークリタイマー設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

■ 5 ウィークリタイマ設定 > 5 時間外パスワード設定

ウィークリタイマによってスリープしているときに、機械を強制オンさせて時間外に使用することができます。ここで最大 8 ケタの時間外使用パスワードを指定していると、操作パネルの【パワーセーブ】を押した後に時間外使用パスワードを入力して、時間外使用ができるようになります。



手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 [1 環境設定]、[5 ウィークリタイマ設定]、[5 時間外パスワード設定] を順に押します。時間外使用パスワード設定画面が表示されます。
- 3 画面左側で時間外使用の設定するかどうかを選択します。〔ON〕または〔OFF〕を押して反転させます。
- 4 時間外使用をオンにする場合、時間外使用パスワードを入力します。
 - (1) 画面右側の〔パスワード〕を押します。時間外使用パスワード変更画面が表示されます。
 - (2) 時間外使用パスワード変更画面上の文字キーを使用して最大 8 ケタまでの時間外使用パスワードを入力します。
ここでパスワードを入力しなかった場合、ユーザは時間外使用パスワードを入力せずに時間外使用することができます。
- 4 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、ウィークリタイマ設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者／
本体登録4 ユーザ認証／
部門管理

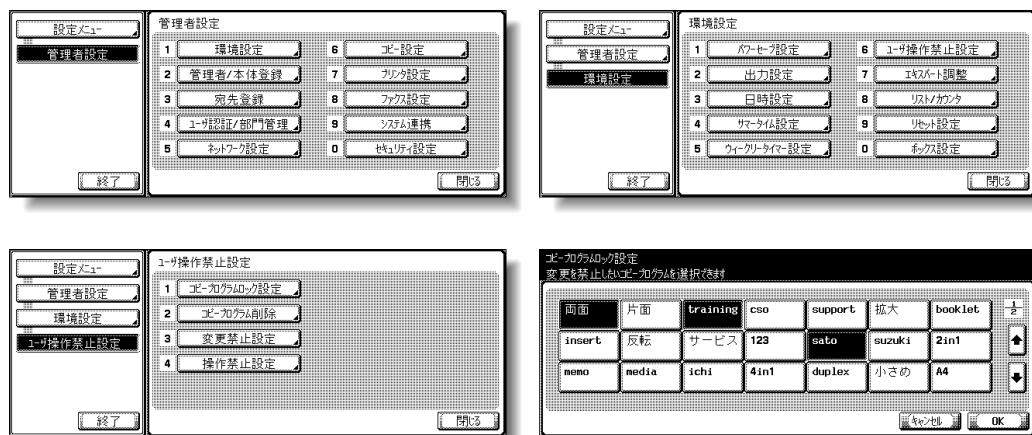
6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

第 15 章
設定メニュー
〈管理者設定〉

■ 6 ユーザ操作禁止設定 > 1 コピープログラムロック設定

プログラム登録したコピー条件（プログラム）を、ほかのプログラム登録／削除操作中にあやまって消されないようにロックします。

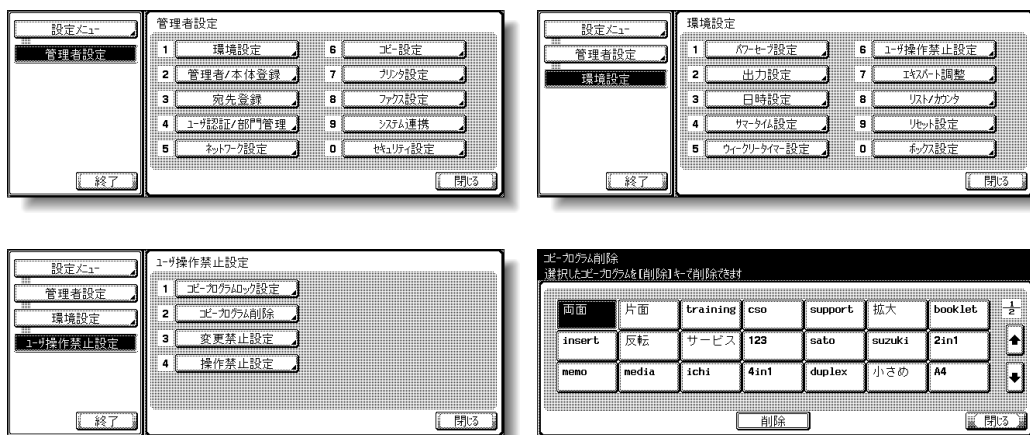


手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 [1 環境設定]、[6 ユーザ操作禁止設定]、[1 コピープログラムロック設定] を順に押します。コピープログラムロック設定画面が表示されます。
- 3 ロックしたいコピープログラムを押して反転させます。
複数のプログラムをロックするときは、それらのプログラムキーを押して反転させます。
ロックを解除するときは、解除するプログラムキーの反転を消します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
確定しない場合は [キャンセル] を押します。いずれも、ユーザ操作禁止設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

■ 6 ユーザ操作禁止設定 > 2 コピープログラム削除

ロックしたコピープログラムを削除します。



手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 [1 環境設定]、[6 ユーザ操作禁止設定]、[2 コピープログラム削除] を順に押します。
コピープログラム削除画面が表示されます。
- 3 消去したいプログラムキーを押して、反転させます。
[削除] を押すと、プログラムは消去され名前も消えます。

ひとこと

ロックされている、いないの区別なくプログラム登録を消去します。一度消去すると復帰させることができませんので、ご注意ください。

- 4 設定内容を確認するため、[OK] を押します。
確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれもユーザ操作禁止設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者/
本体登録4 ユーザ認証/
部門管理

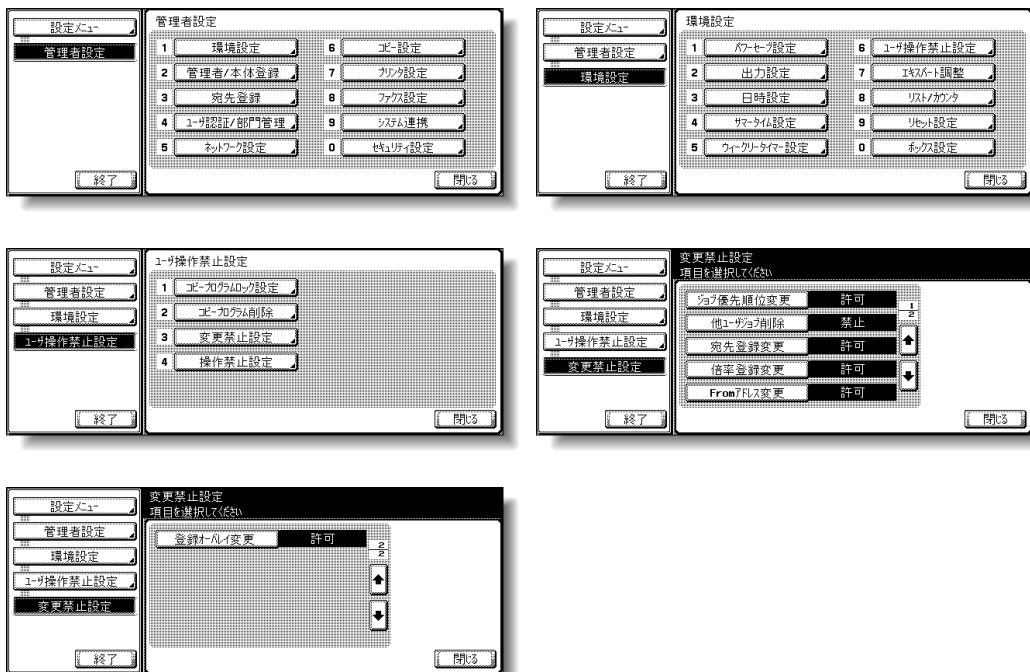
6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

■ 6 ユーザ操作禁止設定 > 3 変更禁止設定

下記のプログラム項目の内容を、ユーザが変更してもよいかどうか選択します。

- ジョブ優先順位変更：
ジョブのプリント優先順位の変更をユーザに許可するか、禁止するか選択します。
- 他ユーザジョブ削除：
ユーザ認証されている場合に、他のユーザがジョブを削除することを許可するか、禁止するか選択します。
- 宛先登録変更：
スキャナ画面で、送信先手動入力をユーザに許可するか、禁止するかの選択をします。
- 倍率登録変更：
登録してある倍率の変更をユーザに許可するか、禁止するか選択します。
- From アドレス変更：
設定されている From アドレスの変更を許可するか、禁止するかの選択をします。
- 登録オーバーレイ変更：
登録オーバーレイに登録した画像を削除したり、上書きできるようにするかどうかを設定します。

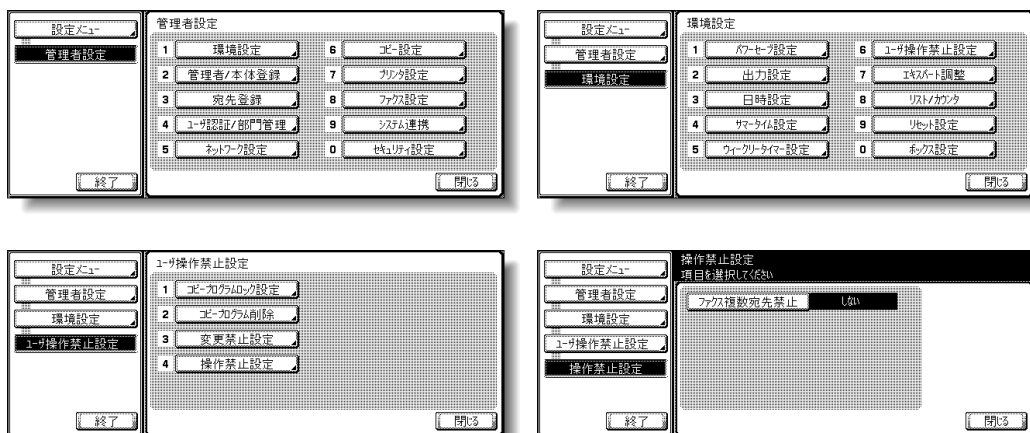


手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 [1 環境設定]、[6 ユーザ操作禁止設定]、[3 変更禁止設定] を順に押します。変更禁止設定画面が表示されます。
- 3 [↑][↓]を押して、それぞれのプログラム項目のキーを押します。画面右側の「設定値」下で「許可」または「禁止」のどちらかを選択します。
- 4 [閉じる]を押して、ユーザ操作禁止設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

■ 6 ユーザ操作禁止設定 > 4 操作禁止設定

ファクスジョブの送信で、複数の宛先設定を禁止する設定をできるようにするか、しないかを選択します。



手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 [1 環境設定]、[6 ユーザ操作禁止設定]、[4 操作禁止設定] を順に押します。操作禁止設定画面が表示されます
- 3 [ファクス複数宛先禁止] を押します。画面右側の「設定値」下で、[する] または [しない] を選択します。
- 4 [閉じる] を押して、ユーザ操作禁止設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者/
本体登録

4 ユーザ認証/
部門管理

6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

第15章
設定メニュー
〈管理者設定〉

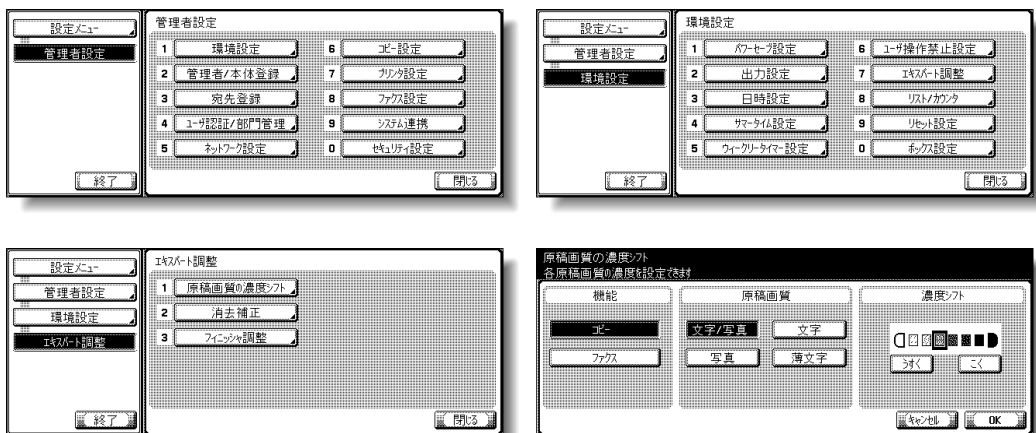
■ 7 エキスパート調整 > 1 原稿画質の濃度シフト (レベル 2)

基本設定画面のマニュアル濃度設定では 9 つの濃度レベルが選択できますが、その濃度レベルを 6 段階シフトすることができます。

この濃度シフトは、通常の画質設定 (文字 / 写真) のほかに、3 つの画質設定 (薄文字、写真、文字) に対してそれぞれシフトするように設定できます。

ひとこと

〔1 原稿画質の濃度シフト〕は、管理者設定のユーザ開放レベルを〔レベル 2〕に設定すると、ユーザ設定画面で操作できるようになります。



手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 〔1 環境設定〕、〔7 エキスパート調整〕、〔1 原稿画質の濃度シフト〕を順に押します。
原稿画質の濃度シフト画面が表示されます。
- 3 画面左側の「機能」下で、〔コピー〕を選択します。
- 4 画面中央の「原稿画質」下で、濃度シフトを設定する画質を選択します。
画面右側の「濃度シフト」下で、〔うすく〕または〔こく〕を押して、任意の濃度シフトを選択します。

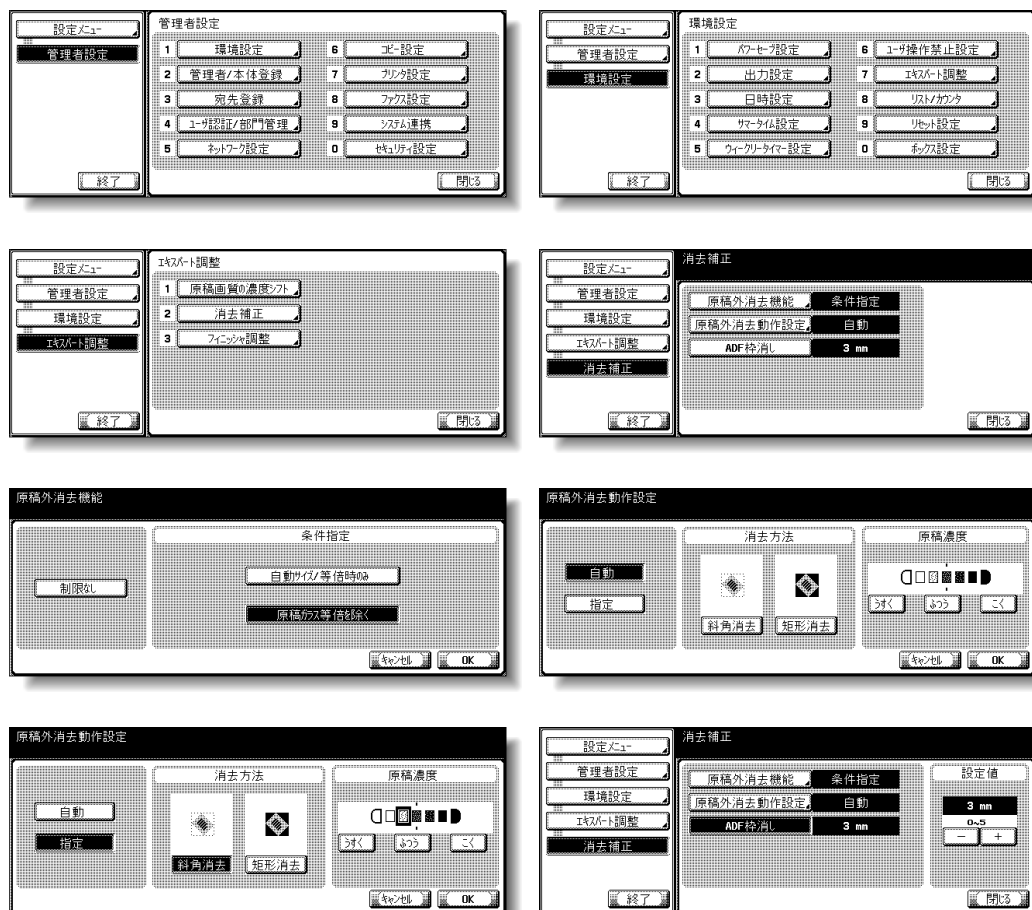
ひとこと

4 つの原稿画質ごとに濃度シフトを調整します。

- 5 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、エキスパート調整画面にもどります。
以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

■ 7 エキスパート調整 > 2 消去補正

原稿外消去の条件と動作、および ADF 枠消しの幅を設定します。



手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 [1 環境設定]、[7 エキスパート調整]、[2 消去補正] を順に押します。消去補正画面が表示されます。
- 3 原稿外消去機能の条件を設定します。
 - (1) [原稿外消去機能] を押します。原稿外消去機能画面が表示されます。
 - (2) 希望する条件を選択します。
 - ・ [制限なし] を選択：条件を指定しません。
 - ・ [自動サイズ / 等倍時のみ] を選択：自動用紙が機能したときか、等倍を設定したときに原稿外の消去をします。
 - ・ [原稿ガラス等倍を除く] を選択：原稿ガラスに原稿をセットして、等倍以外の倍率を設定したときに原稿外の消去をします。
 - (3) 設定内容を確認するため、[OK] を押します。
 確定しない場合は[キャンセル]を押します。いずれも、消去補正画面にもどります。

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者/
本体登録4 ユーザ認証/
部門管理

6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

第15章
設定メニュー
管理者設定

4 原稿外消去の動作を設定します。

- (1) [原稿外消去動作設定] を押します。原稿外消去動作設定画面が表示されます。
- (2) 希望する動作を選択します。
 - ・ [自動] を選択：自動で消去します。(4) に進みます。
 - ・ [指定] を選択：目的にあわせて消去方法、原稿濃度を選択します。濃度レベルは 5 段階で調整できます。
- (3) 原稿外側余白部分の消去方法と原稿濃度を設定します。
消去方法は、[矩形消去] または [斜角消去] のどちらかを押して選択します。
原稿濃度は、[うすく] または [こく] を押して 5 つの原稿濃度レベルから 1 つを選択します。標準に設定する場合は、[ふつつ] を押します。

ひとこと

[斜角消去] または [矩形消去] を設定しても、原稿によってはうまく機能しないことがあります。そのときは [自動消去] を設定してください。

- (4) 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
確定しない場合は [キャンセル] を押します。いずれも、消去補正画面にもどります。

5 ADF 枠消しの設定をします。

ADF を使用してコピーするとき、枠消しコピーを無条件に機能させるかどうか、また機能させる場合の枠消し量を設定します。

- (1) [ADF 枠消し設定] を押します。画面右側の「設定値」下で、操作パネルのテンキーを使って枠消し量を入力します。設定できる枠消し量は 1 ～ 5mm で、それ以上の数値を入力しても設定できません。
枠消しを必要としない場合は、設定値を 0mm にします。
設定内容は、設定した時点で有効になります。
- (2) [閉じる] を押して、エキスパート調整画面にもどります。

6 以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

■ 7 エキスパート調整 > 3 フィニッシャ調整

後処理系オプションの下記各種調整を行います。



詳しく説明します

装着されているオプションの構成によって、調整できる項目は異なります。

ひとこと

フィニッシャ FS-510 に中綴じ機 SD-502 が装着されている機械は、中とじ／中折りの位置調整をします。

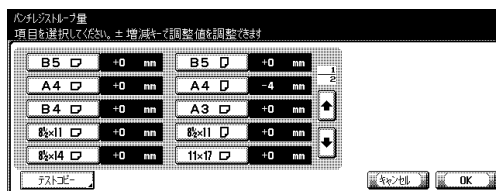
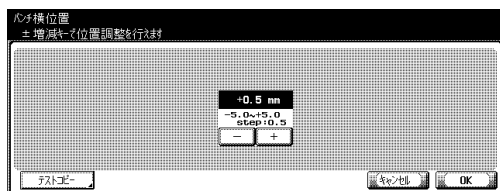
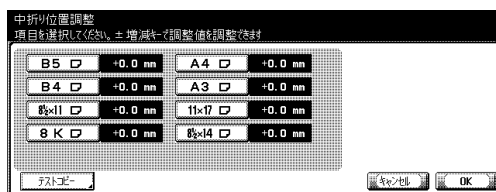
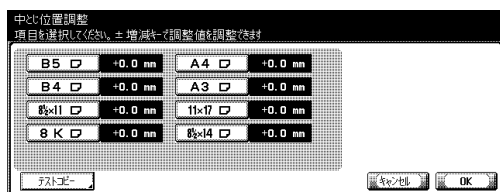
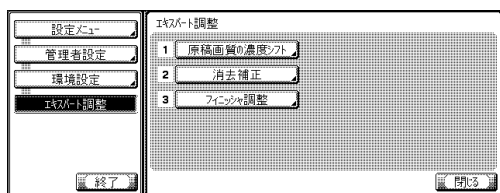
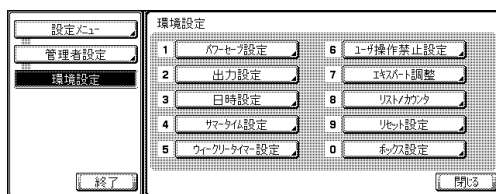
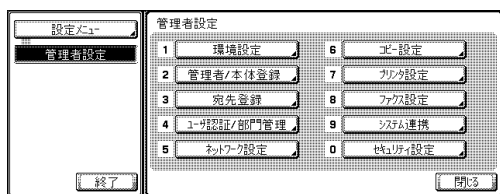
フィニッシャ FS-510 にパンチユニット PU-501 が装着されている機械やフィニッシャ FS-511 が装着されている機械は、パンチ横位置調整や、パンチレジストループ量の調整をします。

中とじ位置調整を行う場合は、手順 **1-2-3-7** の順に進みます。

中折り位置調整を行う場合は、手順 **1-2-4-7** の順に進みます。

パンチ横位置を調整する場合は、手順 **1-2-5-7** の順に進みます。

パンチレジストループ量を調整する場合は、手順 **1-2-6-7** の順に進みます。



画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

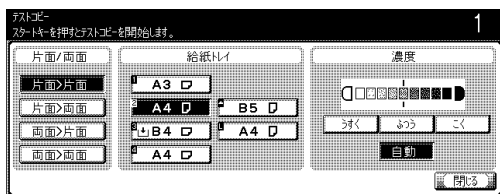
2 管理者／
本体登録

4 ユーザ認証／
部門管理

6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

第15章
設定メニュー
「管理者設定」



手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 [1 環境設定]、[7 エキスパート調整]、[3 フィニッシュ調整] を順に押します。フィニッシュ調整画面が表示されます。
- 3 中とじ機能でプリントするときのステープル位置を用紙ごとに調整できます。



中とじ機能を使い、1 冊のコピーサンプルを作成し、作成したサンプルを見ながら調整を行います。

- (1) [中とじ位置調整] を押します。中とじ位置調整画面が表示されます。
- (2) 設定する用紙サイズのキーを選択して、[テストコピー] を押します。テストコピー画面が表示されます。
- (3) 【スタート】を押すと、テストコピーを開始します。終わったら [閉じる] を押します。
中とじ位置調整画面にもどります。
- (4) サンプルの左側のページと、右側のページの幅を比較し、用紙の中央を確認します。希望する結果が得られないときは、調整値を変更します。
用紙の中央に対して右側にステープル位置がずれている場合は、調整値の [＋] を押します。(0.1mm ～ 5.0mm)
用紙の中央に対して左側にステープル位置がずれている場合は、調整値の [－] を押します。(－0.1mm ～ －5.0mm)

希望する調整結果が得られるまで (2) ～ (4) を繰り返します。

- 4 中折り機能でプリントするときの中折り位置を用紙ごとに調整できます。



中折り機能を使い、1 冊のコピーサンプルを作成し、作成したサンプルを見ながら調整を行います。

- (1) [中折り位置調整] を押します。中折り位置調整画面が表示されます。
- (2) 設定する用紙サイズのキーを選択して、[テストコピー] を押します。テストコピー画面が表示されます。
- (3) 【スタート】を押すと、テストコピーを開始します。終わったら [閉じる] を押します。
中折り位置調整画面にもどります。
- (4) サンプルの左側のページと、右側のページの幅を比較し、用紙の中央を確認します。希望する結果が得られないときは、調整値を変更します。
用紙の中央に対して右側に折り位置がずれている場合は、調整値の [＋] を押します。(0.1mm ～ 5.0mm)
用紙の中央に対して左側に折り位置がずれている場合は、調整値の [－] を押します。(－0.1mm ～ －5.0mm)

希望する調整結果が得られるまで (2) ～ (4) を繰り返します。

5 パンチの横位置を調整できます。



パンチ機能を使い、コピーサンプルを作成し、作成したサンプルを見ながら調整を行います。

- (1) [パンチ横位置] を押します。パンチ横位置画面が表示されます。
- (2) 設定する用紙サイズのキーを選択して、[テストコピー] を押します。テストコピー画面が表示されます。
- (3) 【スタート】を押すと、テストコピーを開始します。終わったら[閉じる]を押します。
パンチ横位置画面にもどります。
- (4) サンプルのパンチ位置を確認します。希望する結果が得られないときは、調整値を変更します。
用紙の右側にパンチの位置をずらす場合は、[+] を押して補正値を増やします。(0.1mm ~ 5.0mm)
用紙の左側にパンチの位置をずらす場合は、[-] を押して補正値を減らします。(- 0.1mm ~ - 5.0mm)

希望する調整結果が得られるまで (2) ~ (4) を繰り返します。

6 パンチレジストループ量 (両面出力やカバーシート出力時のパンチ位置の傾き) を調整できます。



パンチ機能を使い、コピーサンプルを作成し、作成したサンプルを見ながら調整を行います。

- (1) [パンチレジストループ量] を押します。パンチレジストループ量画面が表示されます。
- (2) 設定する項目のキーを押して、[テストコピー] を押します。テストコピー画面が表示されます。
- (3) 【スタート】を押すと、テストコピーを開始します。終わったら[閉じる]を押します。パンチレジストループ量画面にもどります。
- (4) サンプルのパンチ位置を確認します。
希望する結果が得られないときは、調整値を変更します。
用紙にたいしてパンチの位置が傾く場合は、調整値の[+] または [-] で調整します。
調整値の量が多いと、用紙の先端が折れることがあります。

希望する調整結果が得られるまで (2) ~ (4) を繰り返します。

7 設定内容を確定するため、[OK] を押します。 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、エキスパート調整画面にもどります。 以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者 /
本体登録

4 ユーザ認証 /
部門管理

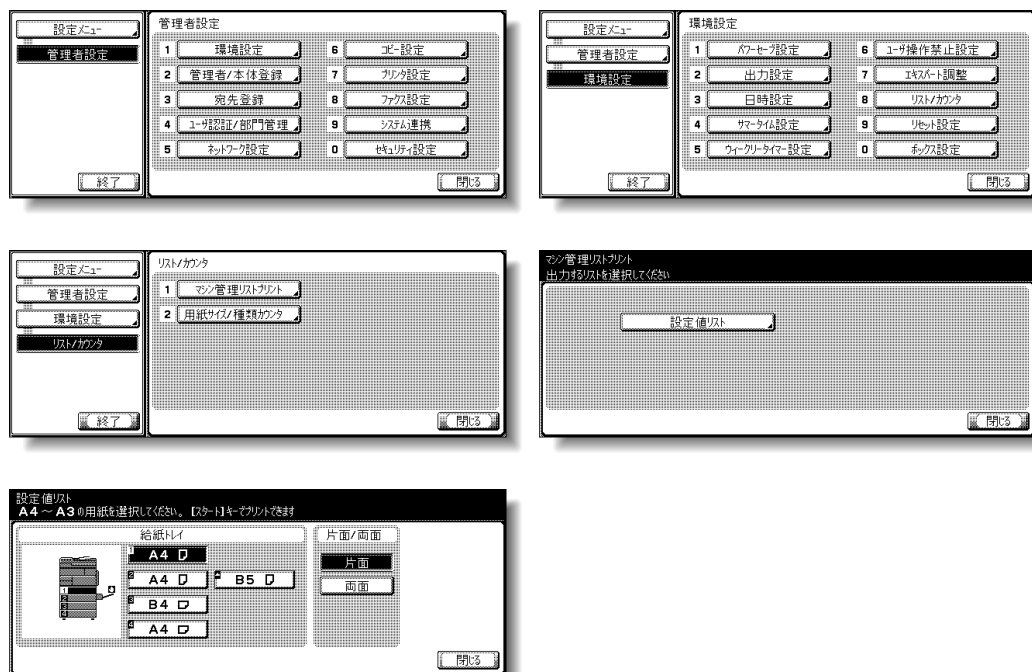
6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

第15章
設定メニュー
管理者設定

■ 8 リスト／カウンタ > 1 マシン管理リストプリント

ユニバーサル設定、ユーザ設定、管理者設定、フィニッシャ調整で設定した設定内容をプリントすることができます。

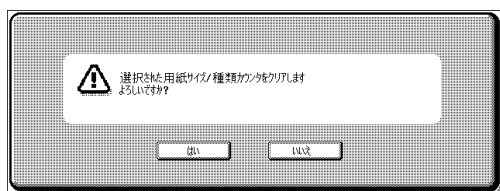
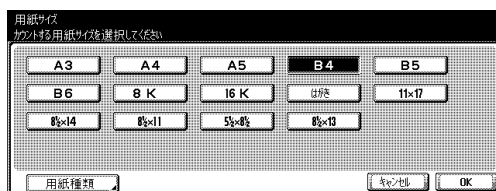
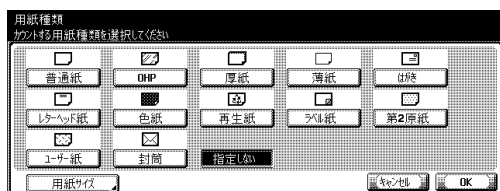
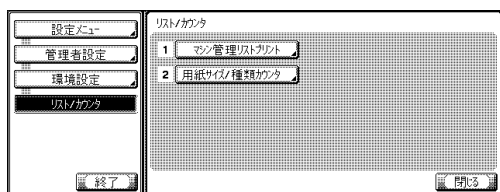
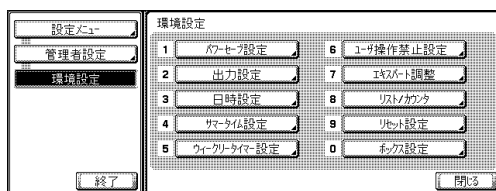
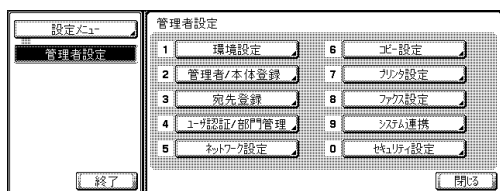


手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 [1 環境設定]、[8 リスト／カウンタ]、[1 マシン管理リストプリント] を順に押します。マシン管理リストプリント画面が表示されます。
- 3 【設定値リスト】キーを押します。設定値リスト画面が表示されます。
- 4 設定値リストをプリントする用紙が入っているトレイおよび片面／両面を選択します。
- 5 操作パネルの【スタート】を押します。プリントを開始します。
プリントを中断するときは、【ストップ】を押します。
- 6 [閉じる] を押して、マシン管理リストプリント画面にもどります。
- 7 [閉じる] を押して、リスト／カウンタ画面にもどります。
以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

■ 8 リスト／カウンタ > 2 用紙サイズ／種類カウンタ

特定の用紙サイズと用紙種類を組み合わせで 9 件まで登録し、カウントする設定ができます。



手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 [1 環境設定]、[8 リスト／カウンタ]、[2 用紙サイズ／種類カウンタ] を順に押します。
用紙サイズ／種類カウンタ画面が表示されます。
- 3 設定変更／カウントクリアしたい番号のキーを押します。
- 4 設定変更するときは〔設定変更〕を押します。
用紙種類画面で任意の用紙種類キーを押して用紙種類を選択します。
用紙サイズを変更するときは〔用紙サイズ〕を押し、用紙サイズ画面を表示させ、任意のサイズキーを押して、サイズを選択します。
〔OK〕を押すと、変更／カウントクリア確認画面が表示されます。
〔はい〕を押します。
- 5 カウントをクリアするときは〔カウントクリア〕を押します。
変更／カウントクリア確認画面が表示されます。
〔はい〕を押します。
- 6 〔閉じる〕を押して、リスト／カウンタ画面にもどります。
以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者／
本体登録4 ユーザ認証／
部門管理

6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

第15章
設定メニュー
〈管理者設定〉

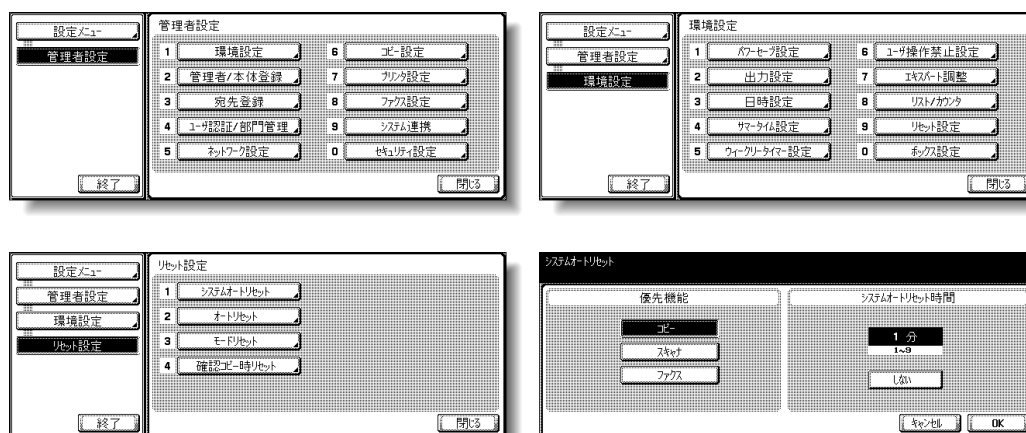
■ 9 リセット設定 > 1 システムオートリセット

操作パネルの【コピー】を押すと、コピー操作を行うための画面が表示されます。【スキャナ】を押すと、スキャナ操作を行うための画面が表示されますが、本機を操作しなくなつてから一定時間経過すると、自動的にコピー操作またはスキャナ操作のための画面に切替えるように設定することができます。これをシステムオートリセットといいます。

ここでは、優先する機能（コピー操作またはスキャナ操作）と、優先する機能として設定した画面に切替わるまでの時間を設定します。出荷時設定では、1分を経過するとコピー機能画面になります。



システムオートリセットが「しない」に設定されている場合、拡大表示機能は解除されません。また、ユーザ認証 / 部門管理機能は、システムオートリセットが「しない」に設定されていても1分で解除されます。



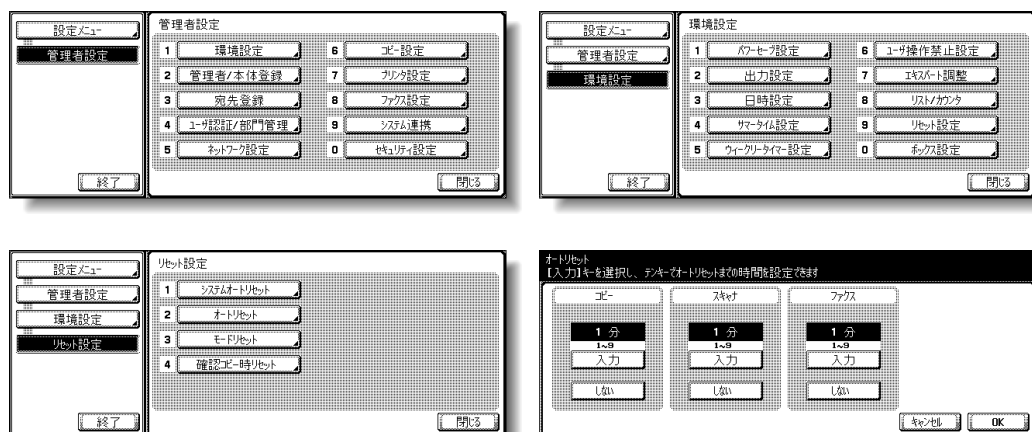
手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 [1 環境設定]、[9 リセット設定]、[1 システムオートリセット] を順に押します。システムオートリセット画面が表示されます。
- 3 画面左側の「優先機能」で、システムオートリセット時に優先させたい機能を設定します。【コピー】、【スキャナ】または【ファクス】を選択します。
- 4 画面右側の「システムオートリセット時間」で、システムオートリセットが行われるまでの時間を設定します。1分～9分の間で設定できます。
【しない】を選択すると、システムオートリセットは機能しません。
- 5 設定内容を確認するため、【OK】を押します。
確定しない場合は、【キャンセル】を押します。いずれも、リセット設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

■ 9 リセット設定 > 2 オートリセット

オートリセットは、タッチパネルや操作パネルのを押さずに一定時間経過すると、初期設定として設定しているコピー条件またはスキャナ条件に自動的にもどす機能です。

ここでは、オートリセットが機能する時間を設定します。出荷時設定では 1 分を経過するとオートリセット機能が働きます。



手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 [1 環境設定]、[9 リセット設定]、[1 システムオートリセット] を順に押します。システムオートリセット画面が表示されます。
- 3 [コピー]、[スキャナ] または [ファクス] 下の [入力] を選択し、操作パネルのテンキーでそれぞれのオートリセットされるまでの時間を入力します。
[しない] を選択すると、システムオートリセットは機能しません。
- 4 変更内容を確認するため、[OK] を押します。
変更しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、リセット設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者/
本体登録4 ユーザ認証/
部門管理

6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

第15章
設定メニュー
〈管理者設定〉

■ 9 リセット設定 > 3 モードリセット

機械使用者が交代したと機械が判断したとき、コピー条件を初期化するかどうかの選択をします。

ADF に原稿をセットしたとき、コピー条件を初期化するかどうかの選択をします。

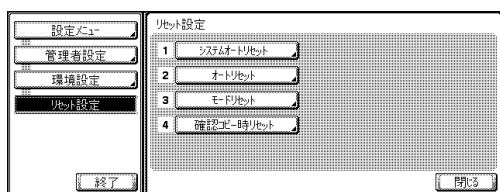
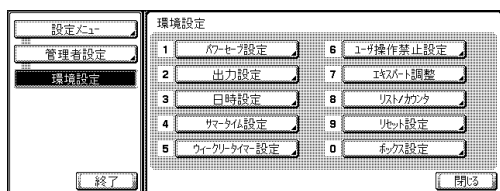
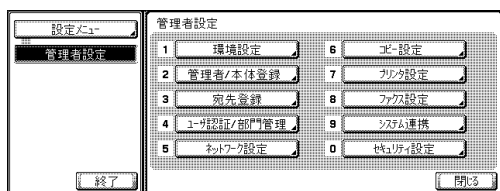
また、1つのジョブが終了したときに初期設定にもどすコピー条件を選択します。ジョブ終了ごとに初期設定にもどすことができるコピー条件には下記のものがあります。

- ステープル設定
- 原稿セット／とじ方向
- 送信後設定解除



下記操作のとき、本機は機械の使用者が交代（使用者変更）したと判断します。

- オプションのキーカウンタを抜き取ったとき
- ユーザ認証や部門管理によって認証を得たあとに操作パネルの【ID】を押したとき



手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 [1 環境設定]、[9 リセット設定]、[3 モードリセット] を順に押します。モードリセット画面が表示されます。
- 3 使用者変更の選択（初期化する／初期化しない）をします。
 - (1) [使用者変更] を押します。画面右側に選択画面が表示されます。
 - (2) [初期化する] を選択すると、カウンタを引き抜いたとき、コピー条件が初期化されます。また、ユーザ認証や部門管理の認証がクリアされます。

1 環境設定（つづき）

- 4** ADF 原稿セットの選択（リセットする／リセットしない）をします。
ADF に原稿をセットした時、それまで使用していたコピー条件を初期化するかどうかの設定をします。
- (1) [ADF 原稿セット] を押します。画面右側に選択画面が表示されます。
 - (2) [リセットする] を選択すると、ADF に原稿をセットした時にそれまで使用していたコピー条件が初期化されます。ADF に原稿をセットするたびにコピー条件をセットし直します。
- 5** 次ジョブの設定をします。
ステابل設定、原稿セット／とじ方向、送信後設定解除の各設定を、ジョブごとに解除するかどうかの設定をします。
- (1) [次ジョブ] を押します。次ジョブ画面が表示されます。
 - (2) 解除するかどうか、設定したいボタンを押します。画面右側に選択画面が表示されます。
 - (3) [解除する] または [解除しない] を選択します。
- 6** 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、リセット設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者／
本体登録

4 ユーザ認証／
部門管理

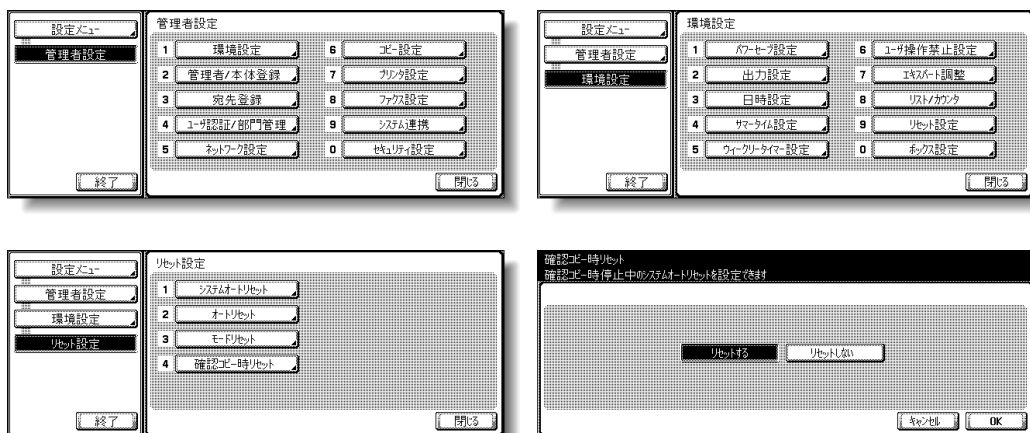
6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

第15章
設定メニュー
管理者設定

■ 9 リセット設定 > 4 確認コピー時リセット

確認コピー中に動作が停止している間、システムオートリセットさせるかどうかを選択します。



手順

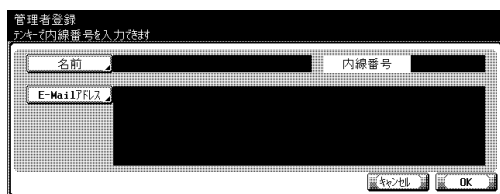
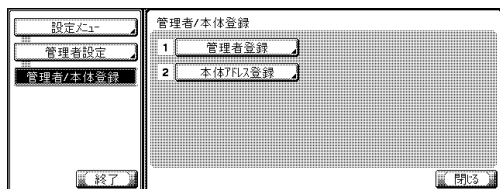
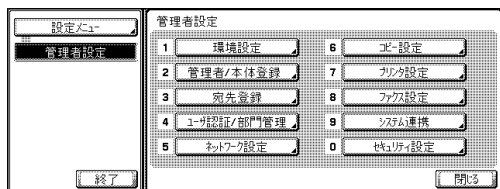
- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 [1 環境設定]、[9 リセット設定]、[4 確認コピー時リセット] を順に押します。確認コピー時リセット画面が表示されます。
- 3 [リセットする] または [リセットしない] を選択します。
- 4 設定内容を確認するため、[OK] を押します。
 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、リセット設定画面にもどります。
 以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

2 管理者／本体登録

■ 1 管理者登録

ヘルプ画面の管理者情報に表示される、管理者名と管理者の内線番号および E-Mail アドレスを登録します。

入力項目：名前／内線番号／ E-Mail アドレス



手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 [2 管理者／本体登録]、[1 管理者登録] を順に押します。管理者登録画面が表示されます。
- 3 名前を入力します。
[名前] を押すと、管理者名入力画面が表示されます。画面上の文字キーを押して、管理者の名前を入力します。入力できる文字数は、全角 10 文字 (半角 20 文字) までです。[OK] を押します。
- 4 内線番号を入力します。
操作パネルのテンキーを押して管理者の内線番号を入力します。入力できる数値は、8 ケタまでです。
数値を入力していくと、入力した数字は下の位から入っていき、左へシフトしていきます。
- 5 E-Mail アドレスを入力します。
[E-Mail アドレス] を押すと、管理者 E-Mail アドレス入力画面が表示されます。入力できる文字数は、英数 320 文字までです。画面上の文字キーを押して、管理者の E-Mail アドレスを入力します。[OK] を押します。
- 6 設定内容を確認するため、[OK] を押します。
確定しない場合は [キャンセル] を押します。いずれも、管理者／本体登録画面にもどります。
以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者／
本体登録

4 ユーザ認証／
部門管理

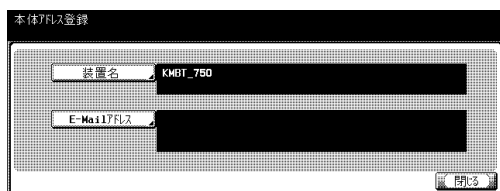
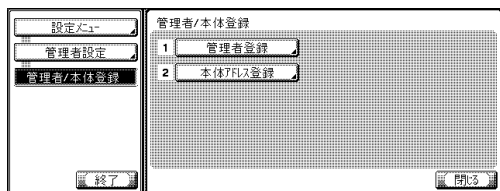
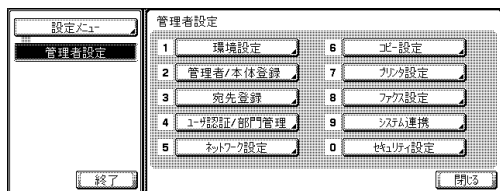
6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

第15章
設定メニュー
〈管理者設定〉

■ 2 本体アドレス登録

本機の名前と E- メールアドレスを登録できます。登録したアドレスは本機のボックスにメールを受信したり、スキャナジョブの From アドレスのひとつとして使用できます。



手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 [2 管理者／本体登録]、[2 本体アドレス登録] を順に押します。本体アドレス登録画面が表示されます。
- 3 装置名を入力します。
[装置名] を押すと、装置名入力画面が表示されます。画面上の文字キーを押して、装置の名前を入力します。入力できる文字数は、英数 80 文字までです。[OK] を押します。
- 4 E-Mail アドレスを入力します。
[E-Mail アドレス] を押すと、本体 E-Mail アドレス入力画面が表示されます。画面上の文字キーを押して、装置の E-Mail アドレスを入力します。入力できる文字数は、英数 320 文字までです。[OK] を押します。

詳しく説明します

半角 144 文字を超えるアドレスは末尾の表示が省略され、[詳細] が表示されます。[詳細] を押すと、別画面でアドレス全体が表示されます。

- 5 [閉じる] を押します。管理者／本体登録画面にもどります。
以後の操作は、p. 15-3 をご覧ください。

4 ユーザ認証／部門管理

本機の使用を制限するユーザ認証や部門管理の設定ができます。

ユーザ認証は個人を管理するとき、部門管理はグループや複数のユーザを管理するときに設定するのが適しています。

ユーザ認証と部門管理を組合わせて使用すると、ユーザ別に各部門のカウント管理ができます。

ユーザ認証と部門管理について

ユーザ認証と部門管理は、それぞれ以下の機能があります。

ユーザ認証

- 操作可能な機能を制限する（コピー操作／スキャナ操作／プリンタ印字）
- ユーザ毎に出力／読み込みのカウントを行う
- 出力枚数制限をする
- 各ユーザ所有の個人ボックスの操作をする

部門管理

- 部門毎に出力／読み込みのカウントを行う
- 出力枚数制限をする



ユーザ認証または部門認証にすべての認証数を振り分けると一方の認証が使用できなくなります。両方使用する場合は任意に振り分けてください。

ひとこと

- 本機では、ユーザ認証と部門管理は合計 100 件まで登録できます。
- 認証方式が設定されていると、本機の待機中に認証画面が表示されます。ユーザ認証 / 部門認証して本機を使用するには、ユーザ名、パスワードなどを入力する必要があります。詳しくは、「ユーザ認証／部門認証をもとめられたとき」(p. 2-38) をごらんください。



部門管理やユーザ認証はそれぞれ単独で設定できます。それぞれ機能の違いを確認して設定してください。

ユーザ認証と部門管理を連動する場合

本機を複数の部署で使用する場合に、各社員を部署ごとに管理して利用するときに適しています。この設定をすると、社員別（ユーザ別）に集計をとったり、部署ごと（部門ごと）に集計をとることができます。

ユーザ認証と部門管理でそれぞれ認証する場合

本機を複数の社員で使用する場合に、それぞれの社員が複数の業務を行い、業務単位の集計をとるときに適しています。この設定をすると、それぞれの社員別（ユーザ別）に統計をとったり、業務ごと（部門ごと）に集計をとることができます。

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者／
本体登録

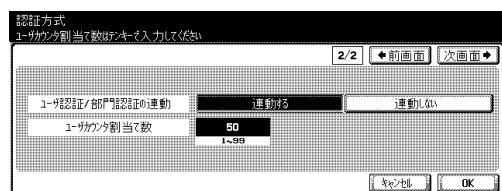
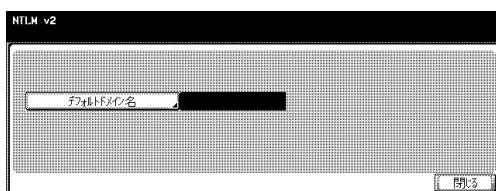
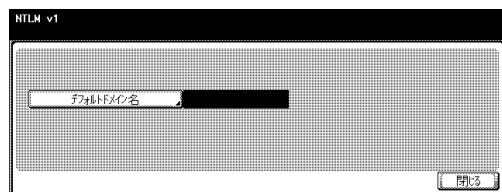
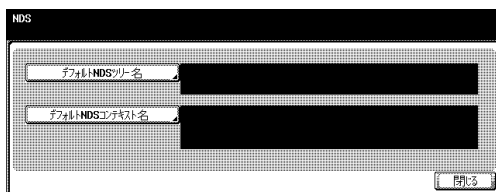
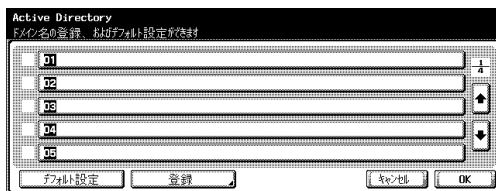
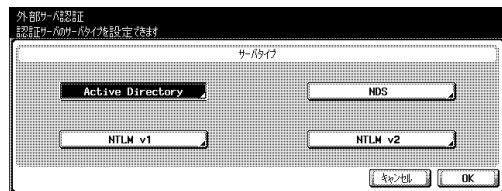
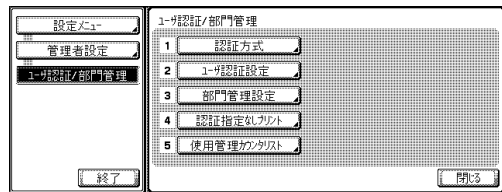
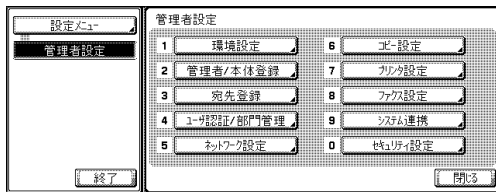
4 ユーザ認証／
部門管理

6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

第15章
設定メニュー
〈管理者設定〉

■ 1 認証方式



手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 [4 ユーザ認証／部門管理]、[1 認証方式] を順に押します。認証方式画面を表示させます。
- 3 「ユーザ認証」を設定します。
ユーザ認証をしない場合は、「認証しない」を選択します。その後、手順 **6** へ進みます。
本機の認証システムを使用してユーザ認証を行う場合は、「本体装置認証」を選択します。その後、手順 **5** へ進みます。
外部サーバを使用してユーザ認証を行う場合は、手順 **4** へ進みます。
- 4 外部サーバを使用してユーザ認証を行います。



- 外部サーバ認証で [Active Directory] を選択した場合、1 文字以上のパスワードを設定してください。パスワードを設定しないと、認証に失敗します。
- 外部サーバのユーザ名は大文字と小文字の区別をしないでください。bizhub 500/420 では大文字小文字の区別ができないため、正しく処理できないことがあります。
- 外部サーバのパスワードで ["] と [+] は使用しないでください。
- 外部サーバの動作条件について詳しくはネットワーク管理者に確認してください。
- 外部サーバ認証はご利用のネットワーク環境に合わせて設定します。

Windows 2000 Server をご利用の場合

- (1) 認証方式画面の [外部サーバ認証] を押して、外部サーバ認証画面を表示させます。
- (2) [Active Directory] を選択して、Active Directory 画面を表示させます。
- (3) [デフォルトドメイン名] を押して、デフォルトドメイン名を入力する画面を表示させます。
- (4) 任意のデフォルトドメイン名を入力します。[OK] を押すと、Active Directory 画面にもどります。
- (5) [閉じる] を押して、外部サーバ認証画面にもどります。
- (6) 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
確定しない場合は[キャンセル]を押します。いずれも、認証方式画面にもどります。
手順 **6** へ進みます。



詳しく説明します

Active Directory を使用する場合は、「TCP/IP 設定」で、IP アドレス、サブネットマスク、優先 DNS サーバを必ず設定してください。
「TCP/IP 設定」については、「ユーザズガイド ネットワーク/スキャナ機能編」をごらんください。

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者／
本体登録

4 ユーザ認証／
部門管理

6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

第15章
設定メニュー
管理者設定

Windows NT 4.0 Server をご利用の場合

- (1) 認証方式画面の〔外部サーバ認証〕を押して、外部サーバ認証画面を表示させます。
- (2) 〔SMB〕を選択して、SMB 画面を表示させます。
- (3) 〔デフォルトドメイン名〕を押して、デフォルトドメイン名を入力する画面を表示させます。
- (4) 任意のデフォルトドメイン名を入力します。〔OK〕を押すと、SMB 画面にもどります。
- (5) 〔閉じる〕を押して、外部サーバ認証画面にもどります。
- (6) 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、認証方式画面にもどります。
手順 **6** へ進みます。

NetWare 5.1、NetWare 6.0 をご利用の場合

- (1) 認証方式画面の〔外部サーバ認証〕を押して、外部サーバ認証画面を表示させます。
- (2) 〔NDS〕を選択して、NDS 画面を表示させます。
- (3) 〔デフォルト NDS ツリー名〕を押して、デフォルト NDS ツリー名を入力する画面を表示させます。
- (4) 任意のデフォルト NDS ツリー名を入力します。〔OK〕を押すと、NDS 画面にもどります。
- (5) 〔デフォルト NDS コンテキスト名〕を押して、デフォルト NDS コンテキスト名を入力する画面を表示させます。
- (6) 任意のデフォルト NDS コンテキスト名を入力します。〔OK〕を押すと、NDS 画面にもどります。
- (7) 〔閉じる〕を押して、外部サーバ認証画面にもどります。
- (8) 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、認証方式画面にもどります。
手順 **6** へ進みます。

5 「パブリックユーザ」を設定します。



「パブリックユーザ」は以下の場合には設定できません。

- 〔ユーザ認証〕が〔認証しない〕を選択しているとき
- 〔ユーザ認証 / 部門認証の連動〕が〔連動しない〕を選択しているとき

〔許可しない〕を選択：本機に登録されていないユーザは使用できない設定になります。
〔許可する〕を選択：本機に登録されていないユーザも使用することができます。ユーザ認証設定をしている場合でも、ユーザ名やパスワードを入力しないで使用できる設定です。

6 「部門管理」を設定します。

〔管理しない〕または〔管理する〕のどちらかを選択します。

7 「部門管理認証方式」の認証方法を設定します。

〔部門名+パスワード〕または〔パスワードのみ〕のどちらかを選択します。



〔部門管理認証方式〕は以下の場合には設定できません。

〔部門管理〕が〔管理しない〕を選択しているとき

8 「ユーザ認証／部門認証の連動」を設定します。



〔ユーザ認証 / 部門認証の連動〕 および〔ユーザカウンタ割当て数〕は以下の場合には表示されません。

- 〔ユーザ認証〕が〔認証しない〕を選択しているとき
- 〔部門管理〕が〔管理しない〕を選択しているとき

〔連動する〕または〔連動しない〕のどちらかを選択します。

〔連動する〕を選択：外部サーバ認証時と本体装置認証時に必要な認証が異なります。ユーザ認証で外部サーバ認証を選択する場合、初めて使用するときはユーザ認証と部門認証が必要ですが、次回からはユーザ名を入力するだけで、本機を使用できます。ユーザ認証で本体装置認証を選択する場合、ユーザ認証だけで本機を使用できます。〔連動しない〕を選択：本機を使用するたびにユーザ認証と部門認証を行う設定になります。

9 ユーザカウンタ割当て数を設定します。



「ユーザ認証 / 部門認証の連動」 および「ユーザカウンタ割当て数」は以下の場合には表示されません。

- 〔ユーザ認証〕が〔認証しない〕を選択しているとき
- 〔部門管理〕が〔管理しない〕を選択しているとき

操作パネルの【C】（クリア）を押して、テンキーで数値を入力します。（1 個～ 99 個）ユーザ認証と部門管理を連動させる場合は、カウンタを部門用とユーザ用の両方に割振ることができ、両方のカウント値も集計できます。

ひとこと

ユーザカウンタ割当て数によって、部門登録の割当て数が制限されます。詳細は p. 15-67 をご覧ください。

10 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。

確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、ユーザ認証／部門管理画面にもどります。

以後の操作は、p. 15-3 をご覧ください。



ユーザ認証の詳細は p. 15-56、部門管理の詳細は p. 15-67 をご覧ください。

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者／
本体登録

4 ユーザ認証／
部門管理

6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

第15章
設定メニュー
管理者設定

■ 2 ユーザ認証設定 > 1 管理設定

ユーザ名一覧表示

ユーザ認証設定をしているときに、ユーザ認証画面やユーザ名入力画面に〔一覧〕を表示することができます。〔一覧〕を押すと、本機に登録されているユーザ名が表示されるため、一覧から選択するだけでユーザ名を設定できます。

初期機能制限

外部サーバ認証を設定している場合、認証したユーザが本機で利用できる機能を制限できます。

制限できるのは、以下の機能です。

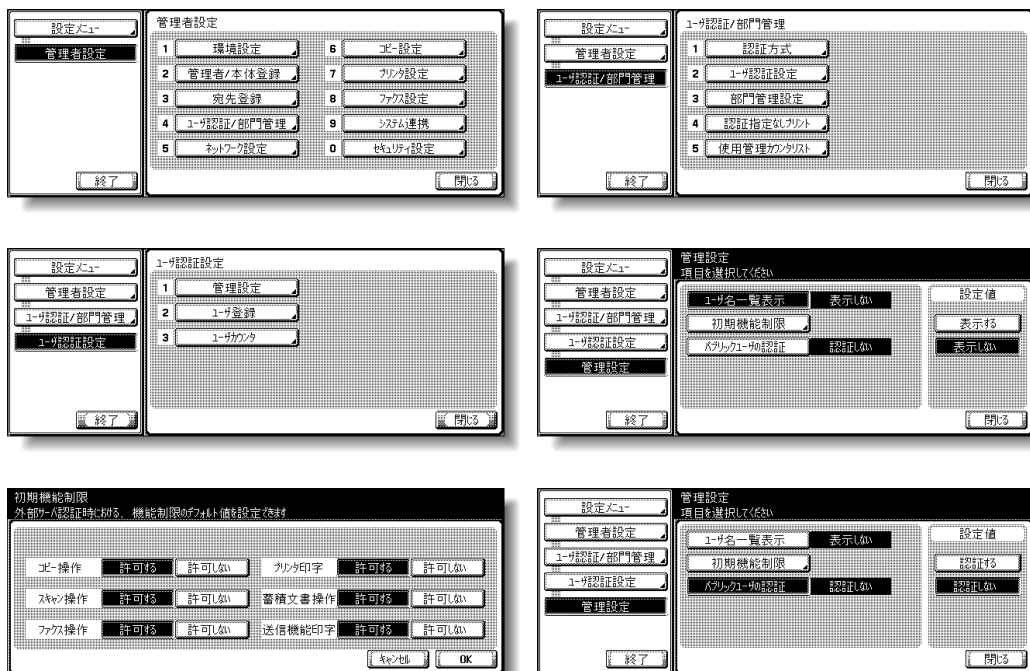
- コピー操作
- スキャン操作
- ファクス操作
- プリンタからの印字
- ハードディスクに蓄積されている文書の操作
- 送信機能印字

パブリックユーザの認証

認証方式で「パブリックユーザ」が「許可」されている場合に、ユーザ認証画面でパブリックユーザの認証をするかしないかの設定をします。

ひとこと

- 出荷時設定では、〔ユーザ名一覧表示〕は〔表示しない〕および〔初期機能制限〕は〔許可する〕が設定されています。
- 認証済みのユーザに使用制限をかけたい場合は、〔ユーザ登録〕で設定します。



手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 [4 ユーザ認証／部門管理]、[2 ユーザ認証設定]、[1 管理設定] を順に押します。管理設定画面が表示されます。

ひとこと

〔2 ユーザ認証設定〕は、認証方式でユーザ認証が〔認証しない〕に設定されていると選択できません。

- 3 [ユーザ名一覧表示] を押します。画面右側の「設定値」下で〔表示する〕または〔表示しない〕のどちらかを選択します。
- 4 [初期機能制限] を押します。初期機能制限画面が表示されます。
- 5 [パブリックユーザ] を押します。画面右側の「設定値」下で〔認証する〕または〔認証しない〕のどちらかを選択します。
- 6 それぞれの機能について、〔許可する〕または〔許可しない〕のどちらかを選択します。
- 7 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、管理設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者／
本体登録

4 ユーザ認証／
部門管理

6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

■ 2 ユーザ認証設定 > 2 ユーザ登録

ユーザー一人一人に任意のユーザ No. を割り当て、ユーザ No. ごとにユーザ名、パスワード、所属部門、プリント許可、プリント枚数の上限値、および使用できる機能を設定し、登録します。また、ユーザ登録を選択し、データの内容を変更、リセットおよび削除できます。

詳しく説明します

- 本機では、ユーザ認証と部門管理は合計 100 件まで登録できます。HDD 装着時は、合計 1000 件まで登録することができます。詳細は、サービス実施店にお問い合わせください。
- 認証方式でパブリックユーザが〔許可する〕に設定されている場合は、Public が 1 件追加されます。パブリックユーザの機能制限ができます。
- 認証方式で部門管理を〔管理する〕に設定されている場合は、カウンタ割当てで設定された件数まで登録できます。
- 外部サーバ認証をする場合、自動的にユーザ登録されます。あらかじめ、登録をする場合は、機能制限を設定することもできます。
- 〔削除〕を押すと、選択中のユーザ情報が削除されます。

設定メニュー
管理者設定

1 環境設定	6 デー設定
2 管理者/本体登録	7 プリント設定
3 密先登録	8 ファク設定
4 ユーザ認証/部門管理	9 システム連携
5 ネットワーク設定	0 セキュリティ設定

終了 閉じる

設定メニュー
ユーザ認証/部門管理

1 認証方式
2 ユーザ登録設定
3 部門管理設定
4 認証指定のプリント
5 使用管理カンダリスト

終了 閉じる

設定メニュー
ユーザ登録設定

1 管理設定
2 ユーザ登録
3 ユーザリフト

終了 閉じる

ユーザ登録
ユーザを選択してください

001 佐藤	002 suzuk	003 tanak	004 yanad	005	006	007	008
009 i	010 a	011 al	012	013	014	015	016
017	018	019	020	021	022	023	024

閉じる

ユーザ登録
登録/変更項目を選択してください

ユーザ名: [] 所属部門: []

ユーザパスワード: [] 上限設定: []

E-Mailアドレス: []

機能制限: [] 削除: []

キャンセル OK

所属部門
ユーザの所属部門を選択してください

001 cso	002 training
---------	--------------

キャンセル OK

上限設定
【全ユーザー一括】を選択してください。全てのユーザーに設定となります

ユーザ名: 佐藤 全ユーザー一括

トータル: [] 有効: [] 無効: [] 0 1-99999999

キャンセル OK

機能制限
【全ユーザー一括】を選択してください。全てのユーザーに設定となります

ユーザ名: [] 全ユーザー一括

コピー操作	許可/否	許可/可	プリンタ印字	許可/否	許可/可
スキャン操作	許可/否	許可/可	蓄積文書操作	許可/否	許可/可
ファクス操作	許可/否	許可/可	送信機能印字	許可/否	許可/可

キャンセル OK

手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 [4 ユーザ認証／部門管理]、[2 ユーザ認証設定]、[2 ユーザ登録]を順に押します。ユーザ登録画面が表示されます。
- 3 ユーザ登録画面上の〔↓〕または〔↑〕を押して、目的のユーザ名キーを表示させ、そのキーを押して選択します。各ユーザの登録画面が表示されます。
ユーザ登録を削除する場合は、手順 **10** へ進みます。
- 4 [ユーザ名] を押して入力画面を表示させ、ユーザ名を入力して〔OK〕を押します。ユーザ名は全角ひらがな／カタカナ 32 文字、半角英数 64 文字まで設定できます。入力の方法は付録の文字入力のしかたをごらんください。
- 5 [ユーザパスワード] を押して入力画面を表示させ、パスワードを入力して〔OK〕を押します。パスワードは半角英数字 64 ケタまで設定できます。入力の方法は付録の文字入力のしかたをごらんください。

ひとこと

〔ユーザパスワード〕は、認証方式でユーザ認証が〔外部サーバ認証〕に設定されていると表示されません。

- 6 [E-mail アドレス] を押して入力画面を表示させ、E-mail アドレスを入力して〔OK〕を押します。

ひとこと

E-Mail アドレスが 116 文字以上になると、各ユーザ登録画面に〔詳細〕が表示されます。〔詳細〕を押すと E-Mail アドレス詳細画面が表示され、E-Mail アドレスを確認できます。

- 7 [所属部門] を押して所属部門画面を表示させます。
〔↓〕または〔↑〕を押して希望する所属部門名を表示させ、選択して〔OK〕を押します。



認証方式の〔ユーザ認証／部門認証の連動〕が〔連動する〕に設定されているとき、〔所属部門〕を設定することができます。



所属部門を選択する前に部門登録が必要です。部門の登録のしかたは、〔1 部門登録〕(p. 15-67) をごらんください。

- 8 [上限設定] を押します。上限設定画面が表示されます。
〔有効〕／〔無効〕のどちらかを選択します。
〔有効〕を押した場合、テンキーで上限枚数を入力します。
〔OK〕を押します。上限枚数が設定されます。

ひとこと

〔全ユーザ一括〕を押すと、現在の画面の設定が、他のユーザ登録にも反映されます。〔全ユーザ一括〕を押して〔OK〕を 2 回押すと、データ処理中のメッセージが表示され、一括処理が行われます。

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者／
本体登録

4 ユーザ認証／
部門管理

6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

第 15 章
管理者設定

- 9** 「機能制限」を押します。機能制限画面が表示されます。
それぞれの機能について、「許可する」または「許可しない」のどちらかを選択します。

ひとこと

- ユーザに許可されている機能が本機の初期設定と異なる場合、ログインの際に強制で他の機能に切替わります。切換えの優先順位は、コピー→スキャナ→ボックスです。
- どの機能も許可されていない場合は、ユーザ認証されません。

10 ユーザ登録を削除する場合

- (1) 「削除」を押します。削除確認ポップアップ画面が表示されます。
- (2) 削除する場合は「はい」、削除しない場合は「いいえ」を押します。いずれも、ユーザ登録画面にもどります。

11 設定内容を確定するため、「OK」を押します。

確定しない場合は、「キャンセル」を押します。いずれも、ユーザ登録画面にもどります。

12 「閉じる」を押します。ユーザ認証設定画面にもどります。

以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

■ 2 ユーザ認証設定 > 3 ユーザカウンタ

ユーザごとに以下の項目を確認できます。

<全プリント>

コピー、プリンタの総プリント枚数が表示されます。

トータル：総プリント枚数

上限値：ユーザ登録で設定したプリント枚数の上限設定値

大サイズ：大サイズ用紙での総プリント枚数

原稿枚数：スキャンした原稿枚数が表示されます。

用紙枚数：プリント時に使用した用紙枚数が表示されます。

<コピー>

コピーの総プリント枚数が表示されます。

トータル：総コピープリント枚数

大サイズ：大サイズ用紙での総コピープリント枚数

<プリンタ>

プリンタの総プリント枚数が表示されます。

トータル：総プリンタプリント枚数

大サイズ：大サイズ用紙での総プリンタプリント枚数

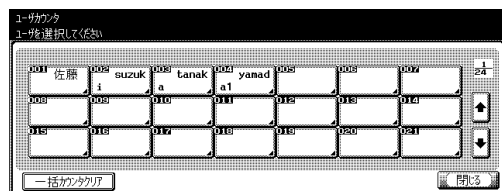
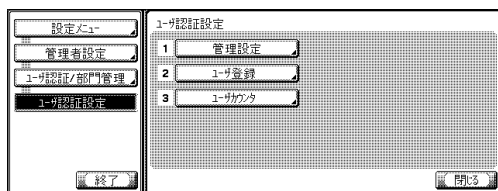
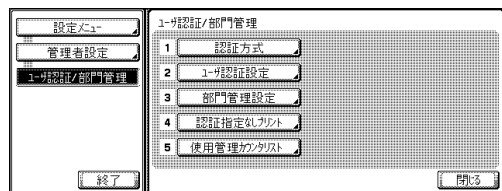
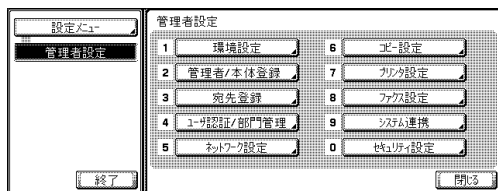
<スキャナ>

トータル：スキャナでの総読取り枚数／総プリント枚数

大サイズ：スキャナの大サイズ用紙での総読取り枚数／総プリント枚数



外部サーバ認証時のユーザカウンタは、自動的にカウント処理されません。



画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者／
本体登録

4 ユーザ認証／
部門管理

6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

第15章
設定メニュー
〈管理者設定〉

ユーザカウンタ

ユーザ名 カンタクリア

全プリント	プリント	0
コピー	トータル	0
プリンタ	上限値	0
スキャン/ファクス	大サイズ	0
	原稿枚数	0
	用紙枚数	0

閉じる

ユーザカウンタ

ユーザ名 カンタクリア

全プリント	プリント	0
コピー	トータル	0
プリンタ	大サイズ	0
スキャン/ファクス		

閉じる

ユーザカウンタ

ユーザ名 カンタクリア

全プリント	プリント	0
コピー	トータル	0
プリンタ	大サイズ	0
スキャン/ファクス		

閉じる

ユーザカウンタ

ユーザ名 カンタクリア

全プリント	読取り	プリント	0
コピー	トータル		0
プリンタ	大サイズ		0
スキャン/ファクス	ファクス送信枚数		0

閉じる

手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 [4 ユーザ認証／部門管理]、[2 ユーザ認証設定]、[3 ユーザカウンタ] を順に押します。ユーザカウンタ画面が表示されます。

詳しく説明します

ユーザカウンタ画面で表示されている〔一括カウンタクリア〕を押すと、全てのユーザのカウンタをクリアします。〔一括カウンタクリア〕を押すと、カウンタクリアの確認画面が表示されます。確認画面で〔はい〕を押すと、全てのユーザのカウンタがクリアされます。上限値はクリアされません。

- 3 目的のユーザキーを押します。各ユーザカウンタ画面が表示されます。

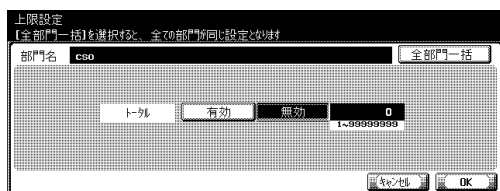
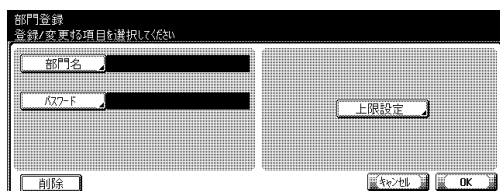
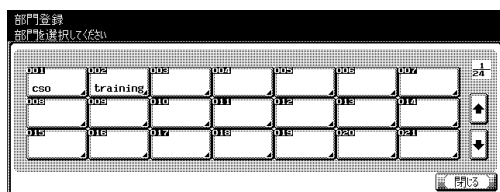
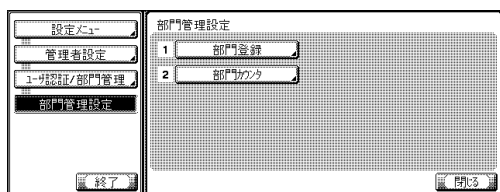
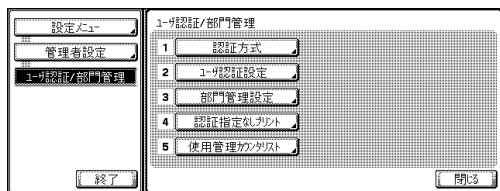
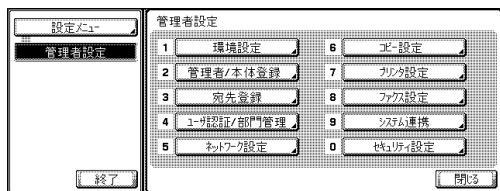
詳しく説明します

各ユーザカウンタ画面で表示されている〔カウンタクリア〕を押すと、表示しているユーザのカウンタをクリアします。〔カウンタクリア〕を押すと、カウンタクリアの確認画面が表示されます。確認画面で〔はい〕を押すと、表示しているユーザのカウンタがクリアされます。上限値はクリアされません。

- 4 確認する項目のボタンを押し、カウンタを確認します。
- 5 [閉じる] を押して、ユーザ認証設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

■ 3 部門管理設定 > 1 部門登録

本機を使用する部門ごとに、部門名、パスワード、プリント枚数の上限値を設定できます。ここでは部門管理の認証方式を〔部門名＋パスワード〕に設定した場合を例に説明します。



手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 〔4 ユーザ認証／部門管理〕、〔3 部門管理〕、〔1 部門登録〕を順に押します。部門登録画面が表示されます。
- 3 目的の部門キーを押します。各部門登録画面が表示されます。

詳しく説明します

- 本機では、ユーザ認証と部門管理は合計 100 件まで登録できます。HDD 装着時は、合計 1000 件まで登録することができます。詳細は、サービス実施店にお問い合わせください。
- 部門管理の認証方式の設定により表示される画面が異なります。
- 〔削除〕を押すと、選択中の部門情報が削除されます。

- 4〔部門名〕を押します。部門名入力画面が表示されます。
部門名を入力し（英数字 8 文字まで）、〔OK〕を押します。部門名が設定されます。

ひとこと

- 〔名称〕が表示されている場合は、部門名称を入力し、（英数字最大 20 文字、全角文字最大 10 文字）〔OK〕を押します。
- 認証方式が〔部門名 + パスワード〕に設定されている場合、同じ部門名は登録できません

- 5〔パスワード〕を押します。パスワード画面が表示されます。
パスワードを入力し（半角 8 文字まで）、〔OK〕を押します。再びパスワード画面が表示されます。

ひとこと

- セキュリティ設定／パスワード規約が〔ON〕に設定されている場合、以下のパスワードは設定できません。
 - 現在設定されているパスワードと同じパスワード
 - 同一文字によるパスワード
例：“11111111” など
 - 8 文字以下のパスワード
- 6 手順 5 で入力したパスワードを再度入力し、〔OK〕を押します。ユーザパスワードが設定されます。
- 7〔上限設定〕を押します。上限設定画面が表示されます。
〔無効〕または〔有効〕のどちらかを押します。
〔有効〕を選択した場合、テンキーで上限枚数を入力します。
〔OK〕を押します。上限枚数が設定されます。

詳しく説明します

〔全部門一括〕を押すと、現在の画面の設定が、他の部門登録にも反映されます。〔全部門一括〕を押して〔OK〕を 2 回押すとデータ処理中のメッセージが表示され、一括処理が行われます。

- 8 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、部門登録画面にもどります。
- 9〔閉じる〕を押します。部門管理設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

■ 3 部門管理設定 > 2 部門カウンタ

部門ごとに以下の項目を確認できます。

<全プリント>

コピー、プリンタの総プリント枚数が表示されます。

トータル：総プリント枚数

上限値：部門登録で設定したプリント枚数の上限設定値

大サイズ：大サイズ用紙での総プリント枚数

原稿枚数：スキャンした原稿枚数が表示されます。

用紙枚数：プリント時に使用した用紙枚数が表示されます。

<コピー>

コピーの総プリント枚数が表示されます。

トータル：総コピープリント枚数

大サイズ：大サイズ用紙での総コピープリント枚数

<プリンタ>

プリンタの総プリント枚数が表示されます。

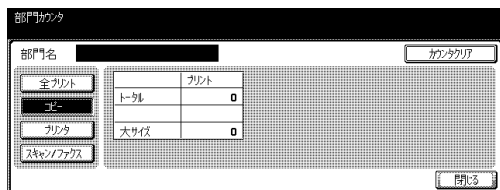
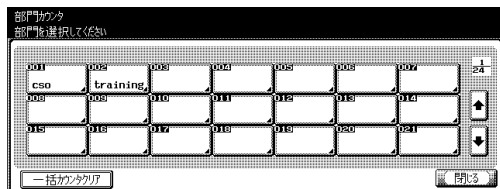
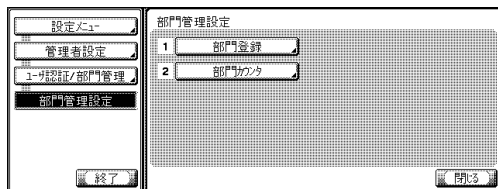
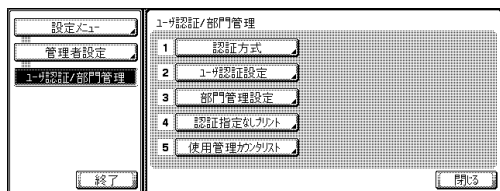
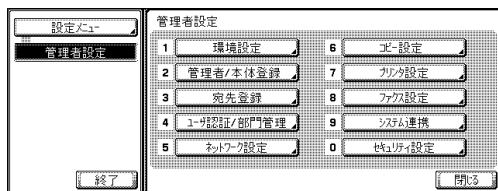
トータル：総プリンタプリント枚数

大サイズ：大サイズ用紙での総プリンタプリント枚数

<スキャナ>

トータル：スキャナでの総読取り枚数／総プリント枚数

大サイズ：スキャナの大サイズ用紙での総読取り枚数／総プリント枚数



画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者／
本体登録

4 ユーザ認証／
部門管理

6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

第15章
設定メニュー
〈管理者設定〉

4 ユーザ認証／部門管理（つづき）

部門名	ツール	プリント
		0
	ナサイズ	0

部門名	ツール	読取り	プリント
		0	0
	ナサイズ	0	0
	スキャン/ファクス	0	0

手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 [4 ユーザ認証／部門管理]、[3 部門管理]、[2 部門カウンタ] を順に押します。部門カウンタ画面が表示されます。

詳しく説明します

部門カウンタ画面で表示されている〔一括カウンタクリア〕を押すと、全ての部門のカウンタをクリアします。〔一括カウンタクリア〕を押すと、カウンタクリアの確認画面が表示されます。確認画面で〔はい〕を押すと、全ての部門のカウンタがクリアされます。上限値はクリアされません。

- 3 目的の部門キーを押します。各部門カウンタ画面が表示されます。

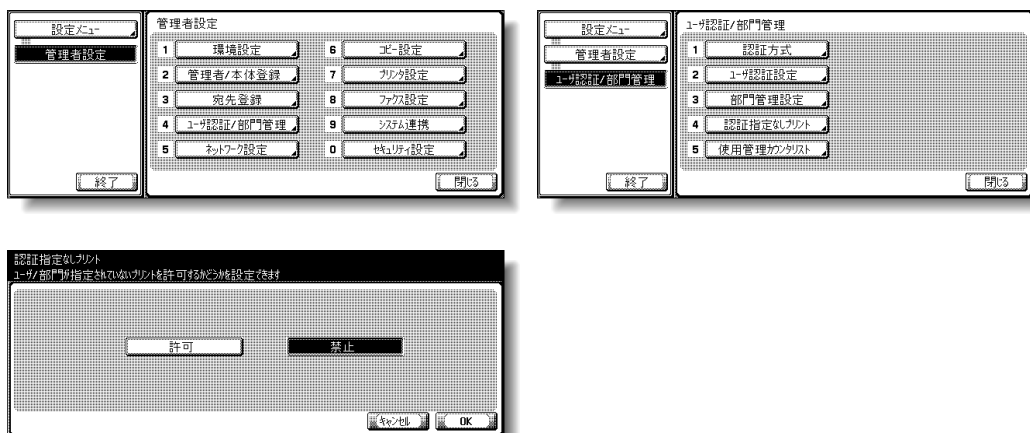
詳しく説明します

各部門カウンタ画面で表示されている〔カウンタクリア〕を押すと、表示している部門のカウンタをクリアします。〔カウンタクリア〕を押すと、カウンタクリアの確認画面が表示されます。確認画面で〔はい〕を押すと、表示しているユーザのカウンタがクリアされます。上限値はクリアされません。

- 4 確認する項目のキーを押し、カウンタを確認します。
- 5 [閉じる] を押して、部門管理設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

■ 4 認証指定なしプリント

ユーザ、部門が特定できないプリントを許可するかどうかの設定ができます。許可した場合プリント枚数は、パブリックユーザとしてカウントされます。



手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 [4 ユーザ認証／部門管理]、[4 認証指定なしプリント] を順に押します。認証指定なしプリント画面が表示されます。
- 3 認証指定なしプリント画面で、[許可] または [禁止] のどちらかを選択します。
- 4 設定内容を確認するため、[OK] を押します。
確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、ユーザ認証／部門管理画面にもどります。
以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者／
本体登録4 ユーザ認証／
部門管理

6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

第15章
設定メニュー
〈管理者設定〉

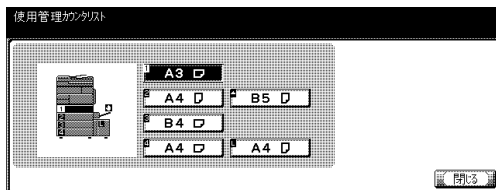
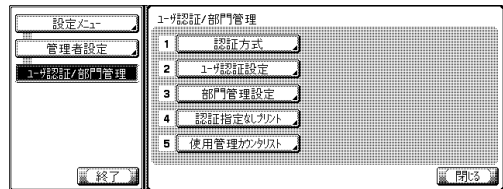
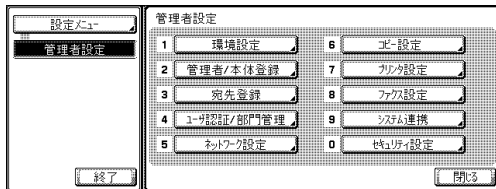
■ 5 使用管理カウンタリスト

ユーザカウンタと部門カウンタをプリントできます。



〔使用管理カウンタリスト〕は以下の場合には設定できません。

- 〔ユーザ認証〕が〔認証しない〕を選択しているとき
- 〔部門管理〕が〔管理しない〕を選択しているとき



手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 〔4 ユーザ認証／部門管理〕、〔5 使用管理カウンタリスト〕を順に押します。使用管理カウンタリスト画面が表示されます。
- 3 使用管理カウンタリスト画面で、リストを排出したいトレイを選択します。
- 4 〔閉じる〕を押します。ユーザ認証／部門管理画面にもどります。
以後の操作は、p. 15-3 をご覧ください。

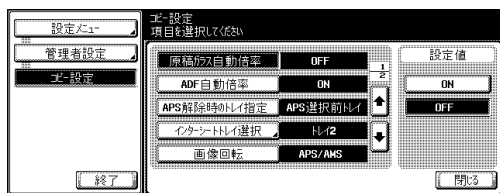
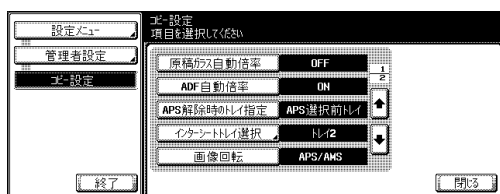
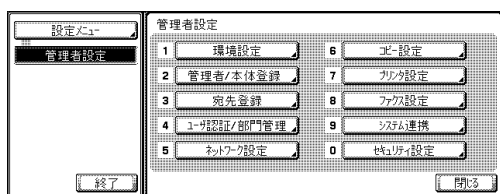
6 コピー設定

■ 原稿ガラス自動倍率（レベル 1）

原稿ガラスに原稿をセットしてコピーするとき、自動倍率選択機能を働かせるかどうかの設定をします。

ひとこと

〔原稿ガラス自動倍率〕は、管理者設定のユーザ開放レベルを〔レベル 1〕または〔レベル 2〕に設定すると、ユーザ設定画面で操作できるようになります。



手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 〔6 コピー設定〕を押します。コピー設定画面が表示されます。
- 3 コピー設定画面の〔原稿ガラス自動倍率〕を押します。画面右側に表示される「設定値」下で、〔ON〕または〔OFF〕を選択します。
- 4 〔閉じる〕を押して、管理者設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者／
本体登録

4 ユーザ認証／
部門管理

6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

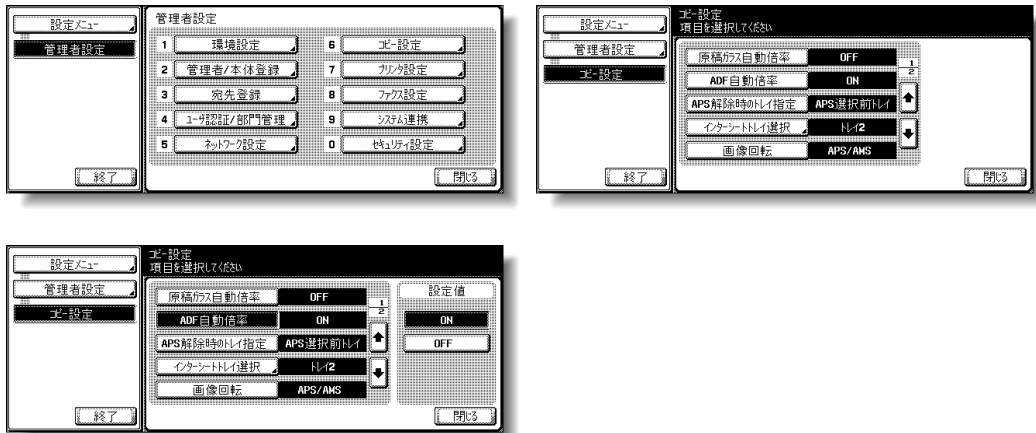
第15章
設定メニュー
〔管理者設定〕

■ ADF 自動倍率（レベル 1）

ADF に原稿をセットしてコピーするとき、自動倍率選択機能を働かせるかどうかの設定をします。

ひとこと

〔ADF 自動倍率〕は、管理者設定のユーザ開放レベルを〔レベル 1〕または〔レベル 2〕に設定すると、ユーザ設定画面で操作できるようになります。



手順

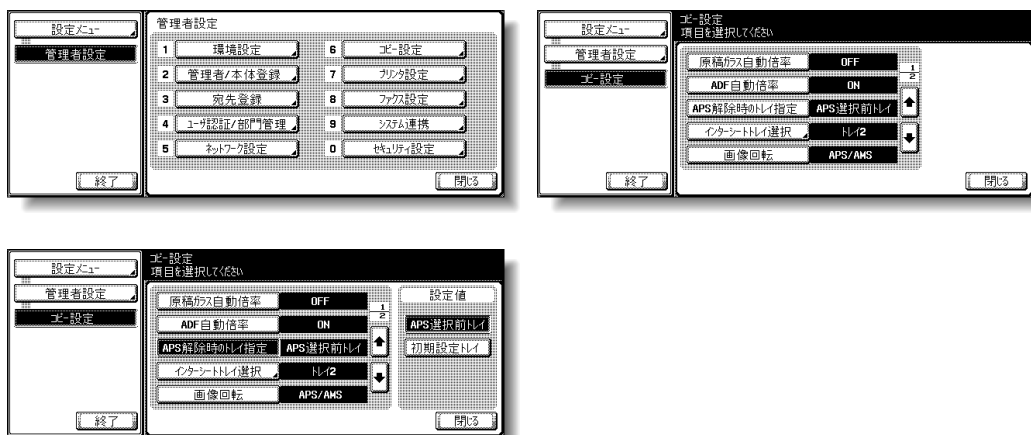
- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 〔6 コピー設定〕を押します。コピー設定画面が表示されます。
- 3 コピー設定画面の〔ADF 自動倍率〕を押します。画面右側に表示される「設定値」下で、〔ON〕または〔OFF〕を選択します。
- 4 〔閉じる〕を押して、管理者設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

■ APS 解除時のトレイ指定（レベル 1）

自動用紙選択機能（APS）が解除されたときに選択するトレイを指定します。

ひとこと

〔APS 解除時のトレイ指定〕は、管理者設定のユーザ開放レベルを〔レベル 1〕または〔レベル 2〕に設定すると、ユーザ設定画面で操作できるようになります。



手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 〔6 コピー設定〕を押します。コピー設定画面が表示されます。
- 3 コピー設定画面の〔APS 解除時のトレイ指定〕を押します。画面右側に表示される「設定値」下で、〔APS 選択前トレイ〕または〔初期設定トレイ〕を選択します。
 - ・〔APS 選択前トレイ〕を選択：APS を選択する前に設定したトレイを使用します。
 - ・〔初期設定トレイ〕を選択：出荷時設定で設定されているトレイを使用します。
- 4 〔閉じる〕を押して、管理者設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 15-3 をご覧ください。

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者／
本体登録4 ユーザ認証／
部門管理

6 コピー設定

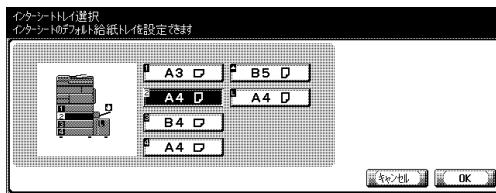
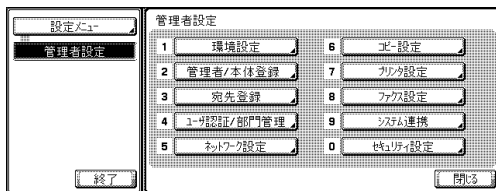
9 セキュリティ
設定

■ インターシートトレイ選択（レベル 1）

インターシートおよびカバーシート用の用紙をセットするトレイをあらかじめ設定します。

ひとこと

〔インターシートトレイ選択〕は、管理者設定のユーザ開放レベルを〔レベル 1〕または〔レベル 2〕に設定すると、ユーザ設定画面で操作できるようになります。

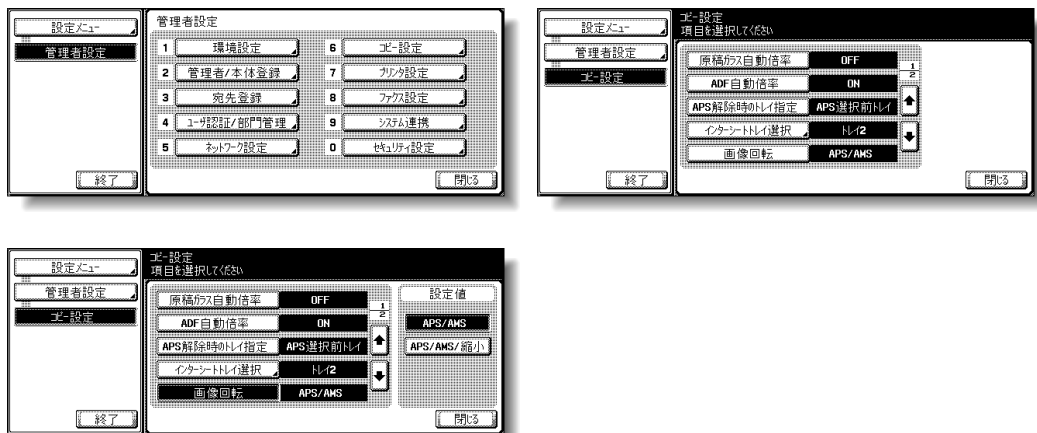


手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 〔6 コピー設定〕を押します。コピー設定画面が表示されます。
- 3 コピー設定画面の〔インターシートトレイ選択〕を押します。インターシートトレイ選択画面が表示されます。
- 4 希望するトレイを選択します。
- 5 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、コピー設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

■ 画像回転

自動画像回転機能を自動用紙（APS）や自動倍率（AMS）が働いたときのみ機能させるか、さらに縮小コピーのときも機能させるか選択します。



手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 [6 コピー設定] を押します。コピー設定画面が表示されます。
- 3 コピー設定画面の [画像回転] を押します。画面右側に表示される「設定値」下で、[APS/AMS] または [APS/AMS/ 縮小] を選択します。
- 4 [閉じる] を押して、管理者設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者／
本体登録4 ユーザー認証／
部門管理

6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

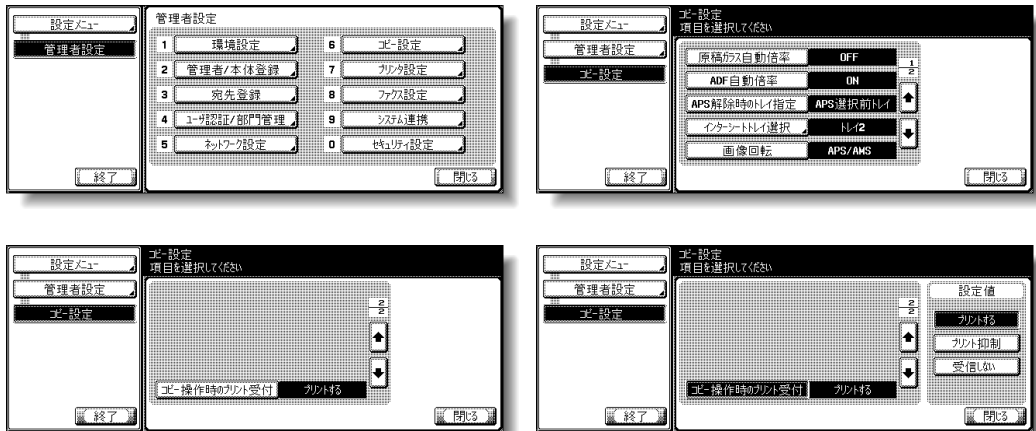
第15章
設定メニュー
管理者設定

■ コピー操作時のプリント受付（レベル 2）

コピー操作をしているときにプリントデータのプリント受付をするかしないかを設定できます。

ひとこと

〔コピー操作時のプリント受付〕は、管理者設定のユーザ開放レベルを〔レベル 2〕に設定すると、ユーザ設定画面で操作できるようになります。



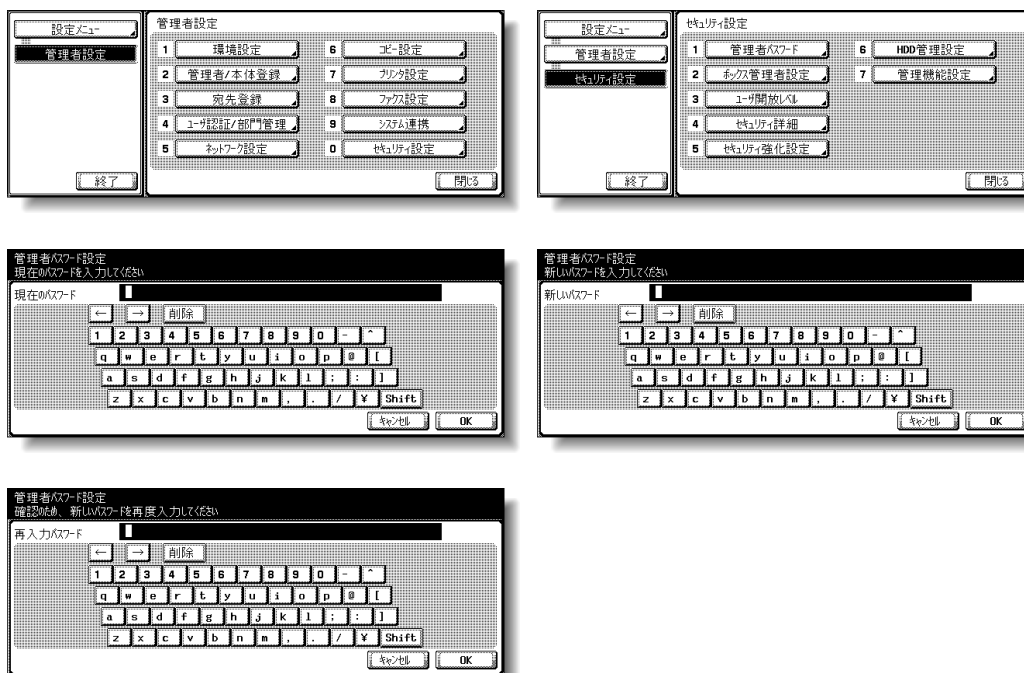
手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 〔6 コピー設定〕を押します。コピー設定画面が表示されます。
- 3 コピー設定画面の〔↓〕を押して、次の画面を表示させます。〔コピー操作時のプリント受付〕を押します。画面右側に表示される「設定値」下で、希望の設定を選択します。
 - ・〔プリントする〕を選択：プリントデータを受付け、プリントします。
 - ・〔プリント抑制〕を選択：プリントデータは、コピー操作が終わるとプリントされます。
 - ・〔受信しない〕を選択：プリントデータを受信しません。
- 4 〔閉じる〕を押して、管理者設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

9 セキュリティ設定

■ 1 管理者パスワード

管理者設定を行う場合に使用する管理者パスワードの変更ができます。



手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
 - 2 [9 セキュリティ設定]、[管理者パスワード] を順に押します。管理者パスワード設定画面が表示されます。
 - 3 現在のパスワードを入力します。
 - 管理者パスワードとして設定できるのは、8 文字の半角英数字です。
 - 半角英字は大文字と小文字の区別をします。
 - 間違ったパスワードや 8 文字未満の半角英数字を入力して [OK] を押すと、警告メッセージが表示され、5 秒間いずれのキーも機能しくなくなります。5 秒後に再度正しいパスワードを入力してください。間違った操作は監査ログに記録されます。
[OK] を押します。
 - 4 新しいパスワードを入力します。[OK] を押します。
 - 5 確認のため、新しいパスワードをもう一度入力します。新しいパスワードを確定するため、[OK] を押します。確定しない場合は [キャンセル] を押します。いずれも、セキュリティ設定画面にもどります。
- 以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者／
本体登録

4 ユーザ認証／
部門管理

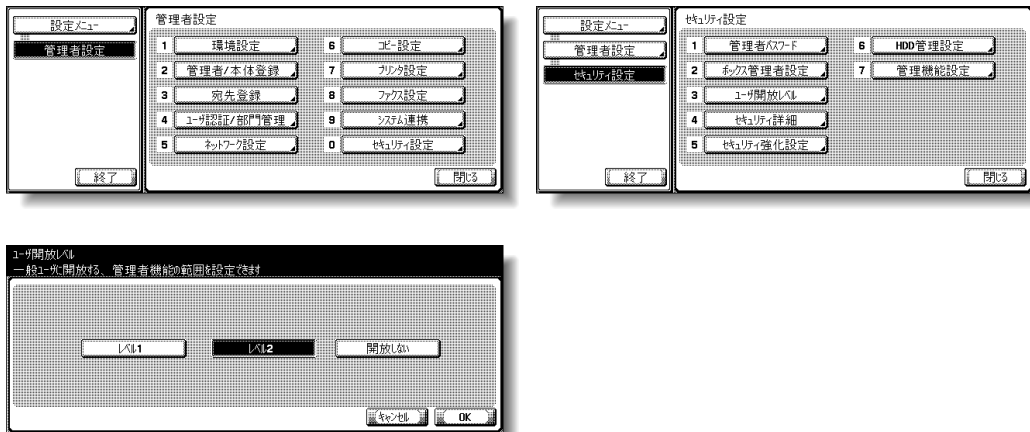
6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

第15章
設定メニュー
〈管理者設定〉

■ 3 ユーザ開放レベル

ユーザに許可する管理者機能の範囲を設定できます。



手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 [9 セキュリティ設定]、[3 ユーザ開放レベル] を順に押します。管理者パスワード設定画面が表示されます。
- 3 [レベル 1]、[レベル 2]、[開放しない] の中から、希望するレベルを選択します。
 - [レベル 1] を選択：パワーセーブ設定、原稿ガラス自動倍率、ADF 自動倍率、APS 解除時のトレイ指定、インターシートトレイ選択をユーザが設定できます。
 - [レベル 2] を選択：パワーセーブ設定、出力設定、原稿画質の濃度シフト、原稿ガラス自動倍率、ADF 自動倍率、APS 解除時のトレイ指定、インターシートトレイ選択、コピー操作時のプリント受付をユーザが設定できます。
 - [開放しない] を選択：ユーザにレベル 1、レベル 2 の設定のどちらも許可しません。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
 確定しない場合は [キャンセル] を押します。いずれも、セキュリティ設定画面にもどります。
 以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

■ 4 セキュリティ詳細

セキュリティに関する項目を設定します。

パスワード規約

パスワード規約を適用するかしないかを設定します。パスワード規約を適用すると、セキュリティを強化することができます。

認証操作禁止機能

ユーザが認証に失敗したとき、本機操作の禁止を設定できます。

モード 1

一定時間、操作ができません。

モード 2

認証失敗を繰り返すと操作パネルの操作ができません。認証失敗回数は 1 ～ 5 回まで設定できます。

パネル操作禁止になった場合は、〔操作禁止解除〕を押して、操作禁止を解除する項目を選択します。

〔ユーザ+部門〕 ユーザ認証、部門管理に対する操作

〔機密文書〕 機密文書に対する操作

〔ボックス〕 パスワード付きボックスに対する操作

〔SNMP〕 SNMPv3Write ユーザの認証に対する操作

手動宛先入力

宛先入力画面で、手動宛先入力を許可するか禁止するかを設定できます。

プリントデータキャプチャ

プリンタ機能に関する設定です。詳しくは、「IC-204 ユーザーズガイド」をごらんください。

機密文書アクセス方式

機密文書に対する操作方式を確認できます。

認証操作禁止機能が〔モード 1〕の場合、〔モード 1〕が設定されます。

〔モード 1〕：機密文書 ID とパスワードを入力し、文書を選択します。

〔モード 2〕：機密文書 ID を入力し、文書を選択したあとパスワードを入力します。

FAX 送信禁止

FAX 送信を禁止するかどうかを設定します。

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者／
本体登録

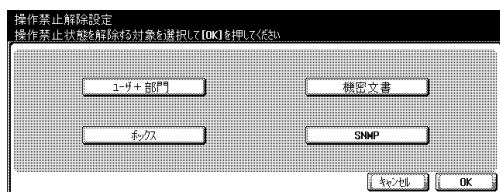
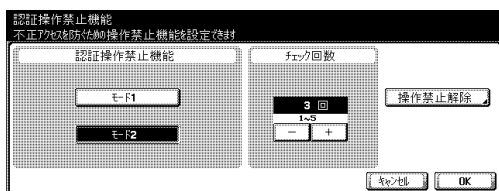
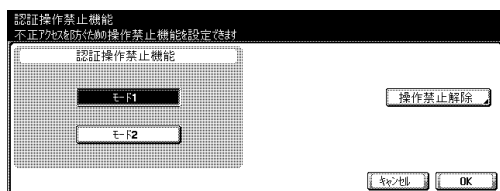
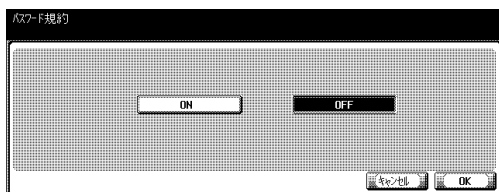
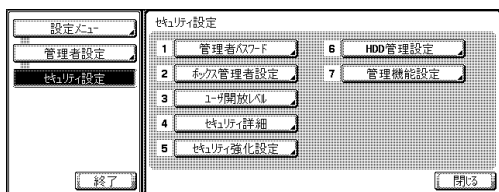
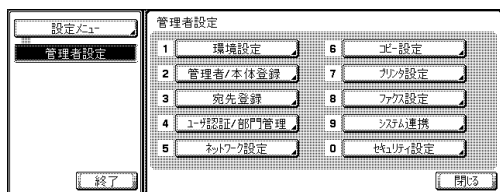
4 ユーザ認証／
部門管理

6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

第 15 章
設定メニュー
管理者設定

9 セキュリティ設定 (つづき)



手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理者設定画面を表示させます。
- 2 [9 セキュリティ設定]、[4 セキュリティ詳細] を順に押します。セキュリティ詳細画面が表示されます。
- 3 パスワード規約を適用するかしないかを設定します。パスワード規約を適用すると、セキュリティを強化することができます。
 - (1) [パスワード規約] を押してパスワード規約画面を表示させます。
 - (2) [ON] または [OFF] のどちらかを選択します。
 - (3) 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
確定しない場合は [キャンセル] を押します。いずれも、セキュリティ詳細画面にもどります。
- 4 認証操作禁止機能を設定します。
 - (1) [認証操作禁止機能] を押して認証操作禁止画面を表示させます。
 - (2) [モード 1] または [モード 2] のどちらかを選択します。
[モード 2] を選択したときはチェック回数 (1 ~ 5) を [-] [+] を押して設定します。
 - (3) [操作禁止解除] を押して操作禁止解除設定画面を表示させます。
任意の禁止解除キーを押して選択します。
 - (4) [OK] を押します。
 - (5) 設定内容を確定するため、認証操作禁止画面の [OK] を押します。
確定しない場合は [キャンセル] を押します。いずれもセキュリティ詳細画面にもどります。
- 5 宛先入力画面で、手動宛先入力を許可するか禁止するかを設定できます。
 - (1) [手動宛先入力] を押します。画面右側の「設定値」下で、[許可] または [禁止] のどちらかを選択します。
 - (2) [閉じる] を押して、セキュリティ設定画面にもどります。
- 6 [↓] を押して、[機密文書アクセス方式] を押します。
これは、認証操作禁止機能の設定と連動しています。
- 7 FAX 送信を禁止するかどうかを設定します。
[FAX 送信禁止] を押します。画面右側の「設定値」下で [ON] または [OFF] のどちらかを選択します。
- 8 [閉じる] を押して、セキュリティ設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

画面の概要

階層項目一覧

内容一覧

1 環境設定

2 管理者/
本体登録

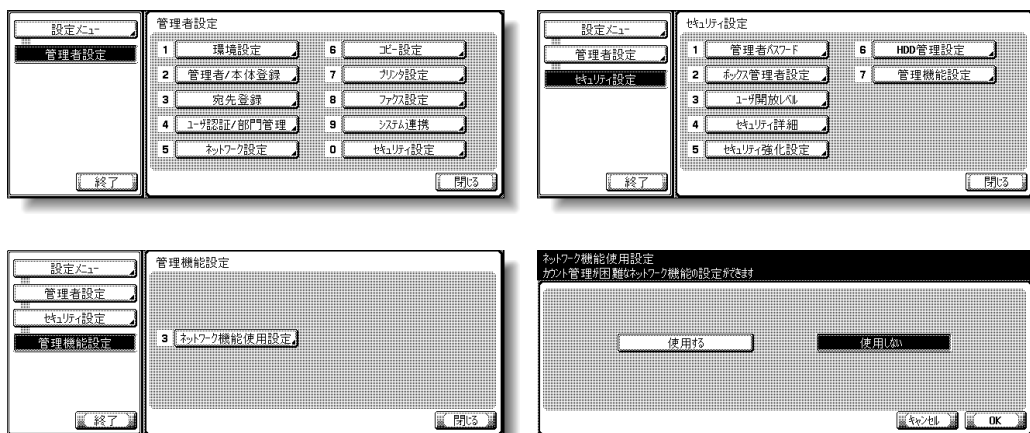
4 ユーザ認証/
部門管理

6 コピー設定

9 セキュリティ
設定

7 管理機能設定

セキュリティを強化するため、以下のネットワーク機能の使用を制限することができます。
PC FAX 送信、HDD TWAIN、PageScope Box Operator、
PageScope Scan Direct、PageScope Job Spooler



手順

- 1 p. 15-2 の操作をして、管理設定画面を表示させます。
- 2 [9 セキュリティ設定]、[7 管理機能設定]、[3 ネットワーク機能使用設定] を押して、ネットワーク機能使用設定画面を表示させます。
- 3 [使用する] または [使用しない] を選択します。
・[使用する] を選択：ネットワーク機能を使用できます。
・[使用しない] を選択：一部のネットワーク機能が使用できなくなります。
- 4 [閉じる] を押して、管理機能設定画面にもどります。
以後の操作は、p. 15-3 をごらんください。

詳しく説明します

上記ネットワーク機能の詳細については、ユーザーズガイドネットワークスキャナ機能編、ユーザーズガイドファクシミリ機能編をごらんください。

付録 (文字入力のしかた)

文字を入力するには

部門登録や不定形サイズ用の紙登録などで名前を入力するときに表示される、文字入力画面の操作について手順を説明します。数字を入力するときはテンキーから直接入力もできます。

文字入力画面には以下のような種類があります。

例

パスワード入力画面：



不定形サイズ用紙名称変更画面：



ここでは、文字入力の方法を不定形サイズ用紙名称変更画面で説明します。



ユーザ名、プログラム名、BOX名、グループ名、アドレス帳に「¥」や「～」を使用した場合、PCから参照すると文字化けをおこすことがあります。

■ 英数字を入力する

1 表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。

- 大文字、記号を入力する場合は、〔Shift〕を押します。
- 全角文字を入力する場合は、〔全角〕を押します。
- 数字はテンキーからでも入力できます。

文字ボックスに入力した文字が表示されます



- 入力した文字や数字を修正する場合は、〔←〕、〔→〕で修正する文字にカーソルを合わせ、〔削除〕押し、文字や数字を入力します。
- 入力した文字を全て取消す場合は、〔C〕（クリア）を押します。



〔キャンセル〕を押すと設定は変更されません。

■ ひらがなを入力する

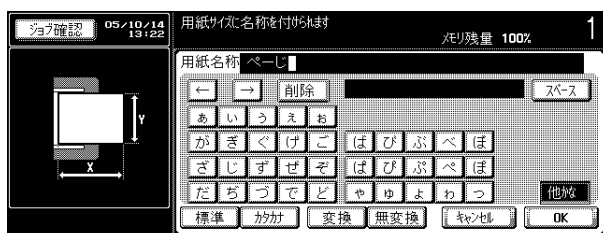
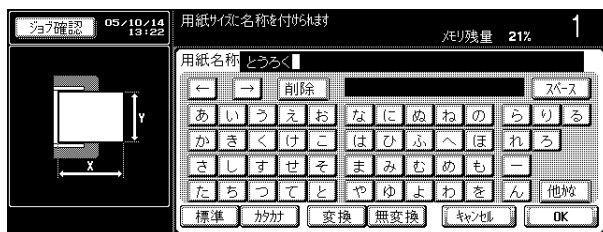
1 **〔日本語〕** を押します。

詳しく説明します

2 表示されている 50 音表から、入力する文字のキーを押します。

- 濁音（「がぎぐげご」など）や半濁音（「ぱぴぷぺぽ」）、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力したいときは、〔他かな〕を押します。

- 入力した文字や数字を修正する場合は、〔←〕、〔→〕で修正する文字にカーソルを合わせ、〔削除〕押し、文字や数字を入力します。
- 入力した文字を全て取消す場合は、〔C〕（クリア）を押します。



3 **〔無変換〕** を押します。

文字ボックスに入力した文字が表示されます。



〔キャンセル〕を押すと設定は変更されません。

■ カタカナを入力する

- 1 「日本語」を押します。
- 2 「カタカナ」を押します。
- 3 表示されている 50 音表から、入力する文字のキーを押します。

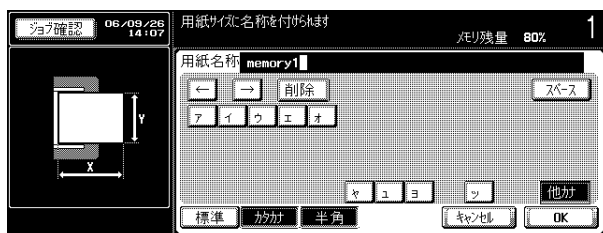
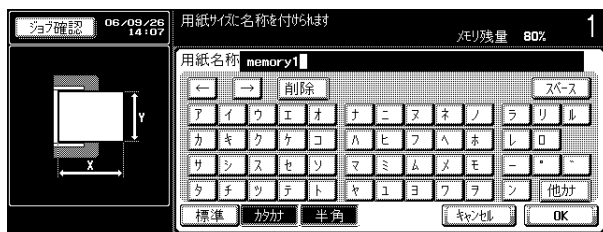
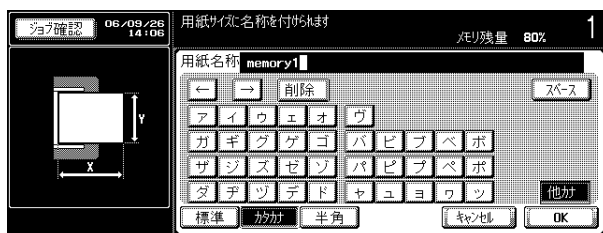
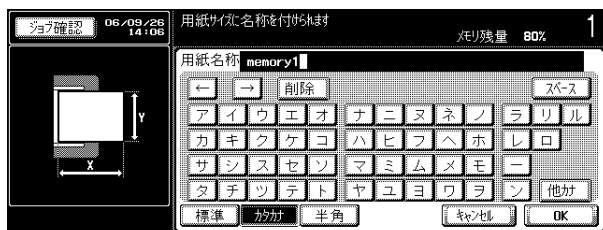
- 濁音（「ガギグゲゴ」など）や半濁音（「パピプペポ」）、拗音（「キャキュキョ」など）を入力したいときは、「他カナ」を押します。
 - 半角文字を入力する場合は、「半角」を押します。
- 文字ボックスに入力した文字が表示されます。

詳しく説明します

- 入力した文字や数字を修正する場合は、「←」、「→」で修正する文字にカーソルを合わせ、「削除」を押し、文字や数字を入力します。
- 入力した文字を全て取消す場合は、「【C】（クリア）」を押します。



「キャンセル」を押すと設定は変更されません。



■ 漢字を入力する

1 「日本語」を押します。

2 表示されている 50 音表から、入力する文字のキーを押します。

- 濁音（「がぎぐげご」など）や半濁音（「ぱぴぷぺぽ」）、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力したいときは、「他かな」を押します。



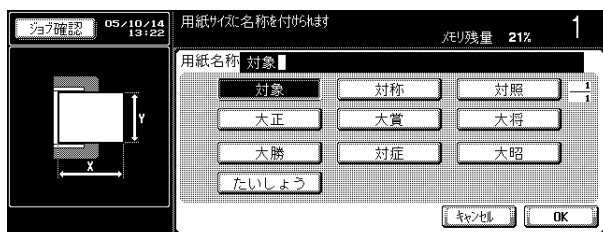
詳しく説明します

- 入力した文字や数字を修正する場合は、「←」、「→」で修正する文字にカーソルを合わせ、「削除」を押し、文字や数字を入力します。
- 入力した文字を全て取消す場合は、「【C】（クリア）」を押します。

3 「変換」を押します。

変換候補選択画面が表示されます。

4 表示された候補の中から入力したい漢字のボタンを押します。



詳しく説明します

- 熟語単位で変換できます。
- 入力した文字が、変換の対象になります。
- 変換を中止するときは、「キャンセル」を押します。
- 候補が 12 個以上ある場合に、 または のボタンが現れます。 を押すと前候補が表示されます。 を押すと次候補が表示されます。

参照

5 「OK」を押します。

文字ボックスに確定した文字が表示されます。

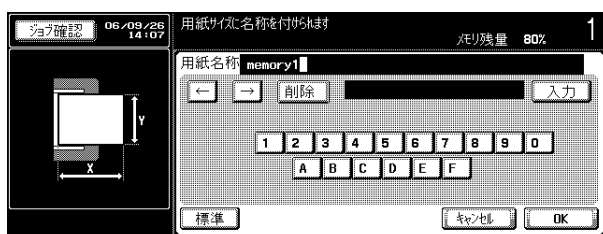
「キャンセル」を押すと設定は変更されません。

■ 文字コードで入力する

16 進数（1 ～ 0、A ～ F の組合わせ）の文字コードで、文字や記号を入力します。

1 [文字コード入力] を押します。

2 表示されているキーボードから、文字コードを入力し、[入力] を押します。



文字コードにしたがって、文字ボックスに文字が表示されます。

詳しく説明します

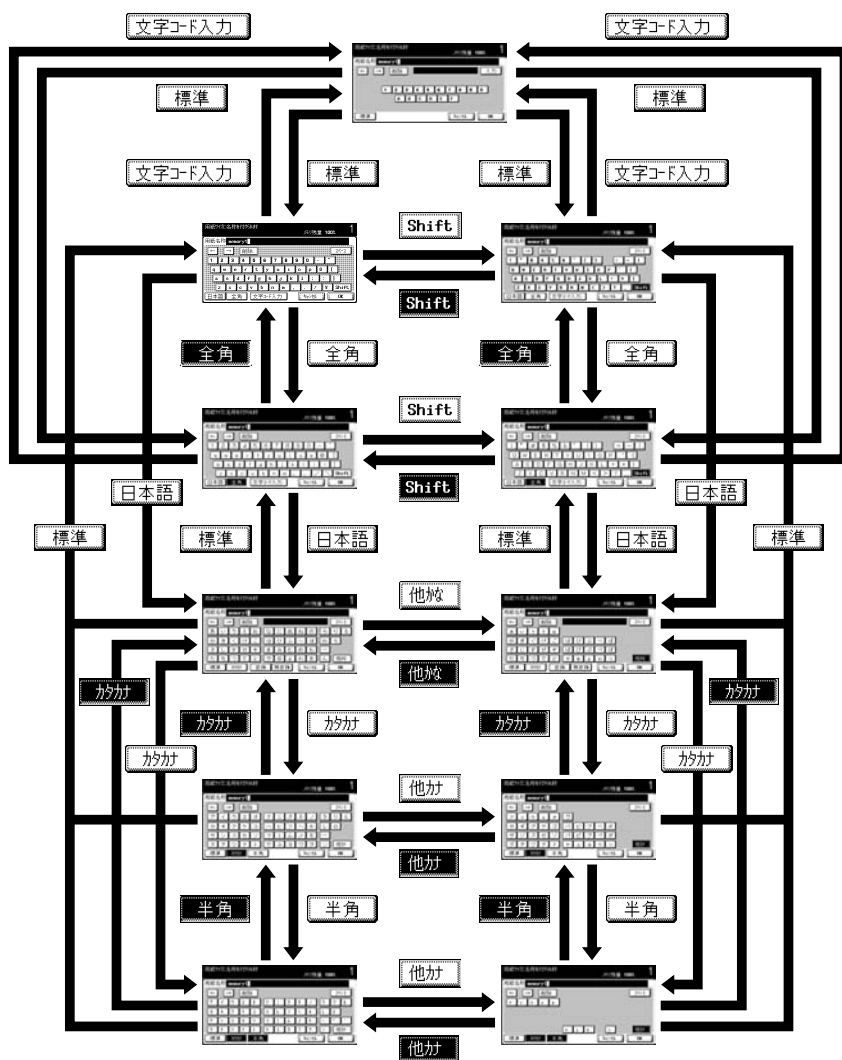
- 入力した文字や数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- 入力した文字を全て取消す場合は、[C]（クリア）を押します。
- 設定する項目によって、使用できない文字コードがあります。

ひとこと

[キャンセル] を押すと設定は変更されません。

入力文字一覧

入力画面



ひらがな	あいうえおかきくけこさしすせそたちつてとなにぬねのはひふへほまみむめもやゆよりるれるわをんがぎくげござじずぜぞだちづでとばびぶべぼ あいうえおやゆよわっ —
カタカナ（全角）	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワランガギグゲゴザジズゼゾヂヅデドバビブベボ アイウエオヤユヨワッ —
カタカナ（半角）	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワッ アイウエオヤユヨッ -°°
英数字／記号 （全角）	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz [] () ! " # \$ % & ' () + , - . / \ : ; < = > ? @ [] ^ _ ` { } ~ * 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
英数字／記号	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz [] () ! " # \$ % & ' () + , - . / ¥ : ; < = > ? @ [] ^ _ ` { } ~ * 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8690	‘ ’
86A0	
86B0	
86C0	
86D0	
86E0	
86F0	
8740	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮
8750	⑰ ⑱ ⑲ Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ X ヰ
8760	㊦ ㊧ ㊨ ト ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶
8780	cm km mg kg cc m ^l 職
8790	㊿ Na KK Te ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾
87A0	≡ ∫ ∫ Σ √ ⊥ ∠ ∟ ∴ ∩ U
87B0	
87C0	
87D0	
87E0	
87F0	
8840	
8850	
8860	
8870	
8880	
8890	

	0123456789 ABCDEF
88A0	嘩娃阿哀愛埃埃達榮莠穠惡渥旭羣
88B0	芦鰲梓庠鈐拔宛姐鮎鉤綾鮫或粟裕
88C0	安庵按暗案闇鞍杏以伊位依偉困夷委
88D0	威尉惟意慰易椅為畏異移維緯胄萎衣
88E0	謂違邁医井亥域育郁磯一沓溢逸稻茨
88F0	芋齏允印咽員因姻引飲淫胤蔭
8940	院陰隱韻時右宇烏羽迂雨卯鵲窺丑確
8950	臼渦墟唄嶺蔚鱧姥厥浦瓜閤樽云蓮雲
8960	往餌馥營嬰影映曳宋永泳洩瑛盈穎穎
8970	爰衛詠銳液疫益駢悅謁越閱樓厭厭門
8980	園堰奄宴延怨掩援沿演炎焰煙燕猿緣
8990	艷苑藺遠鉛鴛鴦於汚甥凹央奧往応押
89A0	旺橫欧歐王翁襖嵩鴛鴦岡冲茨億屋憶
89B0	臆桶壯乙俺卸恩溫穩音下化飯何伽伽
89C0	佳加可嘉宴嫁家寡科暇果架歌河火珂
89D0	禍禾稼箇花苛茆荷華菓蝦課嘩貨迦過
89E0	霞蚊俄俄我牙齒臥芽蛾贅雅蛾駕介会
89F0	解回塊塊迴快怪侮恢懷戒拐拐
8A40	魁晦械海灰界給芥蟹開階貝凱劬外
8A50	咳害崖慨涯涓蓋街該鎔駭淫聲蛙垣
8A60	柿舫鈎劃嚇各廓拓攪格核殺獲確穫覺

	0123456789 ABCDEF
8A70	角赫較郭闊隔隔罕学岳榮額顛掛笠檉
8A80	櫛梃嗽瀉割喝恰括活渴滑葛褐轄且鯉
8A90	叶柈樺鞞株兜毫蒲釜鎌噉鴨栢茅蜩粥
8AA0	刈刈瓦乾侃冠寒刊勸勸卷喚堪姦完官
8AB0	寬干幹患惑憤懣換敗柑恒棺款歡汗漢
8AC0	澗漚環甘監看竿管簡緩伍翰肝艦莞觀
8AD0	諫賈選鑑間閑閑閑韓館舘九倉岸巖玩
8AE0	癌眼岩翫鷹雁頑顏願企伎危喜器基奇
8AF0	嬭奇岐希幾忌揮机旗既期棋巢
8B40	機帛毅氣汽畿祈季稀紀微規記貴起軌
8B50	輝飢騎鬼龜倚儀妓宜戲技擬欺犧疑祗
8B60	義蟻誼議掬菊鞠吉吃喫格話話砧杵黍
8B70	却客腳虐逆丘久仇休及吸弓弓急救
8B80	朽求汲汲灸灸求窮發級糾糾給旧牛去居
8B90	巨拒拋拳渠虛許鉅鉅漁禦魚亨享京供
8BA0	俠僑兇競共凶協匡卿叫喬嶠峽強疆怯
8BB0	恐恭挾教矯況狹狹矯胸脣脣與齧鄉鏡響
8BC0	實驚仰凝堯晚業局曲極玉桐杆僅動均
8BD0	巾錦斤欣欽琴葵葵筋筋芹簪矜襟謹近
8BE0	金吟銀九俱勾区勾玖矩苦鉅駁駁鉤具
8BF0	患虞喰空偶寓遇隅串櫛釧屑屈

	0123456789 ABCDEF
8C40	掘窟沓靴轡窪熊隈采桑繰繰黠君薰
8C50	訓群軍郡卦袞祁係傾刑兄啓圭珪型契
8C60	形徑患慶慧懇携携敬景桂溪畦稽系經
8C70	繼繫繫莖荊蚩計詣暨輕頸鷄芸迎鯨
8C80	劇戟擊擊激際術傑欠決潔穴結血訣月件
8C90	俟倦健兼券劒囑囑堅慙建慙慙拳捲換
8CA0	權率犬猷研硯絹泉肩肩謙賢軒遣鍵險
8CB0	顛駭餘元原獻幻弦減源玄現絃絃言諺
8CC0	限乎個古呼固姑孤己庫弧戶故枯湖狐
8CD0	糊袴股胡孤虎誇誇鉗雇顧鼓五互伍午
8CE0	吳吾娛後御悟梧橘橘葛語謨護醜乞鯉
8CF0	交倏侯候倏倏光公功勾勾厚口向
8D40	后喉坑坑好孔孝宏工巧巷幸広庚康弘
8D50	恒慌抗拘控控昂晃更抗校梗構江洪浩
8D60	港溝甲皇使槁槁紅紘絞綱耕耆肯肱腔
8D70	膏航荒行衡講貢購郊酵鉦鉦鋼閣閣降
8D80	頂香高鴻剛劬号合壕拷濠豪轟趨克刻
8D90	告国穀酷鵠黑獄混混腰醜忽惚骨狛込此
8DA0	頃今困坤壘婚恨懇昏昆根棍混混痕根良

	0123456789 ABCDEF
8DB0	魂些佐又唆嵯左差查沙娑砂詐鎖娑坐
8DC0	座挫債催催再最哉妻宰彩才採裁歲濟
8DD0	災采犀碎碎些祭齋細菜裁載際際在材罪
8DE0	財財坂坂堺堺榊着咲崎崎崎驚作削咋搾
8DF0	昨朔柵柵窄策索錯校銑銑匙匙冊冊刷
8E40	察娑攝擦札殺薩雜韋鯖捌銷鋤血晒三
8E50	傘參山慘撒散棧燦珊筭算壘壘讚贊酸
8E60	贅斬暫殘仕仔何使刺司史嗣四士始姉
8E70	姿子屍市師志思指支攷斯施旨枝止
8E80	死氏獅祉私糸紙紫肢脂至視詞詩試誌
8E90	詔資賜雌飼飼幽事似侍兒字寺慈持時次
8EA0	滋治爾靈痔磁示而耳自疇辟汐鹿式識
8EB0	鷓竺軸穴零七叱執失嫉室悉惡漆疾質
8EC0	寒部篠僊柴芝麼蕊綽給寫射捨赦料煮
8ED0	社紗者謝車遮蛇那借勺勺杓灼蔚的枳
8EE0	錫若寂弱惹主取守手朱殊玆珠種腫趣
8EF0	酒首儒受呪寿授樹綬需囚収周
8F40	宗就州修愁拾洲秀秋終繡習臬丹冤衆
8F50	襲襲蹴輯輯週酉酬集醜什住充十從戎衆

	0123456789ABCDEF
8F60	汁洪獸縱重銃叔夙宿淑祝縮肅塾熟出
8F70	術述俊峻呑瞬竣舜駿准循旬楯殉淳
8F80	準潤盾純巡遵醇順処初所暑曙渚庶緒
8F90	署書蓄諸諸助叙女序徐恕鋤除傷償勝
8FA0	匠升召哨商唱嘗獎妾娼宵將小小尚庄
8FB0	床廠彰承抄招掌捷昇昌昭晶松梢樺樵
8FC0	沼消涉湘燒焦照症省硝礁祥称章笑粧
8FD0	紹肖嘗苒蕉蕉衝訟証詔詳象賞鑒鉦鍾
8FE0	鐘障鞘上丈丞棄冗刺刺城場壤壤常情擾
8FF0	条杖淨状豐根蕨讓讓錠嶮埡埡師
9040	拭植殖獨纖纖色蝕食蝕辱尻伸信侵唇
9050	娠覆審心慎振新晉森棲浸深申疹真神
9060	秦紳臣苾薪親診身進針震人仁刃塵
9070	王尋甚尽腎訊迅陣鞆筭譚酢厨厨
9080	逗吹垂帥推水炊睡粹翠衰遂醉錘錘隨
9090	瑞髓崇嵩数枢趨難据杉梠菅頤雀裾澄
90A0	摺寸世瀨欽是凄制勢姓征性成政整星
90B0	晴棲栖止清性生盛精聖声製西誠誓請
90C0	逝醒青静斉祝脫隻席席戚斥昔析石積
90D0	籍績脊責赤跡蹟切切拙接撰折設窃窃
90E0	說雪絶舌蟬仙先千占宣專尖川戰扇撰

	0123456789ABCDEF
90F0	栓柁泉洗浅染潜煎煽旋穿箭線
9140	纖羨腺舛船薦詮踐踐選選銑銑閃鮮前
9150	善漸然全禪繕膳榧嚙望咀措曾曾楚狙
9160	疏疎礎租租粕素組蘇訴阻遡鼠僧創双
9170	叢倉喪辻奏爽宋屬匠忽想搜掃掃搔
9180	操早曹巢檣檣漕燥争瘦相怒糟縱綜聰
9190	草莊莽蒼藻裝走走遭鎗鎗騷傢增憎臍
91A0	蔵贈造促側則即息捉束測速速俗属賊
91B0	族統卒袖具揃存孫尊損村遜他多太汰
91C0	訖唾墮妥情打舵舵侖舵駄驢体堆対耐
91D0	岱帶待怠態戴萆泰滯胎腿苔袋貸退逮
91E0	隊黛鯛代台大第醍題鷹淹瀧卓啄毛托
91F0	挾拓沢濯琢託鐸濁諾苧夙銷只
9240	叩但達辰奪脫異堅辻棚台狸懸樽誰丹
9250	半嘆坦担探旦歎淡湍炭短端端綻耽耽
9260	蛋誕鍛団蠟彈斷暖檀段男談疸知地弛
9270	恥智池砲稚置致姦運馳築蓄竹筑蓄
9280	逐株壑茶摘着中仲由忠抽昼柱注虫衷
9290	註酎鑄駐滯潞孖孖着貯丁兆涸喋囃帖
92A0	帳庁帛張彫徵徵挑朝朝潮潮睪眈眈聴脹
92B0	腸蝶調譟超跳眺眺長頂烏勦抄拙肢沈珍

	0123456789ABCDEF
92C0	賃鎮陳津墜椎椎追鉅通塚柁榘榘佃
92D0	漬柁辻鳶綴鐙椿溝坪壘嬌絢爪吊釣鶴
92E0	亭低停俦剝貞呈堤定帝底庭廷弟悌抵
92F0	挺提梯汀碇禎程締緹訂諦諦通
9340	邸鄭釘鼎泥摘擢敵滴的笛適鐫溺哲徹
9350	撒轍迭鉄典填天展店添繕甜貼軫顛点
9360	伝殿殿田電兎吐堵塗姑屠徒斗杜渡登
9370	菟賭途都鍛砥砥努度士奴怒倒党冬
9380	凍刀唐塔塘套套島嶋悼投搭束桃栲棟
9390	盜淘湯涛灯燈当痘袴等答筒糖統到董
93A0	蕩藤討騰豆踏逃透透陶頭騰騰働動同
93B0	堂導懂撞洞瞳董胸萄萄銅峠鴉匿得德
93C0	洩特督禿篤毒独読読柺柺凸突椽居薦苾
93D0	夷西潑噸屯倅敦沌豚遁頓吞墨鈍奈那
93E0	内乍風難謎灘捺鍋慥馴纒礙南楠軟難
93F0	汝二尼式迺匂脈肉虹廿日乳入
9440	如尿菲任妊忍認濡濡祢祢寧葱猫熟年念
9450	捻撚燃粘乃迺之焚糞惱濃納能腦膿農
9460	視蚤巴把播霸把波派甚破婆黑芭馬俳
9470	魔拜排敗杯盃牌背肺輩配倍培媒媒
9480	煤煤猥賈壳賂陪這蠅秤矧秋臼剝博拍

	0123456789ABCDEF
9490	柏泊白箔粕船薄泊曝曝爆縛莫駭麥函
94A0	箱谿箸箸箸檣檣肌畑畠八鉢泐癢醜髮
94B0	伐罰拔伐閱鳩斷鳩蛤隼伴判半反叛帆
94C0	搬斑板汎汎版犯班畔繁般藩版範采煩
94D0	頒飯飯挽挽番盤番盤匪匪卑卑否妃庇彼悲
94E0	扉批披披斐比泌疲皮碑秘緋罷肥被俳費
94F0	避非飛樋樋備尾尾枇毘毘眉美
9540	鼻柁稗匹匹髭髭膝萎肘粥比畢筆逼衿
9550	姫媛紐百繆係彪標水漂瓢票表評豹廟
9560	描病秒苗鉤鉤蒜蒜鱸品彬斌浜瀕貧賁
9570	頻敏瓶不付埠夫婦富富布府佈扶敷
9580	芹菩浮父符腐膚膚膚語賦赴阜附侮撫
9590	武舞葡葡部封楓風薑薑伏副復幅服福
95A0	腹複覆淵弗舛舛佛仏分吻吻墳憤扮
95B0	焚奮粉糞粉雰文聞内併兵屏屏平弊柄
95C0	並蔽閉陛米貞僻壁癖碧別營莢筥偏莖
95D0	片篇編辺返遍便勉婉弁鞭保舖鋪圃捕
95E0	步甫補輔穗募募募募戊暮母簿菩倣倣包
95F0	呆報奉宝峰峯崩崩抱捧放方朋
9640	法泡烹飽縫飽芳萌蓬蜂囊訪訪邦鋒鋒
9650	鳳鵬之亡傍剖妨妨帽忘忙房暴望某棒

	0123456789 ABCDEF
9660	冒紡肪膨謀貌貿鉞防吠類北僕ト墨撲
9670	朴牧睦穆鈎勃沒殆堀規奔本翻凡盆
9680	摩磨魔麻埋妹昧枚每哩模幕膜枕鮪枉
9690	鱗櫛亦僕又抹末沫迄尽磨磨万慢滿漫
96A0	曼昧未魅已貫岬密蜜湊湊捻妙耗民
96B0	眠務夢無年矛霧鵲棕嬌娘冥名命明盟
96C0	迷銘鳴姪牝滅免棉綿緬面麵模模茂妄
96D0	孟毛猛盲網耗蒙儲木默目奎勿餅尤戾
96E0	粉賁問悶紋門勿也夜夜爺耶野弥矢厄
96F0	役約萊訊躍靖柳莖鏹偷愈油癒
9740	諭輸唯佑優勇友有幽悠憂損有柚湧涌
9750	猶猷由祐裕誘遊邑郵雄融夕予余与誉
9760	與預傭幼妖容傭揚搖擁曜楊樣洋溶溶
9770	用蕤羊耀葉蓉要謡踊運陽養慾抑欲
9780	沃浴翌翼淀羅蠟裸來萊賴雷洛絡落酪
9790	乱卵嵐欄濫藍蘭覽吏履李梨理瑤痢
97A0	裏裡里離陸律率立律掠略劉流溜琉留
97B0	疏粒隆龜龍呂慮旅虜了亮僚兩凌寮料
97C0	梁涼獠療瞭稜糧良詠遑量隴頤力綠倫
97D0	厘林淋淋臨臨臨臨臨臨臨臨臨臨
97E0	伶例冷勵頤伶玲礼苓鈴隸零靈麗齡曆

	0123456789 ABCDEF
97F0	歷列劣烈裂廉戀憐漣煉煉練聯
9840	蓮連鍊呂魯櫓爐路露劣婁郎弄朗樓
9850	榔浪漏牢狼毫老駭蠅郎六麓祿肋錄論
9860	倭和詒至賄脇惑忤驚互巨鰐託藁藁惋
9870	灣碗腕
9880	
9890	弋
98A0	巧丕个卅、井ノ又乖乖亂」豫事舒式
98B0	于亞亞一亢京毫量从仍仄仆仍仗仍仍
98C0	仟价伉佚估佛佗佗佗佗佗佗佗佗佗佗
98D0	侑佻來侖僦僦俟俟俟俟俟俟俟俟俟俟
98E0	倨倨倪倨倨倨倨倨倨倨倨倨倨倨倨倨
98F0	會偕僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂
9940	僉僉僉僉僉僉僉僉僉僉僉僉僉僉僉僉
9950	僉僉僉僉僉僉僉僉僉僉僉僉僉僉僉僉
9960	兪台龔門同册内岡膏萬冕一冤冠冢冢
9970	冢冢冢冢冢冢冢冢冢冢冢冢冢冢冢冢
9980	凰口凰口刊刊刊刊刊刊刊刊刊刊刊刊
9990	劦劦劦劦劦劦劦劦劦劦劦劦劦劦劦劦
99A0	劦劦劦劦劦劦劦劦劦劦劦劦劦劦劦劦
99B0	勿勿勿勿勿勿勿勿勿勿勿勿勿勿勿勿

	0123456789 ABCDEF
99C0	廿卉卂準卂口后郊卻卷厂彪厖厖厖厖
99D0	厖厖厖厖厖厖厖厖厖厖厖厖厖厖厖厖
99E0	厖厖厖厖厖厖厖厖厖厖厖厖厖厖厖厖
99F0	咀嗽咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄
9A40	咫晒咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄
9A50	哇啣咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄
9A60	芭啣啣啣啣啣啣啣啣啣啣啣啣啣啣
9A70	嘖嘖嘖嘖嘖嘖嘖嘖嘖嘖嘖嘖嘖嘖嘖嘖
9A80	噫噫噫噫噫噫噫噫噫噫噫噫噫噫噫噫
9A90	囁囁囁囁囁囁囁囁囁囁囁囁囁囁囁囁囁
9AA0	國圍圍圍圍圍圍圍圍圍圍圍圍圍圍圍
9AB0	空坡埤埤埤埤埤埤埤埤埤埤埤埤埤埤
9AC0	坵埤埤埤埤埤埤埤埤埤埤埤埤埤埤埤
9AD0	墟墟墟墟墟墟墟墟墟墟墟墟墟墟墟墟墟
9AE0	壘壘壘壘壘壘壘壘壘壘壘壘壘壘壘壘
9AF0	夸夾奇奕奕奎奚奕奕奕奕奕奕奕奕
9B40	姪姪姪姪姪姪姪姪姪姪姪姪姪姪姪姪
9B50	娜娉娉娉娉娉娉娉娉娉娉娉娉娉娉娉
9B60	娉娉娉娉娉娉娉娉娉娉娉娉娉娉娉娉
9B70	娉娉娉娉娉娉娉娉娉娉娉娉娉娉娉娉
9B80	它宦宸寇寇奎寔寔寔寔寔寔寔寔寔寔

	0123456789 ABCDEF
9B90	寔寔寔寔寔寔寔寔寔寔寔寔寔寔寔寔
9BA0	屏屏屏屏屏屏屏屏屏屏屏屏屏屏屏屏
9BB0	岬岬岬岬岬岬岬岬岬岬岬岬岬岬岬岬
9BC0	崑崑崑崑崑崑崑崑崑崑崑崑崑崑崑崑
9BD0	嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠
9BE0	厝厝厝厝厝厝厝厝厝厝厝厝厝厝厝
9BF0	幣幣幣幣幣幣幣幣幣幣幣幣幣幣幣幣
9C40	廖廖廖廖廖廖廖廖廖廖廖廖廖廖廖廖
9C50	弃弃弃弃弃弃弃弃弃弃弃弃弃弃弃弃
9C60	冢冢冢冢冢冢冢冢冢冢冢冢冢冢冢冢
9C70	徘徊徘徊徘徊徘徊徘徊徘徊徘徊徘徊
9C80	怙怙怙怙怙怙怙怙怙怙怙怙怙怙怙怙
9C90	恹恹恹恹恹恹恹恹恹恹恹恹恹恹恹恹
9CA0	悛悛悛悛悛悛悛悛悛悛悛悛悛悛悛悛
9CB0	愠愠愠愠愠愠愠愠愠愠愠愠愠愠愠
9CC0	愠愠愠愠愠愠愠愠愠愠愠愠愠愠愠
9CD0	愠愠愠愠愠愠愠愠愠愠愠愠愠愠愠
9CE0	憫憫憫憫憫憫憫憫憫憫憫憫憫憫憫憫
9CF0	憫憫憫憫憫憫憫憫憫憫憫憫憫憫憫憫
9D40	憂憂憂憂憂憂憂憂憂憂憂憂憂憂憂憂
9D50	抉抉抉抉抉抉抉抉抉抉抉抉抉抉抉抉

[illegible][illegible]

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
E0C0	猪狼狡狷猾倏倏猾狷猾狷倏猾狷猾猾猾
E0D0	獐獐默獐獐獐獐默獐獐獐獐獐獐獐獐獐
E0E0	玕珥珥珥琅琅琅玕玕玕玕玕玕玕玕玕玕
E0F0	瑛瑛珙瑛瑛瑛瑛瑛瑛瑛瑛瑛瑛瑛瑛
E140	觚觚肚肚釜釜跂跂跂跂跂跂跂跂跂跂跂
E150	蹇蹇蹇蹇蹇蹇蹇蹇蹇蹇蹇蹇蹇蹇蹇蹇蹇
E160	晝晝晝晝晝晝晝晝晝晝晝晝晝晝晝晝晝
E170	疳疳疳疳疳疳疳疳疳疳疳疳疳疳疳疳
E180	痼痼痼痼痼痼痼痼痼痼痼痼痼痼痼痼痼
E190	癰癰癰癰癰癰癰癰癰癰癰癰癰癰癰癰癰
E1A0	癘癘癘癘癘癘癘癘癘癘癘癘癘癘癘癘癘癘
E1B0	𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧
E1C0	𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧
E1D0	𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧
E1E0	𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧
E1F0	𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧𧈧
E240	磳磳磳磳磳磳磳磳磳磳磳磳磳磳磳磳磳
E250	祓祓祓祓祓祓祓祓祓祓祓祓祓祓祓祓祓祓祓祓
E260	枅枅枅枅枅枅枅枅枅枅枅枅枅枅枅枅枅枅枅枅
E270	櫟櫟櫟櫟櫟櫟櫟櫟櫟櫟櫟櫟櫟櫟櫟櫟櫟
E280	窶窶窶窶窶窶窶窶窶窶窶窶窶窶窶窶窶窶窶窶

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
E290	娑婁嬸笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E2A0	笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E2B0	笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E2C0	笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E2D0	笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E2E0	笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E2F0	笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E340	笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E350	笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E360	笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E370	笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E380	笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E390	笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E3A0	笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E3B0	笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E3C0	笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E3D0	笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E3E0	笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E3F0	笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E440	笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E450	笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄

[illegible][illegible][illegible][illegible]

索引

アルファベット

ADF に原稿をセットする	3-6
OHP 合紙	5-2
OHP フィルム	2-55
Z 折れ原稿	4-9

数字・記号

1 部プリントして確認する	8-18
2 in 1	4-2
4 in 1	4-2
8 in 1	4-3

あ行

アイコン	2-23、2-25、2-45
インターシート	5-11
ウィークリタイマ	2-35
ウォータマーク	5-96
ウォームアップ	3-52
受付音	7-28
オートリセット	2-31
オーバーレイ	5-98
音設定	7-28
オプション仕様	13-4
折目消し	5-65、5-69

か行

回転しない	5-77
拡大表示	ix
拡大表示解除確認	7-24
拡大表示キー	2-21
拡大表示切換え確認	7-35
拡大表示設定解除確認	7-33
確認コピー	7-2
確認コピーキー	2-21
画像の収め方	5-74
片面コピー	3-46
片面／両面設定	3-39
カバースHEET	5-6
「紙づまりです」	11-4
官製はがき	2-57
管理者設定	15-2
ADF 自動倍率	15-74
APS 解除時のトレイ指定	15-75
宛先登録変更	15-38
インターシートトレイ選択	15-76
ウィークリタイマ使用設定	15-30
ウィークリタイマ設定	15-29
確認コピー時リセット	15-52
画像回転	15-77
環境設定	15-23

管理機能設定	15-84
管理者設定画面	15-2
管理者設定の内容	15-17
管理者登録	15-53
管理者パスワード	15-2、15-79
管理者／本体登録	15-53
管理設定	15-60
原稿画質の濃度シフト	15-40
原稿ガラス自動倍率	15-73
コピー設定	15-73
コピー操作時のプリント受付	15-78
コピープログラム削除	15-37
コピープログラムロック設定	15-36
サマタイム設定	15-28
時間外パスワード設定	15-35
使用管理カウンタリスト	15-72
消去補正	15-41
初期機能制限	15-60
ジョブ毎のシフト排出設定	15-26
ジョブ優先順位変更	15-38
スリープ	15-23
セキュリティ詳細	15-81
【設定メニュー／カウンタ】	15-2
操作禁止設定	15-39
タイマ予約時刻設定	15-31
動作日設定	15-33
中折り位置調整	15-43
中とじ位置調整	15-43
日時設定	15-27
認証指定なしプリント	15-71
認証方式	15-56
排紙トレイ設定	15-25
倍率登録変更	15-38
パブリックユーザの認証	15-60
パワーセーブキー節電切替	15-24
パワーセーブ設定	15-23
パンチ横位置	15-43
パンチレジストループ量	15-43
昼休み OFF 機能設定	15-34
フィニッシュ調整	15-43
部門カウンタ	15-69
部門管理	15-55
部門登録	15-67
変更禁止設定	15-38
他ユーザジョブ削除	15-38
本体アドレス登録	15-54
マシン管理リストプリント	15-46
ユーザ開放レベル	15-4、15-80
ユーザカウンタ	15-65
ユーザ登録	15-62
ユーザ認証	15-55
ユーザ認証設定	15-60

ユーザ認証／部門管理	15-55
ユーザ名一覧表示	15-60
用紙サイズ／種類カウンタ	15-47
ローパワー	15-23
キーカウンタ	2-9
キーリピート開始／間隔時間	7-21
基本設定画面	2-22
給紙キャビネット PC-202 / PC-402	2-10
給紙キャビネット PC-202	2-46
給紙キャビネット PC-402	2-48
クリアキー	2-21
グループ	6-2、6-5、6-20
グループ+仕分け	6-2、6-5、6-20
原稿	9-11
原稿外消去	5-65、5-72
原稿画質	4-16
原稿ガラスに原稿をセットする	3-8
原稿セット方向	4-11
原稿とじ代	4-14
固定倍率	3-28
コピーキー	2-20
コピー部数	3-10
コピー予約	3-54
混載原稿	4-6
コントラスト調整ダイヤル	2-21

さ行

サービスコール	11-2
サービス実施店への連絡手順	11-3
差込みページ	5-17
時間外使用パスワード	2-36
システムオートリセット	2-31
実行中リスト	8-4、8-6、8-9
自動検出	3-17、5-38
自動トレイ切換機能	9-8
自動倍率選択	3-37、4-6
自動用紙選択	3-14、4-6
集約	4-2
主電源スイッチ	2-28
主電源ランプ	2-21
手動で用紙を指定する	3-16
使用環境	1-13
消去	5-65
詳細を確認	8-9
小冊子	5-52
使用できない用紙	9-10
章分け	5-22
ジョブ	8-2
ジョブを削除	3-57
ジョブを停止／再開	3-56
ズーム倍率	3-29
スタートキー	2-21

スタンプ／オーバーレイ	5-79
ステーブル	6-9
ステーブル針を補給する	10-9
ストップキー	2-21
スリープ	2-34
清掃する	12-2
セールスカウンタ	12-6
設置スペース	1-11
設置電源	1-13
設定内容	7-5
設定内容キー	2-21
設定メニュー／カウンタキー	2-21
セパレータ	6-20
センタリング	5-75
専用紙	9-9
操作パネル	2-20
操作パネル	2-26
ソート	6-2、6-5、6-20
ソート+仕分け	6-2、6-5、6-20

た行

大容量給紙ユニット LU-201	2-12
大容量給紙ユニット LU-201	2-51
タッチパネル	2-20
タッチパネル調整	7-31
小さめ	3-27
蓄積ジョブ	8-4
注意ラベル	1-9
中継ユニット RU-502	2-18
定期点検	12-8
定型スタンプ	5-92
定型リピート	5-43
データランプ	2-21
手差しトレイ	2-53
手差しトレイ	3-17
テンキー	2-21
電源コード	1-3
電源プラグ	1-4
動作中ジョブ	8-4
等倍	3-26
登録オーバーレイ	5-100
登録倍率	3-34
登録名称を変更する	7-14
登録を削除する	7-15
独立ズーム	3-31
とじ代	5-58
トナーカートリッジを交換する	10-5
トナーを補給する	10-3
「トラブルです」	11-2
トラブルの処理	11-9

な行

中折り	6-17
中とじ	6-17
中綴じ機 SD-502	2-16
ナンバリング	5-89
ネガポジ反転	5-56
濃度／下地調整	3-12

は行

排紙トレイ OT-601	2-14
倍率設定	3-26
倍率を登録する	3-35
パブリックユーザ	2-39
パワーセーブキー	2-20
範囲指定	5-38
パンチ	6-13
パンチくず	10-23
パンチユニット PU-501	2-14、10-25
日付／時刻	5-81
フィニッシュャ FS-510	2-14、9-5、10-15
フィニッシュャ FS-511	2-18、10-11、10-23
封筒	2-55
副電源スイッチ	2-21、2-28
ブック連写	5-31
不定形サイズ	3-19、3-21
部門管理	2-42
プログラム	7-9
プログラムキー	2-21
プログラムジョブ	5-27
プログラム登録	7-9
プログラム登録呼び出し	7-11
ページ	5-85
ページ連写	5-48
ヘルプ	7-17
ヘルプキー	2-21
編集とじ代	5-58、5-62
保守サービス	12-9
本体仕様	13-2

ま行

見開き原稿	5-31
メールピンキット MT-501	2-16
メッセージと処理のしかた	11-12
メッセージ表示時間	7-26
メモリ残量不足	11-7

や行

ユーザ設定	14-2
ATS 許可	14-9
オートリセット	15-49
画面切替え設定	14-12

環境設定	14-5
給紙トレイ自動選択	14-8
言語設定	14-5
コピー設定	14-18
コピー動作中画面	14-14
システムオートリセット	15-48
指定給紙トレイ不一致	14-10
自動トレイ切換え機能	14-8
自動トレイ切換え機能 (ATS)	14-9
自動用紙機能	14-8
集約／小冊子倍率	14-19
初期設定	14-17
スキャン設定	14-13
【設定メニュー／カウンタ】	14-2
設定メニュー画面	14-2
ソート／グループ自動切換え	14-20
単位系選択	14-6
中とじ／中折り時小冊子	14-18
表示サブエリア切替え	14-12
モードリセット	15-50
ユーザ設定画面	14-2
用紙種類設定	14-7
リストプリント出力設定	14-11
ユーザ認証	2-38
優先出力	8-4、8-16
ユニバーサルキー	2-21
ユニバーサル設定	7-21
用紙	9-2
用紙サイズ	9-7
用紙設定	3-14
用紙の坪量	9-3
用紙の保管	9-10
用紙枚数	9-4
用紙を補給してください	10-2
用紙を補給する	2-45

ら行

ラベル紙	2-56
リセットキー	2-20
リピート	5-37
両面原稿	3-46
両面コピー	3-39、3-42
両面コピーのとじ方向	5-59
履歴リスト	8-4、8-7、8-9
連続読み設定	3-49
ローパワー	2-33

わ行

枠消し	5-65、5-66
割込み	7-7
割込みキー	2-20

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》
販売店名
電話番号
担当部門
担当者

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》
TEL

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://bj.konicaminolta.jp>

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル:0120-510010（受付時間：土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）

- 本文には古紙配合率100%の再生紙を使用しています。



KONICA MINOLTA

国内総販売元

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元

コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング

Copyright

50GA97342F

2007 KONICA MINOLTA BUSINESS TECHNOLOGIES, INC.

Printed in China

2007. 1